上田市文化財調査報告書第50集

TAKE NO HANA

岳の鼻遺跡

団体営土地改良総合整備事業下室賀地区
施工に伴う岳の鼻遺跡発掘調査報告書

1994.3

上田市・上田市教育委員会
川西地区土地改良区

報告書抄録

ふりがな	たけのはないせき
書名	岳の鼻遺跡
副書名	団体営土地改良総合整備事業下室賀地区施工に伴う岳の鼻遺跡発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	上田市文化財調査報告書
シリーズ番号	第50集
編著者名	久保田敦子
編集機関	上田市教育委員会
所在地	〒386　長野県上田市大手1丁目11番16号　TEL 0268-22-4100(内線1722)
発行年月日	西暦　1994年　3月　25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
たけのはな 岳の鼻	ながのけんうえだしおおあざ 長野県上田市大字 ししむろがあざいけした 下室賀字池下	20203	－	36度 23分 11秒	138度 10分 30秒	平成3年度分 19910801～ 19911214 平成4年度分 19920710～ 19921218	4,390 5,110	ほ場整備事業に伴う発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
岳の鼻	集落址	弥生	竪穴住居址　72軒 土坑、ピット	弥生土器・石器	
		古墳	竪穴住居址　28軒 土坑、ピット	土師器・須恵器	
		奈良・平安	竪穴住居址　7軒 土坑、ピット	土師器・須恵器	瓦塔破片出土

上田市文化財調査報告書第50集

TAKE NO HANA

岳の鼻遺跡

団体営土地改良総合整備事業下室賀地区
施工に伴う岳の鼻遺跡発掘調査報告書

1994.3

上田市・上田市教育委員会
川西地区土地改良区

序

団体営土地改良総合整備事業下室賀地区の施工に伴う発掘調査は、平成２年度に日影遺跡及び田中遺跡において実施し、室賀扇状地における初の遺跡の発掘調査として、縄文時代中期の敷石住居址と、平安時代の溝状遺構が検出されていました。

続く平成３～４年は、このたび、ここにご報告する岳の鼻遺跡を調査し、その結果、弥生時代後期から古墳時代後期にかけての大集落遺跡が検出されました。ふりかえれば昭和61年、62年、この遺跡からわずか1．5㎞ほど南東に位置する琵琶塚遺跡が調査され、該期の集落遺跡としては、当地域における指標ともなるべき遺跡と評価されていましたが、この岳の鼻遺跡も、まったく同時期に、琵琶塚遺跡に優るとも劣らない集落を構えていたことが判明しました。このことは、上田市にとどまらず、長野県における該期の考古学、歴史学研究に大きな影響を与えられるものとなりました。また、古代の官道筋に多く出土するといわれる瓦塔も出土し、東山道研究においても貴重な資料を提供することができました。

生涯学習が提起され、上田市でもその基本構想を平成４年度に掲げました。その中で、地域の歴史学習は、この構想の核をなすものであり、あたらしい上田市のまちづくりに向けて、その根幹をなすものと思われます。その歴史学習の、さらに基礎的な部分を形成する、こうした地道な調査は、上田市教育委員会といたしましても、最も重要な事業であると認識しております。基礎的な資料の蓄積がなくては、歴史学習もまちづくりも、砂上の楼閣のごとく、歴史の風雪の中で、あっという間に吹き飛ばされてしまうことでありましょう。

このたびの調査に際し、こうした事情をご理解いただき、ご協力いただいた川西地区土地改良区、ほ場整備実行委員会、下室賀自治会の皆さまには、心より御礼申し上げます。また、炎天下、あるいは厳寒の中、調査にご指導、ご従事いただいた諸先生方と作業員の皆さまにも、衷心より感謝申し上げ、序といたします。

平成６年３月

上田市教育委員会教育長　内藤　尚

例　言

1　本書は、長野県上田市大字下室賀における、団体営土地改良総合整備事業下室賀地区の施工に伴う、岳の鼻遺跡発掘調査報告書である。

2　調査は、平成３年度および４年度に現地調査と遺物整理の一部を実施し、５年度に遺物整理と報告書の作成および刊行を行った。

3　調査は、３年度に一部を上田市教育委員会が組織した上田市遺跡発掘調査団団長塩入秀敏に委託して実施したほかは、すべて上田市が直営で実施した。なお、事務局は上田市教育委員会事務局社会教育課が担当した。

4　現地調査は、平成３年８月１日～１２月１４日、及び平成４年７月１０日～１２月１８日の間実施し、この間の調査は久保田敦子が担当した。また、整理作業は、平成３年８月１日以降、雨天時・冬期間等断続的に実施し、平成５年度に集中的に実施した。

5　遺構の実測は、久保田・大井敬子・小山倍子が行ったほか、一部を㈲写真測図研究所に、また、全体空中写真測量を㈱新日本航業甲信越支店に委託して実施した。トレースは、市村みつ子が行った。

6　遺物の実測とトレースは、久保田。大井・市村・田中弥重子。小野沢恵美子。唐沢裕子。荒井かぎ子が行った。

7　遺物実測は、一部を小川忠博に写真撮影を委託し、その写真を下敷にして行った。

8　遺物の洗浄は現場作業員が行い、注記と接合は、久保田。大井。市村。田中。小野沢。唐沢荒井。樋口眞知子が行った。なお、石膏による復元はすべて樋口が行った。

9　本文の執筆は久保田が行った。

10　遺構写真は久保田。中沢徳士が撮影し、全体写真は㈱新日本航業甲信越支店に委託して実施した。

11　遺物写真は中沢が撮影したもののほか、小川忠博に撮影委託したものを使用した。

12　判組は大井。市村。荒井が、遺構遺物の一覧表は、実測者の観察をもとに、小野沢。唐沢が行った。

13　現地調査に係る基準点測量は、上田測量設計㈱に委託した。

14　本調査に係る資料は、上田市信濃国分寺資料館に保管してある。

15　本書の編集刊行は、事務局が行った。

16　本調査にあたり、次の皆さんにご指導、ご協力をいただいた。記して感謝する次第である。
下室賀ほ場整備実行委員会、下室賀自治会、黒坂周平、森島稔、赤塩一巳、小池雅夫、(財) 長野県埋蔵文化財センター、白沢勝彦、出河裕典　（敬称略）

17　本調査に係る調査の体制は、次のとおりである。

(1) 平成３年度上田市遺跡発掘調査団の体制［（）内は当時の主たる職等］

団　　長　塩入秀敏（上田女子短期大学助教授、日本考古学協会員）

調　査　員　猪熊啓司（長野県長野高等学校教諭、上田小県誌考古編編集委員）
〃　　川　上　元（上田市立博物館長、日本考古学協会員）
〃　　倉沢正幸（信濃国分寺資料館主査、日本考古学協会員）
顧　　問　五十嵐幹雄（上田市文化財保護審議会委員、上田小県誌考古編編纂主任）
〃　　岩佐今朝人（上田小県誌考古編編纂副主任、日本考古学協会員）

(2) 平成４～５年度の体制（平成４年度から上田市の直営）

調査指導者　五十嵐幹雄、岩佐今朝人、塩入秀敏、猪熊啓司（いずれも前出のとおり）

(3) 平成３～５年度事務局社会教育課の体制

課　　長　須藤清彬
文化係長　寺島隆史（平成４年３月31日退任）
〃　　中村博美（平成４年４月１日着任、平成５年９月30日退任）
〃　　岡田洋一（平成５年10月１日着任）
係　　員　久保田敦子（調査担当者）、中沢徳士、塩崎幸夫、尾見智志、清水彰（平成４年４月１日着任）、上原せい（平成４年４月１日着任）

18　調査作業に参加、協力していただいた方々（順不同、敬称略）

間島亥三郎、西沢勝、竹内三郎、関茂樹、竹内勇、清水閲二、尾見英雄、野田三男、小山康直、小山倍子、土屋幸保、土屋友春、宮崎四郎、小山幹雄、五十地市太郎、久保田芳美、山崎由江、関酉男、大井敬子、宮崎登、坂口興昌、小林茂夫、山崎芳衛、石井ます、宮崎のぶい、里見もとめ、岩下眞、山崎那智、大井英夫、田中弥重子、小野沢恵美子、唐沢裕子、荒井かぎ子、樋口眞知子、市村みつ子、南波文平、宮沢浅人、水科由紀子、南波正人、久保田定治、井沢光子、竹内和好

凡　例

遺　構

1　遺構は、次の（）内に示す略号で表わし、続く番号は任意である。
竪穴住居址（ＳＢ－）、土壙（ＳＫ－）、掘立柱建物址（ＳＴ－）、ピット（Ｐ－）、溝址（ＳＤ－）、竪穴住居址のピット（Ｐ）

2　遺構の図版は、原則として国家座標による真北を頁の上としたが、紙面の都合により例外もある。その際には、その方位を国家座標により示した。

3　遺構実測図は、原則として原図１：２０、縮尺１：４とした。また、ＳＢ－の竈、遺物出土状況等、必要に応じて原図１：１０、縮尺１：４とした。

4　遺構が、時代の新しい遺構あるいは攪乱等によって破壊を受け、プランが明確でない場合は、その遺構の推定プランを破線で示した。

5　ＳＢ－の主軸方位は、国家座標の真北と、竈等を通るＳＢ－の中軸線とのなす角度で示した。

6　ＳＫ－、Ｐ－、Ｐの規模は、（長軸×短軸×検出面からの深さ）で示した。

7　標高の単位は、すべて「m」である。

8　遺構図中の網点は、焼土を示す。

9　遺構写真図版の縮小は、任意である。

遺　物

1　遺物実測図は、原則として原図１：１、縮尺１：４としたが、必要に応じて原図４：１、縮尺１：４とした。

2　土器の実測方法は、右１／２に断面及び内面を、左１／２に外面を記録する４分割法を原則とし、必要に応じてその率を変えた。

3　実測に際して、波状文等、細かい文様については、小川忠博に撮影委託した写真をベースに図化した。

4　黒色処理のある部分は網点（太）で、赤色塗彩は網点（細）で示した。

5　出土遺物一覧表の器質は、胎土を「胎」、焼成を「焼」、色調を「色」と記載した。なお、色調は、遺物の内面及び外面の基本的な色調を、農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修の『新版標準土色帖』1988年及び1990年を用いて判別した。

6　石器、ガラス製品、土製品は、小川に撮影委託した写真のみで示し、縮小率は別に示した。

7　遺物番号は、実測図版番号及び写真図版番号と一致している。

8　遺物写真図版の縮小は任意である。

目　　次

序
例言
凡例
目次
第一章　序説 …… 1
　第１節　調査の原因と経過 …… 1
　第２節　調査の方法 …… 2
　第３節　調査日誌 …… 3

第二章　環境 …… 5
　第１節　自然的環境 …… 5
　第２節　歴史的環境 …… 8
　第３節　遺跡の基本的層序 …… 10

第三章　調査の結果 …… 17
　第１節　概要 …… 17
　第２節　遺構 …… 19
　　実測図 …… 19
　　観察表 …… 149
　第３節　遺物 …… 199
　　土器実測図 …… 199
　　石器写真 …… 319
　　観察表 …… 331

写真図版 …… 443

第一章　序　説

第1節　調査の原因と経過

平成2年度から始まった団体営土地改良総合整備事業下室賀地区は、3年度から4年度、字池下、岳の組、岳の鼻に施工区域を移動した。中でも、岳の鼻地区には、周知の埋蔵文化財包蔵地である「岳の鼻遺跡」が存在し、その保護措置について、長野県教育委員会事務局文化課の指導のもと、事業主体者である川西地区土地改良区（以下「改良区」という。）、上田市農政部（以下「農政部」という。）、上田市教育委員会事務局（以下「市教委」という。）が、平成2年9月7日に協議を行った。その際、施工設計図も着手されていないうえ、遺跡の範囲が明確でないため、改めて試掘調査を実施して、その結果を待って再度協議することとした。

市教委では、平成2年12月下旬、施工範囲を対象に試掘調査を実施した結果、遺跡が従来の遺跡分布図より、段丘に沿って西に大きく広がっており、施工範囲だけでも2万㎡に達していることを確認した。この結果をさっそく関係者に連絡するとともに、改良区及び農政部には、できる限り遺跡の現状保存が図れるよう、施工計画・設計をするよう依頼した。

平成3年4月17日、再度県教委を交えて協議を行ったものの、ほ場整備の設計が未完成であったため、発掘調査必要面積を2,500㎡前後、調査費13,500千円に納まる設計にするよう、改良区事務局に依頼した。これはつまり、当時の上田市の発掘調査体制の限界でもあった。平成3年7月24日、設計図の完成により協議をした結果、発掘調査必要面積が4,500㎡となったため、当初、調査費13,500千円で報告書まで刊行する予定であったが、これを現地調査と遺物整理の一部にあて、報告書は4年度現地調査分と合わせて5年度に刊行することとした。こうして、3年度は8月1日に調査に着手し、12月20日に現地調査を終了、引き続き出土遺物の洗浄等を川西公民館の一室を借りて行い、平成4年3月25日、3年度調査を終了した。

4年度は、3年度現地調査により出土した遺物の整理作業を、埋蔵文化財整理室で行う一方、年度当初にあがった施工設計により、調査面積5,500㎡で、4月から調査に着手できる状態であったが、減反に伴う麦の作付が調査予定地にされており、その補償をめぐって協議がされ、結局、麦の刈り入れ後の7月10日からの着手となった。現地調査は12月21日まで行われ、つづいて現地プレハブ小屋で出土遺物の洗浄等を行い、平成5年3月25日、4年度調査を終了した。

5年度は、この2ケ年にわたる現地調査によって出土した遺物整理と報告書の作成を、埋蔵文化財整理室で行い、平成6年3月25日報告書を刊行してすべての事業を終了した。

なお、平成3年度は事業の一部を、市教委が組織した、上田市遺跡発掘調査団の塩入秀敏団長（上田女子短期大学助教授）に事業委託して実施した他は、上田市の直営事業として実施した。

また、4年度以降は、すべて上田市の直営事業で実施した。

この３ケ年にわたる岳の鼻遺跡発掘調査事業の概要は次表に示すとおりである。

区分＼年度	平成３年度	平成４年度	平成５年度	備考
総事業費(千円)	１３，５００	２２，５００	２０，０００	
改良区負担分(79%)	１０，６６５	１７，７７５	１５，８００	
上田市負担分(21%)	２，８３５	４，７２５	４，２００	上田市負担分は、農家負担分＝国庫補助事業
調査面積(㎡)	４，５００	５，５００		
事業内容	現地調査と遺物整理の一部	現地調査と遺物整理の一部	遺物整理と報告書の刊行	

第２節　調査の方法

遺跡名は長野県教育委員会作成の遺跡台帳に記載されている名称「岳の鼻遺跡」とした。また、記録の便宜を図るため、遺跡号としてＴＡＫＥ－ＮＯ－ＨＡＮＡのＴＮＨを組み合わせて与えた。各種の記録や遺物の注記等はこの記号を用いている。

調査範囲の設定については、試掘調査により把握した遺構の検出レベルと、施工に伴う土の切り盛りをオーバーラップし、施工により破壊される範囲を中心に設定した。調査地区は２カ所設定し、西側からアルファベット順にＡ，Ｂの２地区名を与え、Ａ地区の地区記号はＴＮＨ－Ａ、Ｂ地区の地区記号はＴＮＨ－Ｂした。なお、３年度調査区はすべてＡ地区であり、４年度のＡ、Ｂの２調査区のうち、西調査区はＡ地区とわずかにオーバラップしたため、３年度調査と同じＡ地区とし、東調査区はＢ地区とした。この際、遺構・遺物の検出・出土年次を明確にするため、遺構番号の頭に「４」を付して記録した。

遺構調査に際しては、表土、耕作土の排除はすべてバックホーを用い、その後の作業はすべて人手によった。また、国家座標に従い３×３ｍのメッシュを張り、遺物の取り上げ、測量に用いた。このメッシュには便宜上記号を与えグリッドを設定した。基準点を０とし、方向を現すために東西南北のＥＷＳＮを、距離を現すために数字を組み合わせて記号を与えた。たとえば、０の点より北に３つ(9m)、東に５つ(15m)目のグリッド釘の記号名はＮ３Ｅ５となる。包含層出土の遺物は、可能な限りこのグリッドによって取り上げを行った。

なお、基準となる点０の座標値はＸ＝43,050.000、Ｙ＝-28,875.000 であり、上田地区は国家座標第Ⅷ量系に属している。

現地調査に係る実測は、このメッシュに拠るやり方測量のほか、一部を写真測量の専門業者に委託して行い、最終的な遺構全体測量も業者に委託して、写真実測を行った。遺跡の記録保存という性質上、特に遺構は工事によって永久にその姿を失うため、調査担当者が見落とした視点でも、後世の研究者が再度検討できるよう、できる限りのファクターで残しておく必要があるための処置である。

第3節　調査日誌（抄）

平成3年度

8月 1日(木) 晴れ　テント設営。A地区バックホーによる表土剥ぎ作業開始。
8月 2日(金) 晴れ　機材を現場に搬入。現場の安全管理のため、調査区周囲にロープを張る。
8月 5日(月) 曇り　遺構検出作業開始。
8月 8日(木) 雨　６～７日の雨の排水作業。上田市文化財保護審議会五十嵐幹雄委員来訪。
8 10日(土)~18日(金)お盆休み
9月 4日(水) 曇り　川西公民館で、現場調査のビデオ収録。
9月 6日(金) 晴れ　バックホーによる表土剥ぎ作業終了。ＳＢ－０１調査着手。
9月10日(火) 晴れ　グリッド釘打ち
9月24日(火) 晴れ　ＳＢ－０１・ＳＢ－０２実測。
10月 2日(水) 晴れ　上田市文化財保護審議会の黒坂周平会長、小池雅夫委員来訪。
10月28日(月) 曇り　ＳＤ－０１調査開始。
11月12日(火) 晴れ　埋蔵文化財整理室作業員の現場における研修。
11月14日(木) 晴れ　ほ場整備実行委員会工程会議。調査の進捗状況について報告。
11月16日(土) 晴れ　ＳＢ－２６を専門業者による写真測量のための撮影。
11月29日(金) 晴れ　前日の大雨のため調査困難。雨水汲み上げ作業。
12月 7日(土) 晴れ　現地説明会で50人以上の人々参加。
12月12日(木) 雪　雪のため測量用航空写真撮影中止。
12月13日(金) 晴れ　測量用航空写真撮影を行う。
12月14日(土) 晴れ　現場での調査終了。機材撤収作業。
以後、川西公民館、埋蔵文化財整理室において遺物整理を行う。

平成4年

7月10日(金) 晴れ　現場作業棟完成。機材を搬入。トレンチ調査により、遺跡の範囲を再確認。
7月13日(月) 晴れ　B地区バックホーによる表土剥ぎ作業着手。
8月 3日(月) 曇り　ＳＢ－４２２調査着手。
8月 5日(水) 晴れ　グリッド釘打ち。
8月 6日(木) 晴れ　信濃国分寺資料館夏休み考古学教室。A地区表土剥ぎ作業、遺構検出開始。
8月 7日(金) 晴れ　上田市秘書課主催の施設見学会来訪。
8月26日(水) 曇り　県埋文センター長野事務所白沢氏、出河氏に教示いただく。
8月28日(金) 晴れ　県埋文センター上田事務所川崎氏来訪。
8月31日(月) 晴れ　バックホーによる表土剥ぎ作業終了。
9月16日(水) 晴れ　県埋文センター白沢氏より化学的保存処理方法の教示をいただく。
10月17日(土) 晴れ　川西公民館主催の史跡見学会来訪。
10月27日(火) 晴れ　ほ場整備実行委員会工程会議。調査の進捗状況について報告。

11月 9日(月) 雨　　戸倉町より森嶋稔先生来訪。A地区ＳＢ－５８調査着手。
11月12日(水) 晴れ　B地区専門業者による測量用航空写真撮影。
12月10日(木) 晴れ　上田市文化財保護審議会五十嵐幹雄委員来訪。
12月13日(日) 曇り　現地説明会約50名参加。
12月15日(火) 晴れ　A地区専門業者による測量用航空写真撮影。
12月18日(金) 晴れ　機材を撤収し調査を終了する。
以後、埋蔵文化財整理室において遺物整理を行う。

平成５年度

埋蔵文化財整理室において、遺物整理、報告書作成を行い、平成６年３月２５日、報告書を刊行してすべての事業を終了する。

第二章　遺跡の環境

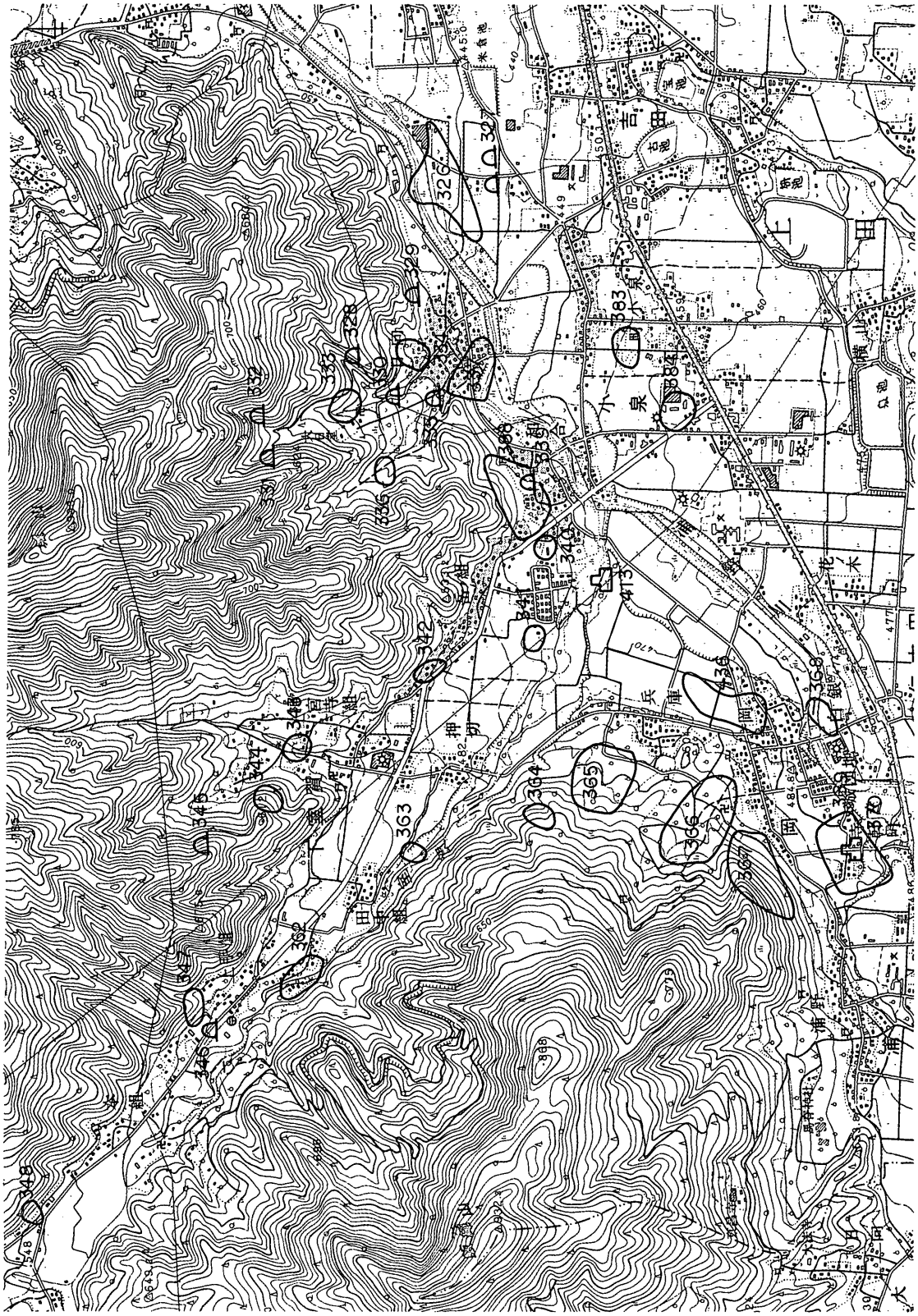
第１節　自然的環境

岳の鼻遺跡の位置する地域は、地形的に見ると大きくは千曲川左岸に展開する上田盆地の西側にあたる。この地域には浦野川・産川が流れ、それぞれの流域に平野を形成し、市内で最も広い面積を有する盆地性平野をつくる。浦野川平野は浦野川本流のつくった扇状地面で、まったくの谷平野であり、楔状に、奥に行くに従い幅を狭めている。この平野内の集落は、南北の山麓線の谷という谷に、必ずといってよいほどよく発達し、中央部はみごとな水田地帯となっている。遺跡は浦野川平野の北西部、浦野川に注ぐ室賀川の形成した扇状地上にある。

浦野川は相染川、宮淵川、滝川、田沢川などを集めながら東北流し、中流域で、阿鳥川、室賀川が合流して流れる。相染川、宮淵川、滝川、田沢川、は小県郡青木村の大明神岳（ 1,223m）、二ツ石岳（ 1,535m）、御鷹山（ 1,623m）、大沢山（ 1,440m）、子檀嶺岳（ 1,223m）などを源とする。また、阿鳥川、室賀川の水源は川西山地と呼ばれ、小県郡坂城町の千曲川に沿った坂城広谷から西方の山地をいう。この山地は西北方のコクザキ山（ 1,440m）が最高で、そこから北に大林山（ 1,233m）に続き、その前面に十観山（ 1,284m）・子檀嶺岳や飯縄山（ 932m）・三頭山（ 923m）や城山（ 933m）が聳え、室賀谷・阿鳥谷・田沢谷により等間隔に切られている。いずれも当地方に向かっては急斜面を呈しているが、向こう側の東筑摩群方面は緩斜面である。十観山・子檀嶺の急斜面は室賀峠に延びた断層線であり、田沢川はこの断層崖を浸食してその背面まで及んだものであろう。

室賀谷と当郷谷とは、浦野川平野の北西部の山間に二つの相似形をなし、千曲川に並行し北西から南東に、しかも等間隔にある。室賀谷は、室賀川の堆積扇状地の堆積谷で、水田もあり、集落も谷頭まで発達している。当郷谷の阿鳥川は、その扇状地を浦野川平野にまで展開させて、浦野川を南方に圧迫しているのに対して、室賀谷は、逆にその扇状地末端を浦野川に切られて段丘をなし、浦野川が北方山麓を流れている。室賀谷の末端部は３～４ｍの段丘崖をもって浦野川平野と接している。この谷の下流において室賀川が南西山麓を流れているのは、神宮寺川の浸食がはげしく、その崖錐面が押し出しているからであり、ここに押切という集落がある。谷の中央でわずかにくびれて下室賀と上室賀とに区別されている。前者は浸食し若返った狭谷をつくっているが、後者はまだ浸食がおよばず、やや緩傾斜で堆積面が広い。下室賀と上室賀のくびれがひん岩の迸入した堅岩でこれが浸食を阻んでいるためである。

室賀谷をめぐる山々の地質は、東の三頭山、城山山塊は主に別所層の頁岩からなり、城山中腹の白い崖崩れの所は流紋岩質の凝灰岩で、その下の別所層頁岩の中から、およそ 4ｍもある鯨の背骨と 1.5ｍのイルカの化石が発見された。その他の山々は主として青木層の砂岩・礫岩、北方では小川層の同岩より成るが、高い山頂は多くはひん岩の迸入したためのものが多い。子檀嶺はひん岩が岩床として迸入したため片屋根型となり、大林山はひん岩の影響によって、熱変成を受けた小川層の硬化したものである。



第１図　周辺遺跡分布図

番号	遺跡名	時代	備考	番号	遺跡名	時代	備考
326	琵琶塚遺跡	弥生～平安	S61.62発掘	343	樋之詰遺跡	平安	
327	琵琶塚古墳	古墳		344	神宮寺遺跡	平安	
328	日向小泉1号古墳	古墳		345	神宮寺古墳	古墳	S48 清掃発掘
329	日向小泉2号古墳	古墳		346	長谷塚古墳	古墳	
330	日向小泉3号古墳	古墳		347	長谷塚遺跡	平安	
331	日向小泉4号古墳	古墳		348	日向遺跡	平安	
332	日向小泉5号古墳	古墳		362	日影遺跡	縄文	
333	西寺畑遺跡	縄文～平安		363	寺前遺跡	縄文～平安	
334	旗鉾遺跡	縄文～平安		364	押切遺跡	平安	
335	鍛冶山古墳	古墳		365	原遺跡	縄文～平安	
336	鍛冶山遺跡	弥生		366	滝遺跡	縄文～平安	
337	大道下遺跡	弥生	H1発掘	367	古城遺跡	平安	
338	和合遺跡	縄文～平安		368	久保遺跡	平安	
339	将軍塚古墳	古墳		369	岡城跡	近世	一部上田市指定史跡
340	岳之里遺跡	平安		370	城遺跡	平安	
341	岳之鼻遺跡	縄文～平安	今回調査	413	山崎城跡	近世	S 51発掘
342	岳之本遺跡	平安		436	山崎遺跡	平安	

第1表　岳の鼻遺跡周辺遺跡一覧表

今回、ほ場整備事業に先立って発掘調査した岳の鼻遺跡は、浦野川と室賀川の合流点より室賀川を約 800ｍほど遡った室賀谷の中央にある。室賀川が形成した扇状地の広がる下室賀に所在し、室賀川と城山の間に形成された段丘上にあり、海抜は約 470ｍをはかる。一帯は西から東へ、また北から南へ緩やかな傾斜を成している。このような自然的環境の中に岳の鼻遺跡はある。

第２節　歴史的環境

岳の鼻遺跡の周辺の歴史的環境を、特に浦野川平野北西部の浦野広谷から室賀谷一帯の地域にみてみると、縄文時代から、近世までの各時代に属する多くの遺跡・遺物が確認されている。人類が足跡を残した最も古い地点として認められるのは、縄文時代早期後葉茅山式期の土器を出土した室賀谷の谷鬼遺跡である。地形などから、より古い時期の遺跡が発見される可能性はあるが、現在の時点ではこれを遡る時期の遺跡は確認されていない。縄文時代はその後の全期を通じて遺跡が存在するが、中期後半に遺跡数が最も増加する傾向がみられる。後晩期には数的には減少するものの、平成元年に行われた発掘調査により中期後半から後期前半にかけての４軒の敷石住居址や２基の石棺墓などが検出された大道下遺跡がある。平成２年には、同じ室賀で、４軒の敷石住居址などを検出した日影遺跡など、規模こそ小さいものの、良好な資料が出土している。また昭和５５年の発掘調査の結果、後期後葉加曽利Ｂ式期から晩期中葉大洞Ｃ２式期の遺物を出土し、上田市内でも数少ない該期の遺跡の中でも最も良好な資料を出土した事で知られている下前沖遺跡がある。

弥生時代としては、後期後葉箱清水期の遺跡が多い。その中にあって琵琶塚遺跡は昭和６１・６２年にわたり発掘調査され、２３軒の住居址が検出された大遺跡で、この谷平野のみならず上田小県地方を代表する遺跡となった。また、平成元年に発掘調査された大道下遺跡からも多くの該期住居址が検出され、浦野川の右岸河岸段丘沿いに大きな遺跡が展開する様相が明らかにされた。琵琶塚遺跡からは東海地方の西部に中心をもつＳ字口縁台付甕形土器が出土しており、弥生時代から古墳時代にかけての端境期の遺跡としても重要である。Ｓ字口縁台付甕形土器は青木村の岡石遺跡からの出土も知られている。また、琵琶塚遺跡からは近畿地方や北陸地方の影響を受けた土器もかなりの量で出土した。

古墳時代の遺跡は古墳の数に比べて以外に分かっていない。湮滅したものも含め１０基を数える古墳のうち、室賀谷の神宮寺古墳、青木村の塚穴古墳が調査された。ともに両袖式の横穴式赤室をもつが、前者は直線的な羽子板式石室を、後者は胴張りの石室を有する。特に後者の副葬品は勾玉・切小玉・ガラス小玉・耳環等の装身具が見事である。また、和合将軍塚古墳は礫槨をもつ竪穴式石室と推測され、かつて鉄剣２口が出土したと伝える。日向小泉には日向小泉１～５号墳など６基の円墳が存在し、当地区唯一の群集墳として注目される。さらに、すでに畑化していて湮滅してはいたが人物埴輪・円筒埴輪を出土した八幡古墳がある。これらの古墳は、やや古いと考えられる和合将軍塚古墳は例外として、そのほとんどは後期後葉～終末期に比定され、６世紀末～７世紀代に築造されたものである。和合将軍塚古墳が竪穴式石室墳としてそのまま認められるならば、６世紀前葉以前にはすでに相当の権力の集中があり、その後は少々分散するものの

継続して権力の存在をみることができると考えられる。浦野川谷平野の最も広い地帯を経済基盤に築かれた古墳なので、対応する集落遺跡の解明が待たれる。

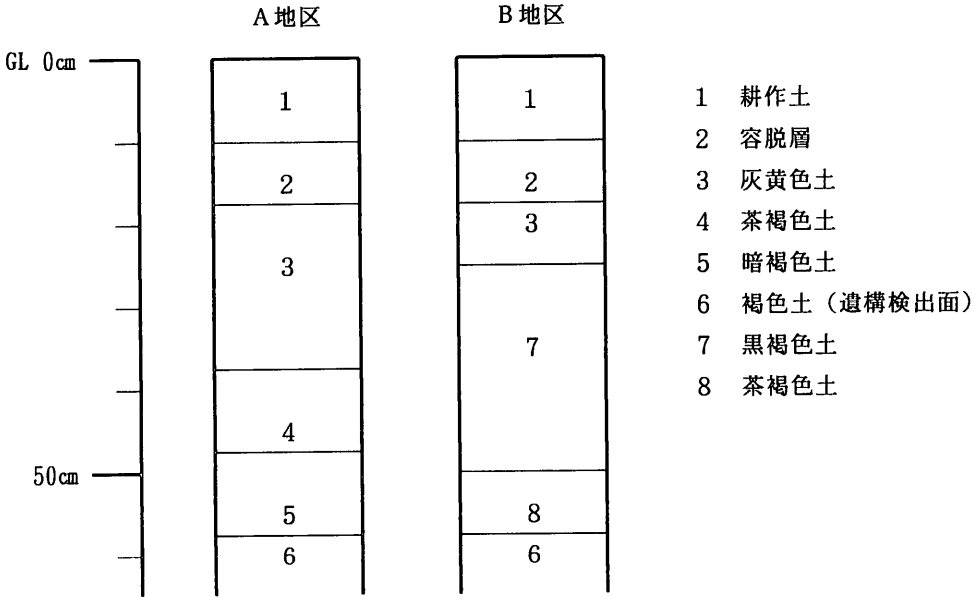
奈良・平安時代に至ると、集落数が急増する。技術の進歩により灌漑用水路の開墾や水田の開墾が急速に進んだ結果であり、水田化可能な谷平野はおろか、戦後開拓の手が入った室賀谷奥の谷鬼の地にも千年前にすでに開拓者が入り込んでいる。８世紀、上田には信濃国府、ついで信濃国分僧寺・同尼寺が置かれ、東山道も保福寺峠を越えてこの谷平野を通っており、その通過地点については諸説があるが、最近では谷平野の真ん中を一直線に通ったとする説が有力である。平成２年度に調査した小泉の高田遺跡からは、８世紀前半から１１世紀にかけての、東山道最盛期の遺物が出土しており、その位置や時代から、その想定される東山道に直面した集落であったとも考えられる。さらに、平成２年の室賀田中遺跡においては、平安時代の溝址も検出されている。また、信濃１６の勅旨牧の一つ塩原牧も近くにあり、牧に関する数多くの地名等はその事実を如実に物語ると言える。『日本霊異記』に登場する「跡目郷」の「他田舎人蝦夷」は、信濃国造氏につながるものと思われるが、塚穴古墳や塩原牧とも何等かの関係にあったとも考えられる。川西地区は、「和名類聚抄」の小県八郷の内の「福田郷」であり、一部分「跡部郷」にも含まれると思われるが、今ならば超一級国道ともいうべき東山道沿いで、中央の文物も入りやすく、当時としては開けた土地であったろう。古代末に比定される小泉条里遺構は、この室賀谷まで展開し、今回のほ場整備まで残された遺構だったと思われる。

その後、戦国期になると、この付近は、上田小県から坂城を経て善光寺平へ至る交通の要衝としてきわめて重要な地位を占める。千曲川沿いは塩尻と小泉の通称「岩鼻」に挟まれ、険しい断崖と千曲川の流れにより、厳しい通行条件であったのに対し、室賀峠越えのルートは、確実なものであった。武田氏が善光寺平へ進出する際、浦野氏の居館を押さえ、甲州流の岡城に改修し、この峠越えの拠点としたことからも、その重要性がうかがえる。遺跡周辺に残る「岳の鼻」「岳の組」「御屋敷」の地名は、当時の館（たて）の存在を示すものであろう。この館の遺構については、今回の試掘・発掘調査でも検出されておらず、その主が誰であったかを示す具体的な資料はないが、真田氏が上田を押さえたころ、この地には、地名の由来となっている室賀氏がおり、この室賀氏のものであったことも想像される。

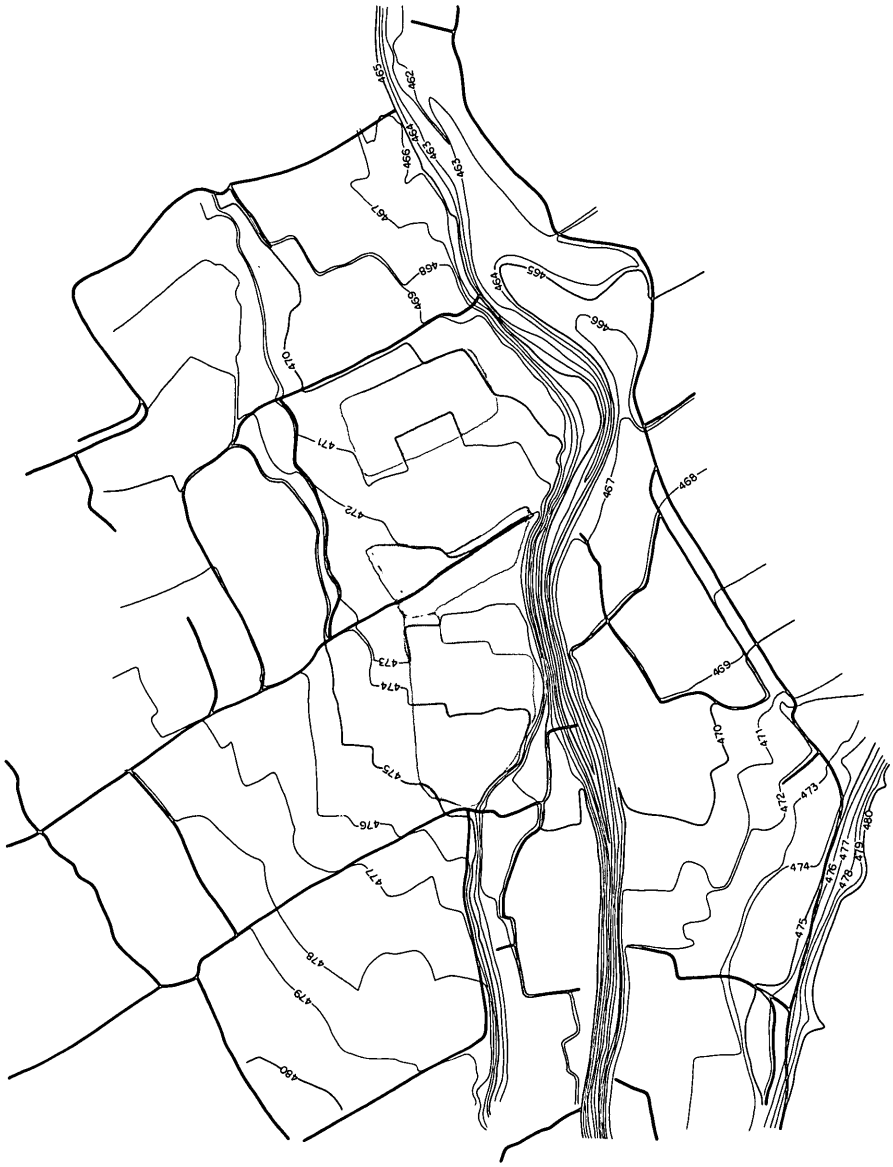
江戸時代を通じて、この地は上田藩の領地として農村を形成し、近年まで旧態の農村の様相を呈していたが、現在は農業経営の近代化と宅地化により、新たな展開を見せている。

第３節　遺跡の基本層序

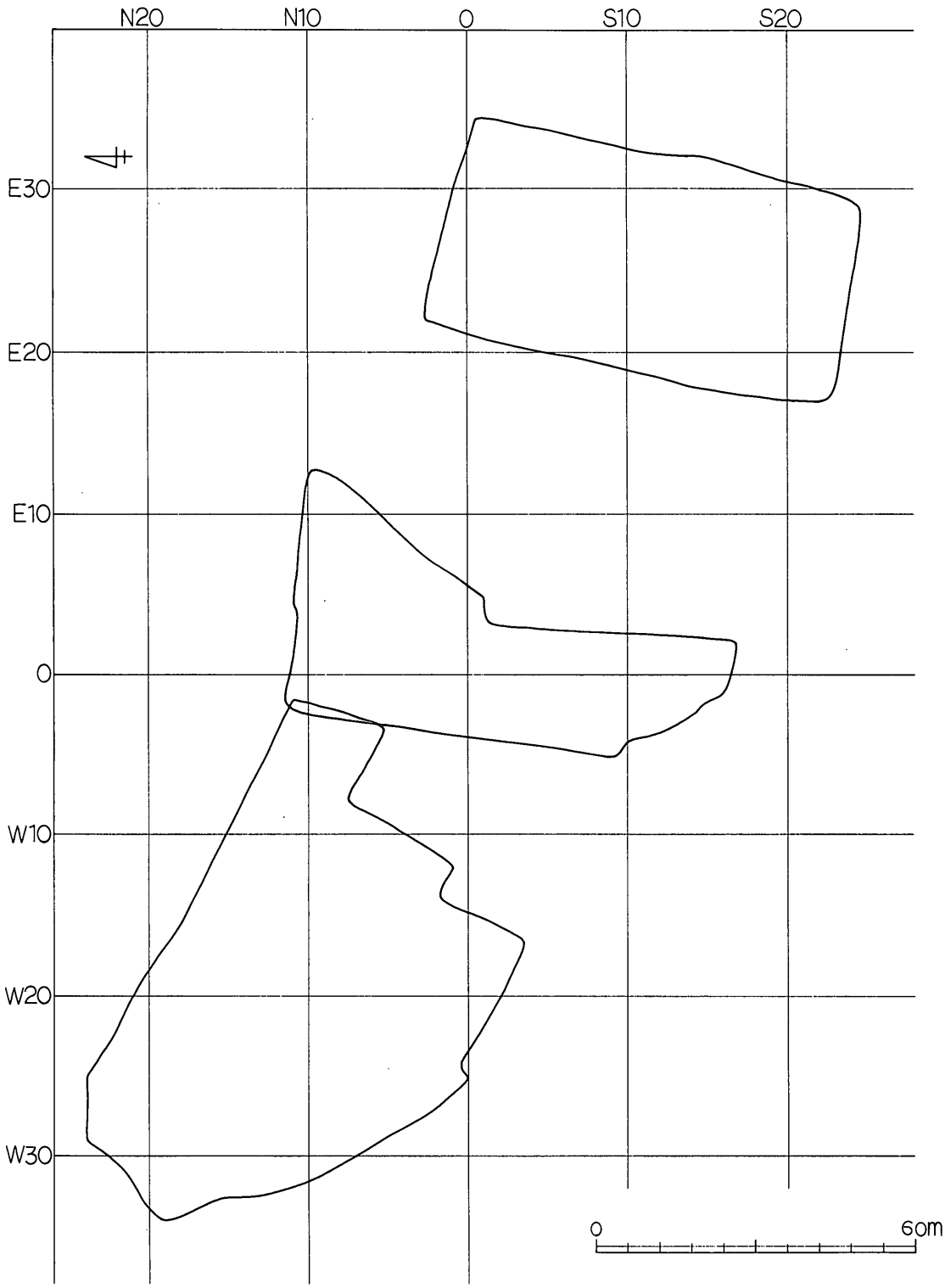
岳の鼻遺跡の基本層序は、第２図に示したとおりである。総じて砂質で、水捌けがよい。遺跡の北側には、室賀川の段丘が比高差２～３ｍで接しているが、この段丘寄りは湿地帯の様相を呈し、泥炭層を形成している。現在、室賀川は遺跡から比高差４～５ｍの下を流れているが、これは近年の浚渫と河川改修のため水位が下がったもので、以前はもっと高い位置を流れており、水源は近接し、住居は高燥な南下がりの、きわめて良好な住環境であったことが知られる。しかし、長い年月の間には、室賀川の氾濫と遺跡北方の城山の谷からの押し出しで、土砂の被覆も受けているようである。このため、遺構検出面は、ＧＬ－５０㎝前後と、隆起する上田盆地の中にあっては比較的深く、遺構の保存状態も良好で、このため、遺跡の広がりが判明できずにいた、とも言える。



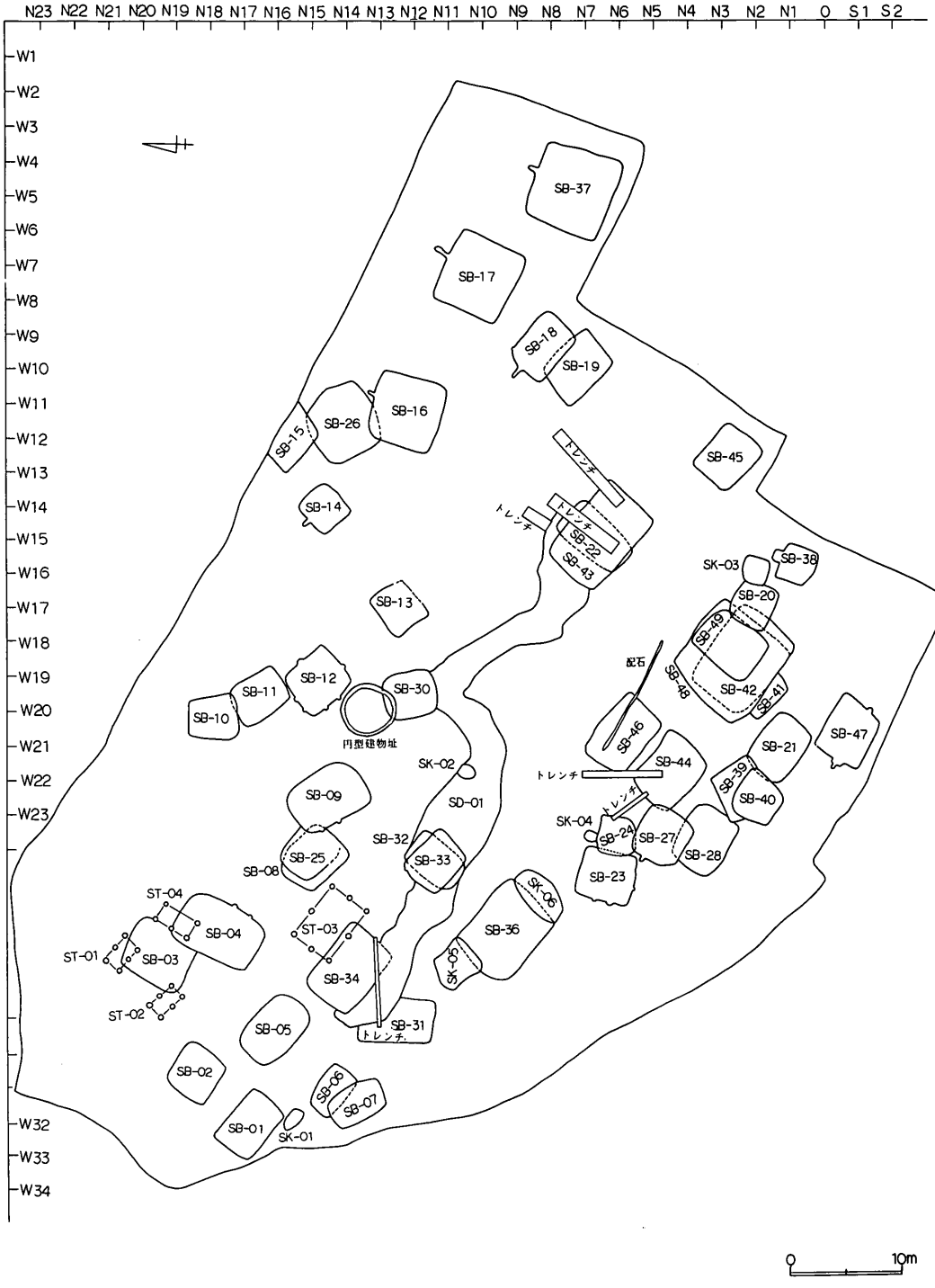
第２図　団体営土地改良総合整備事業下室賀地区計画平面図



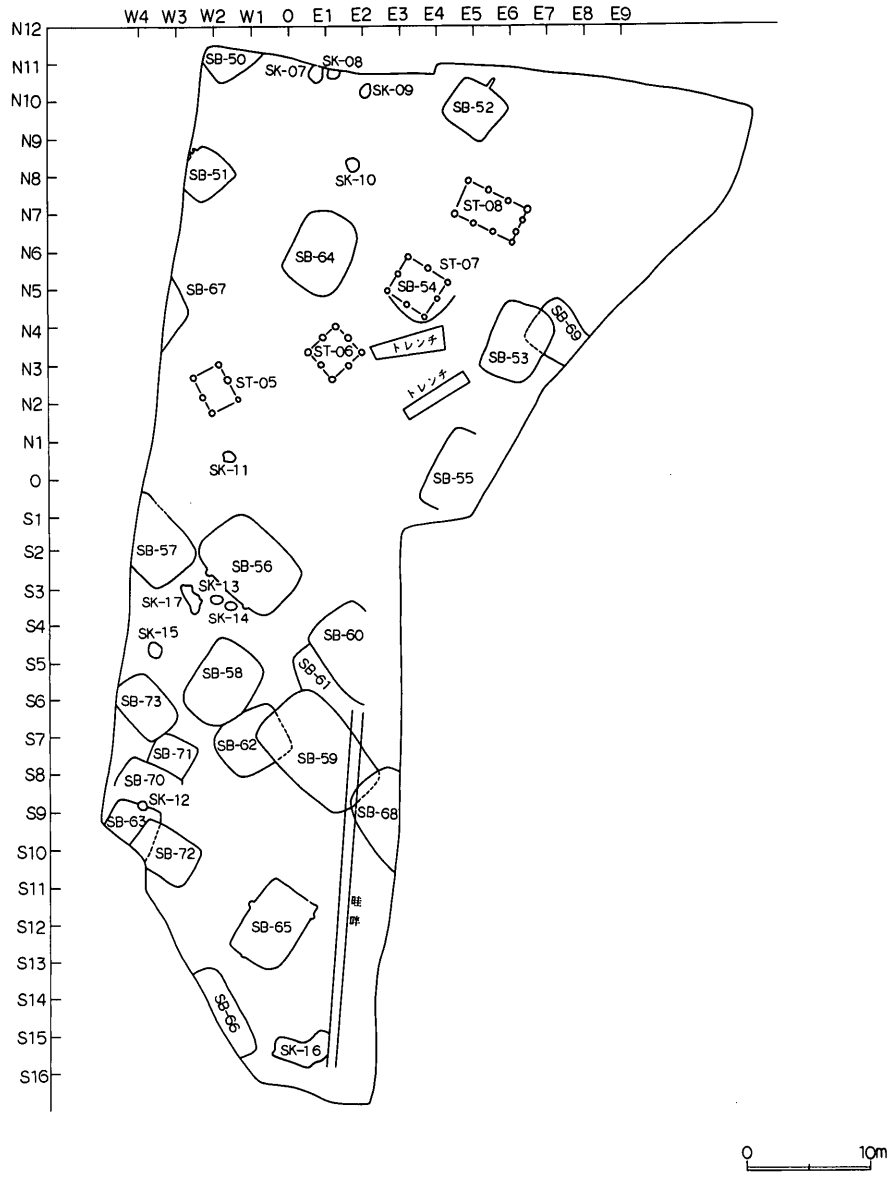
第３図　岳の鼻遺跡周辺地形図



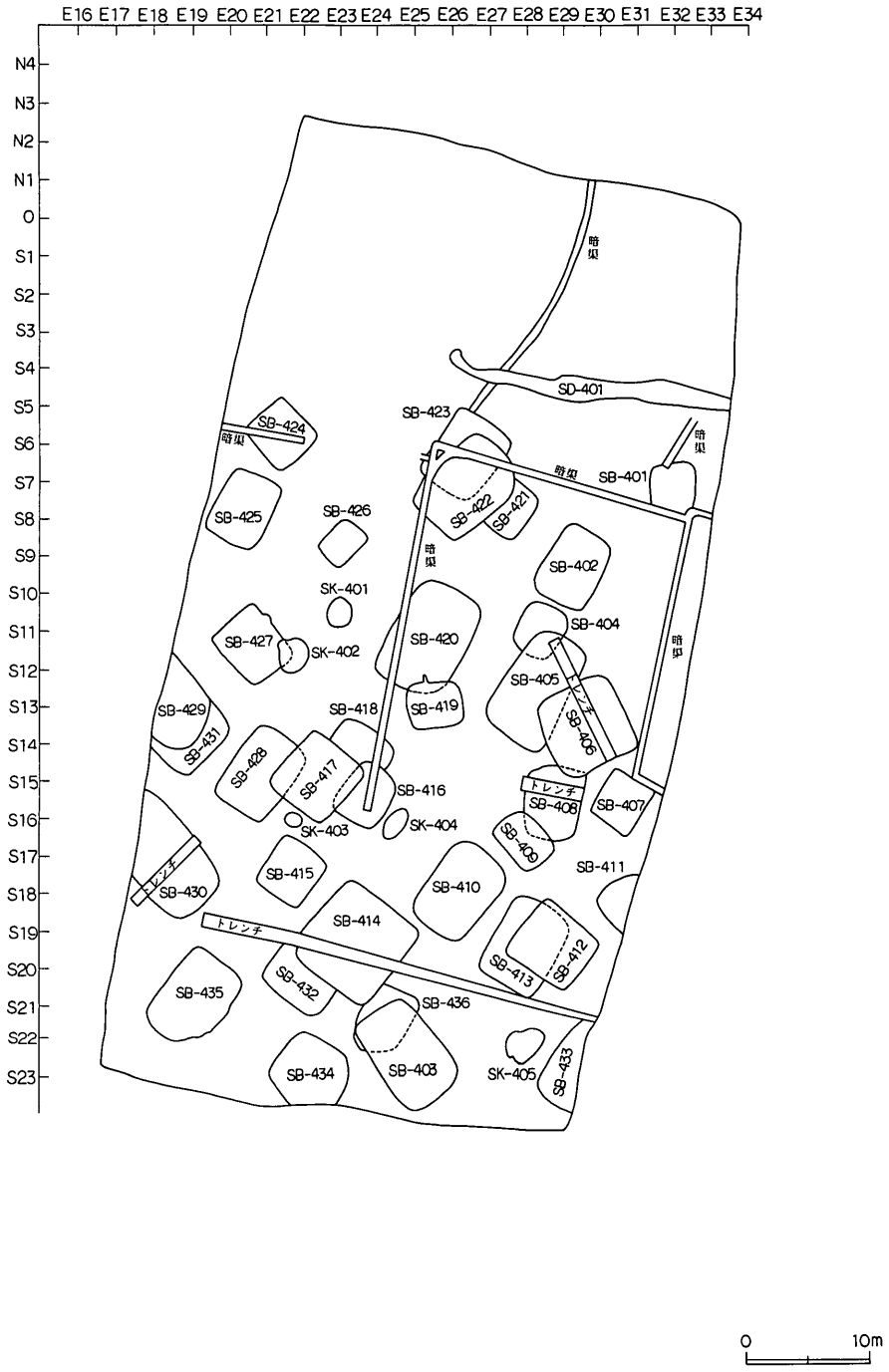
第4図　岳の鼻遺跡グリット配置図



第５図　岳の鼻遺跡Ａ地区遺構配置図（１）



第6図　岳の鼻遺跡A地区遺構配置図（2）



第７図　岳の鼻遺跡Ｂ地区遺構配置図

第三章　調査の結果

第１節　調査の概要（遺構）

検出した遺構は、住居址が１０７件、掘立柱建物址が８件、土坑が22件、ピットが７８７件で、溝址が３件である。そのうち弥生時代の住居址が72件、古墳時代の住居址が28件、奈良時代の住居址が１件、平安時代の住居址が６件検出された。

（１）弥生時代・４世紀初頭の住居址

弥生時代の住居址からは後期後半の箱清水式土器を出土した。

平面形態でみると、その全容が確認できる住居址のうち、方形の住居址は２件でA－2号・26号住居址である。その他の住居址はすべて長方形である。また、遺構観察表には長方形と記したが、A-13号、B－424号・４３４号住居址も方形に近い平面形態を呈している。これらの方形、または方形に近い平面形態を呈する住居址のうちB－434号住居址は４世紀初頭の遺物を出土する。

炉について、その形態、位置、数について以下に述べる。

①形態　地床炉、土器敷き炉、埋甕炉があり、地床炉が最も多かった。炉縁石を持つ炉は確認されなかった。地床炉には、床を浅く掘り窪めた炉と、掘り窪みのない焼けただけの炉の２種類がある。土器敷き炉はA－2号・44号・60号・64号、B－429号・４３５号住居址の６件に確認され、埋甕炉はA-43号、B－401号・４０３号住居址の３件に確認された。

② 数　全容がほぼ確認できる住居址51件のうち、31件が複数の炉を有する。

③位置　床の中央、奥の主柱穴間、それ以外の場所の３か所がある。これらが組み合わさって複数存在している場合もある。

その中でも最も多い例は、奥の主柱穴間と床中央の２か所、またはこれに加えて、その他の場所１か所以上の組み合わせで炉がある住居址で、全容がほぼ確認できる住居址48件うちの23件が、この例である。また、地床炉には窪みのある炉とない炉があると前述したが、単数、複数炉の場合にかかわらず、奥の主柱穴間の炉のほとんどは窪みがあり、床中央の炉のほとんどは、窪みがない炉である。

次に、特徴のある住居址について述べる。

床に一部の高まりを持つ住居址は、A-69号住居址、B－434号・４３５号住居址の３件である。また、ベッド状遺構とは言い難いが、A－9号住居址は北東の壁際の床に帯状に高まりを持ち、A-43号住居址はピット１を囲むように床が盛り上がっている。B－410号住居址は、床面とは異なる粘土の塊を床に乗せて部分的に盛り上げている。また、壁の一部が階段状を呈している住居址は、B-４０８号・４０９号・４２１号・４２８号住居址である。

周溝を持つ住居址は、B－413号住居址とB－428号住居址である。B－428号住居址は住居址の増改築でも行ったのか、この住居址の周溝は北西、南西、南東の３方は壁の直下に掘り込まれているが、北西部は壁より１ｍ余り内側の床面に掘り込まれている。また、周溝とは言い難いがA－9号住居址は、北東の壁際に長さ1．6ｍほどの溝が掘られている。

貼床を施している住居址はA-56号・57号・61号・64号・65号・67号、B－435号住居址である。そのうち、A-57号・61号・65号・67号住居址は部分的に貼床が確認でき、もとは全体に貼られて

いたのか、最初から部分的であったのかは不明である。

その他、A-13号・34号、B-402号・408号・430号住居址は、炭化材をおびただしく出土しており、これらは焼失住居の可能性もあるが、焼失住居としては、遺物の出土量が少なかった。

（2）古墳時代の住居址

該期の住居址のうち、A-45号、B-406号住居址が前期、B-417号・433号住居址が中期、そのほかは後期の遺物を出土している。特徴のある遺構について述べる。

A-10号・14号、B-407号・417号・419号・433号住居址からは覆土や床から多量の炭化材を出土しており、焼失住居の可能性が高く、B-417号・419号住居址からは、ほぼ完形の遺物を多く出土している。

貼床を施している住居址は、A-14号・16号・17号・18号・37号・51号住居址で、暗褐色粘土や色の異なる土を混合した粘土を使用している。

壁の一部が階段状を呈している住居址は、A-51号、B-412号・414・417号・19号住居址である。

特殊な施設を持つ住居址としては、A-17号、A-37号住居址で、竈の傍に方形のピットを持つものである。遺構観察表には貯蔵穴と記したが、玉造り工房址にみられる特徴をもつ。住居址からは玉や未成品は確認されなかったが、ピットの覆土からは多量の灰色の粘土が出土している。A-17号住居址の場合は4枚の板状の木材が並んで検出された。

A-16号住居址は4本の主柱穴の回りの床面が盛り上がった状態で検出され、柱を残したまま廃絶されたということも想像できる。

（3）奈良、平安時代の住居址

まとまった遺物を出土し、遺構もしっかりとした状態で検出されたのはA-23号住居址で、10世紀の特徴を持つ遺物が出土した。A-38号・47号・63号・70号・71号・72号住居址は桑畑の耕作時に破壊され、遺構の保存状態は悪く、遺物も充分に出土しなかった。

（4）その他の遺構

掘立柱建物址は時代は判別し難いが、A-1~4号掘立柱建物址は弥生時代後期の住居址を切っている。A-2号掘立柱建物址の覆土からは土師器の甕が出土した。

土坑は、遺構に伴う遺物を出土したものはB-403号・405号土坑で弥生時代の土坑である。

A-1号、A-2号溝址はA地区の中央を流れる。プランに一定の規格性がないため、自然流路と考えた。A-1号溝址にはA-29号・30号・32号・33号・34号住居址と重複する。そのうち、A-30号・32号・33号住居址はA-1号溝址の堆積土を掘りこんで構築され、更に同住居址の覆土を切る水流の跡が認められることから、この溝は何度かの断絶期をもつと考えられる。A-1号溝址の堆積土からは、縄文時代中期中葉から平安時代の土器が出土した。

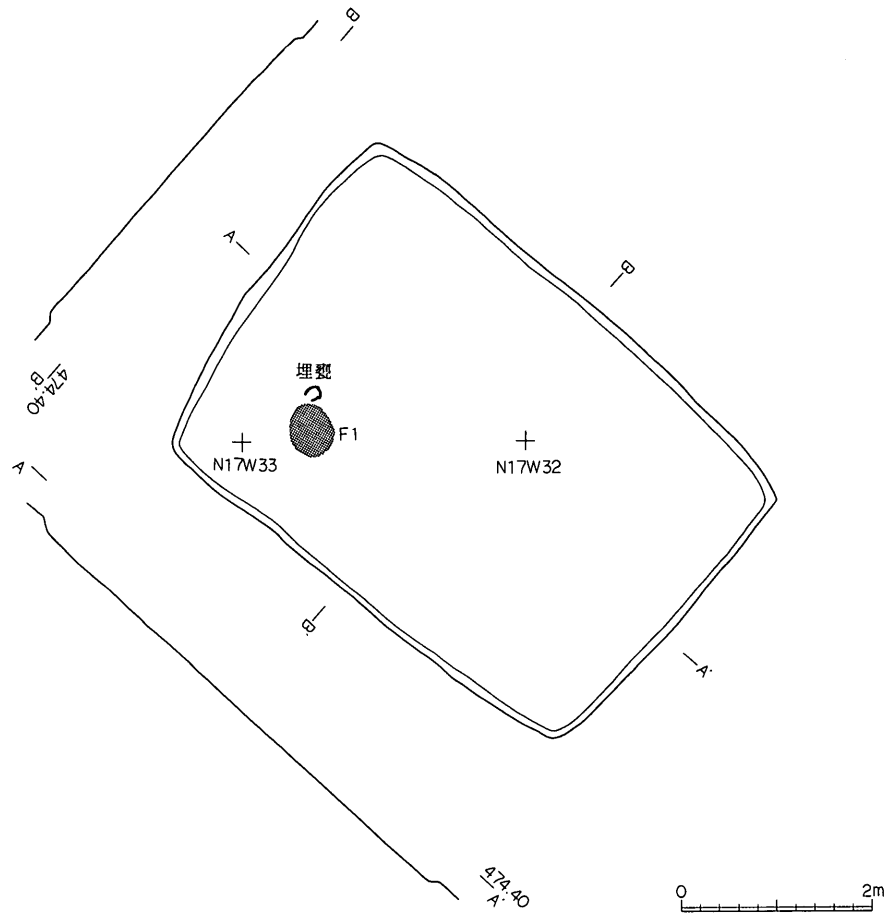
また、特殊な遺構としては、A-1号配石遺構とA-1号周溝遺構である。A-1号配石遺構はA-46号住居址を切っている。A-1号配石遺構は、偏平でほぼ同大の河原石を組んだ、トンネル状の遺構である。五十嵐幹夫氏は『考古雑録』（128）で本遺跡のこの遺構について、水田の下層につくった導水のための施設であろうと述べている。

また、A-1号周溝遺構は、溝状の竪穴が円形に掘り込まれている遺構で、弥生時代後期のA-30号住居址を切る。その平面形プランは、まるでコンパスで線を引いたようである。溝の覆土及びサークルの内側からはほとんど遺物は出土しなく、この遺構の性格も解らなかった。

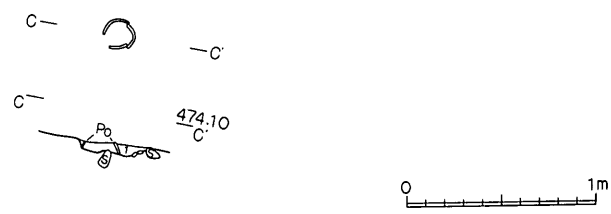
第２節　遺　構

１　竪穴住居址

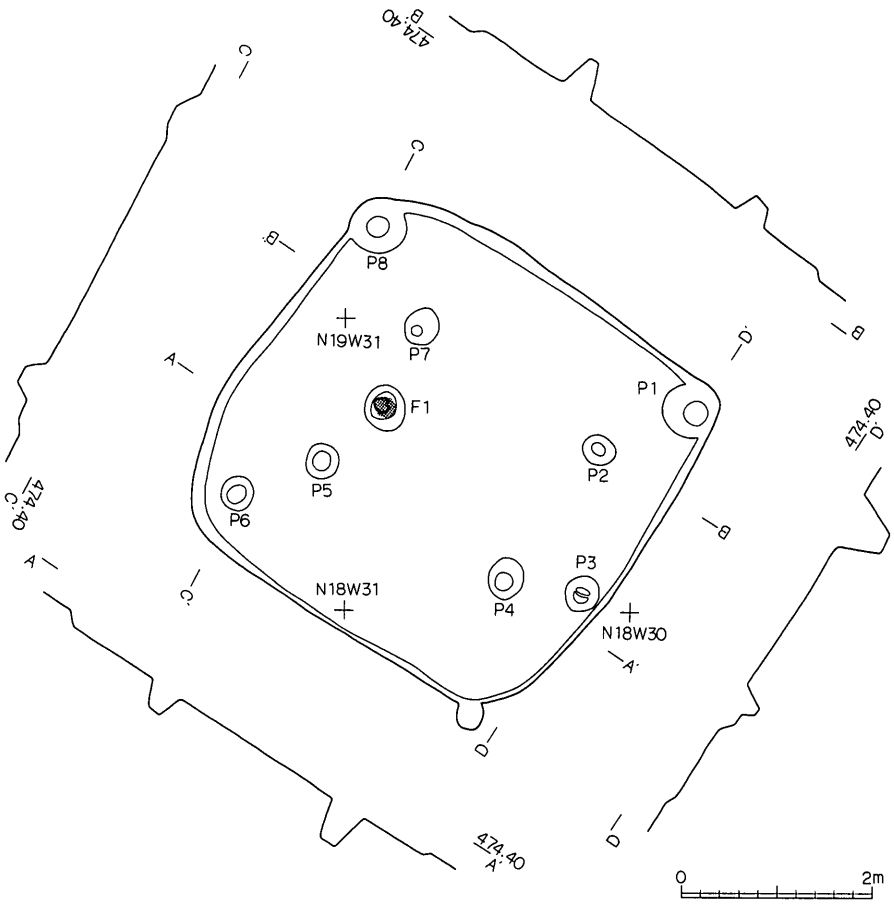
平成３年度（１９９１年度）発掘



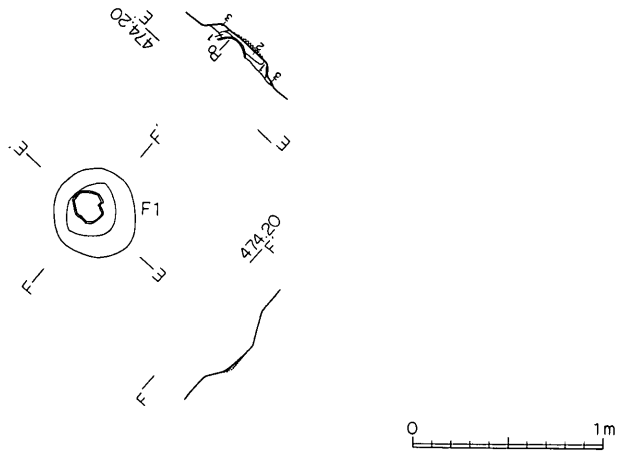
第８図　Ａ－１号住居址実測図



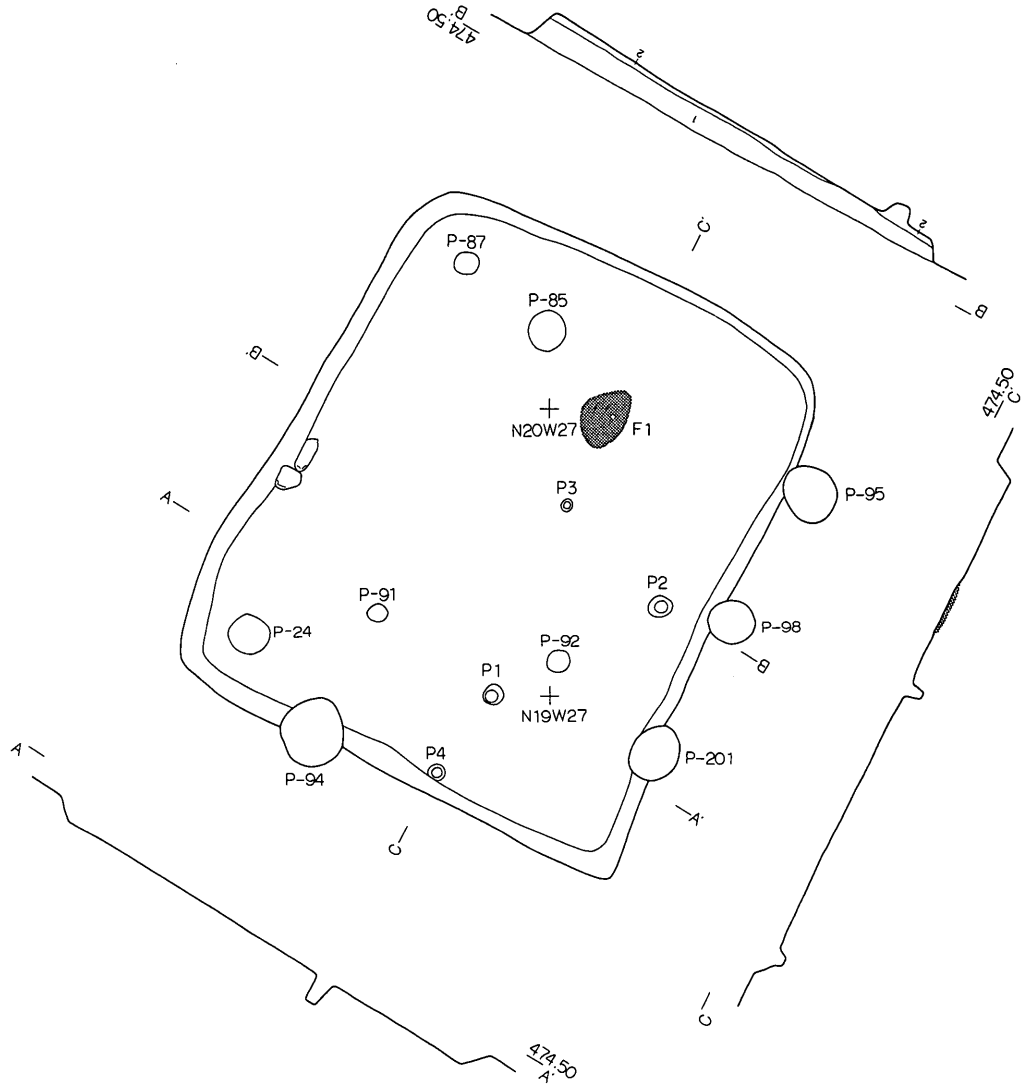
第９図　Ａ－１号住居址埋甕実測図



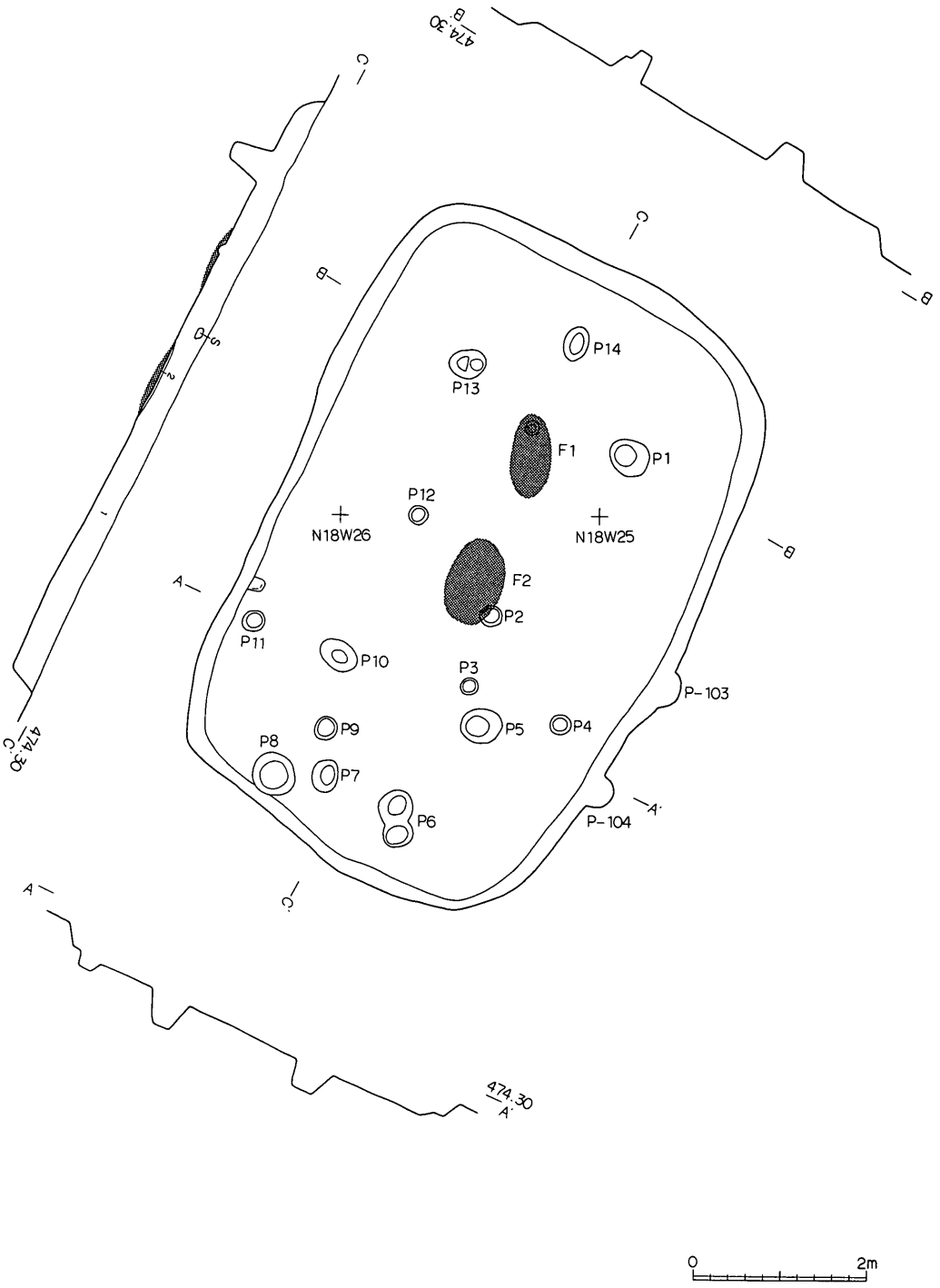
第１０図　Ａ－２号住居址実測図



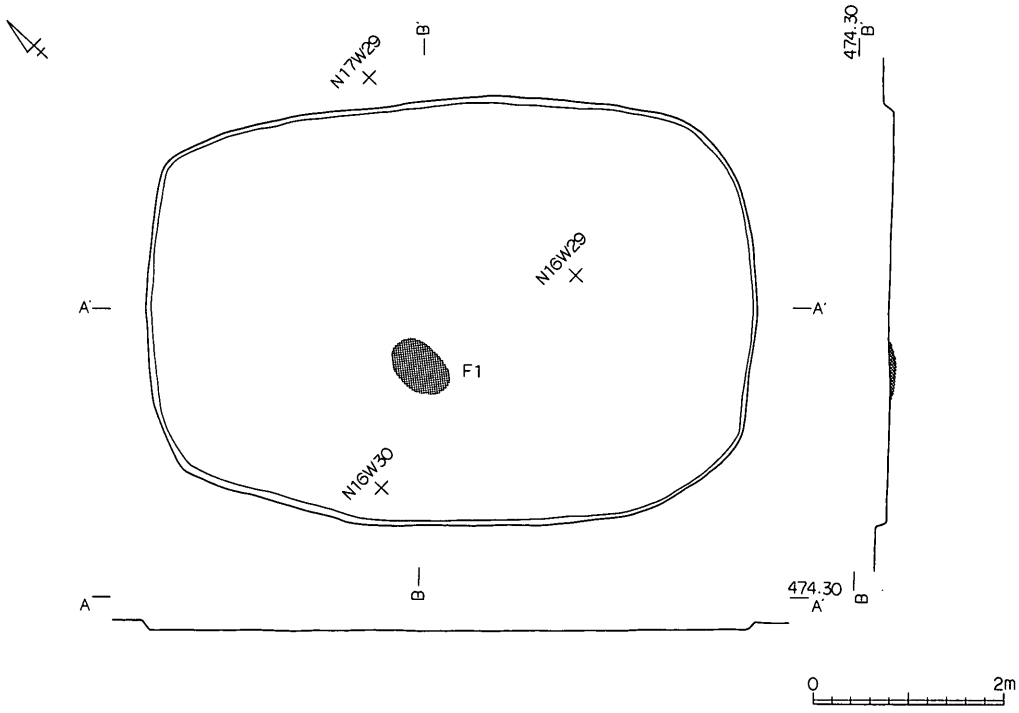
第１１図　Ａ－２号住居炉址実測図



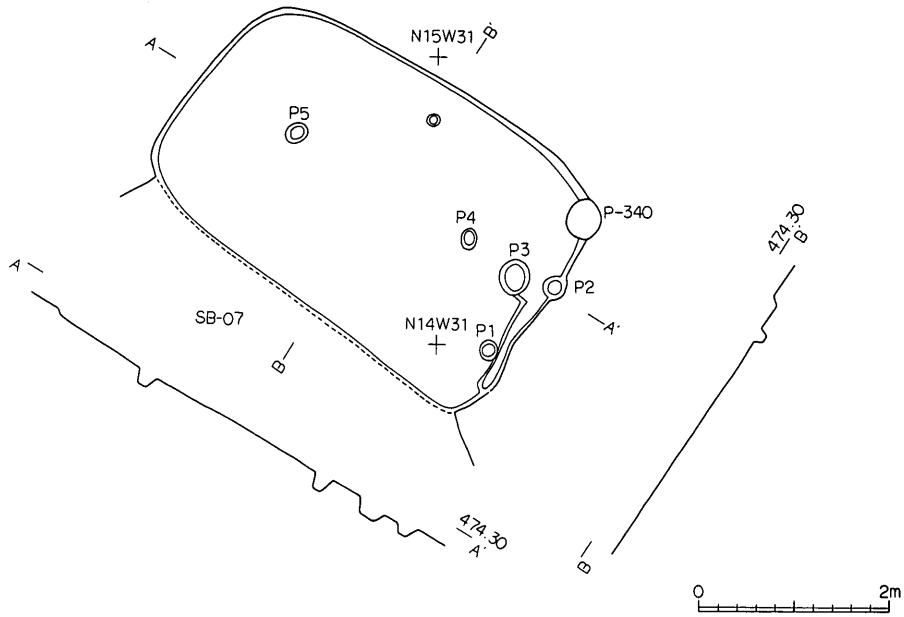
第１２図　Ａ－３号住居址実測図



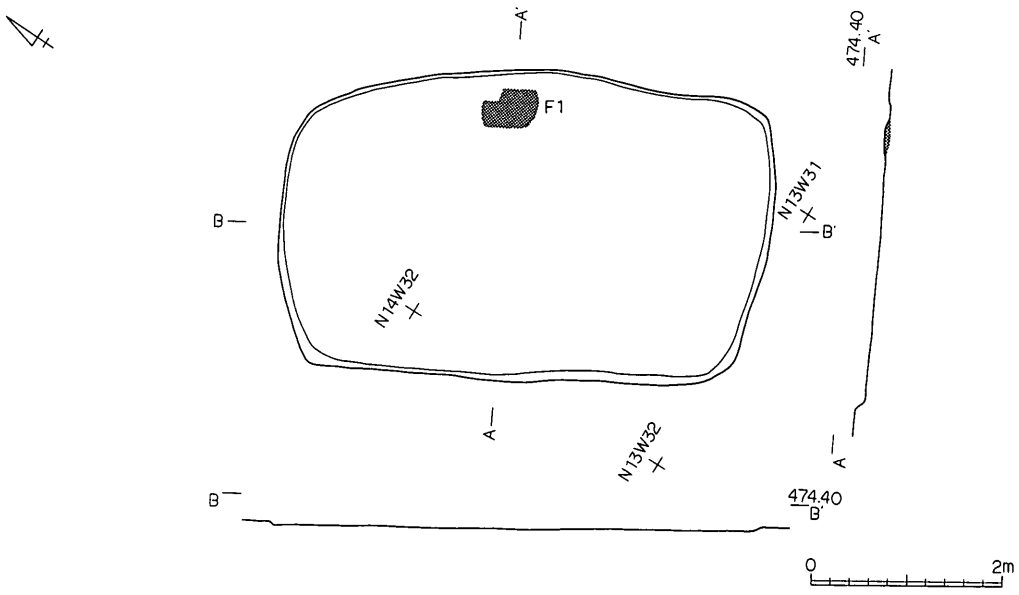
第１３図　Ａ－４号住居址実測図



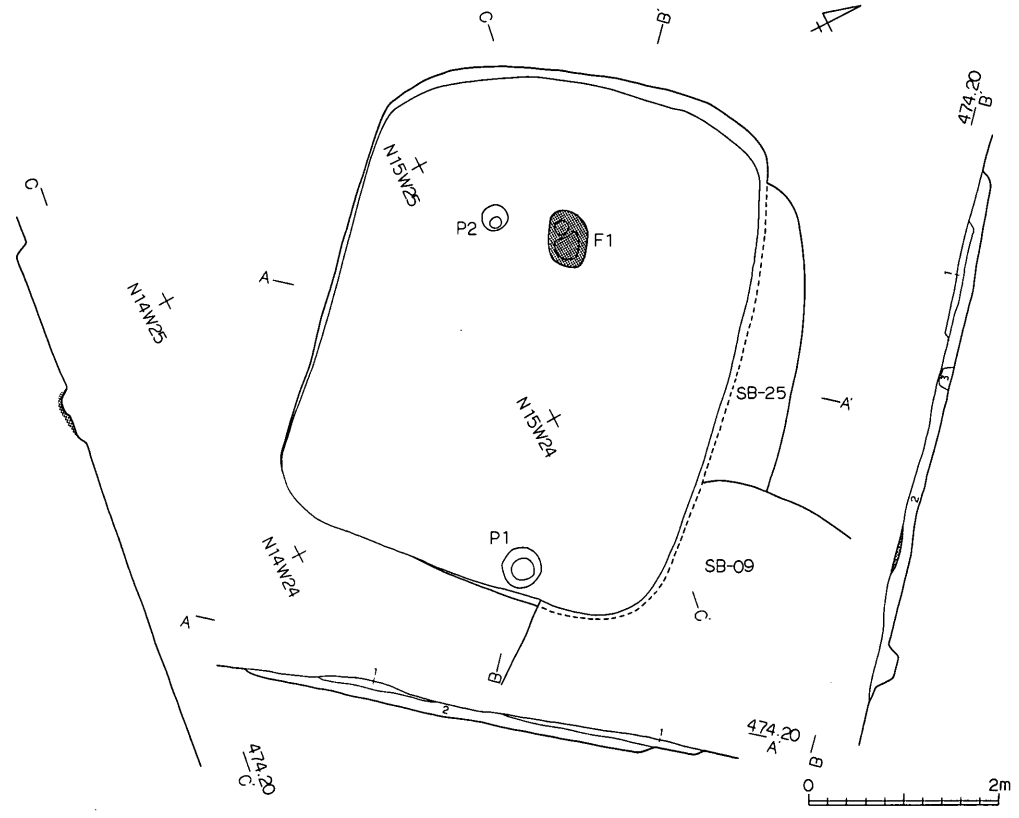
第１４図　Ａ－５号住居址実測図



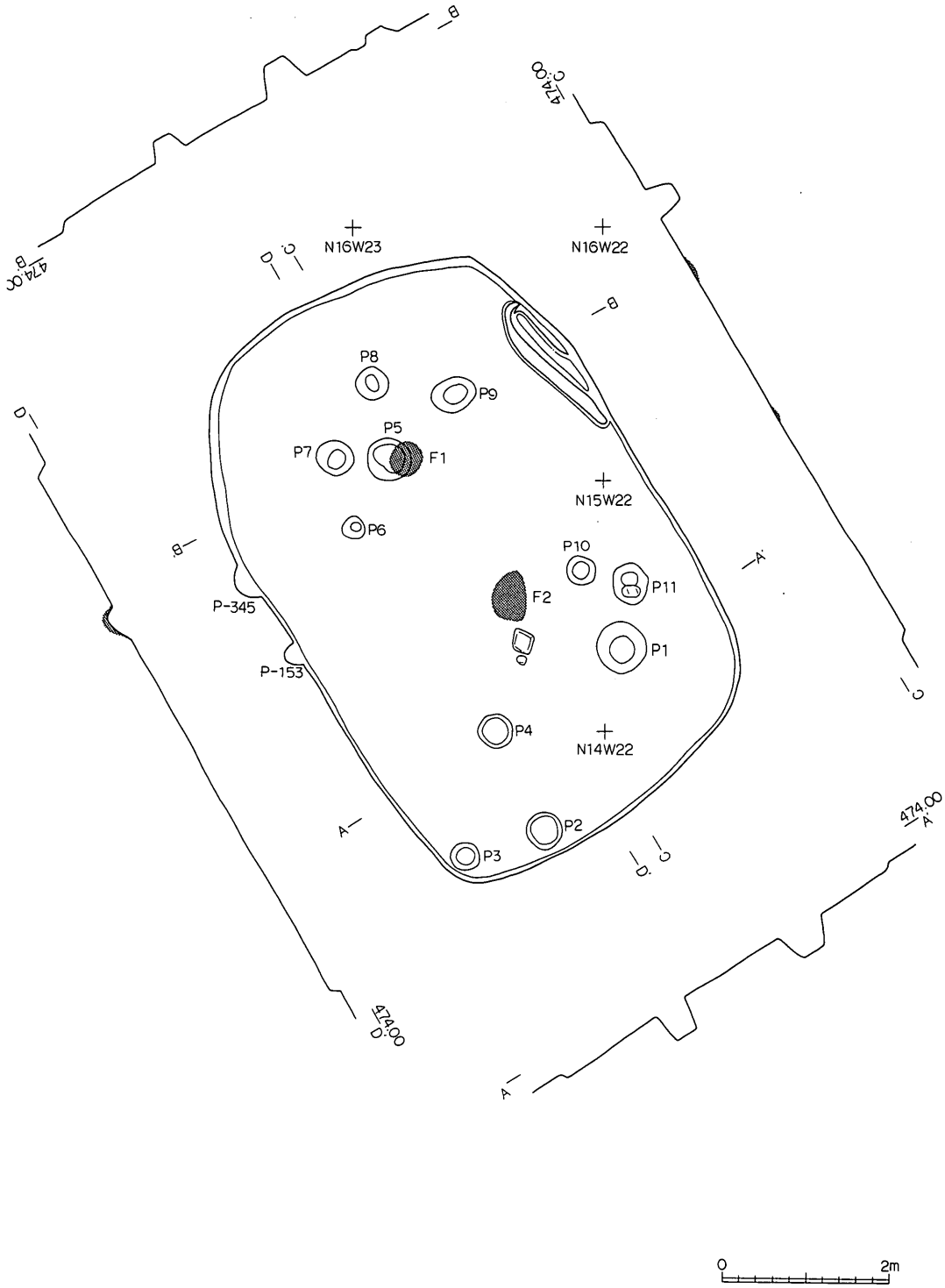
第１５図　Ａ－６号住居址実測図



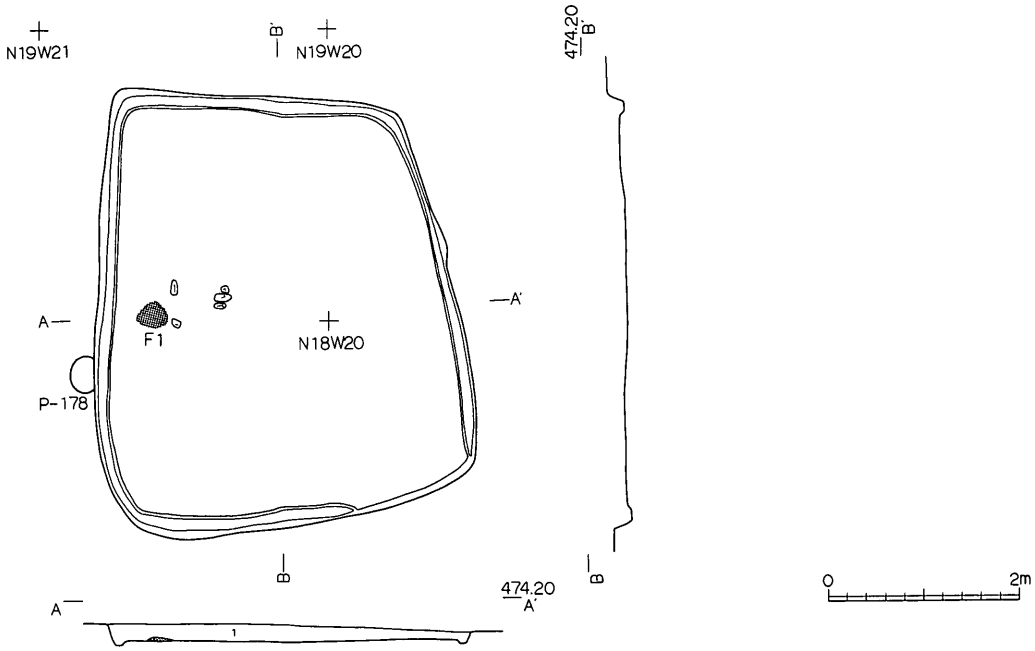
第１６図　Ａ－７号住居址実測図



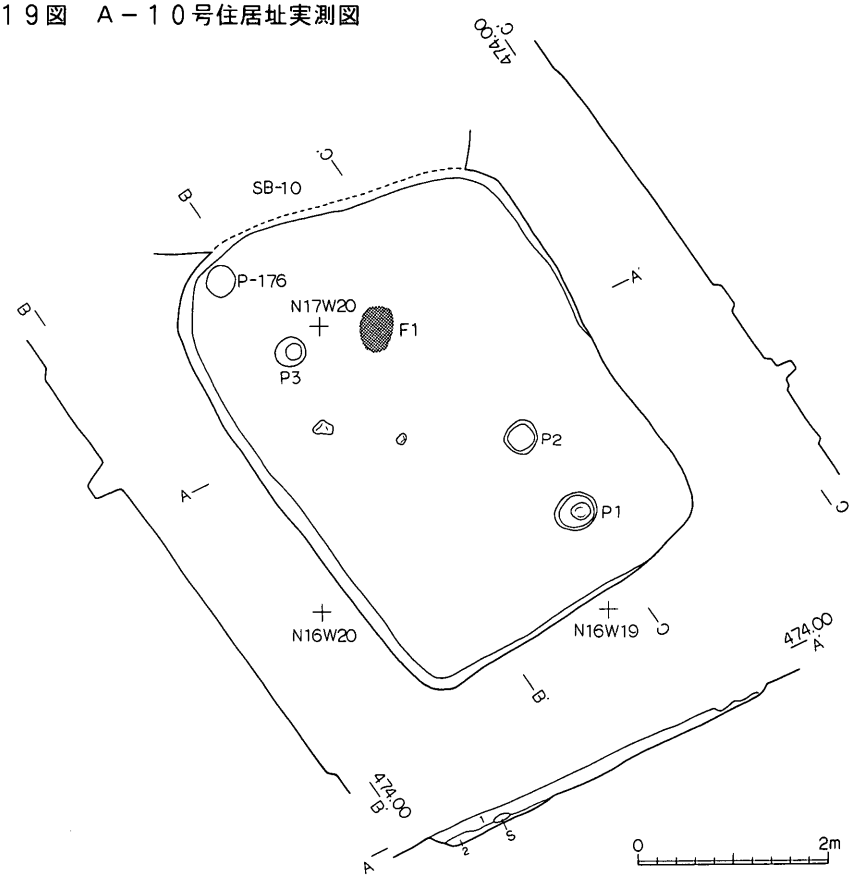
第１７図　Ａ－８号住居址実測図



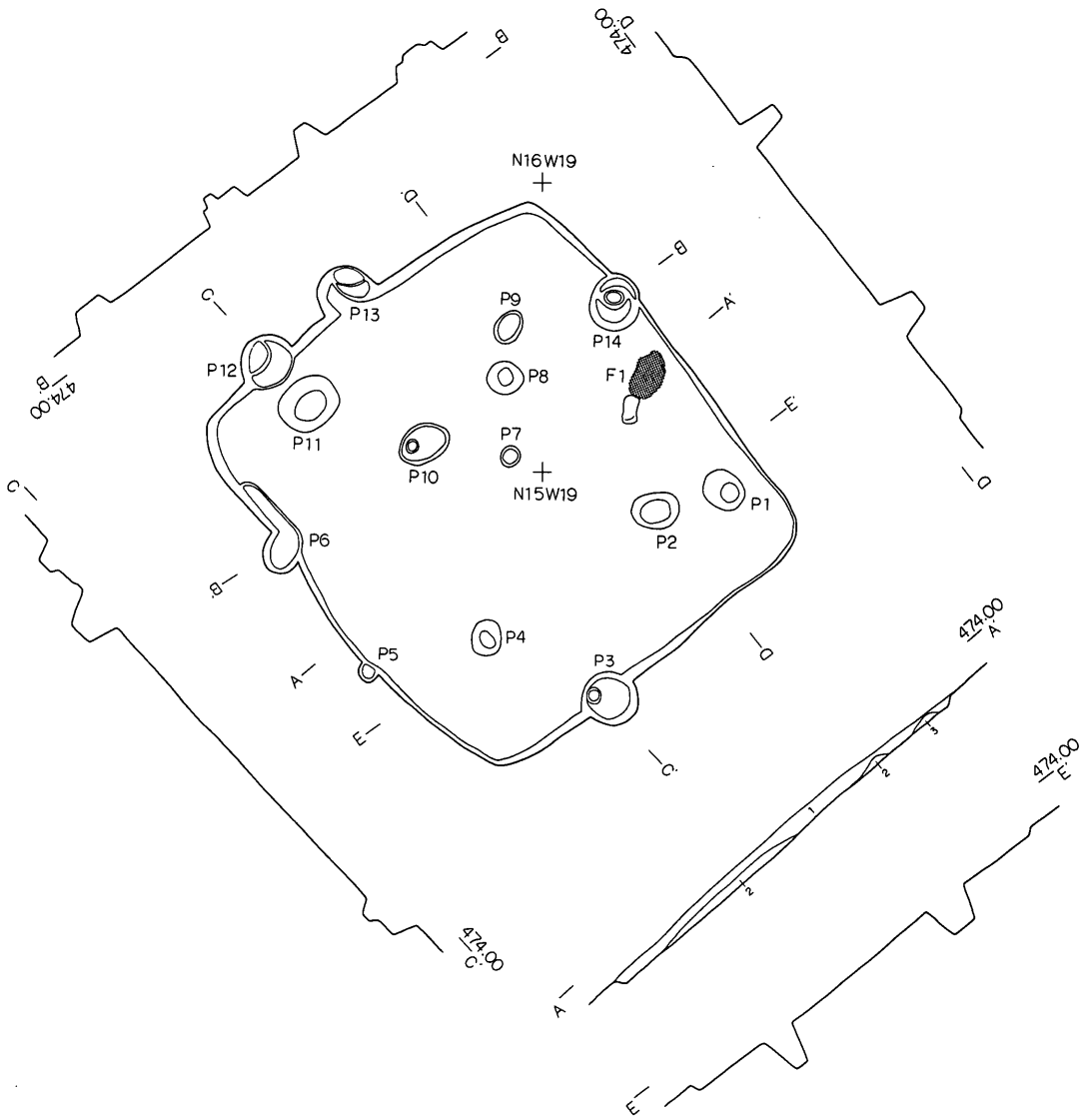
第１８図　Ａ－９号住居址実測図



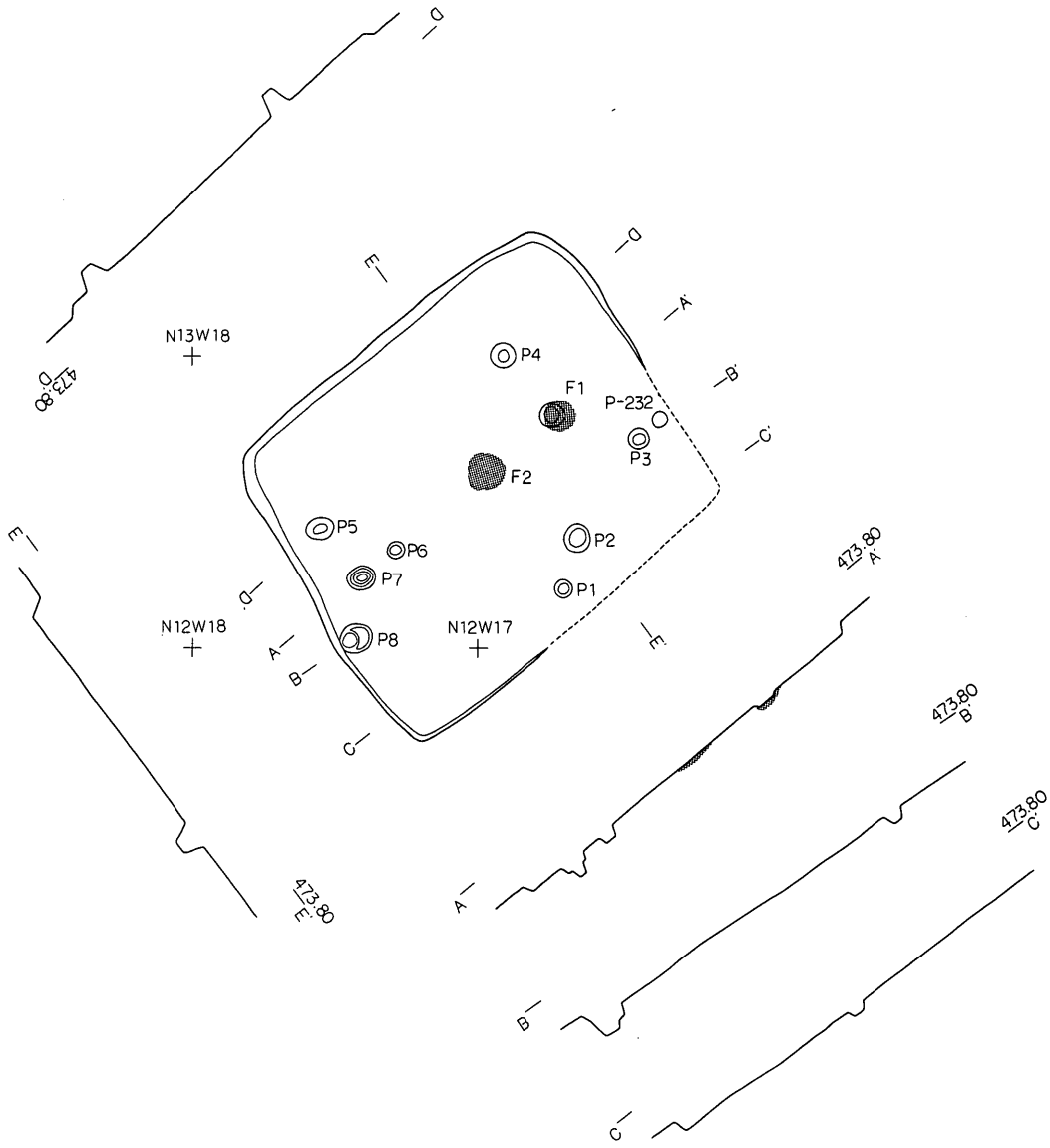
第１９図　Ａ－１０号住居址実測図



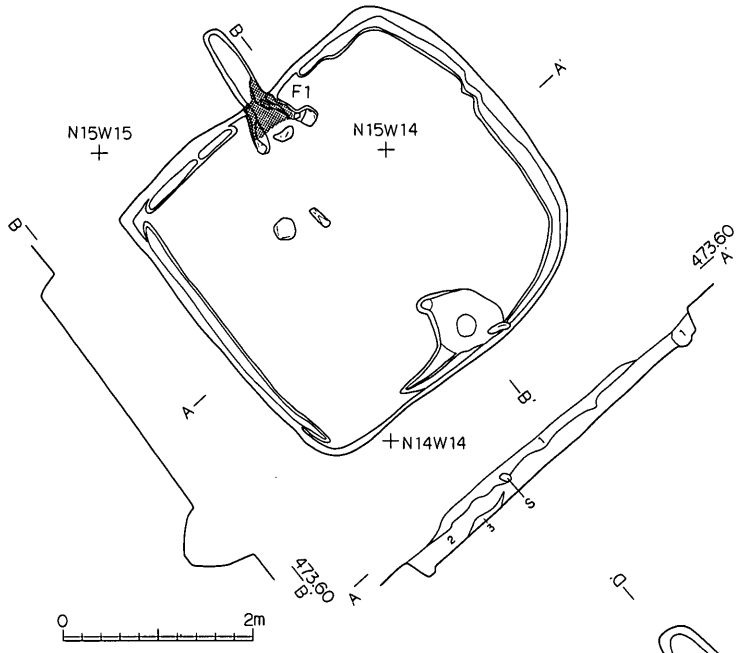
第２０図　Ａ－１１号住居址実測図



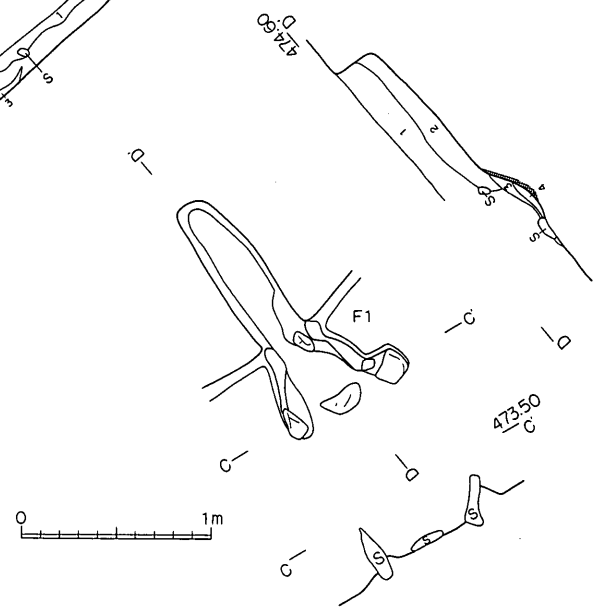
第２１図　Ａ－１２号住居址実測図



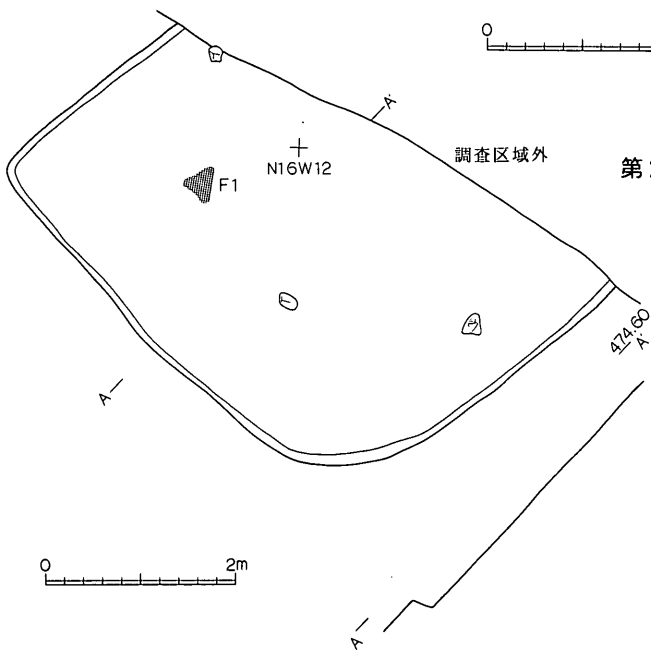
第２２図　Ａ－１３号住居址実測図



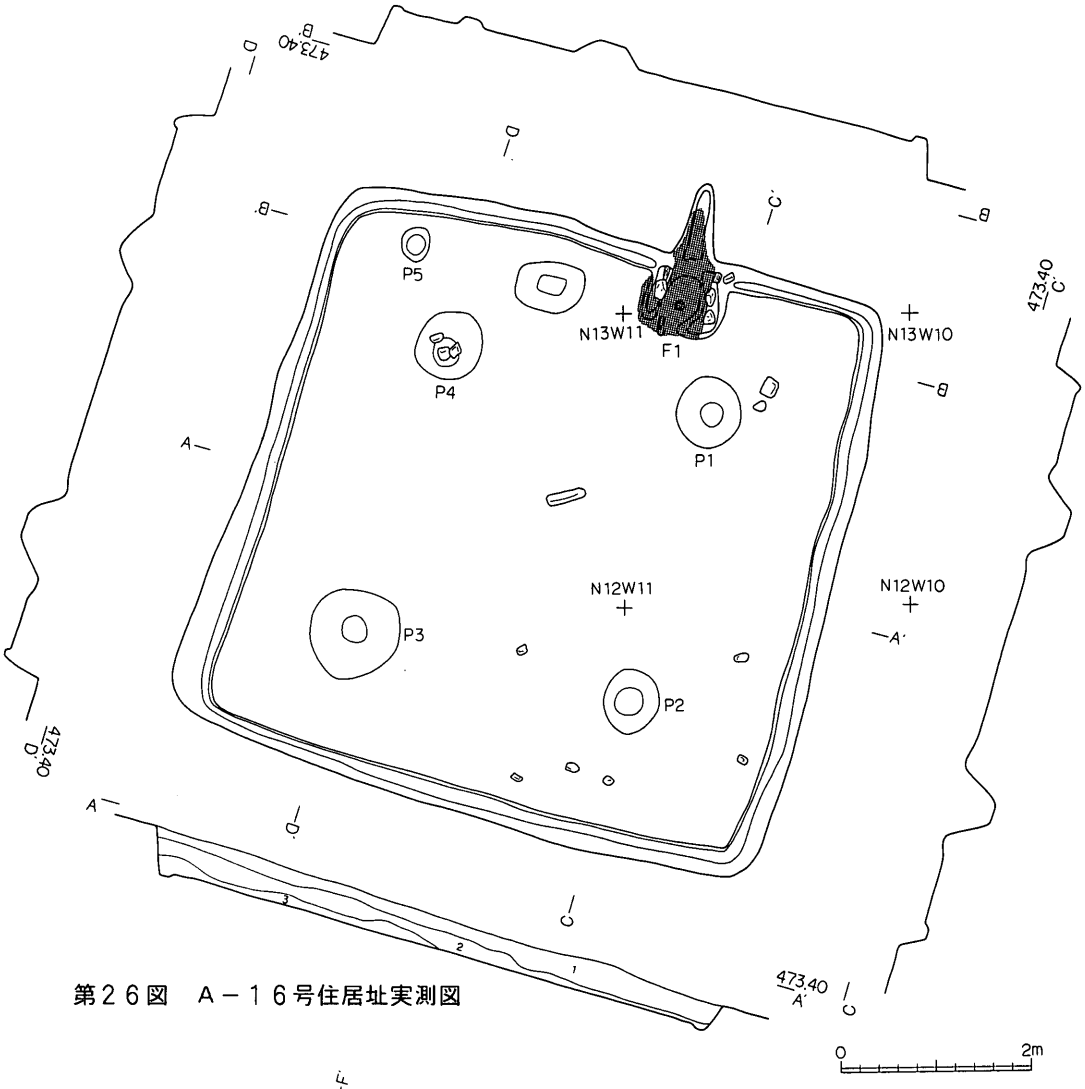
第２３図　Ａ－１４号住居址実測図



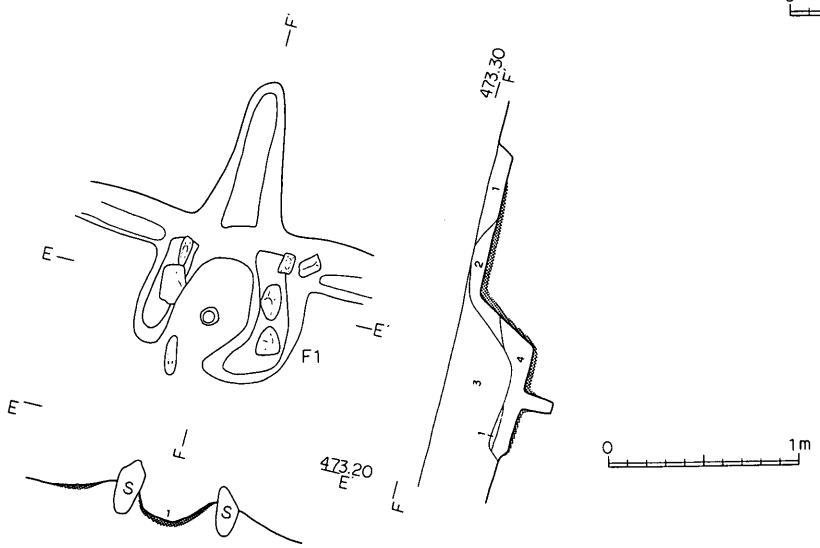
第２４図　Ａ－１４号住居竈址実測図



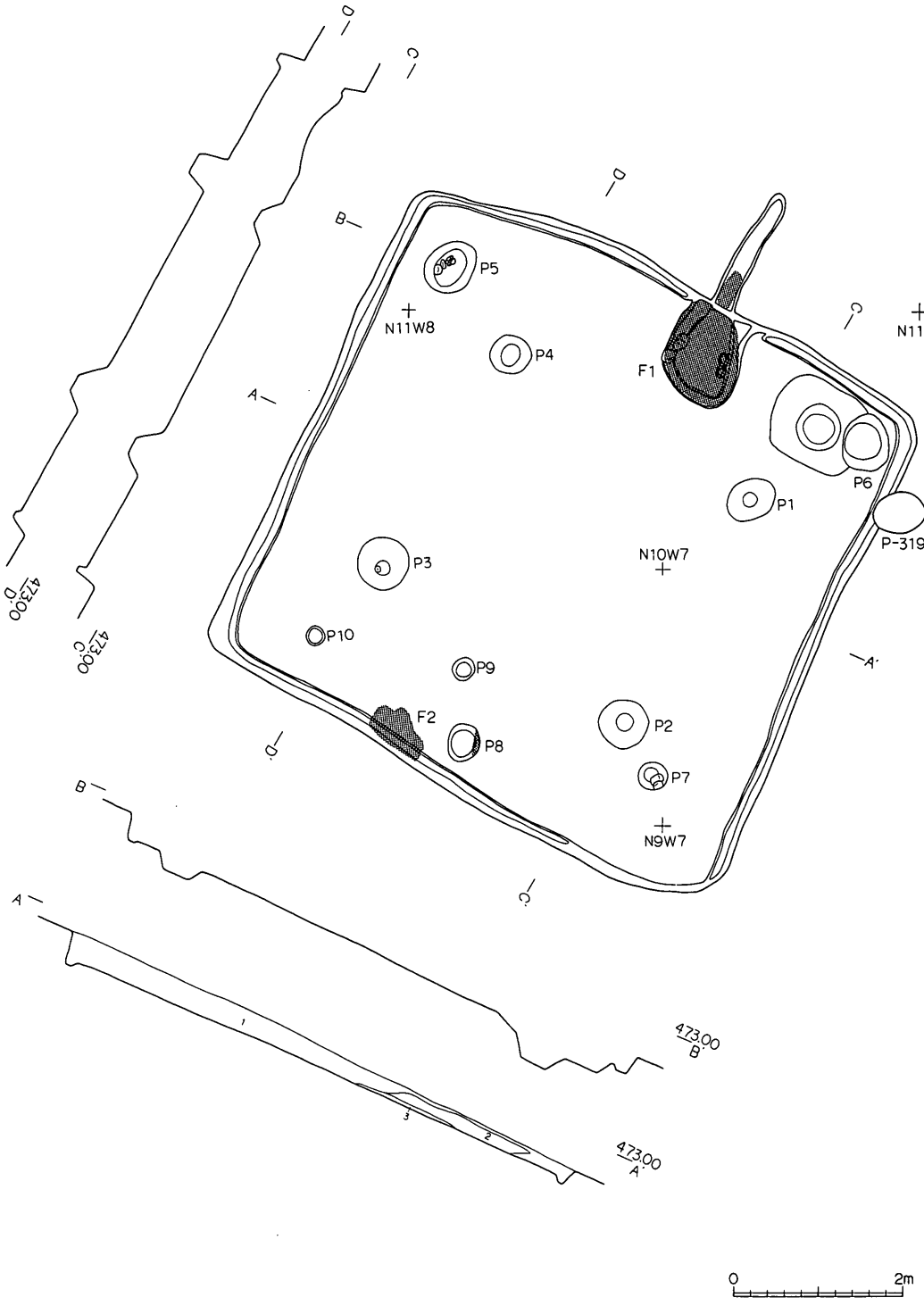
第２５図　Ａ－１５号住居址実測図



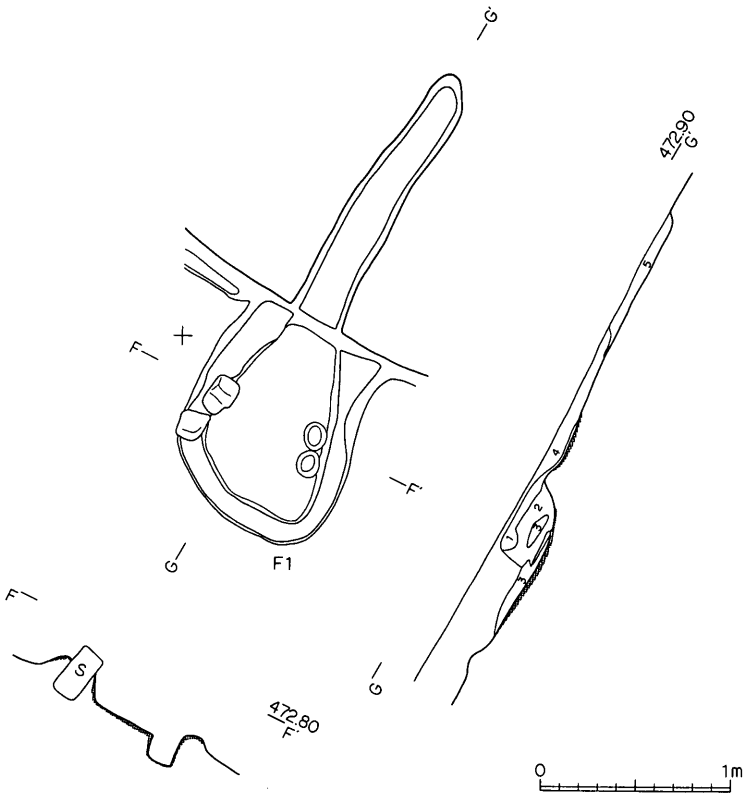
第２６図　Ａ－１６号住居址実測図



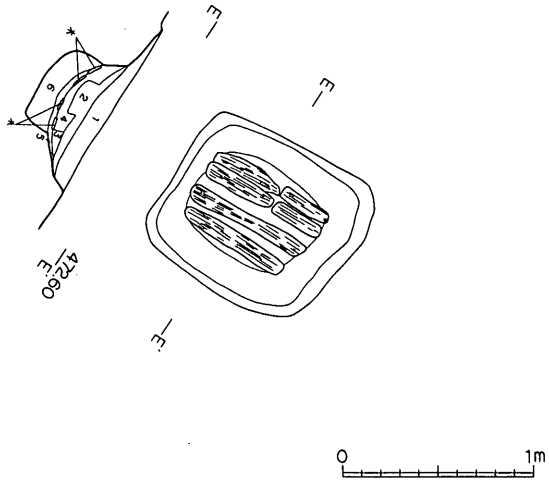
第２７図　Ａ－１６号住居竈址実測図



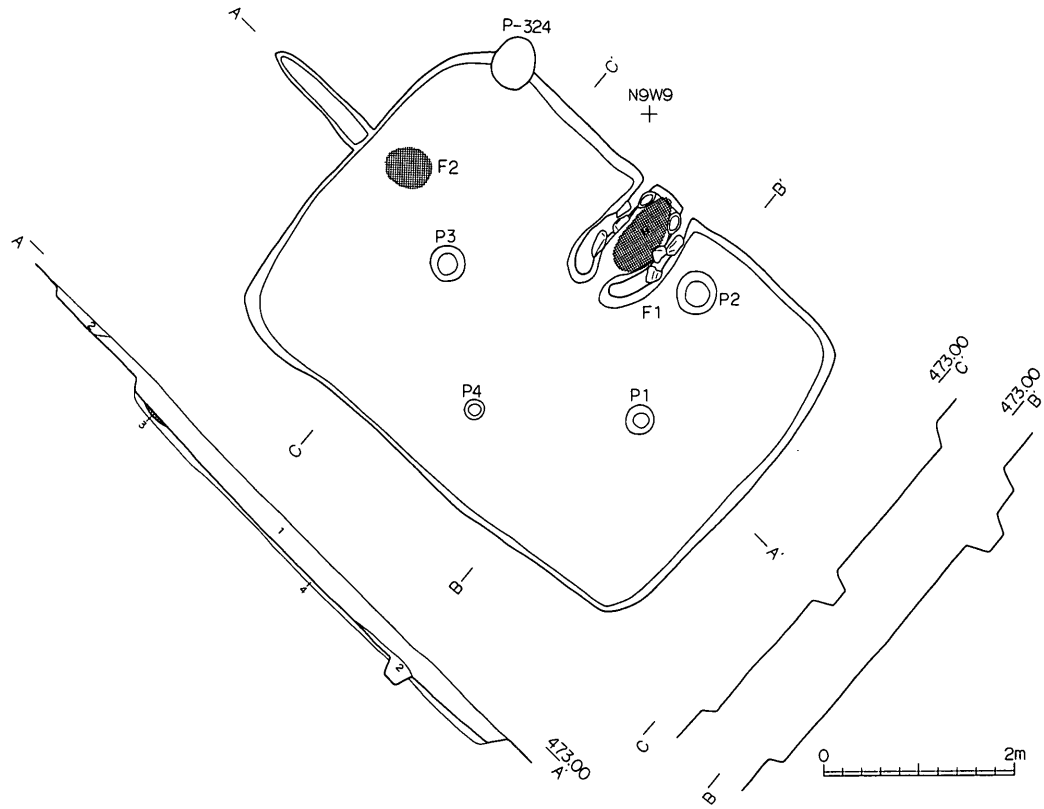
第２８図　Ａ－１７号住居址実測図



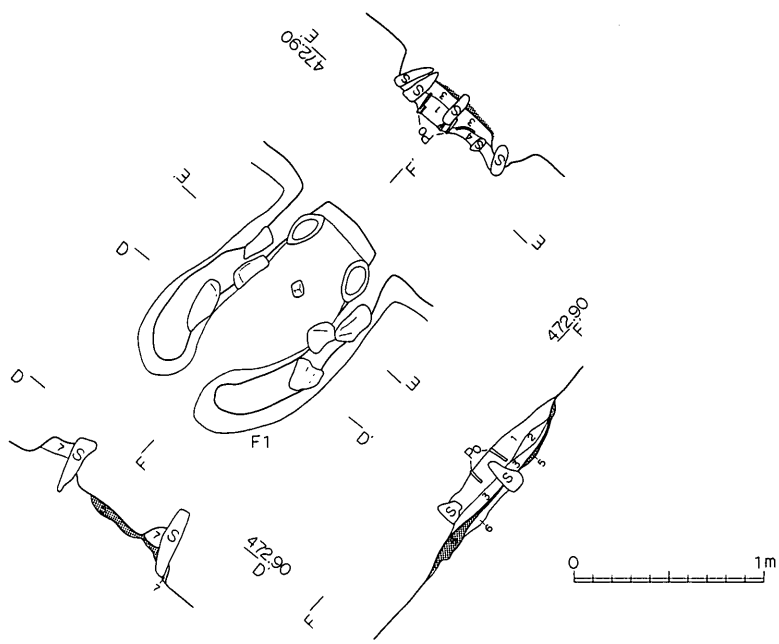
第２９図　Ａ－１７号住居竈址実測図



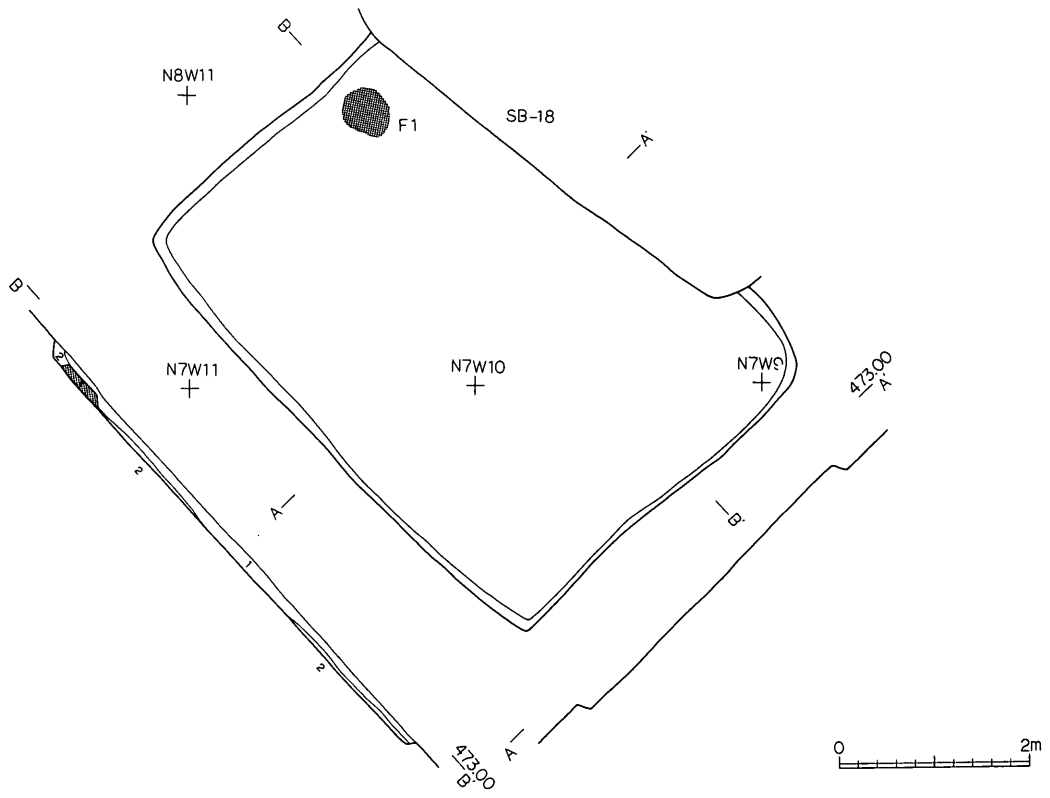
第３０図　Ａ－１７号住居貯蔵穴址実測図



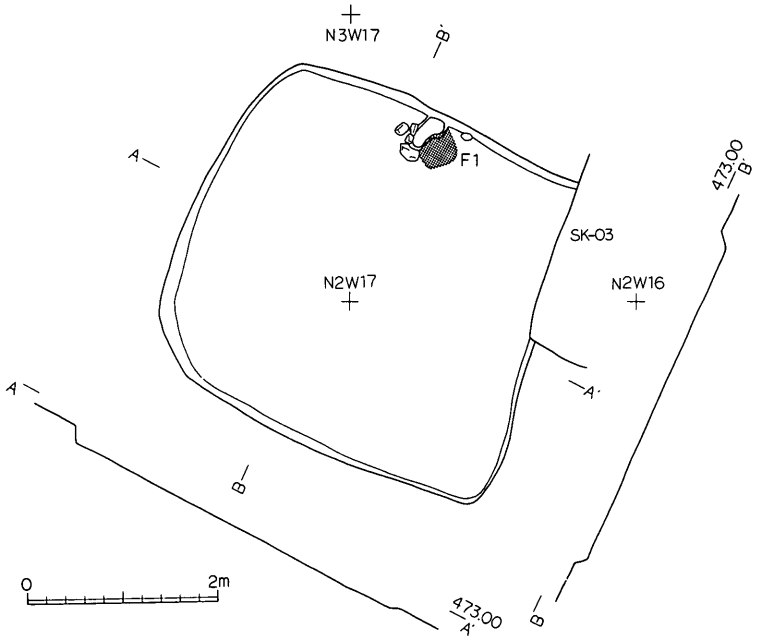
第３１図　Ａ－１８号住居址実測図



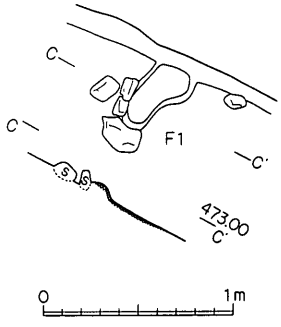
第３２図　Ａ－１８号住居竈址実測図



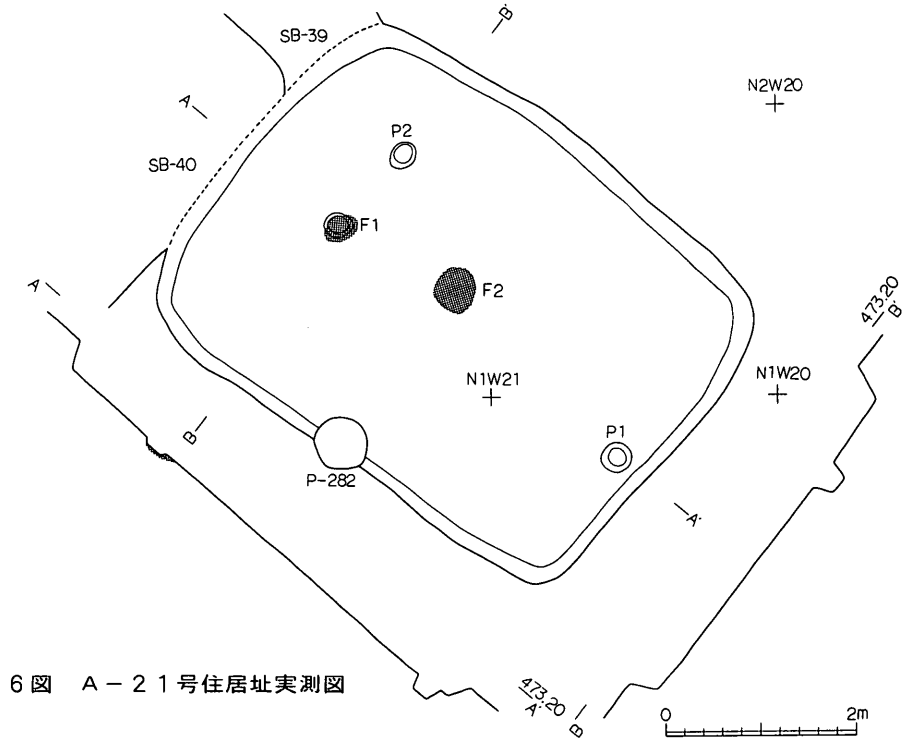
第３３図　Ａ－１９号住居址実測図



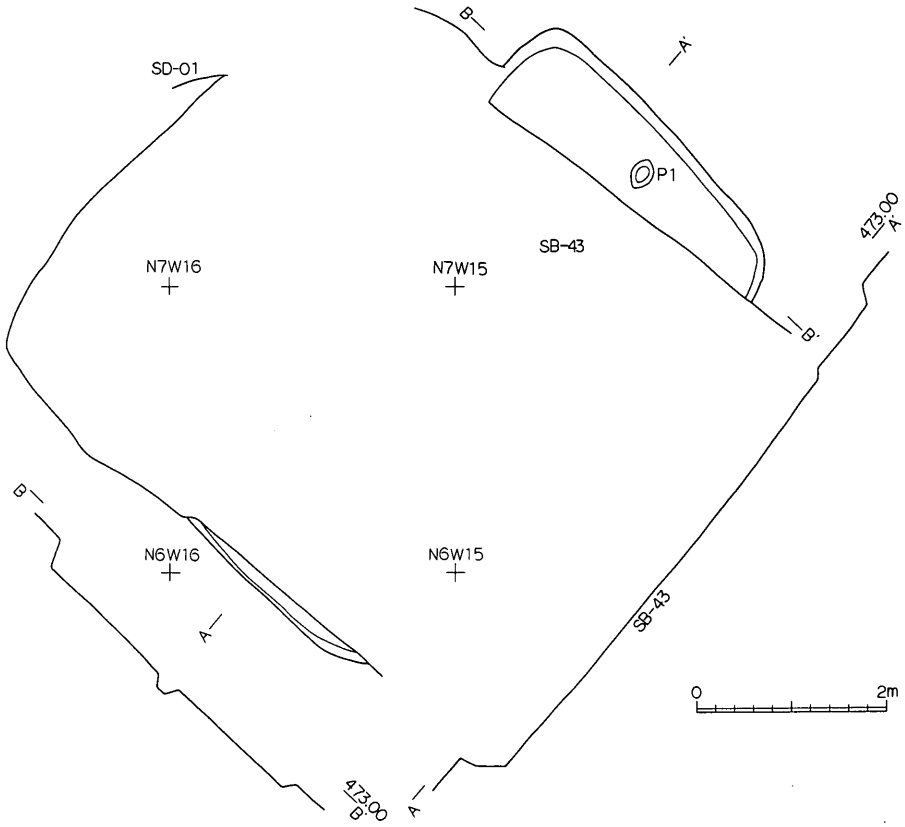
第３４図　Ａ－２０号住居址実測図



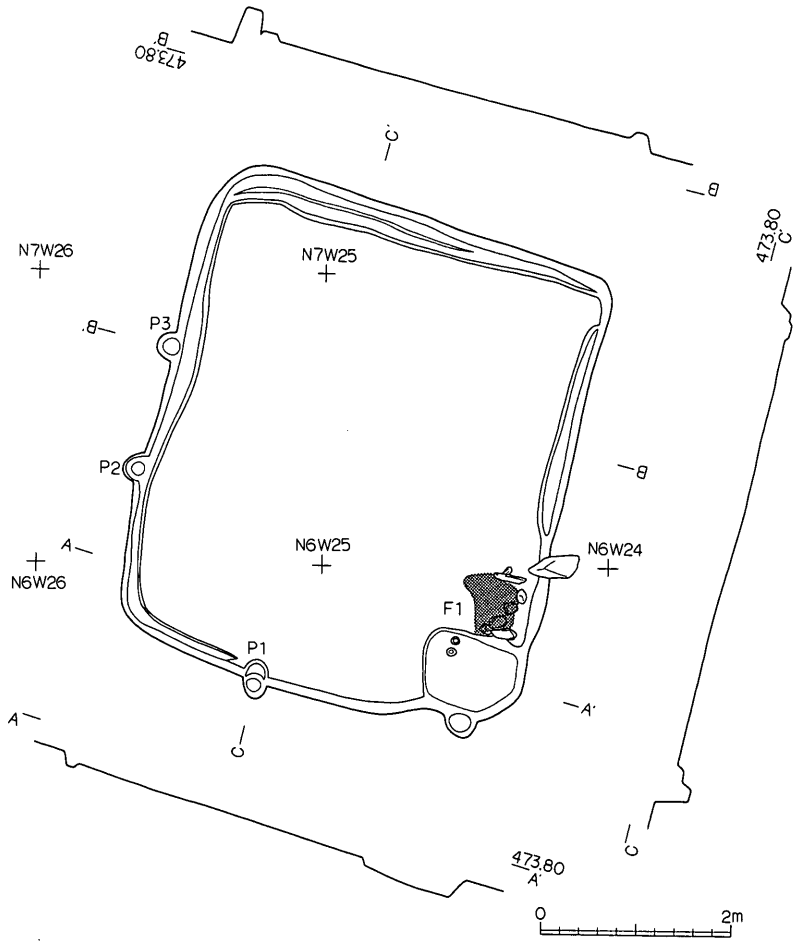
第３５図　Ａ－２０号住居跡実測図



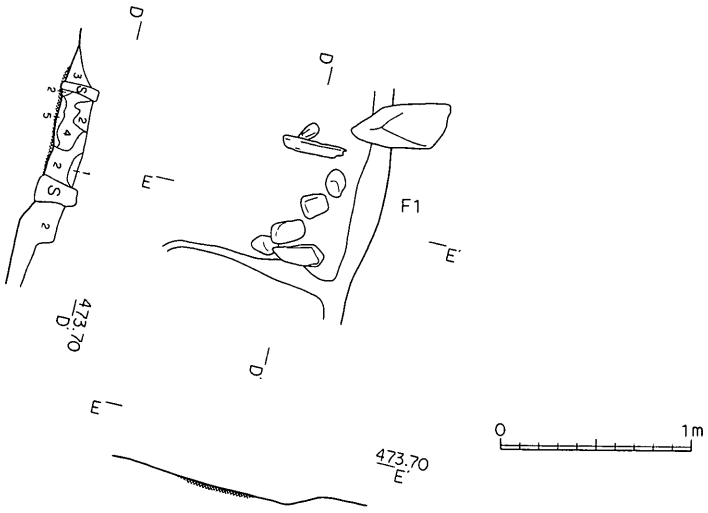
第３６図　Ａ－２１号住居址実測図



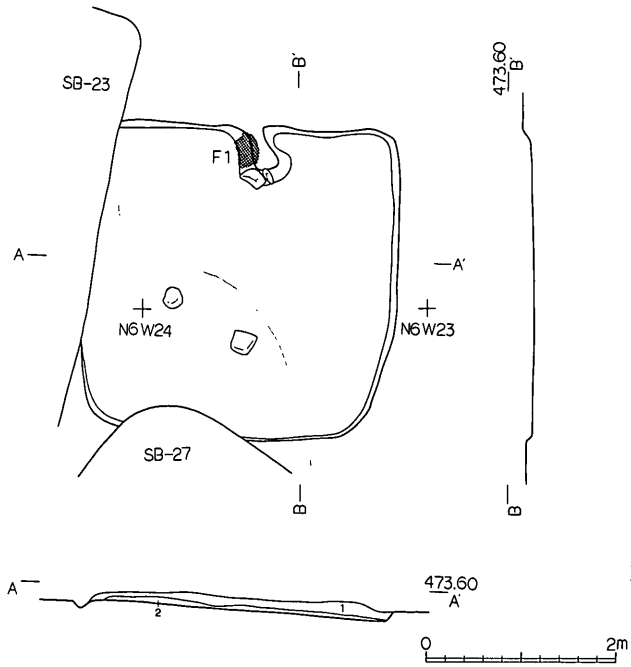
第３７図　Ａ－２２号住居址実測図



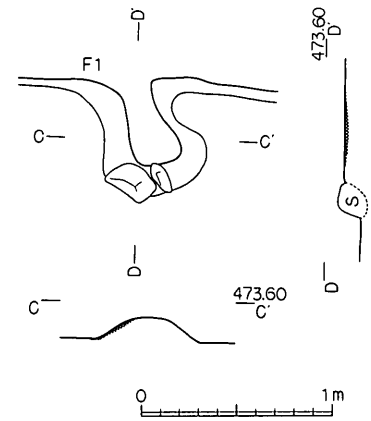
第３８図　Ａ－２３号住居址実測図



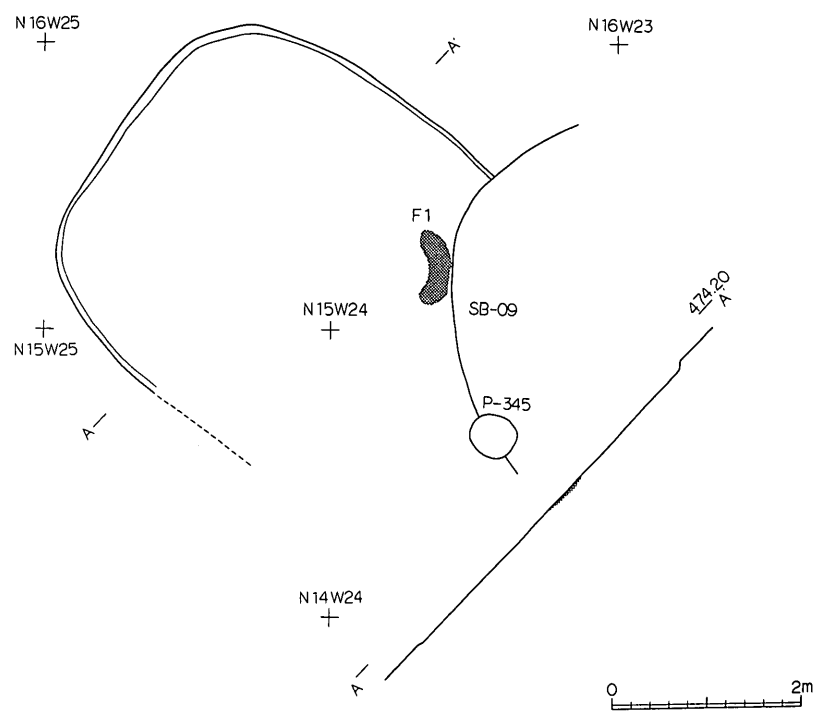
第３９図　Ａ－２３号住居竈址実測図



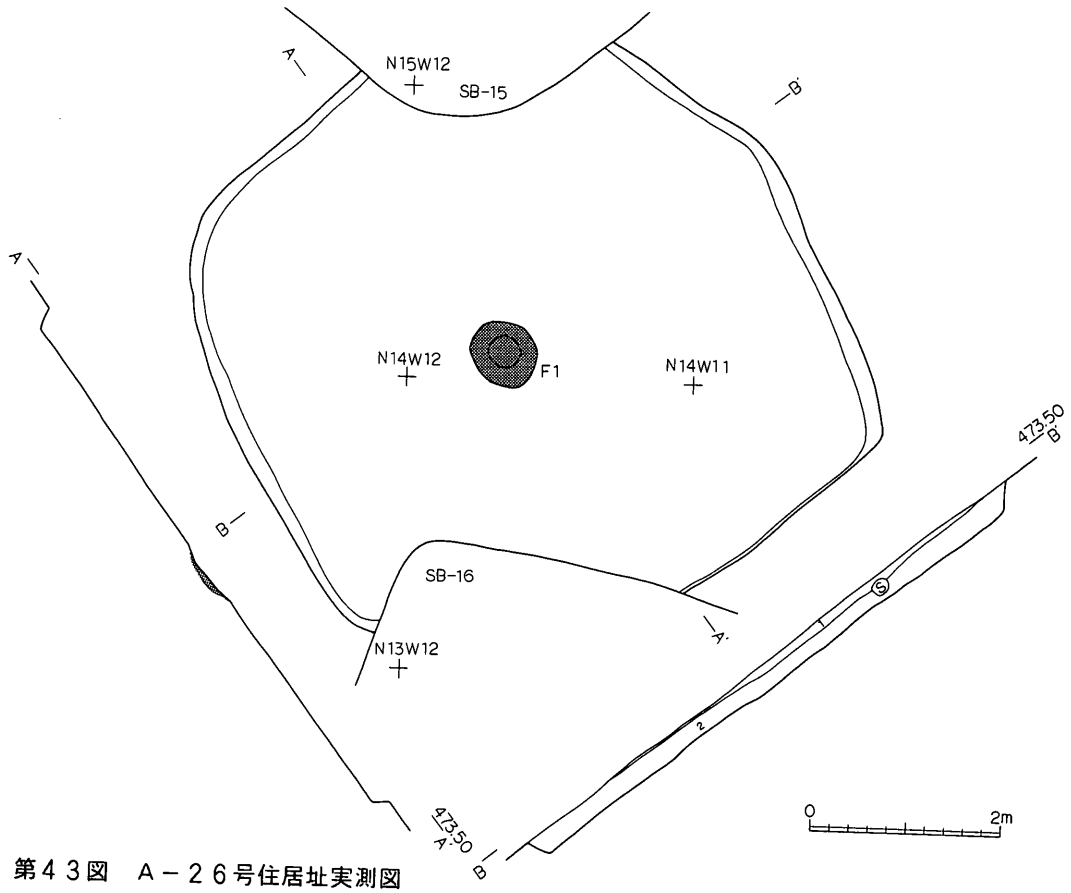
第４０図　Ａ－２４号住居址実測図



第４１図　Ａ－２４号住居竈址実測図

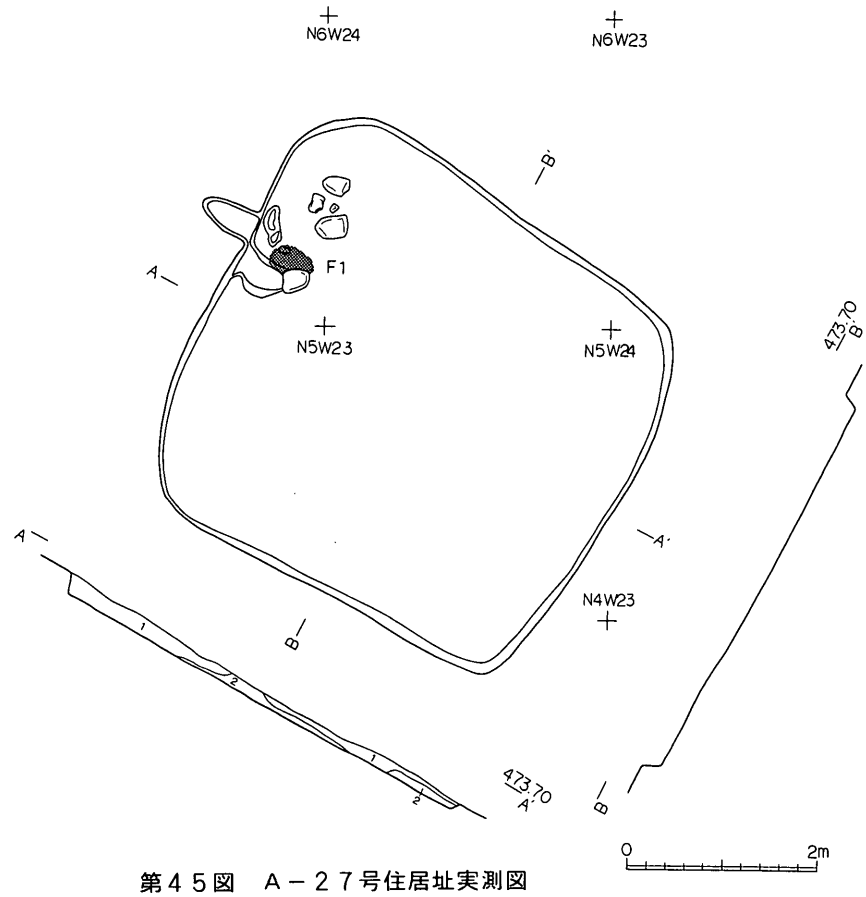


第４２図　Ａ－２５号住居址実測図

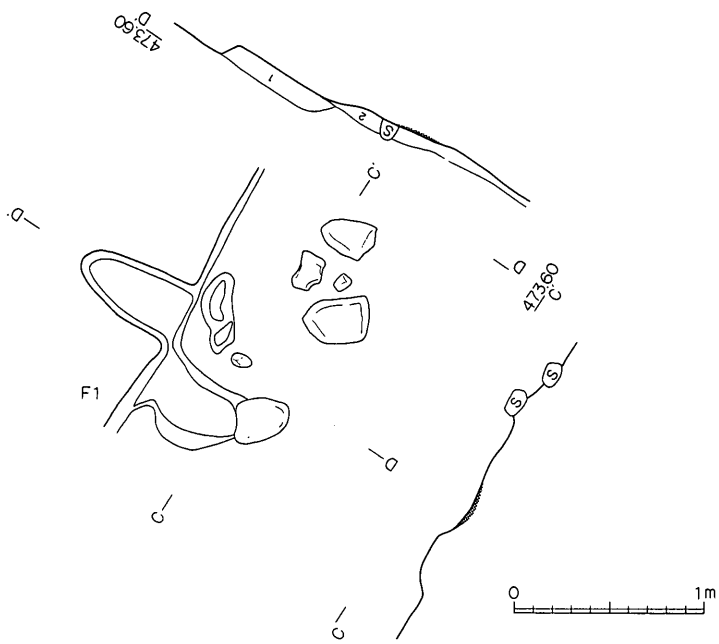


第４３図　Ａ－２６号住居址実測図

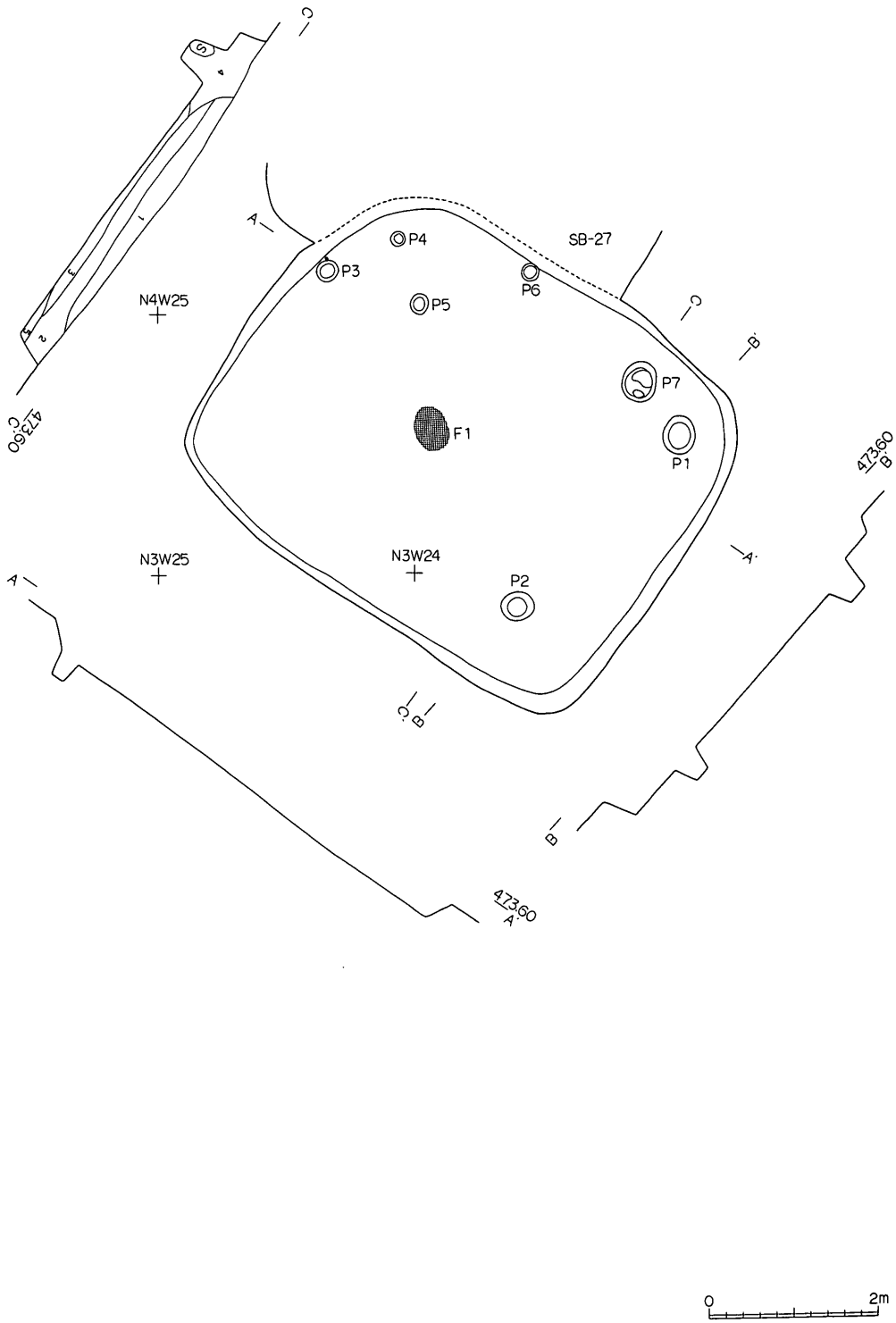
第４４図　Ａ－２６号住居土器出土状況図



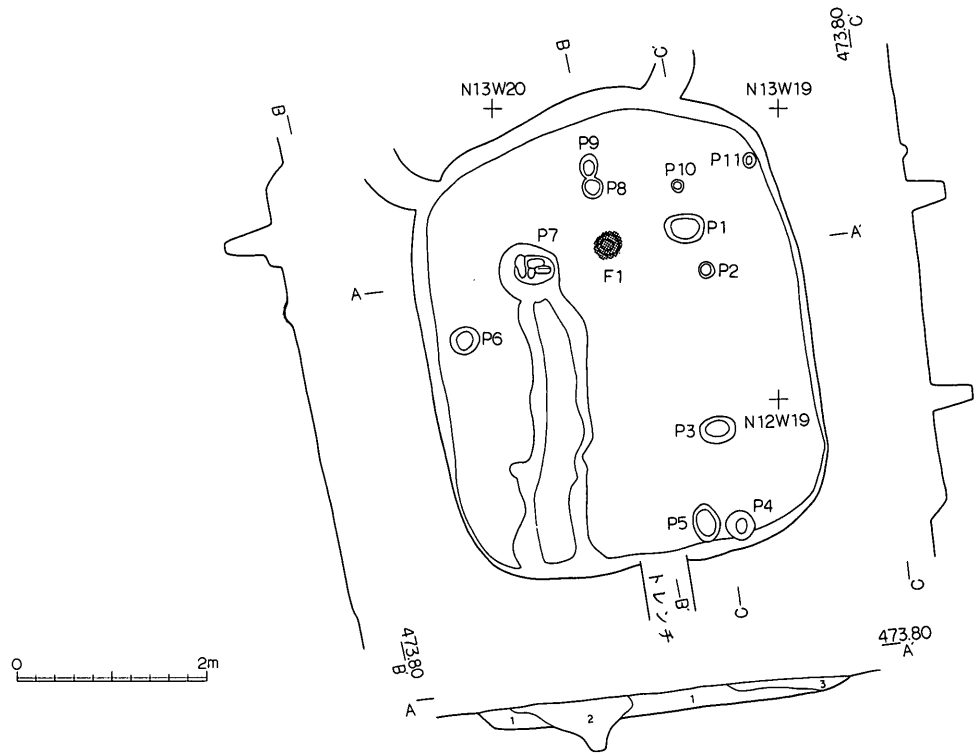
第４５図　Ａ－２７号住居址実測図



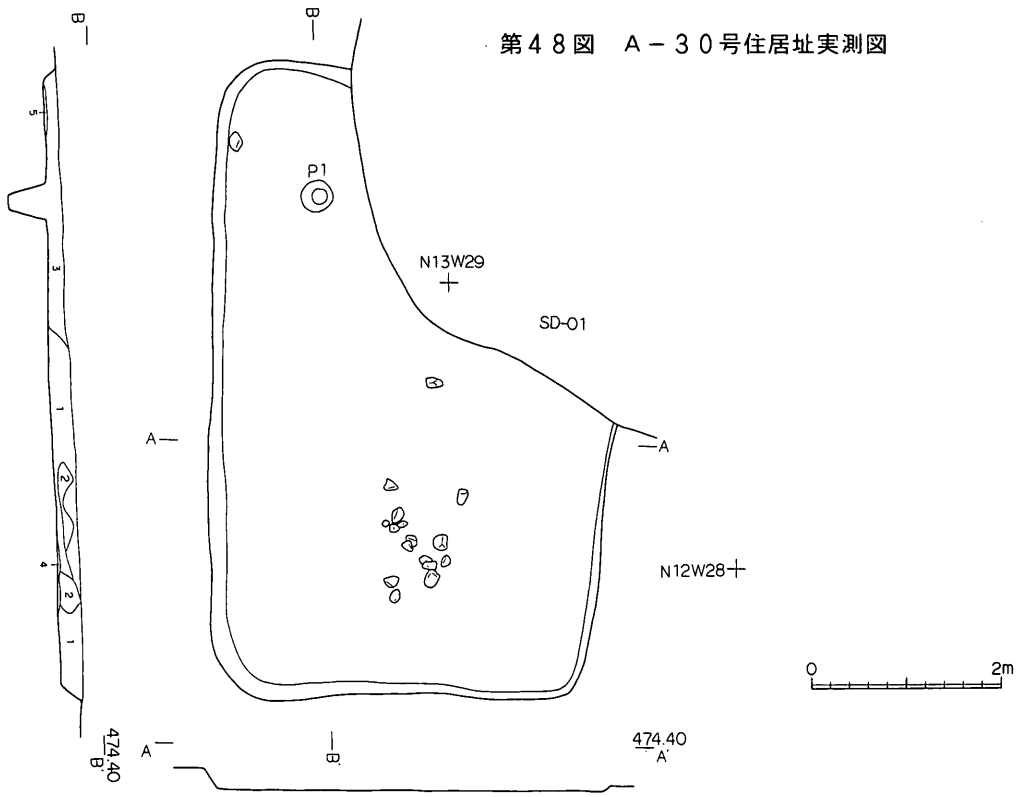
第４６図　Ａ－２７号住居竈址実測図



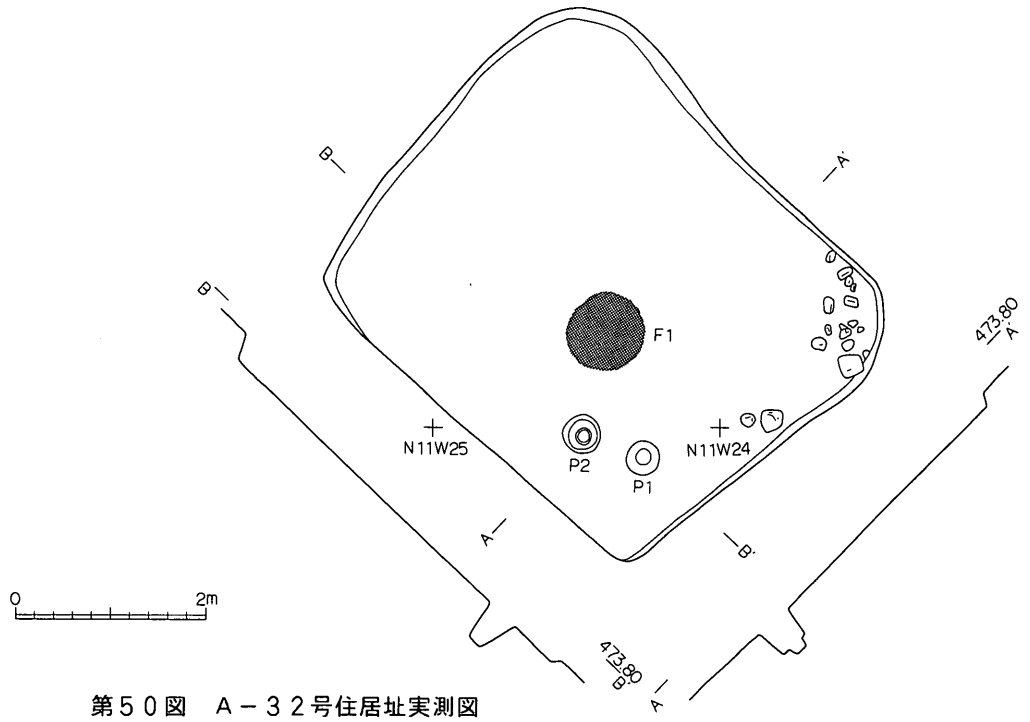
第４７図　Ａ－２８号住居址実測図



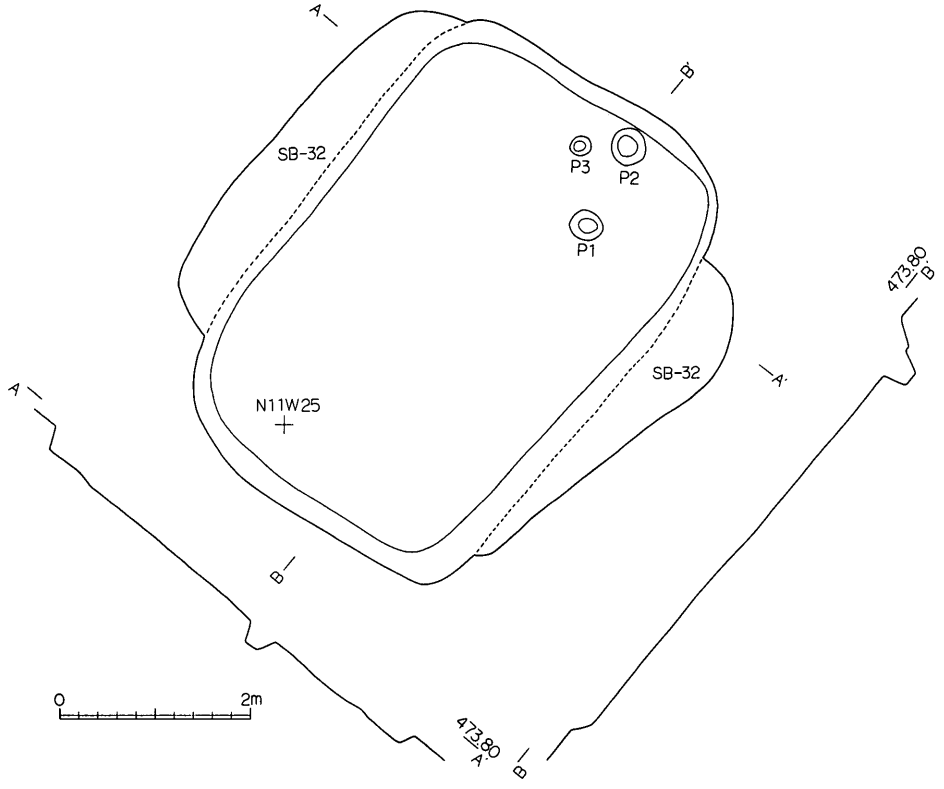
第４８図　Ａ－３０号住居址実測図



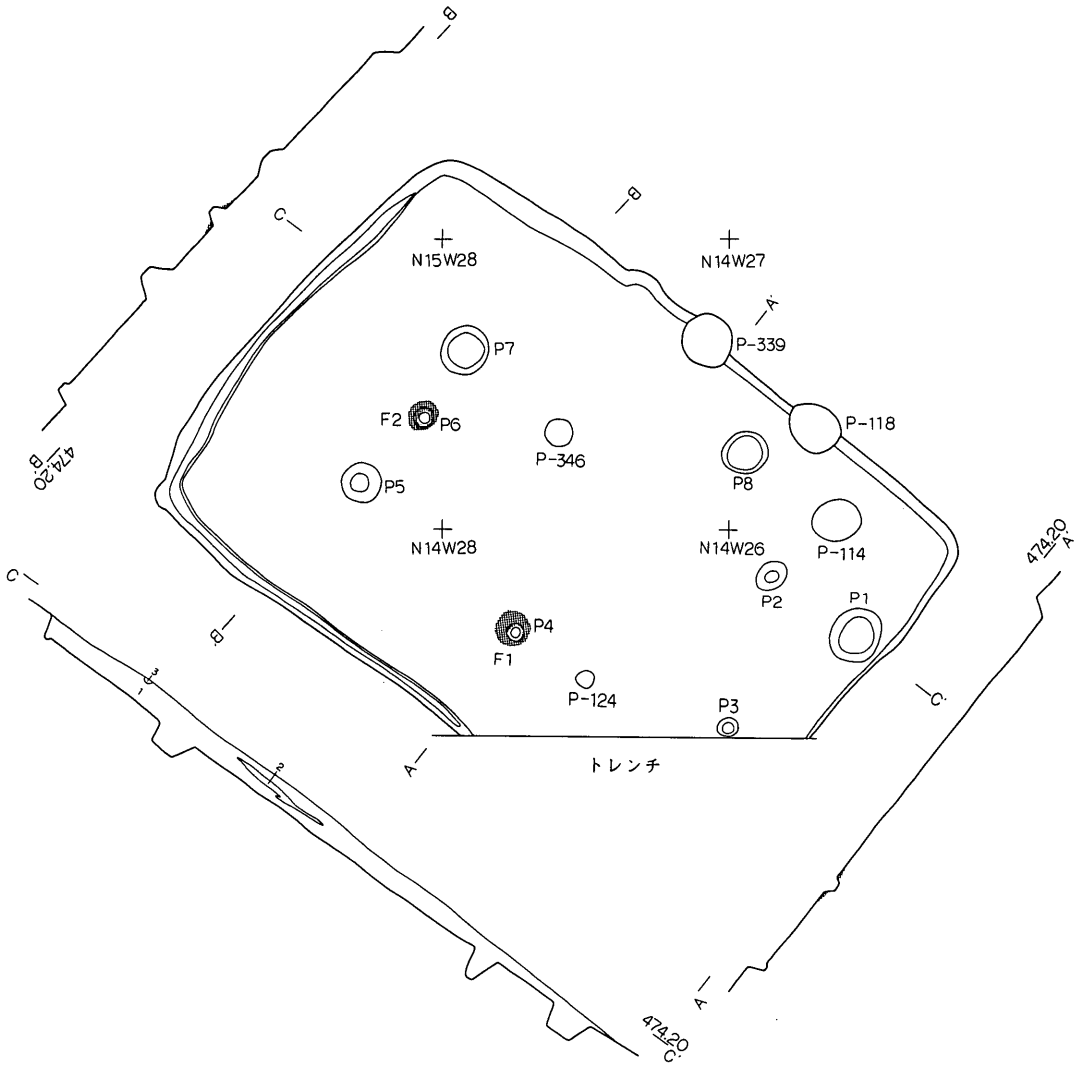
第４９図　Ａ－３１号住居址実測図



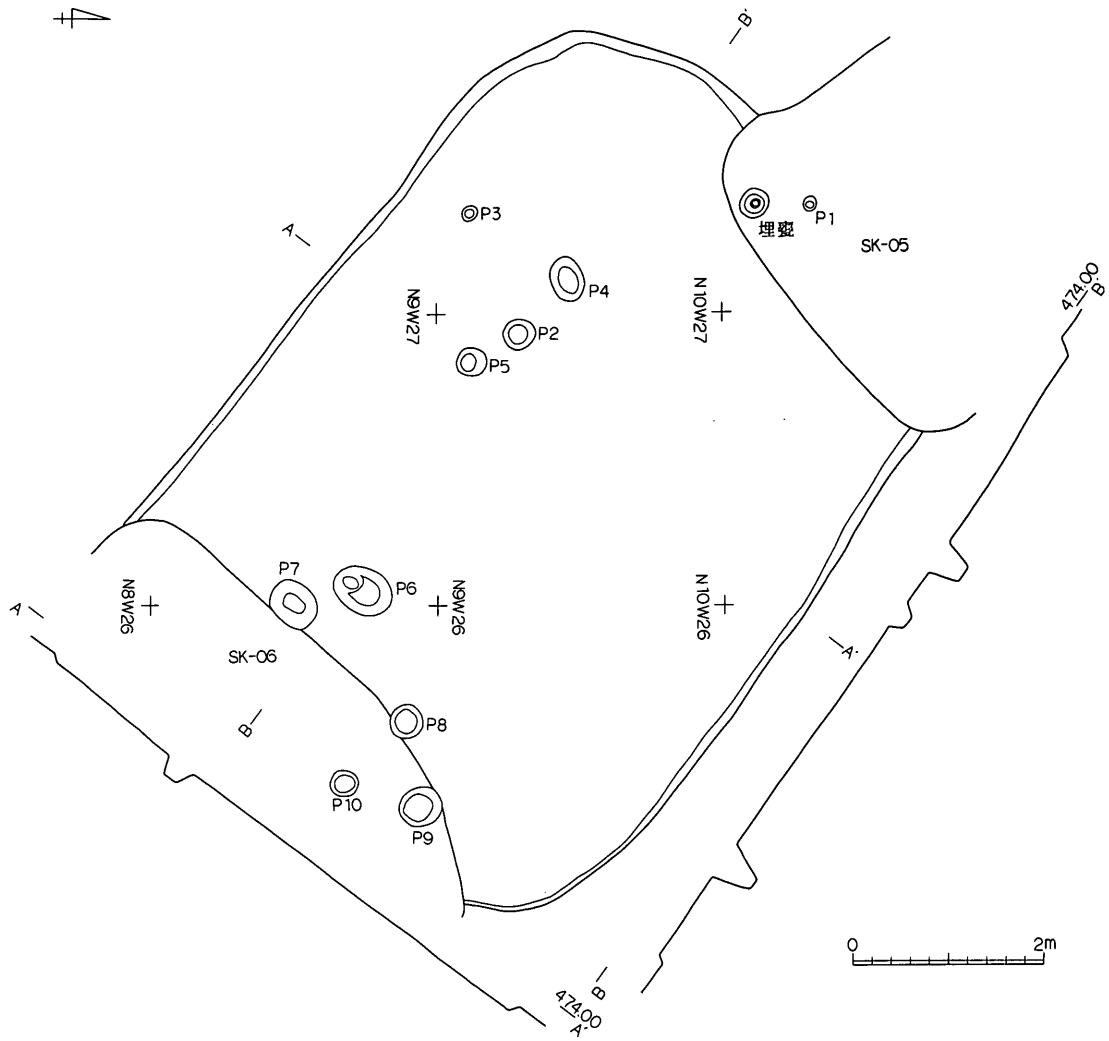
第５０図　Ａ－３２号住居址実測図



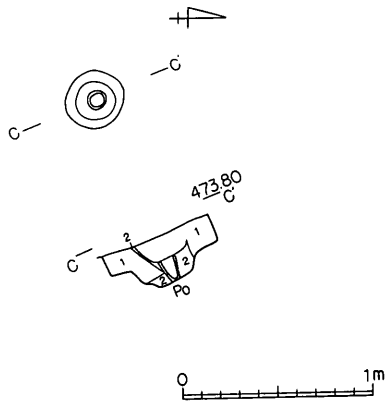
第５１図　Ａ－３３号住居址実測図



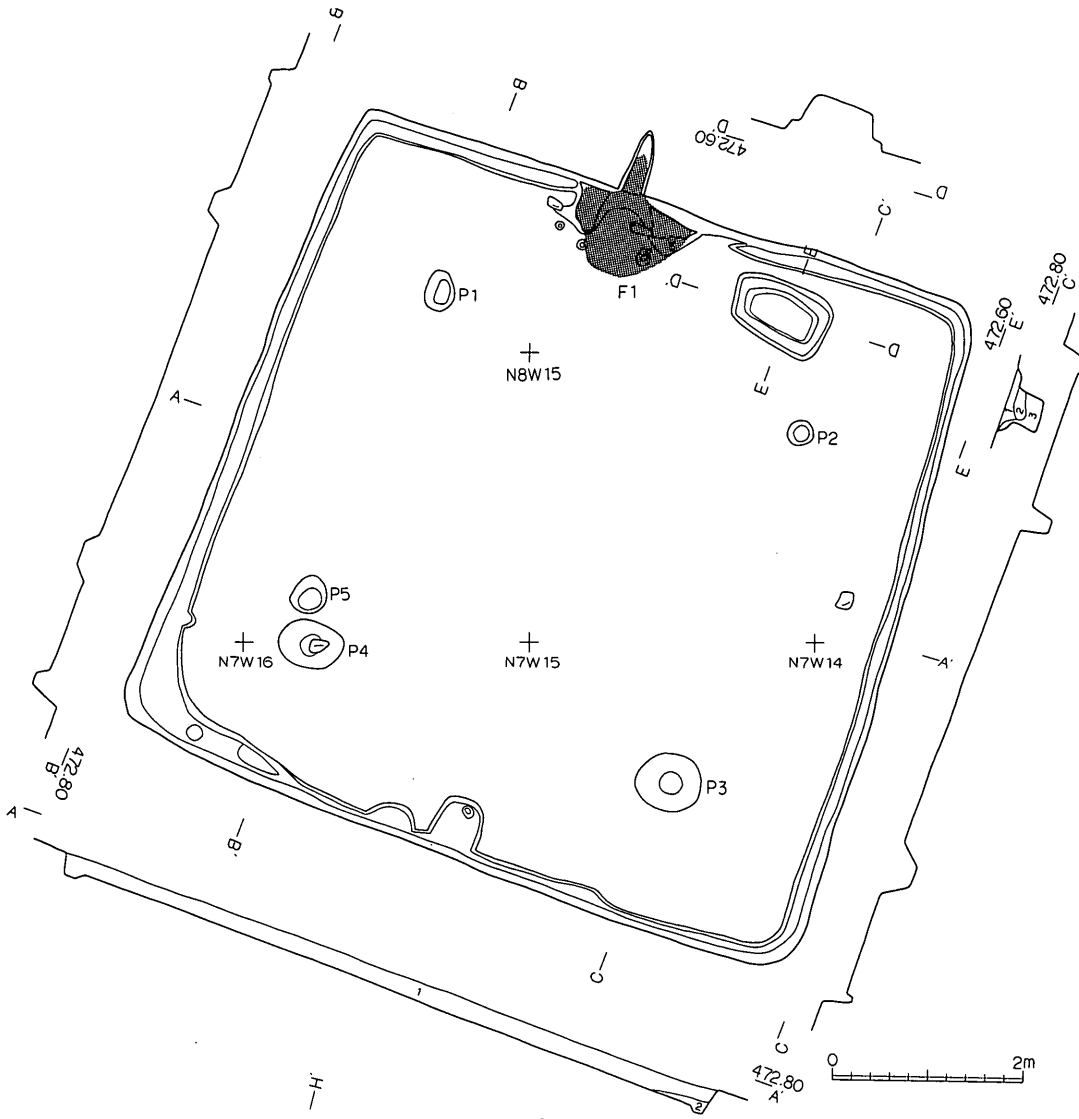
第５２図　Ａ－３４号住居址実測図



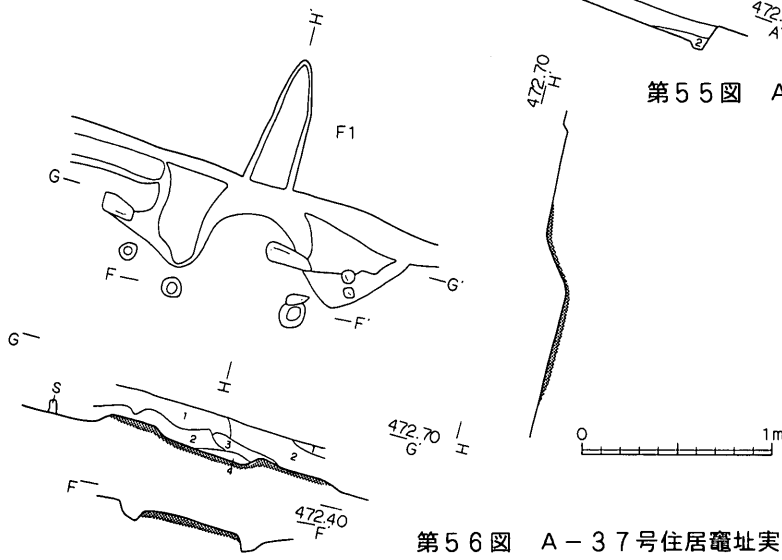
第５３図　Ａ－３６号住居址実測図



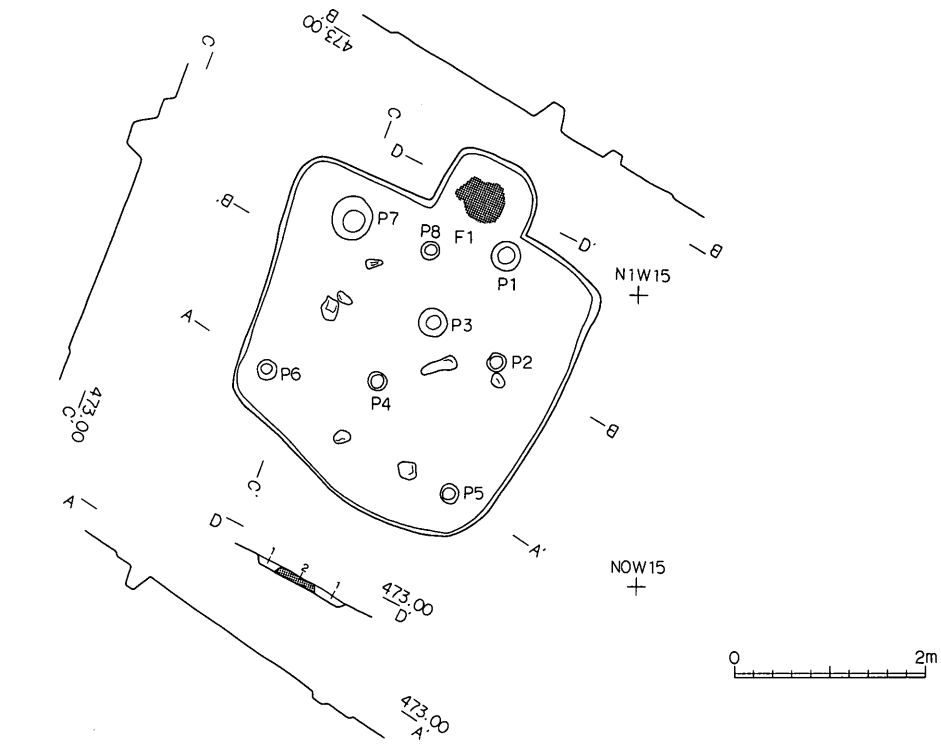
第５４図　Ａ－３６号住居址実測図



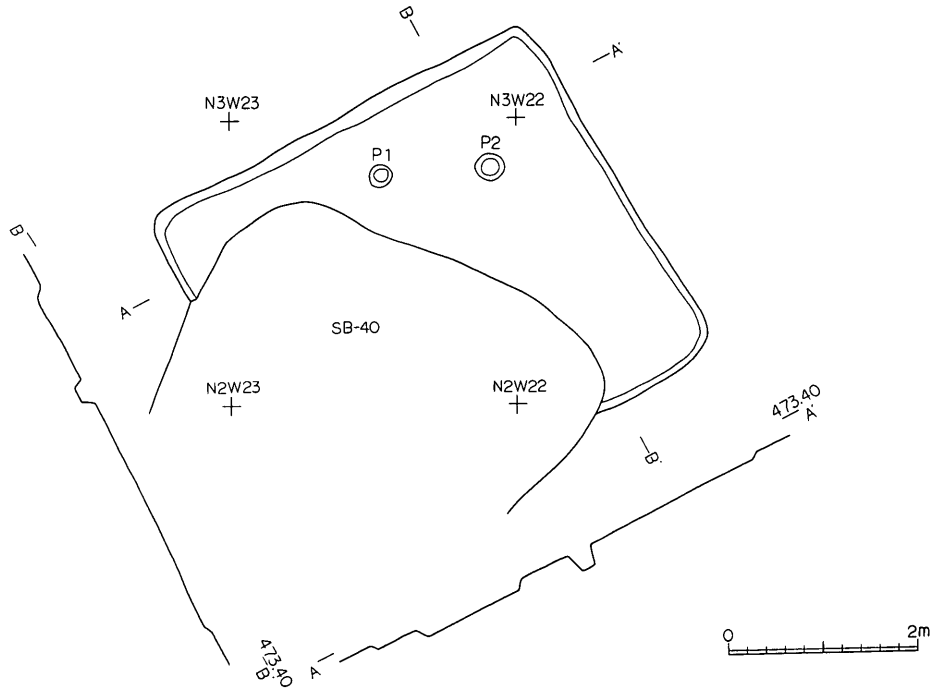
第５５図　Ａ－３７号住居址実測図



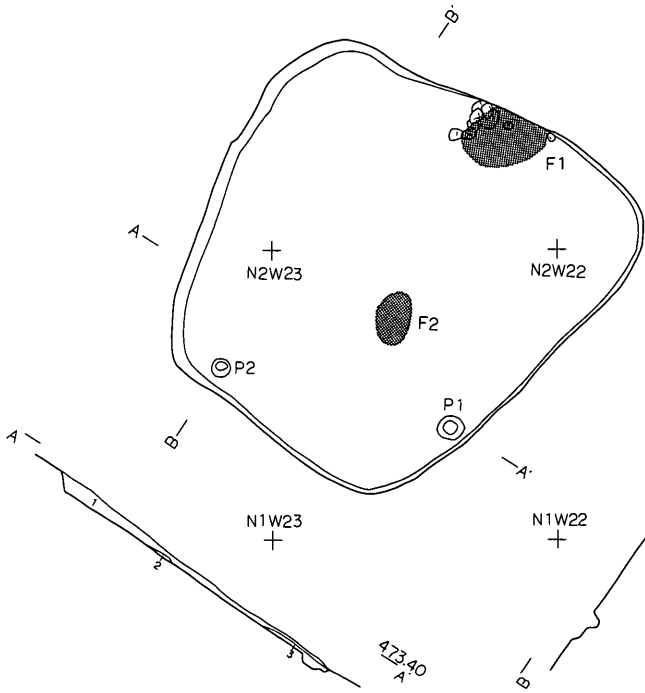
第５６図　Ａ－３７号住居竈址実測図



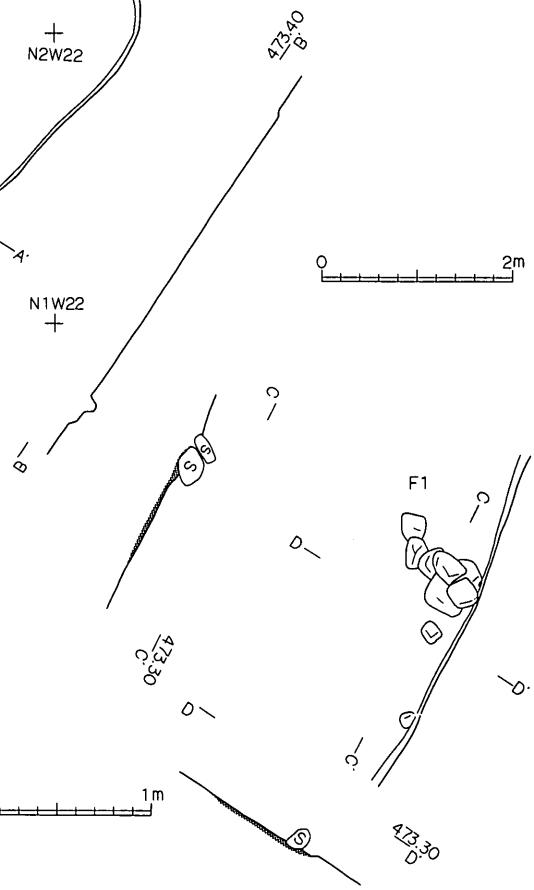
第５７図　Ａ－３８号住居址実測図



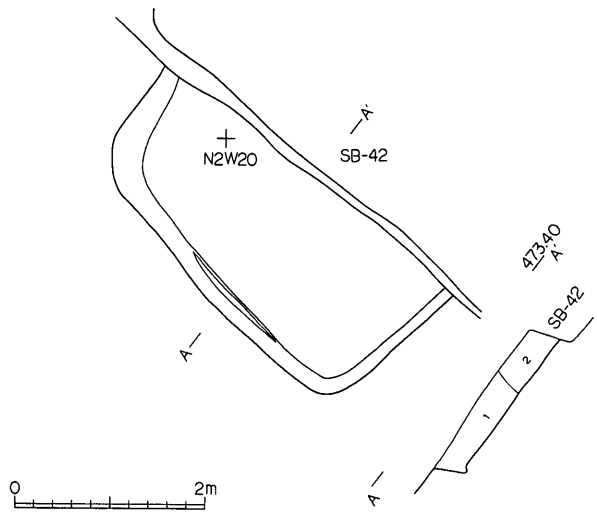
第５８図　Ａ－３９号住居址実測図



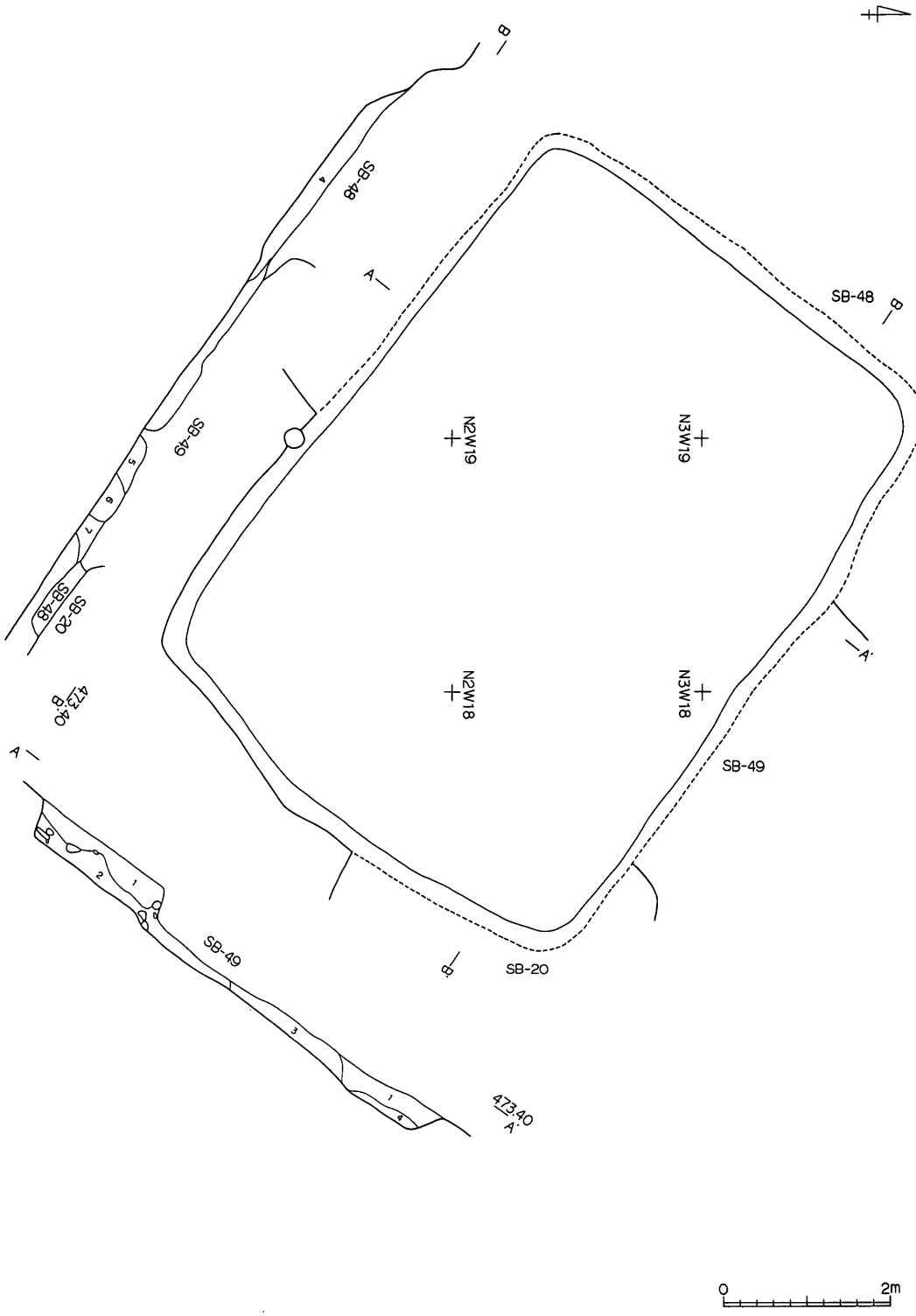
第５９図　Ａ－４０号住居址実測図



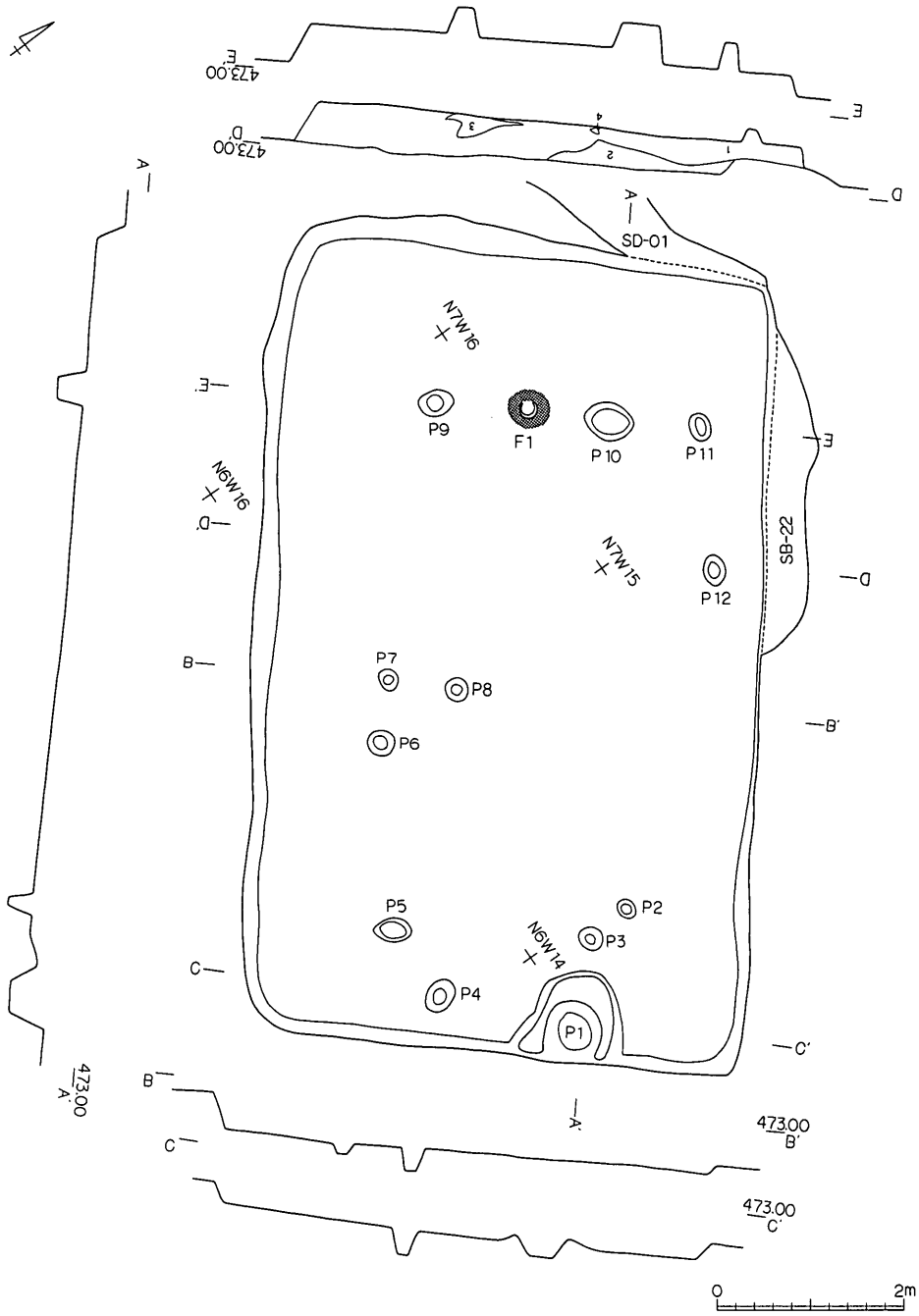
第６０図　Ａ－４０号住居竈址実測図



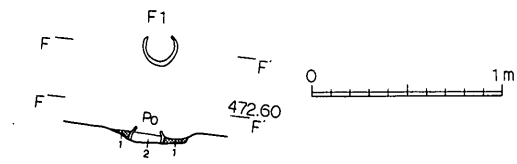
第６１図　Ａ－４１号住居址実測図



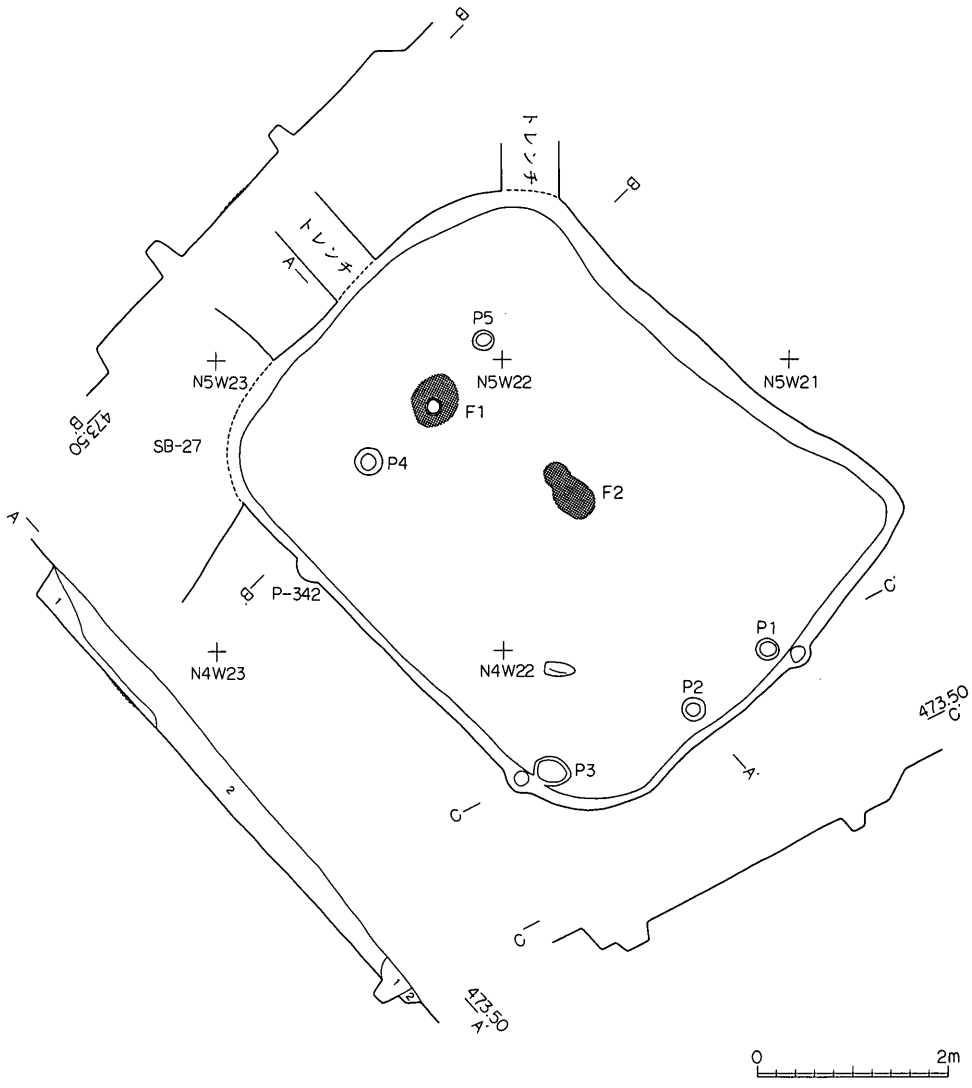
第６２図　Ａ－４２号住居址実測図



第６３図　Ａ－４３号住居址実測図

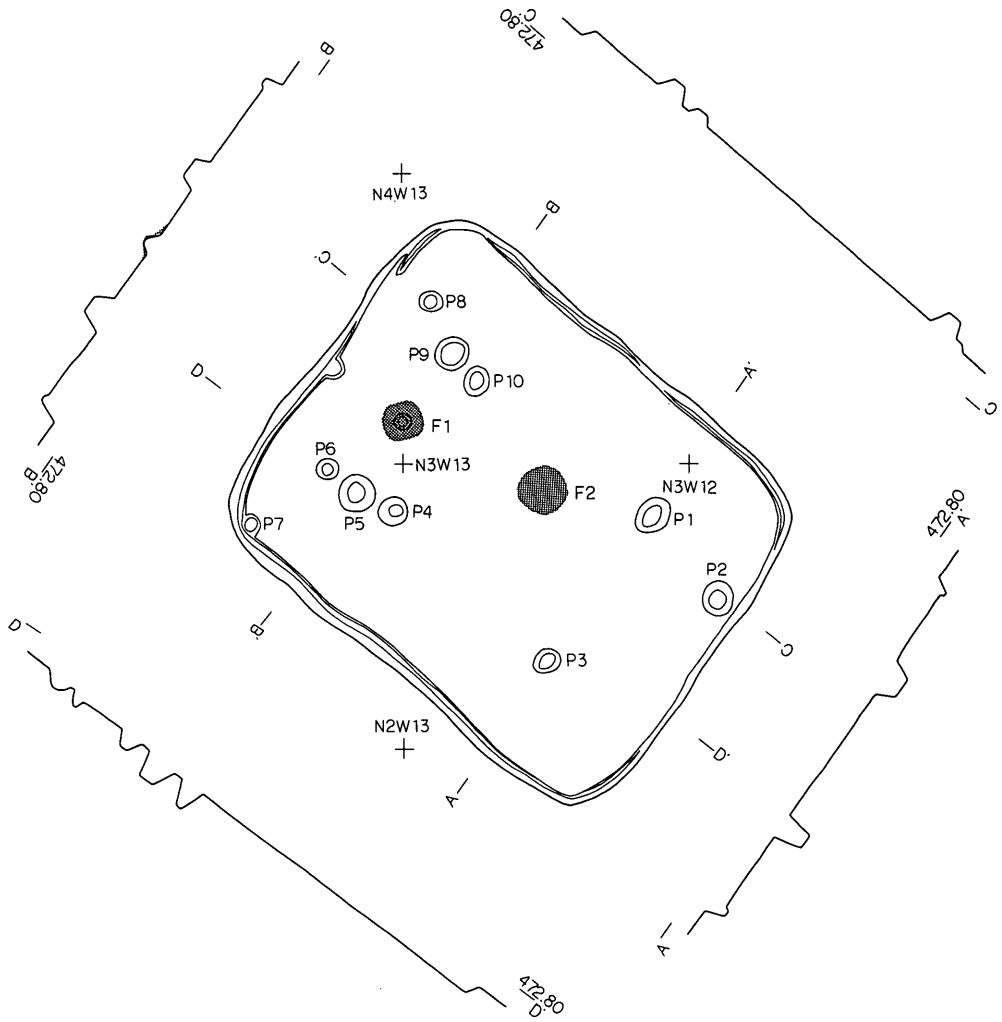


第６４図　Ａ－４３号住居炉址実測図

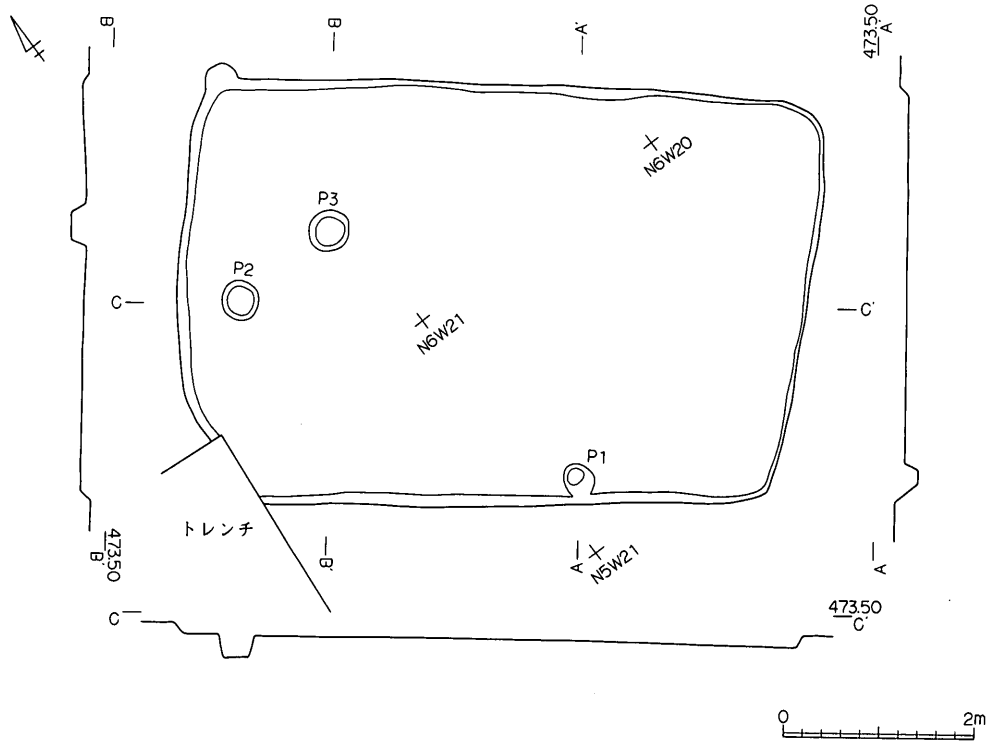


第６５図　Ａ－４４号住居址実測図

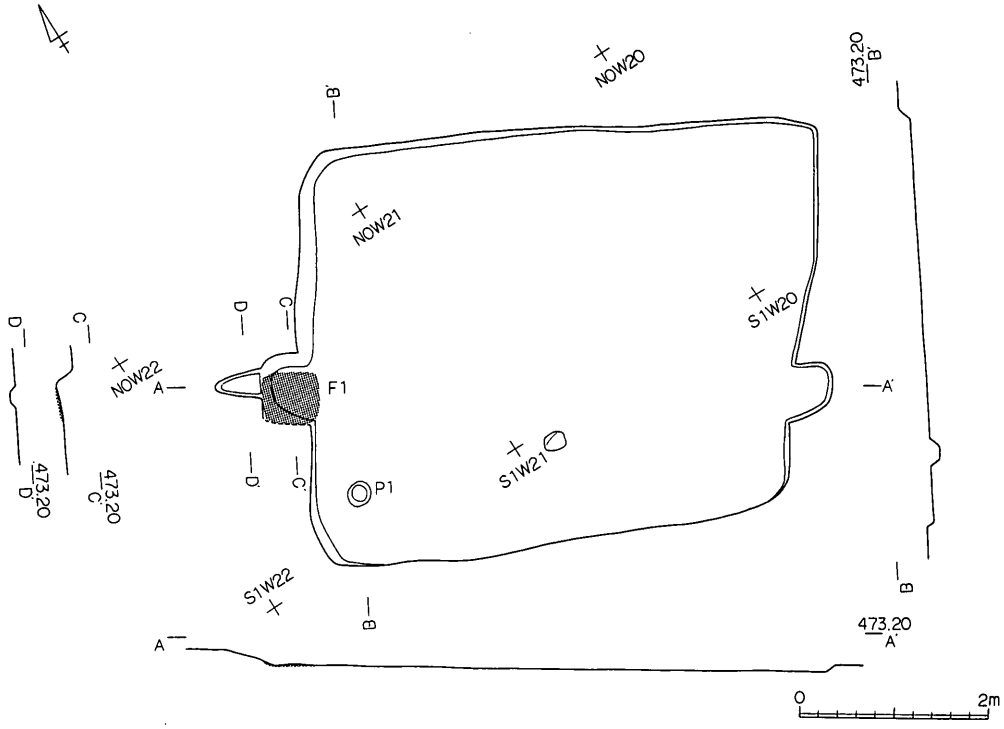
第６６図　Ａ－４４号住居炉址実測図



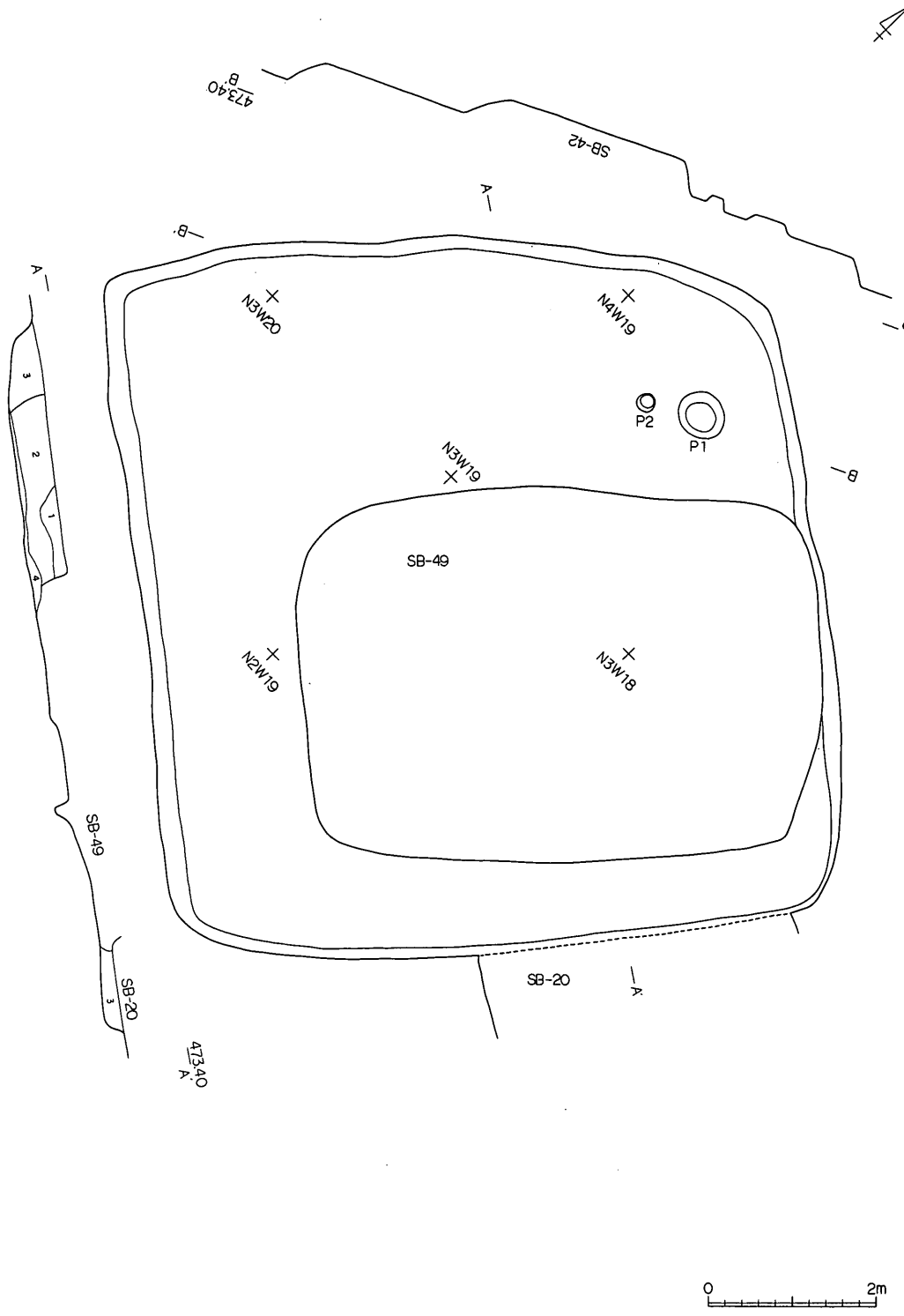
第６７図　Ａ－４５号住居址実測図



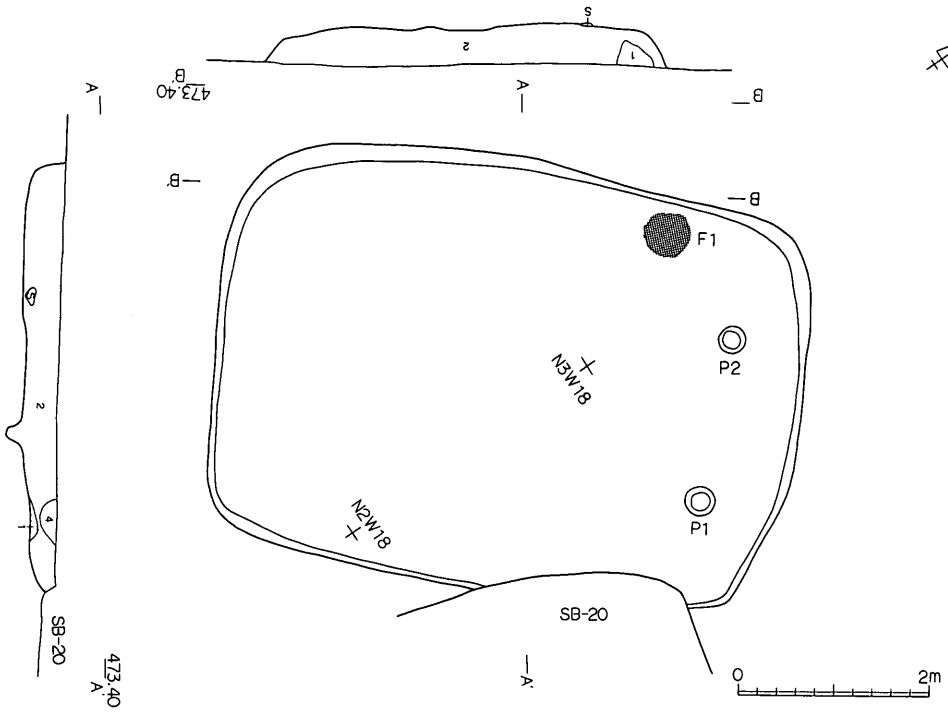
第６８図　Ａ－４６号住居址実測図



第６９図　Ａ－４７号住居址実測図

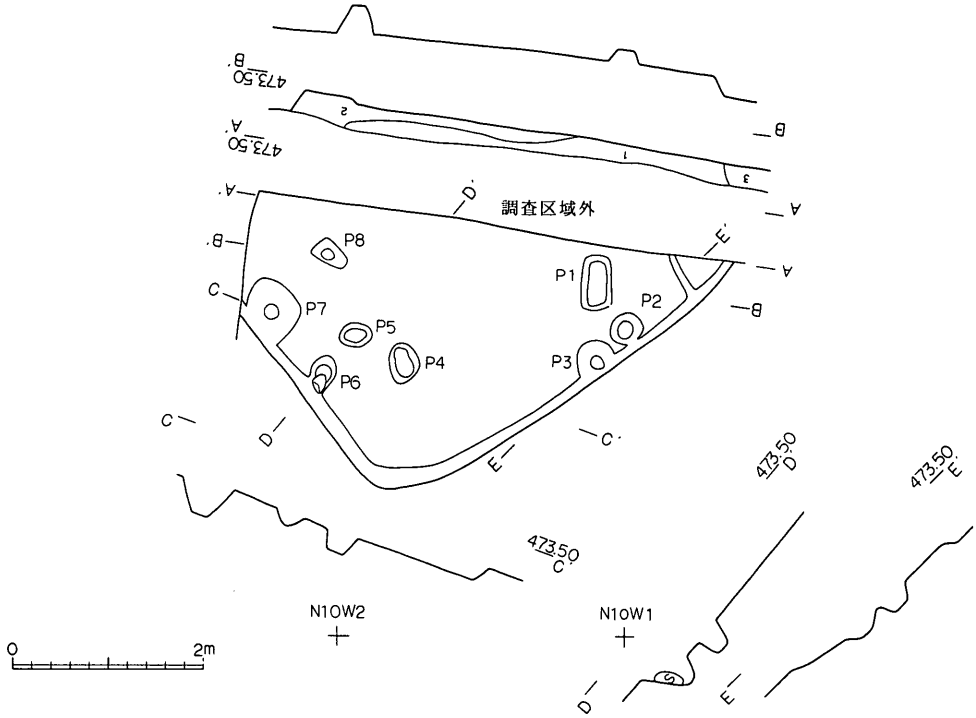


第７０図　Ａ－４８号住居址実測図

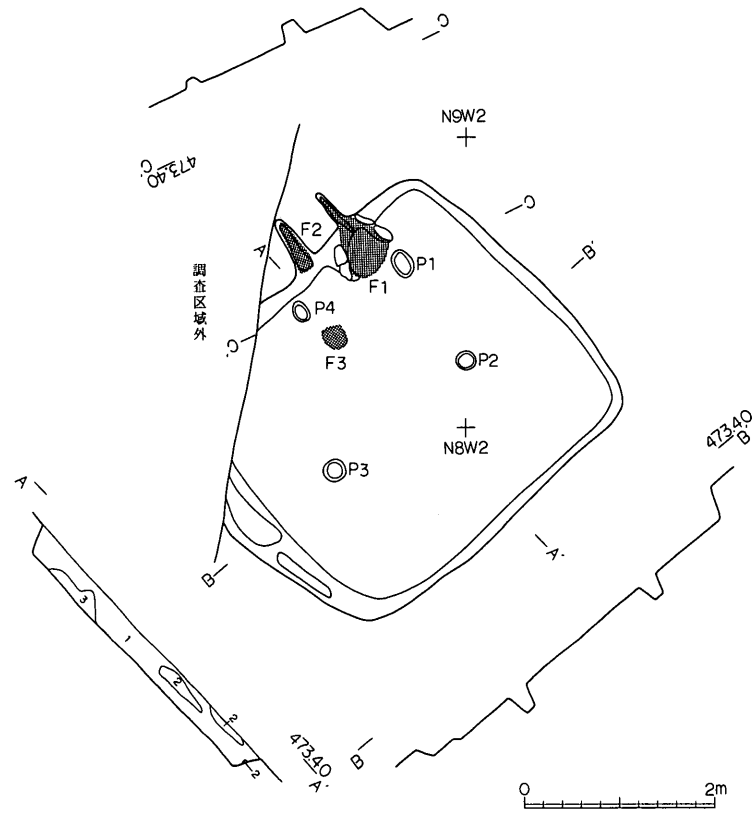


第７１図　Ａ－４９号住居址実測図

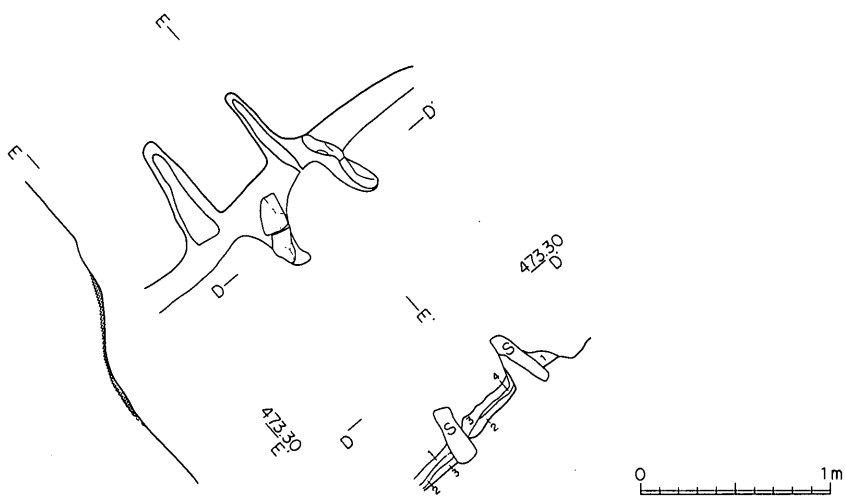
平成４年度（１９９２年度）発掘



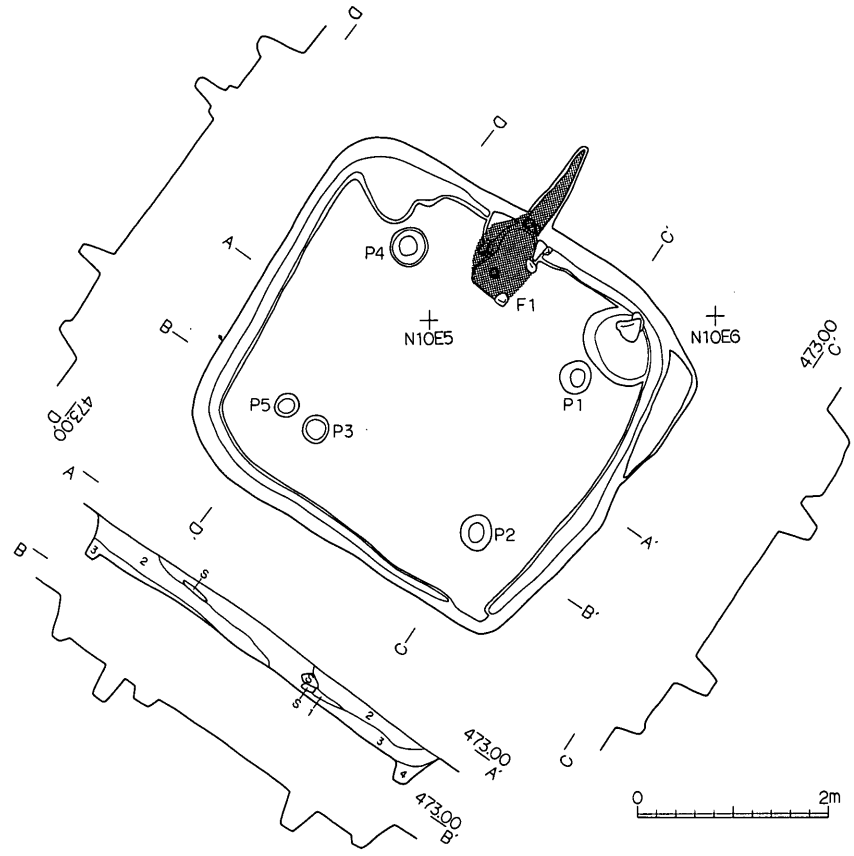
第７２図　Ａ－５０号住居址実測図



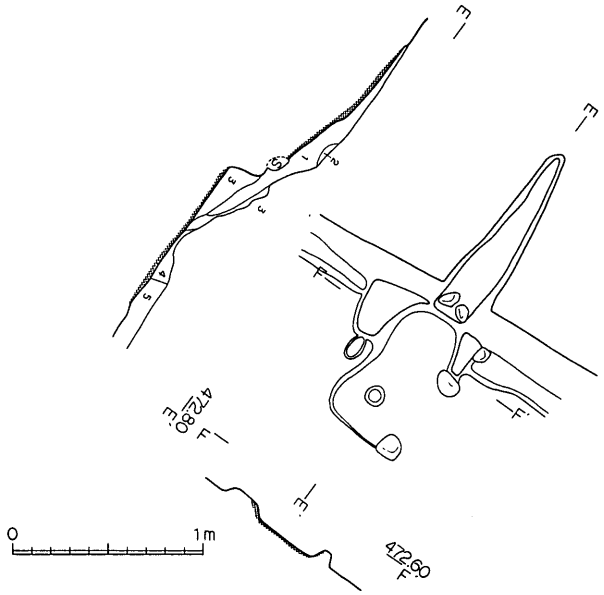
第７３図　Ａ－５１号住居址実測図



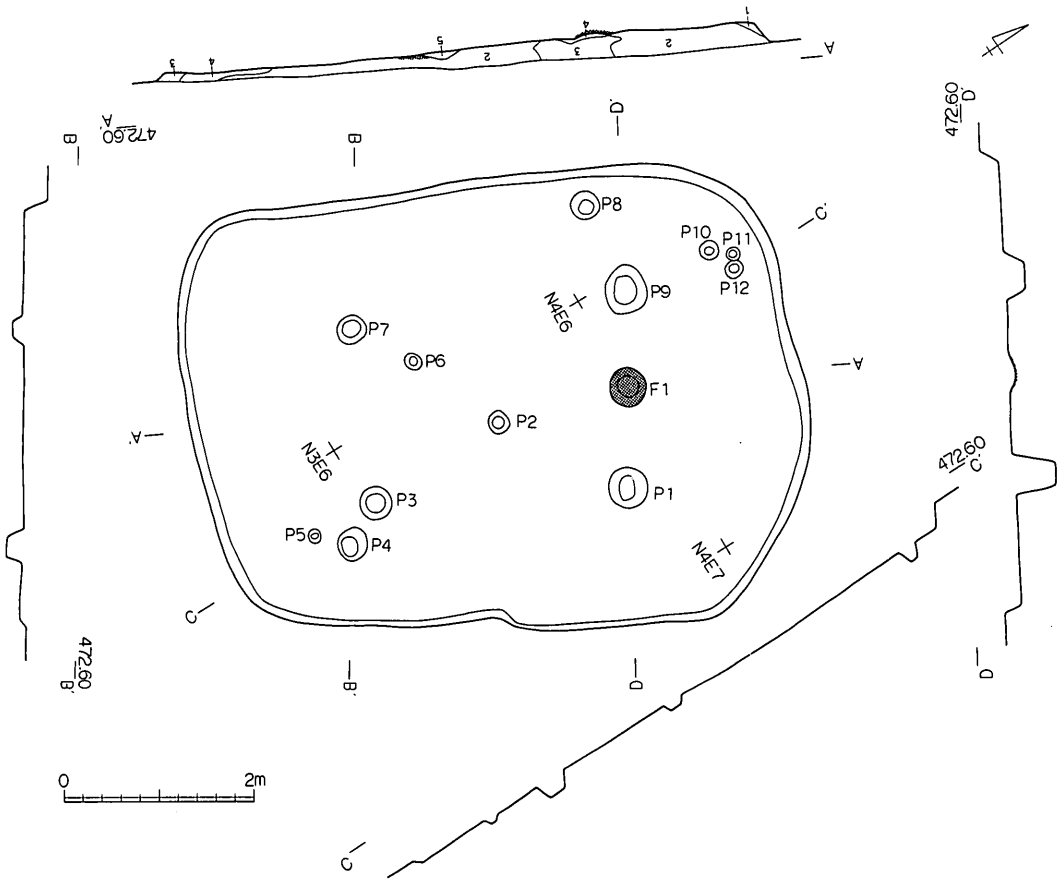
第７４図　Ａ－５１号住居竈址実測図



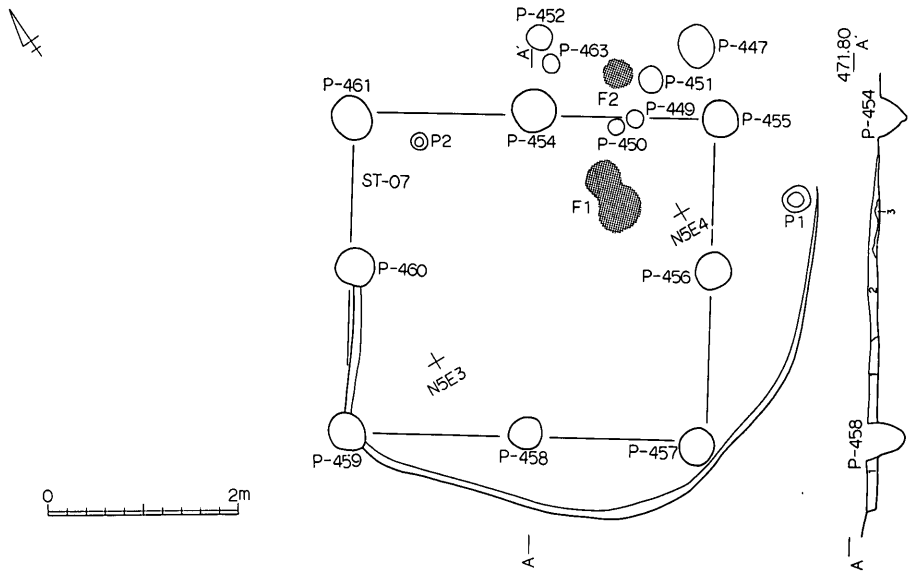
第７５図　Ａ－５２号住居址実測図



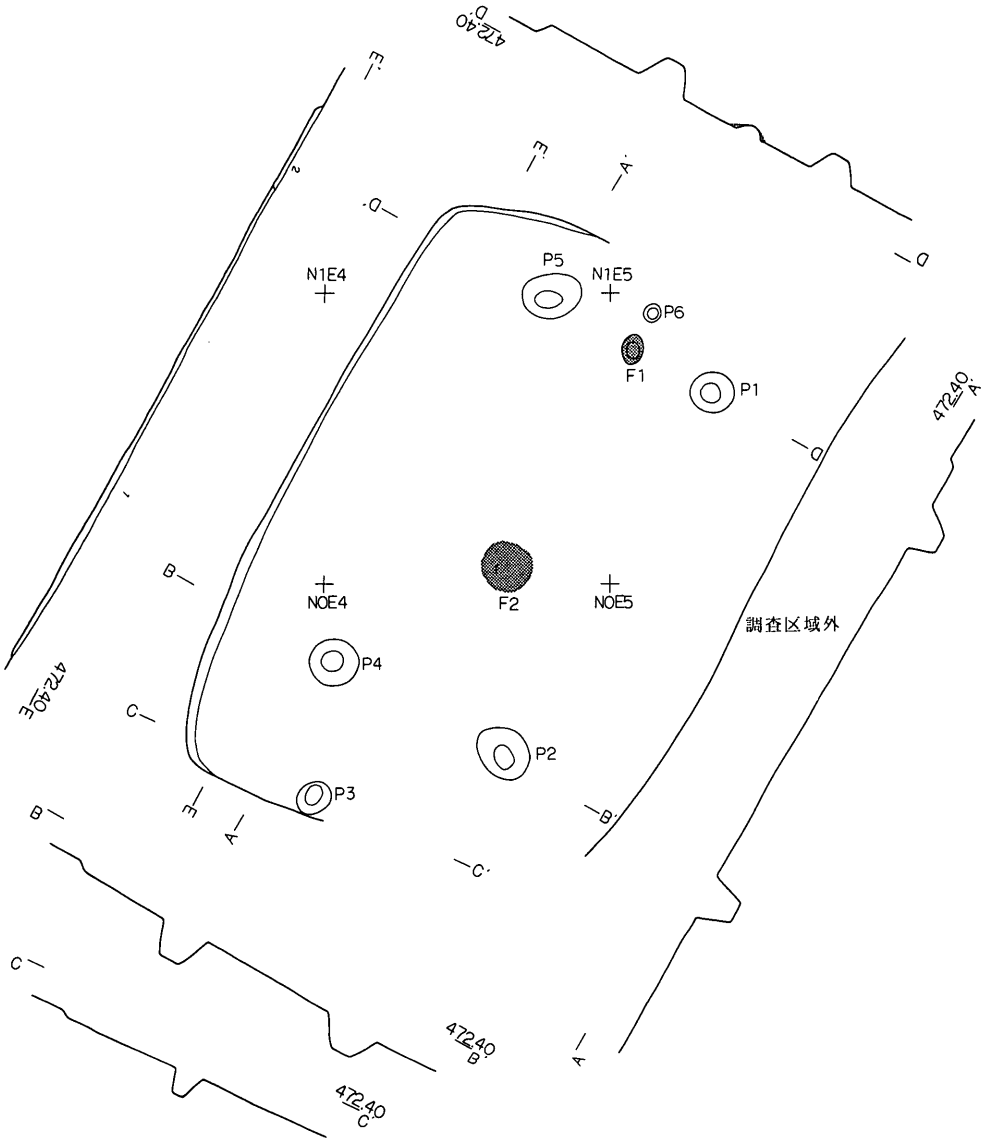
第７６図　Ａ－５２号住居竈址実測図



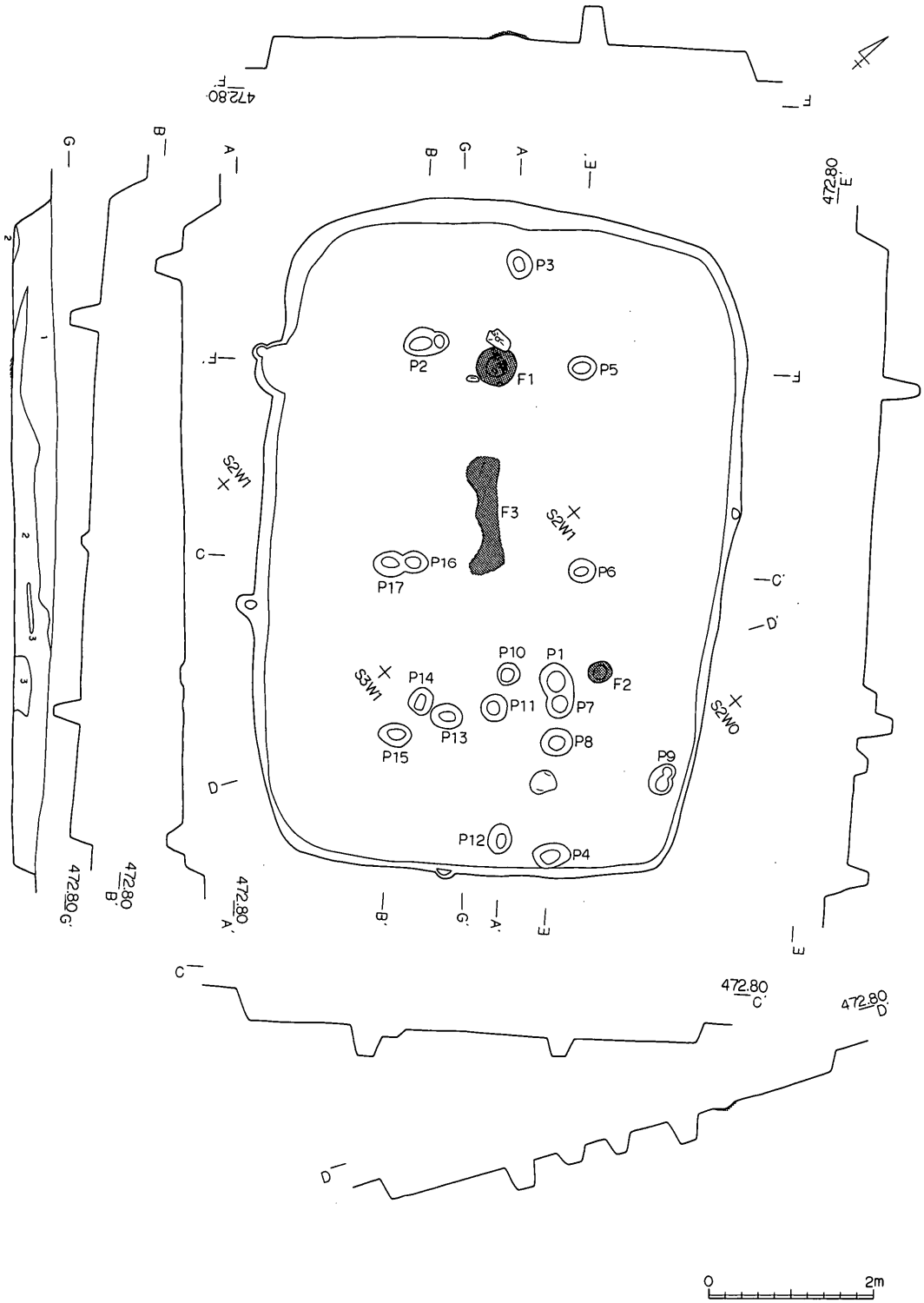
第７７図　Ａ－５３号住居址実測図



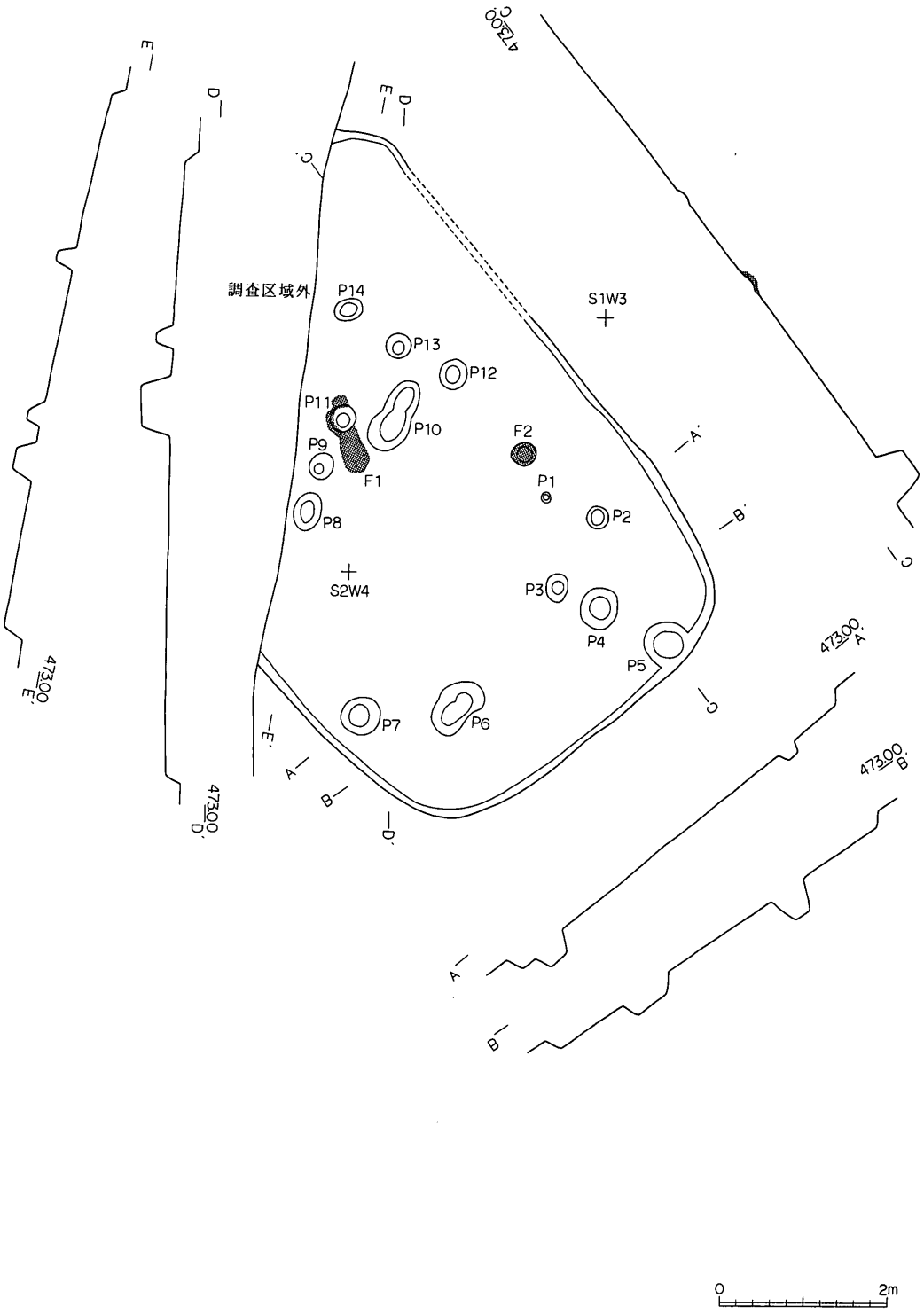
第７８図　Ａ－５４号住居址実測図



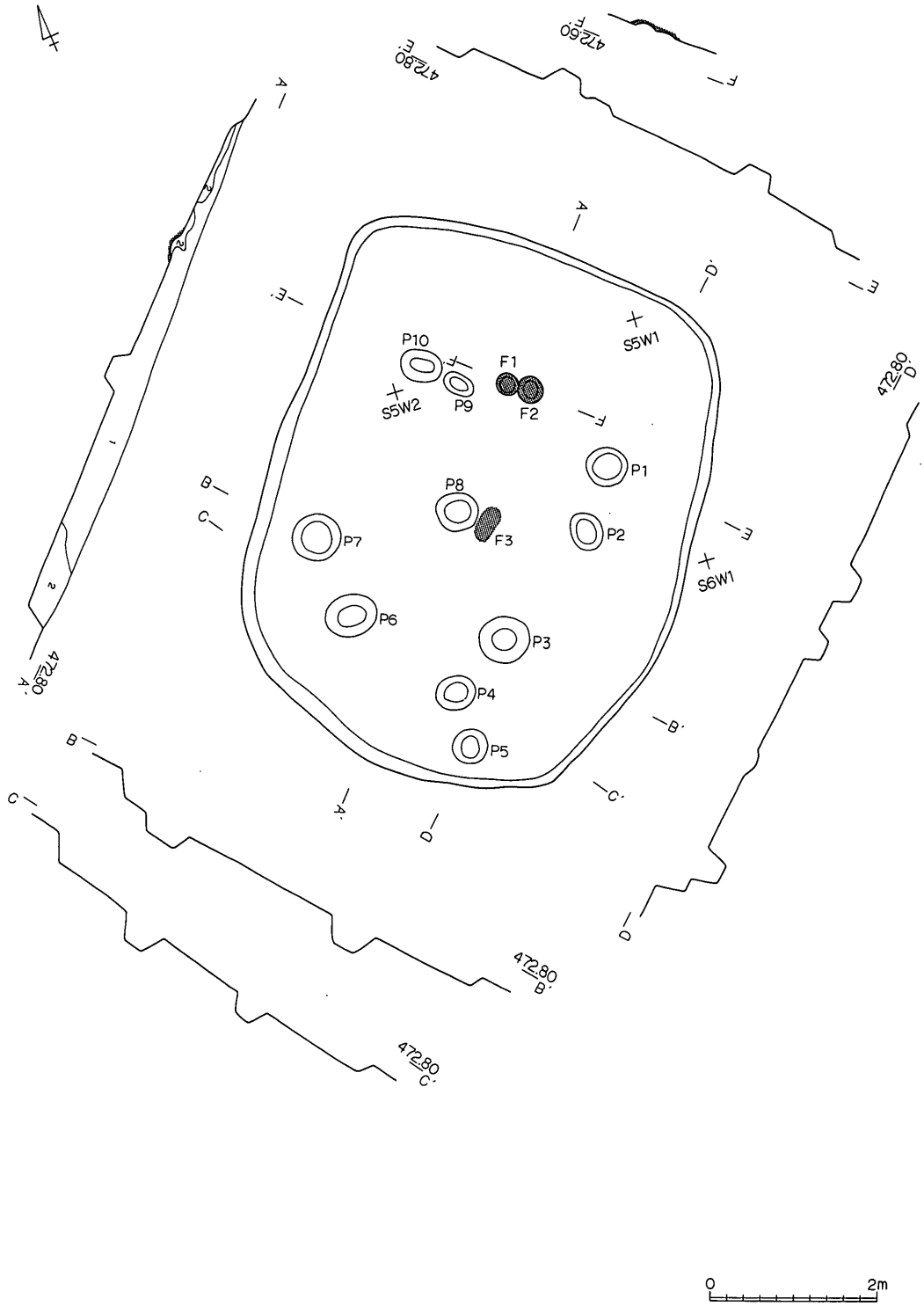
第７９図　Ａ－５５号住居址実測図



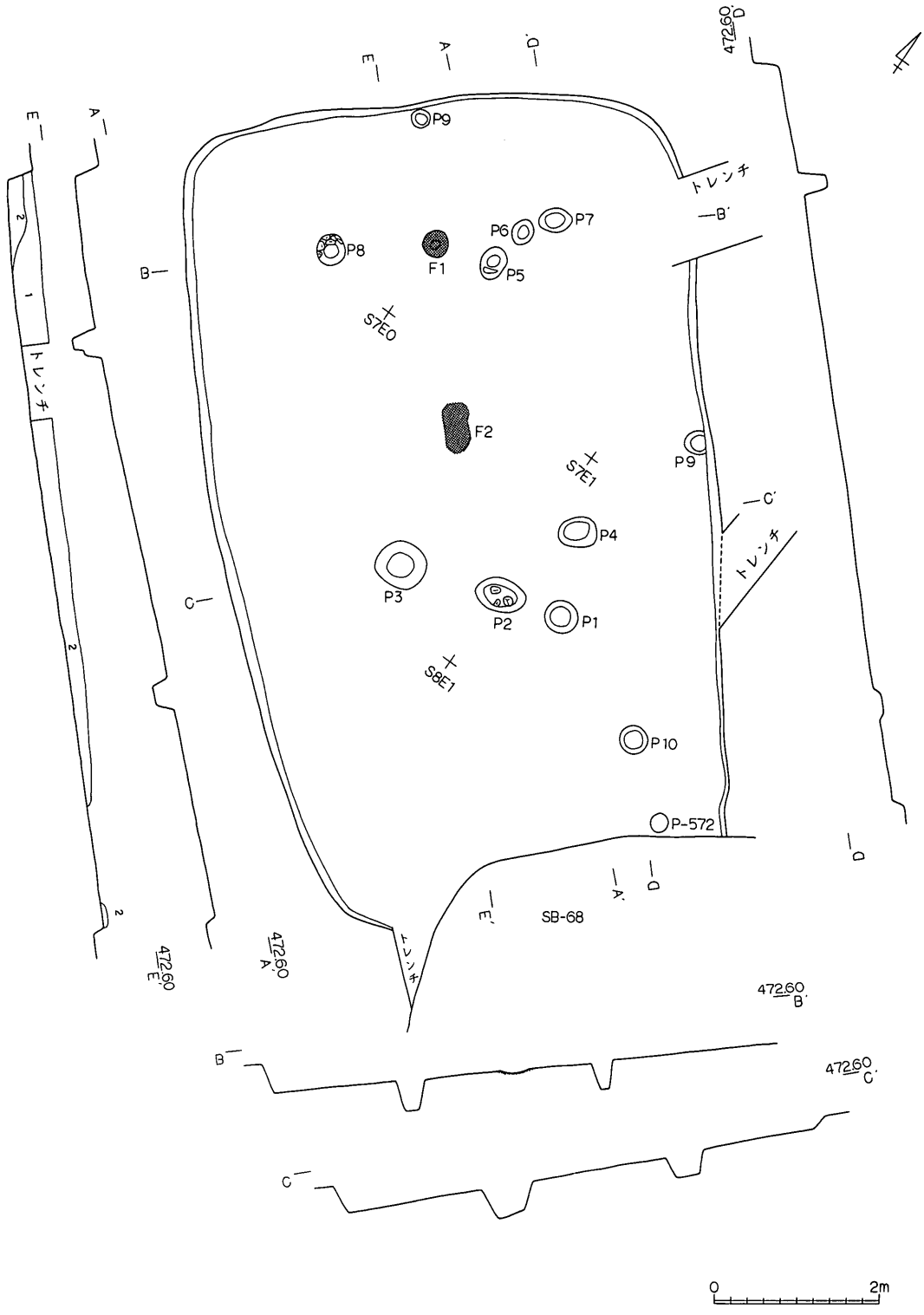
第８０図　Ａ－５６号住居址実測図



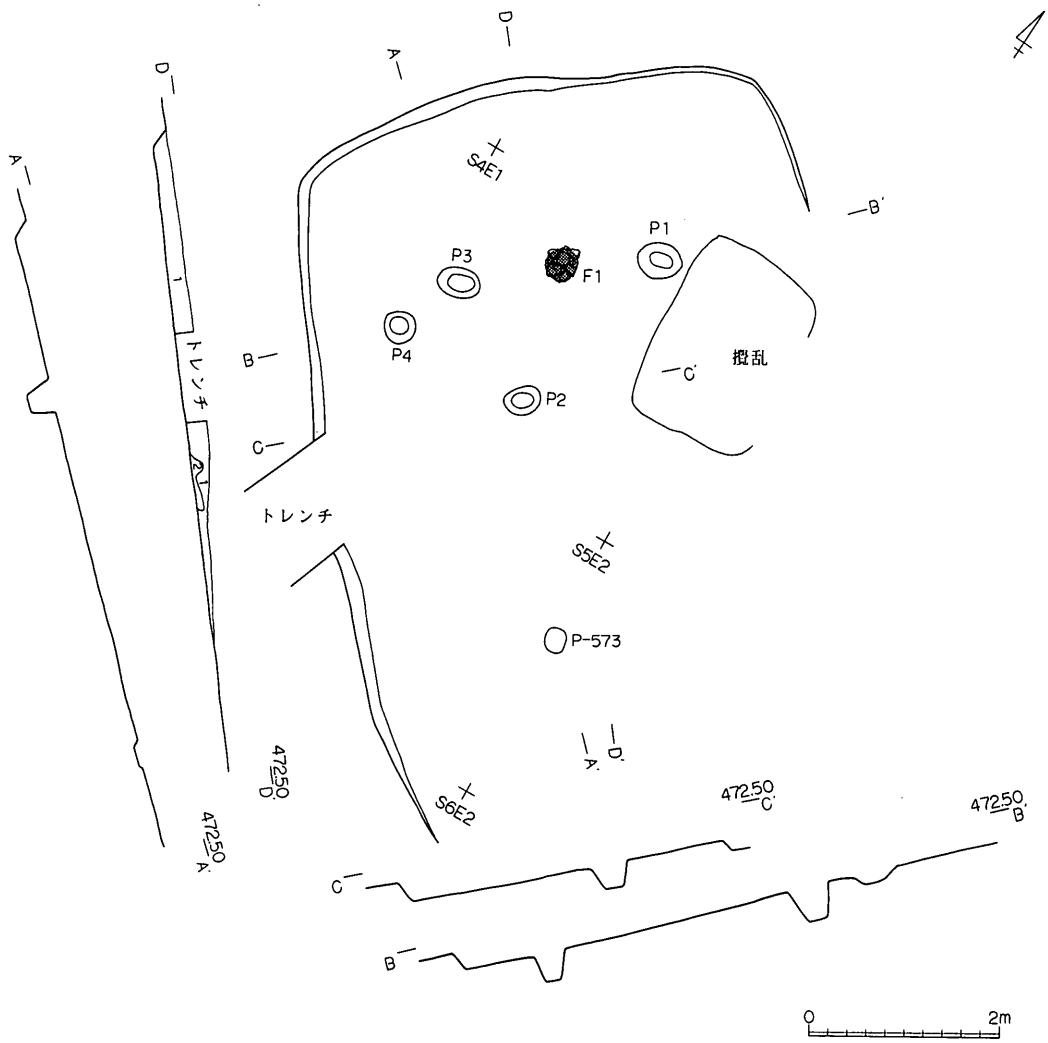
第８１図　Ａ－５７号住居址実測図



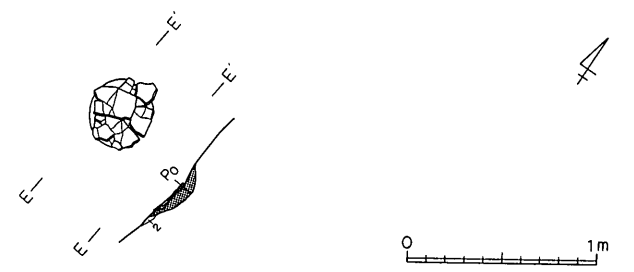
第８２図　Ａ－５８号住居址実測図



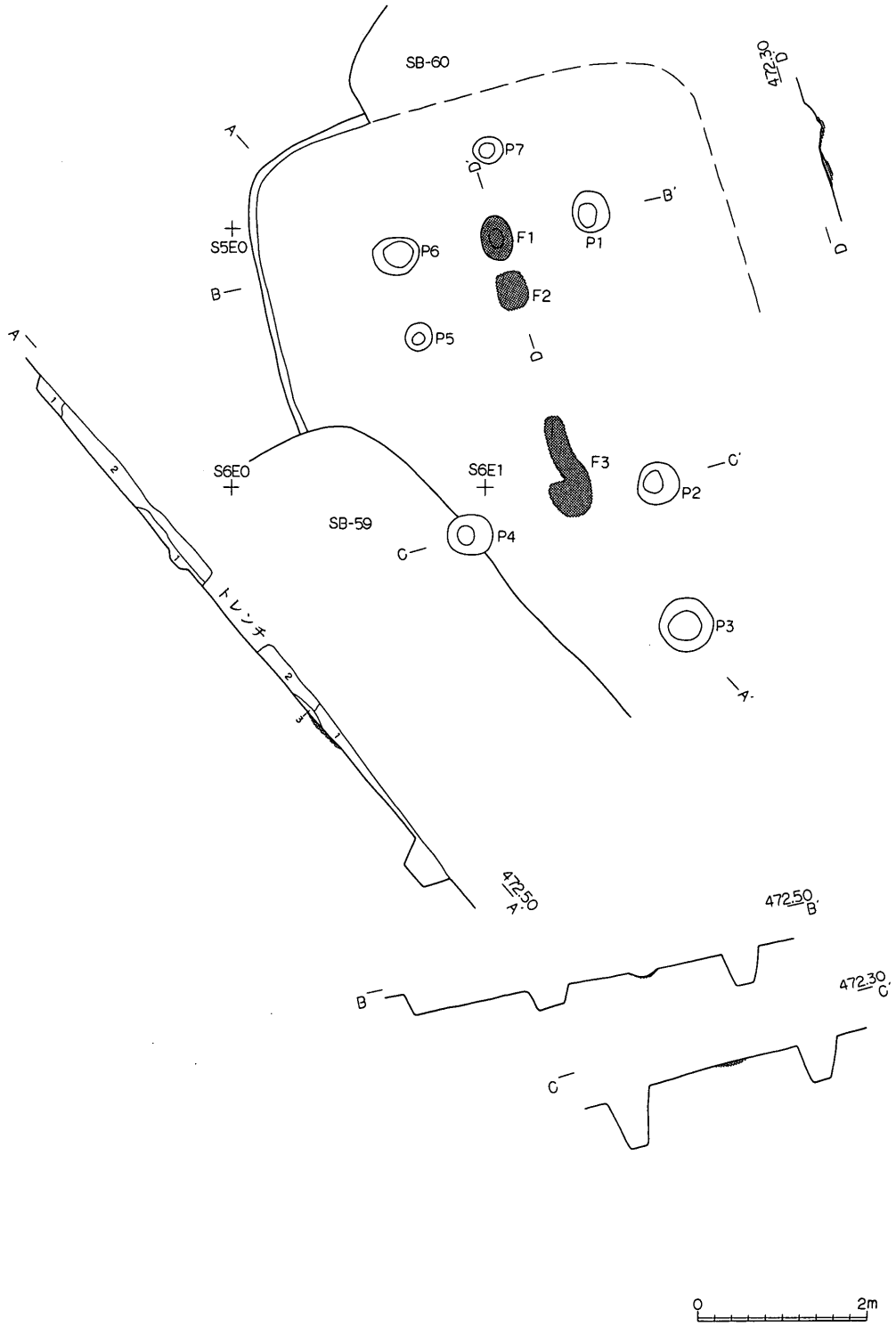
第８３図　Ａ－５９号住居址実測図



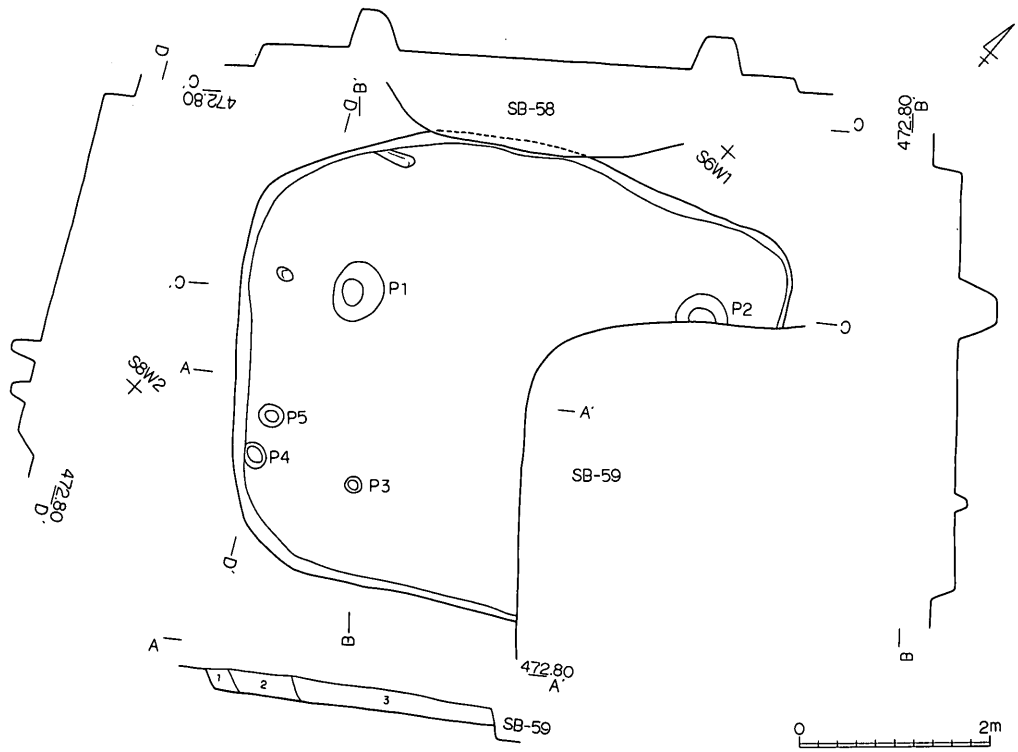
第８４図　Ａ－６０号住居址実測図



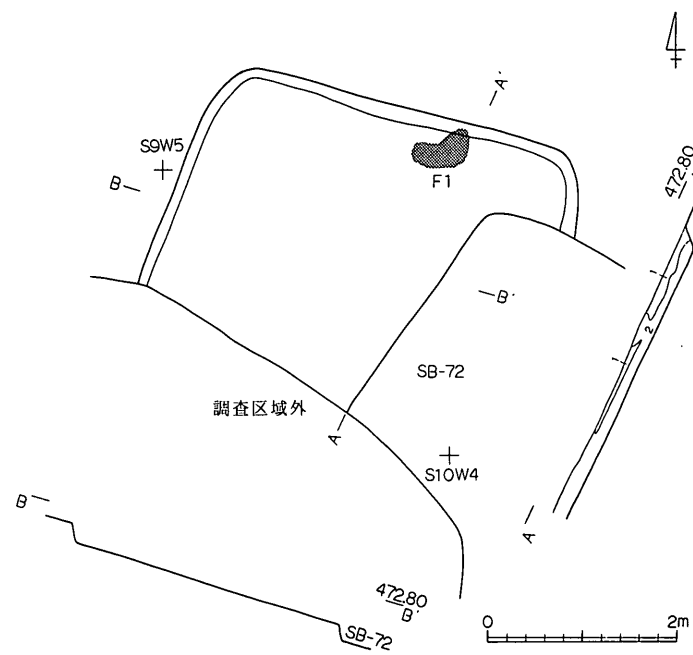
第８５図　Ａ－６０号住居炉址実測図



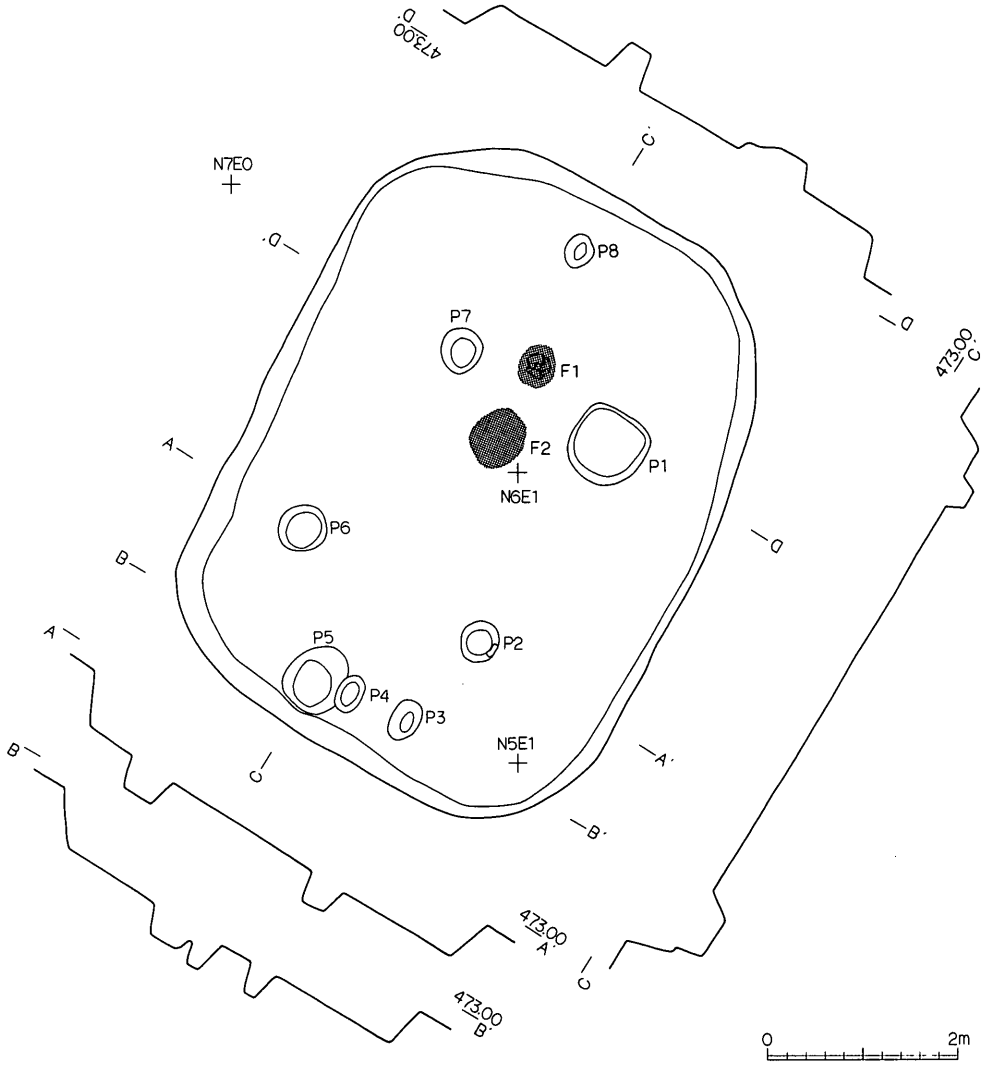
第８６図　Ａ－６１号住居址実測図



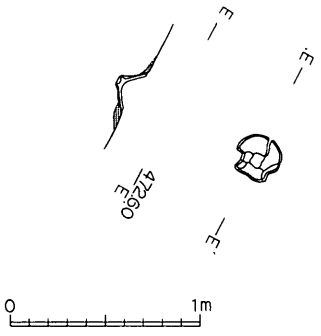
第８７図　Ａ－６２号住居址実測図



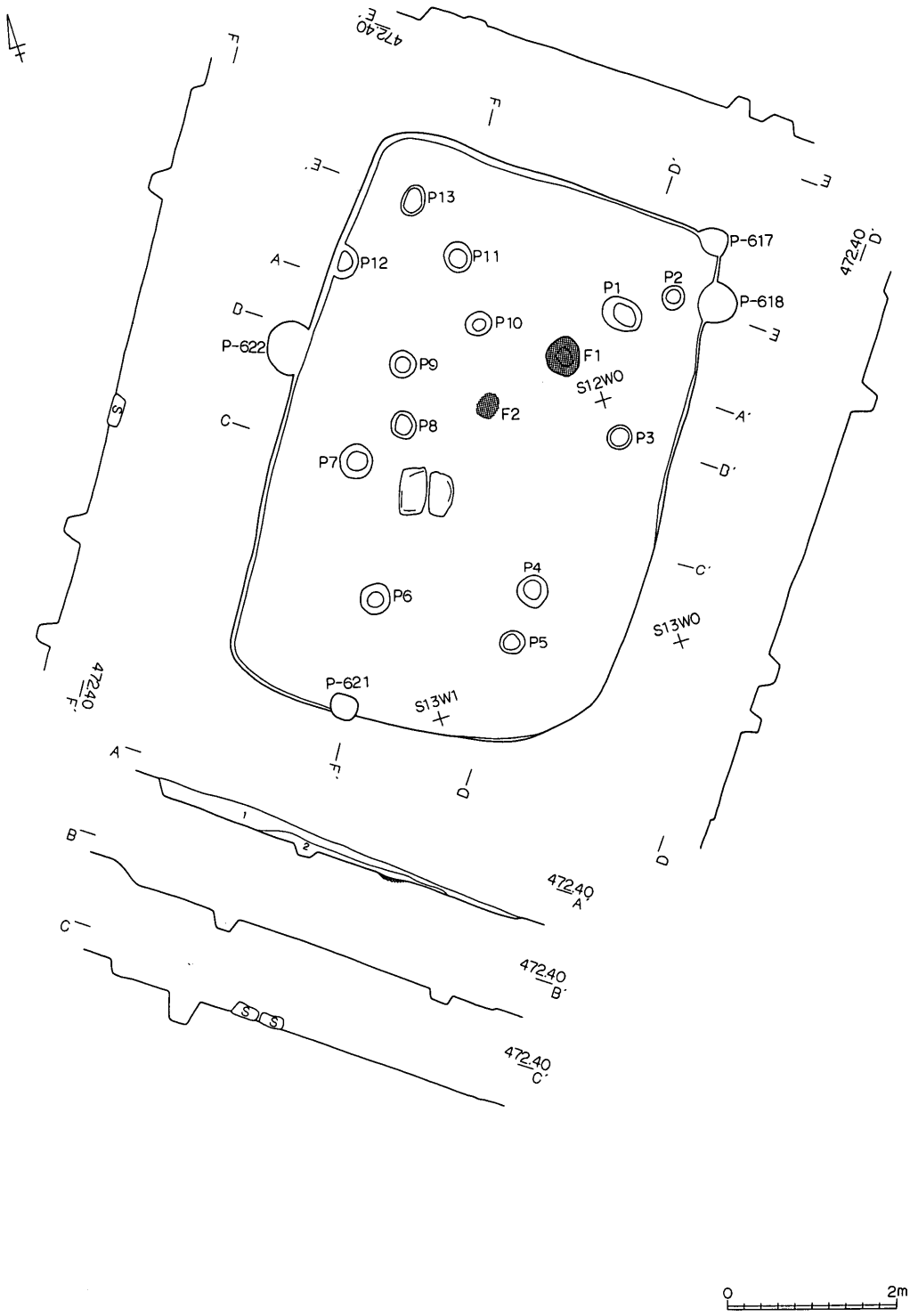
第８８図　Ａ－６３号住居址実測図



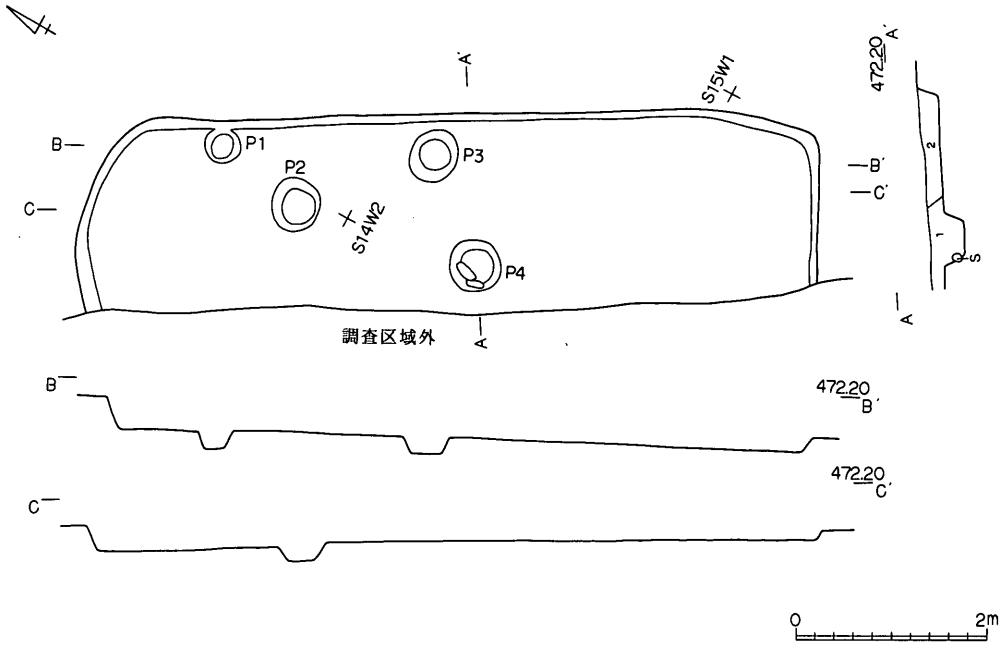
第８９図　Ａ－６４号住居址実測図



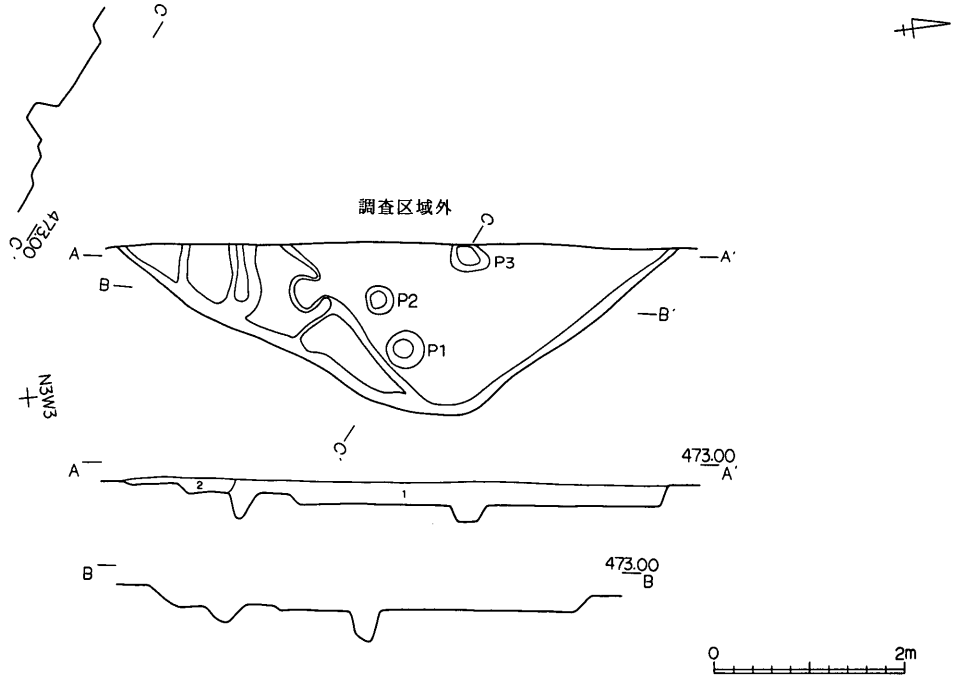
第９０図　Ａ－６４号住居炉址実測図



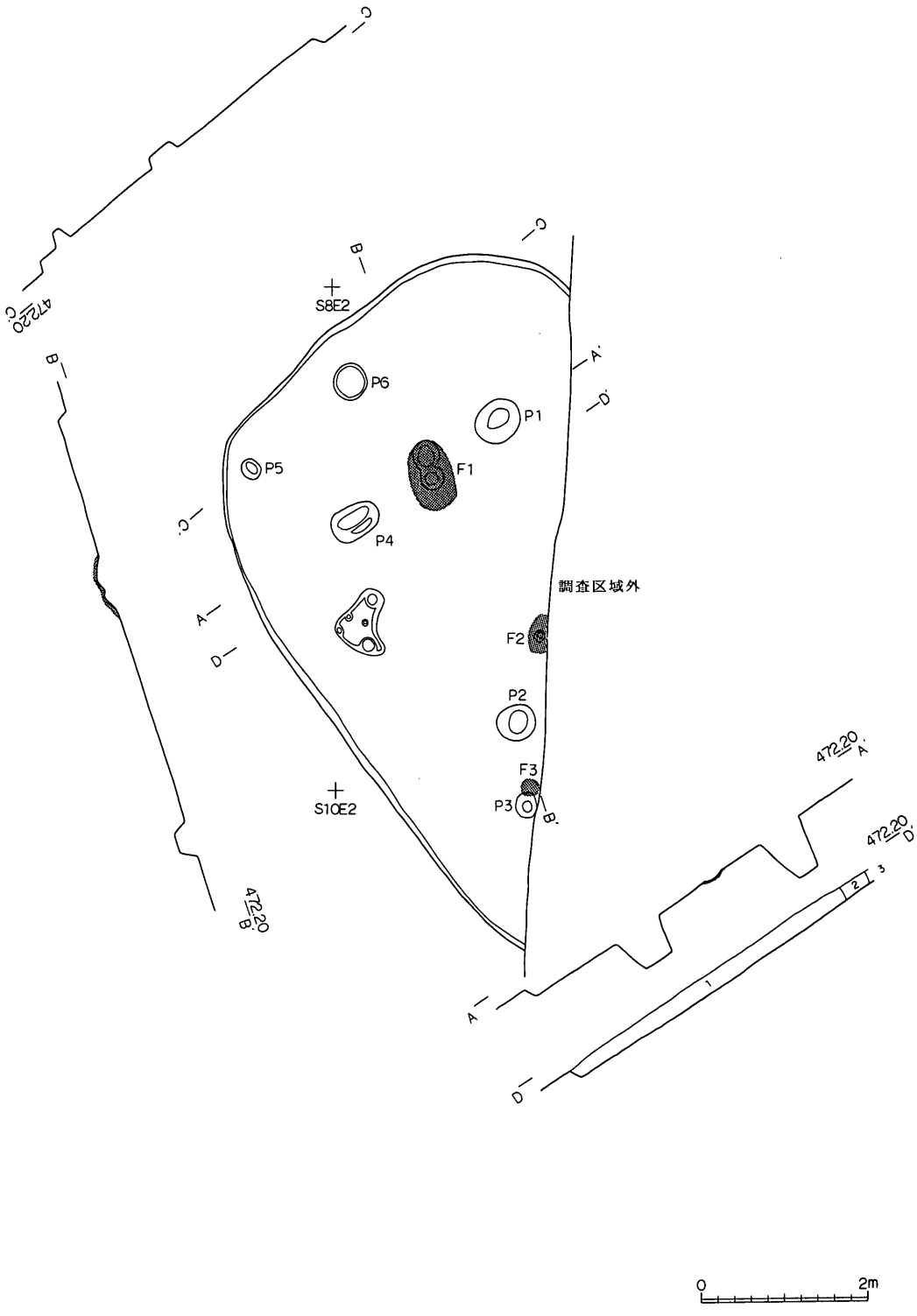
第９１図　Ａ－６５号住居址実測図



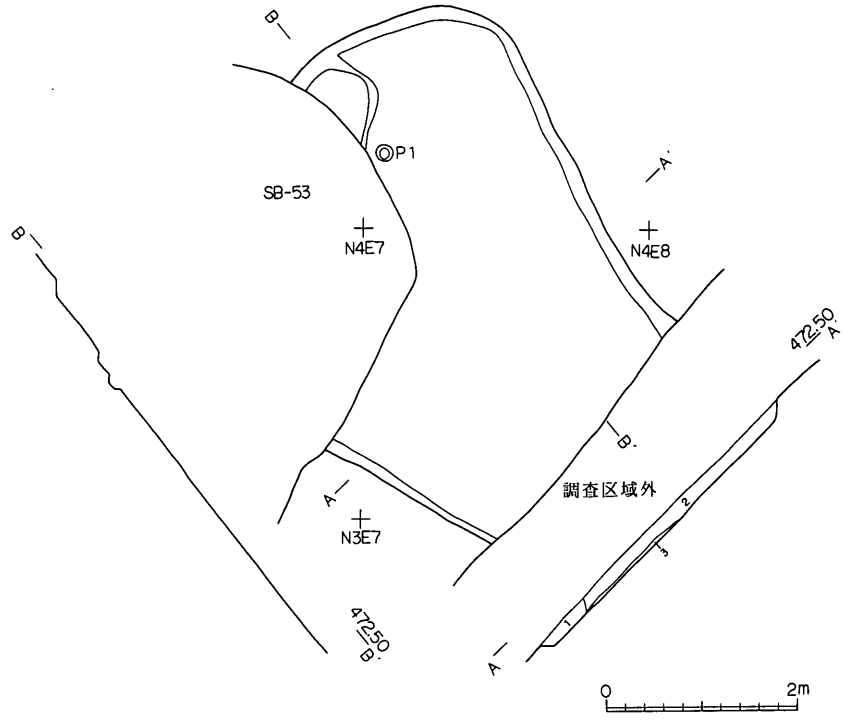
第９２図　Ａ－６６号住居址実測図



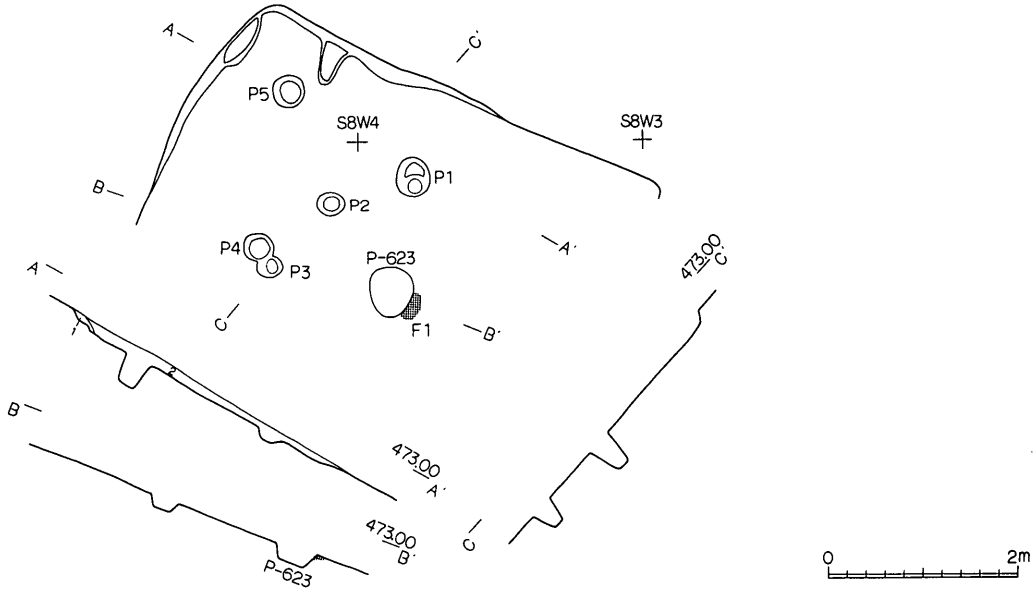
第９３図　Ａ－６７号住居址実測図



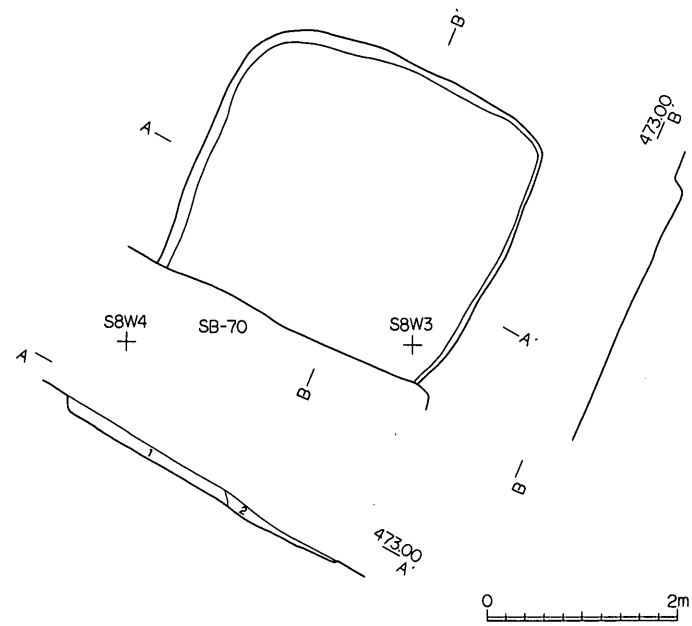
第９４図　Ａ－６８号住居址実測図



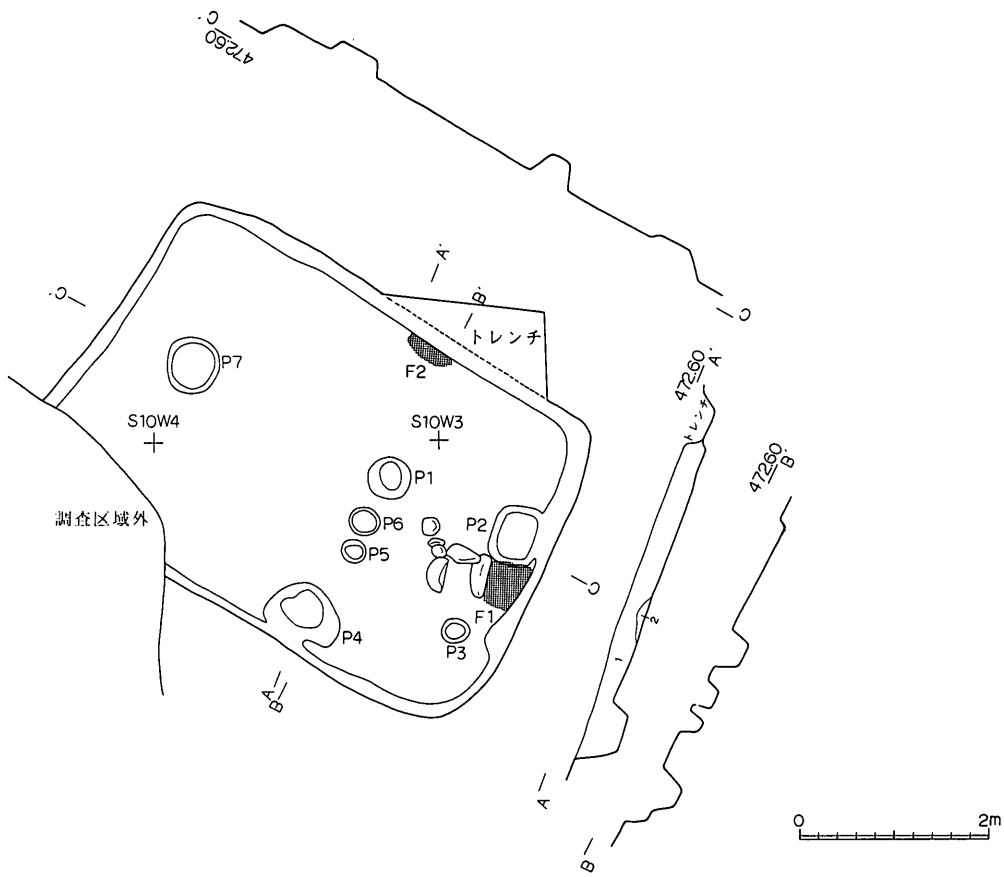
第９５図　Ａ－６９号住居址実測図



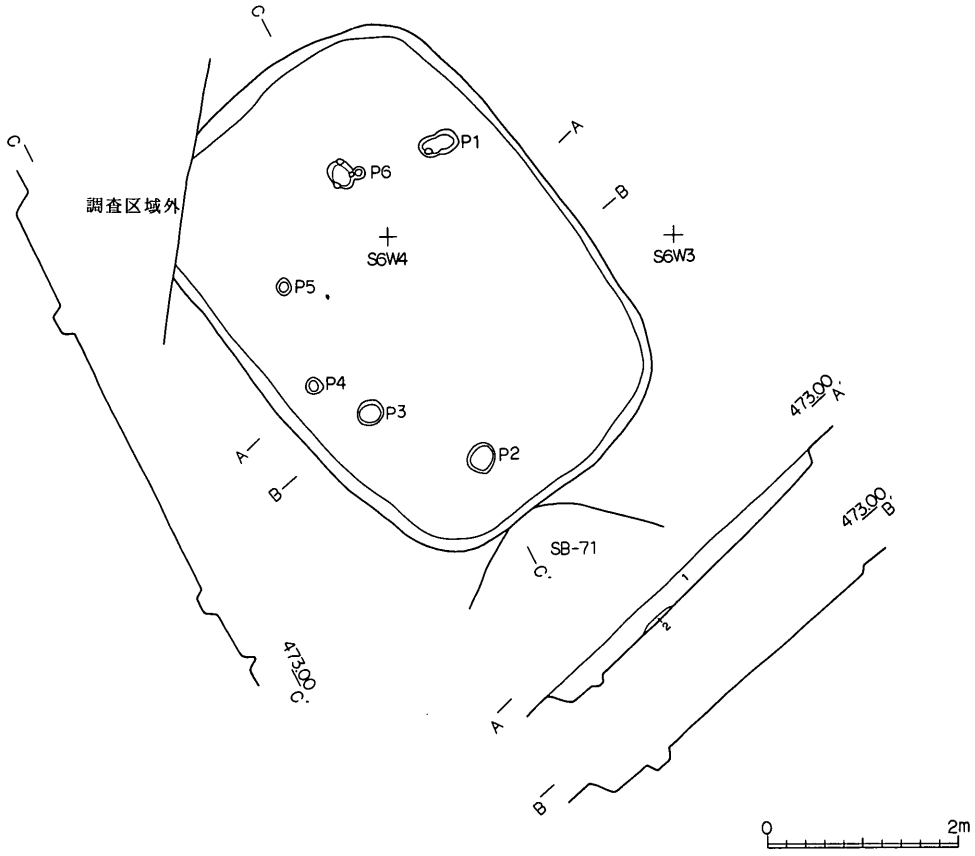
第９６図　Ａ－７０号住居址実測図



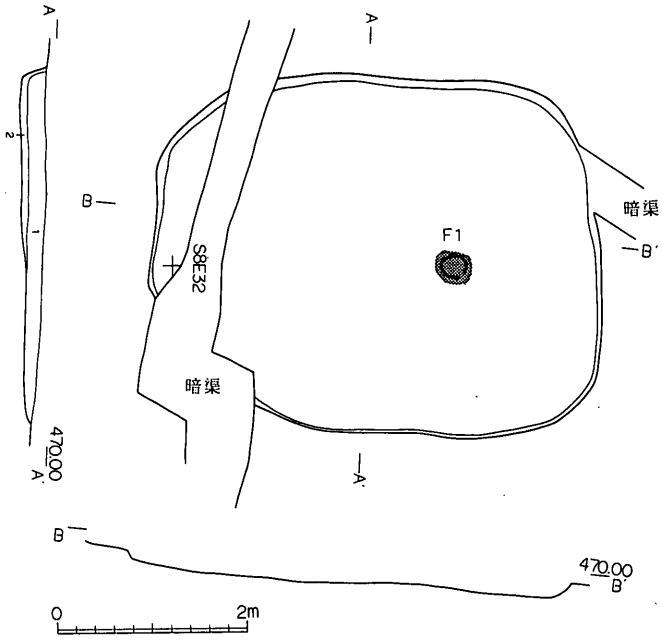
第９７図　Ａ－７１号住居址実測図

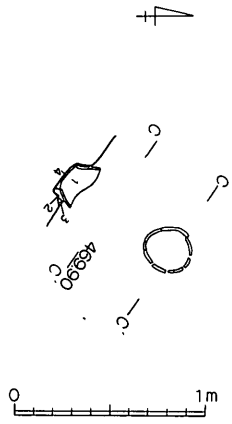


第９８図　Ａ－７２号住居址実測図



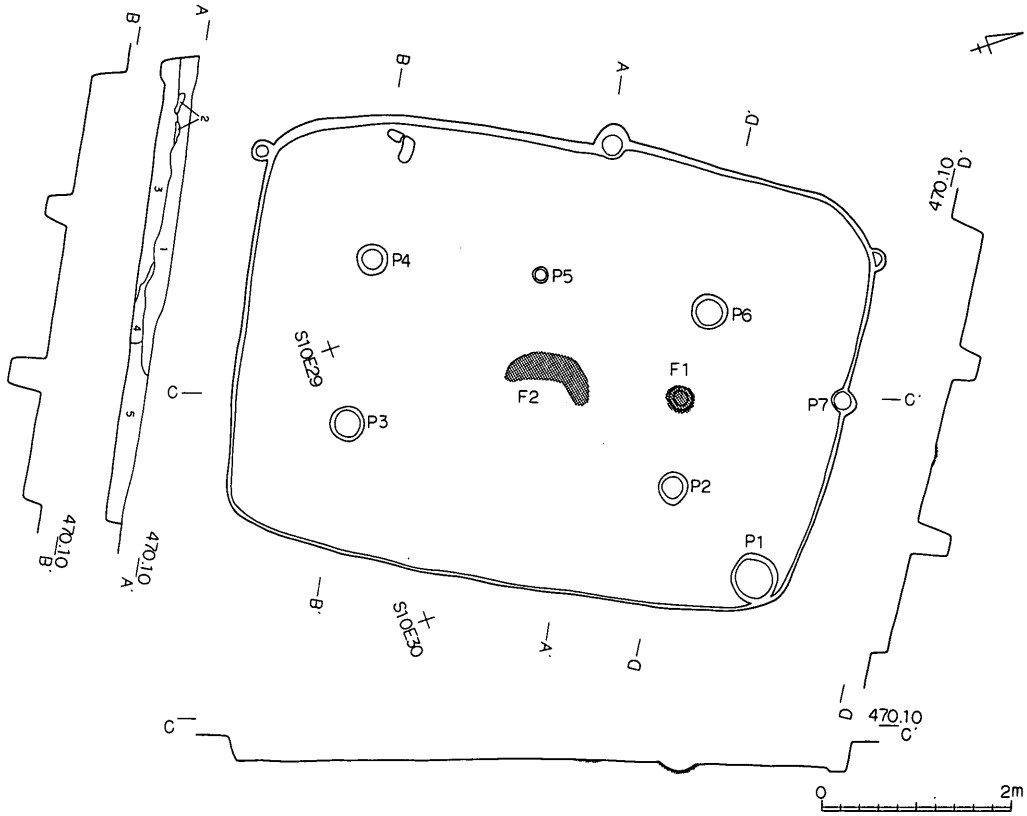
第９９図　Ａ－７３号住居址実測図



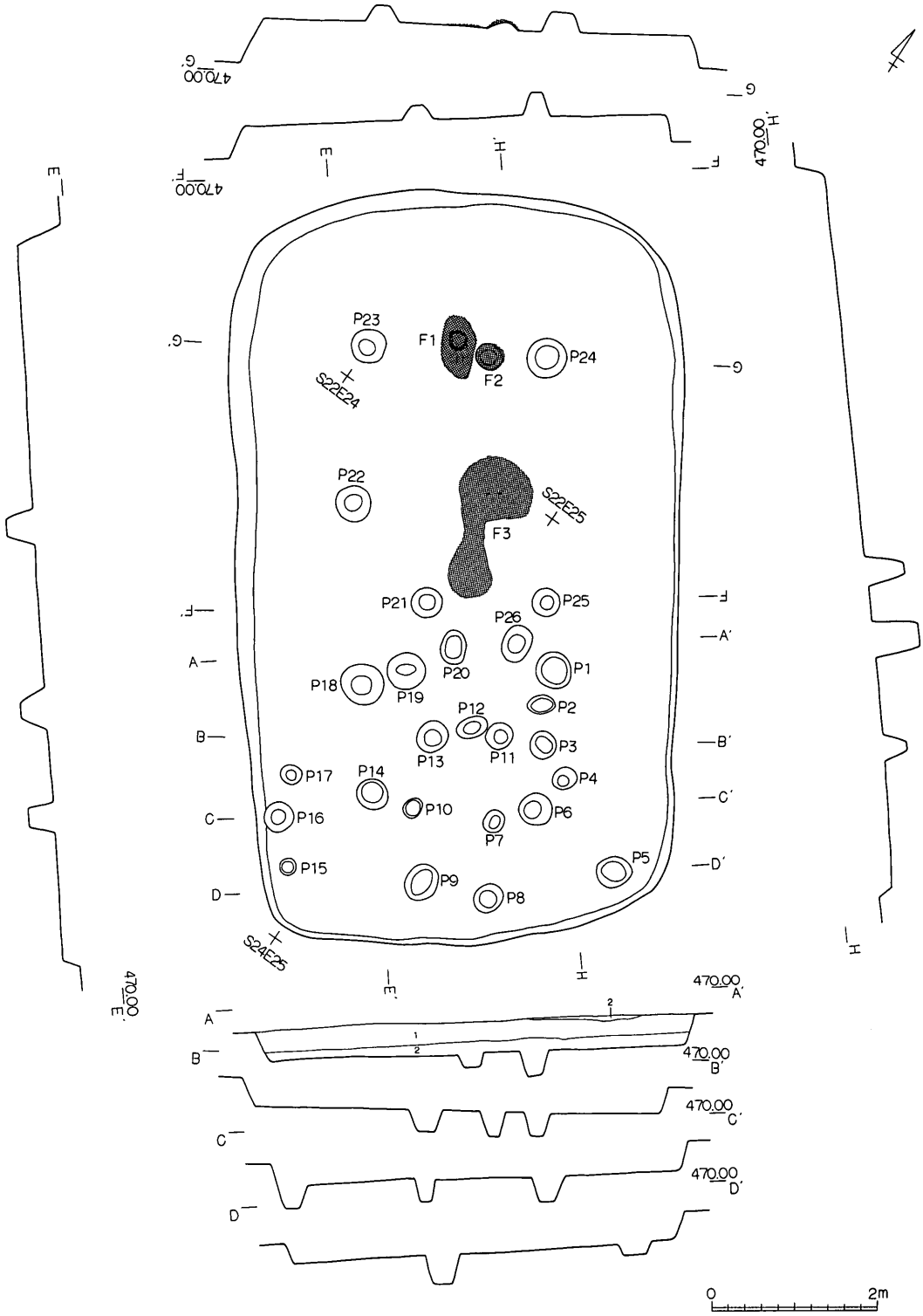


第１００図　Ｂ－４０１号住居址実測図

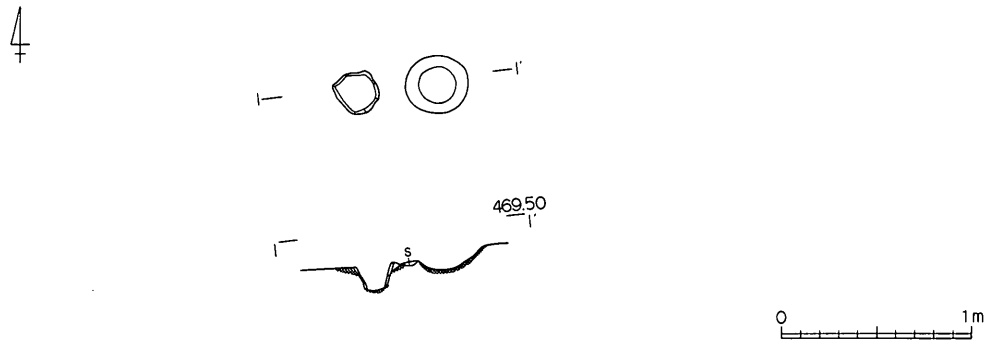
第１０１図
Ｂ－４０１号住居炉址実測図



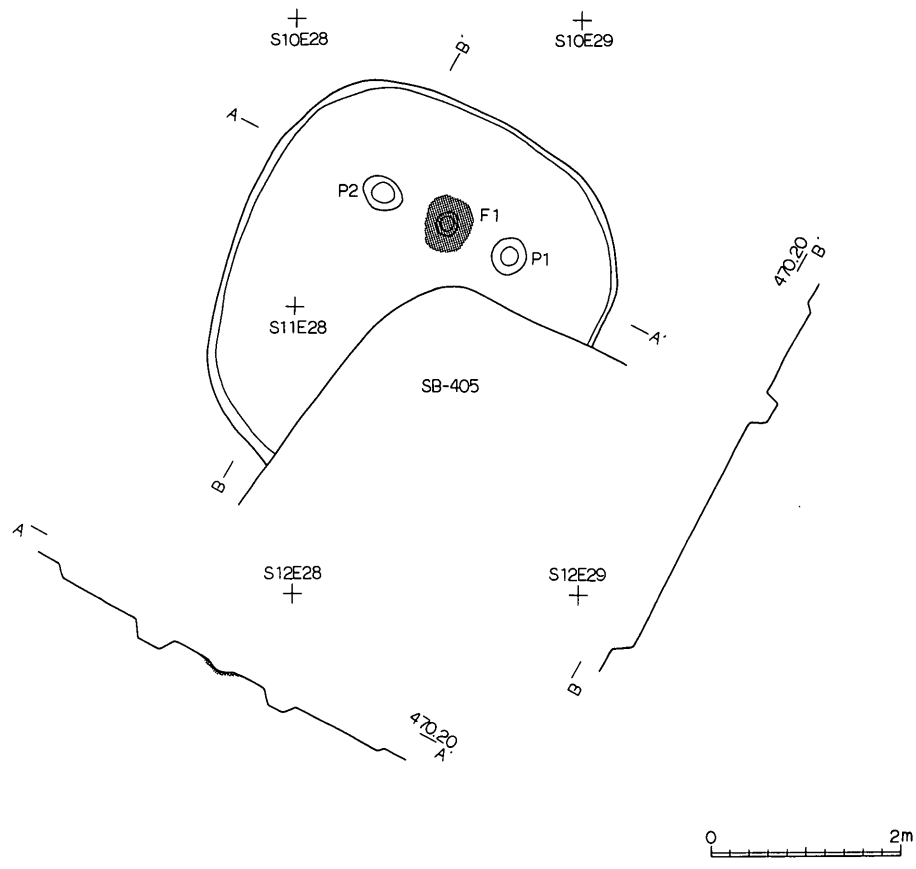
第１０２図　Ｂ－４０２号住居址実測図



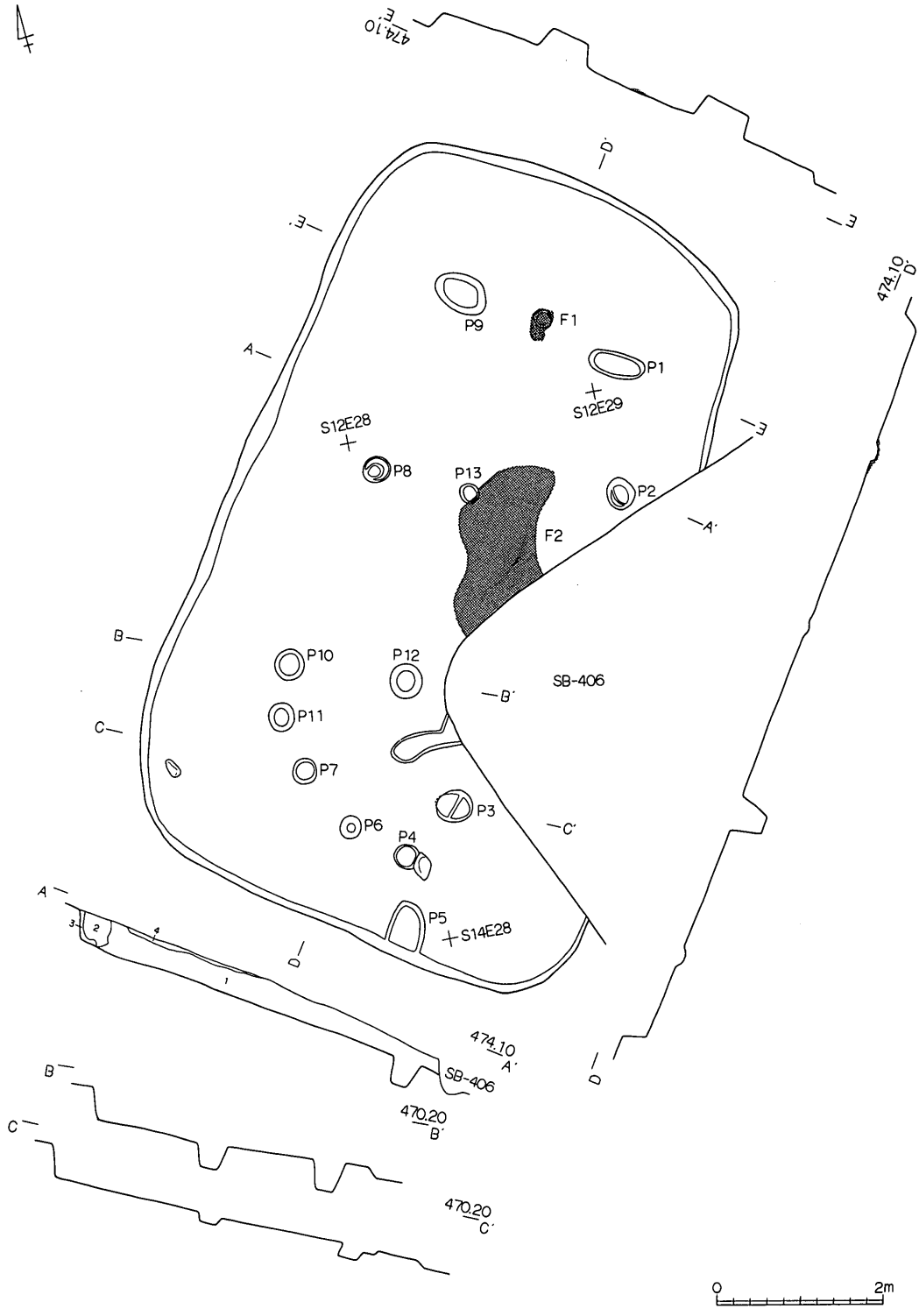
第１０３図　Ｂ－４０３号住居址実測図



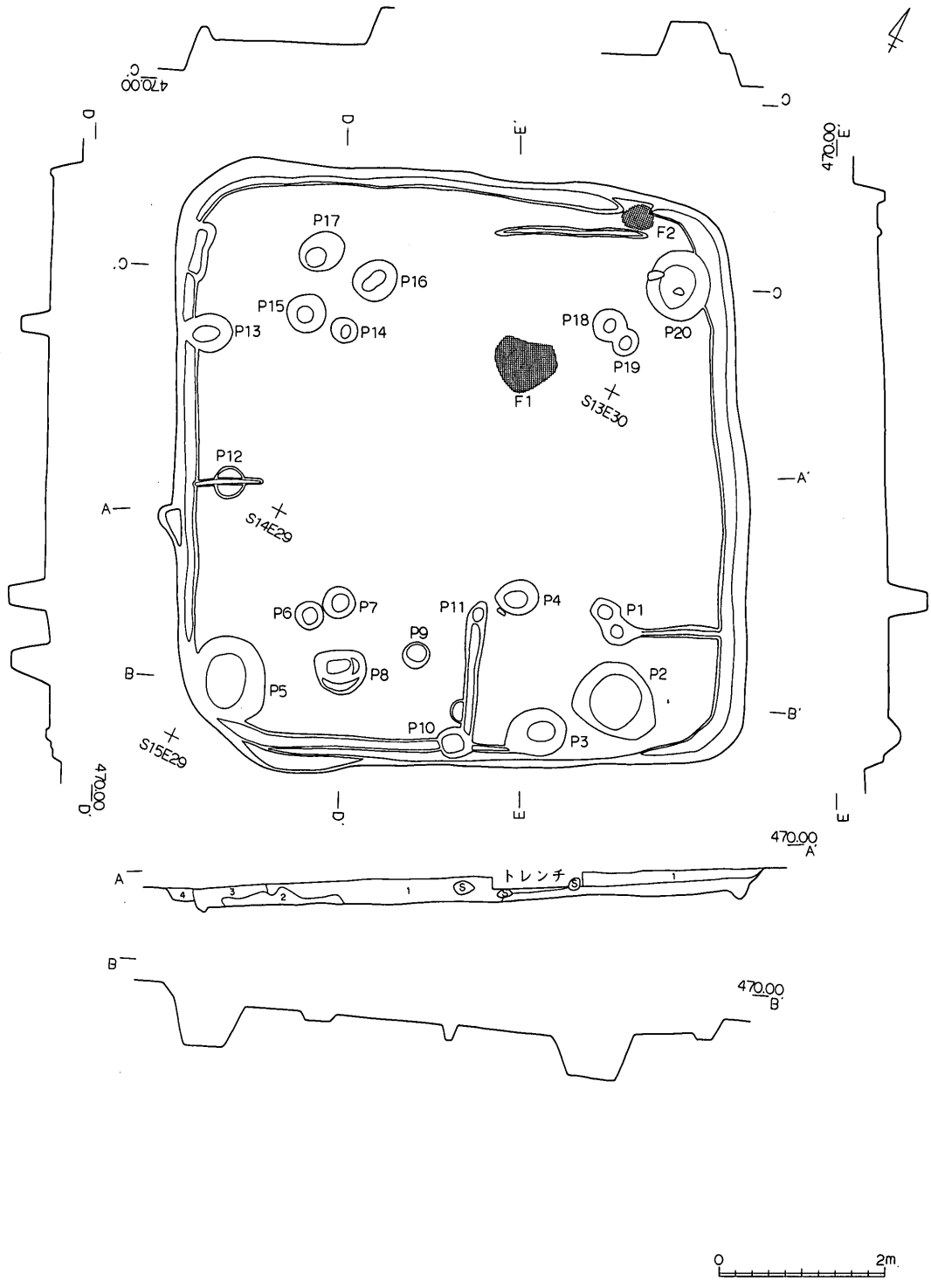
第１０４図　Ｂ－４０３号住居炉址実測図



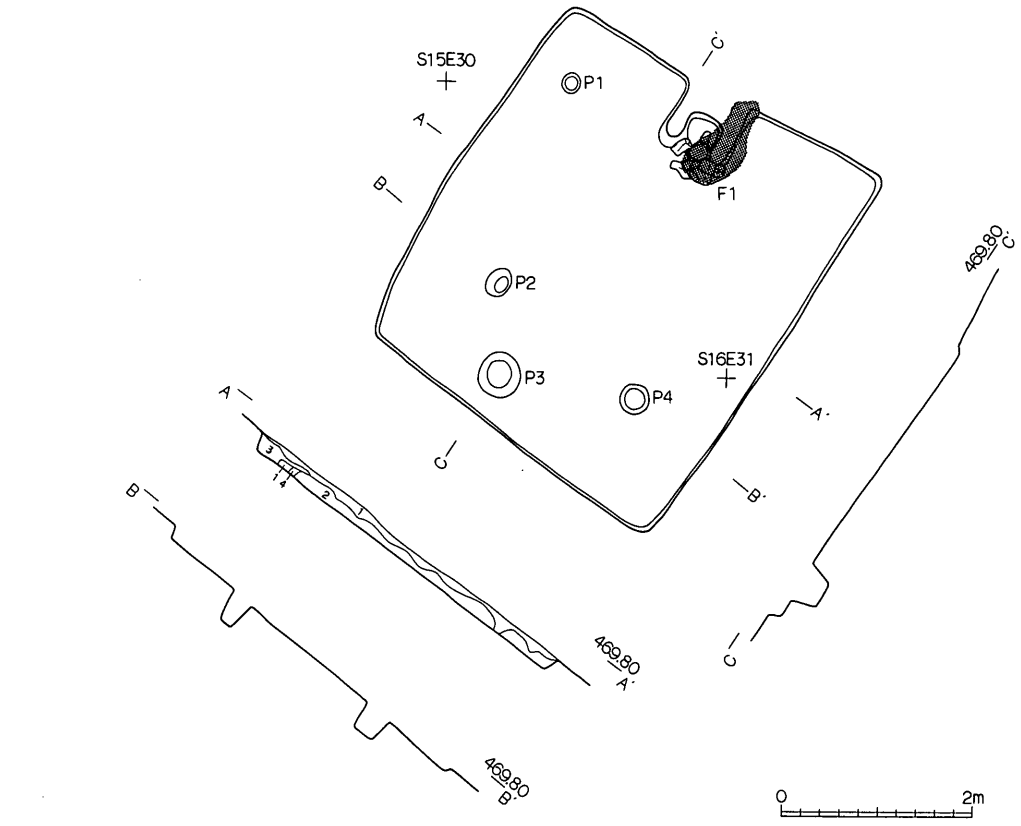
第１０５図　Ｂ－４０４号住居址実測図



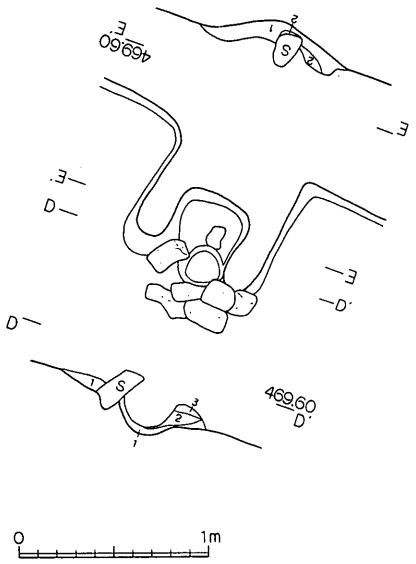
第１０６図　Ｂ－４０５号住居址実測図



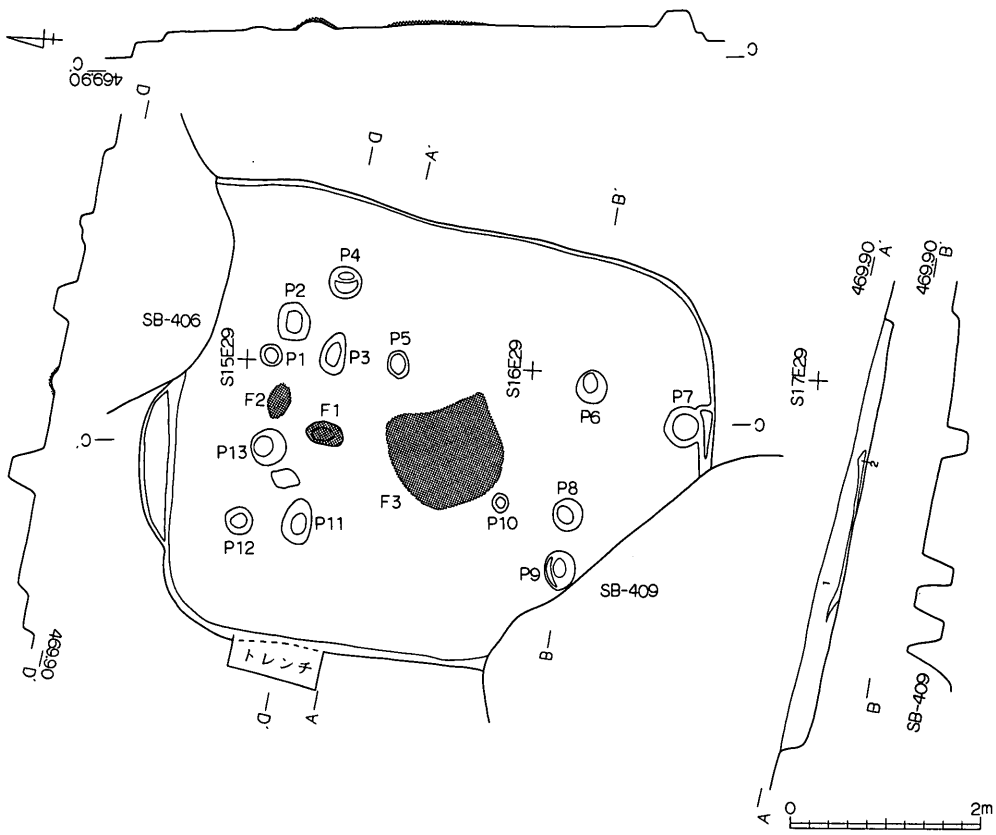
第１０７図　Ｂ－４０６号住居址実測図



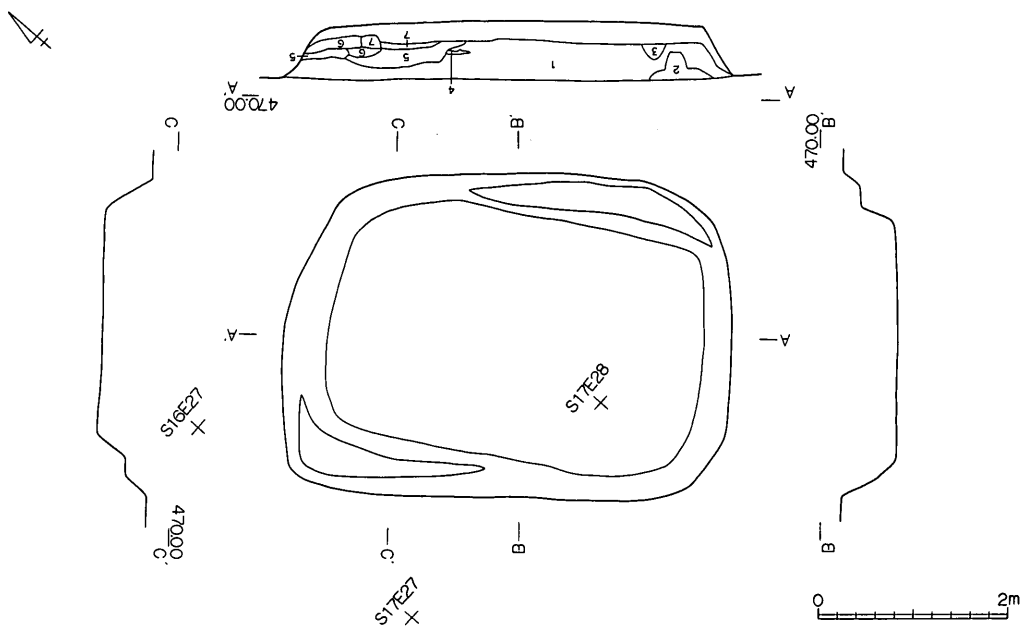
第１０８図　Ｂ－４０７号住居址実測図



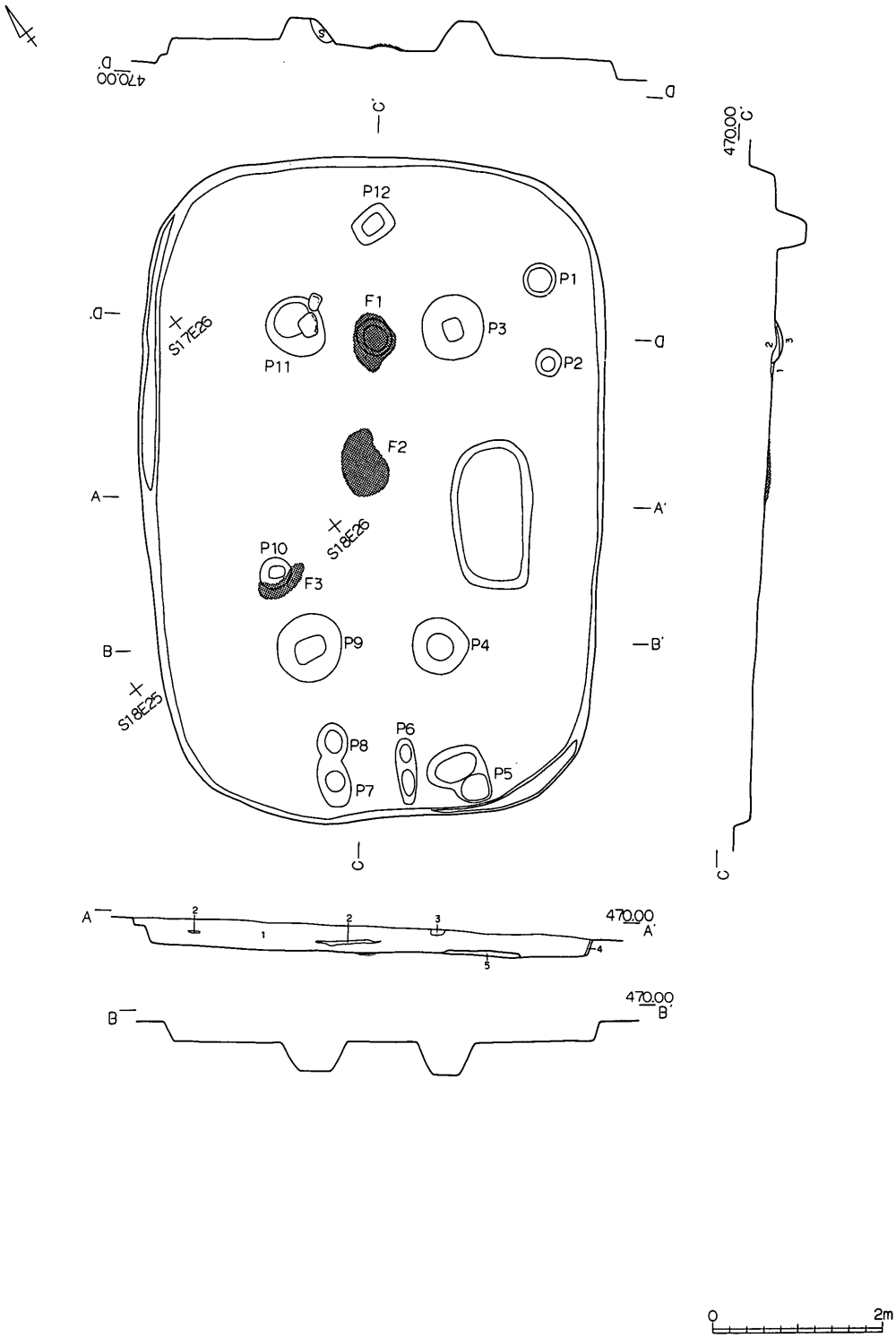
第１０９図　Ｂ－４０７号住居竈址実測図



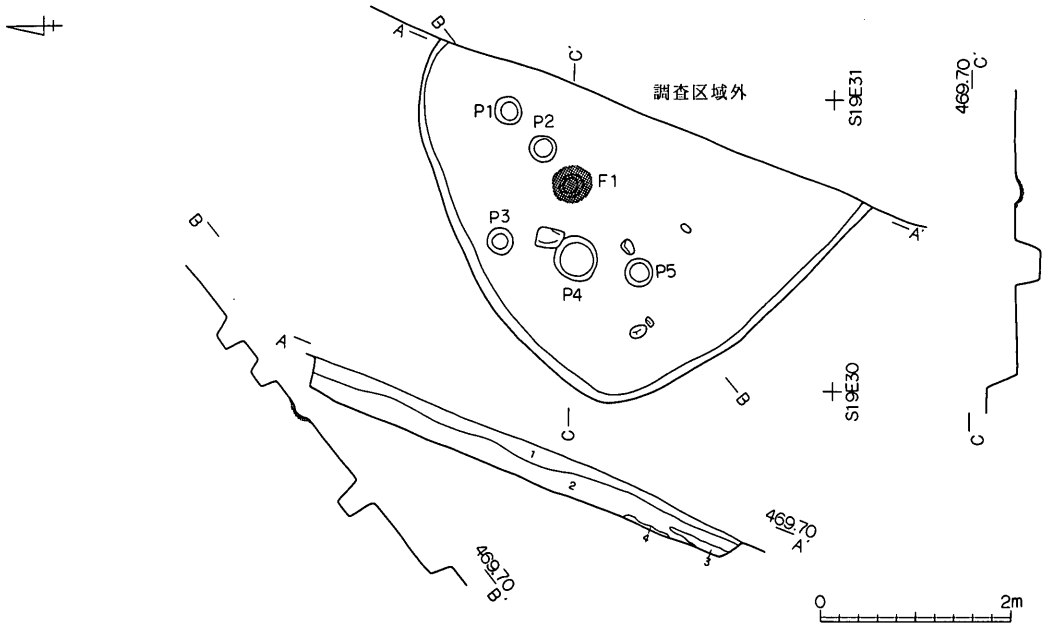
第１１０図　Ｂ－４０８号住居址実測図



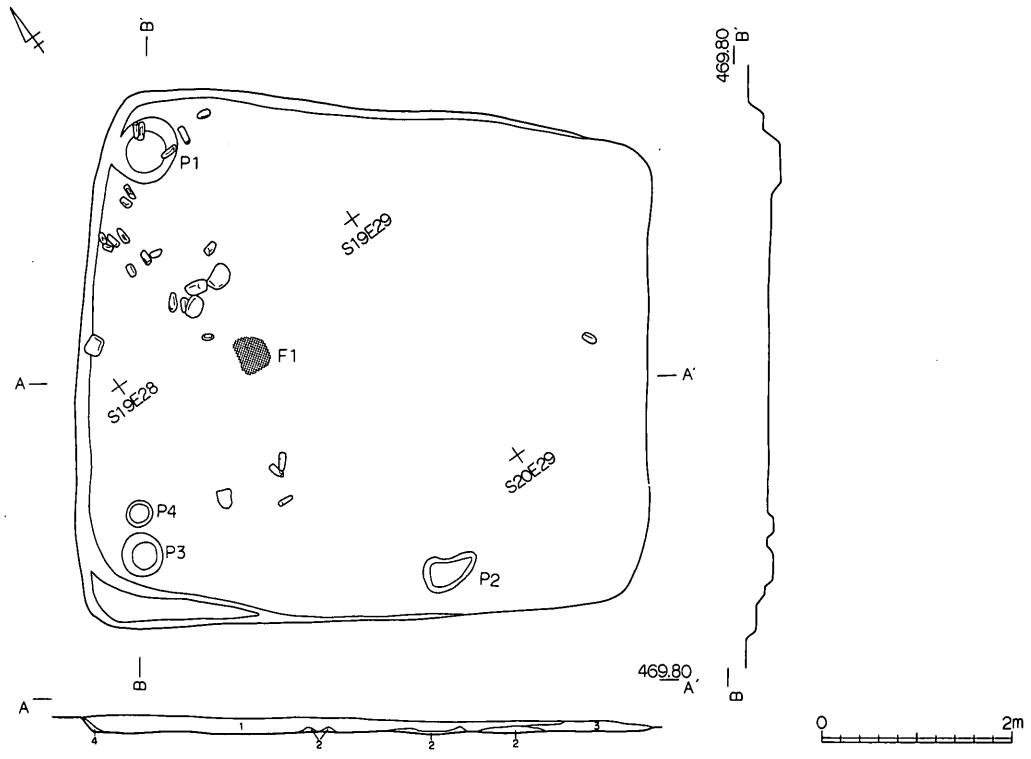
第１１１図　Ｂ－４０９号住居址実測図



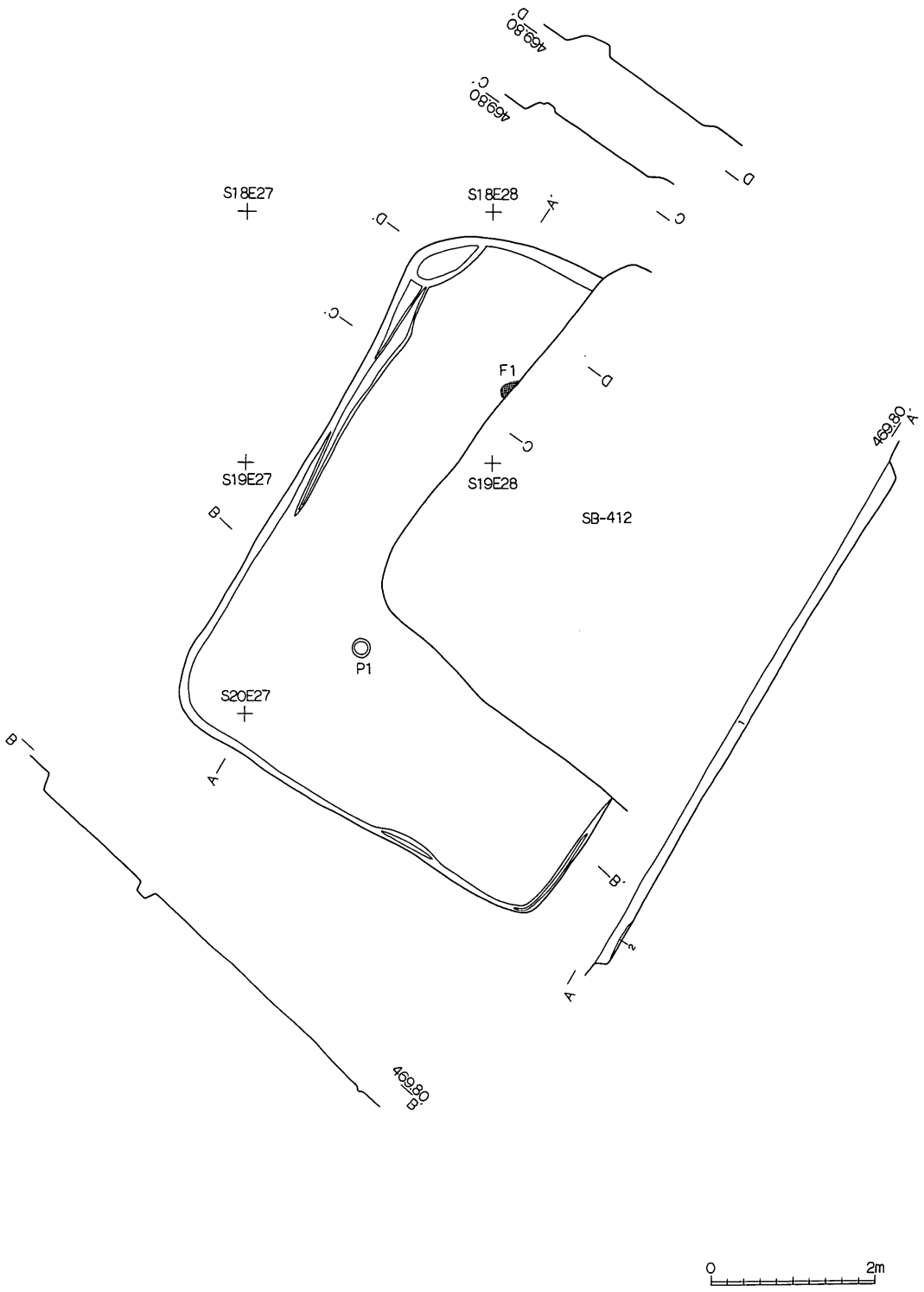
第１１２図　Ｂ－４１０号住居址実測図



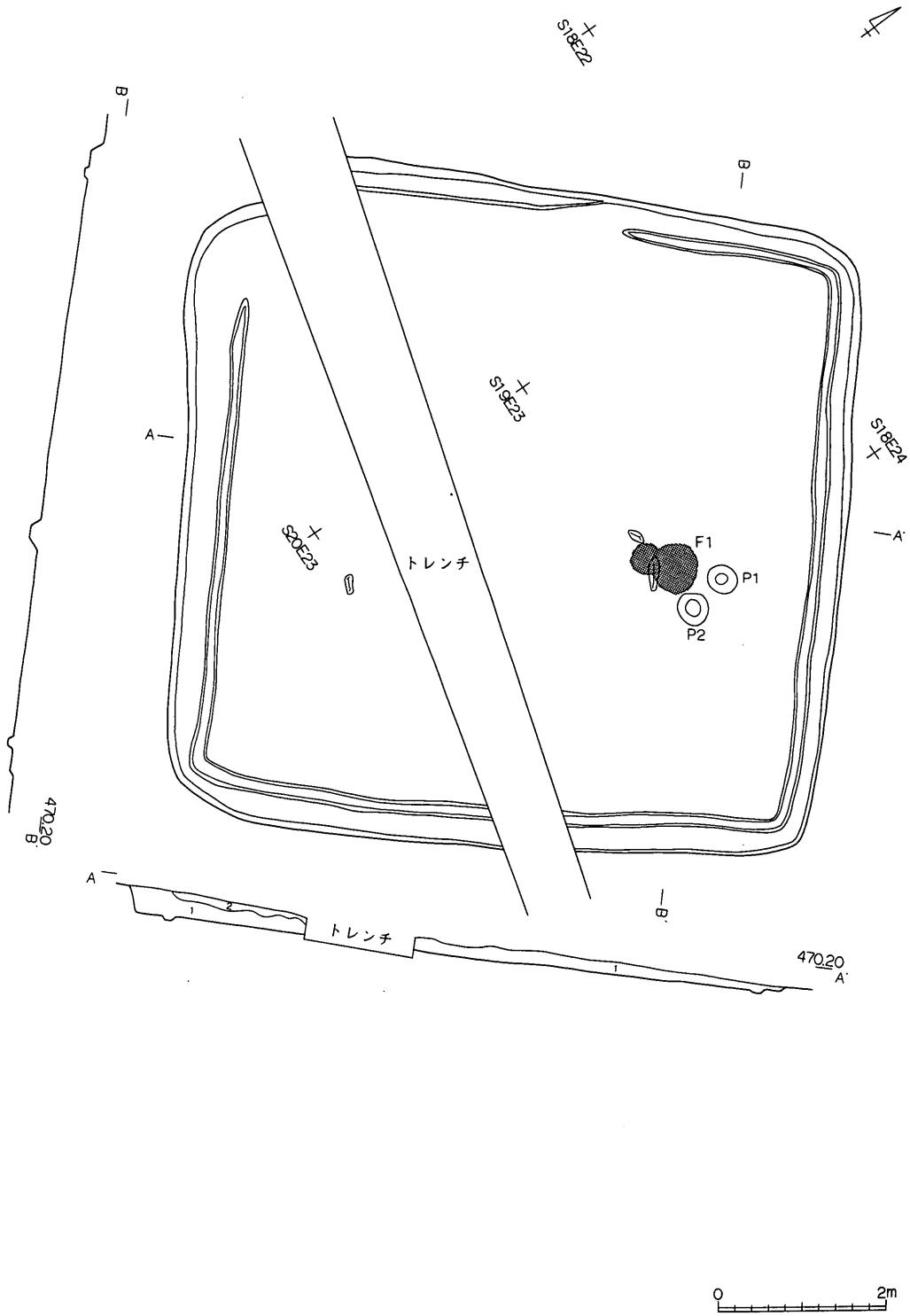
第１１３図　Ｂ－４１１号住居址実測図



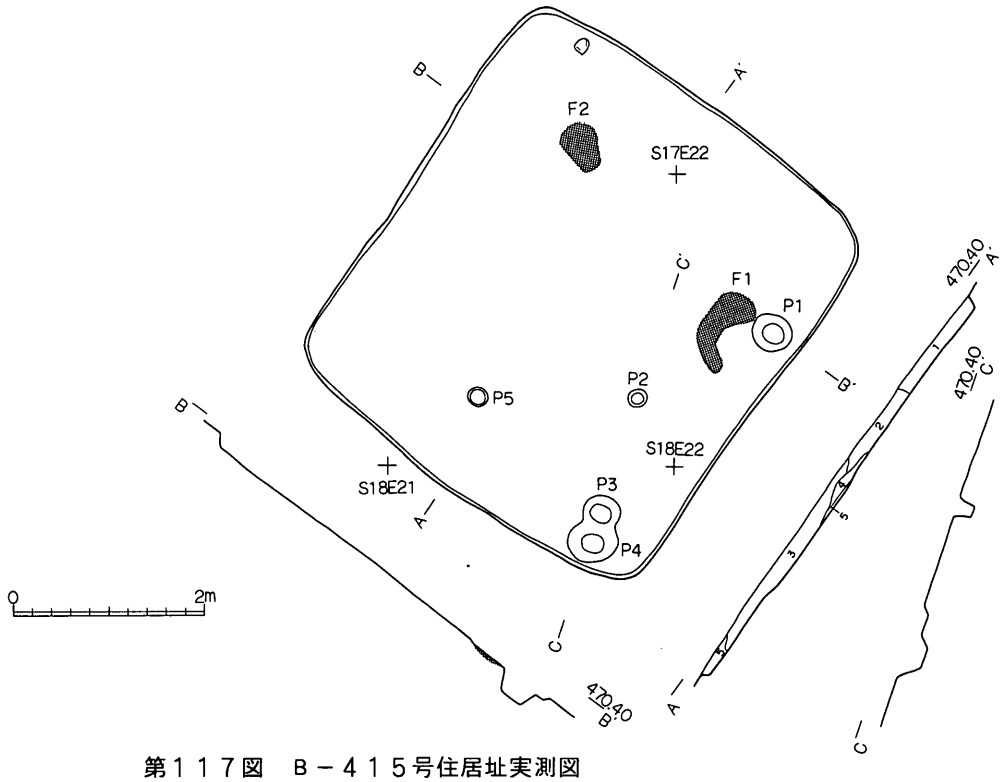
第１１４図　Ｂ－４１２号住居址実測図



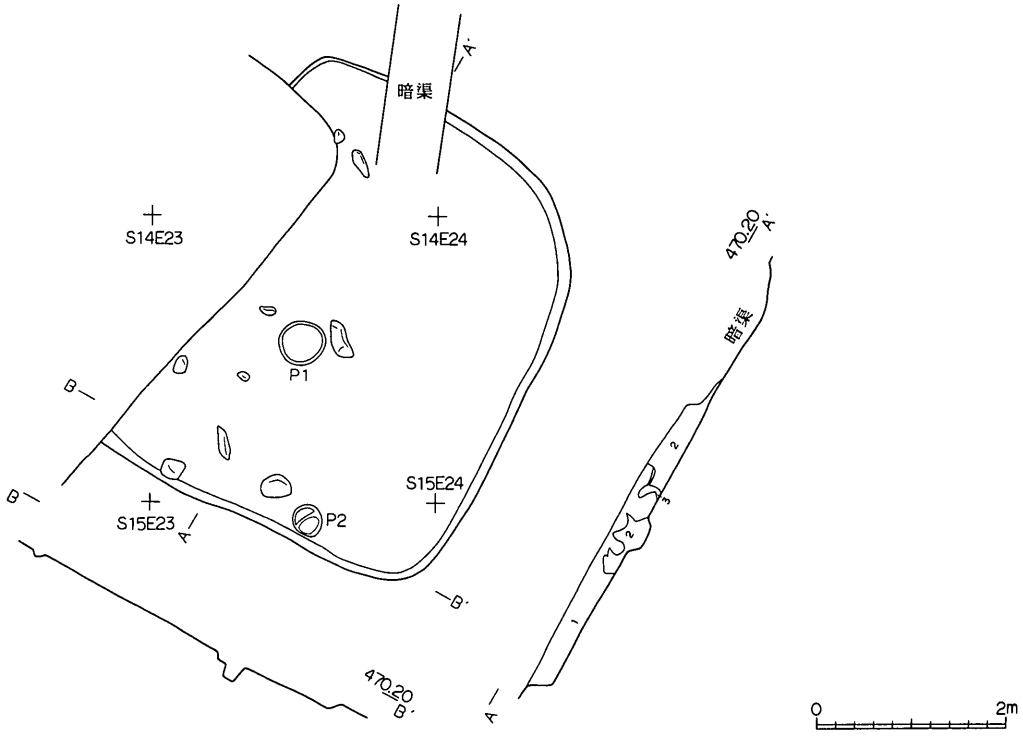
第１１５図　Ｂ－４１３号住居址実測図



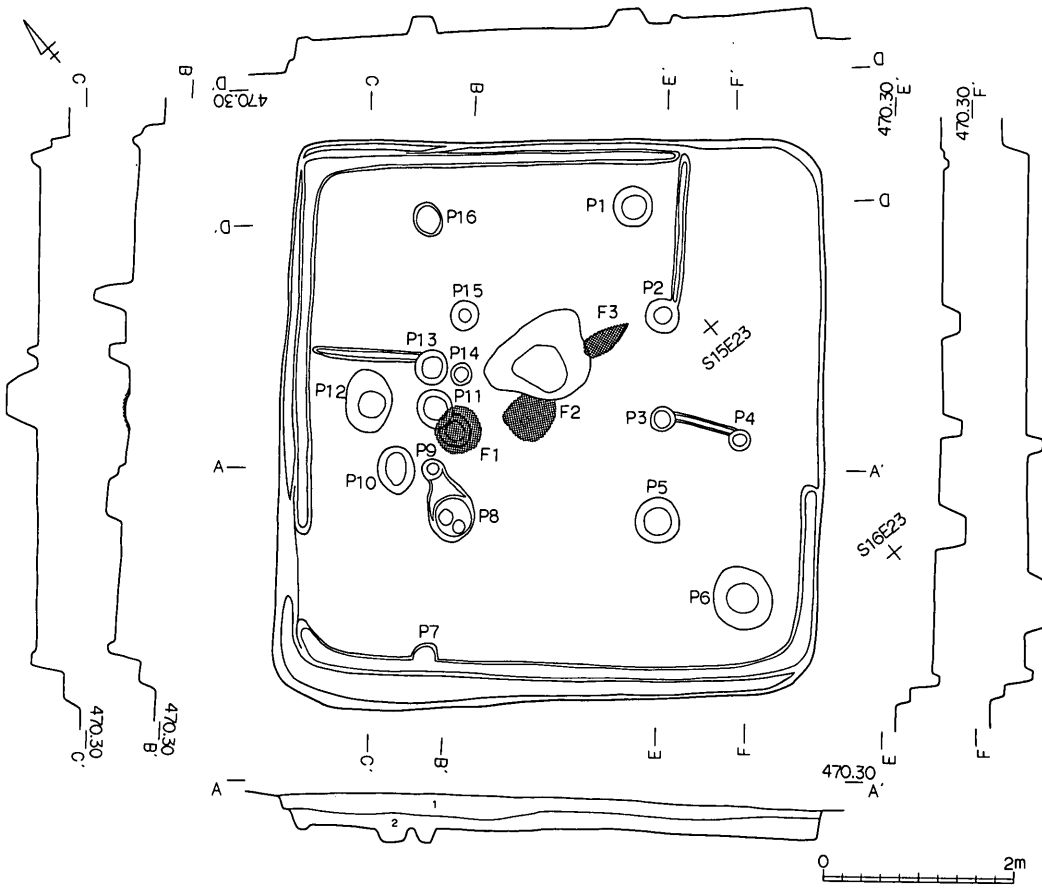
第１１６図　Ｂ－４１４号住居址実測図



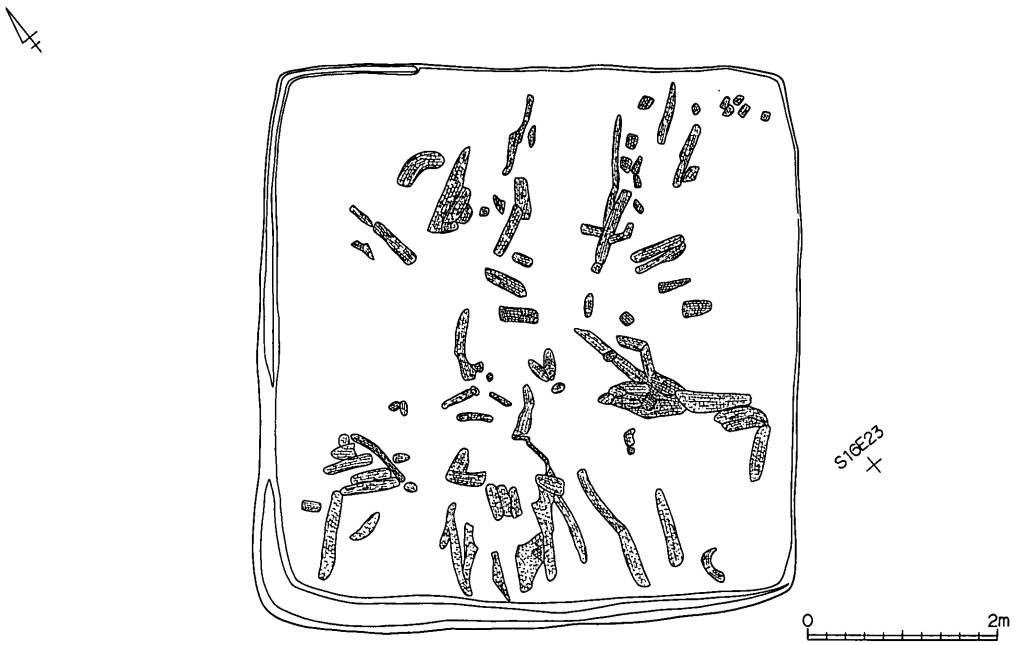
第１１７図　Ｂ－４１５号住居址実測図



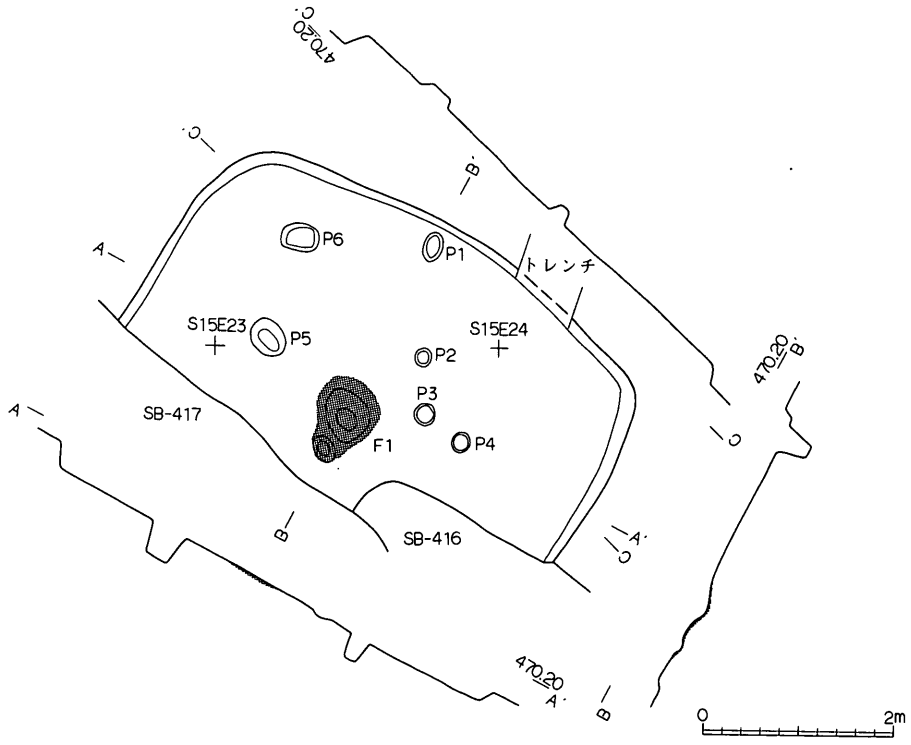
第１１８図　Ｂ－４１６号住居址実測図



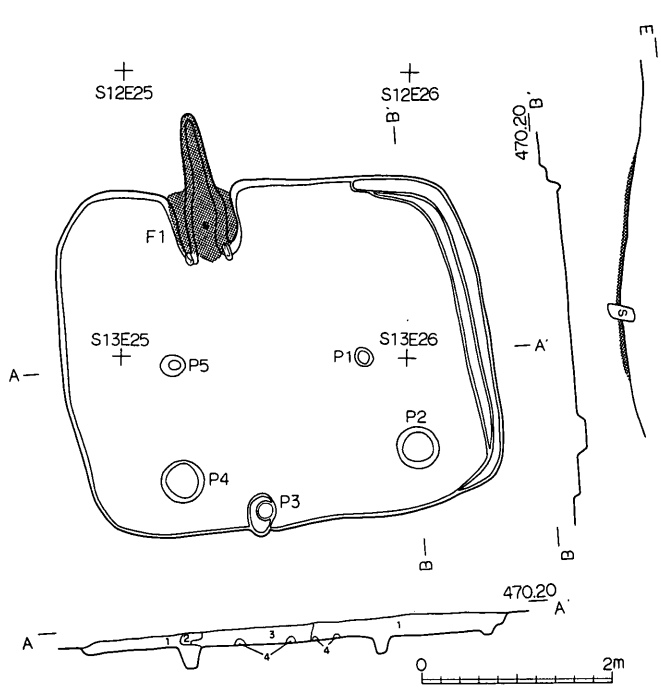
第１１９図　Ｂ－４１７号住居址実測図



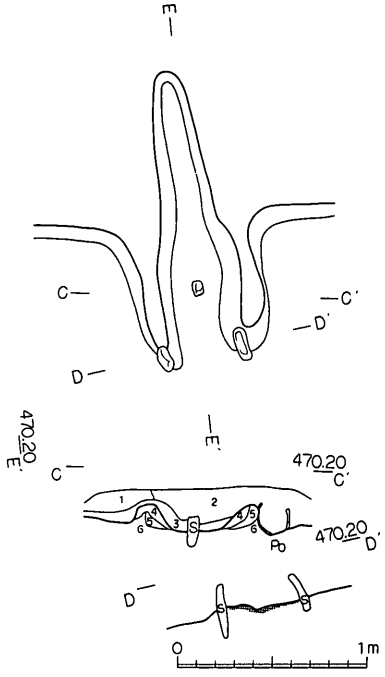
第１２０図　Ｂ－４１７号住居址炭化材出土状況図



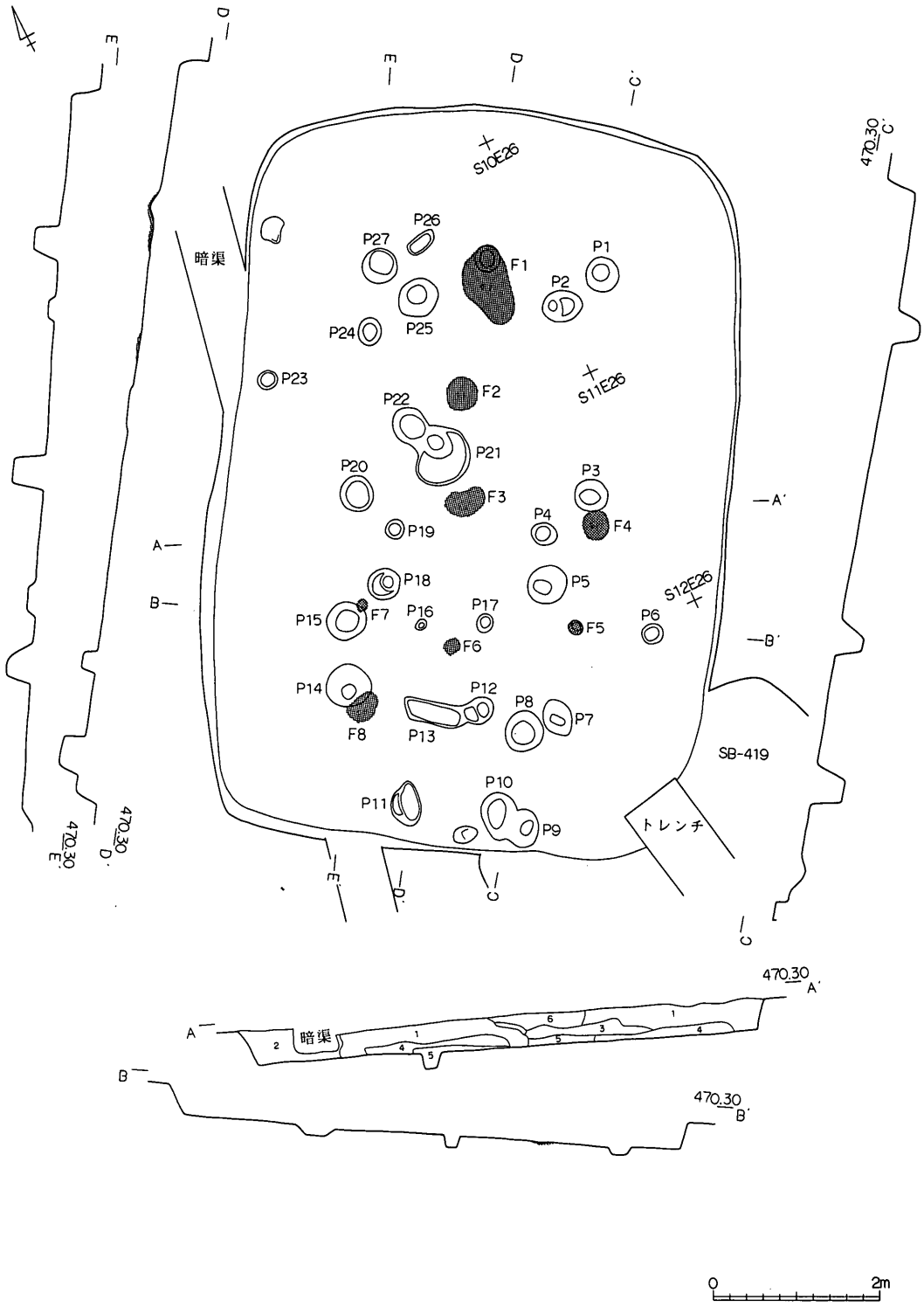
第１２１図　Ｂ－４１８号住居址実測図



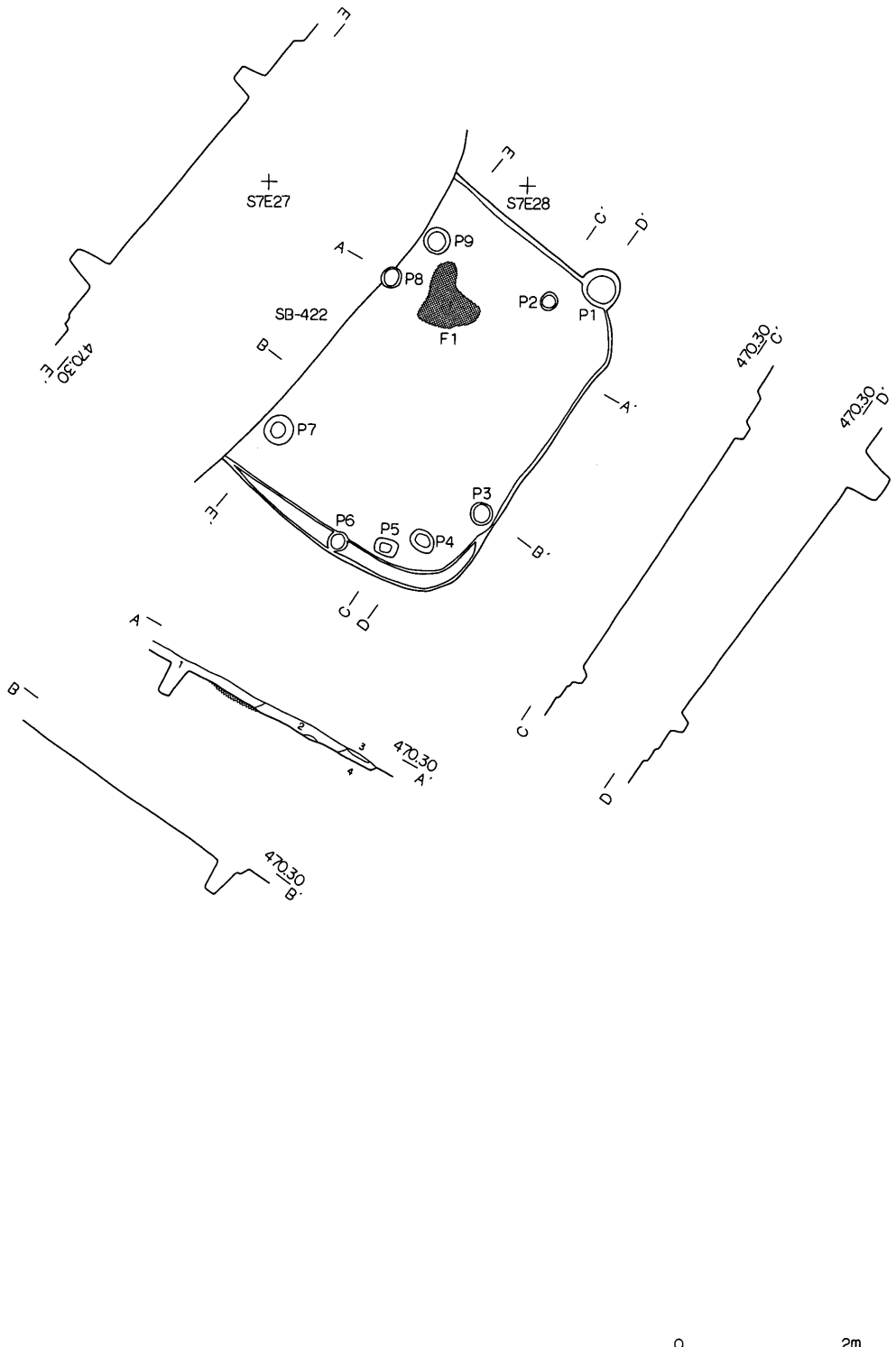
第１２２図　Ｂ－４１９号住居址実測図



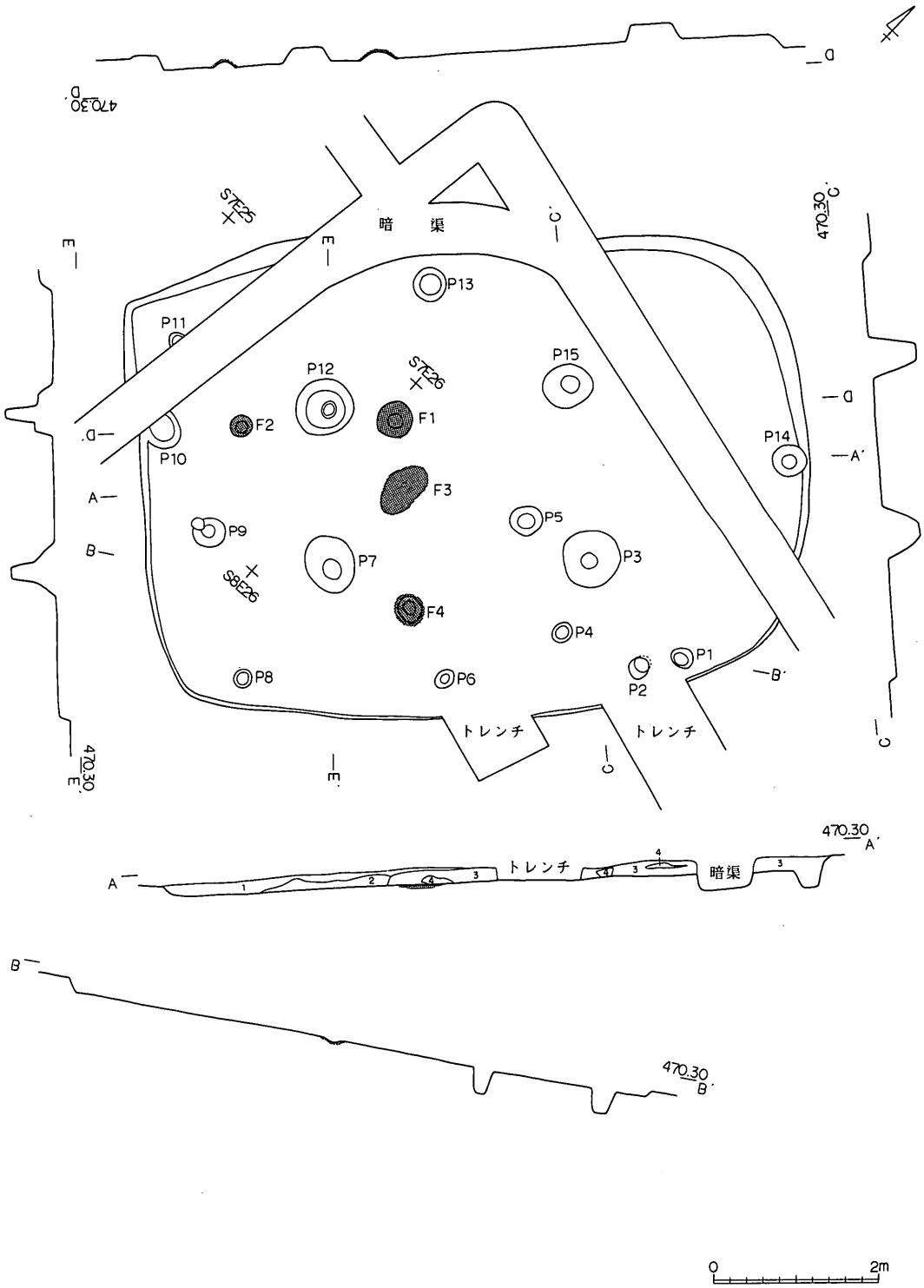
第１２３図　Ｂ－４１９号住居址実測図



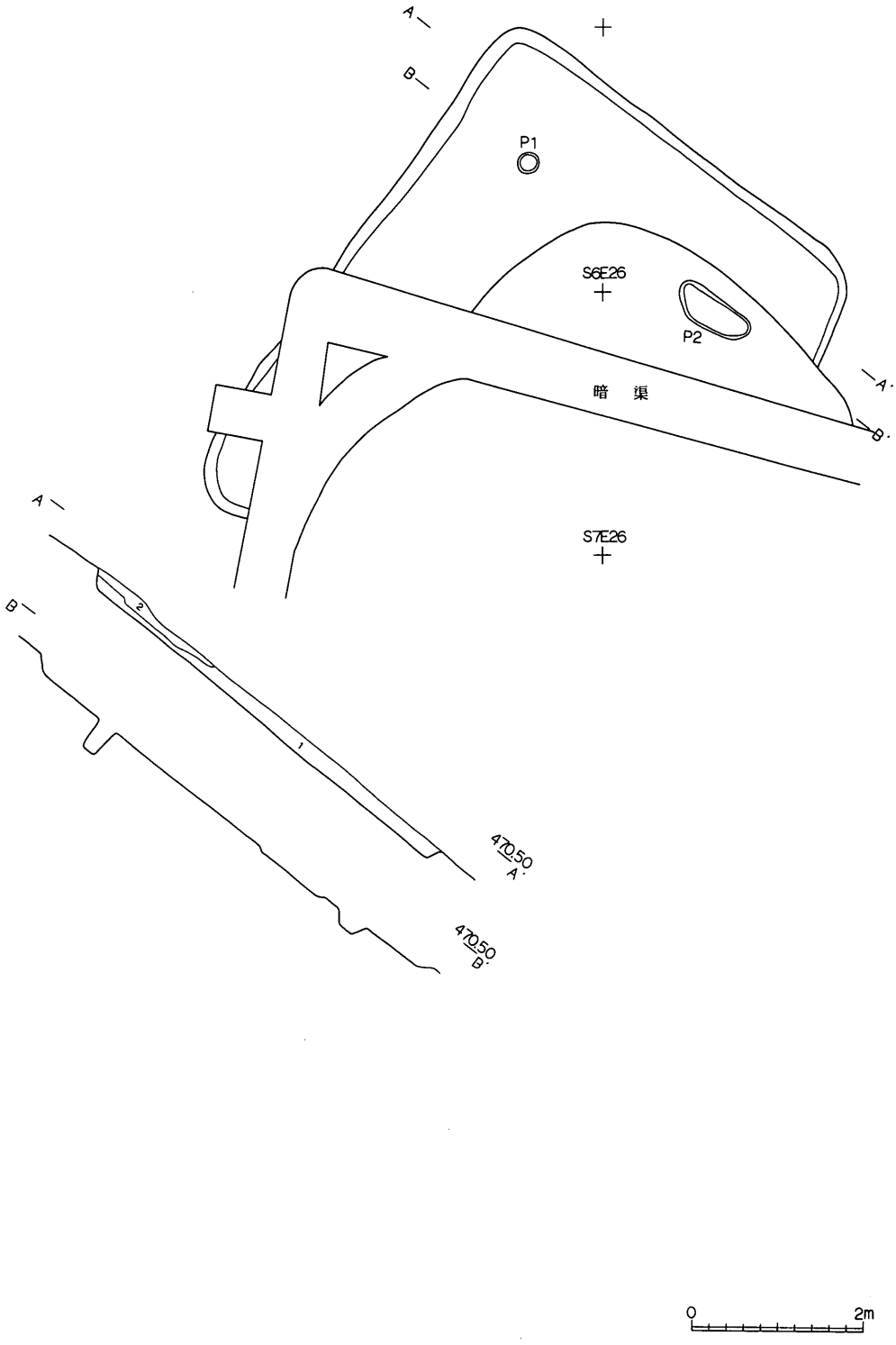
第１２４図　Ｂ－４２０号住居址実測図



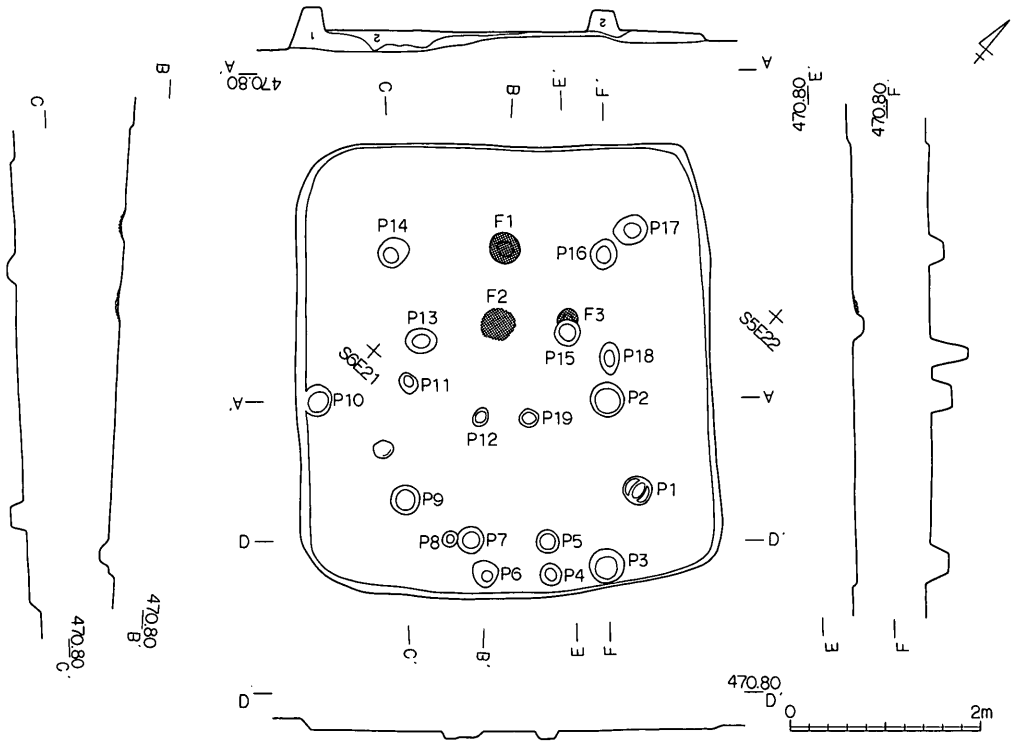
第１２５図　Ｂ－４２１号住居址実測図



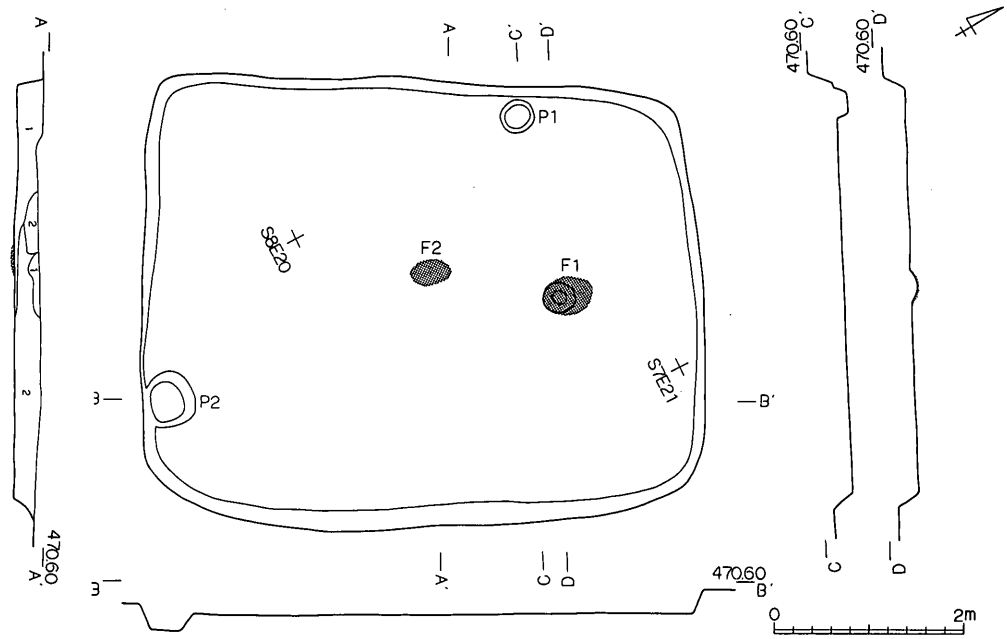
第１２６図　Ｂ－４２２号住居址実測図



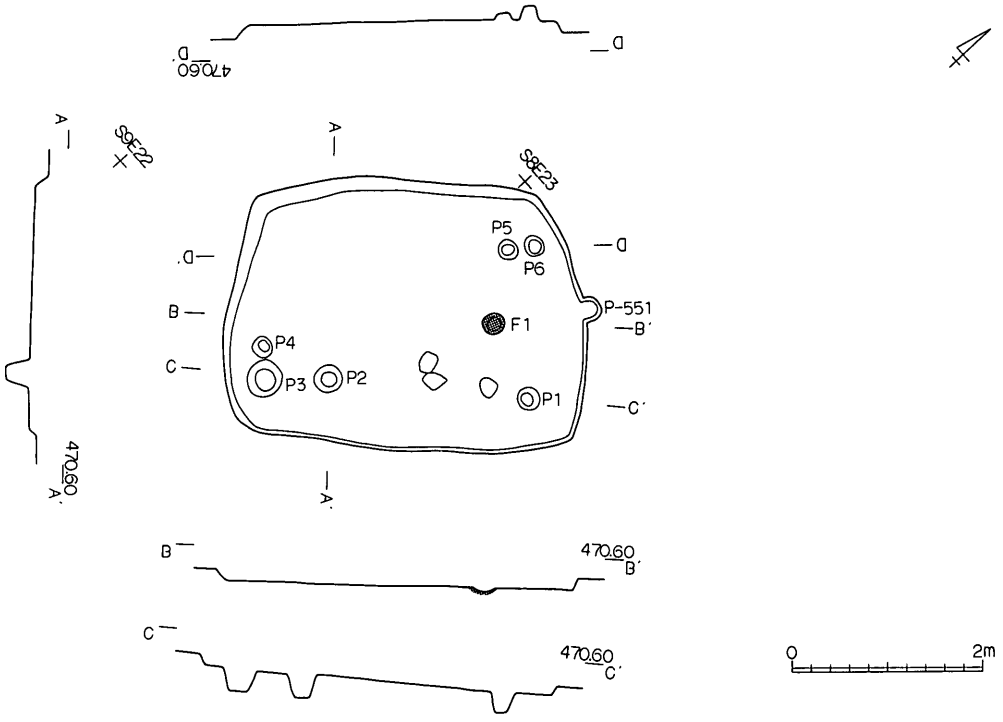
第１２７図　Ｂ－４２３号住居址実測図



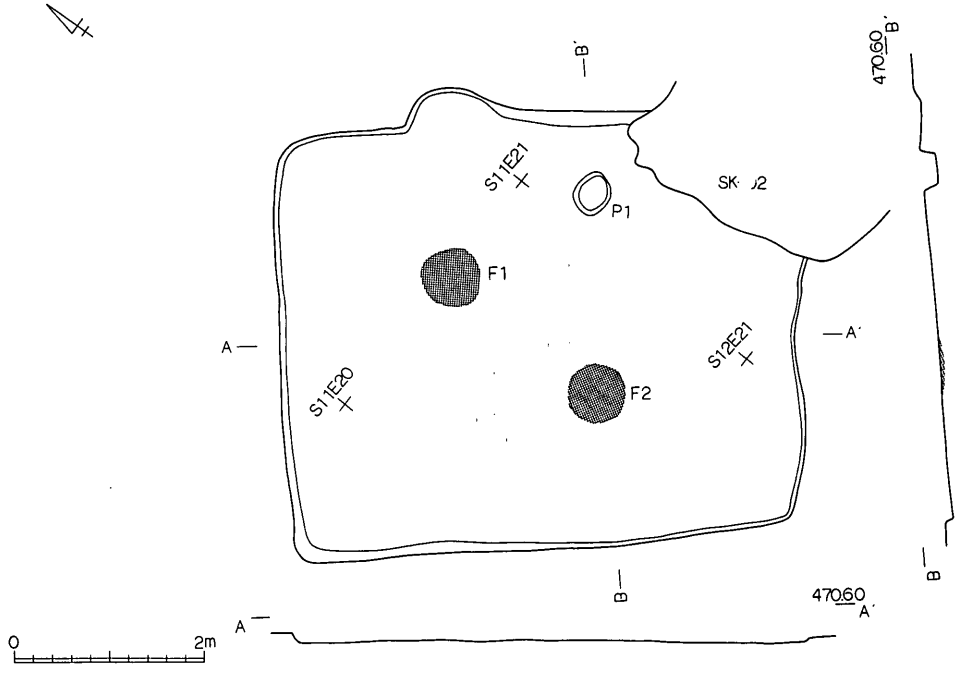
第１２８図　Ｂ－４２４号住居址実測図



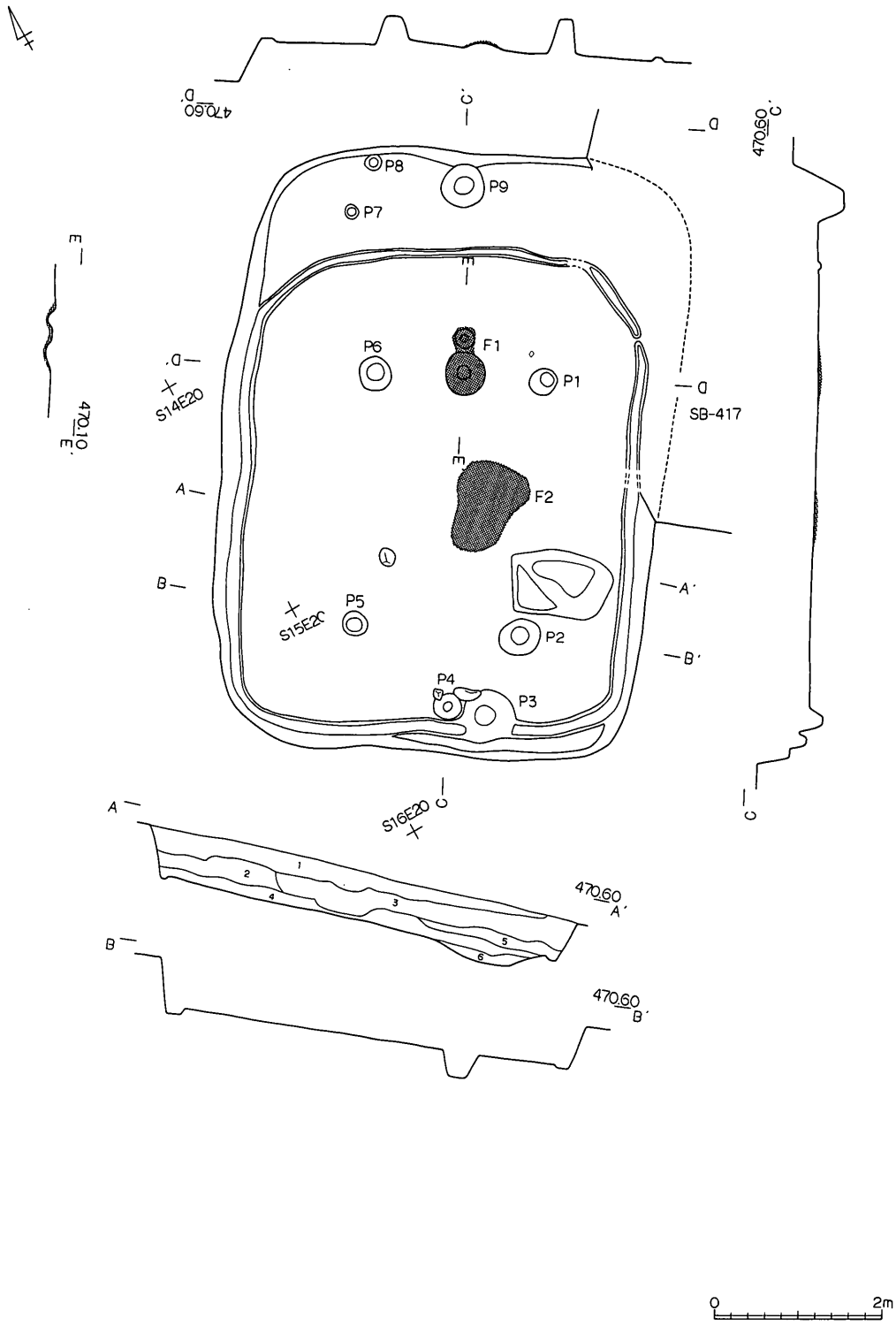
第１２９図　Ｂ－４２５号住居址実測図



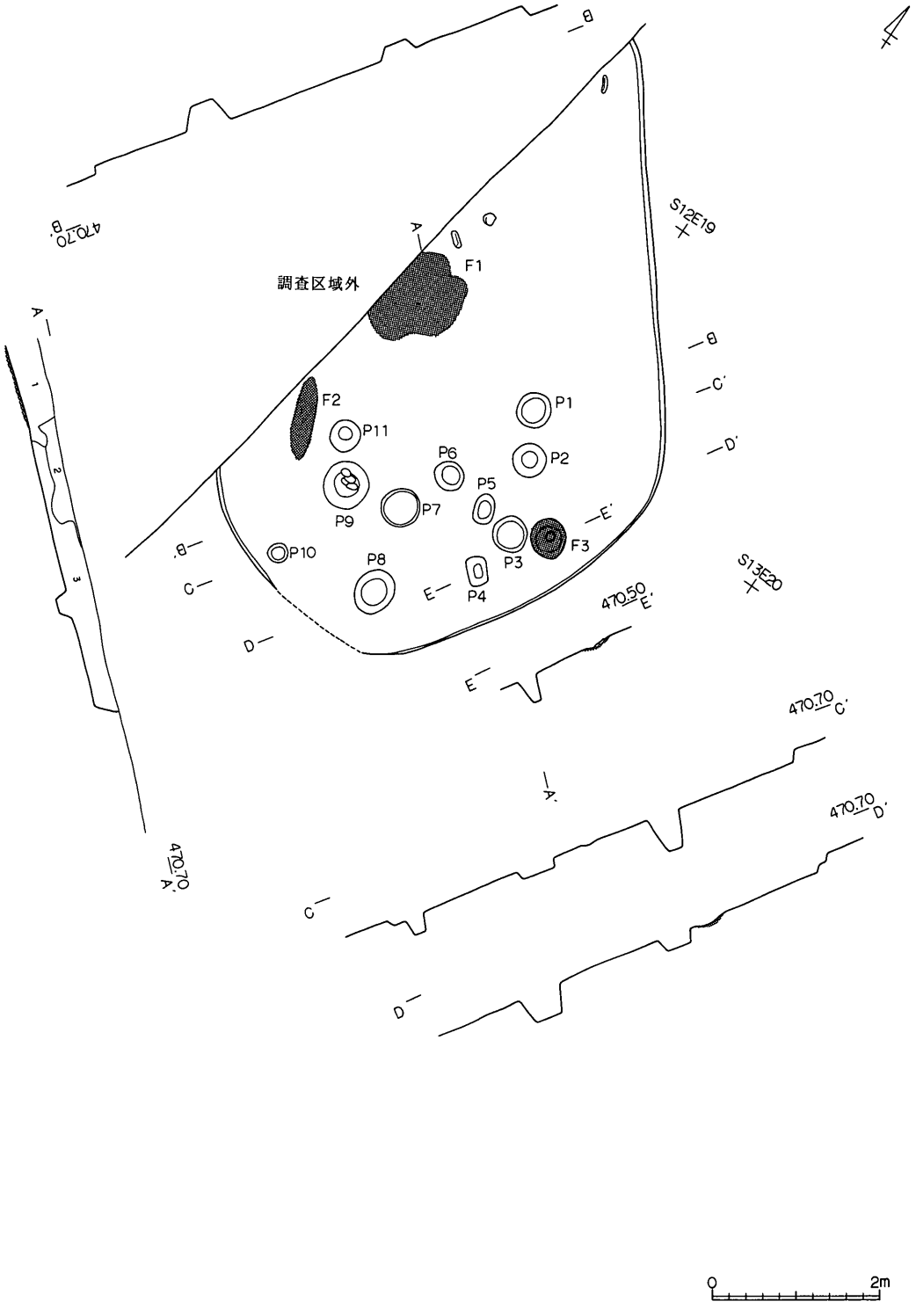
第１３０図　Ｂ－４２６号住居址実測図



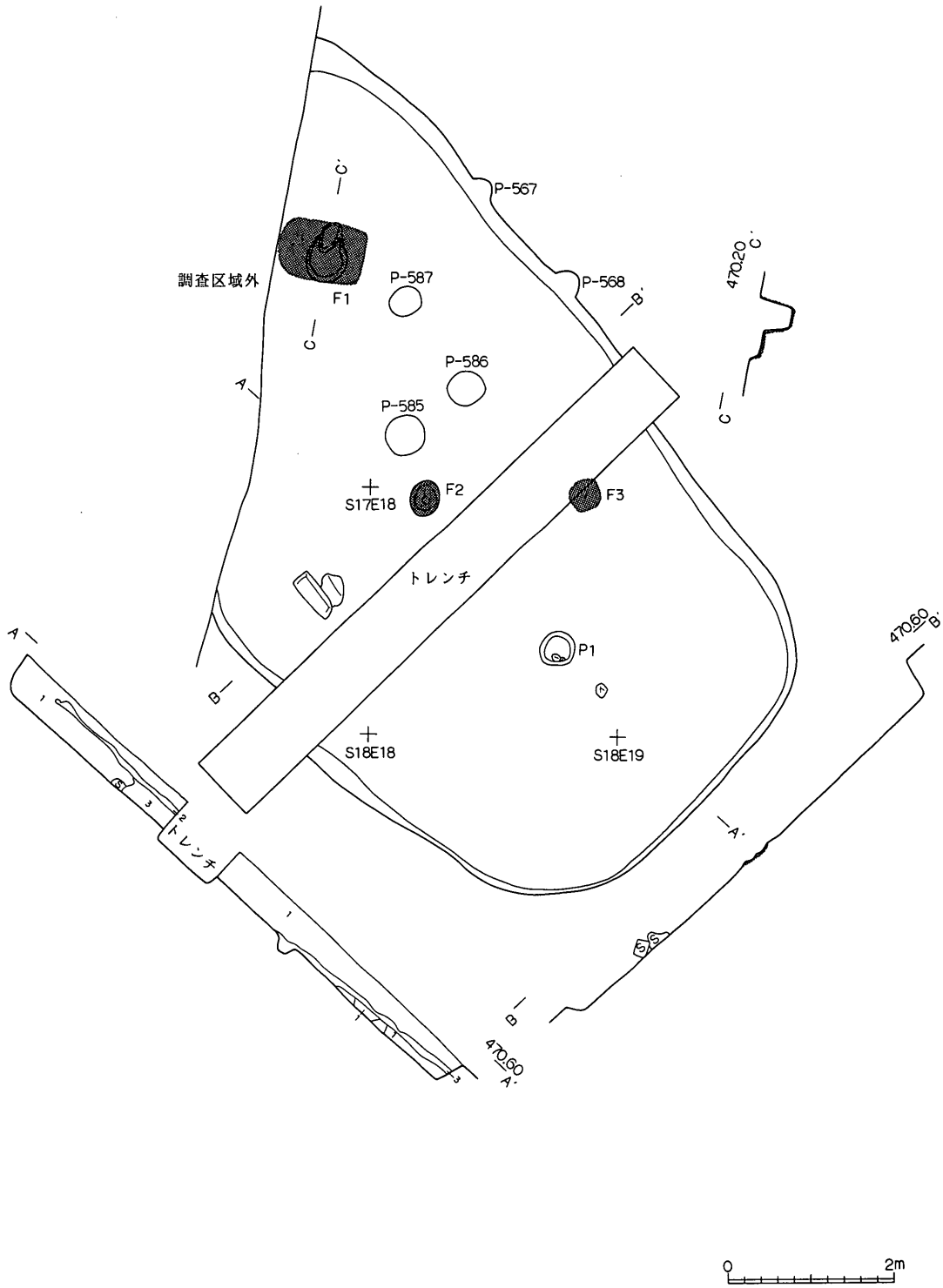
第１３１図　Ｂ－４２７号住居址実測図



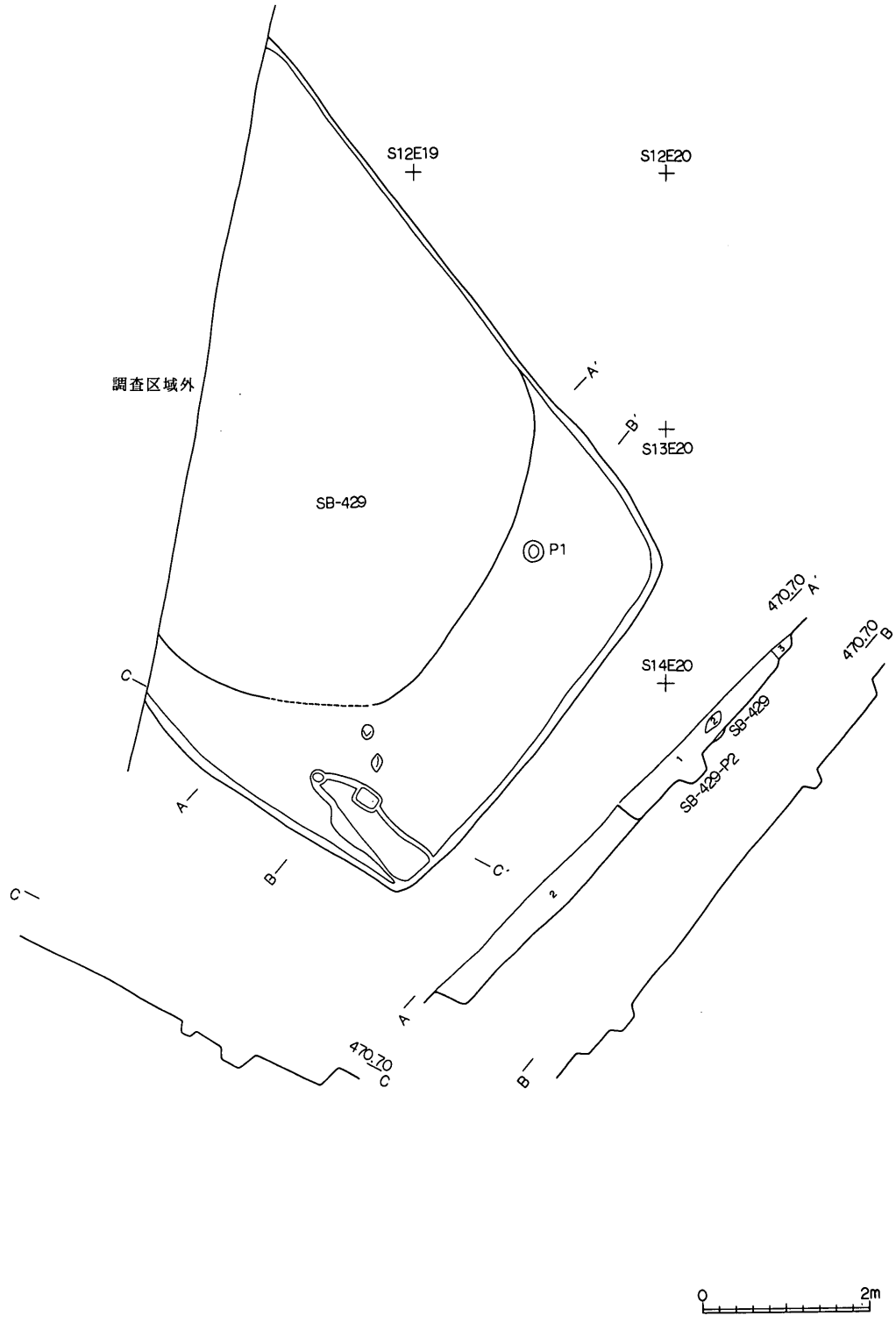
第１３２図　Ｂ－４２８号住居址実測図



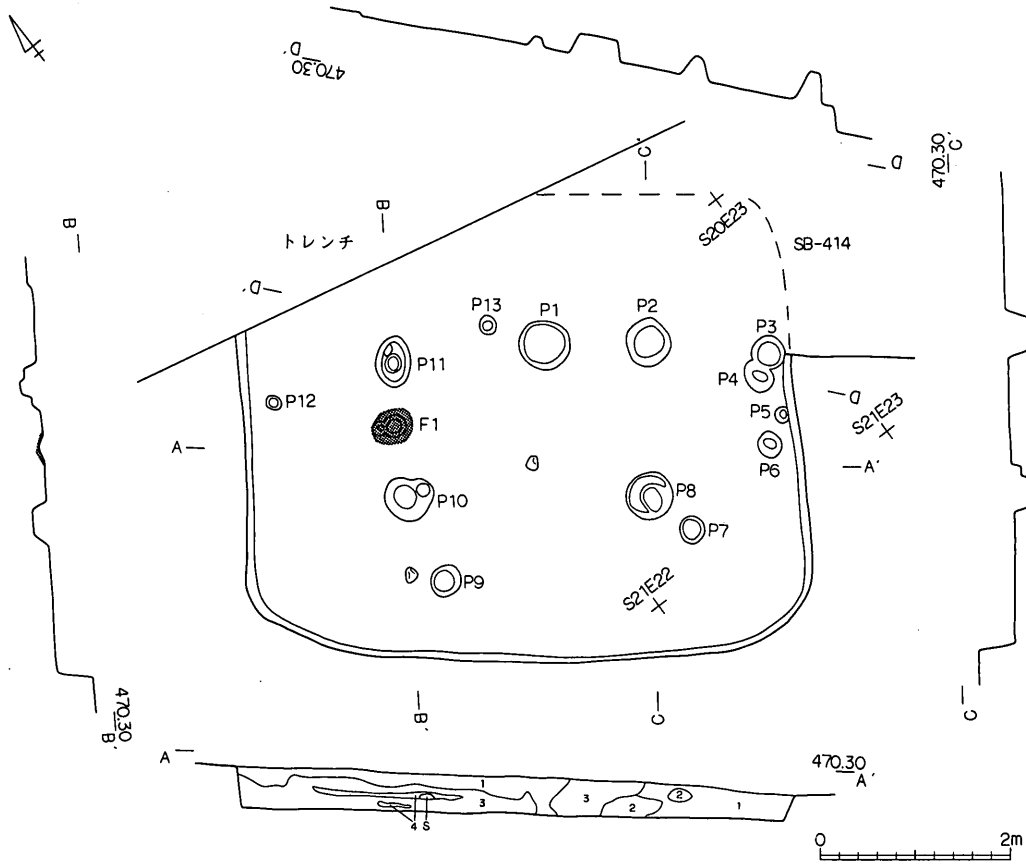
第１３３図　Ｂ－４２９号住居址実測図



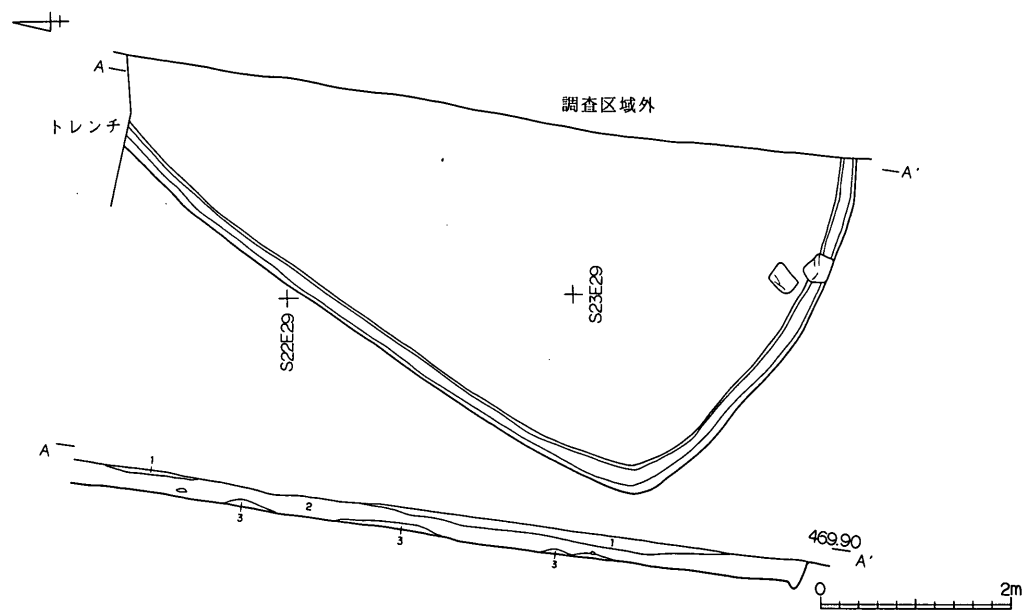
第１３４図　Ｂ－４３０号住居址実測図



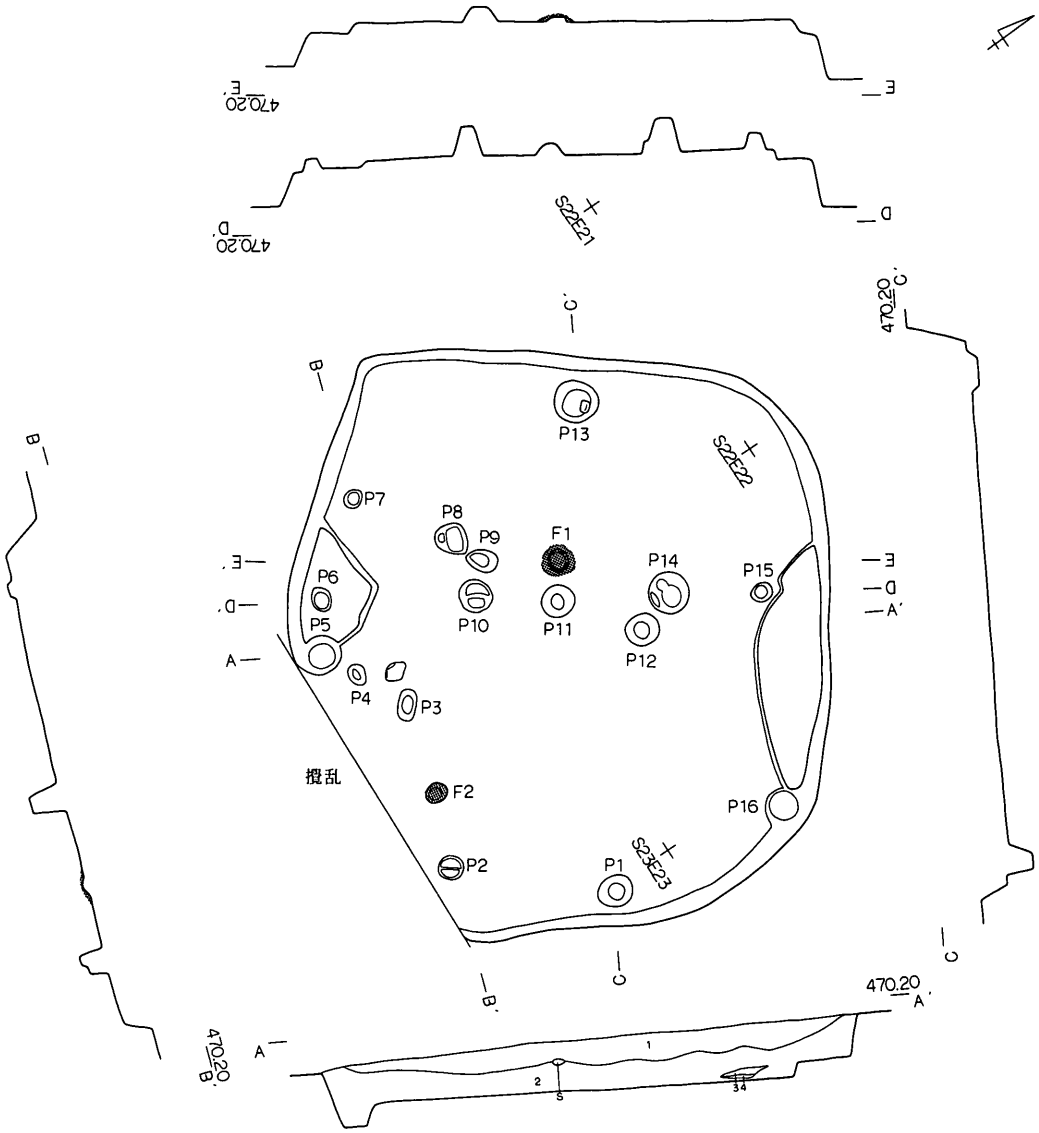
第１３５図　Ｂ－４３１号住居址実測図



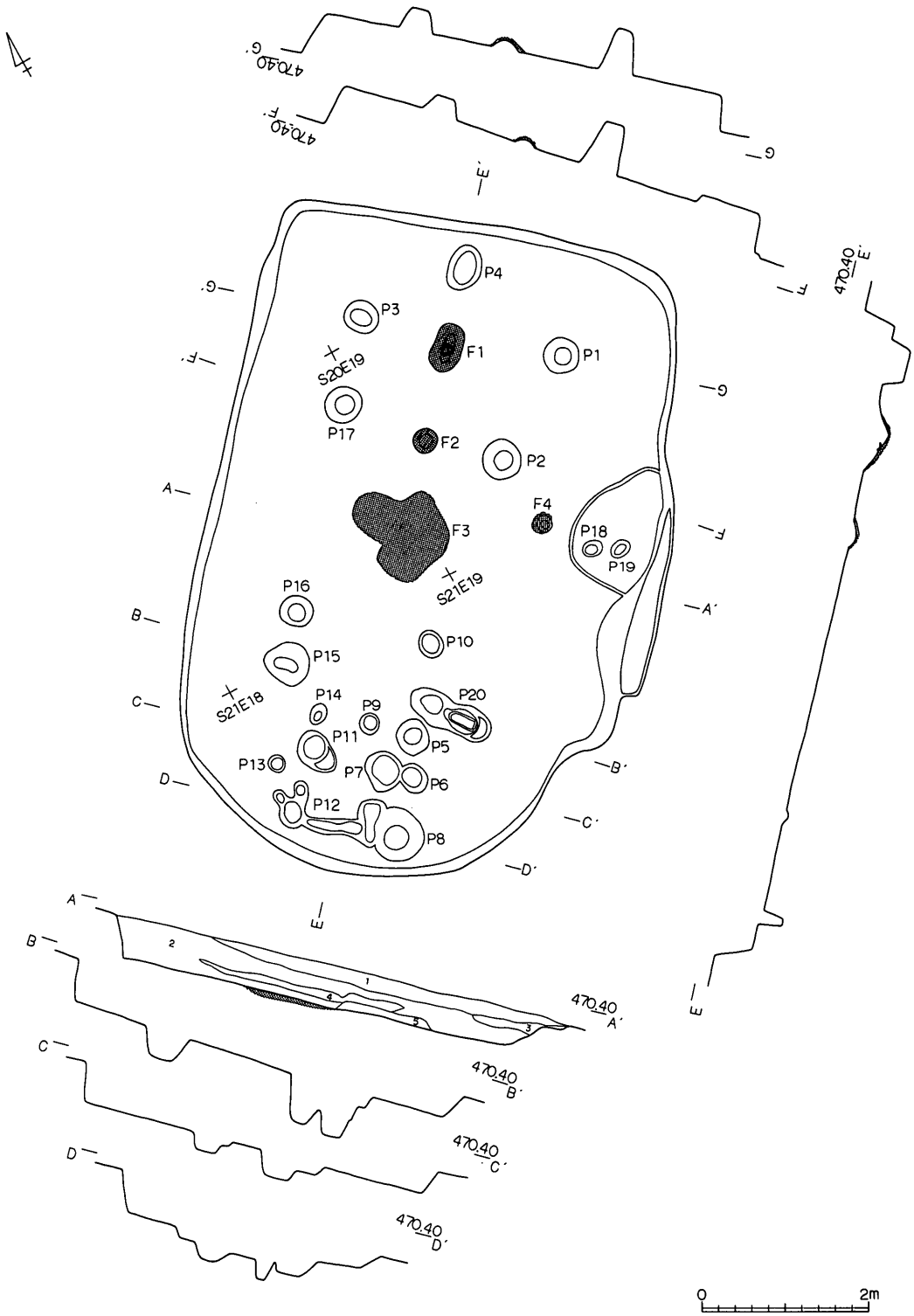
第１３６図　Ｂ－４３２号住居址実測図



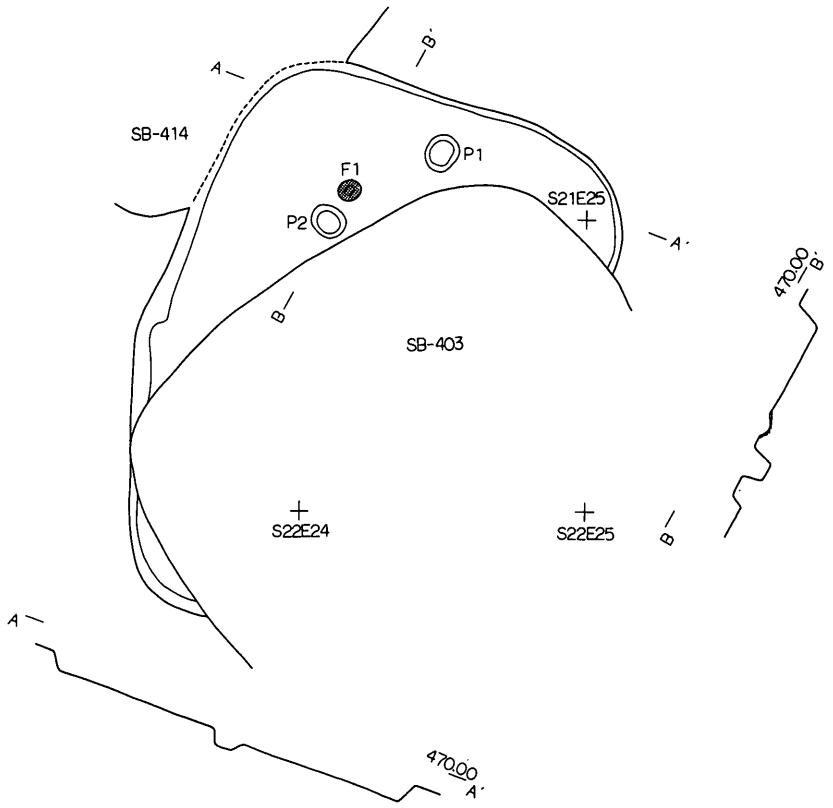
第１３７図　Ｂ－４３３号住居址実測図



第１３８図　Ｂ－４３４号住居址実測図



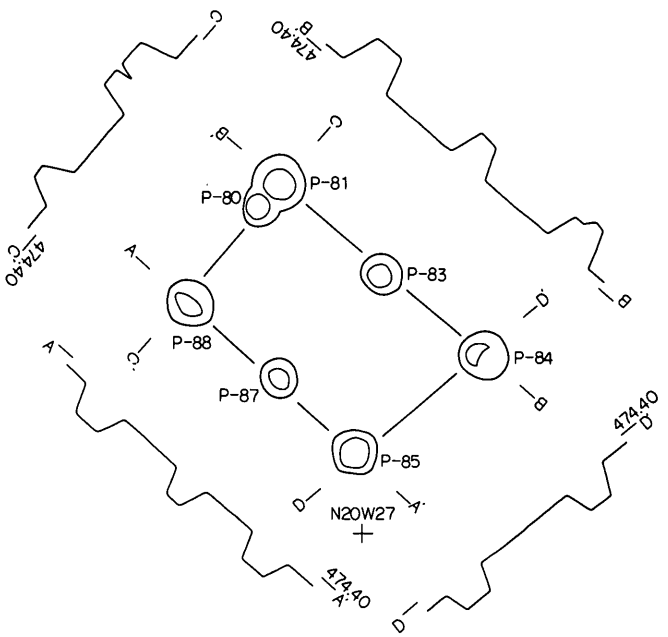
第１３９図　Ｂ－４３５号住居址実測図



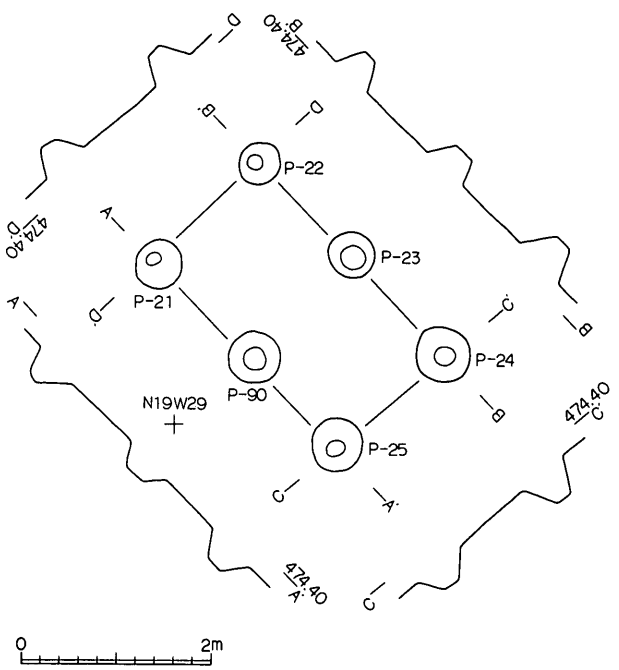
第１４０図　Ｂ－４３６号住居址実測図

2　掘立柱建物址

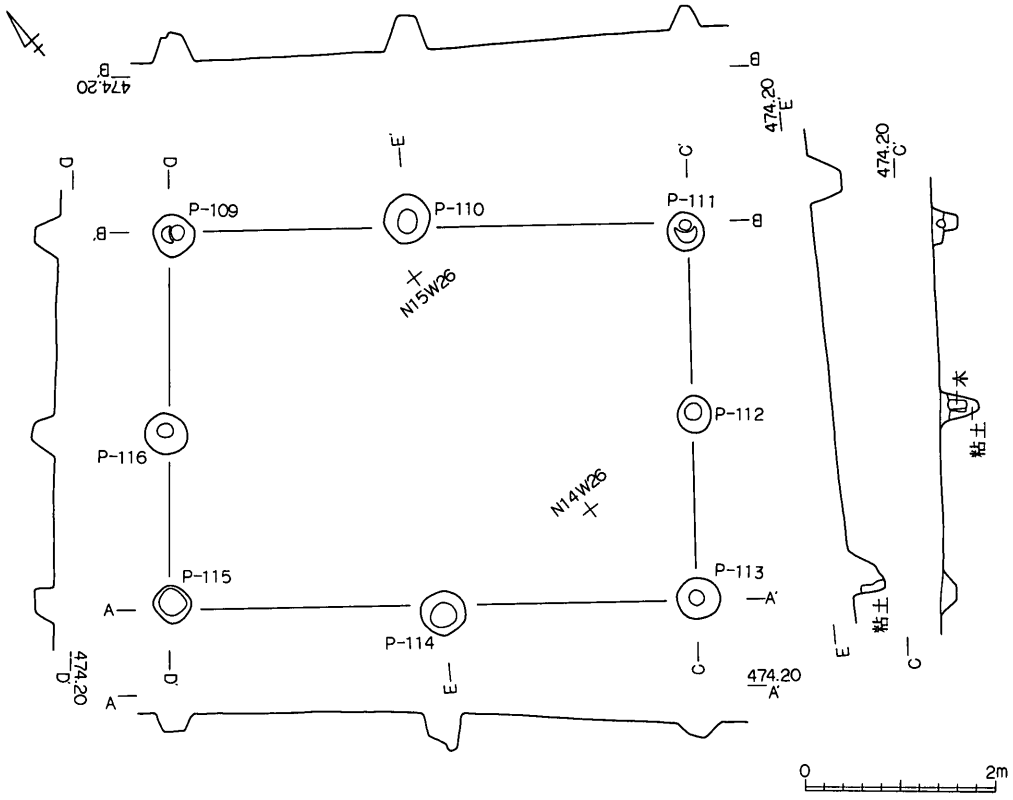
平成３年度（１９９１年度）発掘



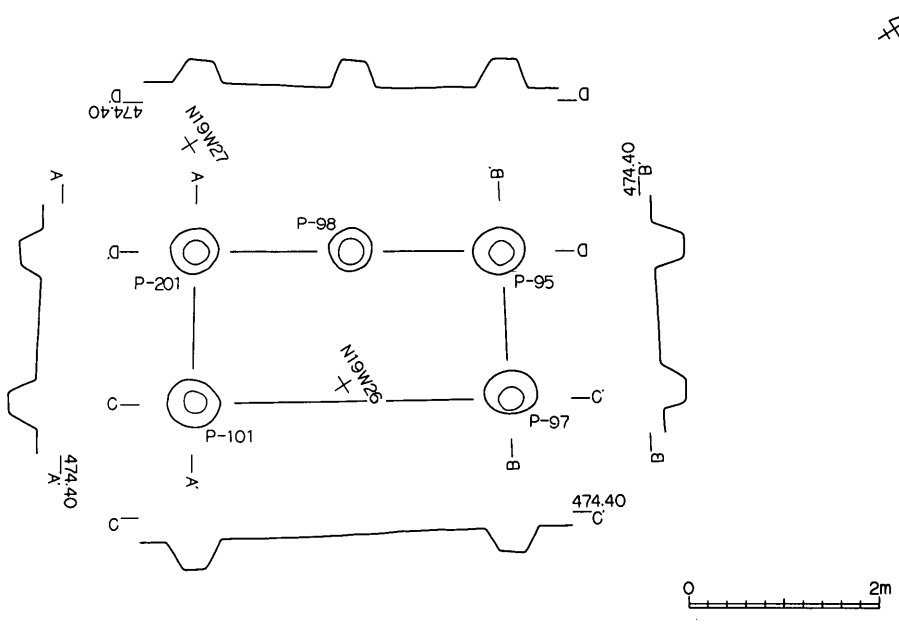
第１４１図　Ａ－１号掘立柱建物址実測図



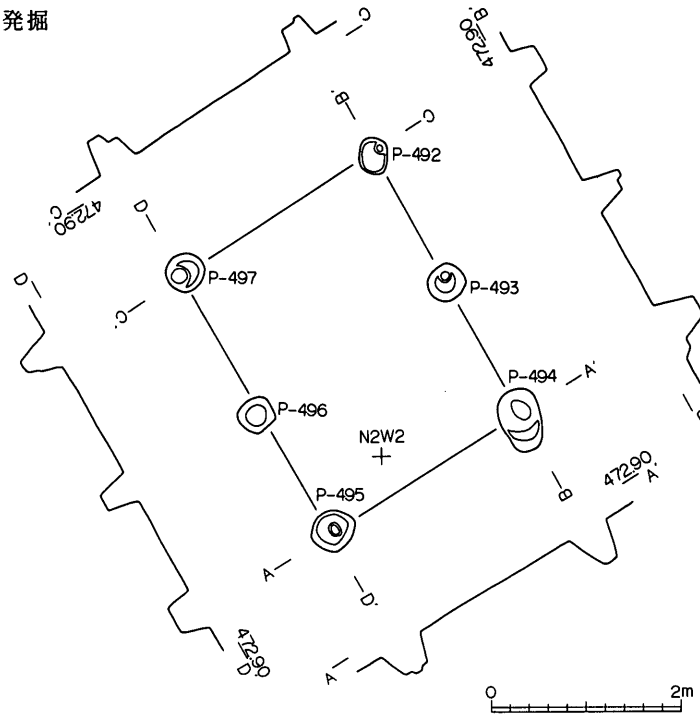
第１４２図　Ａ－２号掘立柱建物址実測図



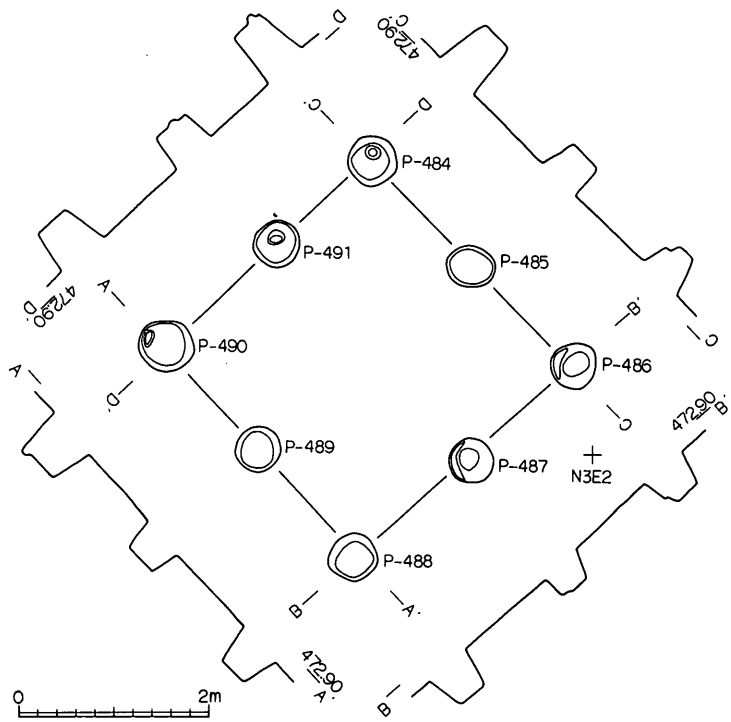
第１４３図　Ａ－３号掘立柱建物址実測図



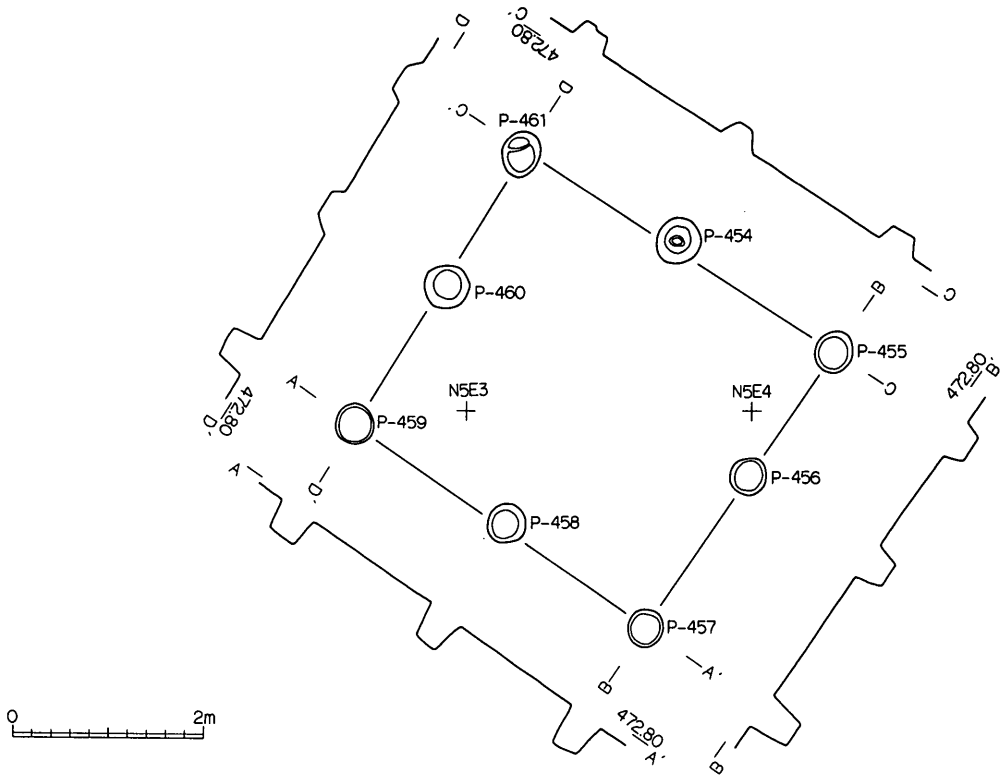
第１４４図　Ａ－４号掘立柱建物址実測図



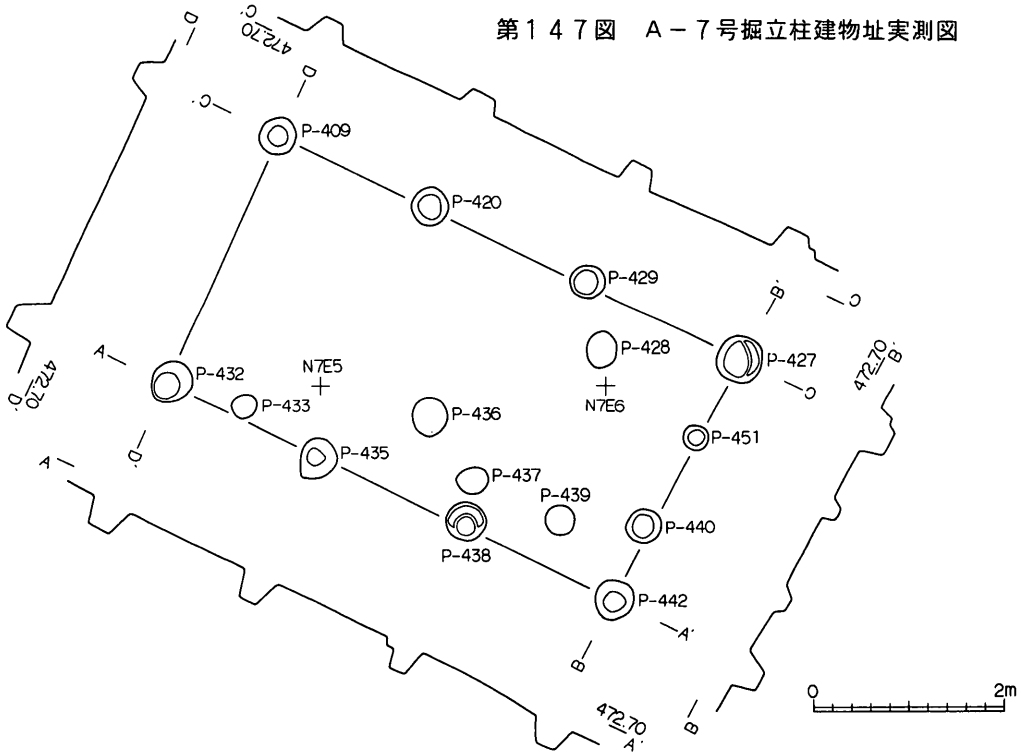
第１４５図　Ａ－５号掘立柱建物址実測図



第１４６図　Ａ－６号掘立柱建物址実測図



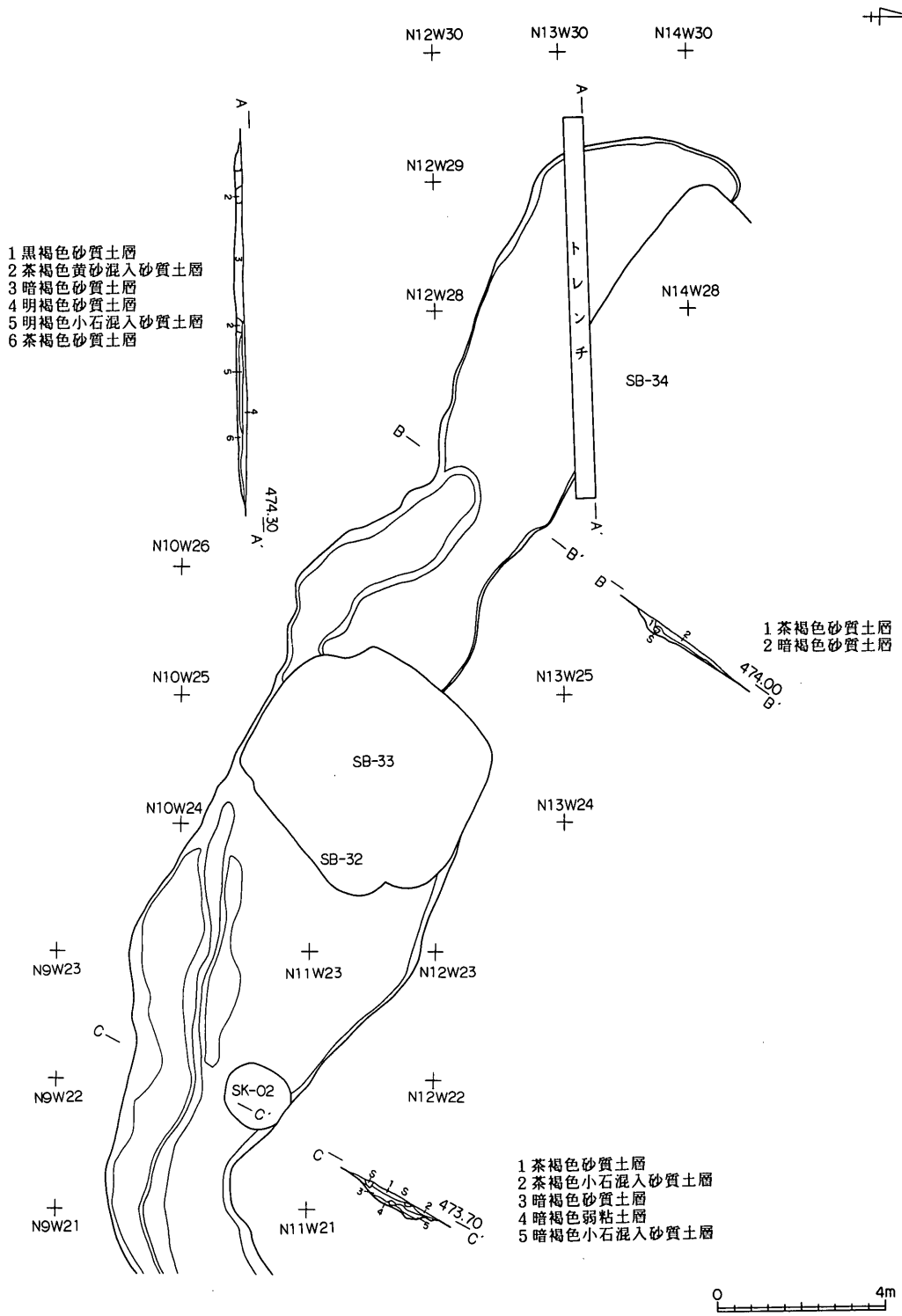
第１４７図　Ａ－７号掘立柱建物址実測図



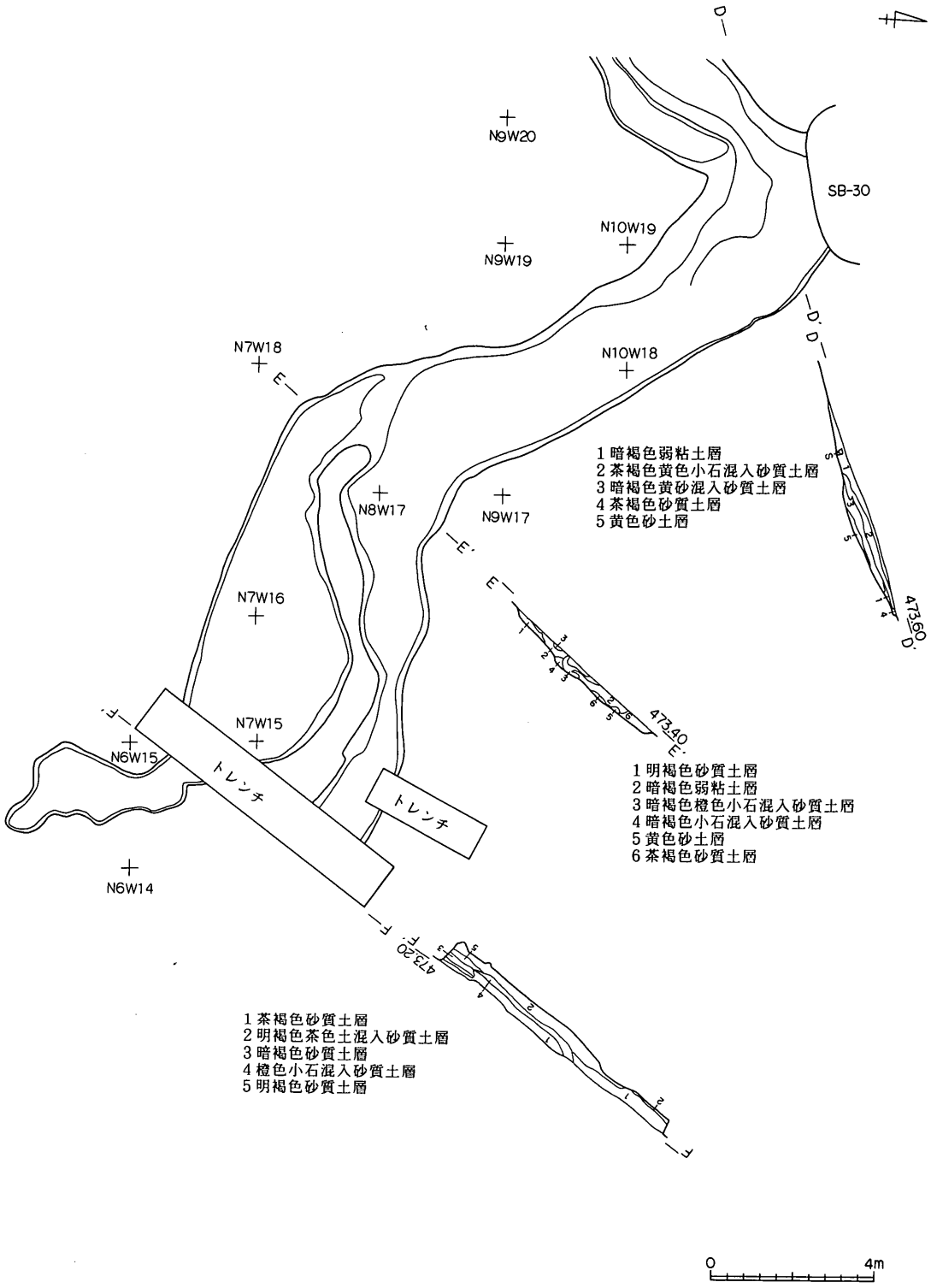
第１４８図　Ａ－８号掘立柱建物址実測図

3 溝 址

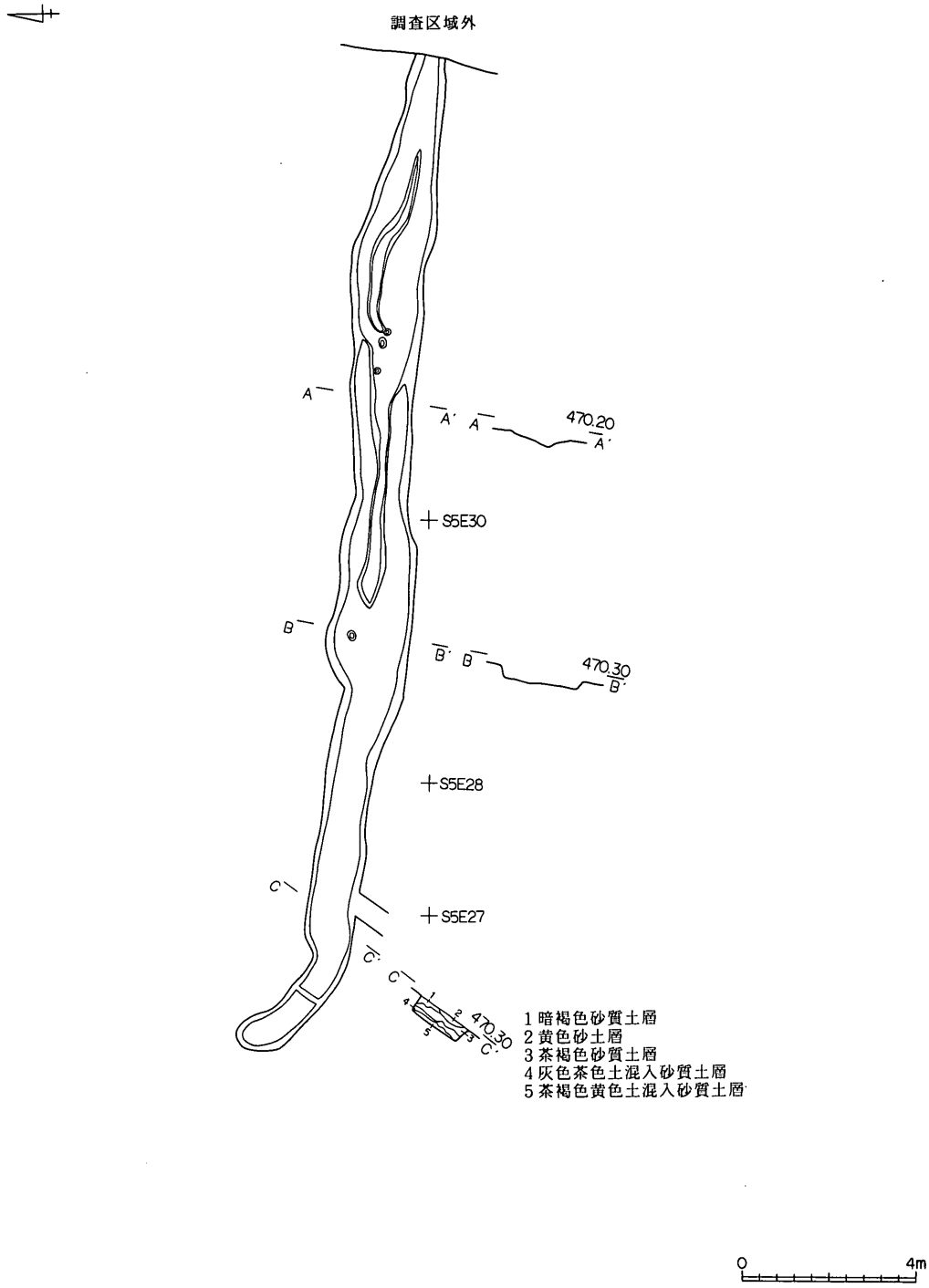
平成3年度（１９９１年度）発掘



第１４９図　Ａ地区溝址実測図（１）



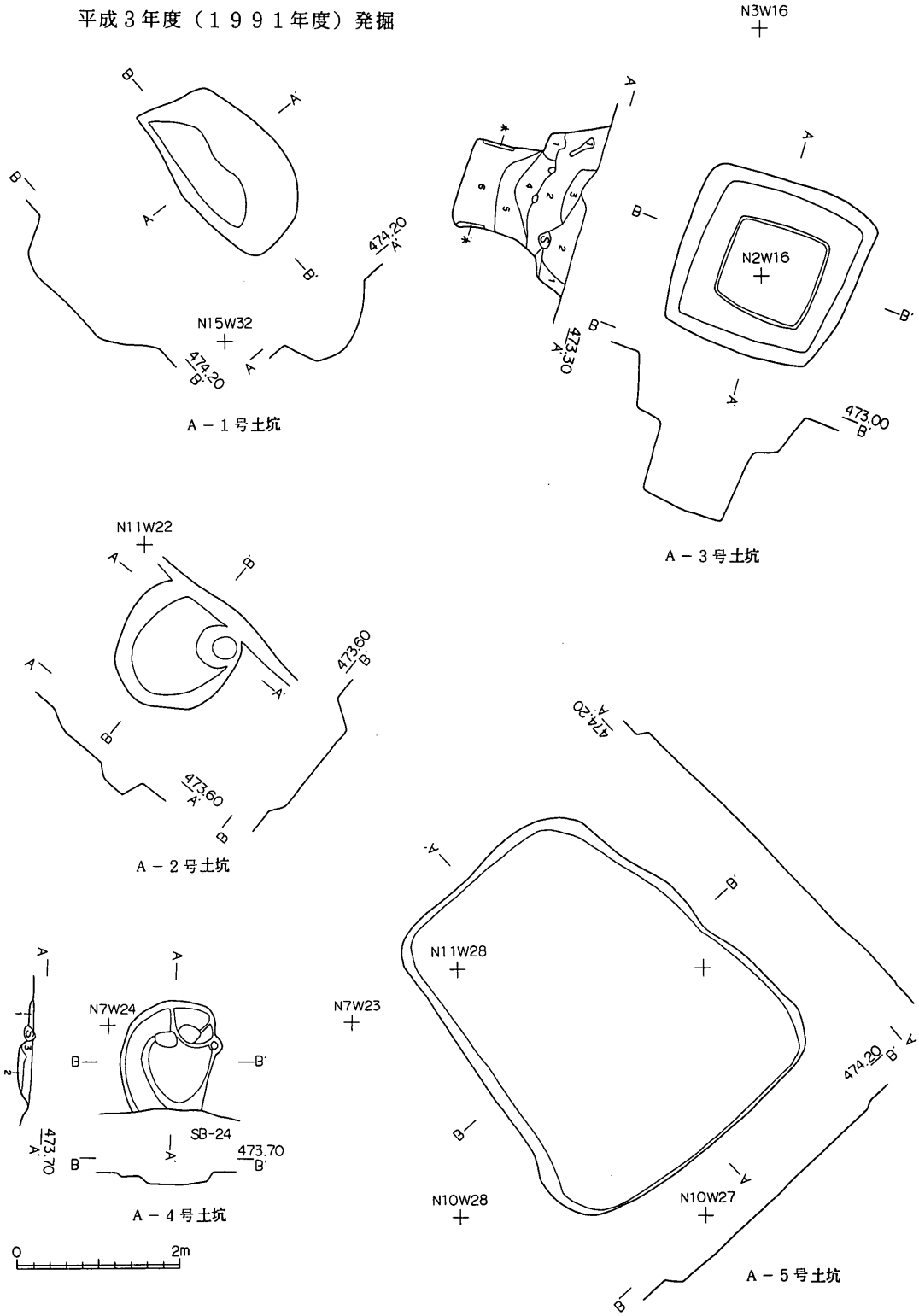
第１５０図　Ａ地区溝址実測図（２）



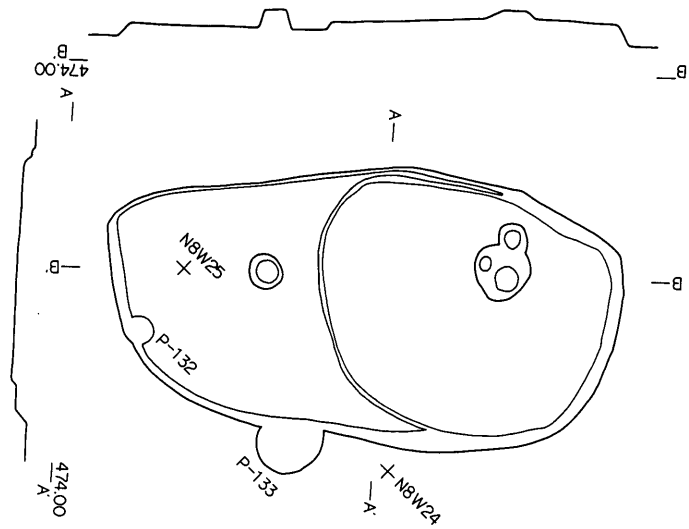
第１５１図　Ｂ地区溝址実測図（１）

4 土 坑

平成３年度（１９９１年度）発掘

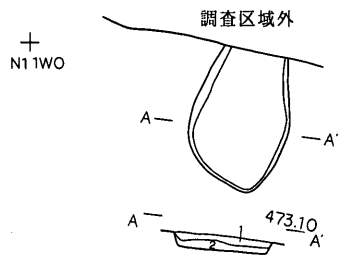


第１５２図　Ａ地区土坑実測図（１）

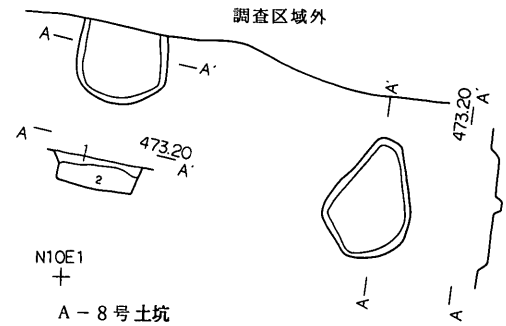


A－６号土坑

平成４年度（１９９２年度）発掘

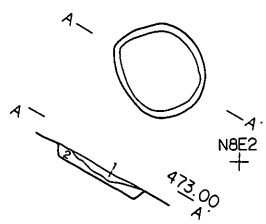


A－７号土坑

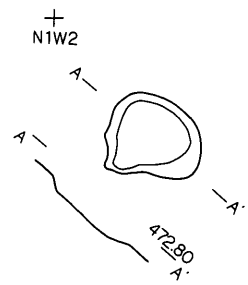


A－８号土坑

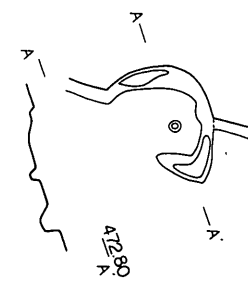
A－９号土坑



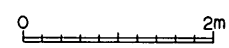
A－１０号土坑



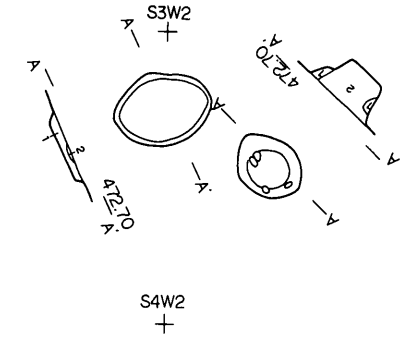
A－１１号土坑



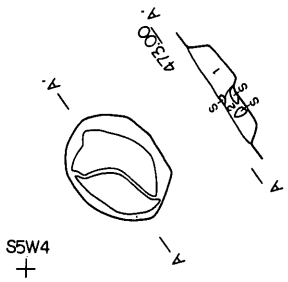
A－１２号土坑



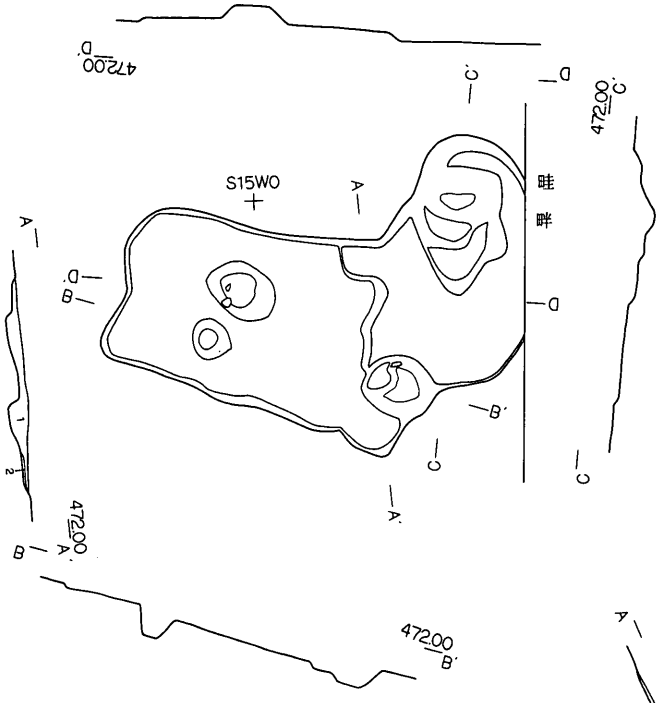
第１５３図　Ａ地区土坑実測図（２）



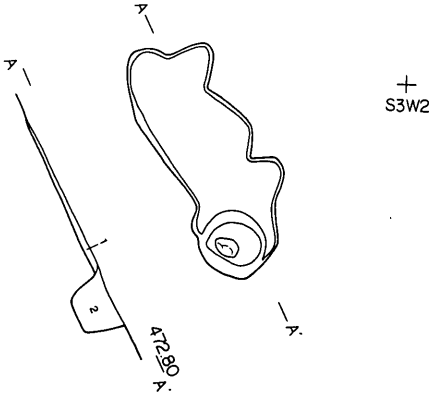
A－１３号土坑　　A－１４号土坑



A－１５号土坑



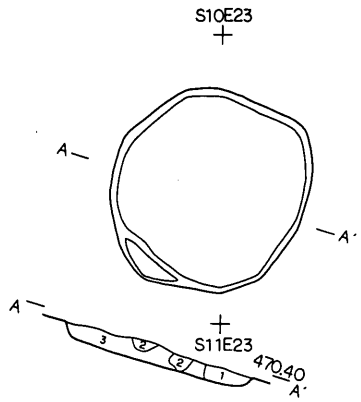
A－１６号土坑



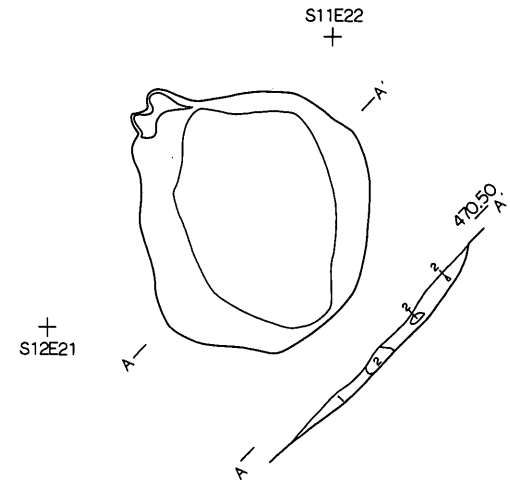
A－１７号土坑

0　　2m

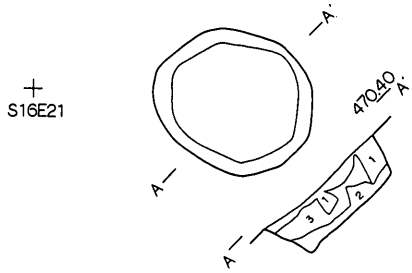
第１５４図　Ａ地区土坑実測図（３）



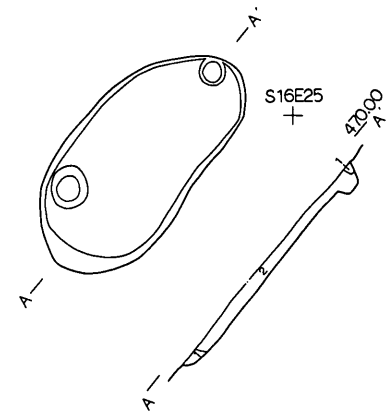
B－４０１号土坑



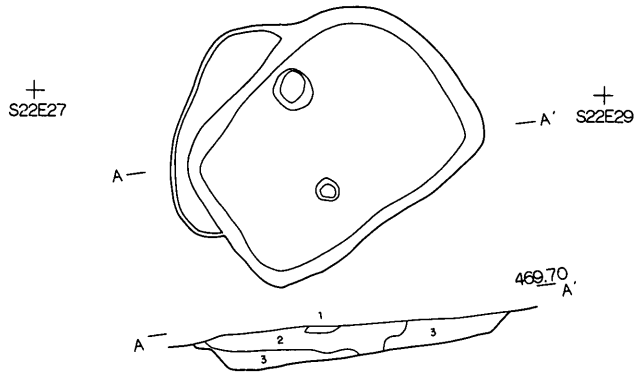
B－４０２号土坑



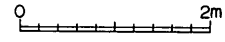
B－４０３号土坑



B－４０４号土坑



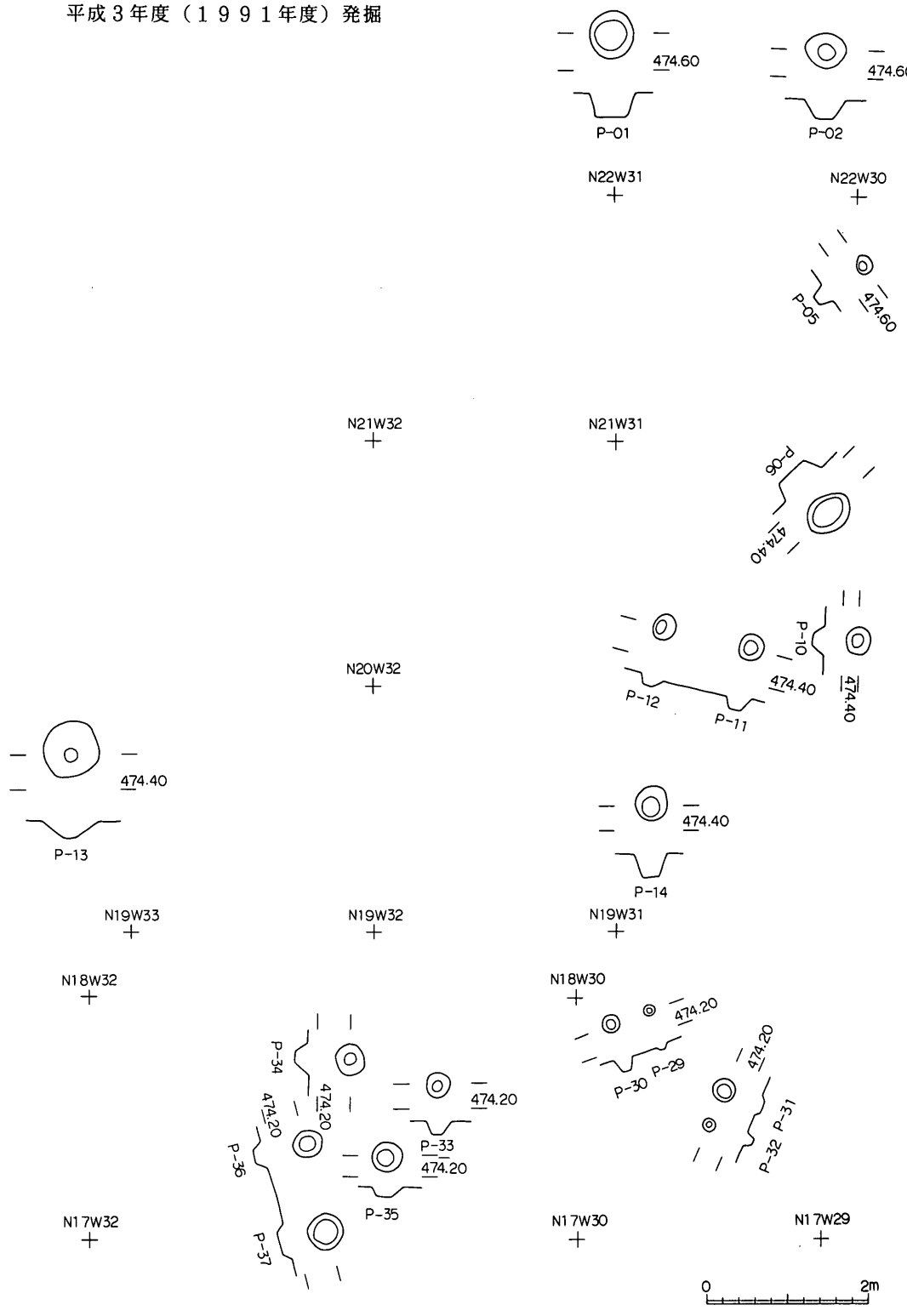
B－４０５号土坑



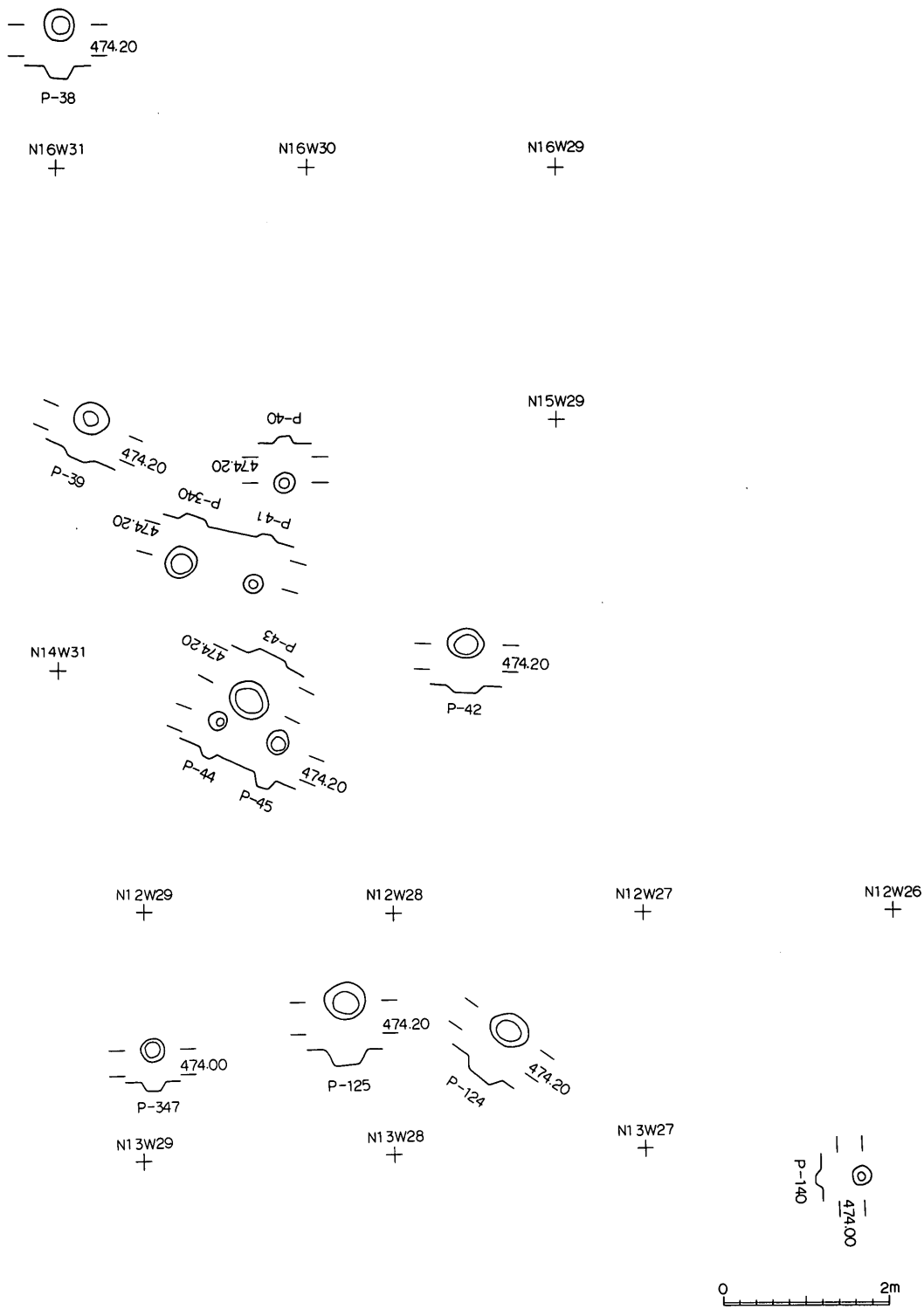
第１５５図　Ｂ地区土坑実測図

5　ピット

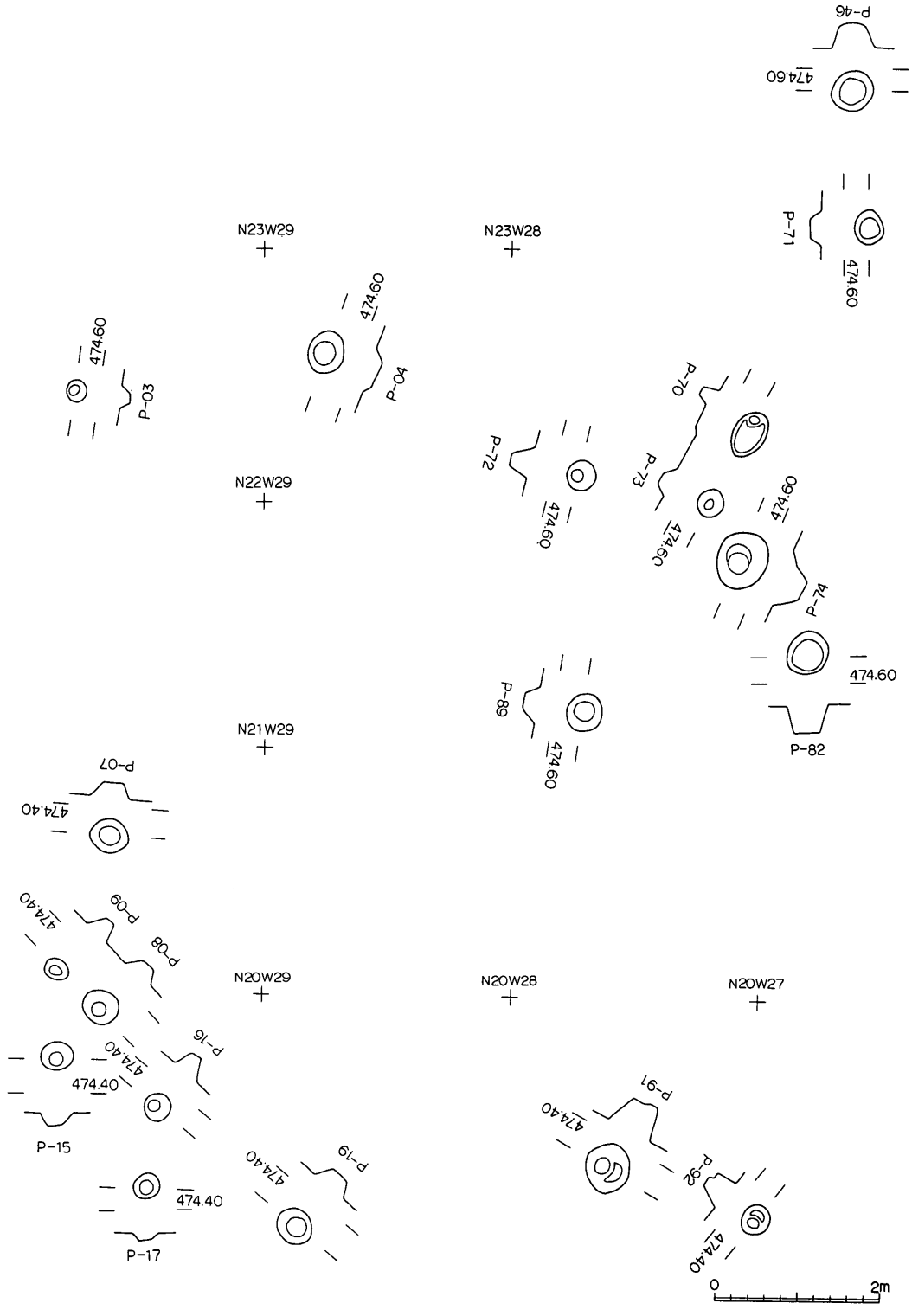
平成３年度（１９９１年度）発掘



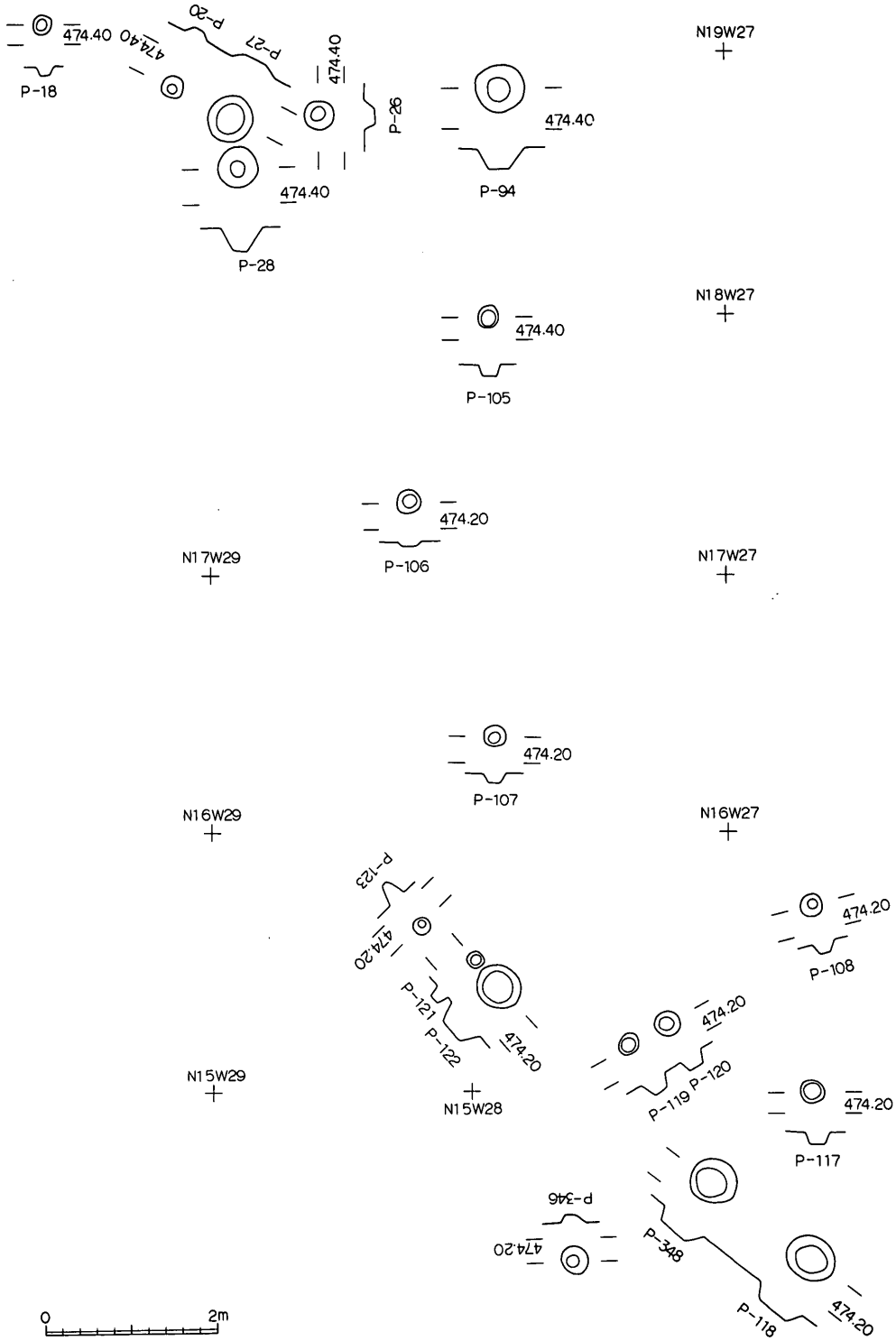
第１５６図　Ａ地区ピット実測図（１）



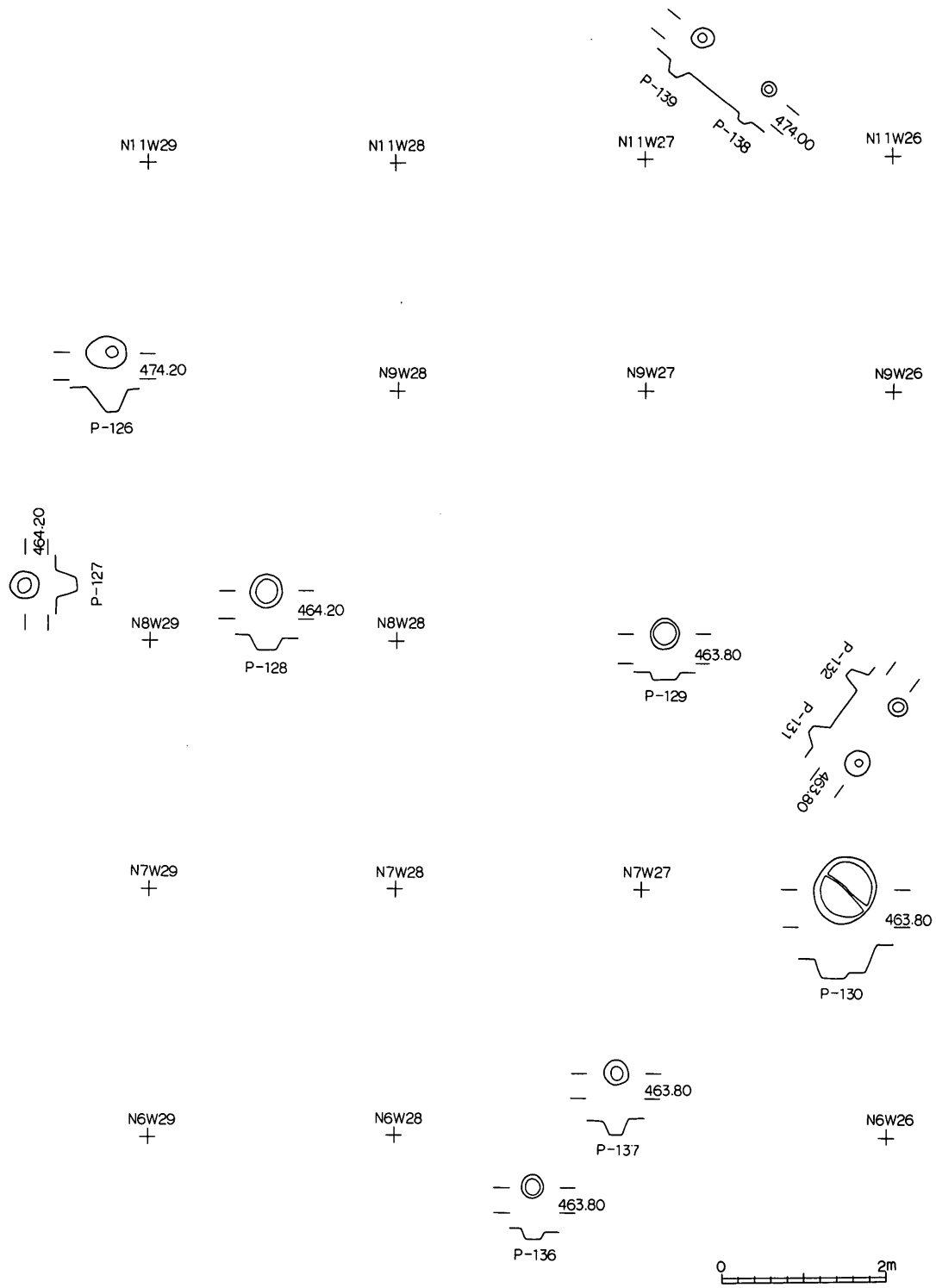
第１５７図　Ａ地区ピット実測図（２）



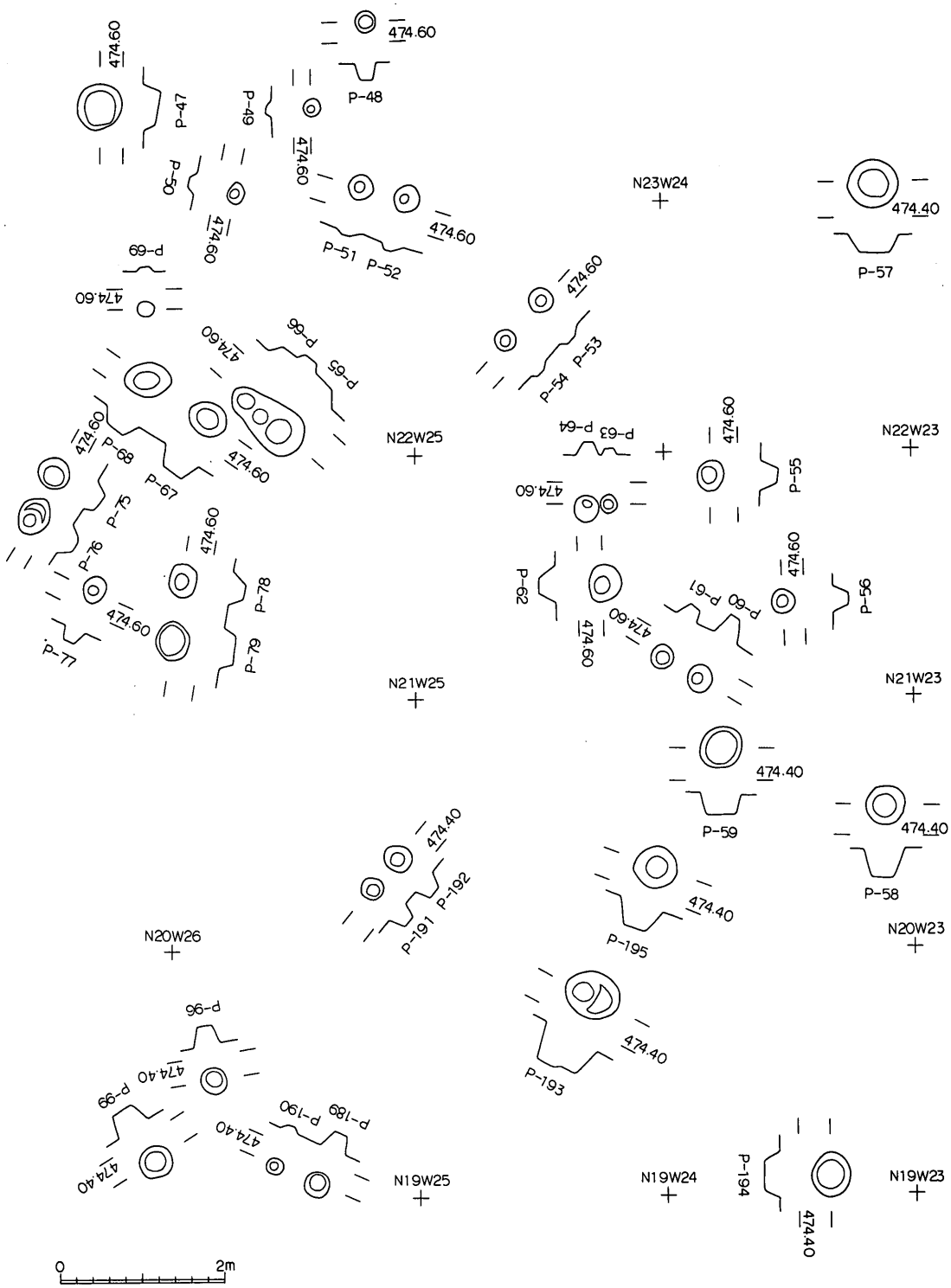
第１５８図　Ａ地区ピット実測図（３）



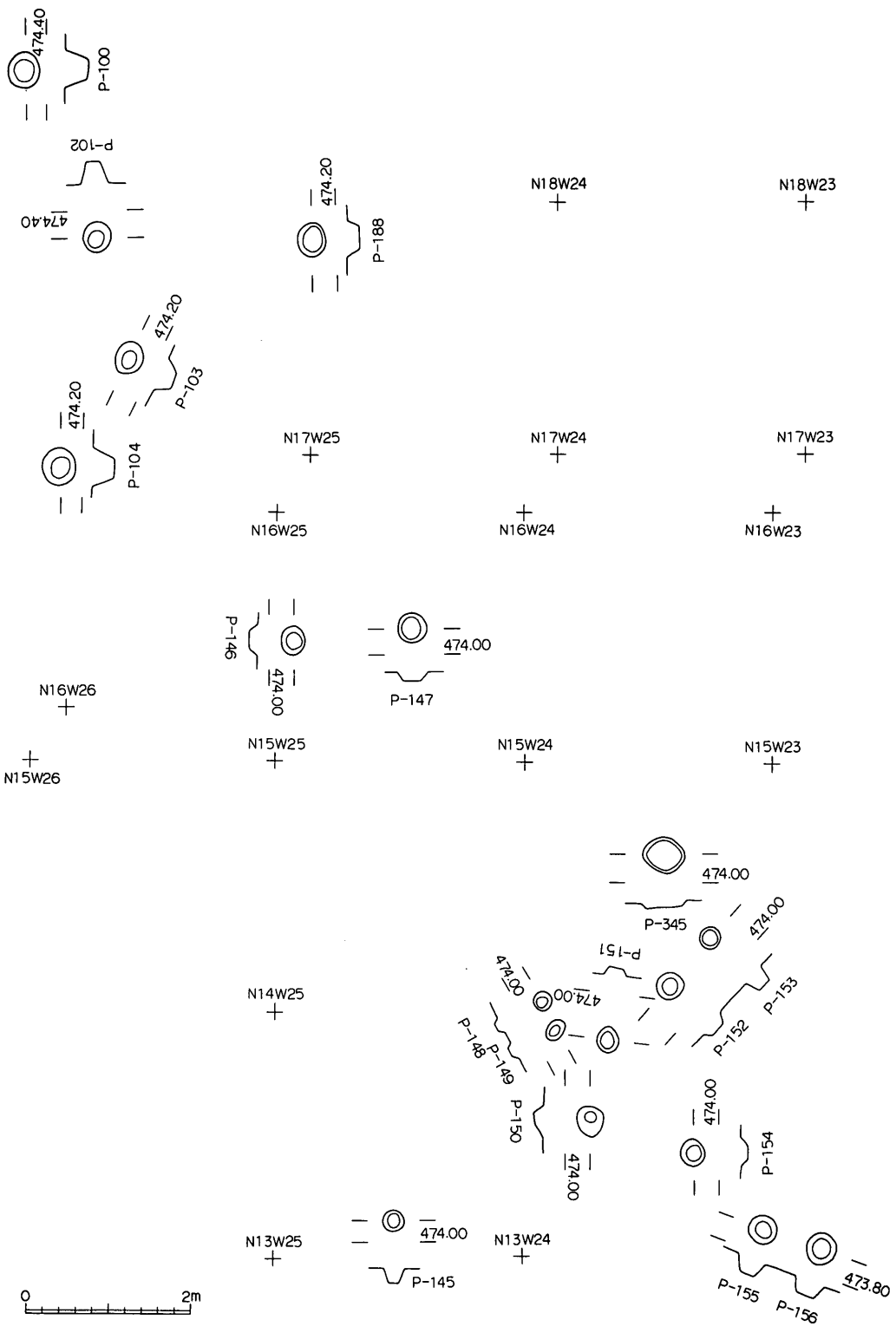
第１５９図　Ａ地区ピット実測図（４）



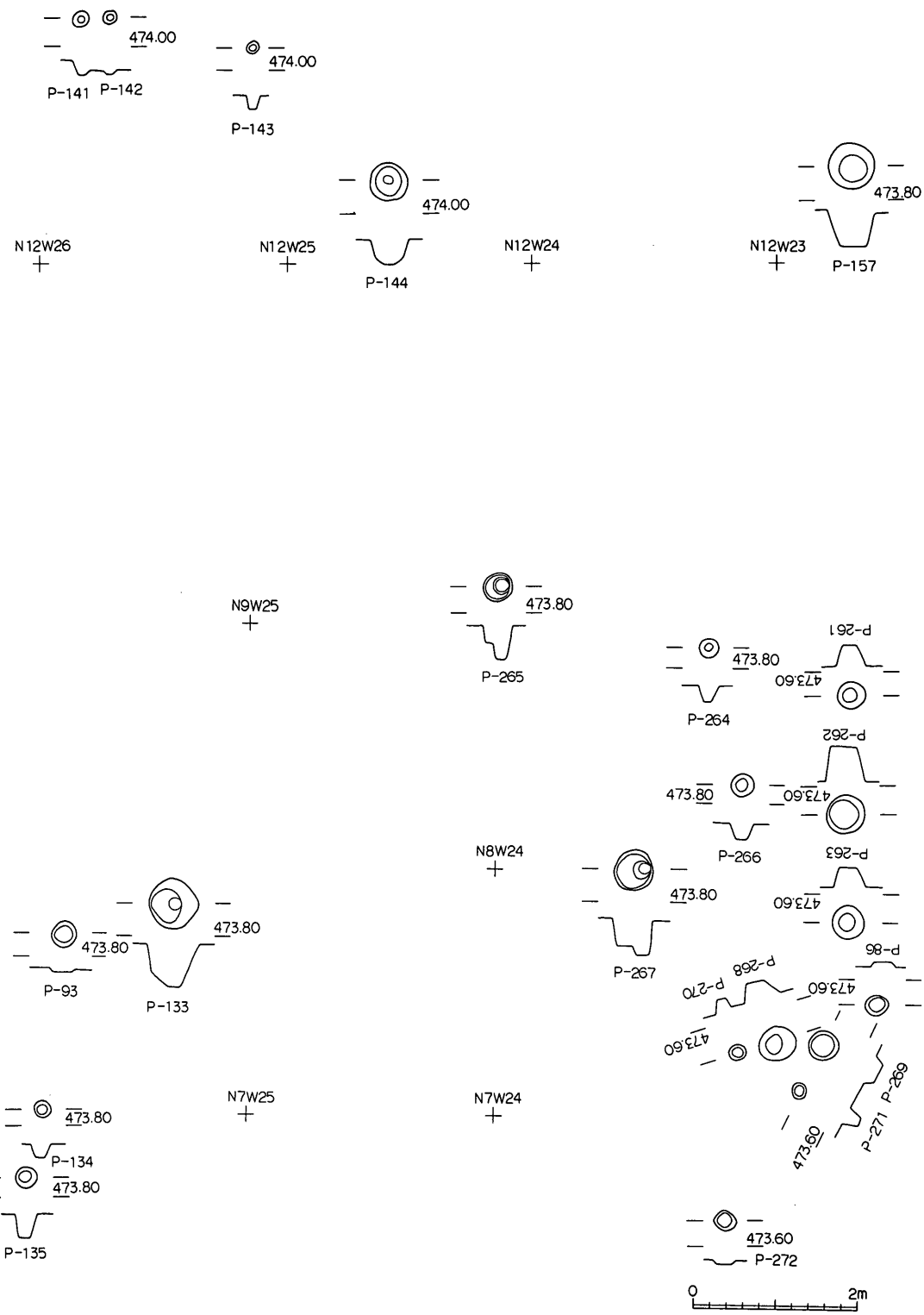
第１６０図　Ａ地区ピット実測図（５）



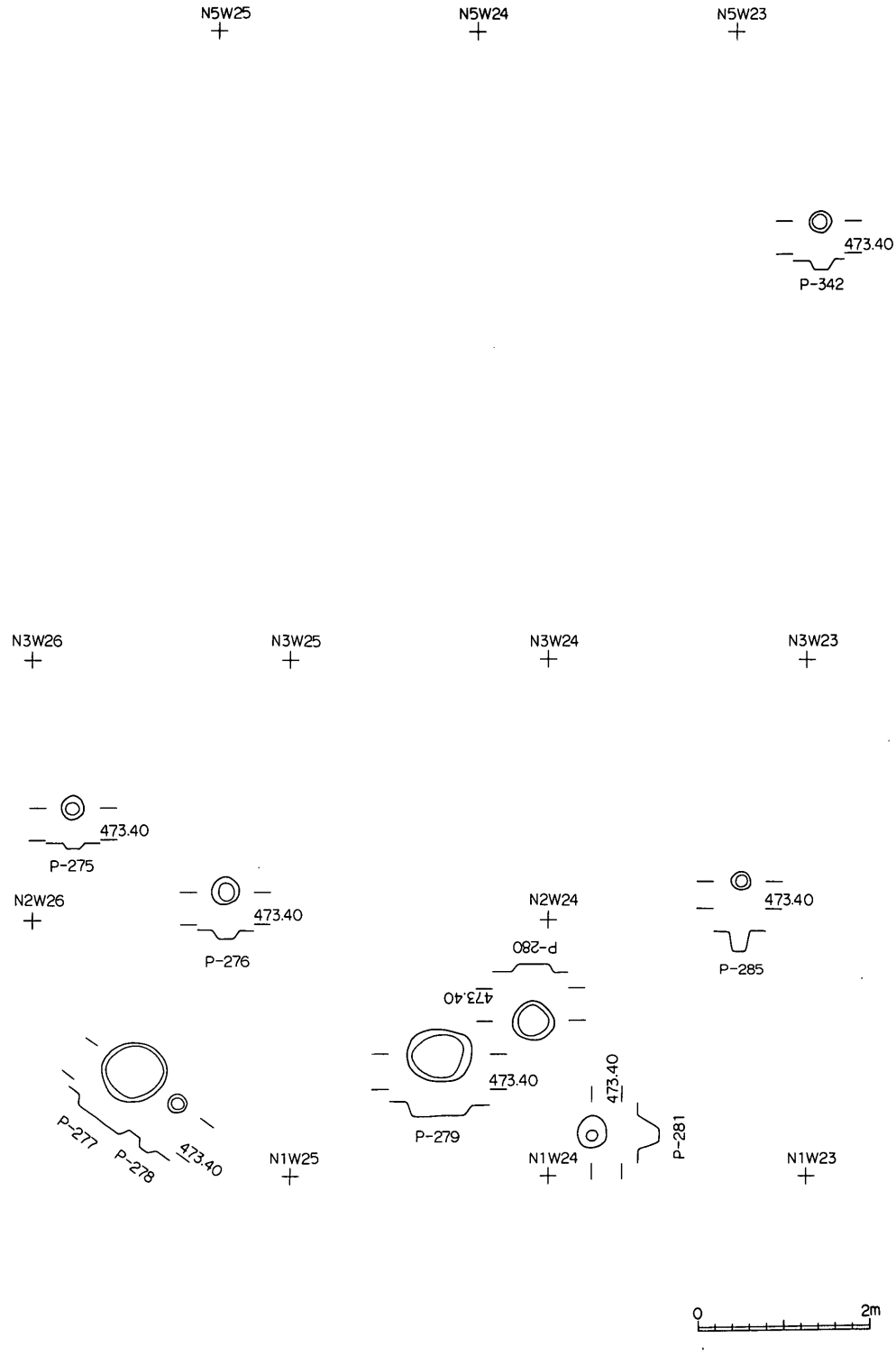
第１６１図　Ａ地区ピット実測図（６）



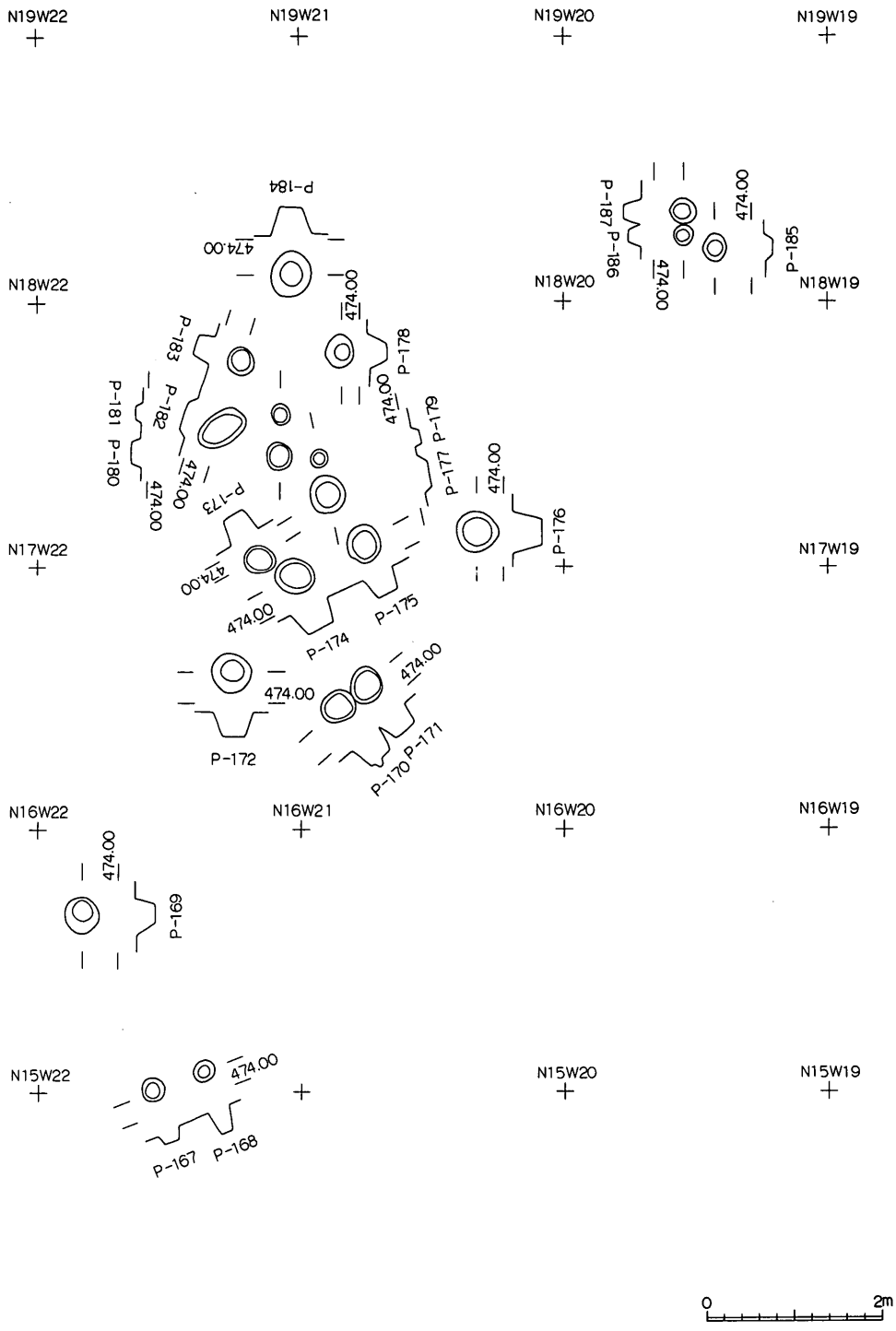
第１６２図　Ａ地区ピット実測図（７）



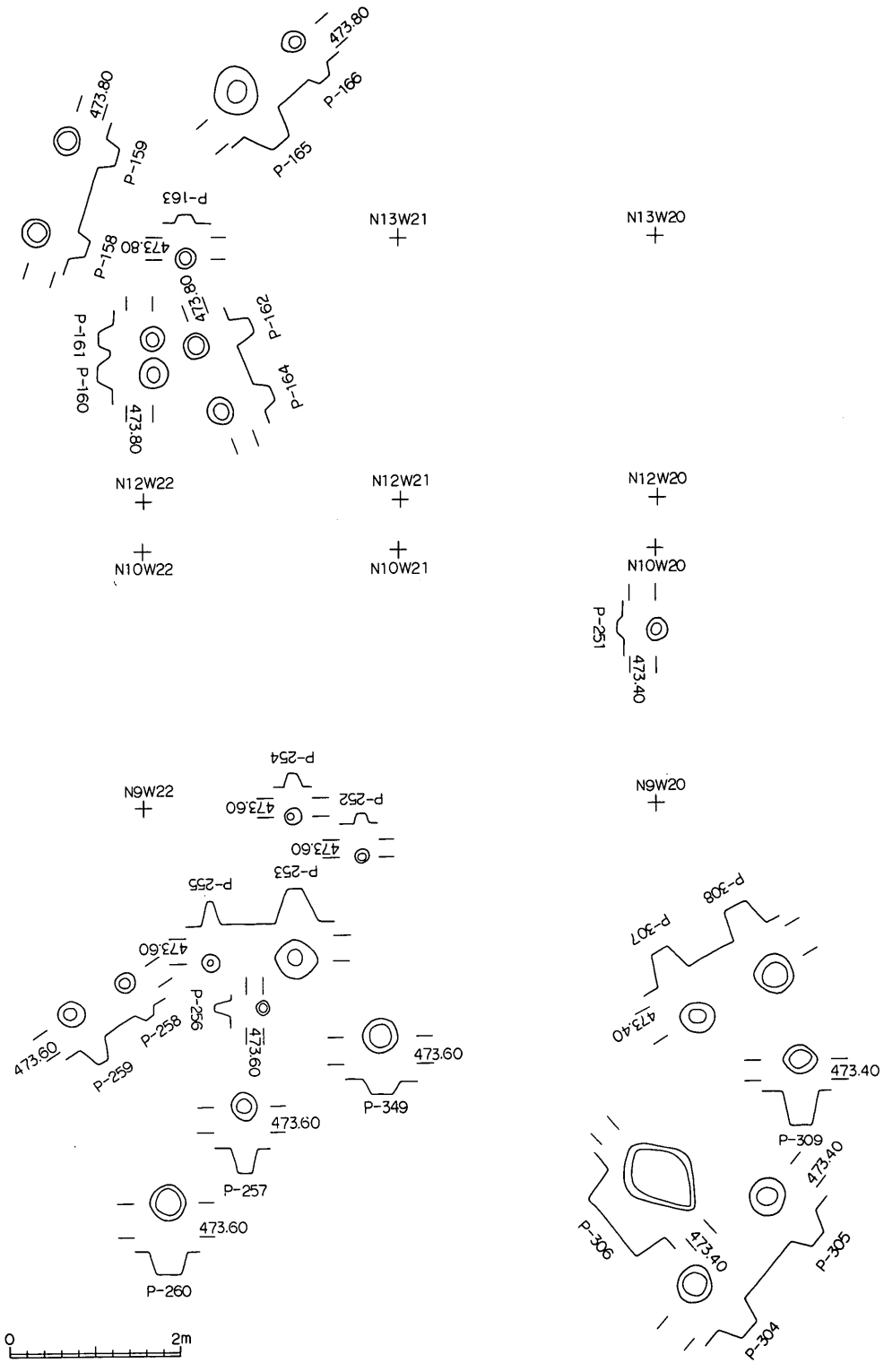
第１６３図　Ａ地区ピット実測図（８）



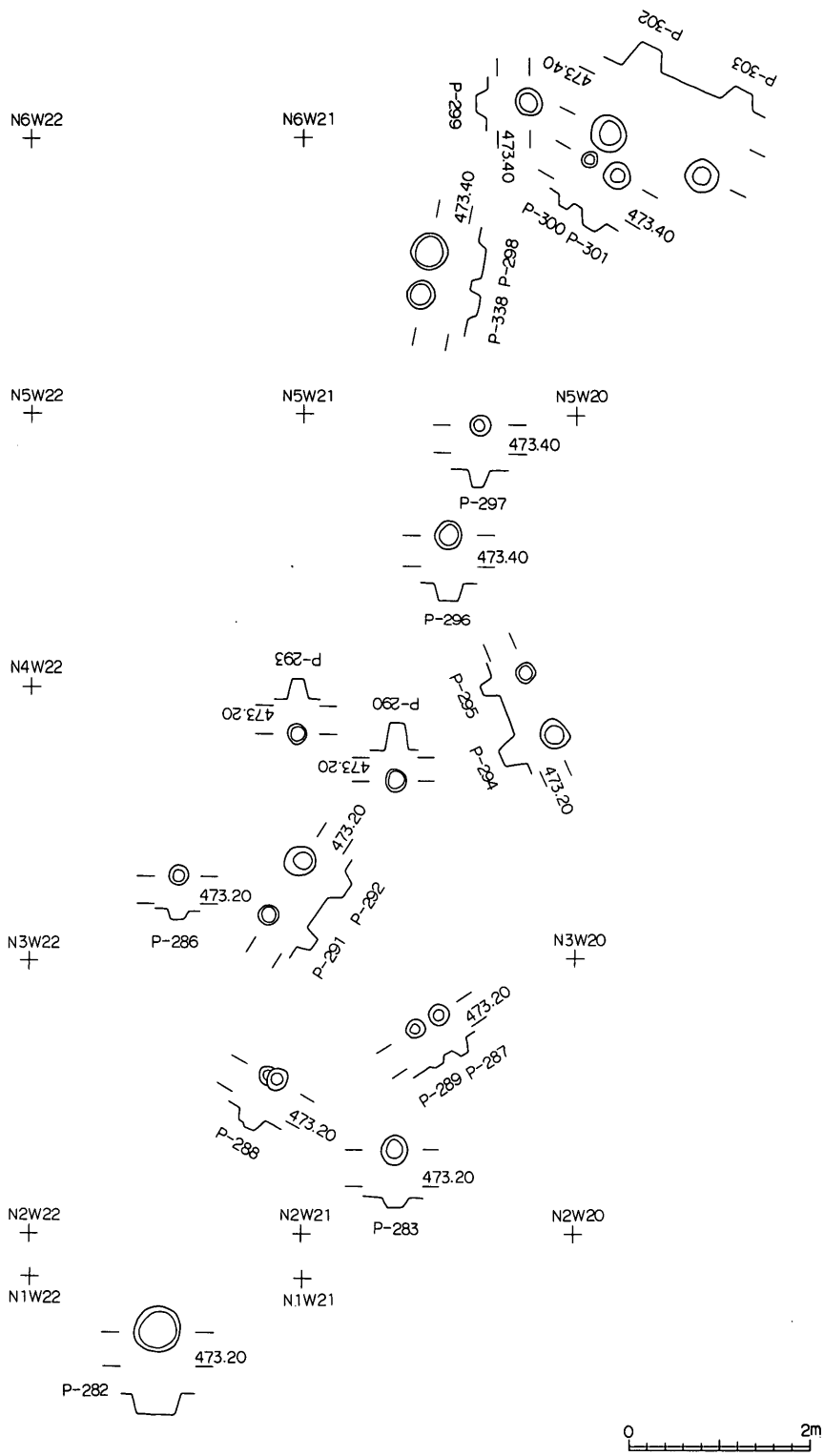
第１６４図　Ａ地区ピット実測図（９）



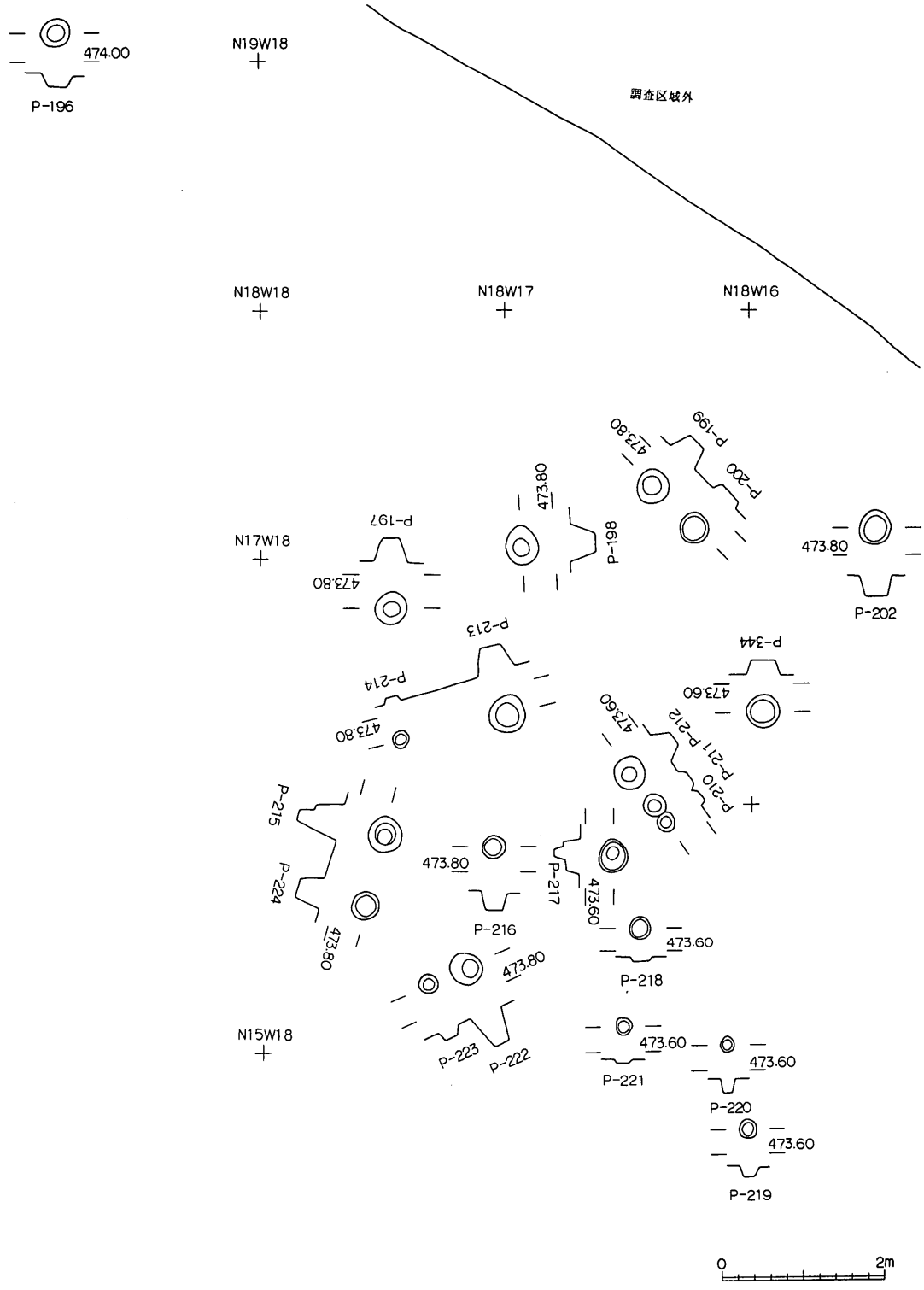
第１６５図　Ａ地区ピット実測図（１０）



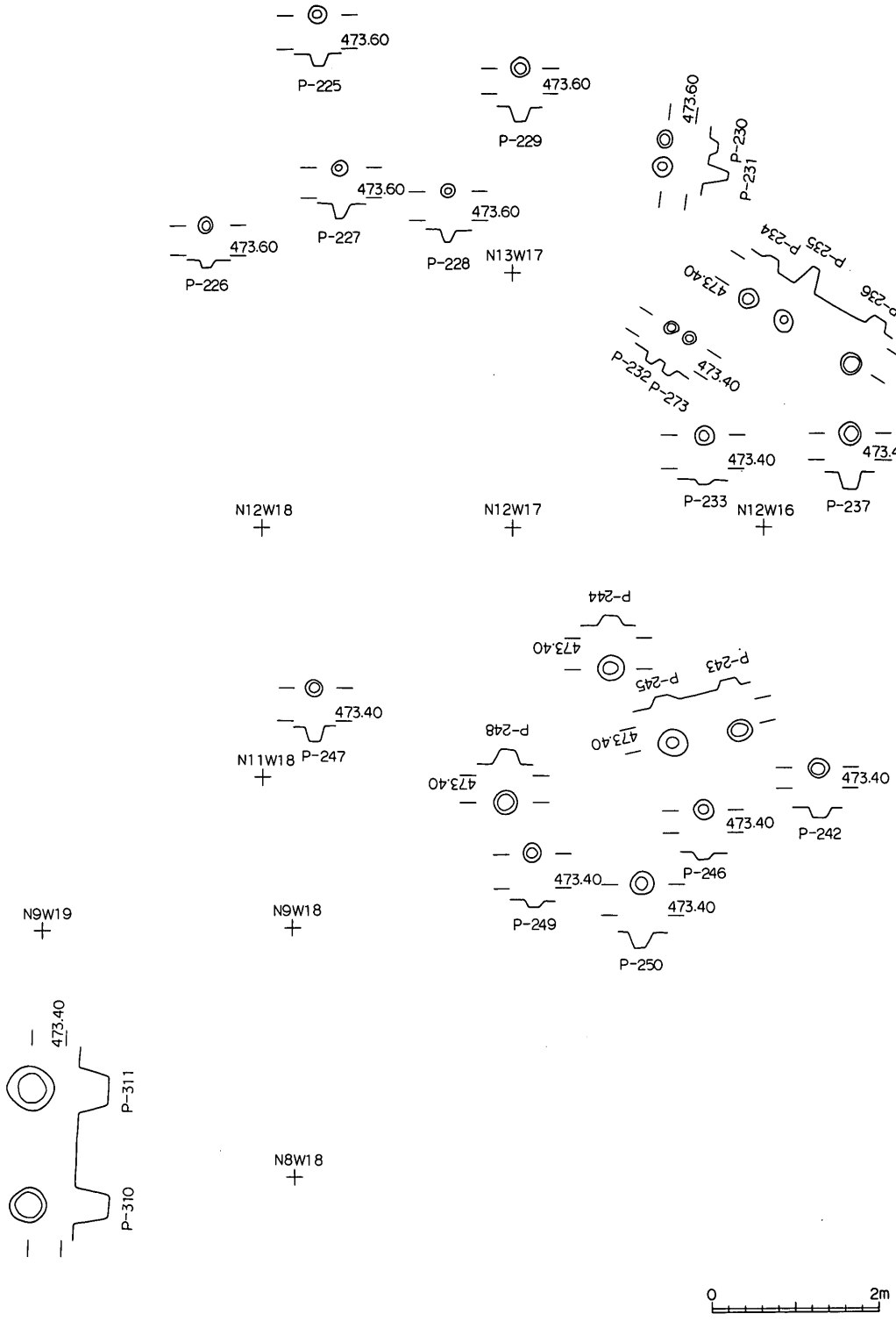
第１６６図　Ａ地区ピット実測図（１１）



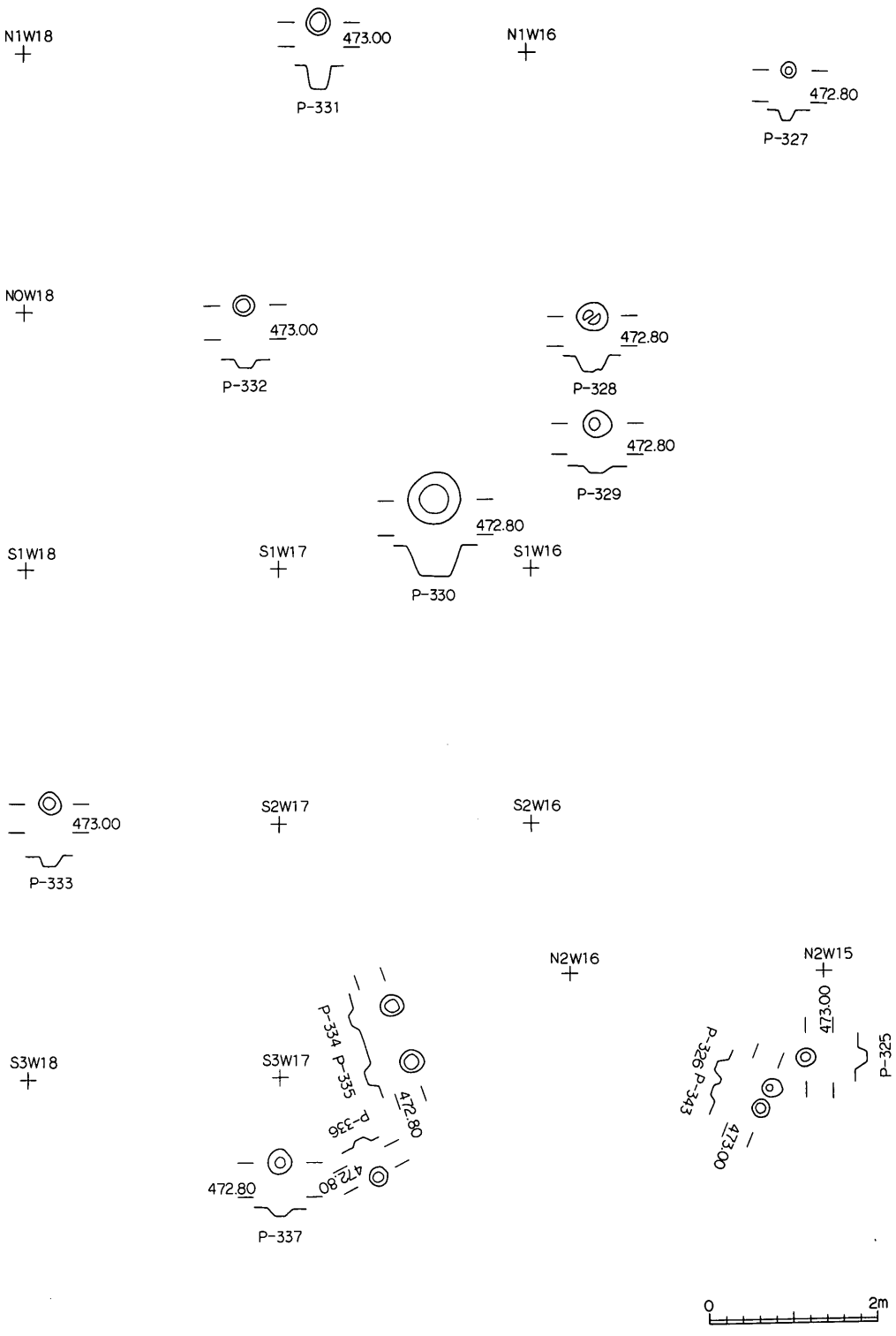
第１６７図　Ａ地区ピット実測図（１２）



第１６８図　Ａ地区ピット実測図（１３）

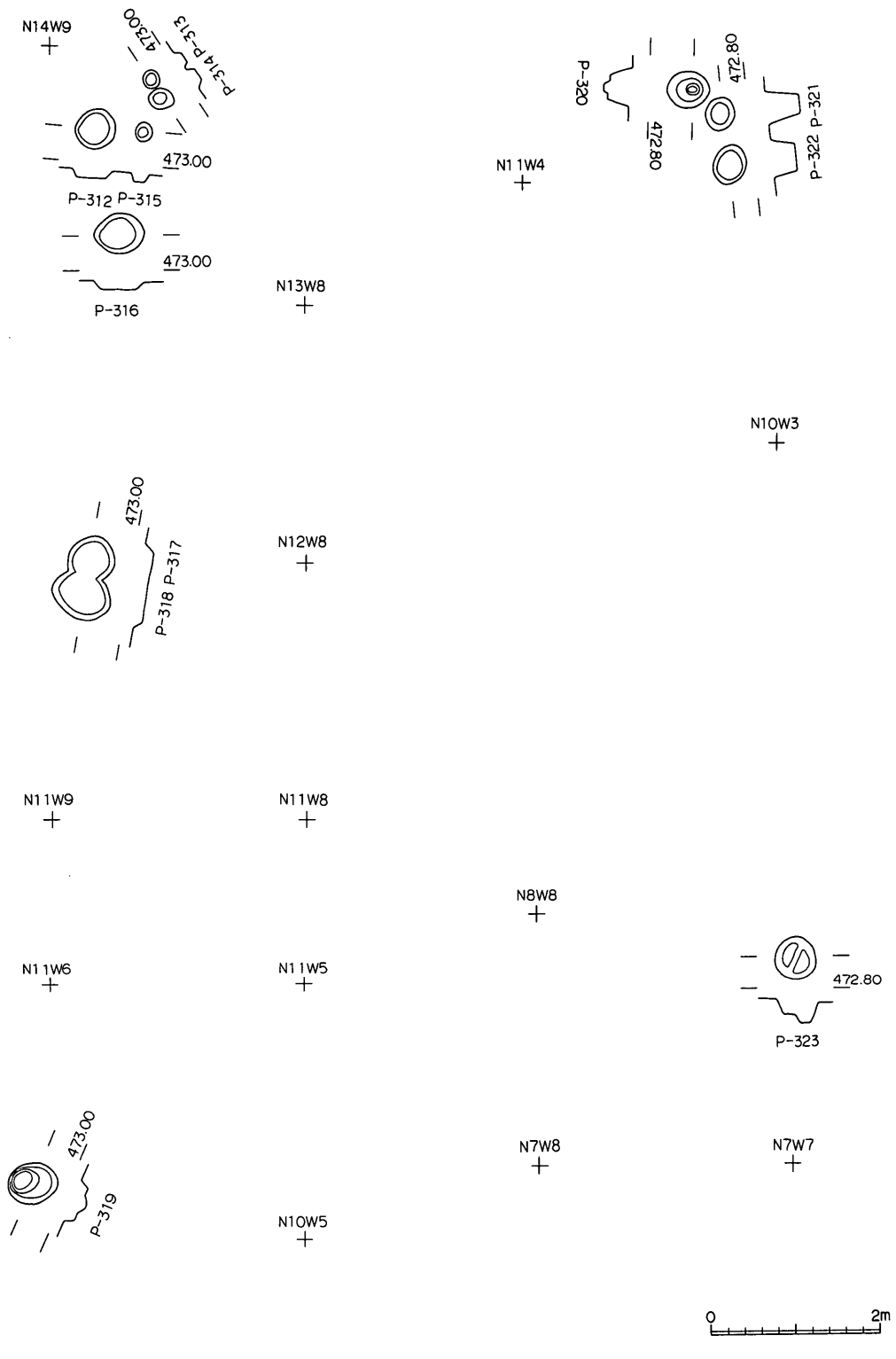


第１６９図　Ａ地区ピット実測図（１４）

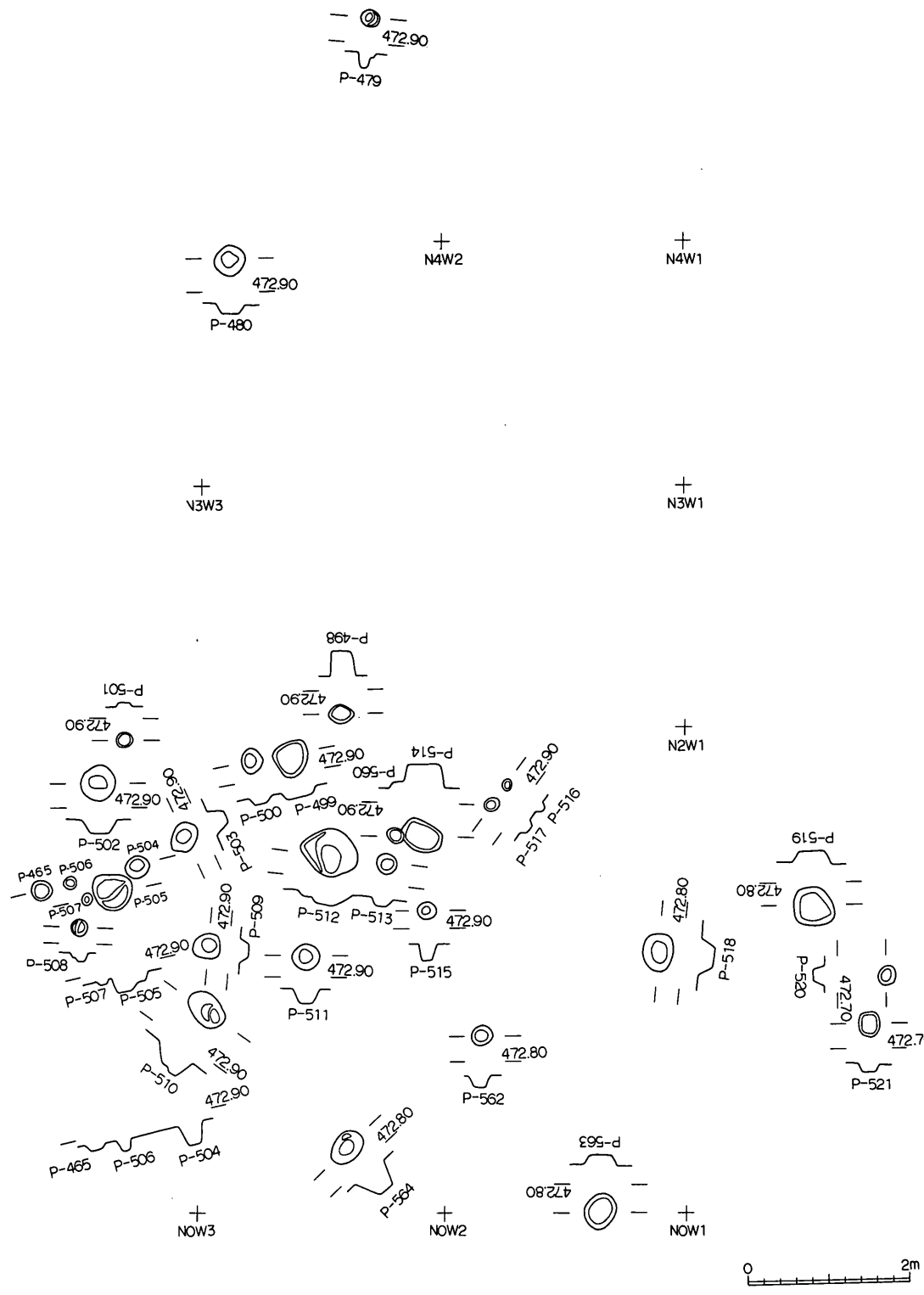


第１７０図　Ａ地区ピット実測図（１５）

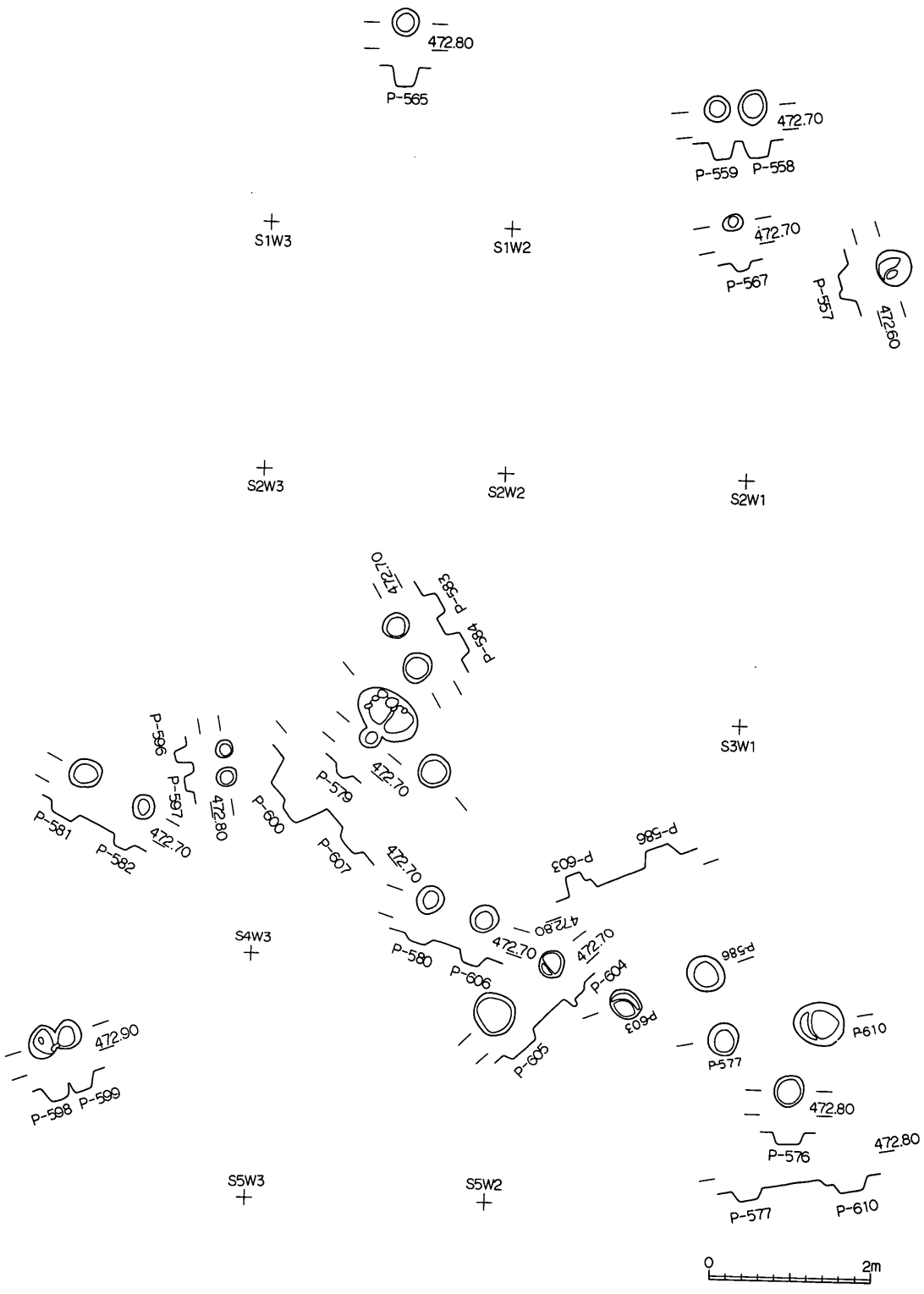
第１７１図　Ａ地区ピット実測図（１６）



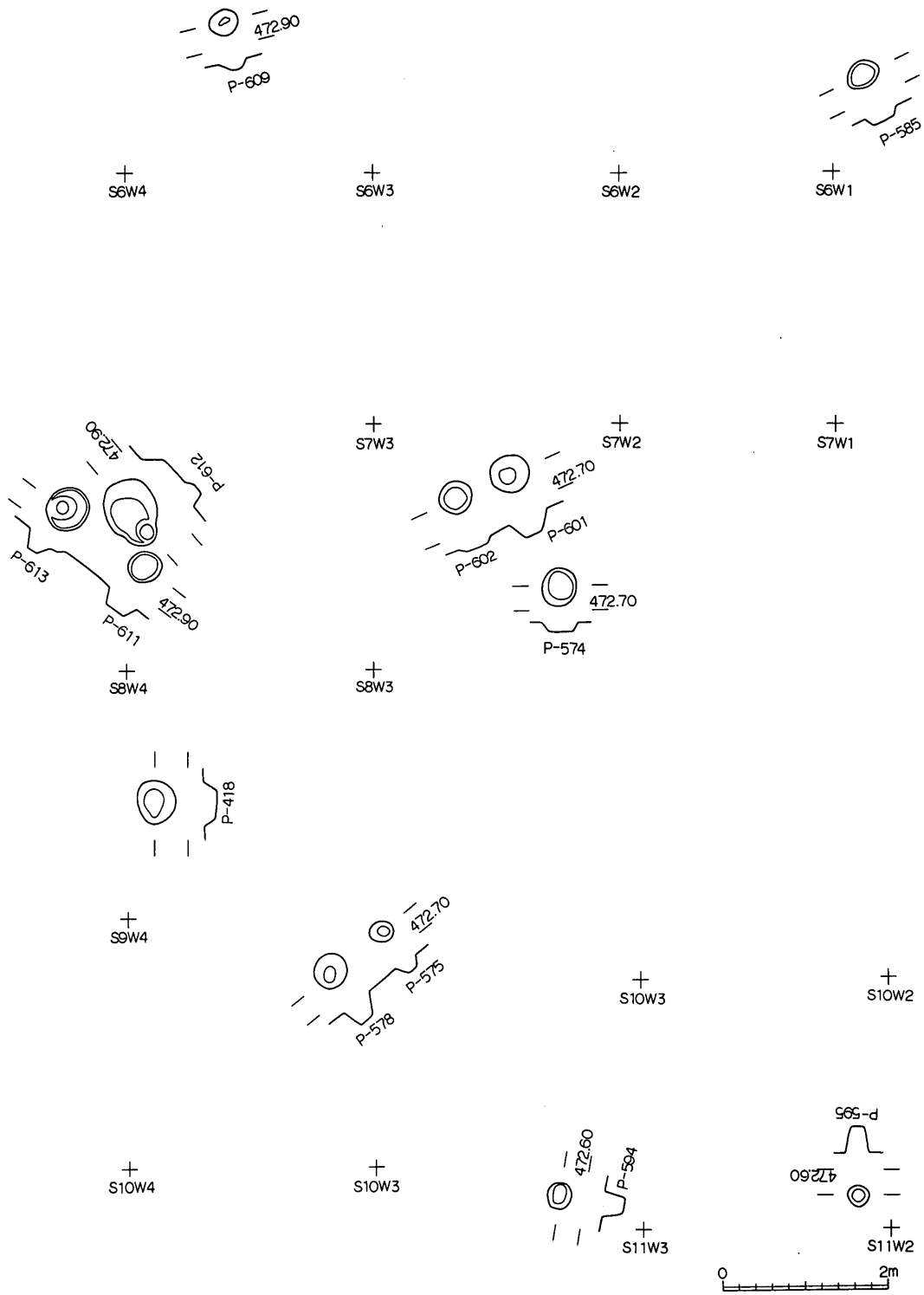
第１７２図　Ａ地区ピット実測図（１７）



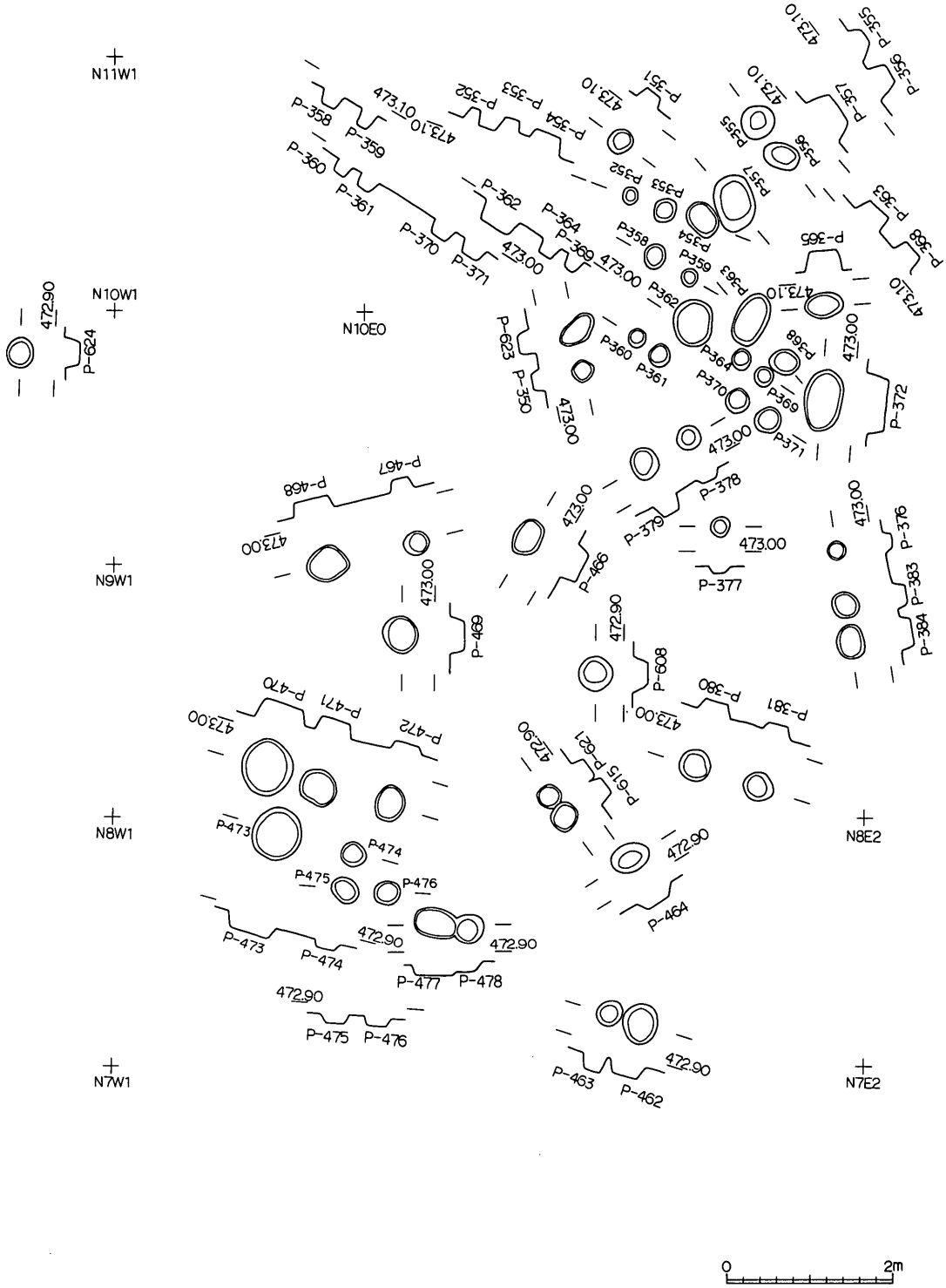
第１７３図　Ａ地区ピット実測図（１８）



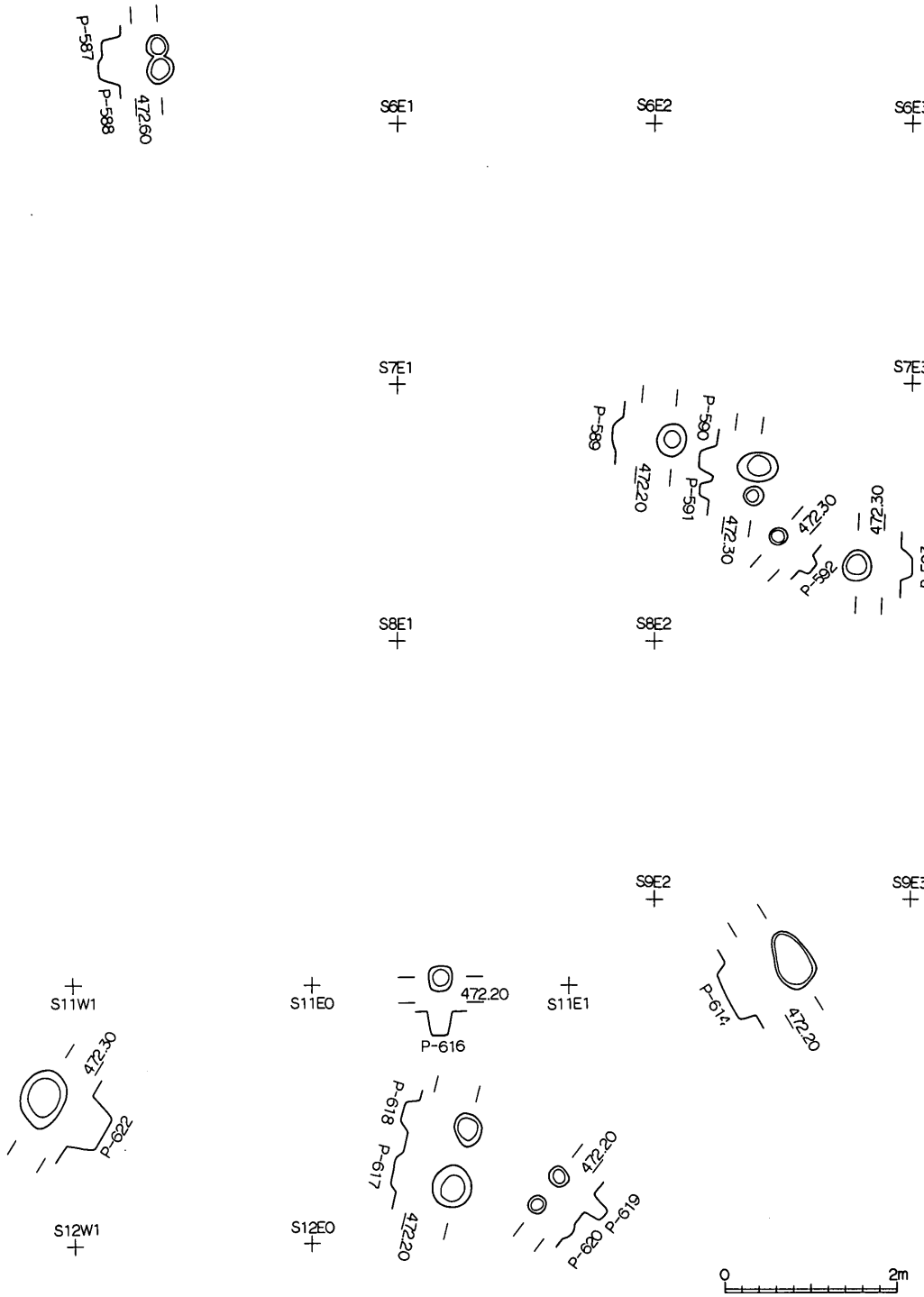
第１７４図　Ａ地区ピット実測図（１９）



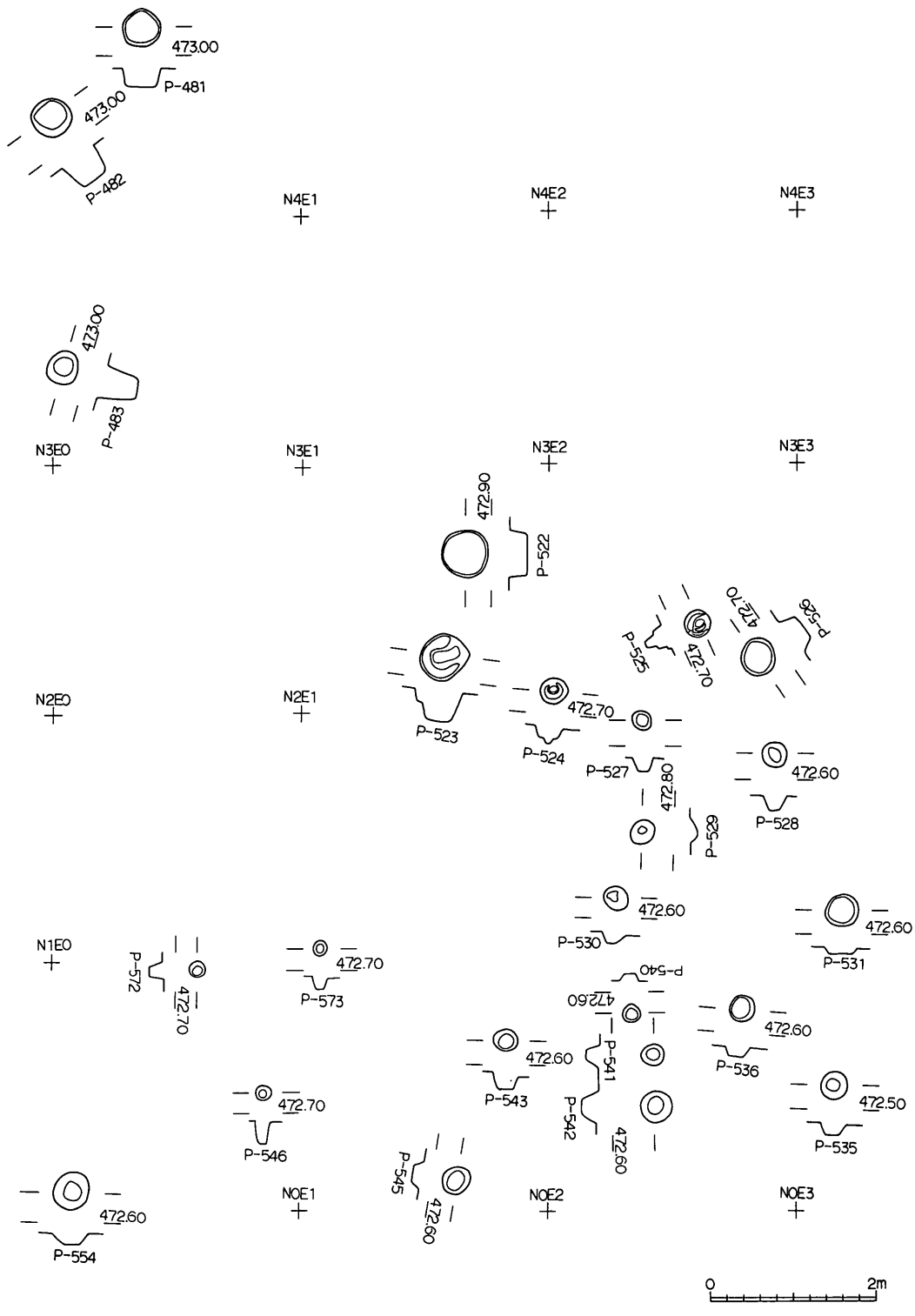
第１７５図　Ａ地区ピット実測図（２０）



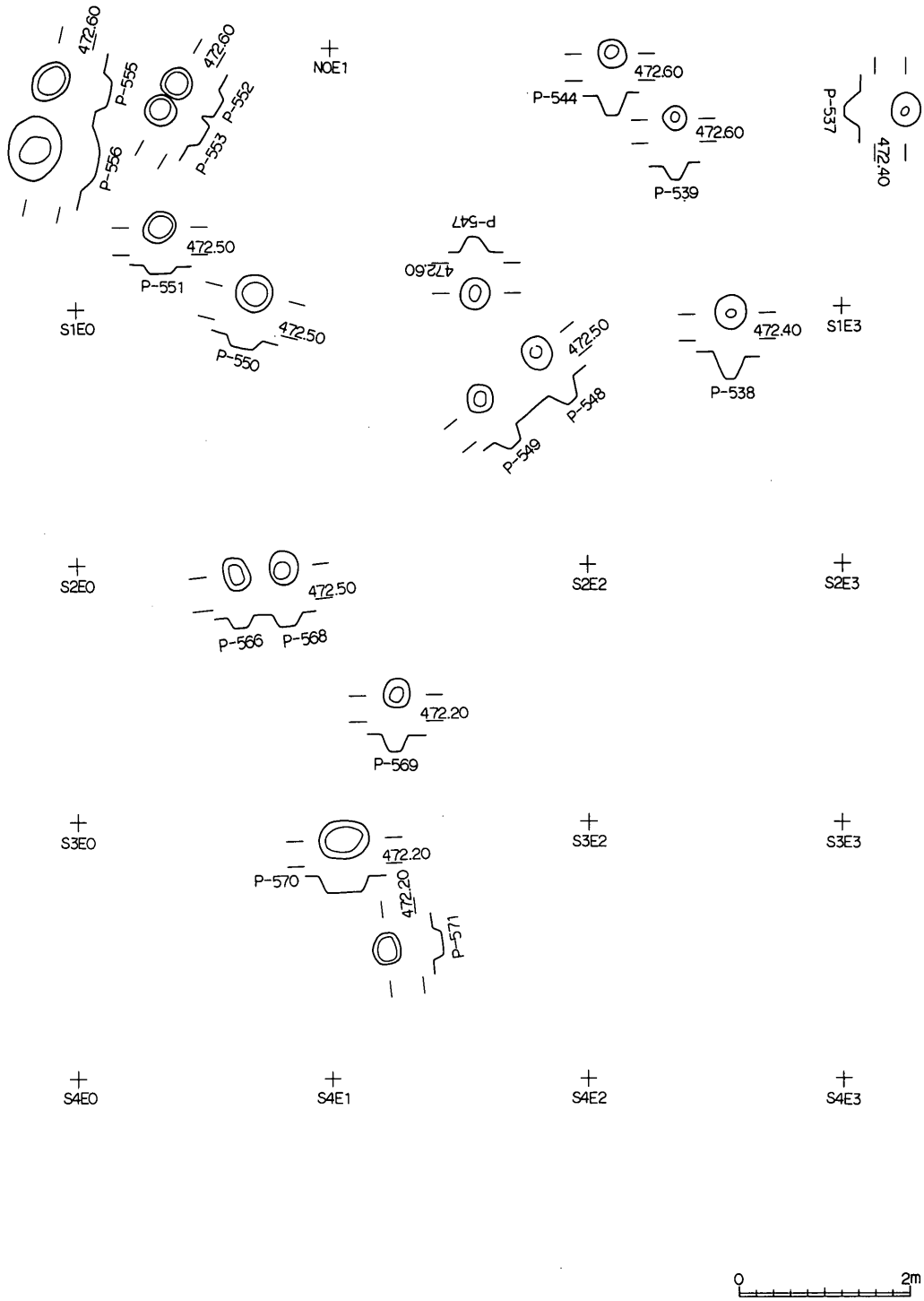
第１７６図　Ａ地区ピット実測図（２１）



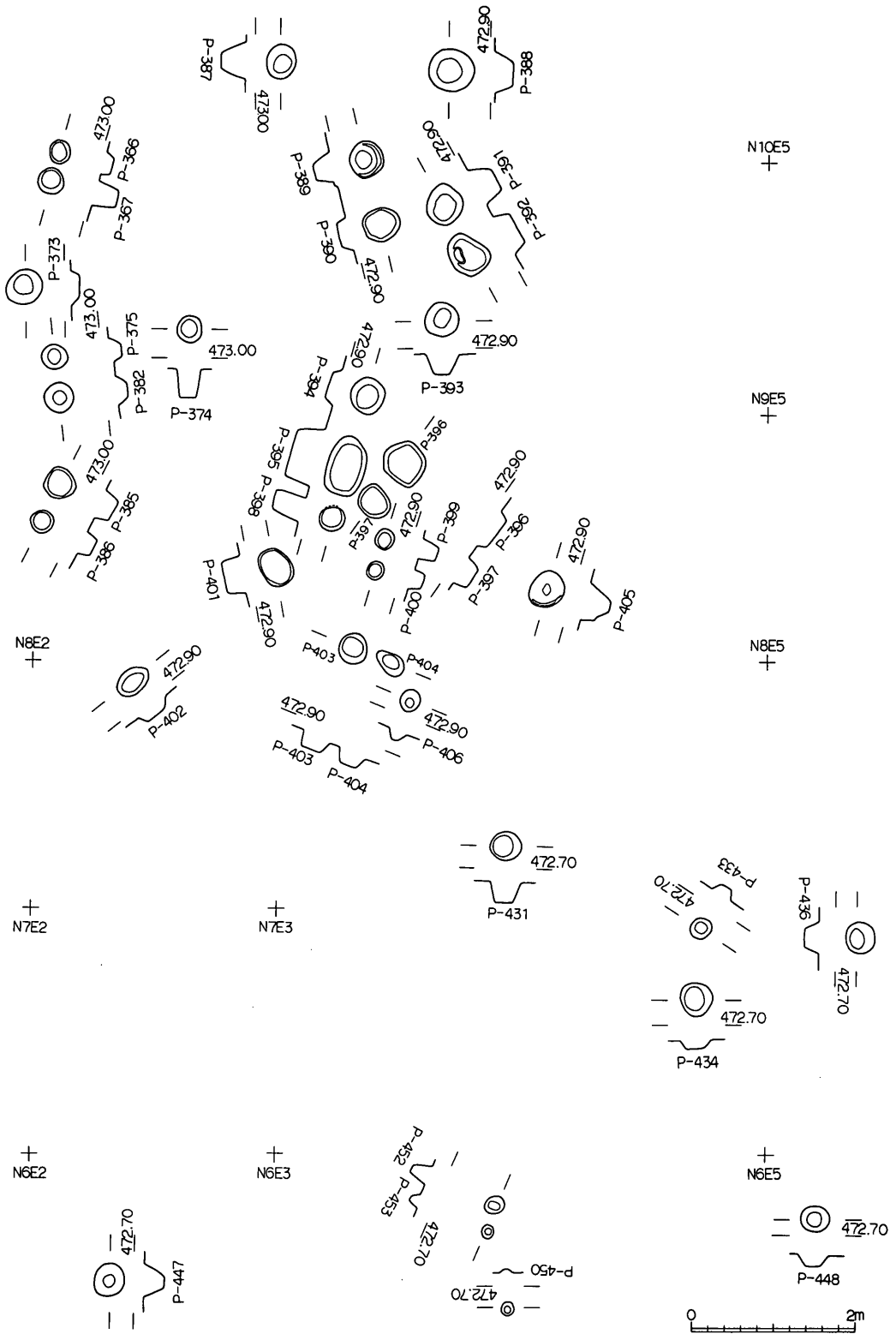
第１７７図　Ａ地区ピット実測図（２２）



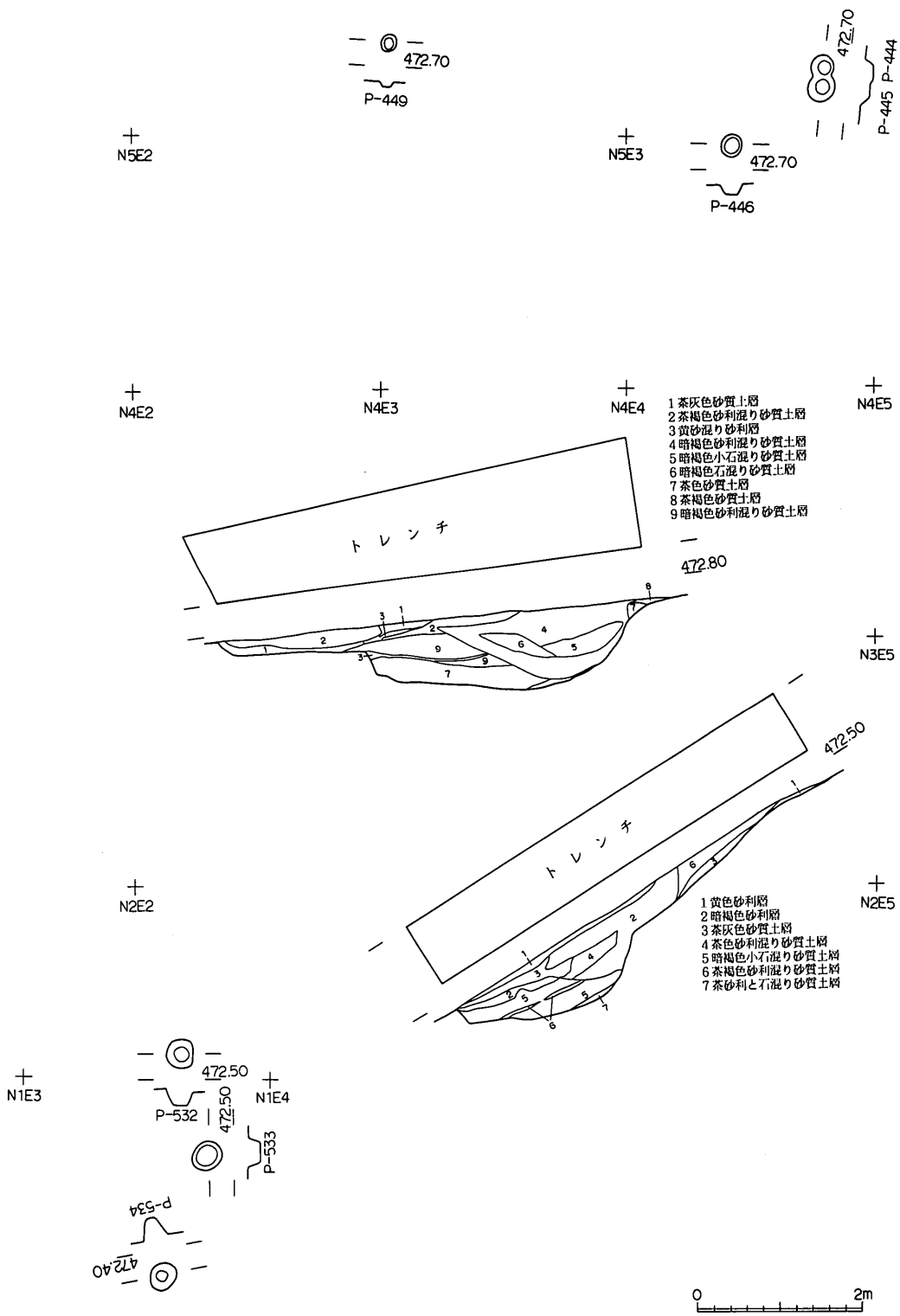
第１７８図　Ａ地区ピット実測図（２３）



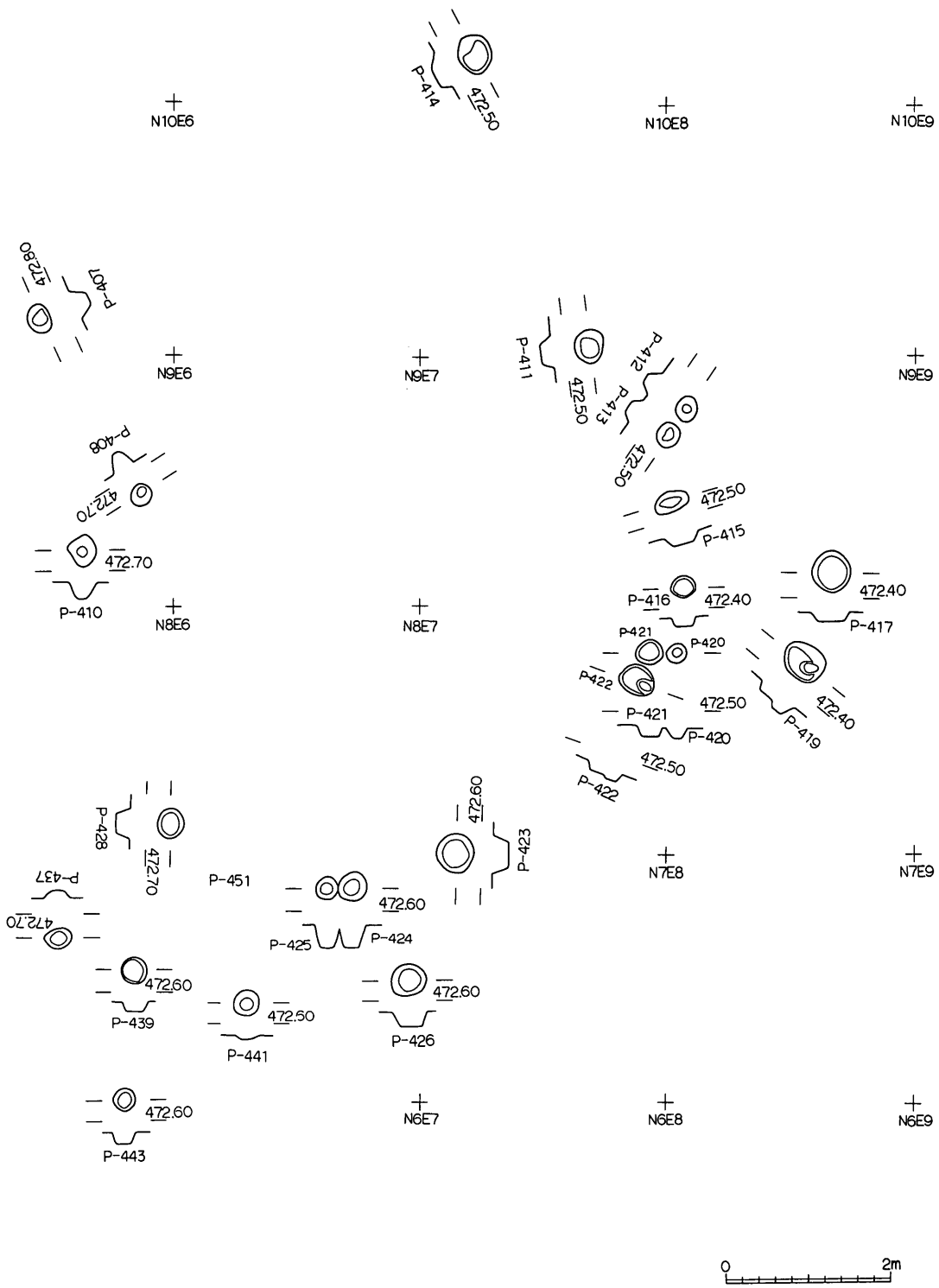
第１７９図　Ａ地区ピット実測図（２４）



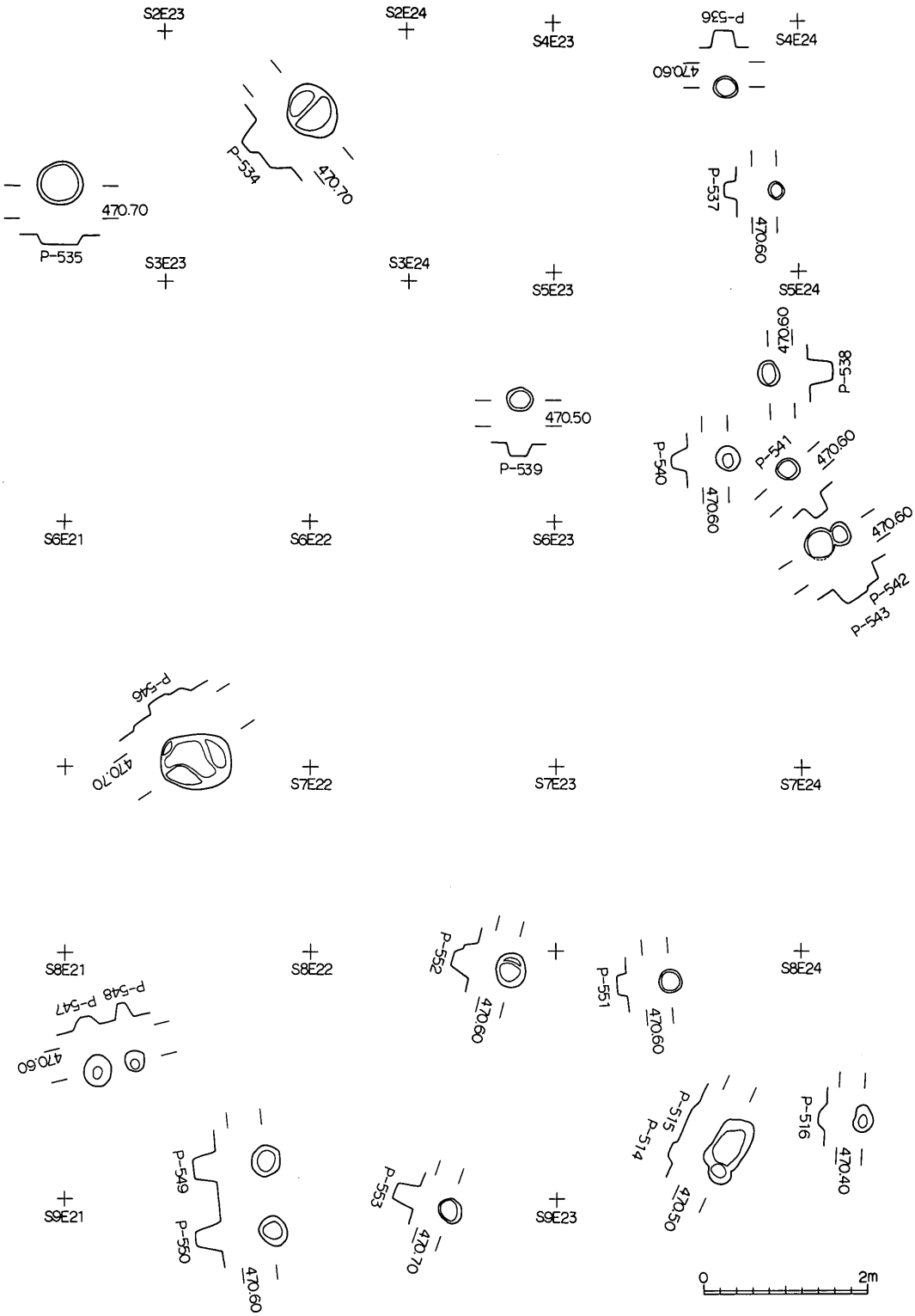
第１８０図　Ａ地区ピット実測図（２５）



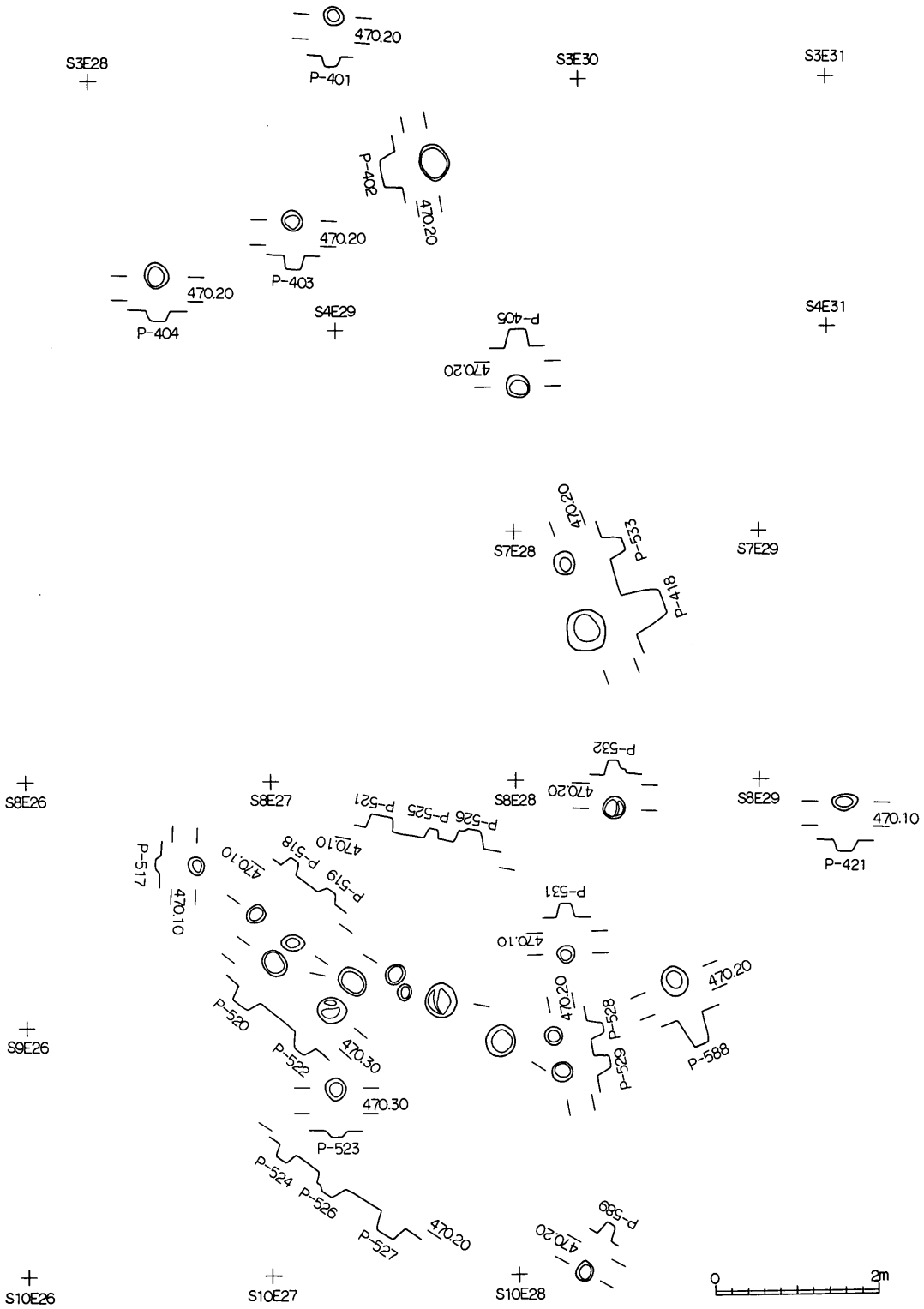
第１８１図　Ａ地区ピット実測図（２６）



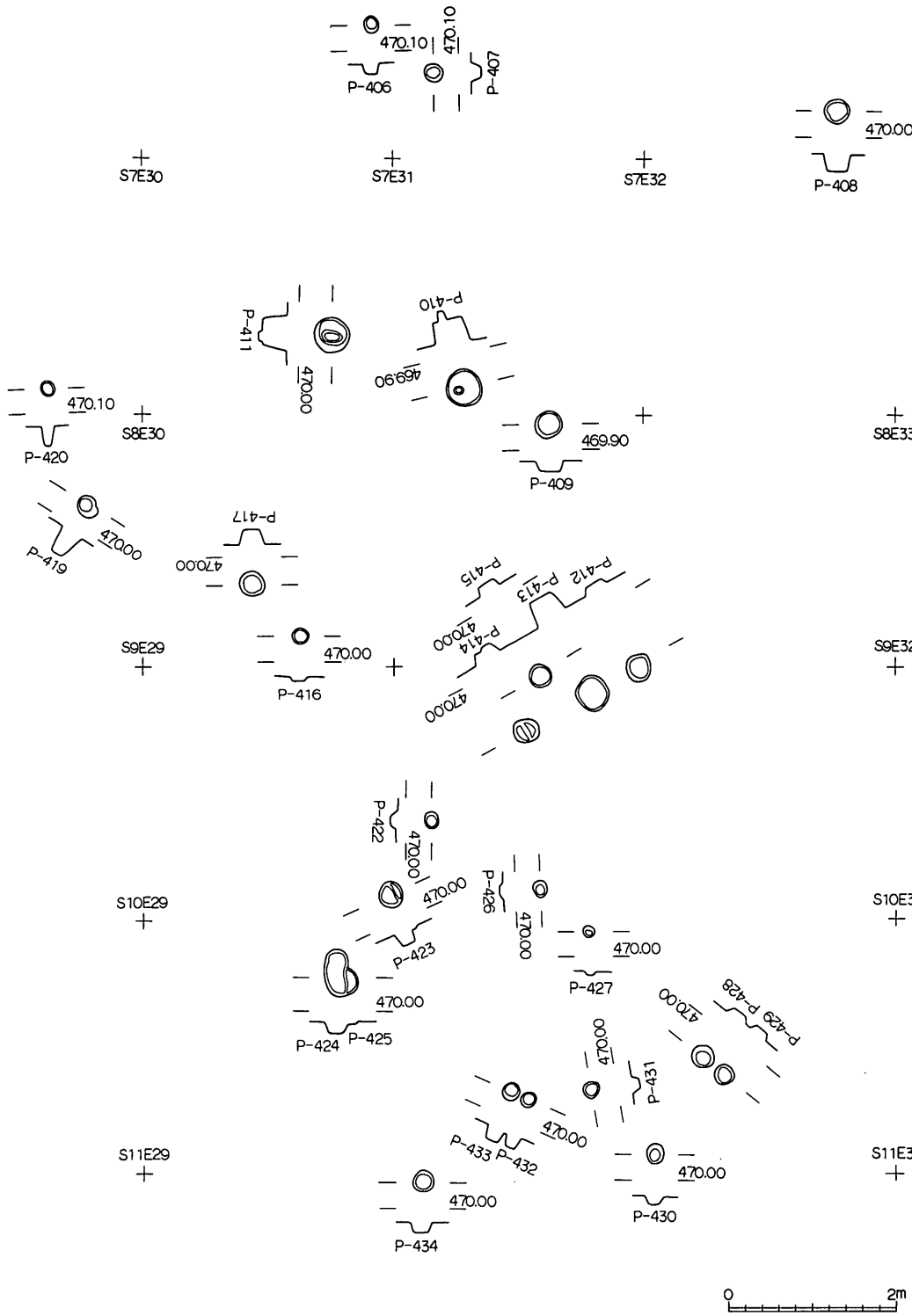
第１８２図　Ａ地区ピット実測図（２７）



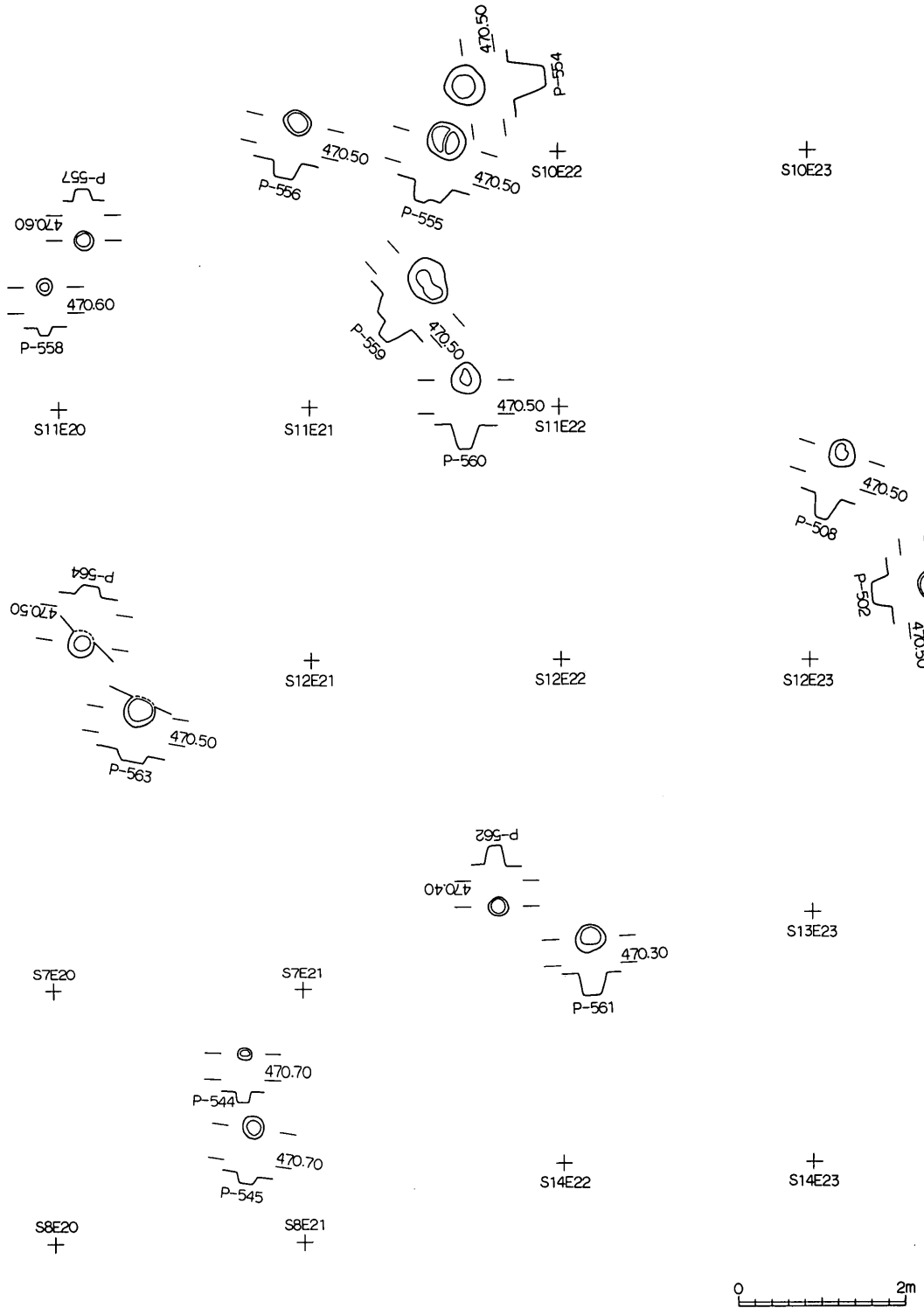
第１８３図　Ｂ地区ピット実測図（１）



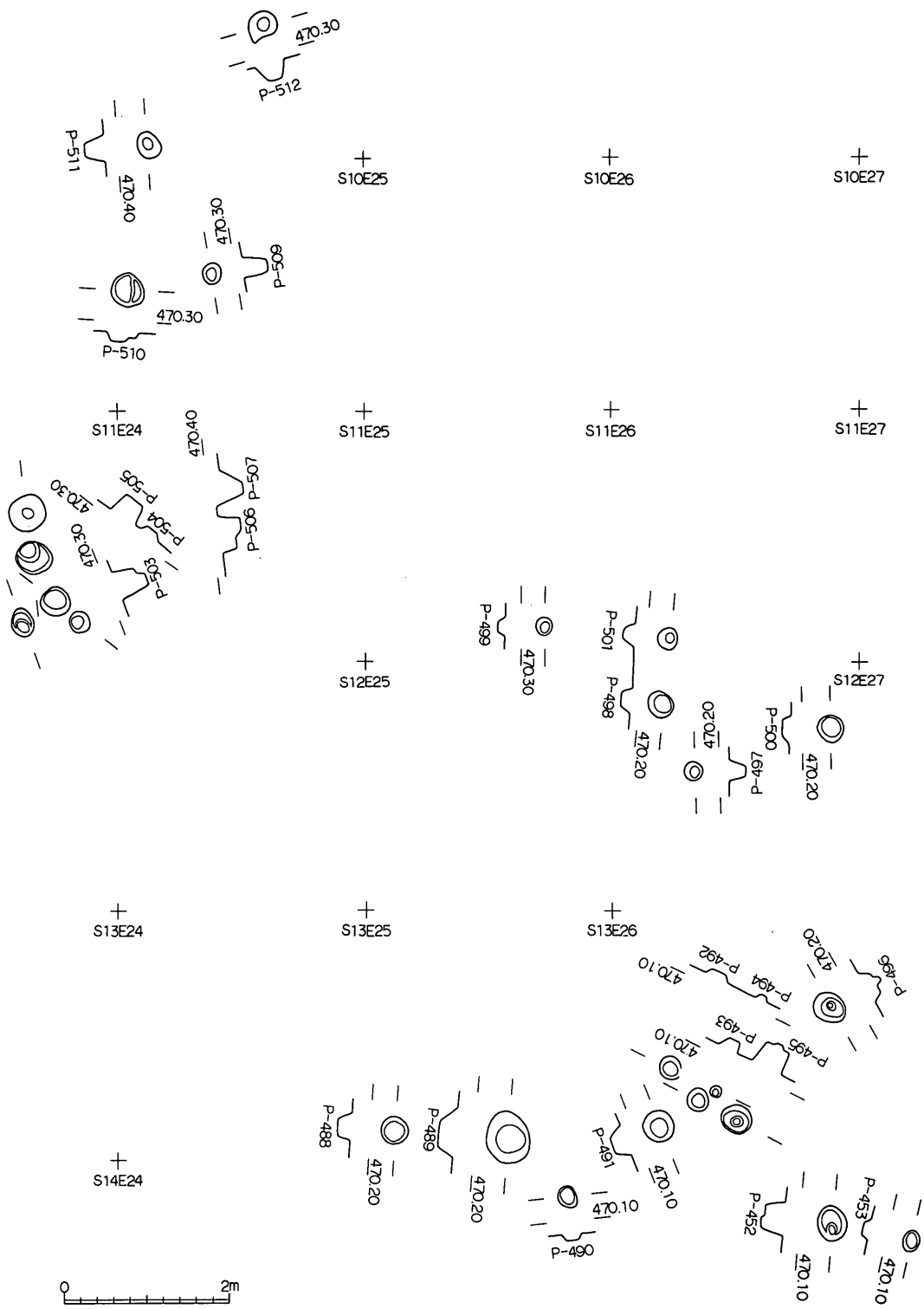
第１８４図　Ｂ地区ピット実測図（２）



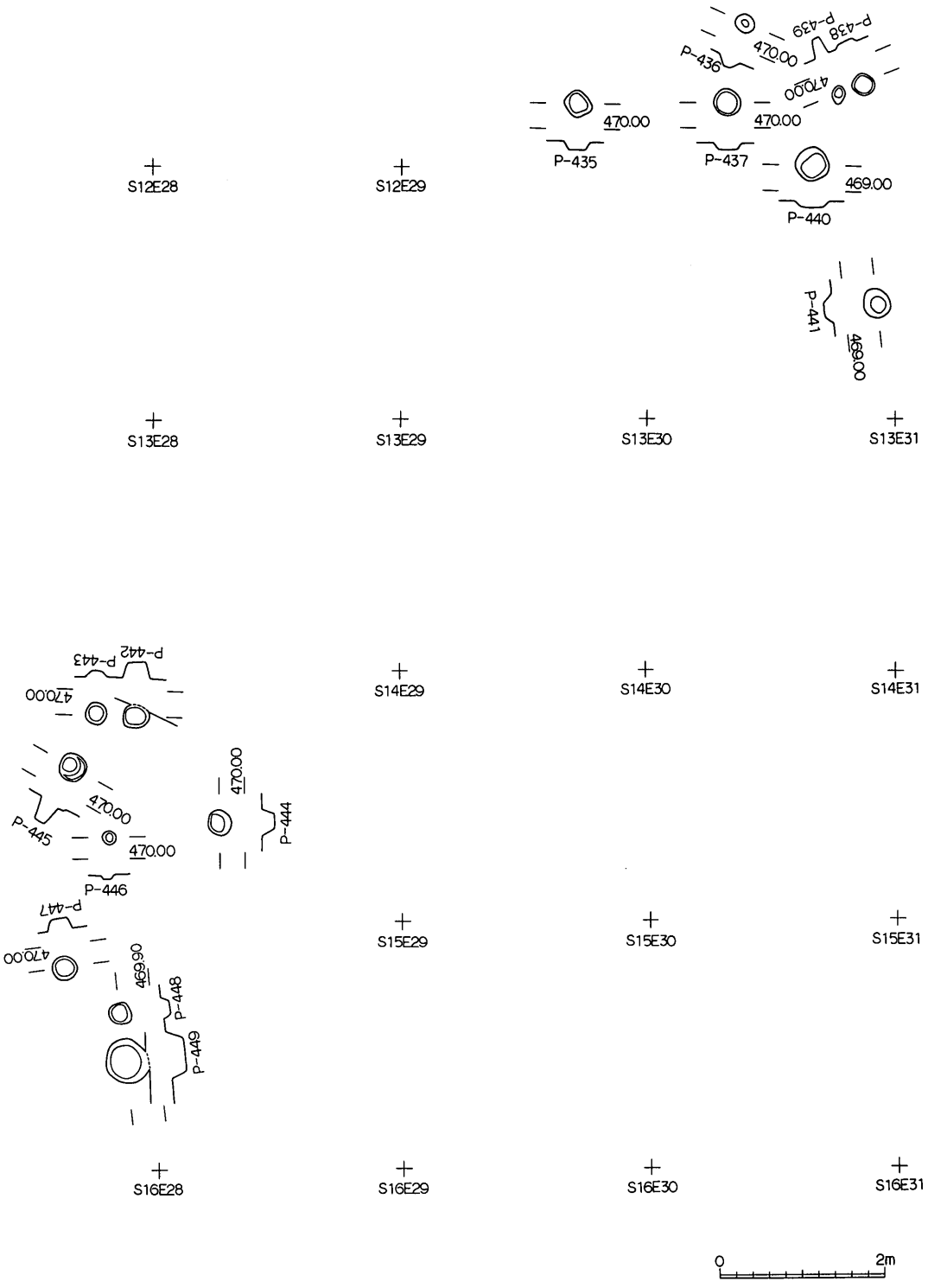
第１８５図　Ｂ地区ピット実測図（３）



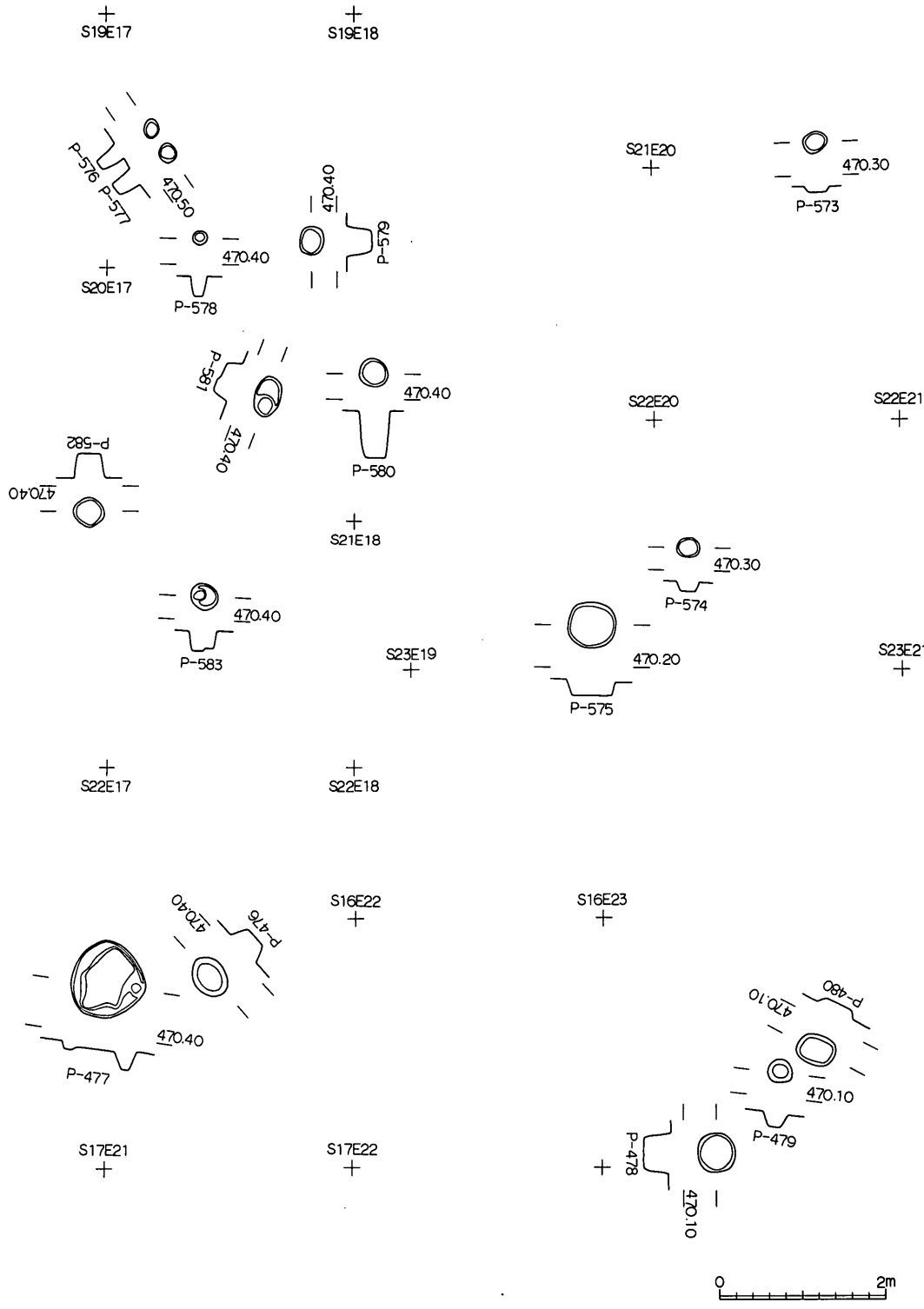
第１８６図　Ｂ地区ピット実測図（４）



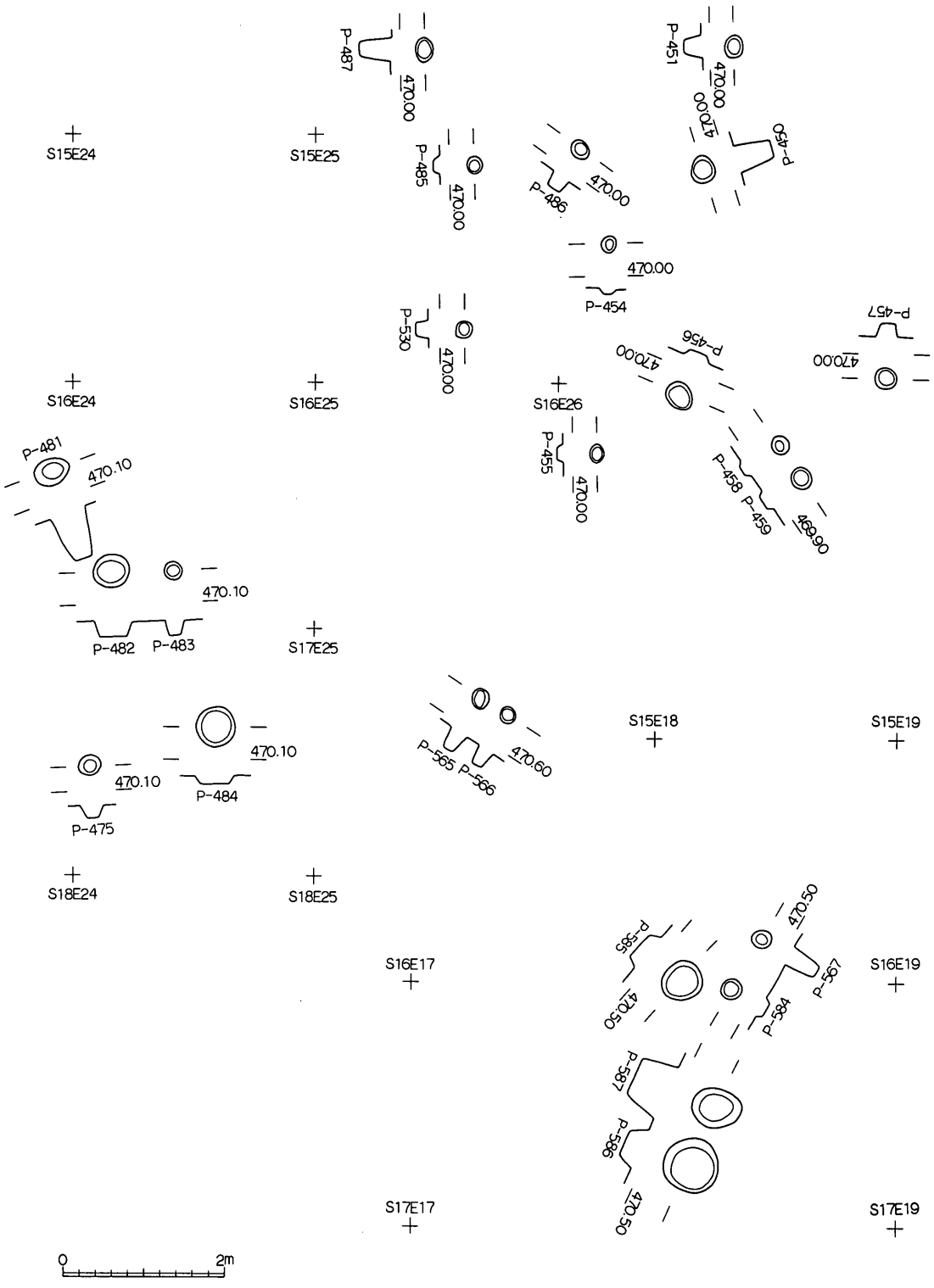
第１８７図　Ｂ地区ピット実測図（５）



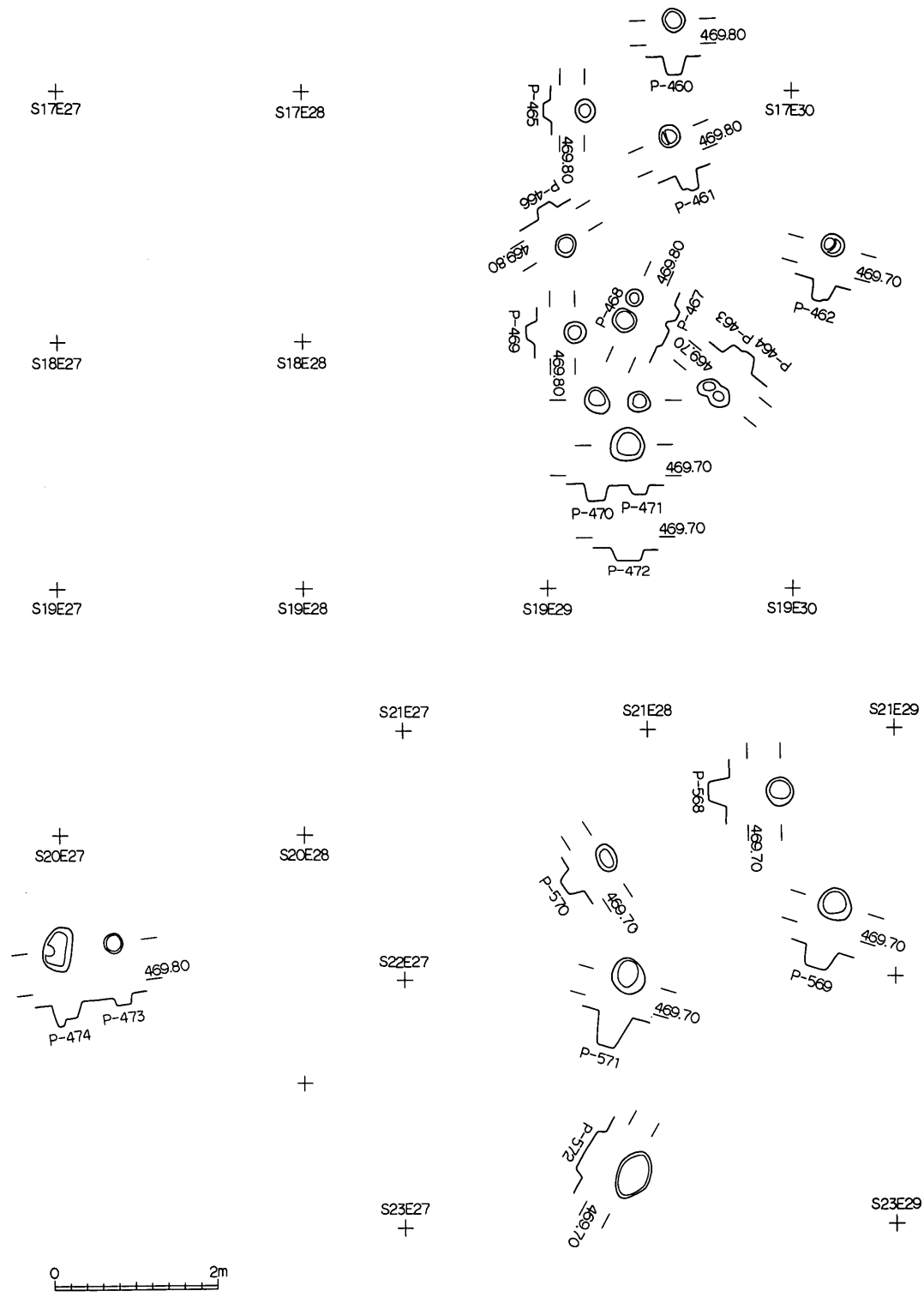
第１８８図　Ｂ地区ピット実測図（６）



第１８９図　Ｂ地区ピット実測図（７）



第１９０図　Ｂ地区ピット実測図（８）

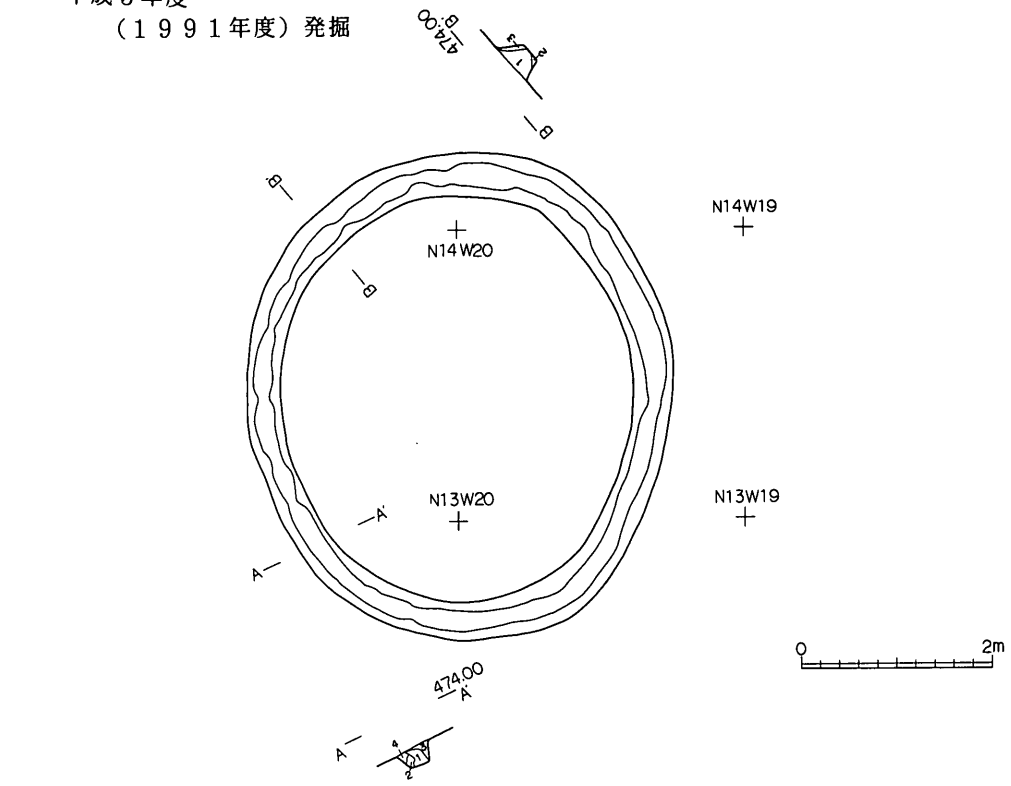


第１９１図　Ｂ地区ピット実測図（９）

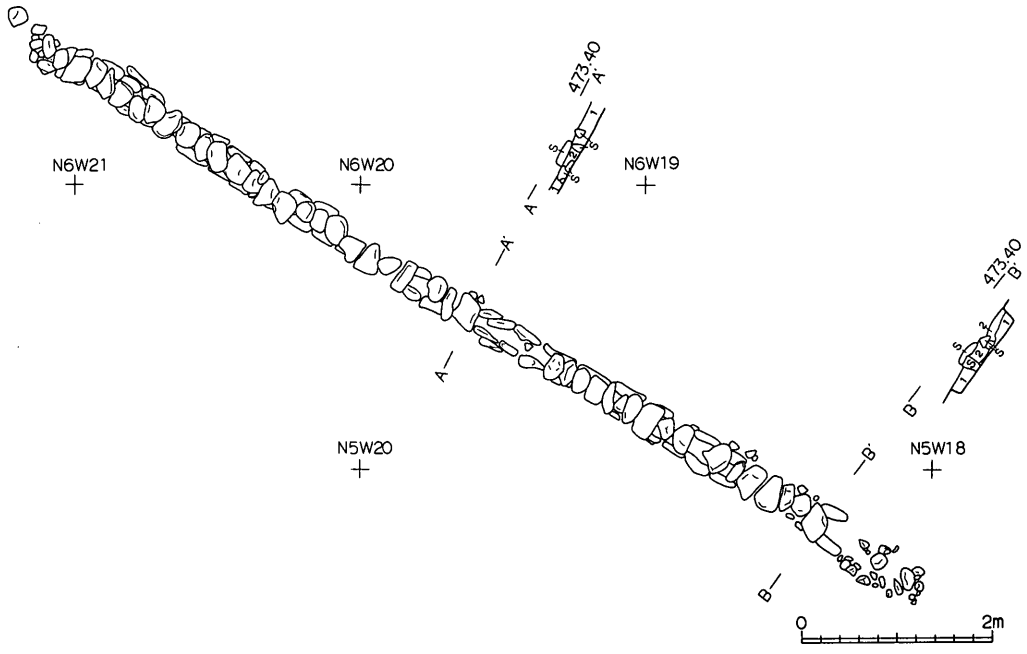
6　その他

平成３年度

（１９９１年度）発掘



第１９２図　Ａ地区円型周溝遺構実測図



第１９３図　Ａ地区配石遺構実測図

7　遺構観察表

平成３年度（１９９１年度）発掘

遺構番号 遺構図版 遺物図版	Ａ－１号住居址 第 8,9図 第 194図	位　置 (ｸﾞﾘｯﾄ)	N16W31,N16W32, N16W33,N17W31,N17W32 N17W33	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-47.5°-W 5.66×3.96	壁　高 床　高 床面積	0.06(N)~0.08(W) 473.97～474.00 20.10 ㎡

柱穴	(長径x短径x深さ)　不明	覆土	1黒褐色土層

炉	位　置 形　態 規模(全長x最大幅)	南西隅寄り 地床炉 (0.52x0.50)	備考	床に焼け面が残る。

備考	床は拳の大きさの石を多量に含んだ地山に掘り込まれ、床面は凹凸が激しい。削平が激しい場所であったため、壁の残存は浅い。炉の北側に甕が埋設されていた。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	Ａ－２号住居址 第 10,11図 第 195図	位　置 (ｸﾞﾘｯﾄ)	N17W30,N18W29, N18W30,N18W31,N19W30 N19W31	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸方形 N-55.0°-W 4.54×4.30	壁　高 床　高 床面積	0.06(S)~0.15(N) 473.98～474.04 16.88 ㎡

柱穴	(長径x短径x深さ)　P1(0.60x0.58x0.41) P2(0.34x0.30x0.23) P3(0.40x0.37x0.14) P4(0.42x0.37x0.41) P5(0.37x0.35x0.28) P6(0.37x0.34x0.18) P7(0.40x0.35x0.42) P8(0.60x0.56x0.06)	覆土	1黒褐色土層

炉	位　置 形　態 規模(全長x最大幅)	中央北西寄り 土器敷き炉 0.47×0.44	覆土 備考	1 褐色弱粘土層　2 焼土　3 褐色弱粘土層（小石を含む） 西側２本の主柱穴間に浅く掘り込まれて設けられている。

備考	床は部分的に砂利を多く含んだ地山に掘り込まれている。床面は平らで堅くしまっている。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	Ａ－３号住居址 第12図 第 196図	位　置 (ｸﾞﾘｯﾄ)	N18W26,N18W27, N19W26,N19W27,N19W28 N20W26N20W27	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-26.5°-E 5.92×4.89	壁　高 床　高 床面積	0.20(W)~0.34(E) 473.92～474.08 25.60 ㎡

柱穴	(長径x短径x深さ)　P1(0.22x0.21x0.28) P2(0.26x0.21x0.18) P3(0.13x0.12x0.17) P4(0.19x0.18x0.10)	覆土	1暗褐色弱粘土層（茶色土を含む） 2明褐色砂質土層（茶色土を含む）

炉	位　置 形　態 規模(全長x最大幅)	中央北寄り 地床炉 0.67×0.48	備考	床に焼け面が残る。

備考	掘立柱建物址と重複し、切られる。Ａ－４号住居址と重複するが、新旧関係はわからなかった。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	Ａ－４号住居址 第13図 第 197図	位　置 (ｸﾞﾘｯﾄ)	N16W25,N16W26, N17W24,N17W25,N17W26 N18W24,N18W25, N18W26,N19W27	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-27.5°-E 7.50×5.02	壁　高 床　高 床面積	0.26(E)~0.34(S) 473.74～473.85 30.56 ㎡

柱穴	(長径x短径x深さ) P1(0.47x0.40x0.30) P2(0.25x0.24x0.18) P3(0.20x0.19x0.05) P4(0.24x0.23x0.13) P5(0.47x0.39x0.30) P6(0.64x0.40x0.20) P7(0.34x0.30x0.25) P8(0.50x0.47x0.30) P9(0.25x0.24x0.12) P10(0.46x0.32x0.35) P11(0.25x0.24x0.20) P12(0.22x0.21x0.14) P13(0.48x0.32x0.33) P14(0.40x0.30x0.44)	覆土	1黒褐色土層

炉	位　置 形　態 規模(全長x最大幅)	Ｆ1 中央北寄り 地床炉 0.88x0.47	Ｆ2 中央 地床炉 1.00x0.70	備考	住居址の床面のほぼ中央と、北側２本の主柱穴の間の２か所に焼け面が残る。

備考	掘立柱建物址と重複し、切られる。Ａ－３号住居址と重複するが、新旧関係はわからなかった。床面は堅くしまり、凹凸が少ない。

第２表　竪穴住居址観察表（１）

遺構番号	A－5号住居址	位置	N15W28, N15W29, N15W30, N16W28, N16W29 N16W30N17W29	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.08(SE)~0.13(SW)
遺構図版	第14図	(グリッド)		主軸方位	N-43.5°-W	床高	473.94～473.96
遺物図版	第198図			規模	6.42×4.34	床面積	24.28 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) 不明	覆土	1黒褐色土層

炉	位置	中央南西寄り	備考	床面に焼跡が残る。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.72 ×0.46		

備考	削平が著しい場所であったため、壁の残存は浅い。床面は堅くしまっている。

遺構番号	A－6号住居址	位置	N13W30, N13W31, N14W30, N14W31, N15W31	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.06(W)~0.10(N)
遺構図版	第 199図	(グリッド)		主軸方位	N-57.5°-W	床高	474.00～474.07
遺物図版				規模	4.33×2.75	床面積	10.92 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.21×0.20×0.05) P2(0.25×0.20×0.06) P3(0.37×0.30×0.13) P4(0.22×0.16×0.27) P5(0.24×0.20×0.15) P6(0.14×0.13×0.09)	覆土	1黒褐色土層

炉	位置	なし	備考	
	形態			
	規模(全長×最大幅)			

備考	A－7号住居址に南壁を切られる。削平が著しい場所であったため、壁の残存は浅い。堅くしまりのある床面が部分的に残るが、凹凸が激しい。

遺構番号	A－7号住居址	位置	N13W30, N13W31, N13W32, N14W31, N14W32	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.04(N)~0.10(W)
遺構図版	第16図	(グリッド)		主軸方位	N-30.5°-W	床高	474.08～474.11
遺物図版	第 200図			規模	5.17×3.20	床面積	13.98 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) 不明	覆土	1黒褐色土層

竈	位置	北東壁中央	備考	火床面のみが確認される。これが竈であったかは不明。
	主軸方位	不明		
	規模(全長×最大幅)	0.61×0.40		

備考	A－7号住居址を重複して切る。A－6号住居址同様桑畑になっていたため、桑根による撹乱を受け、床面は凹凸が激しい。

遺構番号	A－8号住居址	位置	N14W23, N14W24, N14W25, N15W23, N15W24 N15W25N16W24	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.06(SW)~0.14(NW)
遺構図版	第17図	(グリッド)		主軸方位	N-46.0°-W	床高	473.70～473.80
遺物図版	第 201図			規模	5.40×4.36	床面積	21.00 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.42×0.41×0.16) P2(0.27×0.26×0.14)	覆土	1黒褐色弱粘土層（砂を含む） 2暗褐色弱粘土層（砂を含む） 3暗褐色弱粘土層（焼土を含む）

炉	位置	中央北西寄り	覆土	暗褐色弱粘土層（砂を含む）
	形態	地床炉	備考	床面より浅く掘り込まれ、底は焼跡が残る。
	規模(全長×最大幅)	0.58×0.40		

備考	A－25号住居址に北壁を、A－09号住居址に東壁を切られる。床面は堅くしまる。

第3表　竪穴住居址観察表（2）

遺構番号	A－9号住居址	位置	N13W21, N13W22, N14W21, N14W22, N14W23 N15W21, N15W22, N15W23	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.07(E)~0.15(N)
遺構図版	第18図	(グリット)		主軸方位	N-30.5°-W	床高	473.66～473.72
遺物図版	第 202図			規模	7.16×4.66	床面積	29.60 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.60×0.60×0.36) P2(0.45×0.44×0.17) P3(0.35×0.33×0.18) P4(0.42×0.41×0.39) P5(0.52×0.50×0.20) P6(0.28×0.27×0.22) P7(0.45×0.42×0.24) P8(0.40×0.40×0.32) P9(0.55×0.41×0.36) P10(0.36×0.33×0.19) P11(0.48×0.41×0.22)	覆土	1黒褐色土層

炉	位置	F1 中央北西寄り 地床炉	F2 中央 地床炉	備考	床面の中央北西寄りと、中央との2か所に炉があり、前者は浅く掘込まれ、後者は床面に焼跡が残る。
	形態				
	規模(全長×最大幅)	0.40×0.40	0.60×0.38		

備考	A－08号住居址及び、A－25号住居址と重複して切る。北東の壁の下の床面に 160㎝ほどの長さの周溝状の溝があり、その北側と西側の縁が床面から僅かに盛り上がっている。床は堅くしまりがある。

遺構番号	A－10号住居址	位置	N17W19, N17W20, N18W19, N18W20	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.05(S)~0.19(W)
遺構図版	第19図	(グリット)		主軸方位	N- 5.0°-W	床高	473.74～473.80
遺物図版	第 203図			規模	4.48×3.74	床面積	15.04 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) 不明	覆土	1黒褐色土層(炭化物を含む) 2黒褐色土層(焼土を含む)

竈	位置	西壁近くの床面	備考	床面に赤色に焼けた跡が残るが、その他は不明である。
	主軸方位	不明		
	規模(全長×最大幅)	0.31 × 0.21		

備考	A－11号住居址を重複して切る。住居の平面形は歪んだ隅丸方形を呈する。床には周溝がある(南壁の一部を除く)。床面は堅くしまる。覆土からは炭化した材が出土した。

遺構番号	A－11号住居址	位置	N15W19, N16W18, N16W19, N16W20, N17W19 N17W20	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.05(E)~0.20(W)
遺構図版	第20図	(グリット)		主軸方位	N-31.5°-W	床高	473.66～473.74
遺物図版	第 204図			規模	5.20×3.72	床面積	16.78 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.42×0.40×0.10) P2(0.40×0.34×0.06) P3(0.32×0.30×0.29)	覆土	1明褐色砂質土層(小石を含む) 2明褐色砂質土層 3灰色砂質土層

炉	位置	中央北壁寄り	備考	床面に赤色に焼けた跡が僅かに残る。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.48×0.40		

備考	A－10号住居址と重複し北壁を切られる。

遺構番号	A－12号住居址	位置	N14W18, N14W19, N14W20, N15W18, N15W19 N15W20	平面形態	隅丸方形	壁高	0.10(E)~0.12(N)
遺構図版	第21図	(グリット)		主軸方位	N-41.0°-W	床高	473.59～473.68
遺物図版	第 205図			規模	5.02×4.65	床面積	20.20 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.45×0.37×0.26) P2(0.50×0.36×0.37) P3(0.60×0.57×0.15) P4(0.37×0.30×0.44) P5(0.22×0.20×0.08) P6(0.50×0.38×0.13) P7(0.22×0.22×0.16) P8(0.40×0.34×0.11) P9(0.36×0.26×0.40) P10(0.57×0.39×0.28) P11(0.66×0.54×0.32) P12(0.61×0.56×0.22) P13(0.63×0.50×0.35) P14(0.60×0.50×0.17)	覆土	1黒褐色土層(砂を含む) 2褐色粘土層 3焼土

竈	位置	北東壁中央	備考	床面に赤色に焼けた跡が僅かに残るが、これが竈であるか不明である。
	主軸方位	不明		
	規模(全長×最大幅)	0.53×0.36		

備考	覆土に人の頭の大きさの石が多量に含まれていた。

第4表　竪穴住居址観察表(3)

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－13号住居址 第22図 第 206図	位　置 (グリット)	N11W16, N11W17, N12W16, N12W17, N13W16 N13W17	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-51.5°-E 4.31×3.62	壁　高 床　高 床面積	0.10(S)~0.19(N) 473.29～473.35 14.36 ㎡

柱穴	(長径x短径x深さ) P1(0.20x0.19x0.08) P2(0.30x0.29x0.20) P3(0.22x0.22x0.11) P4(0.28x0.27x0.23) P5(0.30x0.22x0.18) P6(0.18x0.17x0.10) P7(0.30x0.25x0.22) P8(0.34x0.30x0.22)	覆土	1黒褐色土層（炭化物を多量に含む）

炉	位　置 形　態 規模(全長x最大幅)	F1 中央北東寄り 地床炉 0.36x0.32	F2 中央 地床炉 0.40x0.40	備考	2か所ある。中央北東寄りの床面に浅く掘込んだ地床炉があり、住居の床のほぼ中央には赤色に焼けた跡が残る。

備考	削平が著しい場所なので、住居址の東隅の壁が消失している。覆土から炭化した材が出土した。床面は堅くしまりがある。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－14号住居址 第 23, 24図 第 207図	位　置 (グリット)	N13W14, N14W13, N14W14, N15W13, N15W14	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸方形 N-39.5°-W 3.90×3.55	壁　高 床　高 床面積	0.19(S)~0.28(N) 473.17～473.26 12.16 ㎡

柱穴	(長径x短径x深さ) 不明	覆土	1黒褐色弱粘土層 2褐色弱粘土層（炭化物含む） 3褐色弱粘土層（橙色砂及び炭化物含む）

竈	位　置 主軸方位 規模(全長x最大幅)	北西壁中央 N-36.5°-W 1.40x0.74	覆土 備考	1黒褐色粘質土層　2褐色粘質土層　3褐色粘質土層（炭化物含む） 4赤褐色粘質土層 煙道（0.86×0.27）

備考	ほぼ全周に周溝がある。床面は粘性の強い暗褐色土と明黄褐色の土を混合した土で貼床が施される。竈は僅かな構築土と袖の芯石と天井石が残り、崩壊している。煙道の内部は焼けていなかった。竈の中には、火床面の上に炭の層がある。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－15号住居址 第25図 第 208図	位　置 (グリット)	N14W11, N14W12, N15W10, N15W11, N15W12 N16W11N16W12	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-47.0°-W 5.12×？	壁　高 床　高 床面積	0.18(S)~0.28(NW) 473.18～473.22

柱穴	(長径x短径x深さ) 不明	覆土	1黒褐色土層（炭化物を多量に含む）

竈	位　置 主軸方位 規模(全長x最大幅)	F1 0.40x0.30	備考	調査区域外にあるもよう。

備考	北側は調査区域外。A－26号住居址と重複して切る。住居址の平面形は変形した隅丸長方形を呈する。床面は堅くしまりがある。壁は直立ぎみに立ち上がる。覆土からは多量の炭化した材が出土し、床面に炭化物の層が部分的に付着していた。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－16号住居址 第26, 27 図 第 209図	位　置 (グリット)	N11W10, N11W11, N11W12, N12W10, N12W11 N12W12, N13W10, N13W11, N13W12	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸方形 N-16.5°-E 6.20×6.17	壁　高 床　高 床面積	0.22(N)~0.42(W) 472.79～472.87 34.60 ㎡

柱穴	(長径x短径x深さ) P1(0.70x0.68x0.30) P2(0.65x0.58x0.38) P3(0.94x0.92x0.28) P4(0.74x0.66x0.20) P5(0.34x0.30x0.08)	覆土	1暗褐色粘質土層 2褐色粘質土層 3黒褐色粘質土層

竈	位　置 主軸方位 規模(全長x最大幅)	北壁東寄り N-15.0°-E 1.48x0.85	覆土 備考	1明褐色砂質土層　2明褐色土層（焼土含む）　3暗褐色弱粘土層（炭含む）　煙道（0.80×0.25）　袖の芯石と僅かな構築土が残り、崩壊している。火床面は床面より低い。内部が焼けた煙道がのびている。

備考	A－26号住居址を重複して切る。住居址の平面形は隅が鋭く曲がる。壁は垂直に立ち上る。明茶褐色土で貼床が施される。周溝が全周する。主柱穴の断面形は底が小さく、上へいくにしたがって大きく広がる。柱穴の回りの床面は僅かに盛り上がっている。隅丸長方形の貯蔵穴が、床の北壁中央西寄りにある(0.70x0.52x0.19)。

第5表　竪穴住居址観察表（4）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－17号住居址 第28,29,30図 第 210図	位 置 (グリット)	N8W6, N8W7, N9W6 N9W7, N9W8, N10W6 N10W7, N10W8, N11W6 N11W7, N11W8	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸方形 N-25.5°-E 6.54×6.50	壁 高 床 高 床面積	0.12(E)~0.31(W) 472.44～472.60 38.68 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.60×0.45×0.18) P2(0.56×0.55×0.26) P3(0.63×0.60×0.16) P4(0.50×0.44×0.23) P5(0.66×0.52×0.16) P6(0.64×0.53×0.16) P7(0.34×0.34×0.17) P8(0.43×0.38×0.13) P9(0.26×0.24×0.18) P10(0.23×0.22×0.10)	覆土	1暗褐色弱粘土層 2暗褐色弱粘土層 3明褐色弱粘土層（灰色土を含む）

竈	位 置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	北壁中央（僅かに東寄り） (N-28.5°-E) 2.57×0.92	覆土 備考	1茶褐色弱粘土層 2灰褐色弱粘土層 3弱粘土層（炭を含む） 4暗褐色弱粘土層 5明褐色弱粘土層 煙道(1.44×0.27) 左袖部の石と僅かな構築土が残る。 火床面は床より少し低い

備考	粘質の暗褐色土の貼床が施される。周溝がほぼ全周する。床の北壁、東壁寄りの隅に隅丸長方形の貯蔵穴があり(0.98×0.87×0.38)、内部に4枚の板が並んで敷かれている。覆土（1暗褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層 3明褐色砂質土層 4黒褐色弱粘土層 5黒灰色砂混り粘質土層）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－18号住居址 第 31,32図 第 211図	位 置 (グリット)	N7W8, N7W9, N7W10 N8W8, N8W9, N8W10 N9W9, N9W10	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸長方形 N-47.5°-W 5.42×3.90	壁 高 床 高 床面積	0.14(E)~0.24(W) 472.50～472.65 19.04 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.30×0.30×0.20) P2(0.42×0.41×0.23) P3(0.37×0.36×0.22) P4(0.20×0.20×0.07)	覆土	1茶褐色弱粘土層 2茶褐色砂質土層（黄褐色土をブロック状に含む）

竈	位 置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	F1 北東壁中央 N-41.0°-E 1.31×0.97	覆土 備考	1暗褐色弱粘質土層 2橙褐色砂質土層 3暗褐色土（黄色土と焼土含む） 4茶褐色砂質土 5焼土 6灰褐色粘質土 7黄褐色粘質土（暗褐色土含む） 構築土は黄褐色土に暗褐色土が混ざっている。袖の芯石は偏平な河原石が互い違いに並ぶ。

備考	粘質の明茶褐色土に黒褐色土が混合された土を貼床としている。A－19号住居址を重複して切る。上記の竈の他に、北西の壁に煙道の様な掘込み(1.28×0.25, N-45.0°-W)があり、床に焼け跡が残ることからこれも竈であったかもしれない。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－19号住居址 第33図 第 212図	位 置 (グリット)	N6W8, N6W9, N6W10 N7W8, N7W9, N7W10 N7W11, N8W10	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸長方形 N-42.0°-W 5.60×4.28	壁 高 床 高 床面積	0.08(SW)~0.18(W) 472.65~472.73 ?

柱穴	(長径×短径×深さ) 不明	覆土	1暗褐色弱土層 2茶褐色砂質土層

竈	位 置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	北西壁際 0.52×0.44	備考	床面よりやや高いところに焼けた面があり、黒褐色土で構築された竈があった可能性がある。

備考	A－18号住居址に北壁を切られる。壁は床より外反ぎみに立ち上る。床面はしまりがない。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－20号住居址 第 34,35図 第 213図	位 置 (グリット)	N1W16, N1W17, N2W16 N2W17	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸方形 N-27.5°-E 3.82×3.78	壁 高 床 高 床面積	0.05(E)~0.18(W) 472.71～472.77 12.80 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) 不明	覆土	1黒褐色土層

竈	位 置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	北壁中央 N-24.5°-E 0.44×0.34	備考	左の袖の芯石が少し残る。

備考	小石が多く含まれる地山に掘込まれていて、床面はあまり堅くない。

第6表 竪穴住居址観察表（5）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－21号住居址 第36図 第 214図	位　置 (グリッド)	NOW20, NOW21, N1W20 N1W21, N2W20, N2W21	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-50.5°-W 5.45×4.08	壁　高 床　高 床面積	0.30(S)~0.35(N) 472.63～472.71 18.96 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.30×0.30×0.19)　P2(0.30×0.26×0.20)	覆土	1黒褐色土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1中央西寄り 地床炉 0.29×0.27	F2中央 地床炉 0.44×0.42	備考	2か所ある。中央より西寄りにある炉は床面より浅く掘込まれ、底は焼けている。もう一つは床面の中央部に焼けた跡が残る。

備考	A－40，A－39号住居址に西壁を切られる。壁は床より緩やかに立ち上り、直立する。床面は堅くしまる。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－22号住居址 第37図 第 215図	位　置 (グリッド)	N5W14, N5W15, N6W14 N6W15, N6W16, N7W13 N7W14, N7W15	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-41.5°-E 6.48×3.60	壁　高 床　高 床面積	0.13(S)~0.28(N) 472.43～472.58 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.32×0.22×0.17)	覆土	1黒褐色土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	不明	覆土 備考	

備考	A－43号住居址に住居のほとんどを切られる。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－23号住居址 第 38, 39図 第 216図	位　置 (グリッド)	N5W24, N5W25, N6W24 N6W25, N7W24, N7W25	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-73.0°-W 5.10×4.36	壁　高 床　高 床面積	0.12(S)~0.15(W) 473.41～473.48 20.12 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.39×0.27×0.35) P2(0.30×0.29×0.41) P3(0.28×0.28×0.37)	覆土	1黒褐色土層

竈	位　置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	東壁南隅近く S-74.0°-E FP(0.64×0.45)	覆土 備考	1焼土層　2黄褐色土層　3黒褐色弱粘土層　4黒褐色土層(焼土を含む)　5黄色砂土層(焼土を含む) 袖の芯石のみが残る。

備考	A－24号住居址と重複して切る。人の頭より大きい石が、覆土に多く含まれていた。床には周溝が一回り巡っている。床は比較的しまりのない柔らかい面で、多少凹凸がある。楕円に近い隅丸長方形の貯蔵穴が住居址の南東隅に張出してつくられている(1.02×0.72×0.14)。覆土中や底から坏が多量に出土した。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－24号住居址 第 40, 41図 第 217図	位　置 (グリッド)	N5W23, N5W24, N6W23 N6W24	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸方形 N- 5.0°-E 3.26×3.20	壁　高 床　高 床面積	0.05(S)~0.10(E) 473.29～473.45

柱穴	(長径×短径×深さ)　不明	覆土	1茶褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層(小石を含む)

竈	位　置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	北壁中央 N-2.5°-E 0.36×0.30	備考	右袖の構築土が一部残存し、崩壊している。

備考	A－23号住居址に切られ、A－27号住居址を切る。北壁に土坑状の張出しがあるが、これがこの住居址と同一のものか、独立したものかははっきり判断できなかった。

第7表　竪穴住居址観察表（6）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－25号住居址 第42図 第 218図	位　置 (グリッド)	N14W23, N14W24, N15W23, N15W24, N16W24	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-46.5°-W 4.06×？	壁　高 床　高 床面積	0.06(W)~0.15(N) 473.83～473.90

柱穴	(長径×短径×深さ)	覆土	1黒褐色土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	東寄り 地床炉 0.80×0.30	備考	床の一部が焼けている。

備考	A－09号住居址に切られ、A－08号住居址の北壁を切る。削平の著しい場所なので壁の残存は小さく、住居址の南半分は削れて消失していた。そのため、不明な点が多い。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－26号住居址 第 43, 44図 第 219図	位　置 (グリッド)	N13W10, N13W11, N13W12, N14W10, N14W12 N14, W12N15W11, N15W12	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸方形 N-36.5°-W 6.30×6.28	壁　高 床　高 床面積	0.14(W)~0.23(E) 473.06～473.18 不明

柱穴	(長径×短径×深さ)　不明	覆土	1黒褐色土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	中央 地床炉 0.70×0.64	備考	床を浅く掘込んであり、底は赤色に焼けている。

備考	A－15、A－16号住居址に床と壁を切られる。床面は比較的しまりがなく柔らかい。住居址の中央の覆土から夥しい量の土器片が出土した。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－27号住居址 第 45, 46図 第 220図	位　置 (グリッド)	N3W23, N4W22, N4W23 N4W24, N5W23, N5W24	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸方形 N-57.5°-E 4.76×4.42	壁　高 床　高 床面積	0.09(S)~0.19(W) 473.12～473.28 19.04 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ)　不明	覆土	1黒褐色土層

竈	位　置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	西壁北寄り N-52.5°-W 1.26×?	覆土 備考	1褐色粘質土層　2赤褐色粘質土層 崩壊して、袖の芯石が床に散らばっている。　煙道 (0.61×0.32)がある。

備考	A－28号住居址を切る。覆土からは人の頭の大きさの石が多く含まれていた。住居址の平面形は隅が鈍く曲がっている。床は凹凸が激しい。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－28号住居址 第47図 第 221図	位　置 (グリッド)	N2W23, N2W24, N3W22 N3W23, N3W24, N4W23 N4W24	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-55.0°-W 5.76×4.64	壁　高 床　高 床面積	0.20(N)~0.39(S) 472.97～473.03

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.45×0.18×0.31) P2(0.40×0.34×0.27) P3(0.25×0.24×0.16) P4(0.18×0.17×0.15) P5(0.24×0.23×0.28) P6(0.20×0.20×0.12) P7(0.48×0.41×0.37)	覆土	1黒褐色砂質土層 2明褐色砂質土層 3暗褐色砂質土層 4明褐色砂質土層 5暗褐色弱粘土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	中央 地床炉 0.52×0.38	備考	床に赤色に焼けた跡がある。

備考	A－27号住居址に北西壁を切られる。床は堅くしまりがある。

第8表　竪穴住居址観察表（7）

遺構番号	A－30号住居址	位置	N11W18, N11W19, N11	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.14(S)~0.17(N)
遺構図版	第48図	(グリット)	W20, N12W18, N12W19	主軸方位	N-11.5°-W	床高	473.34～473.41
遺物図版	第 222図		N12W20, N13W19	規模	4.86×4.04	床面積	16.14 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.42×0.30×0.36) P2(0.16×0.16×0.15) P3(0.37×0.28×0.44) P4(0.30×0.30×0.17) P5(0.38×0.28×0.30) P6(0.31×0.28×0.09) P7(0.62×0.60×0.40) P8(0.22×0.22×0.12) P9(0.24×0.18×0.54) P10(0.12×0.12×0.06) P11(0.14×0.12×0.09)	覆土	1茶褐色砂質土層 2暗褐色砂質土層 3明褐色砂質土層

炉	位置 形態 規模(全長×最大幅)	中央北寄り 地床炉 0.30×0.26	備考	床を浅く掘込んでいる。底は赤く焼けている。

備考	円型周溝遺構に北東壁を切られる。床を川底に破壊される。床面は凹凸があり、壁は緩やかに立ち上る。

遺構番号	A－31号住居址	位置	N11W28, N11W29, N12	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.23(S)~0.06(E)
遺構図版	第49図	(グリット)	W28, N12W29, N13W28	主軸方位	N- 2.0°-W	床高	473.91～473.95
遺物図版	第 223図		N13W29	規模	6.58×4.36	床面積	20.6㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.34×0.33×0.33)	覆土	1明褐色砂質土層（小石を含む） 2茶褐色砂質土層 3暗褐色砂質土層 4暗褐色砂質土層（炭化物を含む） 5橙色砂質土層（小石を含む）

炉	位置 形態 規模(全長×最大幅)	不明	備考	

備考	北東壁と床面をA－1号溝址に削られる。

遺構番号	A－32号住居址	位置	N10W23, N10W24	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.08(SE)～0.26(NW)
遺構図版	第50図	(グリット)	N10W25, N11W23	主軸方位	N-45.0°-W	床高	473.32～473.44
遺物図版	第 224図		N11W24, N11W25 N12W24, N12W25	規模	4.90×4.12	床面積	?

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.36×0.35×0.41) P2(0.40×0.40×0.48)	覆土	1黒褐色土層

炉	位置 形態 規模(全長×最大幅)	中央南寄り 地床炉 0.80×0.80	備考	床面の一部が赤く焼けている。

備考	A－33号住居址と重複して切る。A－1号溝址と重複して切られる。A－33号住居址と床の高さが同じである。床はしまりがあり堅い。

遺構番号	A－33号住居址	位置	N10W24, N10W25, N11	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.15(S)~0.26(N)
遺構図版	第51図	(グリット)	W23, N11W24, N11W25	主軸方位	N-38.0°-E	床高	473.31～473.44
遺物図版	第 225図		N12W23N12W24	規模	5.50×3.62	床面積	

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.34×0.30×0.20) P2(0.38×0.38×0.24) P3(0.22×0.20×0.10)	覆土	1黒褐色土層

炉	位置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	不明	覆土 備考	

備考	A－32号住居址に東西壁を切られる。

第9表　竪穴住居址観察表（8）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－34号住居址 第52図 第 226図	位　置 (グリット)	N13W26, N13W27, N13W28, N14W26, N14W27 N14W28, N15W27, N15W28	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-53.5°-W 7.14×4.95	壁　高 床　高 床面積	0.10(S)~0.20(N) 473.77～473.84

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.60×0.50×0.21) P2(0.36×0.28×0.28) P3(0.22×0.20×0.21) P4(0.19×0.18×0.07) P5(0.40×0.40×0.19) P6(0.20×0.20×0.09) P7(0.50×0.48×0.24)	覆土	1 茶褐色砂質土層 2 茶褐色砂質土層（炭化物混入） 3 暗褐色砂質土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1 P4周辺　F2 P6周辺 地床炉　地床炉 0.37×0.36　0.32×0.28	備考	中央より南寄りに1か所と、北西の2本の主柱穴の間に1か所あり、どちらも床が赤色に焼けている。P4とP6にそれぞれが壊されている。

備考	南コーナーをA－1号溝址に切られる。北西と南西の壁際の床面に周溝が掘られる。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－36号住居址 第 53, 54図 第 227図	位　置 (グリット)	N8W25, N8W26, N8W27 N9W25, N9W26, N9W27, N9W28, N10W25, N10W26, N10W27	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-51.5°-W 8.07×6.12	壁　高 床　高 床面積	0.06(S)~0.17(W) 473.64～473.76

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.15×0.14×0.10) P2(0.34×0.30×0.13) P3(0.16×0.14×0.65) P4(0.46×0.33×0.33) P5(0.31×0.29×0.21) P6(0.63×0.47×0.39) P7(0.51×0.42×0.25) P8(0.34×0.34×0.08) P9(0.46×0.38×0.06) P10(0.30×0.28×0.26)	覆土	1 黒褐色土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	不明	覆土 備考	

備考	A－5号、A－6号土壙址に西壁、東壁をそれぞれ切られる。西壁中央近くに埋甕がある（覆土－1明褐色砂質土層　2暗褐色砂質土層）。桑畑があった場所なので床は桑の根で壊されているため、凹凸が激しい。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－37号住居址 第 55, 56図 第 228図	位　置 (グリット)	N6W14, N6W15, N6W16 N7W13, N7W14, N7W15 N7W16, N8W13, N8W14 N8W15	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-19.5°-E 7.30×7.18	壁　高 床　高 床面積	0.14(W)~0.24(E) 472.28～472.37 49.64 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.42×0.32×0.14) P2(0.27×0.25×0.29) P3(0.70×0.59×0.23) P4(0.68×0.50×0.22) P5(0.40×0.38×0.09)	覆土	1暗褐色弱粘土層 2暗褐色弱粘土層（黄色土を含む）

竈	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	北壁中央西寄り N-14.0°-E 1.50×1.30	覆土 備考	1暗褐色粘質土層　2暗褐色粘質土層　3黄色粘質土層（焼土含む） 4橙色焼土　僅かな構築土と袖の芯石が残るほかは崩壊している。 煙道(0.68×0.25)

備考	周溝が巡る。黄褐色土に黒褐色土を混合した土を床に貼っている。北壁東寄りに隅丸長方形の貯蔵穴がある（1.04×0.64×0.47　覆土－1明褐色粘質土層　2暗褐色粘質土層　3黒暗褐色灰色混り粘質土層）。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－38号住居址 第57図 第 229図	位　置 (グリット)	N0W15, N0W16, N1W15 N2W16	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸方形 N-23.0°-E 3.30×3.10	壁　高 床　高 床面積	0.02(S)~0.07(N) 472.66～472.73 9.90㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.30×0.30×0.10) P2(0.19×0.19×0.12) P3(0.30×0.28×0.24) P4(0.20×0.19×0.17) P5(0.20×0.19×0.05) P6(0.20×0.20×0.20) P7(0.44×0.42×0.21)	覆土	1 黒褐色土層

竈	位　置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	北壁張り出し部 N-23.0°-E 0.58×0.41	覆土 備考	1黒褐色土層　2黒褐色土層（焼土を含む）

備考	削平が著しく、壁の残存は小さい。床は柔らかく、しまりがない。北壁に張り出し部（1.03×0.69)があり、焼土が残る。

第１０表　竪穴住居址観察表（９）

遺構番号	A－39号住居址	位置	N1W21, N1W22, N2W21	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.08(N)~0.05(E)
遺構図版	第 230図	(グリット)	N2W22, N2W23, N3W21	主軸方位	N-64.5°-E	床高	473.02～473.25
遺物図版			N3W22	規模	4.52×4.05	床面積	

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.24×0.23×0.11) P2(0.31×0.29×0.12)	覆土	1黒褐色土層（人の頭の大きさの石を多く含む）

竈	位置	不明	備考	
	主軸方位			
	規模(全長×最大幅)			

備考	拳の大きさの石を多く含む地山に掘込まれている。A－２１号住居址の西壁を切り、A－４０号住居址に床を切られる。床は凹凸がある。

遺構番号	A－40号住居址	位置	N1W21, N1W22, N2W21	平面形態	隅丸方形	壁高	0.04(N)~0.17(W)
遺構図版	第 59, 60図	(グリット)	N2W21, N2W22, N2W23	主軸方位	N-34.5°-E	床高	472.94～473.11
遺物図版	第 231図			規模	4.18×3.92	床面積	

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.28×0.25×0.17)	覆土	1暗褐色土層 2黄色土層

竈	位置	北壁中央	覆土	崩壊し、構築土は失なわれ、袖の芯石が散らばっている。
	主軸方位	N-32.5°-E	備考	
	規模(全長×最大幅)	0.85×?		

備考	A－２１、A－３９号住居址を重複して切っている。

遺構番号	A－41号住居址	位置	N1W19, N1W20	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.28(SW)～？
遺構図版	第61図	(グリット)	N2W19, N2W20	主軸方位	N-41.2°-E	床高	472.80～ ？
遺物図版	第 232図			規模	3.80×？	床面積	？

柱穴	(長径×短径×深さ) 不明	覆土	1明黄褐色土層 2明褐色土層

炉	位置	不明	覆土	
	形態		備考	
	規模(全長×最大幅)			

備考	A－４８、４９号住居址と重複し，床から切られる。小石が多く含まれる地山を掘り込んでつくられている。床は堅くしまりがある。

遺構態号	A－42号住居址	位置	N1W17, N1W18, N1W19	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.43(NW)～？
遺構図版	第62図	(グリット)	N2W17, N2W18, N2W19	主軸方位	N-55.5°-W	床高	472.55～472.60
遺物図版	第 233図		N3W17, N3W18, N3W19	規模	8.48×6.24	床面積	45.3㎡

柱穴	(長径×短径×深さ)	覆土	1暗褐色砂質土　2暗褐色砂質土（灰色土を含む） 3灰褐色砂質土　4明褐色砂質土 5茶褐色土　6褐色土（黄色土を含む） 7暗褐色土（黄色土を含む）

炉	位置	不明	備考	
	形態			
	規模(全長×最大幅)			

備考	A－２０、４８、４９号住居址と重複し、南東の隅の壁を残して、壁の上部を破壊される。小石が多く含まれる地山を掘り込んでつくられている。床は堅くしまりがある。

第１１表　竪穴住居址観察表（１０）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－43号住居址 第 63.64図 第 234図	位　置 (グリット)	N5W13, N5W14, N5W15 N6W13, N6W14, N6W16 N7W14, N7W15, N7W16 N8W15	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-53.0°-W 8.64×5.40	壁　高 床　高 床面積	0.18(E)~0.42(W) 472.40～472.50 42.66 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.66×0.65×0.24) P2(0.21×0.18×0.08) P3(0.27×0.24×0.36) P4(0.36×0.28×0.29) P5(0.42×0.26×0.18) P6(0.30 ×0.29 ×0.28) P7(0.24×0.20×0.18) P8(0.26×0.24×0.26) P9(0.37 ×0.28×0.30) P10(0.53×0.40×0.31) P11(0.30×0.22×0.19) P12(0.32×0.23×0.08)	覆土	1暗褐色砂質土層 2暗褐色砂質土層（小石を含む） 3茶褐色砂質土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	西壁中央 埋甕炉 (0.46×0.39)	覆土 備考	1橙褐色砂質土（焼土を含む） 2黒褐色粘質土層 北側の2本の主柱穴の間にある。

備考	A－22号住居址を重複して切る。A－1号溝址に北西の壁が切られる。北西と南西の壁は直立ぎみに立ち上る。床面は堅くしまりがある。P1の縁の周囲の床面は盛り上がっている。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－44号住居址 第 65.66図 第 235図	位　置 (グリット)	N3W20, N3W21, N3W22, N4W20, N4W21 N4W22, N5W21, N5W22	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-46.5°-W 6.00×4.62	壁　高 床　高 床面積	0.12(SE)~0.35(NW) 472.97～473.03 24.04 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.24×0.22×0.19) P2(0.25×0.24×0.20) P3(0.39×0.32×0.18) P4(0.28×0.28×0.32) P5(0.22×0.20×0.20)	覆土	1暗褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	中央北西壁寄り 土器敷き炉 (0.60×0.48)	覆土 備考	1焼土 2黒褐色砂質土層 北西の2つの主柱穴の間に土器敷き炉があり、住居址の中央の床面に赤く焼けた跡が残る。

備考	A－27号住居址に西の隅を切られる。北東の壁の南よりの部分が少し緩やかに張出している。南西の壁は直立ぎみに立ち上るが、北東の壁は緩やかに広がって立ち上る。床面は堅くしまりがある。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－45号住居址 第67図 第 236図	位　置 (グリット)	N1W12, N2W11, N2W12 N2W13, N3W11, N3W12 N3W13	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-49.5°-W 5.14×4.20	壁　高 床　高 床面積	0.12(N)~0.20(S) 472.40～472.90 19.88㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.42×0.32×0.21) P2(0.36×0.32×0.19) P3(0.29×0.24×0.30) P4(0.30×0.29×0.25) P5(0.39×0.39×0.28) P6(0.24×0.22×0.15) P7(0.24×0.20×0.08) P8(0.26×0.21×0.18) P9(0.38×0.34×0.16) P10(0.28×0.26×0.17)	覆土	1黒褐色土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1 北西 地床炉 0.44×0.40	F2 中央 地床炉 0.54×0.48	備考	2か所ある。1つは北西の2つの主柱穴の間に床を浅く掘った地床炉があり、もう1つは住居址の中央の床が赤く焼けた跡が残っている。

備考	A－2号溝址と重複し、北西と南東の壁と覆土を浅く切られる。壁は直立ぎみに立ち上る。周溝が南西の壁ぎわを除いた壁際の床に掘られている。石包丁が2つ出土しているが1つは床から、もう1つは覆土中から検出された。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－46号住居址 第68図 第 237図	位　置 (グリット)	N4W20, N5W19, N5W20, N5W21, N6W19 N6W20 , N6W21, N7W20, N7W21	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-50.5°-W 6.62×4.34	壁　高 床　高 床面積	0.07(NE)~0.12(NW) 463.10～463.28 25.92 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.38×0.32×0.14) P2(0.42×0.40×0.24) P3(0.46×0.42×0.17)	覆土	1黒褐色土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	不明,	備考	

備考	砂利を多く含む地山に掘り込まれている。配石遺構に覆土を切られる。

第12表　竪穴住居址観察表（11）

遺構番号	A－47号住居址	位置	S2W19, S2W20, S2W21	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.02(E)~0.19(W)
遺構図版	第69図	(グリット)	S1W19, S1W20, S1W21	主軸方位	N-63.5°-W	床高	472.73~472.81
遺物図版	第 238図		NOW20, NOW21	規模	5.34×4.28	床面積	20.79 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.26×0.25×0.10)	覆土	1黒褐色土層

竈	位置	西壁中央（張り出し）	備考	西壁に張出して竈が築かれている。崩壊している。
	主軸方位	N-57.5°-W		煙道(0.49×0.25)
	規模(全長×最大幅)	1.12×0.76		

備考	削平が著しく、残存の壁高は浅い。また、桑畑があった場所なので桑の根に撹乱されている。東壁に張り出した部分(0.60×0.50) があるが、これが同一の遺構か別の遺構かは判らなかった。

遺構番号	A－48号住居址	位置	N1W17, N1W18, N1W19	平面形態	隅丸方形	壁高	0.24(NE)~0.37(W)
遺構図版	第70図	(グリット)	N2W17, N2W18, N2W19	主軸方位	N-43.5°-E	床高	472.64～472.75
遺物図版	第 239図		N2W20, N3W17, N3W18 N4W18	規模	8.40×8.02	床面積	60.9 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.58×0.55×0.12)　P2(0.24×0.22×0.14)	覆土	1暗褐色砂質土層 2黒褐色砂質土層 3明褐色砂質土層 4黄色砂質土層

炉	位置	不明	備考	
	形態			
	規模(全長×最大幅)			

備考	A－41、42、20、49号住居址と重複し、A－41、42号住居址を切り、A－20号住居址に南東の壁を、49号住居址に床を切られる。床は堅くしまりがある。

遺構番号	A－49号住居址	位置	N1W18, N2W17, N2W18	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.28(W)~0.18(NW)
遺構図版	第71図	(グリット)	N2W19, N3W17, N3W18	主軸方位	N-43.0°-E	床高	472.58 ～472.70
遺物図版	第 240図		N3W19	規模	6.18×4.47	床面積	22.5 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.33×0.32 0.18)　P2(0.34 0.28×0.08)	覆土	1明黄色砂質土層 2暗褐色砂質土層 3灰色砂質土層

竈	位置	北西	備考	北西の壁の南寄りの床に、赤色に焼けた部分がある。
	主軸方位			
	規模(全長×最大幅)	0.50×0.42		

備考	A－41、48、20号住居址と重複し、A－41、48号住居址を切り、A－20号住居址に南東の壁を切られる。床は堅くしまりがあり、凹凸が著しい。

平成4年（1992）年度発掘

遺構番号	A－50号住居址	位置	N10W1, N10W2, N10	平面形態	隅丸長方形？	壁高	0.22(S)~0.18(E)
遺構図版	第72図	(グリット)	W3, N11W0, N11W1,	主軸方位	N-52.0°-E	床高	472.96～473.04
遺物図版	第 241図		N11W2	規模	？	床面積	？

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.60×0.32×0.12)　P2(0.34×0.30×0.17)　P3(0.41×0.35×0.12)　P4(0.39×0.31×0.22)　P5(0.34×0.24×0.14)　P6(0.28×0.26×0.24)　P7(0.60×0.56×0.39)　P8(0.40×0.23×0.30)	覆土	1暗褐色砂質土層（黒色土含む） 2茶褐色砂質土層 3暗褐色砂質土層

炉	位置	不明
	形態	
	規模(全長×最大幅)	

備考	北側半分と西側は調査区域外であったので平面形態は不明である。床上の土は砂質土で砂利を含む。

第13表　竪穴住居址観察表（12）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－51号住居址 第 73,74図 第242 図	位　置 (グリット)	N7W1, N7W2, N8W1, N8W2	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-47.0°-W 4.12×3.40	壁　高 床　高 床面積	0.26(NE)～0.32(NE) 472.78～472.82 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.28×0.20×0.21)　P2(0.20×0.20×0.21) P3(0.24×0.23×0.25)　P4(0.24×0.14×0.08)	覆土	1暗褐色砂質土層（黄石を含む） 2暗褐色砂質土層（多量の黄石を含む） 3暗褐色砂質土層（炭化物を含む）

竈	位　置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	北西壁北寄り N-44.0°-W 0.99×0.68	覆土 備考	1暗褐色砂質土層　2焼土（橙色）　3焼土（炭化物を含む）　4粘土（白灰）　平石と河原石を袖の芯石としている。構築土は焼土混りの黒褐色の粘土を使用している。煙道(0.50×0.10)　この竈の東側にもう一つの煙道（0.63×0.20）があり、竈を作り替えているようである。

備考	西側の隅が、調査区域外となっている。床は黒褐色の粘土を全面に貼ってある。壁は直立ぎみに立ち上がるが、南西の壁は段を有して緩やかに立ち上がる。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－52号住居址 第 75,76図 第 243図	位　置 (グリット)	N8E5,　N9E4,　N9E5,　N10E4,　N10E5	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-36.0°-E 4.40×3.98	壁　高 床　高 床面積	0.21(SE)～0.33(N) 472.38～472.45 14.28 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ)　主柱穴4本　P1(0.33×0.32×0.33) P2(0.36×0.34×0.37)　P3(0.28×0.26×0.12) P4(0.40×0.38×0.37)　P5(0.26×0.24×0.34)	覆土	1暗褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層（黄石を含む） 3暗褐色砂質土層（黒色土を含む） 4茶褐色砂質土層（灰色土を含む）

竈	位　置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	北壁中央 N-44.0°-E 1.82×0.80	覆土 備考	1茶褐色土（焼土を含む）2焼土　3焼土と炭化物　4炭　5暗褐色土 煙道(1.02×0.28)を有し、袖はほとんど崩壊しているが、部分的に構築土が残っている。また、竈の床面の高さは住居の床面よりわずかに下がっている。

備考	周溝がほぼ一周する。壁はほとんど外反ぎみに立ち上がる。床面は、砂質のしまりのある床で、拳大の石を含む。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－53号住居址 第77図 第 244図	位　置 (グリット)	N3E5,　N3E6,　N3E7 N4E5,　N4E6,　N4E7	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-29.5°-E 5.50×4.62	壁　高 床　高 床面積	0.07(SE)～0.25(NW) 472.05～472.18 26.00 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ)　主柱穴4本 P1(0.43×0.41×0.43) P2(0.25×0.34×0.08) P3(0.36×0.34×0.17)　P4(0.33×0.32×0.17)　P5(0.16×0.14×0.07) P6(0.18×0.16×0.10)　P7(0.32×0.30×0.12)　P8(0.32×0.30×0.10) P9(0.50×0.43×0.20) P10(0.20×0.20×0.12) P11(0.14×0.13×0.14) P12(0.18×0.18×0.13)	覆土	1茶色砂質土層（黄石含む） 2暗褐色砂質土層（黄石含む） 3暗褐色砂質土層 4茶褐色砂質土層 5暗褐色砂質土層（茶色土含む）

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	北側中央 地床炉 0.40×0.39	備考	北側よりの2本の柱穴の間に浅く掘り込まれた地床炉があり、底は赤く焼けているが、焼土は薄かった。

備考	A－69号住居址と重複している。平面形態は隅丸長方形であるが、東側の壁の中央が、僅かにくびれている。床面はあまりしまりがなく、凹凸がある。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－54号住居址 第78図 第 245図	位　置 (グリット)	N4E2,　N4E3,　N4E4 N5E2,　N5E3,　N5E4	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形？ ? ?	壁　高 床　高 床面積	0.10(S)~ 471.54～471.58 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.30×0.28×0.13)　P2(0.18×0.16×0.14)	覆土	1暗褐色砂質土層（小砂を含む） 2茶褐色砂質土層 3茶褐色砂質土層（橙色土を含む）

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1　北東 地床炉 0.78×0.40	F2　北東 地床炉 0.30×0.30	備考	赤く焼けた部分が床面に2か所ある。

備考	A－7号掘立柱建物址と重複して切られる。灰褐色の砂利を多く含む土層に構築された住居址で、削平されて、北側半分は床から失われている。

第１４表　竪穴住居址観察表（１３）

遺構番号	A－55号住居址	位置	N1E4, N1E5, N0E3	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.19(W)~
遺構図版	第79図	(グリット)	N0E4, N0E5, S1E5	主軸方位	?	床高	471.98～472.10
遺物図版	第 246図		S1E4	規模	6.70×?	床面積	?

柱穴	(長径×短径×深さ) 主柱穴は４本 P1(0.47×0.42×0.28) P2(0.60×0.50×0.35) P3(0.35×0.30×0.28) P4(0.52(0.49×0.38) P5(0.62×0.48×0.30) P6(0.20×0.18×0.09)	覆土	１暗褐色砂質土層 ２暗褐色砂質土層（小石を含む）

炉	位置	F１ 北側中央	F２ 中央	備考	２か所ある。１つは、北側の２本の柱穴間に浅く掘り込まれた地床炉である。もう１つは、床面に赤く焼け跡を残している。
	形態	地床炉	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.30×0.22	0.52×0.50		

備考	東側の壁は削平により失われている。床面は部分的にしまりがある。

遺構番号	A－56号住居址	位置	S1W2, S2W1, S2W2, S2W3, S3W0, S3W1, S3W2 S3W3, S4W1, S4W2	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.23(WE)～0.47(NW)
遺構図版	第80図	(グリット)		主軸方位	N-49.0°-W	床高	472.10～472.19
遺物図版	第 247図			規模	8.08×5.80	床面積	39.60 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.38×0.36×0.17) P2(0.54×0.34×0.35) P3(0.34×0.29×0.33) P4(0.48×0.30×0.26) P5(0.34×0.28×0.54) P6(0.32×0.31×0.22) P7(0.32×0.30×0.40) P8(0.38×0.33×0.25) P9(0.40×0.30×0.16) P10(0.28×0.24×0.07) P11(0.32×0.32×0.22) P12(0.36×0.30×0.21) P13(0.40×0.30×0.18) P14(0.32×0.30×0.23) P15(0.40×0.27×0.29) P16(0.30×0.28×0.09) P17(0.34×0.32×0.38)	覆土	１茶褐色砂質土層 ２茶褐色砂質土層（黄色土を含む） ３暗褐色砂質土層（黒色土を含む）

炉	位置	F１ 北西中央	F２ 北東	備考	３か所ある。１つは北西の２本の柱穴間にあり、浅く掘り込まれ、炉縁石が１つある。底に小石が数個ころがっている。焼土は薄い。もう１つは床の北東部に掘り込まれている。焼土は上記の炉より厚い。もう１つは床の中央に熱で赤く焼けた跡がある。
	形態	地床炉	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.46×0.46	0.30×0.26		

備考	明黄褐色の粘質土を床に貼っている。床面はあまりしまりがない。壁は直立ぎみに立ち上がるが、北西の壁は緩やかに立ち上がる。主柱穴のほかにピットが南東部にたくさんある。

遺構番号	A－57号住居址	位置	S1W4, s1w5, s2w3 S2W4, S2W5, S3W3 S3W4, S3W5	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.15(NE)～0.25(SW)
遺構図版	第81図	(グリット)		主軸方位	N-41.0°-W	床高	472.42～472.60
遺物図版	第 248図			規模	7.40×5.08	床面積	?

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.12×0.12×0.07) P2(0.27×0.25×0.12) P3(0.32×0.27×0.10) P4(0.50×0.42×0.35) P5(0.54×0.52×0.31) P6(0.70×0.42×0.22) P7(0.48×0.43×0.30) P8(0.46×0.36×0.26) P9(0.32×0.28×0.16) P10(0.90×0.45×0.26) P11(0.31×0.30×0.08) P12(0.34×0.34×0.17) P13(0.30×0.28×0.23) P14(0.34×0.25×0.21)	覆土	１茶褐色砂質土層

炉	位置	F１ 北東	備考	２か所ある。１か所は北東部に浅く掘り込まれて焼土を有する。もう１つはもう１つは、北西部の床面が赤く焼けた跡がある。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.30×0.27		

備考	北西部は調査区域外となる。また、攪乱のため、北東部の壁は破壊されている。床面は明黄褐色の粘質土が部分的に貼られている。

遺構番号	A－58号住居址	位置	S5W1, S5W2, S5W3 S6W1, S6W2, S6W3 S7W2, S7W3	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.12(N)~0.34(S)
遺構図版	第82図	(グリット)		主軸方位	N-35.5°-E	床高	472.30～472.39
遺物図版	第 249図			規模	6.44×5.15	床面積	27.12 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.50×0.47×0.20) P2(0.48×0.39×0.18) P3(0.61×0.46×0.30) P4(0.48×0.42×0.23) P5(0.33×0.32×0.31) P6(0.62×0.50×0.22) P7(0.60×0.60×0.22) P8(0.50×0.46×0.19) P9(0.38×0.24×0.10) P10(0.50×0.37×0.21)	覆土	１暗褐色砂質土層（石を含む） ２暗褐色砂質土層（茶色土を含む）

炉	位置	F１ 北東	F２ 北東	備考	北東の２本の柱穴間に浅く掘り窪められた炉が２つ並んでいる。焼土は厚い。また床の中央に赤く焼けた跡が残る。
	形態	地床炉	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.28×0.26	0.32×0.30		

備考	四方の壁は外側に張り、隅は鈍いカーブを描くので、平面形は丸みをもった隅丸長方形を呈する。拳大の石を多く含んだ砂質の地山にこの住居址は構築されている。

第１５表　竪穴住居址観察表（１４）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－59号住居址 第83図 第 250図	位　置 (ｸﾞﾘｯﾄ)	S7W1, S7E0, S7E1 S8W1, S8E0, S8E1 S9E0, S9E1	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-43.5°-W 9.60×6 12	壁　高 床　高 床面積	0.14(NE)~0.34(SW) 472.00~472.05 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)	P1(0.41×0.37×0.22) P2(0.62×0.39×0.22) P3(0.63×0.60×0.34) P4(0.48×0.38×0.22) P5(0.40×0.32×0.30) P6(0.31×0.27×0.26) P7(0.40×0.28×0.30) P8(0.36×0.34×0.35) P9(0.24×0.22×0.27) P10(0.35×0.34×0.10)	覆土	1茶褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層 (黄色土を含む)

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1　北西　F2　中央 地床炉　地床炉 0.32×0.31　0.60×0.30	備考	2か所ある。1つは、北西の2本の柱穴の間にあり、浅く掘り窪められていて覆土にわずかな焼土を含む。もう1つは赤く焼けた跡が残る。

備考	A－61、62、68号住居址と重複して、62号住居址に切られ、61、68号住居址を切ると思われる。拳大の小石を多く含んだ砂質の地山にこの住居址は構築されている。床の中央部に赤く焼けた跡が残る。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－60号住居址 第 84.85図 第 251図	位　置 (ｸﾞﾘｯﾄ)	S4E0, S4E1, S4E2 S5E0, S5E1, S5E2 S6E0, S6E1, S6E2	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-42.5°-W ?×5.30	壁　高 床　高 床面積	0.16(NW)～0.24(SW) 472.08～472.20 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)	P1(0.48×0.38×0.37) P2(0.38×0.28×0.25) P3(0.46×0.32×0.25) P4(0.34×0.32×0.31)	覆土	1暗褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	北西中央 土器敷き炉 0.70×0.68	覆土 備考	1焼土(橙色)　2焼土(炭を含む) 北西の2本の柱穴の間にある。浅く掘り窪められ、土器を敷いてある。焼土はわずかに確認された。

備考	A－60号住居址を重複して切る。住居址の東半分は、水田造成時に削平されている。また、床が一部攪乱で破壊されている。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－61号住居址 第86図 第 252図	位　置 (ｸﾞﾘｯﾄ)	S5E0, S5E1, S6E0 S6E1, S6E2, S7E0 S7E1	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-16.5°-W ?	壁　高 床　高 床面積	0.16(N) ～0.26(W) 472.10～472.18 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)	P1(0.48×0.45×0.43) P2(0.50×0.48×0.47) P3(0.63× 0.62×0.30) P4(0.53×0.46×0.62) P5(0.33×0.32×0.06) P7(0.38×0.32×0.28)	覆土	1暗褐色砂質土層 2茶色砂質土層(石を含む) 3茶褐色砂質土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1　北 地床炉 0.52×0.38	備考	3か所ある。1つは、北の2本の柱穴の間に浅く掘り窪められている。他の2つは床面に赤く焼けた跡が残されている。

備考	A－59、60号住居址と重複して切られ、59号住居址は南西部の床と壁を破壊し、60号住居址は、北と東の壁を破壊する。また、北半分は削平されている。床面は、暗茶褐色土をブロック状に混入した明黄褐色の粘土を部分的に貼っている。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－62号住居址 第87図 第 253図	位　置 (ｸﾞﾘｯﾄ)	S7W0, S7W1, S7W2 S8W0, S8W1, S8W2 S9W1	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-56.0°-E 5.70×4.86	壁　高 床　高 床面積	0.14(E)~0.31(N) 472.24～472.30 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)	P1(0.63×0.53×0.39) P2(0.55x?x0.37) P3(0.18x 0.17x0.14) P4(0.28x0.24x0.17) P5(0.27x0.25 x0.28)	覆土	1茶褐色砂質土層(小石を含む) 2暗褐色砂質土層(小石を含む)

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	不明	備考	

備考	A－58、59号住居址と重複して切られる。58号住居址は、北の壁を一部、59号住居址は南東の床と壁を破壊する。小石を多く含む砂質の地山にこの住居址は構築されている。床面は凹凸が少なくしまりがない。

第16表　竪穴住居址観察表(15)

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－63号住居址 第88図 第 254図	位　置 (グリット)	S9W4, S9W5, S10W5 S10W6	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-56.0°-E ？×4.18	壁　高 床　高 床面積	0.04(E) ～0.07(W) 472.40~472.45 ？

柱穴	(長径×短径×深さ)　なし	覆土	1茶褐色砂質土層（小石を含む） 2暗褐色砂質土層（小石を含む）

竈	位　置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	北壁 0.60×0.38	備考	北壁にわずかに焼土がのこるが、竈であったかは不明である。

備考	A－72号住居址と重複して切られる。かつて桑畑だったため、根により床面が著しく破壊されている。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－64号住居址 第 89, 90図 第 255図	位　置 (グリット)	N5W1, N5E0, N5E1 N6W0, N6E0,	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-27.5°-W 6.41×4.89	壁　高 床　高 床面積	0.36(E) ～0.52(W) 472.30～472.33 25.96 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ)　主柱穴4本　P1(0.78×0.78×0.18)　P2(0.45×0.40×0.30)　P3(0.46×0.30×0.31)　P4(0.42×0.28×0.37)　P5(0.75×0.67×0.30)　P6(0.50×0.48×0.33)　P7(0.48×0.44×0.39)　P8(0.38×0.30×0.18)	覆土	1 暗褐色砂質土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1　北 土器敷き炉 0.46×0.40	F2　中央 地床炉 0.66×0.55	備考	2か所ある。1つは、北側の2本の柱穴の間に掘り窪められて土器を敷いてある。もう1つはそれより南側の床面に赤く焼けた跡が残る。

備考	床面は明黄褐色の粘土を貼っている。壁は床より直立ぎみに立ち上がるが、西壁は、外反ぎみにゆるやかに立ち上がる。覆土中からは多量の土器が出土したが、床面近くからはあまり出土しなっかった。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－65号住居址 第91図 第 256図	位　置 (グリット)	S12E1, S12W0, S12W1 S12W2, S13E1, S13W0, S13W1, S14W1	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-43.0°-E 6.71×4.62	壁　高 床　高 床面積	0.04(E)~0.20(W) 471.88～472.00 27.64 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ)　主柱穴6本　P1(0.49×0.39×0.22)　P2(0.27×0.24×0.17)　P3(0.30×0.28×0.11)　P4(0.38×0.37×0.18)　P5(0.30×0.27×0.18)　P6(0.35×0.34×0.22)　P7(0.40×0.39×0.32)　P8(0.32×0.30×0.06)　P9(0.32×0.30×0.19)　P10(0.32×0.27×0.12)　P11(0.35×0.32×0.19)　P12(0.40×0.30×0.08)　P13(0.36×0.27×0.05)	覆土	1茶褐色砂質土層 (砂粒を含む) 2茶褐色砂質土層 (黄色土を含む)

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1　北東 地床炉 0.45×0.26	備考	2か所ある。1つは、中央より北東よりの床面に浅く掘り窪められている。もう1つは床の中央が赤く焼けているものである。

備考	南東の壁は削平されて失われている。中央よりやや西よりの床上に、偏平の河原石が2つ並んでいる。床面は、部分的に明黄褐色の土を貼っている。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－66号住居址 第92図 第 257図	位　置 (グリット)	S14W1,　S14W2 S15W1,　S15W2 S16W1	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-28.5°-E 7.78×？	壁　高 床　高 床面積	0.10(SE)～0.33(SW) 471.62～471.70 ？

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.38×0.37×0.18)　P2(0.56×0.52×0.16)　P3(0.58×0.50×0.18)　P4(0.54×0.52×0.21)	覆土	1茶褐色砂質土層 2暗褐色砂質土層

竈	位　置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	不明	備考	

備考	かつて桑畑であったため、床面が著しく破壊されている。南西は崖となっている。

第１７表　竪穴住居址観察表（１６）

遺構番号	A－67号住居址	位置	N3W2, N3W3, N4W2	平面形態	隅丸長方形？	壁高	0.18(NE)～0.24(SE)
遺構図版	第93図	(グリッド)	N4W3	主軸方位	？	床高	472.56~472.60
遺物図版	第 258図			規模	？	床面積	？

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.40×0.40×0.21) P2(0.30×0.29×0.32) P3(0.44×0.32×0.19)	覆土	1暗褐色砂質土層 2暗褐色砂質土層（茶褐色土を含む）

炉	位置	不明	備考	
	形態			
	規模(全長×最大幅)			

備考	住居址のほとんどが調査区域外のため、不明な点が多い。床面は、黒褐色の粘土を貼っていたのかもしれない。

遺構番号	A－68号住居址	位置	S8E1, S9E1, S9E2	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.08(S) ～0.12(W)
遺構図版	第94図	(グリッド)	S10E1, S10E2	主軸方位	N-34.0°-W	床高	471.86～471.94
遺物図版	第 259図		S11E2	規模	？×？	床面積	？

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.58×0.50×0.61) P2(0.47×0.42×0.18) P3(0.32×0.28×0.22) P4(0.60×0.40×0.23) P5(0.24×0.22×0.16) P6(0.42×0.41×0.12)	覆土	1暗褐色砂質土層（黄砂を含む） 2茶褐色砂質土層（暗褐色土を含む） 3暗褐色砂質土層

炉	位置	F1 北	備考	3か所ある。1つは、北西の2本の柱穴の間掘り窪められたものである。他の2つは、床が赤く焼けているが、焼土のある範囲は小さい。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.84×0.52		

備考	東側は調査区域外である。水田造成時につくられたと思われる溝状の攪乱に北西の壁が一部削られている。床面はかたくしまりがあり、凹凸がない。

遺構番号	A－69号住居址	位置	N4E6, N4E7, N3E6	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.10(NW)～0.14(NE)
遺構図版	第95図	(グリッド)	N3E7, N3E8	主軸方位	N-46.5°-W	床高	472.10～472.18
遺物図版	第 260図			規模	？	床面積	？

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.18×0.16×0.06)	覆土	1黒褐色砂質土層（黄砂石を含む） 2暗褐色砂質土層（黄砂石を含む） 3茶褐色砂質土層

炉	位置	不明	備考	
	形態			
	規模(全長×最大幅)			

備考	A－53号住居址に西側の床と壁を破壊され、南東部は調査区域外となる。北側の隅は、大きく張り出している。床は、北西の端に一段高まりを有する。床面はしまりがない。

遺構番号	A－70号住居址	位置	S7W3, S7W4, S8W3	平面形態	隅丸長方形	壁高	～0.12(N)
遺構図版	第96図	(グリッド)	S8W4	主軸方位	N-65.0°-W	床高	462.58～462.64
遺物図版	第 261図			規模	？	床面積	？

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.43×0.36×0.10) P2(0.30×0.28×0.32) P3(0.28×0.22×0.25) P4(0.32×0.28×0.12) P5(0.33×0.33×0.30)	覆土	1明茶褐色砂質土層 2暗褐色砂質土層

炉	位置	中央	備考	床の中央が赤く焼けているが、A－623号ピットに半分に切られている。
	形態			
	規模(全長×最大幅)	0.20×0.20		

備考	A－71号住居址と重複するが、新旧関係はよくわからなかった。かつて桑畑であったため、床面は根で著しく破壊されている。また、南と東側の壁は削平されて失われている。

第18表　竪穴住居址観察表（17）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－71号住居址 第97図 第 262図	位 置 (グリット)	S7W3, S8W2, S8W3	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸長方形？ N-26.0°-E	壁 高 床 高 床面積	0.14(N) ～0.14(SW) 472.57~472.60 ？
柱穴	(長径×短径×深さ)					覆土	1暗褐色砂質土層（石を含む） 2砂質土層（黄石を含む）
炉	位 置 形 態 規模(全長×最大幅)	不明	備考				
備考	かつて桑畑だったため、根に床面が破壊されていて凹凸がはげしい。A－７０号住居址と重複して切る。						

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－72号住居址 第98図 第 263図	位 置 (グリット)	S10W2, S10W3 S10W4, S11W2 S11W3, S11W4	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸長方形 N-56.5°-W 5.30×3.70	壁 高 床 高 床面積	0.19(NW)～0.40(SE) 472.09～472.20 ？
柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.45×0.44×0.23) P2(0.65×0.52×0.08) P3(0.30×0.27×0.06) P4(0.80×0.60×0.38) P5(0.26×0.25×0.18) P6(0.33×0.30×0.20) P7(0.60×0.58×0.18)					覆土	1 暗褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層（黄砂石を含む）
竈	位 置 主軸方位 規模(全長×最大幅)	F1 東壁 ？ 0.50×0.45	F2 北壁 ？ 0.25×0.14	備考	東と北壁の近くの床が赤く焼けている。東の方がよく焼けてかたくしまっている。竈であったかもしれない。		
備考	かつて桑畑であったため、床面は根で破壊されて、部分的に床面が残るのみである。A－６３号住居址と重複して切る。						

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－73号住居址 第99図 第 264図	位 置 (グリット)	S6W3, S6W4, S7W3 S7W4	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸長方形 N-43.0°-W 5.26×3.70	壁 高 床 高 床面積	0.06(NE)～0.24(SW) 472.62～472.68 ？
柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.43×0.15×0.06) P2(0.32×0.28×0.12) P3(0.28×0.26×0.12) P4(0.17×0.16×0.09) P5(0.18×0.16×0.08) P6(0.32×0.30×0.13)					覆土	1暗褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層
炉	位 置 形 態 規模(全長×最大幅)	不明	備考				
備考	かつて桑畑であったため、床面は根で破壊されているため不明。						

平成４年度（１９９２年度）発掘

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-401号住居址 第 100, 101図 第 265図	位 置 (グリット)	S7E31, S7E32 S8E31, S8E32 S9E31, S9E32	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸長方形 N- 4.5°-E 4.68×3.68	壁 高 床 高 床面積	0.09(E) ～0.27(W) 469.64～469.73 14.12 ㎡
柱穴	(長径×短径×深さ) 不明					覆土	1暗褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層
炉	位 置 形 態 規模(全長×最大幅)	中央北寄り 埋甕炉 0.40×0.38	覆土 備考	1暗茶褐色土層 2黒褐色土層 3橙色茶褐色土層 4灰色土層（明茶褐色土を含む）			
備考	暗渠によって床と壁を破壊される。床面は凹凸が少なく、しまりがない。壁は床より直立ぎみに立ち上がる。						

第１９表　竪穴住居址観察表（１８）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-402号住居址 第 102図 第 266図	位　置 (グリッド)	S9E28, S9E29, S9E30, S10E28, S10E29 S10E30, S11E28 S11E29, S11E30	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-28.5°-E 6.36×4.69	壁　高 床　高 床面積	0.17(SE)～0.38(NW) 469.68～469.72 27.84 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ)　主柱穴４本　P1(0.52×0.49×0.26)　P2(0.36×0.32×0.38) P3(0.36×0.36×0.36)　P4(0.33×0.32×0.24)　P5(0.17×0.16×0.48) P7(0.27×0.25×0.05)	覆土	1暗褐色砂質土層 2暗褐色砂質土層（黒土含む） 3茶褐色砂質土層 4茶褐色砂質土層（焼土含む） 5明茶褐色砂質土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1　北 地床炉 0.32×0.30	備考	２か所ある。１つは、北側の２本の柱穴の間に、床を浅く掘り窪められてある。もう１つは、床の中央にあり、窪みがなく、床面に赤く焼けた跡が残るものである。

備考	床面は比較的凹凸が少なくしまりがあるが、部分的にやわらかい。壁は直立ぎみに立ち上がる。覆土と床上から炭化した木材が多量に出土した。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-403号住居址 第 103, 104図 第 267図	位　置 (グリッド)	S22E23, S22E24, S22E25, S23E23, S23E24 S23E25, S23E26, S24E24, S24E25,	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-35.5°-W 8.90×5.30	壁　高 床　高 床面積	0.18(SE)～0.52(NW) 469.32～469.51 41.2°

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.44×0.43×0.54) P2(0.34×0.22×0.36) P3(0.34×0.32×0.29) P4(0.30×0.26×0.27) P5(0.43×0.37×0.13) P6(0.40×0.38×0.29) P7(0.27×0.26×0.21) P8(0.38×0.32×0.28) P9(0.45×0.39×0.35) P10(0.24×0.21×0.28) P11(0.34×0.31×0.27) P12(0.38×0.25×0.05) P13(0.39×0.37×0.26) P14(0.37×0.36×0.31) P15(0.20×0.20×0.14) P16(0.36×0.35×0.26) P17(0.26×0.23×0.25) P18(0.52×0.50×0.28) P19(0.46×0.42×0.38) P20(0.40×0.31×0.17) P21(0.38×0.35×0.16) P22(0.44×0.42×0.34) P23(0.42×0.40×0.18) P24(0.48×0.46×0.20) P25(0.35×0.34×0.28) P26(0.45×0.35×0.30)	覆土	1 暗褐色砂質土層 2 茶褐色砂質土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1　北西 埋甕炉 0.74×0.42	F2　北西 地床炉 0.34×0.32	備考	３か所ある。１つは、北西の２つの柱穴の間にある埋甕炉である。もう１つはそのすぐ東隣にあり、床を浅く掘り窪められている地床炉である。もう１つは、窪みがなく、床の中央部に赤く焼けた部分が残るものである。

備考	床面は砂質土でしまりがあり、凹凸は少ない。覆土から拳の大きさから人の頭の大きさの石が多数出土した。Ｂ－４３６号住居址を重複して切る。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-404号住居址 第 105図 第 268図	位　置 (グリッド)	S11E27,　S11E28 S11E29,　S12E28 S12E29	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-31.5°-E 4.25×3.90	壁　高 床　高 床面積	0.06(NE)～0.20(SW) 469.79～469.88 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.40×0.38×0.14)　P2(0.45×0.36×0.17)	覆土	1暗褐色砂質土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	北東 地床炉 0.58×0.50	備考	北東の２本の柱穴の間に床を浅く掘り窪められている。

備考	Ｂ－４０５号住居址と重複して切られ、床が破壊される。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-405号住居址 第 106図 第 269図	位置 (グリッド)	S12E27, S12E28, S12E29, S13E27, S13E28 S14E27, S14E28	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-30.0°-E 9.21×5.82	壁　高 床　高 床面積	0.14(SE)～0.40(NW) 469.56～469.63 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.69×0.30×0.26)　P2(0.35×0.35×0.30) P3(0.45×0.38×0.16) P4(0.30×0.28×0.15)　P5(0.50×0.45×0.10) P6(0.26×0.26×0.09) P7(0.29×0.28×0.12)　P8(0.34×0.31×0.12) P9(0.66×0.46×0.25)　P10(0.39×0.37×0.29)　P11(0.35×0.34×0.12) P12(0.40×0.38×0.35)　P13(0.24×0.23×0.06)	覆土	1暗褐色砂質土層 2暗褐色砂質土層（茶色土を含む） 3茶褐色砂質土層（黄色土を含む） 4黒褐色砂質土層

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1　北東 地床炉 0.40×0.26	備考	焼土の分布は２か所ある。１つは北東の２本の柱穴の間に床を浅く掘り窪められた地床炉である。もう１つは、床の中央にあり、窪みがなく、床に赤く焼けた跡を残すものである。

備考	Ｂ－４０４、４０６号住居址と重複し４０４号住居址を切り、４０６号住居址に切られ、床を破壊される。 平面形態は南側の壁が長く台形ぎみの隅丸長方形を呈する。床面は凹凸が少なく、しまりがある。

第２０表　竪穴住居址観察表（１９）

遺構番号	B-406号住居址	位置	S13E28, S13E29, S13E30, S14E28 S14E29 S14E30, S15E28, S15E29, S15E30	平面形態	隅丸方形	壁高	0.10(SE)～0.30(SW)
遺構図版	第 107図	(グリット)		主軸方位	N-28.0°-E	床高	469.38～469.51
遺物図版	第 270図			規模	7.00×6.88	床面積	43.56 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.60×0.31×0.43) P2(1.00×0.84×0.52) P3(0.70×0.56×0.25) P4(0.52×0.43×0.47) P5(1.02×0.83×0.48) P6(0.35×0.34×0.35) P7(0.39×0.38×0.35) P8(0.62×0.52×0.11) P9(0.33×0.32×0.12) P10(0.42×0.36×0.38) P11(0.34×0.24×0.18) P12(0.38×0.38×0.05) P13(0.58×0.46×0.41) P14(0.33×0.28×0.34) P15(0.46×0.46×0.50) P16(0.54×0.47×0.45) P17(0.56×0.44×0.21) P18(0.40×0.38×0.59) P19(0.34×0.27×0.30) P20(0.82×0.79×0.42)	覆土	1 暗褐色砂質土層 2 茶褐色砂質土層 (暗褐色土を含む) 3 明茶褐色砂質土層

炉	位置	F1	北西	備考	焼土の分布は2か所ある。どちらも掘り窪められていなく、床面が部分的に赤く焼けたものである。
	形態		地床炉		
	規模(全長×最大幅)		0.76×0.60		

備考	B－４０５号住居址と重複して切る。周溝がほぼ一周する。また、Ｐ１、Ｐ１１、Ｐ１２は溝により周溝と連結する。床面は中央にいくにしたがって低くなる。覆土は人の頭の大きさの石を多量に含む。

遺構番号	B-407号住居址	位置	S15E30, S16E29 S16E30, S16E31 S17E30, S17E31	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.06(SE)～0.19(NW)
遺構図版	第 108,109図	(グリット)		主軸方位	N-31.5°-E	床高	469.50～469.60
遺物図版	第 271図			規模	4.32×3.88	床面積	15.52 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.22×0.18×0.05) P2(0.31×0.24×0.30) P3(0.47×0.45×0.28) P4(0.30×0.30×0.28)	覆土	1 暗褐色砂質土層 2 茶褐色砂質土層 3 褐色砂質土層 (焼土含む) 4 褐色砂質土層 (黄色土含む)

竈	位置	北東壁中央	覆土	1 茶褐色土層 (炭化物含む) 2 茶色土層 (焼土含む) 3 茶褐色土層 (焼土含む) 崩壊している。袖の構築土と芯石として使用されていた石が一部残っている。火床面は床面よりわずかに低いようである。
	主軸方位	N-29.0°-E	備考	
	規模(全長×最大幅)	0.90×0.80		

備考	床は凹凸は少ないが、やわらかくしまりがない。暗渠により北東の壁を一部破壊されている。削平されていて壁高はかなり浅い。覆土から炭化した木材片が多量に出土した。

遺構番号	B-408号住居址	位置	S15E28, S15E29 S16E28, S16E29 S17E28, S17E29	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.08(S) ～0.20(W)
遺構図版	第 110図	(グリット)		主軸方位	N- 8.0°-E	床高	469.50～469.56
遺物図版	第 272図			規模	5.91×4.53	床面積	?

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.23×0.22×0.10) P2(0.39×0.33×0.14) P3(0.44×0.26×0.19) P4(0.34×0.34×0.12) P5(0.28×0.24×0.05) P6(0.34×0.32×0.25) P7(0.50×0.44×0.16) P8(0.34×0.33×0.34) P9(0.40×0.33×0.33) P10(0.20×0.18×0.04) P11(0.47×0.30×0.30) P12(0.28×0.28×0.06) P13(0.38×0.38×0.10)	覆土	1 茶褐色砂質土層 2 暗褐色砂質土層 (炭化物を含む)

炉	位置	F1	北	備考	焼土の分布は3か所ある。北側の2本の主柱穴の間に床を浅く掘り窪められた地床炉がある。その他の2つは、床面に窪みがなく、床に焼け跡を残すものである。
	形態		地床炉		
	規模(全長×最大幅)		0.40×0.22		

備考	Ｂ－４０６、４０９号住居址と重複し、床を破壊される。平面形態は、南壁の長い台形ぎみの長方形を呈すると思われる。北壁は張り出して床より一段高まりを持つ。床は砂質土で、しまりがあり、比較的凹凸が少ない。床の中央の焼土の直上の覆土から炭化した木片が出土した。

遺構番号	B-409号住居址	位置	S16E27, S16E28 S17E27, S17E28 S18E27, S18E28	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.48(NE)～0.58(SW)
遺構図版	第 111図	(グリット)		主軸方位	N-40.5°-W	床高	469.20～469.26
遺物図版	第 273図			規模	4.70×3.40	床面積	9.4 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) なし	覆土	1 茶褐色砂質土層 2 暗褐色砂質土層 3 茶褐色砂質土層 4 茶褐色砂質土層 (炭化物を含む) 5 茶褐色砂質土層 (暗褐色を含む) 6 茶褐色砂質土層 (黄色土を含む) 7 茶褐色砂質土層 (灰色土を含む)

炉	位置	なし	備考	
	形態			
	規模(全長×最大幅)			

備考	住居址ではないかもしれない。Ｂ－４０８号住居址と重複して切ると思われるが、新旧関係はよくわからなかった。断面形は床が丸底ぎみを呈し、壁は丸みをもって緩やかに立ち上がる。北西と南東の隅の壁は、一段の階段状を呈して立ち上がる。床は砂質でやわらかい。覆土からは緑色凝灰岩の剥片が多数出土した。

第２１表　竪穴住居址観察表（２０）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-410号住居址 第 112図 第 274図	位 置 (グリット)	S17E25, S17E26 S18E26, S18E27 S19E25, S19E26 S19E27	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸長方形 N-37.5°-E 7.58×5.41	壁 高 床 高 床面積	0.19(SW)～0.30(NW) 469.51～469.65 37.32 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ)主柱穴 P1(0.38×0.38×0.24) P2(0.34×0.30×0.11) P3(0.72×0.65×0.37) P4(0.67×0.65×0.39) P5(0.72×0.68×0.43) P6(0.72×0.23×0.23) P7(0.52×0.37×0.19) P8(0.45×0.37×0.22) P9(0.79×0.76×0.35) P10(0.37×0.36×0.16) P11(0.73×0.66×0.31) P12(0.48×0.35×0.33)	覆土	1 暗褐色弱粘土層 2 暗褐色弱粘土層（炭化物含む） 3 茶褐色弱粘土層 4 褐色弱粘土層（黄色土含む） 5 粘土層

炉	位 置 形 態 規模(全長×最大幅)	F 1 北東 地床炉 0.70×0.50	備考	3か所ある。1つは、北東の2本の柱穴の間にあり。床を浅く掘り窪められている。別の2つは床が熱で赤く焼けた跡の残るものであり、床中央と西部に1か所ずつある。

備考	平面形態は4隅のカーブが鈍い隅丸長方形を呈する。壁は直立ぎみに立ち上がるが、北と南の隅は段を有して立ち上がる。床面は砂質で堅く、しまりがある。南東の壁の近くの床に褐色の粘土の塊があり、盛り上がっている。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-411号住居址 第 113図 第 275図	位 置 (グリット)	S18E30, S18E31 S19E30, S20E30	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸長方形 ? ?	壁 高 床 高 床面積	0.23(SW)～0.32(NW) 469.20～469.25 ?

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.31×0.29×0.20) P2(0.28×0.26×0.17) P3(0.28×0.27×0.25) P4(0.56×0.45×0.26) P5(0.28×0.27×0.29)	覆土	1 黒褐色砂質土層 2 暗褐色砂質土層 3 暗褐色砂質土層（小石を含む） 4 茶色砂質土層

炉	位 置 形態方位 規模(全長×最大幅)	北西 地床炉 0.42×0.38	備考	北西の2本の柱穴の間に床を浅く掘り窪められている。比較的広い範囲で焼土が広がる。

備考	住居址の南東部は調査しなかったが、隅丸長方形を呈すると思われる。床は堅く、しまりがあり、凹凸は少ない。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-412号住居址 第 114図 第 276図	位 置 (グリット)	S19E27, S19E28 S19E29, S20E27 S20E28, S20E29 S21E28, S21E29	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸長方形 N-54.0°-W 6.00×5.36	壁 高 床 高 床面積	0.03(SE)～0.19(NW) 469.28～469.40 29.92 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.70×0.61×0.20) P2(0.60×0.38×0.10) P3(0.46×0.42×0.10) P4(0.28×0.27×0.95)	覆土	1 暗茶褐色砂質土層（小石を含む） 2 黄褐色砂質土層 3 暗茶褐色砂質土層

炉	位 置 形 態 規模(全長×最大幅)	中央北西寄り 地床炉 0.38×0.32	備考	床に赤く焼けた部分がある。掘り窪められていない。

備考	B－413号住居址を重複して切る。南東の壁は削平されて失われている。床は堅くしまり、凹凸は少しある。北の隅の床上から編み物石を多数出土した。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-413号住居址 第 115図 第 277図	位 置 (グリット)	S19E27, S19E28 S20E26, S20E27 S21E27, S21E28	平面形態 主軸方位 規 模	隅丸長方形 N-33.0°-W 7.14×5.28	壁 高 床 高 床面積	0.14(SW)～0.20(NW) 469.44～469.52 ?

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.23×0.22×0.11)	覆土	1 茶褐色砂質土層 2 茶褐色砂質土層（小石を含む）

炉	位 置 形 態 規模(全長×最大幅)	不明	備考	A－412号住居址に半分破壊されているが、北部の床面に赤くやけた跡がある。(0.30×?)

備考	B－412号住居址と重複し、北東部の床と壁を破壊されている。周溝が北東の壁にみとめられた。

第22表　竪穴住居址観察表（21）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-414号住居址 第 116図 第 278図	位　置 (グリッド)	S18E22, S18E23, S19E22 S19E23, S19E24, S20E21 S20E22, S20E23, S20E24 S21E22, S21E23, S21E24	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-38.5°-E 7.95×7.88	壁　高 床　高 床面積	0.05(NE)～ 0.30(SW) 469.78～469.84 59.32 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.38×0.36×0.09)　P2(0.38×0.36×0.09)	覆土	1 茶褐色砂質土層 4 茶褐色砂質土層（黒色土を含む）

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	北東 地床炉 0.79×0.64	備考	北東壁寄りの床面に赤色に焼けた部分があり、その南側に熱を受けたと思われる石がある。

備考	B－４３２号住居址を重複して切る。また、トレンチに床を破壊されている。床面は砂質で凹凸は少ない。周溝は、西側の壁をのぞいてめぐっている。西側の壁は段をもつ。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-415号住居址 第 117図 第 279図	位置 (グリッド)	S17E21, S17E22, S18 E20, S18E21, S18E22 S19E21, S19E22	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-35.0°-E 4.80×4.31	壁　高 床　高 床面積	0.06(SE)～0.12(NW) 470.15～470.20 22.84㎡

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.42×0.40×0.22)　P2(0.20×0.20×0.18) P3(0.38×0.34×0.10)　P4(0.52×0.42×0.19) P5(0.22×0.20×0.05)	覆土	1 茶褐色砂質土層 2 明茶褐色砂質土層（小石を含む） 3 茶褐色砂質土層（小石を含む） 4 茶褐色砂質土層（黒色土を含む） 5 黄色砂質土層

炉	位　置 形態方位 規模(全長×最大幅)	Ｆ１　東 地床炉 0.94×0.40	Ｆ２　北西 地床炉 0.50×0.38	備考	焼土の分布は２か所ある。床が部分的に熱を受けて赤色に焼けている。

備考	B地区の最も標高の高い所にある。このため水田造成時に著しい削平を受けている。住居址は小石を多く含む砂質の地山に構築されている。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-416号住居址 第 280図	位置 (グリッド)	S14E22, S14E23, S14 E24, S15E23, S15E24 S16E23, S16E24,	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-28.0°-E 4.74～3.60	壁　高 床　高 床面積	0.12(E) ～0.20(S) 469.70～469.78 ？

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.50×0.42×0.09)　P2(0.34×0.30×0.20)	覆土	1 茶褐色砂質土層 2 茶褐色砂質土層（黄色土を含む） 3 暗茶褐色砂質土層

炉	位　置　不明 形　態 規模(全長×最大幅)	備考	

備考	B－４１７、４１８号住居址と重複しB－４１７号に切られる。また、暗渠により、北の壁を破壊される。床面は比較的しまりがない。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-417号住居址 第 119, 120図 第 281図	位　置 (グリッド)	S14E22, S15E21 S15E22, S15E23 S16E21, S16E22 S16E23, S17E22	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-38.0°-W 5.81×5.70	壁　高 床　高 床面積	0.28(NE)～0.33(SE) 469.70～469.80 31.04 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.41×0.40×0.16) P2(0.36×0.35×0.19) P3(0.25×0.25×0.20) P4(0.22×0.21×0.17)　P5(0.48×0.47×0.30)　P6(0.66×0.62×0.48)　P7(0.26×0.20×0.07)　P8(0.50×0.47×0.20)　P9(0.22×0.21×0.16)　P10(0.49×0.39×0.16)　P11(0.40×0.37×0.20)　P12(0.64×0.50×0.34)　P13(0.38×0.35×0.10) P14(0.25×0.23×0.16)　P15(0.32×0.30×0.38)　P16(0.32×0.30×0.38)	覆土	1 暗褐色弱粘土層 2 明褐色砂質土層 （茶色土を含む）

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	Ｆ１　北西寄り 地床炉 0.48×0.48	備考	３か所ある。１つは北西の２本の柱穴の間に掘り窪められた地床炉である。他の２つは窪みがなく、壁は床の中央に熱を受けて赤色に焼けた部分が残るものである。

備考	B－４１６、４１８、４２８号住居址と重複して切る。床は堅くしまりがあり、凹凸がある。床の中央より北側に不定形の掘り込みがある。また、周溝は西隅と南東の壁を除いて巡っている。また、細い溝がＰ２から北東に向かって伸び、Ｐ１３から北西に向かって伸び、Ｐ３とＰ４を連結している。南西の壁と北西、北東の壁の一部は段をもつ。炭化した木材が多量に出土した。

第２３表　竪穴住居址観察表（２２）

遺構番号	B-418号住居址	位置	S15E22, S15E23	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.10(N) ～0.22(W)
遺構図版	第 121図	(グリット)	S15E24, S16E22	主軸方位	N-32.5°-E	床高	469.72～469.83
遺物図版	第 282図		S16E23, S16E24	規模	5.20× ?	床面積	?

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.31×0.20×0.29) P2(0.20×0.18×0.15) P3(0.23×0.22×0.25) P4(0.22×0.20×0.26) P5(0.42×0.32×0.30) P6(0.40×0.30×0.09)	覆土	1茶褐色砂質土層 (小石を含む)

炉	位置	中央	備考	床を浅く掘り窪めた地床炉があるが、焼土は薄い。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.90×0.68		

備考	B－４１６、４１７号住居址と重複して、床が破壊される。

遺構番号	B-419号住居址	位置	S13E24, S13E25	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.07(S) ～0.12(E)
遺構図版	第 122,123図	(グリット)	S13E26, S14E24	主軸方位	N- 8.5° -W	床高	469.90～469.95
遺物図版	第 283図		S14E25, S14E26	規模	4.48×3.66	床面積	14.96㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.22×0.18×0.18) P2(0.46×0.43×0.10) P3(0.43×0.30×0.16) P4(0.47×0.44×0.10) P5(0.27×0.24×0.24)	覆土	1 茶褐色弱粘土層 2 堅い茶褐色弱粘土層 3 暗褐色砂質土層 (炭を含む) 4 炭化物層

竈	位置	北壁西寄り	土層	1暗褐色砂質土層 (焼土を含む) 2褐色砂質土層 (焼土を含む) 3粘土 4粘土 (焼土を含む) 5茶褐色土 (粘土を含む) 6茶褐色土 (炭を含む) 袖の構築土がわずかに残る。袖の芯石と支脚が床につきささって残っている。火床面から煙道までよく焼けている。煙道 (0.80×0.26)
	主軸方位	N-7.5° -W	備考	
	規模(全長×最大幅)	1.58×0.68		

備考	B－４２０号住居址と重複して切る。床面は堅くしまる。覆土中および床上から炭化した木材を多量に出土した。東の壁は部分的に段を有する。また、東の壁に周溝が掘られている。

遺構番号	B-420号住居址	位置	S10E25, S10E26, S11E24	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.20(S)~0.43(W)
遺構図版	第 124図	(グリット)	S11E25, S11E26, S12E24	主軸方位	N-30.0°-E	床高	469.64～469.80
遺物図版	第 284図		S12E25, S12E26, S13E24 S13E25, S13E26	規模	8.88×6.13	床面積	47.20 ㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.41×0.40×0.39) P2(0.48×0.38×0.12) P3(0.38×0.37×0.35) P4(0.32×0.26×0.10) P5(0.48×0.44×0.30) P6(0.26×0.25×0.10) P7(0.46×0.35×0.34) P8(0.48×0.46×0.36) P9(0.46×0.35×0.36) P10 (0.52×0.42×0.39) P11(0.52×0.37×0.27) P12(0.36×0.30×0.16) P13(0.70×0.28×0.12) P14(0.56×0.52×0.30) P15(0.50×0.47×0.10) P16(0.16×0.12×0.09) P17(0.23×0.20×0.15) P18(0.40×0.36×0.15) P19(0.23×0.22×0.17) P20(0.42×0.40×0.40) P21(0.72×0.61×0.23) P22(0.40×0.40×0.37) P23(0.24×0.21×0.18) P24(0.32×0.29×0.08) P25(0.50×0.44×0.21) P26(0.38×0.18×0.10) P27(0.44×0.42×0.31)	覆土	1茶褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層 (小石含む) 3茶褐色砂質土層 (黄石含む) 4黒色砂質土層 (灰色土含む) 5黒色砂質土層 6暗褐色砂質土層 7暗褐色砂質土層 (炭化物を含む)

炉	位置	F１ 北東	備考	焼土は８か所分布している。そのうち１つは、北東の２本の主柱穴の間にあり、床を浅く掘り窪められた地床炉である。その他は床が熱により赤色に焼けた跡を残すものであり、窪みがない。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.94×0.55		

備考	B－４１９に南隅の壁を、暗渠に北西と南西の壁の一部を、トレンチに南隅の床を破壊される。床面は堅くしまり、凹凸が少ない。壁は内湾ぎみに開いて立ち上がる。砂質で部分的に小石を多く含む地山に構築されている。

遺構番号	B-421号住居址	位置	S8E27, S8E28	平面形態	隅丸長方形?	壁高	0.04(SW)～0.09(NE)
遺構図版	第 125図	(グリット)	S9E26, S9E27	主軸方位	N-53.0°-W	床高	469.95～470.00
遺物図版	第 285図		S9E28	規模	?×4.27	床面積	?

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.45×0.42×0.33) P2(0.22×0.20×0.07) P3(0.26×0.25×0.35) P4(0.32×0.24×0.15) P5(0.28×0.20×0.09) P6(0.26×0.24×0.31) P7(0.35×0.34×0.39) P8(0.23×0.22×0.35) P9(0.31×0.30×0.30)	覆土	1茶褐色砂質土層 (炭を含む) 2茶褐色砂質土層 3明茶褐色砂質土層 4明茶褐色砂質土層 (黄色土を含む)

炉	位置	北	備考	P９の北側に床が赤色に焼けた部分がある。掘り窪められていない。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.76×0.72		

備考	B－４２２号住居址と重複する。新旧関係はよくわからなかったが、おそらく４２２号住居址に切られていると思われる。床面は堅くしまる。北の壁は段を有して立ち上がる。

第２４表　竪穴住居址観察表（２３）

遺構番号	B-422号住居址	位置(グリット)	S6E26, S6E27, S7E25 S7E26, S7E27, S8E24 S8E25, S8E26	平面形態 主軸方位 規模	隅丸長方形 N-46.0°-E 8.06×5.70	壁高 床高 床面積	0.08(SE)～0.17(SW) 470.03～470.10 40.00 ㎡
遺構図版	第 126図						
遺物図版	第 286図						

柱穴	(長径×短径×深さ) 主柱穴４本 P1(0.27×0.23×0.29) P2(0.26×0.25×0.46) P3(0.70×0.66×0.40) P4(0.26×0.22×0.28) P5(0.40×0.39×0.10) P6(0.26×0.20×0.06) P7(0.70×0.58×0.52) P8(0.22×0.20×0.12) P9(0.40×0.37×0.40) P10(0.46×0.43×0.17) P11(?×0.22×0.09) P12(0.70×0.66×0.57) P13(0.40×0.37×0.13) P14(0.42×0.37×0.13) P15(0.60×0.53×0.53)	覆土	1暗褐色砂質土層 (小石を含む) 2暗褐色砂質土層 3茶褐色砂質土層 4茶褐色砂質土層 (黄色土を含む)

炉	位置 形態 規模(全長×最大幅)	F1 中央 地床炉 0.42×0.40	備考	焼土の分布は４か所ある。床を浅く掘り窪めたものが３か所、窪みがなく、床が赤く焼けたものが１か所ある。

備考	暗渠によって床と壁を一部破壊される。Ｂ－４２１、４２３号住居址と重複している。新旧関係はよくわからなかったが、おそらくこの２軒を切っている。小石を多く含む地山に構築されている。

遺構番号	B-423号住居址	位置(グリット)	S6E25, S6E26 S7E24, S7E25 S7E26	平面形態 主軸方位 規模	隅丸長方形 N-34.0°-E 6.58×5.16	壁高 床高 床面積	0.12(SE)～0.22(NW) 469.94 ～470.01 ?
遺構図版	第 127図						
遺物図版							

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.24×0.23×0.37) P2(0.95×0.38×0.03)	覆土	1 茶褐色弱粘土層 (ロームブロック含む) 2暗茶褐色砂質土層 (小石を含む)

炉	位置 形態 規模(全長×最大幅)	不明	備考	

備考	暗渠に切られる。Ｂ－４２２号住居址と重複して切られると思われる。床は比較的しまりがない。

遺構番号	B-424号住居址	位置(グリット)	S5E21, S6E20, S6 E21, S6E22, S7E20 S7E21, S7E22	平面形態 主軸方位 規模	隅丸長方形 N-42.5°-W 4.69×4.37	壁高 床高 床面積	0.05(NE)～0.14(SW) 470.16 ～470.22 18.88 ㎡
遺構図版	第 128図						
遺物図版							

柱穴	(長径×短径×深さ) 主柱穴４本 P1(0.30×0.29×0.29) P2(0.37×0.37×0.22) P3(0.38×0.37×0.20) P4(0.23×0.22×0.10) P5(0.24×0.24×0.08) P6(0.28×0.27×0.09) P7(0.28×0.28×0.06) P8(0.16×0.16×0.06) P9(0.31×0.31×0.16) P10(0.32×0.28×0.25) P11(0.20×0.18×0.08) P12(0.20×0.14×0.07) P13(0.33×0.27×0.17) P14(0.33×0.28×0.10) P15(0.27×0.26×0.10) P16(0.31×0.28×0.15) P17(0.36×0.27×0.15) P18(0.34×0.20×0.40) P19(0.20×0.19×0.28)	覆土	1暗褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層

炉	位置 形態 規模(全長×最大幅)	F1 北西 F3 北東寄り 地床炉 地床炉 0.32×0.32 0.20×0.20	備考	焼土の分布は３か所ある。そのうち床を浅く掘り窪めたものが２か所で、窪みがなく、床が部分的に焼けたものが１か所ある。

備考	床面は堅くしまり、凹凸がある。削平された壁高の残高は浅い。柱穴が多くある。

遺構番号	B-425号住居址	位置(グリット)	S7E19, S7E20, S7E21 S8E19, S8E20, S8E21 S9E19, S9E20, S9E21	平面形態 主軸方位 規模	隅丸長方形 N-28.0°-E 5.98×4.60	壁高 床高 床面積	0.12(S)~0.23(W) 470.24 ～470.29 23.72㎡
遺構図版	第 129図						
遺物図版	第 287図						

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.35×0.34×0.12) P2(0.58×0.52×0.20)	覆土	1暗褐色砂質土層 (小石を含む) 2茶褐色砂質土層 (茶色石を含む)

炉	位置 形態 規模(全長×最大幅)	F1 北東 地床炉 0.52×0.40	備考	2か所ある。１つは、床を浅く掘り窪めたもので、もう１つは、掘り込みがなく、床が部分的に焼けた跡が残るものである。

備考	小石が多く含まれる地山に構築されている。床は堅く、しまりがある。

第２５表　竪穴住居址観察表（２４）

遺構番号	B-426号住居址	位置	S9E22, S9E23	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.08(SE)～0.16(SW)
遺構図版	第 130図	(グリット)	S10E22, S10E23	主軸方位	N-44.0°-E	床高	470.22～470.26
遺物図版	第 288図			規模	3.78×2.78	床面積	8.76㎡

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.22×0.22×0.22) P2(0.30×0.29×0.24) P3(0.37×0.36×0.22) P4(0.22×0.21×0.14) P5(0.22×0.20×0.06) P6(0.22×0.20×0.18)	覆土	1黒褐色砂質土層

炉	位置	北	備考	床を浅く掘り窪めた地床炉がある。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.24×0.23		

備考	小石を多く含む地山に構築されている。床面は凹凸があり、比較的しまりがない。最も小さい住居址である。

遺構番号	B-427号住居址	位置	S11E19, S11E20	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.05(SE)～0.12(NW)
遺構図版	第 131図	(グリット)	S11E21, S12E19	主軸方位	N-42.5°-E	床高	470.22 ～470.35
遺物図版	第 289図		S12E20, S12E21 S13E20, S13E21	規模	5.39×4.57	床面積	?

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.45×0.38×0.16)	覆土	1 黒褐色砂質土層

炉	位置	F1 中央北寄り	備考	焼土の分布は2か所ある。床が赤色に焼けている。2つとも掘り窪められていない。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.62×0.60		

備考	B－402号土坑と重複して切られる。削平が著しく、壁高の残存が少ない。

遺構番号	B-428号住居址	位置	S14E20, S14E21	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.47(SE)～0.54(NW)
遺構図版	第 132図	(グリット)	S15E19, S15E20 S15E21, S16E20 S16E21	主軸方位	N-32.5°-E	床高	469.85 ～469.95
遺物図版	第 290図			規模	7.02×5.20	床面積	?

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.34×0.31×0.40) P2(0.49×0.44×0.30) P3(0.62×0.58×0.32) P4(0.34×0.32×0.18) P5(0.30×0.30×0.03) P6(0.40×0.38×0.30) P7(0.17×0.17×0.06) P8(0.20×0.20×0.03) P9(0.50×0.50×0.30)	覆土	1暗褐色砂質土層(小石を含む) 2茶褐色砂質土層 3堅い茶褐色砂質土層 4茶褐色砂質土層(炭化物を含む)

炉	位置	F1 北東	備考	焼土の分布は2か所ある。1つは北東の2本の柱穴の間にあり、床を浅く掘り窪められた穴が2つ並んでいる。もう1つは床の中央にあり、掘り込みはなく、床が部分的に赤色に焼けている。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.80×0.47		

備考	B－417号住居址と重複し、東の隅の壁を破壊されている。また、417号住居址の周溝によって床の一部を破壊されている。周溝は北西、南西、南東の3方が壁ぎわに掘り込まれているが、北東側は壁より1mほど内側に掘り込まれている。壁は南の一部が段を有して床より立ち上がる。

遺構番号	B-429号住居址	位置	S12E18, S13E18	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.08(S)～0.27(SE)
遺構図版	第 133図	(グリット)	S13E19, S14E18 S14E19, S15E18	主軸方位	N-48.0°-E	床高	470.12 ～470.24
遺物図版	第 291図			規模	?×5.51	床面積	?

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.42×0.41×0.14) P2(0.40×0.40×0.43) P3(0.42×0.40×0.15) P4(0.34×0.24×0.30) P5(0.36×0.23×0.31) P6(0.36×0.35×0.25) P7(0.48×0.44×0.10) P8(0.54×0.44×0.30) P9(0.56×0.52×0.27) P10(0.24×0.23×0.20) P11(0.37×0.35×0.36)	覆土	1堅い茶褐色弱粘土層 2茶褐色弱粘土層(小石を含む) 3茶褐色弱粘土層

炉	位置	F3 南東	備考	焼土の分布は3か所ある。F1とF2は床面が赤く焼けたもので、掘り込みがない。F3は床を浅く掘り窪め、土器の底部を敷いたものである。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.48×0.43		

備考	B－431号住居址と重複する。平面からは新旧関係が確認できなかったが、おそらく431号住居址を切ると思われる。

第26表　竪穴住居址観察表（25）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-430号住居址 第 134図 第 292図	位　置 (グリット)	S16E17, S16E18, S17E17, S17E18, S17E19 S18E17, S18E18, S18E19, S19E17, S19E18 S19E19	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-41.0°-W ?×5.84	壁　高 床　高 床面積	0.18(SW) ～0.45(SE) 469.94～470.00 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.42×0.40×0.15)	覆土	1茶褐色砂質土層（小石を含む） 2茶褐色砂質土層（黒色土を含む） 3茶褐色砂質土層（炭を含む）

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	F1　北 地床炉 1.04×0.74	F2　中央 地床炉 0.42×0.36	備考	焼土の分布は3か所ある。F1とF2は床が掘り窪められており、F3は、床面が赤く焼けていて、窪みはない。

備考	B－585、586、589号ピットに床面を破壊される。トレンチにより、床と壁を一部破壊される。拳の大きさの石を多く含む砂質の地山に構築される。床面は凹凸が著しい。覆土及び床上から炭化した木材が多量に出土した。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-431号住居址 第 135図 第 293図	位　置 (グリット)	S12E18, S13E18 S13E19, S14E18 S14E19, S15E18 S15E19	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-46.0°-W ?	壁　高 床　高 床面積	0.10(NE)～0.27(SW) 470.17 ～470.24 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.25×0.24×0.15)	覆土	1 茶褐色弱粘土層 2茶褐色弱粘土層（小石を含む） 3茶褐色弱粘土層（黄色土を含む）

炉	位　置　不明 形　態 規模(全長×最大幅)	備考	

備考	B－429号住居址と重複して床を破壊される。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-432号住居址 第 136図 第 294図	位　置 (グリット)	S20E21, S20E22 S20E23, S21E20 S21E22, S22E21 S22E22	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N-33.0°-E 5.84×?	壁　高 床　高 床面積	0.27(E)～0.42(W) 469.70 ～469.78 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)　P1(0.54×0.52×0.22) P2(0.51×0.49×0.25) P3(0.35×0.34×0.24) P4(0.34×0.30×0.31) P5(0.16×0.14×0.05) P6(0.28×0.26×0.19)　P7(0.28×0.26×0.05)　P8(0.50×0.49×0.25) P9(0.32×0.31×0.05)　P10(0.52×0.46×0.14)　P11(0.53×0.36×0.18)　P12(0.15×0.13×0.07) P13(0.22×0.18×0.09)	覆土	1暗褐色砂質土層（小石を含む） 2暗褐色砂質土層（黄色土を含む） 3茶褐色砂質土層 4暗褐色砂質土層（炭化物を含む）

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	北西 地床炉 0.43×0.38	備考	1か所ある。北西の2本の柱の間にあり、床を浅く掘り窪められている。

備考	B－414号住居址と重複し、北東の壁を破壊される。トレンチにより、北の隅を破壊される。床面は砂質で比較的しまりがない。凹凸が少ない。

遺構番号 遺構図版 遺物図版	B-433号住居址 第 137図 第 295図	位　置 (グリット)	S22E29, S23E28 S23E29, S24E28 S24E29	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 ? ?	壁　高 床　高 床面積	0.17(W)～0.22(S) 460.48 ～469.52 ?

柱穴	(長径×短径×深さ)　不明	覆土	1黒褐色砂質土層 2暗褐色砂質土層 3炭化物（焼土を含む）

炉	位　置 形　態 規模(全長×最大幅)	不明	備考	

備考	東側は調査区域外である。また、トレンチによって北の隅が破壊される。床面は堅くしまりがあり、凹凸が少ない。周溝が巡っている。覆土及び床上から多量の炭化した木材が出土した。

第27表　竪穴住居址観察表（26）

遺構番号	B-434号住居址	位置	S22E21, S22E22	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.27(E)～0.60(W)
遺構図版	第 138図	(グリッド)	S23E21, S23E22	主軸方位	N-50.0°-W	床高	469.41 ～469.51
遺物図版	第 296図		S23E23, S24E21	規模	6.02×5.65	床面積	?
			S24E22, S24E23				

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.38×0.33×0.23) P2(0.27×0.26×0.26) P3(0.32×0.18×0.34) P4(0.23×0.18×0.18) P5(0.47×0.40×0.23) P6(0.25×0.21×0.11) P7(0.20×0.18×0.07) P8(0.38×0.36×0.14) P9(0.33×0.22×0.14) P10(0.34×0.32×0.33) P11(0.35×0.33×0.12) P12(0.35×0.34×0.14)	覆土	1 暗褐色砂質土層 2 茶褐色砂質土層 (小石を含む) 3 焼土 4 茶褐色砂質土層 (炭を含む)

炉	位置	F1 中央	F2 南	備考	焼土の分布は2か所ある。いずれも床を浅く掘り窪めたものであるが、F1の方が焼土の層が厚い。
	形態	地床炉	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.36×0.34	0.24×0.20		

備考	南側は水田造成時に攪乱を受けている。北側と東側の隅は鈍くカーブし、平面形態は全体的に丸みを帯びた隅丸長方形を呈する。小石を多く含んだ砂質の地山に構築され、床面はしまりがなく、凹凸が著しい。北東と南西の壁ぎわの床は高まりを有する。

遺構番号	B-435号住居址	位置	S20E18, S20E19	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.32(SE)～0.50(NW)
遺構図版	第 139図	(グリッド)	S21E17, S21E18	主軸方位	N-41.0°-E	床高	469.74 ～469.80
遺物図版	第 297図		S21E19, S21E20	規模	7.92×5.52	床面積	35.16㎡
			S22E19, S23E18				

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.42×0.41×0.50) P2(0.48×0.46×0.58) P3(0.42×0.39×0.26) P4(0.57×0.39×0.25) P5(0.42×0.39×0.18) P6(0.37×0.36×0.13) P7(0.50×0.42×0.27) P8(0.65×0.60×0.24) P9(0.23×0.23×0.20) P10(0.34×0.30×0.04) P11(0.56×0.40×0.18) P12(0.37×0.32×0.12) P13(0.21×0.20×0.04) P14(0.25×0.20×0.16) P15(0.54×0.50×0.33) P16(0.40×0.37×0.20) P17(0.45×0.43×0.23) P18(0.21×0.19×0.11) P19(0.26×0.20×0.21) P20(1.04×0.43×0.58)	覆土	1 暗褐色砂質土層 2 茶褐色砂質土層 (石を含む) 3 茶褐色砂質土層 (小石を含む) 4 暗褐色 (炭化物を含む) 5 茶褐色砂質土層 6 茶色土層 (石を含む)

炉	位置	F1 北東	F2 中央北寄り	備考	焼土の分布は4か所ある。F1、F2、F4は床を浅く掘り窪めている。そのうちF1は土器敷き炉である。F1、F2は北東の2本の柱穴の間にある。F3は掘り窪めていないが、床面が赤色に焼けている。
	形態	土器敷き炉	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.58×0.36	0.30×0.29		

備考	北と西の隅は鋭くカーブするが、南と西の隅は鈍くカーブする。また、南東の壁は張り出し、段を有して床より立ち上がる。床面は黄褐色の砂質土を貼ってあり、おおむね平坦である。南西側にピットが集中している。

遺構番号	B-436号住居址	位置	S21E23, S21E24	平面形態	隅丸長方形	壁高	0.22(SE)～0.39(S)
遺構図版	第 140図	(グリッド)	S21E25, S22E23	主軸方位	N-22.0°-E	床高	469.53 ～469.60
遺物図版	第 298図		S22E24, S22E25	規模	5.89×4.23	床面積	?
			S23E23, S22E24				

柱穴	(長径×短径×深さ) P1(0.40×0.35×0.15) P2(0.38×0.33×0.19)	覆土	1 暗褐色砂質土層

炉	位置	北東	備考	1か所ある。床を浅く掘り窪められている。
	形態	地床炉		
	規模(全長×最大幅)	0.24×0.22		

備考	B－403、414号住居址と重複し、北西の隅の壁と床を破壊される。床面はしまりがあり、凹凸が少しある。北東の壁は床より直立ぎみに立ち上がるが、北西の壁はゆるやかに開いて立ち上がる。

規模等の単位はm

第28表　竪穴住居址観察表（27）

遺構番号 遺構図版	A－1号 掘立柱建物址 第 141図	位　置 (グリッド)	N20W26, N20W27, N21W27	主軸方位 規　模	N-48.5°-W 3.32×2.17	標　高 ピット数	474.28～474.32 7個
構成ピット及びその規模 (長径×短径×深さ)	P-80(0.38×0.38×0.36) P-84(0.53×0.50×0.41) P-88(0.52×0.48×0.30)		P-81(0.57×0.54×0.39) P-85(0.50×0.50×0.30)		P-83(0.44×0.40×0.36) P-87(0.42×0.40×0.30)		
備考	P－81の覆土から土師器片が、P－83とP－85の覆土から弥生土器片が出土した。						

遺構番号 遺構図版 遺物図版	A－2号 掘立柱建物址 第 142図 第 299図	位　置 (グリッド)	N18W28, N19W27, N19W28 N19W29	主軸方位 規　模	N-43.5°-W 3.27×2.01	標　高 ピット数	474.18～474.29 6個
構成ピット及びその規模 (長径×短径×深さ)	P-21(0.52×0.50×0.27) P-24(0.60×0.58×0.33)		P-22(0.48×0.44×0.28) P-25(0.60×0.57×0.26)		P-23(0.51×0.48×0.26) P-90(0.54×0.53×0.23)		
備考	P－24の覆土から土師器の甕が、P－23、P－24、P－25、P－90の覆土から土師器片が出土した。						

遺構番号 遺構図版	A－3号 掘立柱建物址 第 143図	位　置 (グリッド)	N13W25, N13W26, N14W25 N14W26, N14W27, N15W25 N15W26, N15W27	主軸方位 規　模	N-54.0°-W 5.95×4.54	標　高 ピット数	473.80～474.02 8個
構成ピット及びその規模 (長径×短径×深さ)	P-109(0.44×0.43×0.29) P-112(0.38×0.35×0.40) P-115(0.42×0.40×0.20)		P-110(0.50×0.46×0.36) P-113(0.47×0.43×0.15) P-116(0.45×0.43×0.25)		P-111(0.40×0.39×0.27) P-114(0.48×0.47×0.38)		
備考	P－111とP－114の覆土から土師器片が、P－112の覆土から炭化した材が出土した。						

遺構番号 遺構図版	A－4号 掘立柱建物址 第 144図	位　置 (グリッド)	N18W26, N19W25, N19W26	主軸方位 規　模	N-32.0°-E 3.88×2.04	標　高 ピット数	474.15～474.28 5個
構成ピット及びその規模 (長径×短径×深さ)	P-95(0.54×0.49×0.32) P-201(0.52×0.47×0.24)		P-97(0.56×0.44×0.26) P-98(0.46×0.45×0.30)		P-101(0.56×0.50×0.30)		
備考	P－95、P－97、P－101、P－201の覆土から土師器片が、P－98の覆土から土師器片と黒耀石の石鏃が出土した。						

平成4年度（1992年度）発掘

遺構番号 遺構図版	A－5号 掘立柱建物址 第 145図	位　置 (グリッド)	N2W1, N2W2, N3W1, N3W2	主軸方位 規　模	N-29.0°-W 3.66×2.76	標　高 ピット数	472.70～472.76 6個
構成ピット及びその規模 (長径×短径×深さ)	P-492(0.37×0.31×0.26) P-495(0.48×0.42×0.35)		P-493(0.40×0.39×0.38) P-496(0.40×0.38×0.34)		P-494(0.65×0.22×0.41) P-497(0.42×0.41×0.40)		
備考	P－494の覆土から弥生土器片と土師器片が出土した。						

第29表　掘立柱建物址観察表（1）

遺構番号 遺構図版	A－6号 掘立柱建物址 第 146図	位　置 (ｸﾞﾘｯﾄ)	N2W0, N2E1, N2E2, N3W0 N3E1, N3E2	主軸方位 規　模	N-45.0°-W 3.58×3.50	標　高 ピット数	472.72～472.76 8個
構成ピット及びその規模 (長径x短径x深さ)	P-484(0.52x0.52x0.62) P-487(0.47x0.47x0.32) P-490(0.60x0.52x0.50)		P-485(0.52x0.43x0.36) P-488(0.52x0.47x0.43) P-491(0.50x0.49x0.40)		P-486(0.48x0.46x0.38) P-489(0.48x0.48x0.30)		
備考	P－４８４、P－４８５、P－４８８、P－４９０、P－４９１の覆土から土師器片が出土した。						

遺構番号 遺構図版	A－7号 掘立柱建物址 第 147図	位　置 (ｸﾞﾘｯﾄ)	N5E2, N5E3, N5E4, N4E2 N4E3, N4E4	主軸方位 規　模	N-58.0°-W 4.21×3.90	標　高 ピット数	472.61～472.72 8個
構成ピット及びその規模 (長径x短径x深さ)	P-454(0.48x0.48x0.22) P-457(0.40x0.39x0.41) P-460(0.48x0.44x0.18)		P-455(0.44x0.40x0.19) P-458(0.41x0.39x0.37) P-461(0.46x0.42x0.20)		P-456(0.39x0.38x0.26) P-459(0.42x0.40x0.31)		
備考	P－４５７、P－４６０の覆土から土師器片が出土した。						

遺構番号 遺構図版	A－8号 掘立柱建物址 第 148図	位　置 (ｸﾞﾘｯﾄ)	N7E4, N7E5, N7E6, N8E4 N8E5, N8E6	主軸方位 規　模	N-65.0°-W 5.80×3.30	標　高 ピット数	472.46～472.64 10個
構成ピット及びその規模 (長径x短径x深さ)	P-409(0.40x0.39x0.22) P-427(0.50x0.48x0.25) P-442(0.43x0.40x0.29) P-432(0.49x0.42x0.32)		P-420(0.41x0.39x0.18) P-451(0.26x0.25x0.15) P-438(0.42x0.40x0.29)		P-429(0.38x0.37x0.21) P-440(0.38x0.38x0.13) P-435(0.46x0.39x0.30)		
備考	P－４２７、P－４４２の覆土から土師器片が出土した。						

規模等の単位はｍ

第３０表　掘立柱建物址観察表（２）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位　　置	長径	短径	深さ	平面形態	断面形態	備　　考 （覆土層）
A-1号土坑 第 152図	N15W32, N15W33, N16W33	2.18	1.37	0.48	不整形	たらい状	1暗褐色砂質土層
A-2号土坑 第 152図	N10W21, N10W22	1.58	1.44	0.34	不整形	たらい状	1暗褐色砂質土層
A-3号土坑 第 152図 第 306図	N1W15, N2W16, N2W15	2.17	2.16	1.57	隅丸方形	すり鉢状	井戸址 1茶黄褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層 3暗褐色砂質土層 4暗褐色砂質土層 （炭化物を含む） 5明褐色砂質土層 （橙色石を含む） 6暗褐色粘土層
A-4号土坑 第 152図	N6W23, N7W23	1.32	1.16	0.14	不整形	たらい状	1暗褐色砂質土層
A-5号土坑 第 152図 第 307図	N10W26, N10W27, N11W26 N11W27, N11W28,	4.43	3.34	0.17	隅丸長方形	たらい状	1暗褐色砂質土層
A-6号土坑 第 153図 第 308図	N7W24, N7W25, N7W26 N8W24, N8W25, N8W26 N9W24, N9W25	5.40	2.80	0.21	不整形	たらい状	1暗褐色砂質土層

平成4年度（1993年度）発掘

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位　　置	長径	短径	深さ	平面形態	断面形態	備　　考 （覆土層）
A-7号土坑 第 153図	N10W0	1.46	1.06	0.16	不整形	たらい状	1暗褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層
A-8号土坑 第 153図	N10E1	0.98	?	0.30	隅丸長方形	たらい状	1暗褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層
A-9号土坑 第 153図	N10E2, N10E2	1.30	0.93	0.30	不整形	たらい状	1暗褐色砂質土層
A-10号土坑 第 153図	N8E2	1.06	0.95	0.13	楕円形	たらい状	1暗褐色砂質土層 （黄砂を含む） 2明茶褐色砂質土層
A-11号土坑 第 153図 第 309図	N0W2	1.06	0.96	0.10	不整形	たらい状	1暗褐色砂質土層
A-12号土坑 第 153図	S9W4, S9W5	1.25	1.14	0.31	不整形	たらい状	1暗褐色砂質土層
A-13号土坑 第 154図	S4W1, S4W2	1.04	0.78	0.09	楕円形	たらい状	1暗褐色砂質土層 2茶色砂質土層（灰色混り）
A-14号土坑 第 154図 第 310図	S4W2	0.78	0.60	0.42	楕円形	たらい状	1茶色砂質土層 2暗褐色砂質土層

第31表　土坑観察表（1）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置	長径	短径	深さ	平面形態	断面形態	備考 (覆土層)
A-15号土坑 第154図 第311図	S5W3	1.24	0.98	0.27	楕円形	たらい状	1茶褐色砂質土層 2茶色砂質土層(石を含む)
A-16号土坑 第154図 第312図	S15E1, S16E1, S16W0	?	2.58	0.30	不整形	たらい状	1暗褐色砂質土層 2茶色砂質土層
A-17号土坑 第154図		2.61	1.18	0.40	不整形	たらい状	1茶褐色砂質土層 2暗褐色砂質土層
B-401号土坑 第155図 第313図	S11E22, S11E23	2.04	2.09	0.20	円形	たらい状	1茶褐色砂質土層 (橙色小石を含む) 2茶褐色砂質土層 (橙色小石を含む) 3暗褐色砂質土層
B-402号土坑 第155図 第314図	S12E21, S12E22	3.00	2.76	0.20	隅丸方形	たらい状	1暗褐色砂質土層 2暗褐色砂質土層 (茶色土を含む)
B-403号土坑 第155図 第315図	S15E22, S16E22	1.65	1.48	0.52	楕円形	たらい状	1茶褐色砂質土層 2茶褐色砂質土層 (炭を含む) 3茶色砂質土層
B-404号土坑 第155図 第316図	S15E25, S16E25	2.78	1.41	0.14	楕円形	たらい状	1明褐色砂質土層 2褐色砂質土層 (茶色土を含む)
B-405号土坑 第155図 第317図	S21E28, S21E29 S22E28, S22E29	3.18	2.60	0.39	隅丸長方形	たらい状	1黄茶色砂質土層 2暗褐色砂質土層 3茶褐色砂質土層 (黄色土を含む)

(長径等の単位はm)

第32表　土坑観察表(2)

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－ 1号ピット	第 156図	54	53	29	
2号ピット	第 156図	50	41	23	
3号ピット	第 158図	26	22	12	
4号ピット	第 158図	52	42	13	弥生土器破片出土
5号ピット	第 156図	23	20	17	
6号ピット	第 156図	60	44	23	
7号ピット	第 158図	46	40	18	
8号ピット	第 158図	43	40	19	
9号ピット	第 158図	30	26	22	
10号ピット	第 156図	34	30	15	
11号ピット	第 156図	31	30	14	
12号ピット	第 156図	32	27	13	
13号ピット	第 156図	70	68	20	
14号ピット	第 156図	42	40	28	
15号ピット	第 158図	40	35	16	
16号ピット	第 158図	36	34	25	
17号ピット	第 158図	34	28	8	
18号ピット	第 159図	22	10	8	
19号ピット	第 158図	45	40	20	
20号ピット	第 159図	26	24	10	
26号ピット	第 159図	26	25	13	
27号ピット	第 159図	55	52	10	
28号ピット	第 159図	48	46	27	
29号ピット	第 156図	14	13	6	
30号ピット	第 156図	22	22	19	
31号ピット	第 156図	28	27	6	
32号ピット	第 156図	16	15	10	
33号ピット	第 156図	30	29	16	
34号ピット	第 156図	38	35	18	
35号ピット	第 156図	38	37	12	弥生土器破片出土
36号ピット	第 156図	38	35	12	
37号ピット	第 156図	42	42	10	
38号ピット	第 157図	38	36	15	
39号ピット	第 157図	44	39	8	
40号ピット	第 157図	27	24	8	
41号ピット	第 157図	25	24	6	
42号ピット	第 157図	45	38	9	
43号ピット	第 157図	51	43	10	
44号ピット	第 157図	23	11	10	
45号ピット	第 157図	29	28	14	
46号ピット	第 158図	50	48	30	

第３３表　ピット観察表（１）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－47号ピット	第 161図	56	52	22	
48号ピット	第 161図	26	24	21	
49号ピット	第 161図	21	19	7	
50号ピット	第 161図	25	20	9	
51号ピット	第 161図	30	30	5	
52号ピット	第 161図	32	31	8	
53号ピット	第 161図	30	30	6	
54号ピット	第 161図	25	24	6	
55号ピット	第 161図	37	33	21	
56号ピット	第 161図	29	28	20	須恵器、土師器破片出土
57号ピット	第 161図	62	57	22	弥生土器、土師器破片出土
58号ピット	第 161図	49	47	34	土師器破片出土
59号ピット	第 161図	53	48	27	
60号ピット	第 161図	34	30	27	
61号ピット	第 161図	29	18	18	
62号ピット	第 161図	44	39	20	
63号ピット	第 161図	23	20	8	
64号ピット	第 161図	32	29	17	
65号ピット	第 161図	68	58	27	
66号ピット	第 161図	38	32	18	弥生土器破片出土
67号ピット	第 161図	47	40	24	
68号ピット	第 161図	56	42	19	弥生土器破片出土
69号ピット	第 161図	20	18	7	土師器破片出土
70号ピット	第 158図	60	40	20	
71号ピット	第 158図	40	35	14	
72号ピット	第 158図	37	34	24	
73号ピット	第 158図	36	32	12	
74号ピット	第 158図	70	62	29	弥生土器破片出土
75号ピット	第 161図	39	39	14	弥生甕（図版番号第 318図）土師器破片出土
76号ピット	第 161図	48	37	16	
77号ピット	第 161図	32	27	20	
78号ピット	第 161図	39	34	18	
79号ピット	第 161図	47	42	16	
86号ピット	第 163図	28	24	7	
89号ピット	第 158図	46	43	17	
91号ピット	第 158図	60	54	40	弥生土器破片出土
92号ピット	第 158図	40	35	28	
93号ピット	第 163図	33	30	6	
94号ピット	第 159図	56	56	24	
96号ピット	第 161図	32	31	23	
99号ピット	第 161図	42	40	29	縄文土器、弥生土器破片出土

第３４表　ピット観察表（２）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－100 号ピット	第 162図	43	39	29	
102 号ピット	第 162図	37	32	26	
103 号ピット	第 162図	40	32	17	
104 号ピット	第 162図	44	42	24	
105 号ピット	第 159図	26	24	14	
106 号ピット	第 159図	27	26	5	弥生土器破片出土
107 号ピット	第 159図	25	24	11	
108 号ピット	第 159図	26	24	12	土師器破片出土
117 号ピット	第 159図	28	27	14	
118 号ピット	第 159図	60	49	18	弥生土器破片出土
119 号ピット	第 159図	29	28	14	
120 号ピット	第 159図	26	22	18	土師器破片出土
121 号ピット	第 159図	20	18	14	
122 号ピット	第 159図	54	48	24	
123 号ピット	第 159図	20	19	22	
124 号ピット	第 157図	49	39	15	
125 号ピット	第 157図	49	45	19	
126 号ピット	第 160図	48	38	29	弥生甕（図版番号第 318号）弥生土器破片出土
127 号ピット	第 160図	36	32	24	弥生壺（図版番号第 318号）
128 号ピット	第 160図	40	40	14	
129 号ピット	第 160図	36	34	10	
130 号ピット	第 160図	80	72	38	土師甕（図版番号第 318号）縄文土器破片出土
131 号ピット	第 160図	30	28	17	
132 号ピット	第 160図	24	21	21	弥生土器破片出土
133 号ピット	第 163図	62	60	52	土師器、須恵器破片出土
134 号ピット	第 163図	20	20	17	
135 号ピット	第 163図	27	26	28	
136 号ピット	第 160図	28	26	11	
137 号ピット	第 160図	30	29	19	
138 号ピット	第 160図	19	18	7	
139 号ピット	第 160図	26	24	12	
140 号ピット	第 157図	22	21	8	
141 号ピット	第 163図	20	19	7	
142 号ピット	第 163図	16	15	4	
143 号ピット	第 163図	16	13	17	
144 号ピット	第 163図	45	44	30	弥生破片出土
145 号ピット	第 162図	26	25	18	
146 号ピット	第 162図	34	28	10	
147 号ピット	第 162図	36	34	10	弥生破片出土
148 号ピット	第 162図	22	20	6	
149 号ピット	第 162図	28	20	6	

第３５表　ピット観察表（３）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－150 号ピット	第 162図	38	31	12	
151 号ピット	第 162図	30	29	11	
152 号ピット	第 162図	34	34	11	
153 号ピット	第 162図	28	26	20	
154 号ピット	第 162図	32	31	7	
155 号ピット	第 162図	35	34	20	
156 号ピット	第 162図	39	35	18	
157 号ピット	第 163図	58	56	40	
158 号ピット	第 166図	32	32	17	
159 号ピット	第 166図	32	30	18	
160 号ピット	第 166図	36	34	13	
161 号ピット	第 166図	28	27	14	
162 号ピット	第 166図	30	28	25	
163 号ピット	第 166図	24	24	9	
164 号ピット	第 166図	32	30	15	
165 号ピット	第 166図	56	50	34	弥生土器破片多数出土
166 号ピット	第 166図	28	26	11	
167 号ピット	第 165図	28	26	12	
168 号ピット	第 165図	24	24	29	
169 号ピット	第 165図	42	40	21	
170 号ピット	第 165図	40	38	34	土師器破片、弥生土器破片出土
171 号ピット	第 165図	42	36	24	
172 号ピット	第 165図	46	44	30	
173 号ピット	第 165図	34	33	29	
174 号ピット	第 165図	44	43	27	
175 号ピット	第 165図	42	38	27	土師器破片出土
176 号ピット	第 165図	48	46	32	土師器破片、弥生土器破片出土
177 号ピット	第 165図	43	39	10	土師器破片出土
178 号ピット	第 165図	38	30	20	
179 号ピット	第 165図	20	20	8	
180 号ピット	第 165図	32	29	11	土師器破片出土
181 号ピット	第 165図	24	20	6	
182 号ピット	第 165図	58	36	6	
183 号ピット	第 165図	32	30	21	
184 号ピット	第 165図	51	45	32	弥生土器破片出土
185 号ピット	第 165図	30	27	8	
186 号ピット	第 165図	24	23	14	
187 号ピット	第 165図	30	28	20	
188 号ピット	第 162図	40	34	16	
189 号ピット	第 161図	31	30	22	
190 号ピット	第 161図	22	19	6	

第３６表　ピット観察表（４）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－191 号ピット	第 161図	28	28	19	
192 号ピット	第 161図	34	32	19	
193 号ピット	第 161図	70	56	46	
194 号ピット	第 161図	54	50	20	
195 号ピット	第 161図	54	52	30	土師器破片出土
196 号ピット	第 168図	36	32	12	弥生土器破片出土
197 号ピット	第 168図	40	39	28	
198 号ピット	第 168図	47	40	31	弥生土器、土師器破片出土
199 号ピット	第 168図	40	39	27	弥生土器破片出土
200 号ピット	第 168図	38	36	10	
202 号ピット	第 168図	41	39	35	
203 号ピット	第 171図	32	30	25	
204 号ピット	第 171図	30	28	20	
205 号ピット	第 171図	41	40	24	
206 号ピット	第 171図	18	16	19	
207 号ピット	第 171図	30	28	21	
208 号ピット	第 171図	36	32	20	
209 号ピット	第 171図	35	32	27	
210 号ピット	第 168図	24	22	8	
211 号ピット	第 168図	28	27	8	
212 号ピット	第 168図	40	38	20	
213 号ピット	第 168図	46	46	33	弥生土器破片出土
214 号ピット	第 168図	20	20	8	
215 号ピット	第 168図	44	42	53	弥生土器破片出土
216 号ピット	第 168図	28	28	22	土師器破片出土
217 号ピット	第 168図	41	36	30	
218 号ピット	第 168図	28	24	6	
219 号ピット	第 168図	24	22	14	土師器、須恵器破片出土
220 号ピット	第 168図	18	17	19	
221 号ピット	第 168図	20	19	5	
222 号ピット	第 168図	40	36	41	弥生土器破片出土
223 号ピット	第 168図	26	22	11	
224 号ピット	第 168図	34	33	32	
225 号ピット	第 169図	20	20	14	
226 号ピット	第 169図	18	18	8	
227 号ピット	第 169図	20	16	17	
228 号ピット	第 169図	17	16	24	
229 号ピット	第 169図	23	22	17	土師器破片出土
230 号ピット	第 169図	20	18	10	
231 号ピット	第 169図	23	22	27	
232 号ピット	第 169図	15	14	10	

第３７表　ピット観察表（５）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－233 号ピット	第 169図	22	22	6	
234 号ピット	第 169図	24	23	11	
235 号ピット	第 169図	26	24	29	
236 号ピット	第 169図	25	24	12	
237 号ピット	第 169図	27	26	20	
238 号ピット	第 171図	27	26	32	弥生土器破片出土
239 号ピット	第 171図	40	38	22	弥生土器破片出土
240 号ピット	第 171図	44	43	26	
241 号ピット	第 171図	25	24	18	
242 号ピット	第 169図	26	23	14	
243 号ピット	第 169図	30	26	10	
244 号ピット	第 169図	32	30	12	
245 号ピット	第 169図	34	32	10	
246 号ピット	第 169図	26	24	9	
247 号ピット	第 169図	22	20	18	
248 号ピット	第 169図	30	29	20	弥生土器破片出土
249 号ピット	第 169図	24	22	8	
250 号ピット	第 169図	29	28	19	
251 号ピット	第 166図	26	24	8	
252 号ピット	第 166図	18	15	12	
253 号ピット	第 166図	52	44	40	
254 号ピット	第 166図	20	20	15	
255 号ピット	第 166図	22	20	26	
256 号ピット	第 166図	20	15	20	
257 号ピット	第 166図	32	30	28	
258 号ピット	第 166図	24	22	12	
259 号ピット	第 166図	34	32	25	
260 号ピット	第 166図	43	42	27	
261 号ピット	第 163図	35	35	24	
262 号ピット	第 163図	46	46	42	
263 号ピット	第 163図	40	38	24	弥生土器破片出土
264 号ピット	第 163図	24	22	20	
265 号ピット	第 163図	36	34	42	土師器蓋出土（図版番号第 318図）
266 号ピット	第 163図	28	27	19	
267 号ピット	第 163図	50	48	42	弥生土器、土師器破片出土
268 号ピット	第 163図	46	42	22	
269 号ピット	第 163図	37	36	12	
270 号ピット	第 163図	21	20	16	
271 号ピット	第 163図	20	17	18	弥生土器破片出土
272 号ピット	第 163図	25	24	6	
273 号ピット	第 169図	16	15	11	

第３８表　ピット観察表（６）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－274 号ピット	第 171図	43	35	22	土師器破片出土
275 号ピット	第 164図	28	25	6	
276 号ピット	第 164図	32	30	10	
277 号ピット	第 164図	80	70	12	
278 号ピット	第 164図	22	22	8	
279 号ピット	第 164図	74	60	18	
280 号ピット	第 164図	48	44	11	
281 号ピット	第 164図	37	34	24	土師器破片出土
282 号ピット	第 167図	50	49	24	
283 号ピット	第 167図	32	30	12	
284 号ピット	第 167図	21	20	12	
285 号ピット	第 164図	22	22	23	
286 号ピット	第 167図	22	21	12	
287 号ピット	第 167図	24	23	12	土師器、須恵器破片出土
288 号ピット	第 167図	24	21	18	
289 号ピット	第 167図	22	20	6	
290 号ピット	第 167図	26	23	29	
291 号ピット	第 167図	22	22	16	
292 号ピット	第 167図	34	32	14	
293 号ピット	第 167図	22	22	22	
294 号ピット	第 167図	32	28	24	
295 号ピット	第 167図	22	20	16	
296 号ピット	第 167図	32	30	18	土師器、須恵器破片出土
297 号ピット	第 167図	24	23	19	
298 号ピット	第 167図	40	40	9	
299 号ピット	第 167図	30	28	12	
300 号ピット	第 167図	18	18	10	
301 号ピット	第 167図	30	29	14	
302 号ピット	第 167図	40	38	20	
303 号ピット	第 167図	36	35	20	須恵器破片出土
304 号ピット	第 166図	46	40	28	弥生土器破片出土
305 号ピット	第 166図	44	41	23	
306 号ピット	第 166図	103	68	40	須恵器蓋（[illegible]第 318図）　土師器坏（[illegible]第 318図）　須恵器破片出土
307 号ピット	第 166図	40	38	34	
308 号ピット	第 166図	46	45	35	
309 号ピット	第 166図	40	34	38	
310 号ピット	第 169図	44	43	41	須恵器破片出土
311 号ピット	第 169図	58	53	35	
312 号ピット	第 172図	48	47	11	
313 号ピット	第 172図	20	18	6	
314 号ピット	第 172図	30	24	9	

第３９表　ピット観察表（７）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－315 号ピット	第 172図	22	20	9	
316 号ピット	第 172図	60	48	10	
317 号ピット	第 172図	52	50	8	弥生土器破片出土
318 号ピット	第 172図	72	54	8	
319 号ピット	第 172図	58	48	18	
320 号ピット	第 172図	50	43	31	
321 号ピット	第 172図	38	34	39	
322 号ピット	第 172図	46	38	28	
323 号ピット	第 172図	50	48	28	
324 号ピット	第 171図	48	45	16	
325 号ピット	第 170図	24	20	14	
326 号ピット	第 170図	26	22	12	
327 号ピット	第 170図	19	18	12	
328 号ピット	第 170図	37	34	19	弥生土器破片出土
329 号ピット	第 170図	35	31	6	
330 号ピット	第 170図	62	60	37	弥生土器破片出土
331 号ピット	第 170図	30	28	28	
332 号ピット	第 170図	24	22	10	
333 号ピット	第 170図	28	27	12	
334 号ピット	第 170図	28	26	8	
335 号ピット	第 170図	28	25	11	
336 号ピット	第 170図	24	22	7	
337 号ピット	第 170図	30	28	10	
338 号ピット	第 167図	30	30	14	弥生土器、土師器破片出土
339 号ピット	第 171図	28	28	8	
340 号ピット	第 157図	40	37	9	
341 号ピット	第 171図	28	24	13	
342 号ピット	第 164図	26	24	12	
343 号ピット	第 170図	24	20	8	
344 号ピット	第 168図	40	39	18	
345 号ピット	第 162図	54	45	7	
346 号ピット	第 159図	28	27	8	
347 号ピット	第 157図	28	28	10	
348 号ピット	第 159図	56	50	16	
349 号ピット	第 166図	42	40	20	

平成４年度（１９９２年度）発掘

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－350 号ピット	第 176図	26	25	14	
351 号ピット	第 176図	30	28	14	
352 号ピット	第 176図	22	18	18	
353 号ピット	第 176図	32	28	22	

第４０表　ピット観察表（8）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－354 号ピット	第 176図	44	34	20	
355 号ピット	第 176図	43	40	20	
356 号ピット	第 176図	44	30	30	
357 号ピット	第 176図	68	45	28	
358 号ピット	第 176図	30	27	18	
359 号ピット	第 176図	21	20	22	
360 号ピット	第 176図	21	20	17	
361 号ピット	第 176図	26	25	17	
362 号ピット	第 176図	52	45	22	土師器破片出土
363 号ピット	第 176図	63	41	20	
364 号ピット	第 176図	24	23	16	
365 号ピット	第 176図	45	30	23	
366 号ピット	第 180図	28	24	12	
367 号ピット	第 180図	32	30	30	
368 号ピット	第 176図	39	31	21	弥生土器破片出土
369 号ピット	第 176図	24	23	19	
370 号ピット	第 176図	29	29	18	
371 号ピット	第 176図	31	31	18	
372 号ピット	第 176図	72	44	19	
373 号ピット	第 180図	46	42	10	
374 号ピット	第 180図	33	31	35	
375 号ピット	第 180図	31	30	14	
376 号ピット	第 176図	22	22	9	
377 号ピット	第 176図	25	23	8	
378 号ピット	第 176図	30	29	8	
379 号ピット	第 176図	39	32	18	
380 号ピット	第 176図	38	38	14	
381 号ピット	第 176図	38	34	11	
382 号ピット	第 180図	37	36	13	
383 号ピット	第 176図	32	30	14	
384 号ピット	第 176図	33	31	16	
385 号ピット	第 180図	38	36	20	
386 号ピット	第 180図	28	28	14	
387 号ピット	第 180図	42	37	31	
388 号ピット	第 180図	54	50	23	
389 号ピット	第 180図	44	43	25	
390 号ピット	第 180図	46	40	14	
391 号ピット	第 180図	48	44	24	
392 号ピット	第 180図	54	43	19	
393 号ピット	第 180図	42	41	24	
394 号ピット	第 180図	42	42	12	

第４１表　ピット観察表（９）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－395 号ピット	第 180図	69	47	34	
396 号ピット	第 180図	52	50	10	
397 号ピット	第 180図	42	34	18	
398 号ピット	第 180図	32	29	38	土師器破片出土
399 号ピット	第 180図	24	23	21	
400 号ピット	第 180図	22	20	17	
401 号ピット	第 180図	48	37	21	
402 号ピット	第 180図	44	30	10	
403 号ピット	第 180図	38	36	20	
404 号ピット	第 180図	34	26	18	
405 号ピット	第 180図	48	40	32	弥生土器破片出土
406 号ピット	第 180図	28	26	13	石包丁破片出土
407 号ピット	第 182図	35	26	20	
408 号ピット	第 182図	26	26	22	
410 号ピット	第 182図	40	35	22	
411 号ピット	第 182図	41	38	13	
412 号ピット	第 182図	31	28	16	
413 号ピット	第 182図	30	28	11	
414 号ピット	第 182図	44	42	14	
415 号ピット	第 182図	43	26	14	
416 号ピット	第 182図	30	27	10	
417 号ピット	第 180図	50	48	12	
418 号ピット	第 175図	52	47	17	
419 号ピット	第 182図	53	43	20	
420 号ピット	第 182図	24	23	13	
421 号ピット	第 182図	32	30	14	
422 号ピット	第 182図	42	37	13	
423 号ピット	第 182図	47	46	20	
424 号ピット	第 182図	35	35	30	
425 号ピット	第 182図	27	27	31	弥生土器破片出土
426 号ピット	第 182図	43	37	18	
428 号ピット	第 182図	36	32	16	
431 号ピット	第 180図	39	34	26	
433 号ピット	第 180図	27	25	12	
434 号ピット	第 180図	40	39	11	
436 号ピット	第 180図	38	36	20	
437 号ピット	第 182図	33	29	9	
439 号ピット	第 182図	32	31	12	
441 号ピット	第 182図	33	32	7	
443 号ピット	第 182図	29	28	14	
444 号ピット	第 181図	28	26	14	

第４２表　ピット観察表（１０）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－445 号ピット	第 181図	32	31	9	土師器破片出土
446 号ピット	第 181図	28	24	12	土師器破片出土
447 号ピット	第 180図	40	38	16	
448 号ピット	第 180図	37	32	15	
449 号ピット	第 181図	20	19	8	
450 号ピット	第 180図	16	15	4	
452 号ピット	第 180図	25	23	22	
453 号ピット	第 180図	18	16	14	弥生土器破片出土
462 号ピット	第 176図	50	42	16	
463 号ピット	第 176図	33	31	18	
464 号ピット	第 176図	48	36	12	
465 号ピット	第 173図	26	24	7	
466 号ピット	第 176図	44	35	19	
467 号ピット	第 176図	32	28	14	
468 号ピット	第 176図	52	43	17	
469 号ピット	第 176図	44	42	18	
470 号ピット	第 176図	65	60	25	
471 号ピット	第 176図	44	42	18	
472 号ピット	第 176図	43	38	8	
473 号ピット	第 176図	64	60	20	
474 号ピット	第 176図	30	29	10	
475 号ピット	第 176図	36	31	11	
476 号ピット	第 176図	32	29	10	
477 号ピット	第 176図	50	34	14	
478 号ピット	第 176図	34	34	12	
479 号ピット	第 173図	22	20	22	
480 号ピット	第 173図	38	38	13	
481 号ピット	第 178図	46	45	24	
482 号ピット	第 178図	50	45	31	弥生土器破片出土
483 号ピット	第 178図	40	38	42	弥生土器破片出土
498 号ピット	第 173図	32	25	9	
499 号ピット	第 173図	43	41	8	
500 号ピット	第 173図	32	30	8	
501 号ピット	第 173図	20	20	5	
502 号ピット	第 173図	44	41	16	弥生土器破片出土
503 号ピット	第 173図	40	28	18	弥生土器破片出土
504 号ピット	第 173図	30	28	28	
505 号ピット	第 173図	51	49	20	
506 号ピット	第 173図	17	17	14	
507 号ピット	第 173図	16	14	6	
508 号ピット	第 173図	21	20	12	

第４３表　ピット観察表（１１）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－509 号ピット	第 173図	35	31	11	
510 号ピット	第 173図	52	38	27	
511 号ピット	第 173図	37	32	18	
512 号ピット	第 173図	75	60	18	
513 号ピット	第 173図	26	25	8	
514 号ピット	第 173図	52	38	26	弥生土器破片出土
515 号ピット	第 173図	23	22	20	
516 号ピット	第 173図	15	12	6	
517 号ピット	第 173図	20	18	6	
518 号ピット	第 173図	38	40	20	
519 号ピット	第 173図	56	47	18	縄文土器破片出土
520 号ピット	第 173図	22	21	14	
521 号ピット	第 173図	31	26	10	土師器破片出土
522 号ピット	第 178図	56	56	21	
523 号ピット	第 178図	60	58	33	
524 号ピット	第 178図	34	31	20	
525 号ピット	第 178図	33	32	29	
526 号ピット	第 178図	44	43	21	
527 号ピット	第 178図	27	22	16	
528 号ピット	第 178図	31	31	18	
529 号ピット	第 178図	31	29	10	
530 号ピット	第 178図	31	29	14	
531 号ピット	第 178図	41	39	7	
532 号ピット	第 181図	36	35	20	
533 号ピット	第 181図	40	36	16	
534 号ピット	第 181図	35	30	24	
535 号ピット	第 178図	33	31	13	
536 号ピット	第 178図	30	30	12	
537 号ピット	第 179図	38	35	20	
538 号ピット	第 179図	40	38	32	
539 号ピット	第 179図	30	28	20	
540 号ピット	第 178図	21	20	10	
541 号ピット	第 178図	29	27	16	
542 号ピット	第 178図	39	37	20	
543 号ピット	第 178図	30	28	20	
544 号ピット	第 179図	38	36	22	
545 号ピット	第 178図	36	35	12	
546 号ピット	第 178図	18	18	26	
547 号ピット	第 179図	37	36	18	
548 号ピット	第 179図	38	36	23	
549 号ピット	第 179図	33	30	17	

第４４表　ピット観察表（１２）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－550 号ピット	第 179図	44	43	14	
551 号ピット	第 179図	40	35	10	
552 号ピット	第 179図	37	36	12	
553 号ピット	第 179図	37	36	12	
554 号ピット	第 178図	44	42	14	
555 号ピット	第 179図	52	39	12	
556 号ピット	第 179図	74	61	14	縄文土器破片出土
557 号ピット	第 174図	44	44	20	
558 号ピット	第 174図	42	37	20	土師器破片出土
559 号ピット	第 174図	33	32	22	
560 号ピット	第 173図	20	19	8	
562 号ピット	第 173図	28	25	16	
563 号ピット	第 173図	45	39	13	
564 号ピット	第 173図	45	38	14	弥生土器破片出土
565 号ピット	第 174図	34	32	25	
566 号ピット	第 179図	38	30	14	
567 号ピット	第 174図	26	20	12	弥生土器破片出土
568 号ピット	第 179図	39	34	17	
569 号ピット	第 179図	33	30	20	
570 号ピット	第 179図	59	44	21	
571 号ピット	第 179図	38	32	12	
572 号ピット	第 178図	22	20	18	
573 号ピット	第 178図	19	17	18	
574 号ピット	第 175図	46	42	12	
575 号ピット	第 175図	30	27	15	弥生土器破片出土
576 号ピット	第 174図	38	38	13	
577 号ピット	第 174図	40	39	14	
578 号ピット	第 175図	42	40	24	須恵器坏(図版番号第 318図)　弥生土器破片出土
579 号ピット	第 174図	27	25	12	
580 号ピット	第 174図	38	34	11	
581 号ピット	第 174図	38	37	12	
582 号ピット	第 174図	29	28	12	
583 号ピット	第 174図	34	31	17	
584 号ピット	第 174図	38	36	17	
585 号ピット	第 175図	42	32	13	
586 号ピット	第 174図	50	42	20	
587 号ピット	第 177図	24	24	22	
588 号ピット	第 177図	32	32	24	
589 号ピット	第 177図	38	32	10	
590 号ピット	第 177図	48	33	20	
591 号ピット	第 177図	23	21	12	

第４５表　ピット観察表（１３）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
A－592 号ピット	第 177図	20	20	11	
593 号ピット	第 177図	36	34	14	
594 号ピット	第 175図	32	30	27	
595 号ピット	第 175図	26	26	32	
596 号ピット	第 174図	22	22	18	
597 号ピット	第 174図	28	26	13	土師器破片出土
598 号ピット	第 174図	40	39	20	
599 号ピット	第 174図	35	34	19	
600 号ピット	第 174図	82	56	42	弥生土器破片出土
601 号ピット	第 175図	49	45	22	
602 号ピット	第 175図	42	40	9	
603 号ピット	第 174図	40	37	25	
604 号ピット	第 174図	33	32	16	
605 号ピット	第 174図	54	52	12	
606 号ピット	第 174図	38	36	15	
607 号ピット	第 174図	40	40	12	
608 号ピット	第 176図	41	41	20	縄文土器破片出土
609 号ピット	第 175図	38	30	11	
610 号ピット	第 174図	62	43	20	
611 号ピット	第 175図	42	39	20	
612 号ピット	第 175図	84	68	20	
613 号ピット	第 175図	54	50	25	
614 号ピット	第 177図	70	44	20	弥生土器破片出土
615 号ピット	第 176図	33	32	19	
616 号ピット	第 177図	30	28	29	
617 号ピット	第 177図	49	47	8	
618 号ピット	第 177図	38	32	16	
619 号ピット	第 177図	23	20	27	
620 号ピット	第 177図	20	20	6	
621 号ピット	第 176図	28	27	12	
622 号ピット	第 177図	70	52	35	
623 号ピット	第 176図	50	28	20	土師坏（図版番号第 318図）出土
624 号ピット	第 176図	38	32	16	

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
B－401 号ピット	第 184図	24	22	14	
402 号ピット	第 184図	44	34	22	土師器破片出土
403 号ピット	第 184図	26	22	16	
404 号ピット	第 184図	32	28	13	
405 号ピット	第 184図	30	24	22	
406 号ピット	第 185図	20	17	15	

第４６表　ピット観察表（１４）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
B－407 号ピット	第 185図	24	20	12	
408 号ピット	第 185図	32	28	22	
409 号ピット	第 185図	34	32	12	土師器破片出土
410 号ピット	第 185図	44	42	42	
411 号ピット	第 185図	42	40	34	弥生土器破片出土
412 号ピット	第 185図	34	28	9	
413 号ピット	第 185図	44	40	30	土師器破片出土
414 号ピット	第 185図	32	26	16	
415 号ピット	第 185図	26	24	10	
416 号ピット	第 185図	20	18	4	
417 号ピット	第 185図	32	28	18	土師器破片出土
418 号ピット	第 184図	54	46	45	
419 号ピット	第 185図	26	22	32	
420 号ピット	第 185図	18	16	22	弥生土器破片出土
421 号ピット	第 184図	32	20	14	
422 号ピット	第 185図	20	14	8	
423 号ピット	第 185図	32	28	17	
424 号ピット	第 185図	56	26	14	
425 号ピット	第 185図	32	12	4	
426 号ピット	第 185図	20	16	4	
427 号ピット	第 185図	16	14	6	
428 号ピット	第 185図	28	25	8	
429 号ピット	第 185図	24	22	8	
430 号ピット	第 185図	24	20	12	
431 号ピット	第 185図	20	18	10	
432 号ピット	第 185図	18	16	14	土師器破片出土
433 号ピット	第 185図	22	18	16	土師器破片出土
434 号ピット	第 185図	26	22	14	
435 号ピット	第 188図	36	28	11	
436 号ピット	第 188図	24	20	12	
437 号ピット	第 188図	34	30	8	
438 号ピット	第 188図	28	12	4	
439 号ピット	第 188図	22	15	22	弥生土器破片出土
440 号ピット	第 188図	40	38	8	
441 号ピット	第 188図	36	32	10	
442 号ピット	第 188図	36	30	21	土師器破片出土
443 号ピット	第 188図	28	26	8	
444 号ピット	第 188図	32	28	16	
445 号ピット	第 188図	34	32	30	
446 号ピット	第 188図	18	16	4	
447 号ピット	第 188図	30	30	14	

第４７表　ピット観察表（１５）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
B－448 号ピット	第 188図	32	28	10	弥生土器、土師器破片出土
449 号ピット	第 188図	58	50	20	土師器破片出土
450 号ピット	第 190図	36	30	46	弥生土器破片出土
451 号ピット	第 190図	26	22	23	
452 号ピット	第 187図	46	36	28	
453 号ピット	第 187図	26	20	8	
454 号ピット	第 190図	22	18	8	
455 号ピット	第 190図	22	18	8	
456 号ピット	第 190図	36	30	9	
457 号ピット	第 190図	28	26	16	土師器破片出土
458 号ピット	第 190図	22	22	6	
459 号ピット	第 190図	28	26	6	
460 号ピット	第 191図	30	30	22	土師器破片出土
461 号ピット	第 191図	28	26	24	弥生土器破片出土
462 号ピット	第 191図	28	27	27	
463 号ピット	第 191図	28	20	16	
464 号ピット	第 191図	28	26	18	
465 号ピット	第 191図	26	24	10	
466 号ピット	第 191図	28	24	12	
467 号ピット	第 191図	22	21	10	
468 号ピット	第 191図	32	28	8	
469 号ピット	第 191図	30	26	14	
470 号ピット	第 191図	34	26	24	
471 号ピット	第 191図	28	26	12	弥生土器破片出土
472 号ピット	第 191図	42	40	17	
473 号ピット	第 191図	26	24	13	弥生土器破片出土
474 号ピット	第 191図	54	34	28	
475 号ピット	第 190図	28	26	16	弥生土器、土師器破片出土
476 号ピット	第 189図	54	40	22	
477 号ピット	第 189図	104	88	24	弥生土器破片出土
478 号ピット	第 189図	50	46	30	弥生土器破片出土
479 号ピット	第 189図	30	28	19	
480 号ピット	第 189図	50	37	10	
481 号ピット	第 190図	44	34	60	弥生土器破片出土
482 号ピット	第 190図	46	42	20	
483 号ピット	第 190図	23	22	18	土師器破片出土
484 号ピット	第 190図	50	48	10	
485 号ピット	第 190図	22	18	8	
486 号ピット	第 190図	26	21	20	
487 号ピット	第 190図	28	24	40	土師器破片出土
488 号ピット	第 187図	36	34	16	土師器破片出土

第４８表　ピット観察表（１６）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
B－489 号ピット	第 187図	62	52	22	弥生土器破片出土
490 号ピット	第 187図	28	24	8	
491 号ピット	第 187図	38	36	18	
492 号ピット	第 187図	30	26	8	
493 号ピット	第 187図	28	26	14	
494 号ピット	第 187図	15	14	6	
495 号ピット	第 187図	38	34	34	
496 号ピット	第 187図	42	36	20	
497 号ピット	第 187図	22	22	20	土師器破片出土
498 号ピット	第 187図	34	30	12	
499 号ピット	第 187図	22	18	10	
500 号ピット	第 187図	34	30	10	
501 号ピット	第 187図	26	24	14	土師器破片出土
502 号ピット	第 186図	36	30	22	
503 号ピット	第 187図	36	28	36	
504 号ピット	第 187図	30	26	6	
505 号ピット	第 187図	38	32	26	弥生土器破片出土
506 号ピット	第 187図	46	34	26	
507 号ピット	第 187図	46	42	34	
508 号ピット	第 186図	36	32	30	土師器破片出土
509 号ピット	第 187図	26	24	30	弥生土器破片出土
510 号ピット	第 187図	44	38	12	
511 号ピット	第 187図	34	26	24	土師器破片出土
512 号ピット	第 187図	44	30	20	
514 号ピット	第 183図	28	26	10	
515 号ピット	第 183図	72	40	4	土師器破片出土
516 号ピット	第 183図	34	22	10	
517 号ピット	第 184図	24	9	6	
518 号ピット	第 184図	26	18	14	土師器破片出土
519 号ピット	第 184図	30	22	10	弥生土器破片出土
520 号ピット	第 184図	34	26	9	
521 号ピット	第 184図	38	28	18	
522 号ピット	第 184図	36	32	16	
523 号ピット	第 184図	28	24	8	
524 号ピット	第 184図	26	22	16	
525 号ピット	第 184図	20	16	13	
526 号ピット	第 184図	42	38	22	弥生土器破片出土
527 号ピット	第 184図	36	34	24	
528 号ピット	第 184図	22	22	18	弥生土器破片出土
529 号ピット	第 184図	26	26	18	
530 号ピット	第 190図	22	20	16	土師器破片出土

第４９表　ピット観察表（１７）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
B－531 号ピット	第 184図	24	21	18	
532 号ピット	第 184図	28	25	18	
533 号ピット	第 184図	30	27	22	土師器破片出土
534 号ピット	第 183図	70	60	32	弥生土器破片出土
535 号ピット	第 183図	56	52	12	
536 号ピット	第 183図	30	24	20	
537 号ピット	第 183図	22	18	16	
538 号ピット	第 183図	30	26	30	
539 号ピット	第 183図	32	28	16	
540 号ピット	第 183図	32	28	22	弥生土器破片出土
541 号ピット	第 183図	32	26	21	
542 号ピット	第 183図	30	24	21	
543 号ピット	第 183図	40	34	26	弥生土器破片出土
544 号ピット	第 186図	16	14	14	土師器破片出土
545 号ピット	第 186図	28	24	13	土師器破片出土
546 号ピット	第 183図	86	66	16	
547 号ピット	第 183図	38	34	14	
548 号ピット	第 183図	26	22	20	弥生土器破片出土
549 号ピット	第 183図	38	34	30	弥生土器破片出土
550 号ピット	第 183図	36	32	34	土師器破片出土
551 号ピット	第 183図	28	26	12	
552 号ピット	第 183図	42	36	26	
553 号ピット	第 183図	30	26	28	
554 号ピット	第 186図	48	44	42	
555 号ピット	第 186図	48	42	26	土師器破片出土
556 号ピット	第 186図	34	28	22	弥生土器破片出土
557 号ピット	第 186図	24	23	14	
558 号ピット	第 186図	20	18	10	
559 号ピット	第 186図	55	42	34	弥生土器破片出土
560 号ピット	第 186図	36	32	30	弥生土器破片出土
561 号ピット	第 186図	36	32	28	
562 号ピット	第 186図	26	24	24	
563 号ピット	第 186図	38	36	12	
564 号ピット	第 186図	32	30	12	
565 号ピット	第 190図	27	22	28	
566 号ピット	第 190図	20	18	24	土師器破片出土
567 号ピット	第 190図	26	24	40	
568 号ピット	第 191図	34	32	26	弥生土器破片出土
569 号ピット	第 191図	42	38	28	土師器破片出土
570 号ピット	第 191図	34	26	18	
571 号ピット	第 191図	44	38	42	弥生土師器破片出土

第５０表　ピット観察表（１８）

遺構番号	図版番号	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	備考
B－572 号ピット	第 191図	62	40	12	
573 号ピット	第 189図	30	25	8	
574 号ピット	第 189図	30	28	12	
575 号ピット	第 189図	60	56	20	
576 号ピット	第 189図	20	16	31	
577 号ピット	第 189図	22	20	30	弥生土器破片出土
578 号ピット	第 189図	18	16	24	
579 号ピット	第 189図	34	30	32	弥生土器破片出土
580 号ピット	第 189図	36	32	54	弥生土器破片出土
581 号ピット	第 189図	48	32	22	弥生土器破片出土
582 号ピット	第 189図	36	34	28	弥生土器破片出土
583 号ピット	第 189図	34	30	22	弥生土器破片出土
584 号ピット	第 190図	26	24	8	
585 号ピット	第 190図	52	48	12	弥生土器破片出土
586 号ピット	第 190図	70	68	21	弥生土器破片出土
587 号ピット	第 190図	61	48	44	弥生土器破片出土
588 号ピット	第 184図	36	33	48	
589 号ピット	第 184図	26	18	18	

第５１表　ピット観察表（１９）

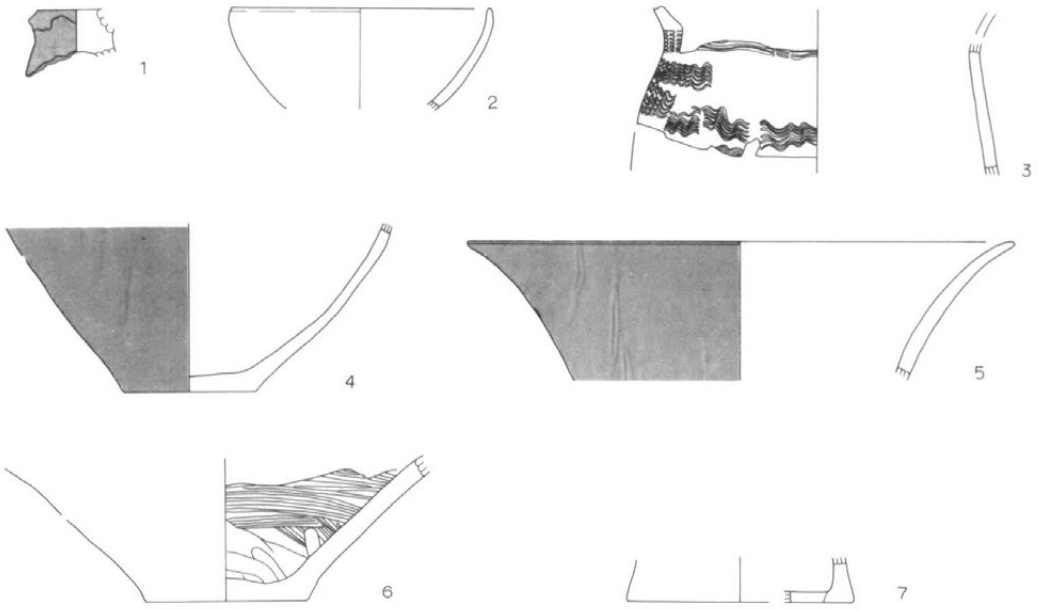
遺構番号 遺構図版 遺物図版	Ａ－１号円型周溝遺構 第 193図	位置 （グリッド）	N12W19, N12W20 N13W19, N13W20 N14W19, N14W20	規模	5.02×4.48 (4.16×3.70)	標高 周溝深	473.65～473.75 0.21～0.31
備考	（覆土層）１明褐色砂質土層　２灰褐色砂質土層　３茶褐色砂質土層　４暗褐色砂質土層 （遺物）黒曜石の石簇、弥生土器破片、土師器破片						
遺構番号 遺構図版 遺物図版	Ａ－１号　配石遺構 第 194図 第 304図	位置 （グリッド）	N4W18, N5W18, N5W19, N5W20, N6W19, N6W20 N6W21	規模 標高	11.2～0.40 473.00～473.32		
備考	（覆土層）１明褐色砂質土層　２明褐色弱粘質土層（灰色土を含む） （遺物）土師器坏、土師器、須恵器破片						

規模等の単位はｍ

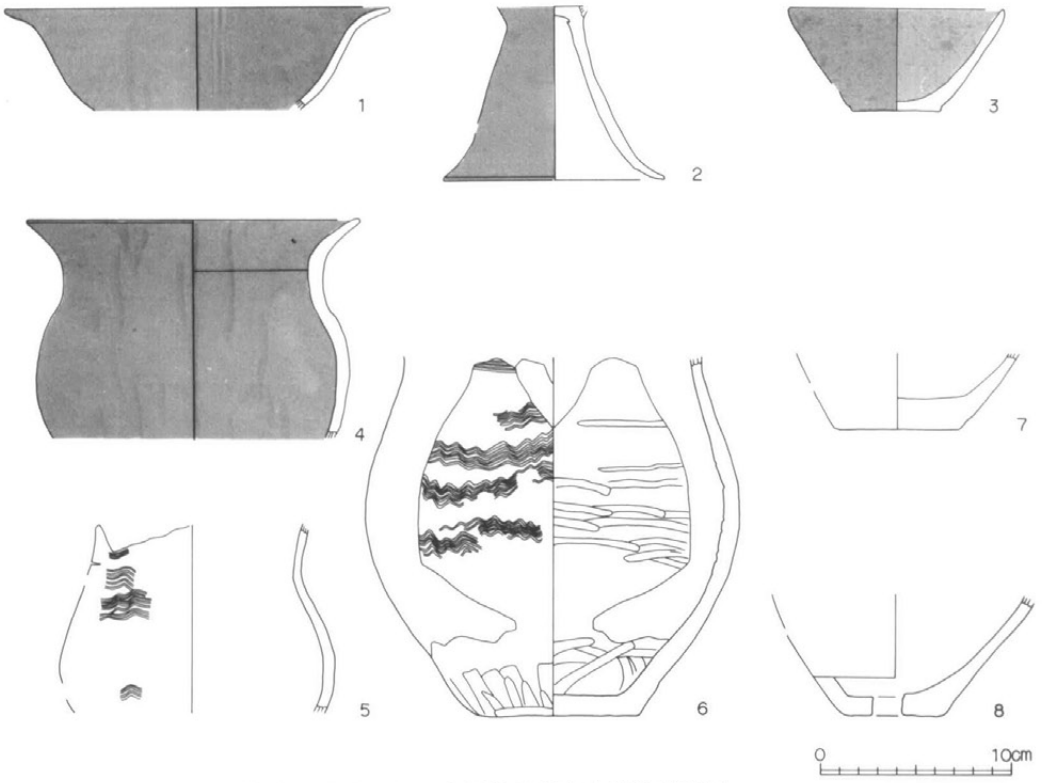
第５２表　その他

第３節　遺　物

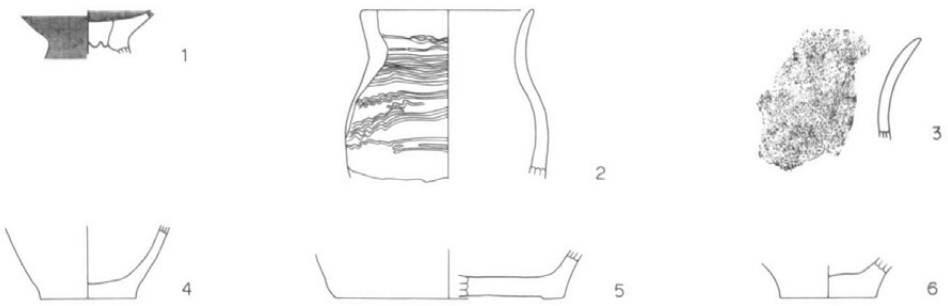
１　土器等



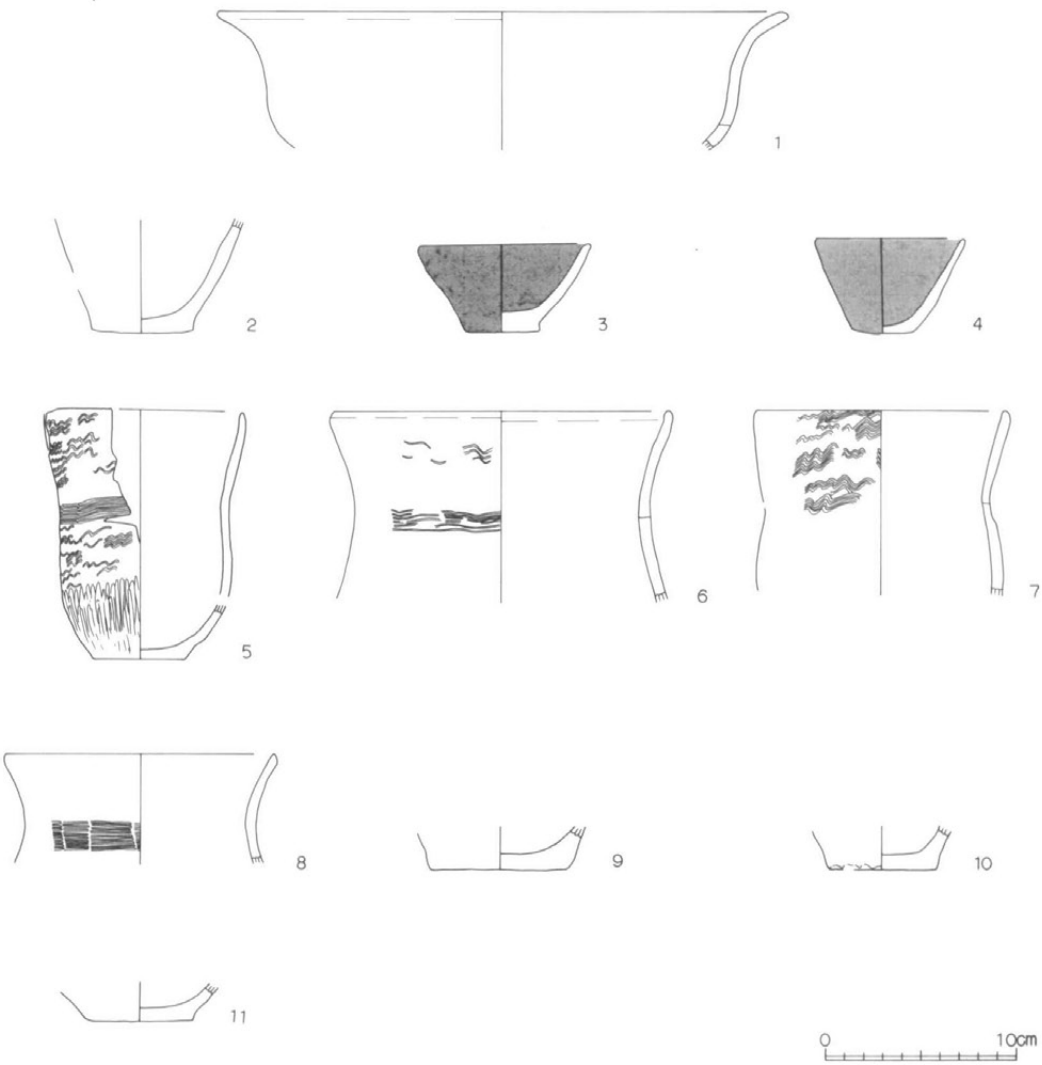
第１９４図　Ａ－１号住居址出土遺物実測図



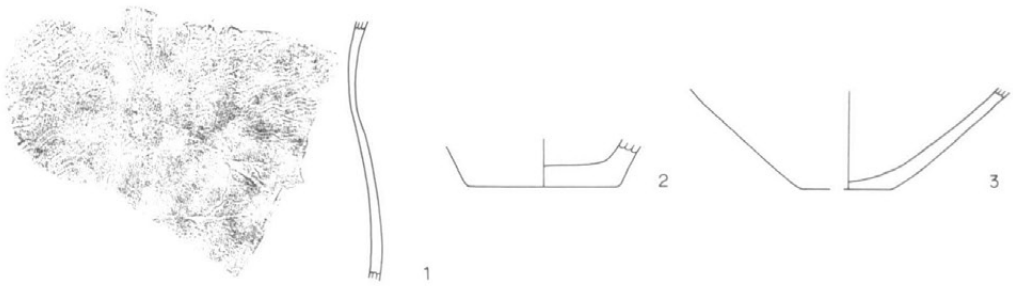
第１９５図　Ａ－２号住居址出土遺物実測図



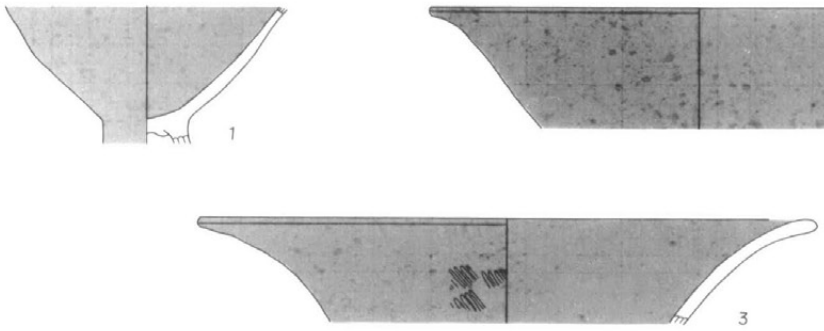
第１９６図　Ａ－３号住居址出土遺物実測図



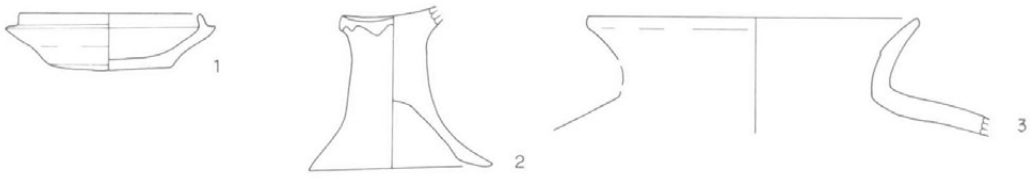
第１９７図　Ａ－４号住居址出土遺物実測図



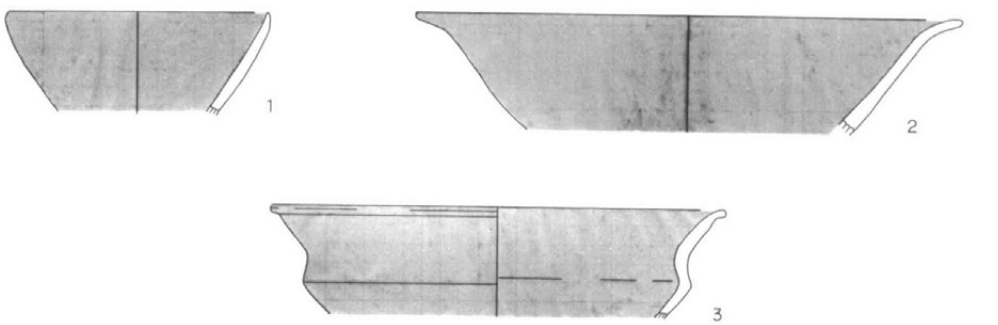
第１９８図　Ａ－５号住居址出土遺物実測図



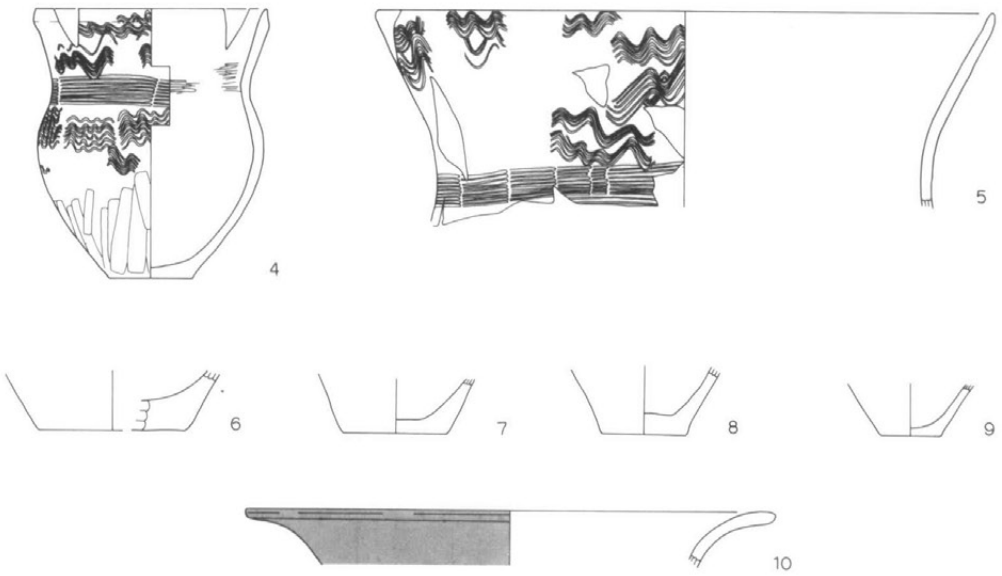
第１９９図　Ａ－６号住居址出土遺物実測図



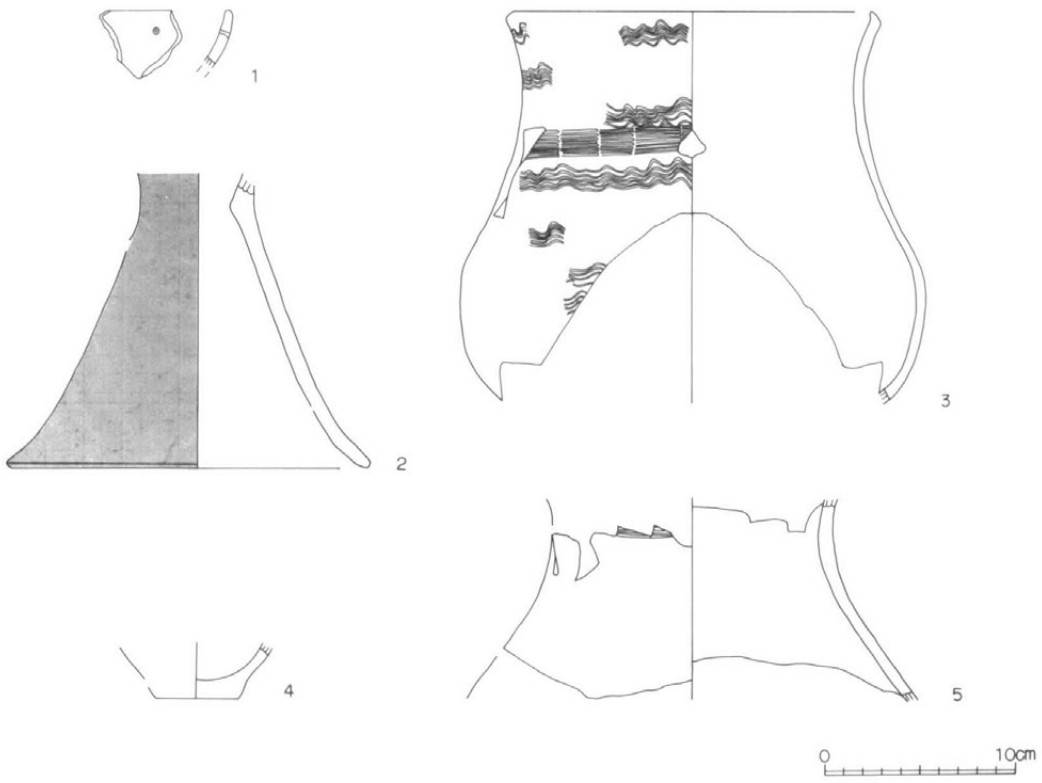
第２００図　Ａ－７号住居址出土遺物実測図



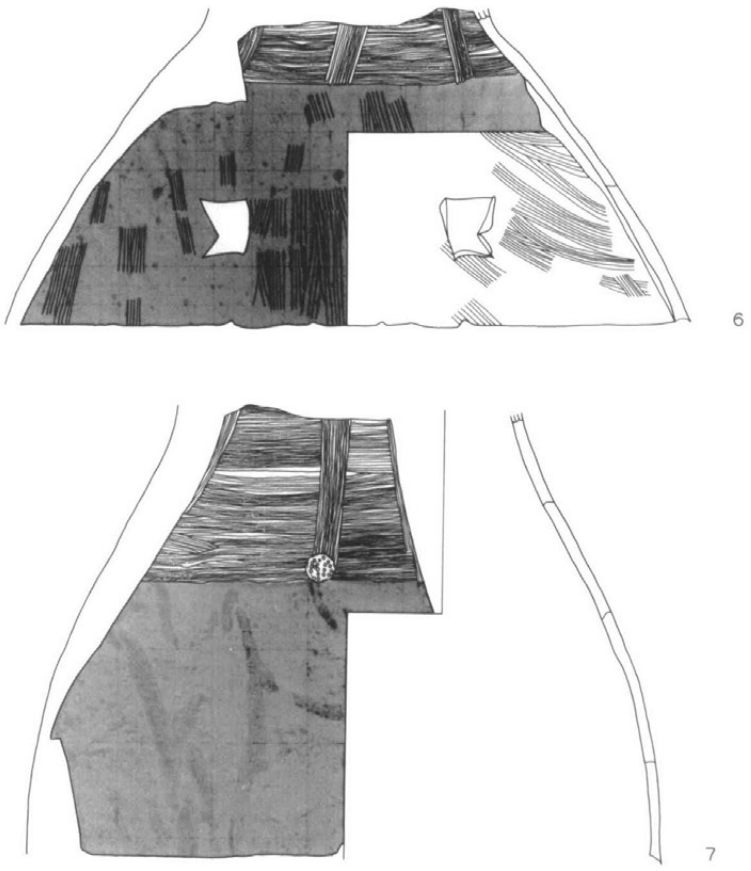
第２０１－１図　Ａ－８号住居址出土遺物実測図



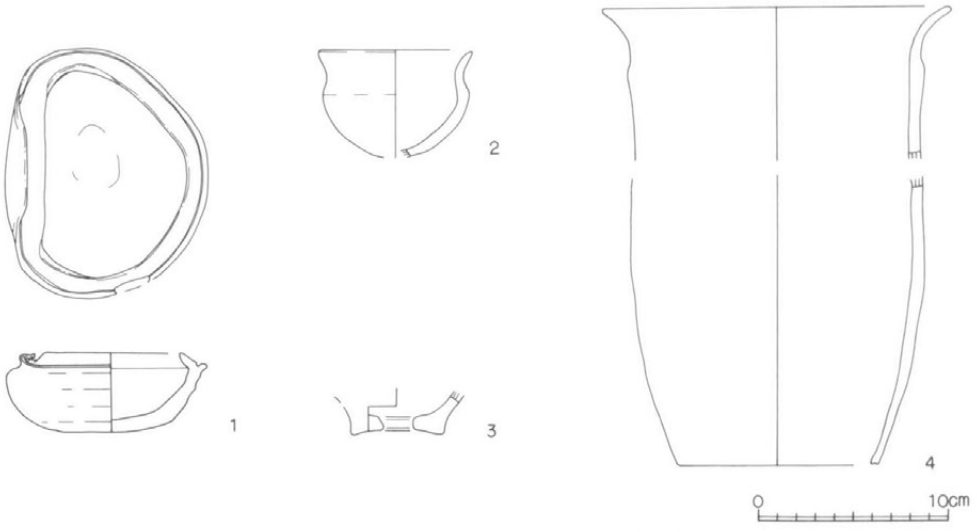
第２０１－２図　Ａ－８号住居址出土遺物実測図



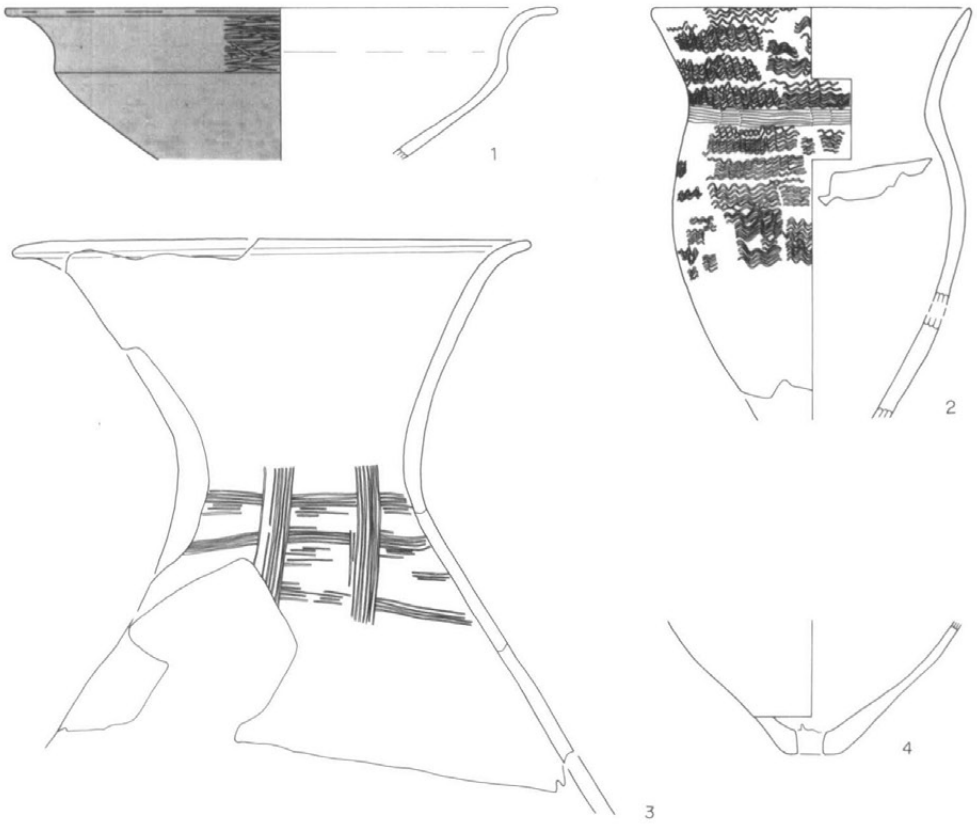
第２０２－１図　Ａ－９号住居址出土遺物実測図



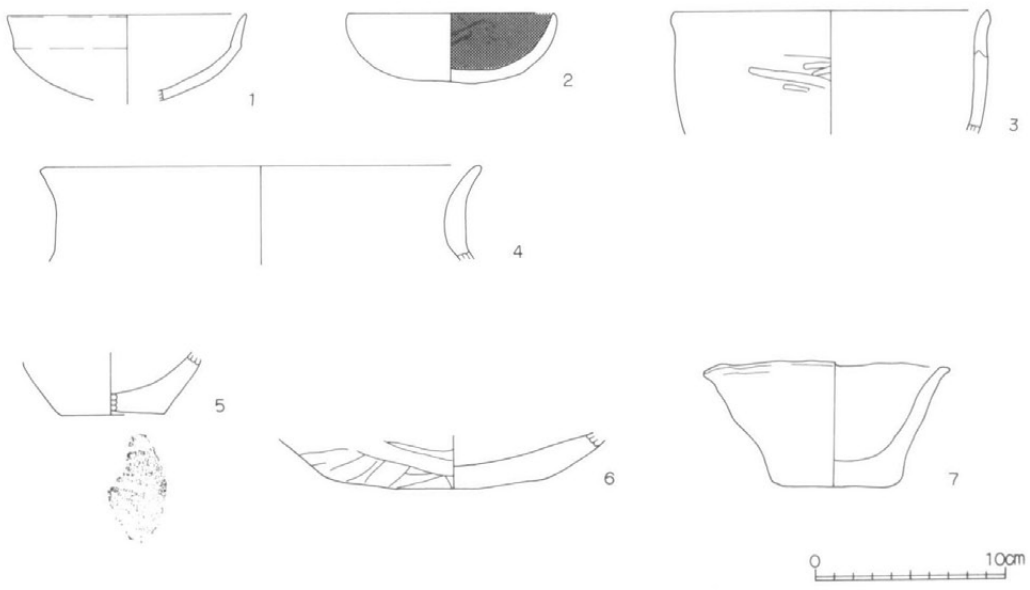
第２０２－２図　Ａ－９号住居址出土遺物実測図



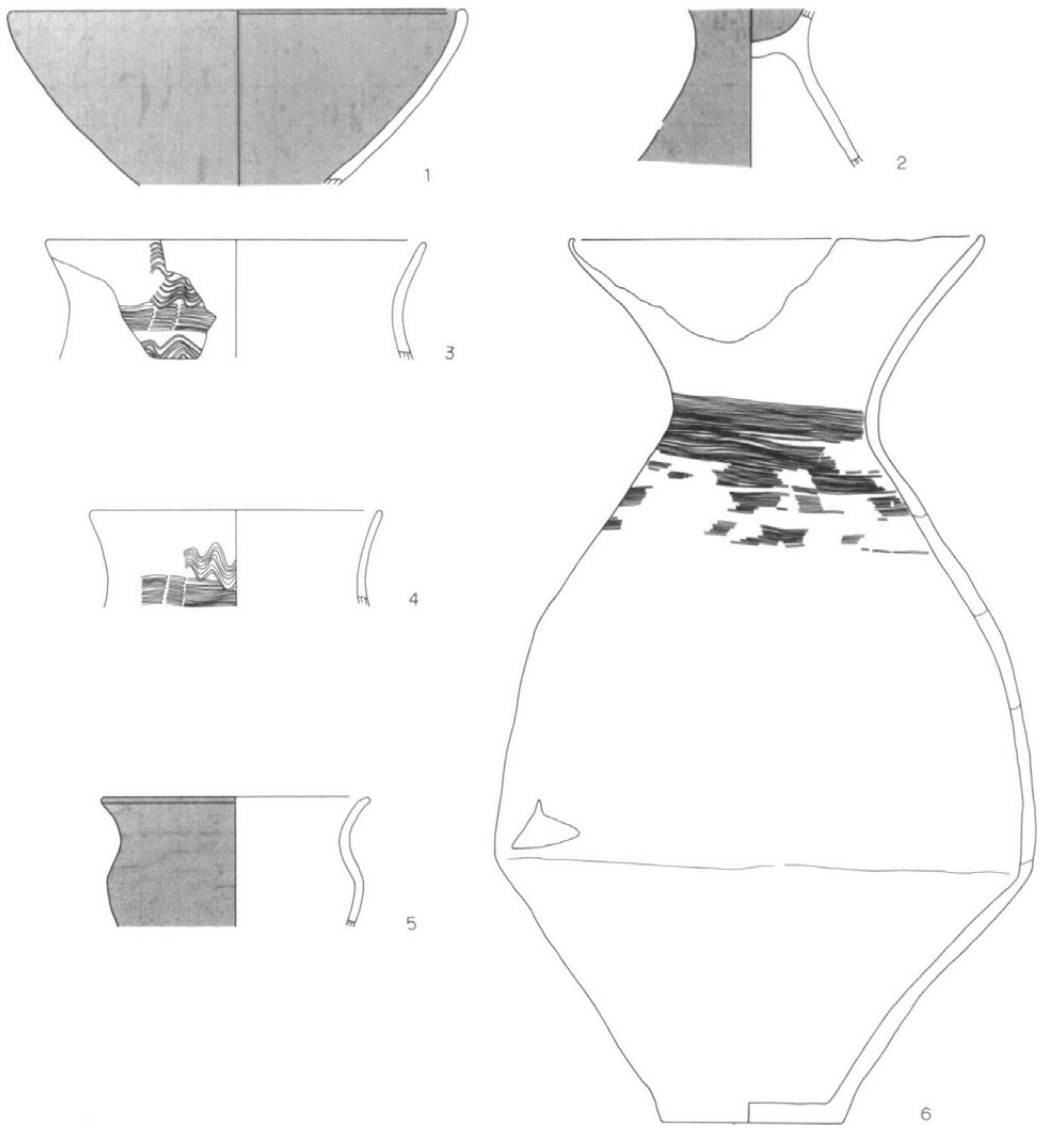
第２０３図　Ａ－１０号住居址出土遺物実測図



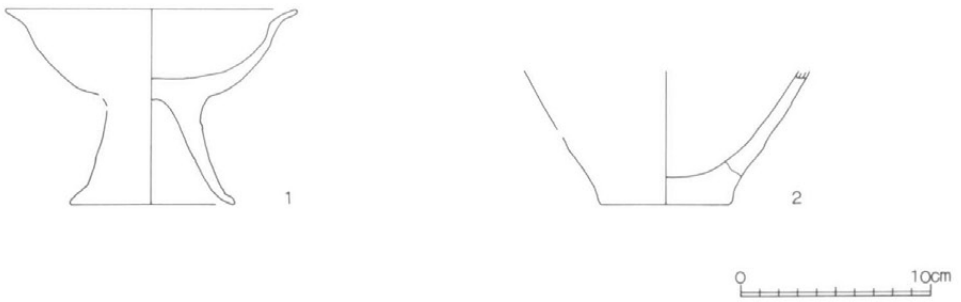
第２０４図　Ａ－１１号住居址出土遺物実測図



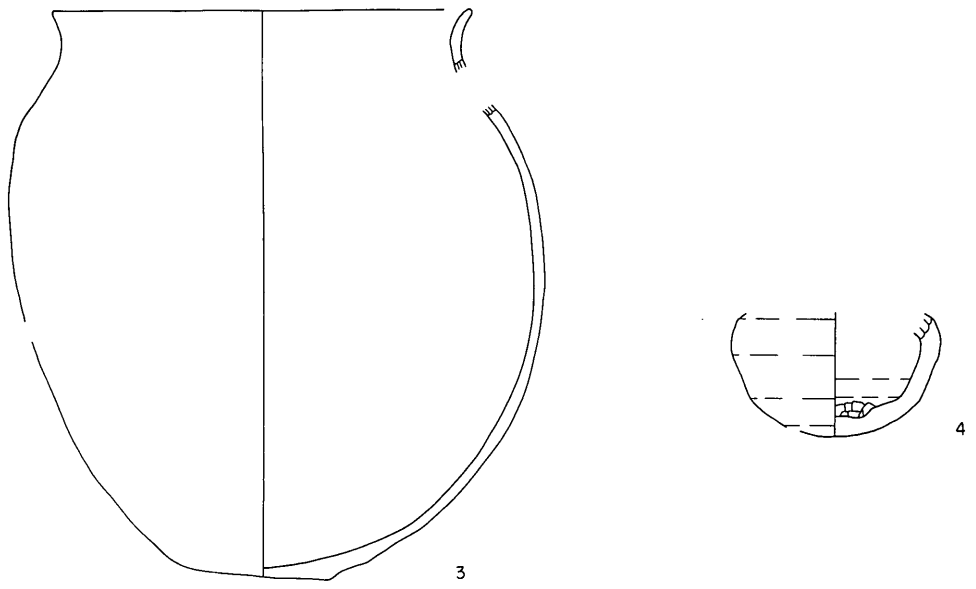
第２０５図　Ａ－１２号住居址出土遺物実測図



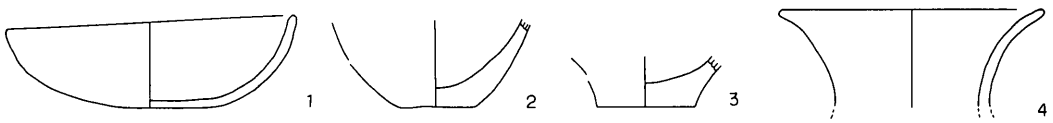
第２０６図　Ａ－１３号住居址出土遺物実測図



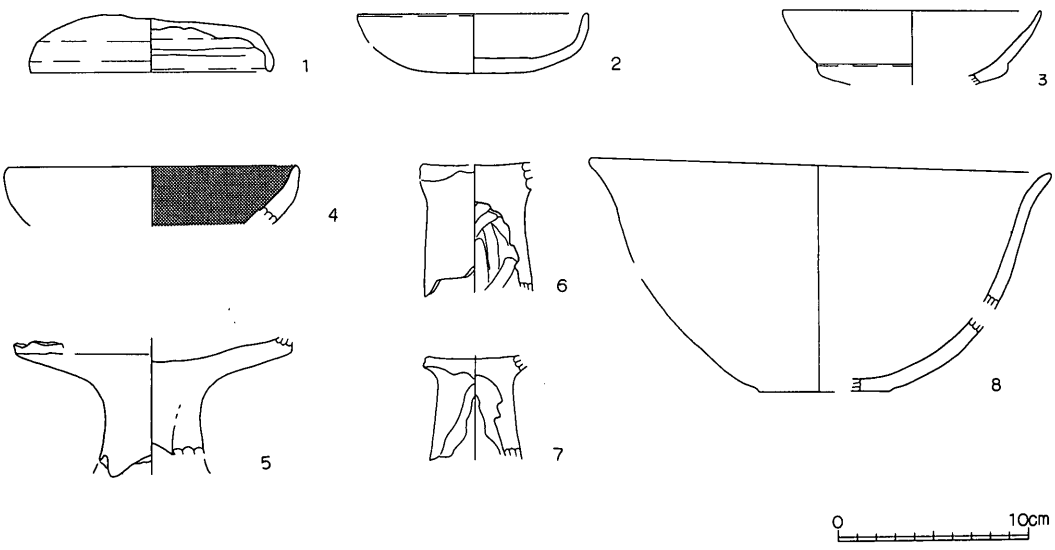
第２０７－１図　Ａ－１４号住居址出土遺物実測図



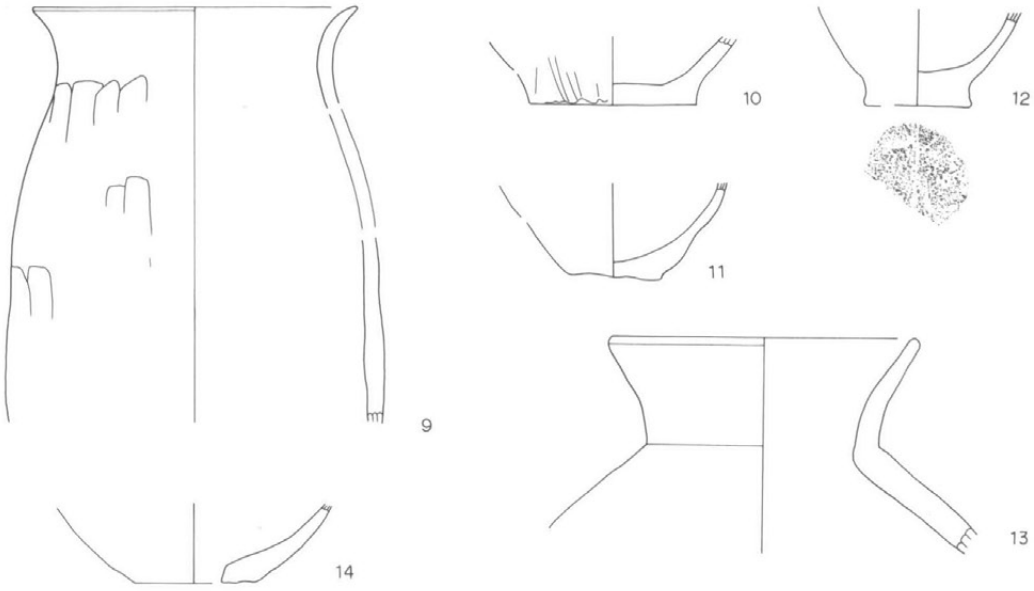
第２０７－２図　Ａ－１４号住居址出土遺物実測図



第２０８図　Ａ－１５号住居址出土遺物実測図

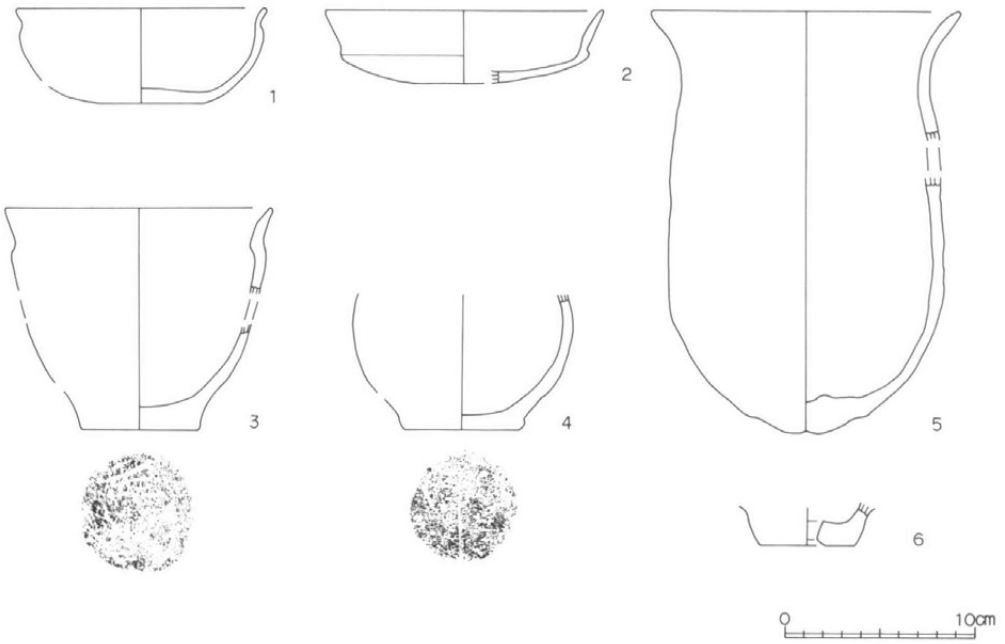


第２０９－１図　Ａ－１６号住居址出土遺物実測図

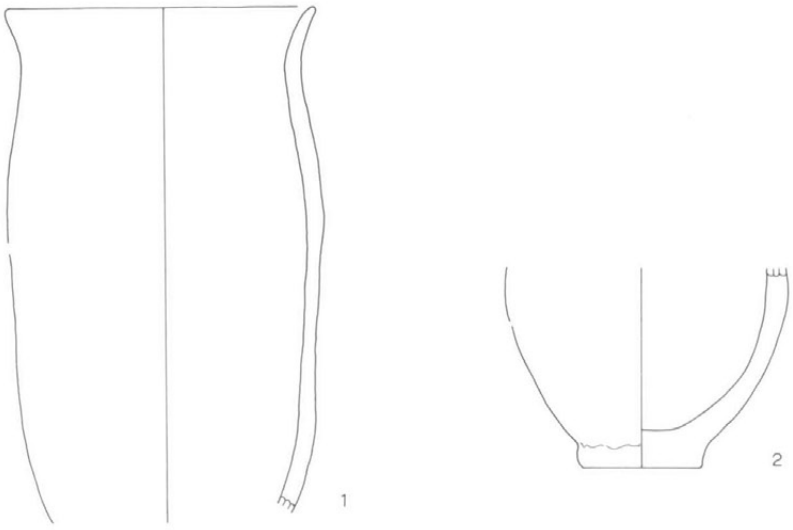


第２０９－２図　Ａ－１６号住居址出土遺物実測図

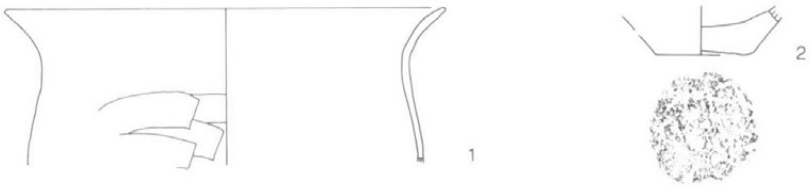
第２１０図　Ａ－１７号住居址出土遺物実測図



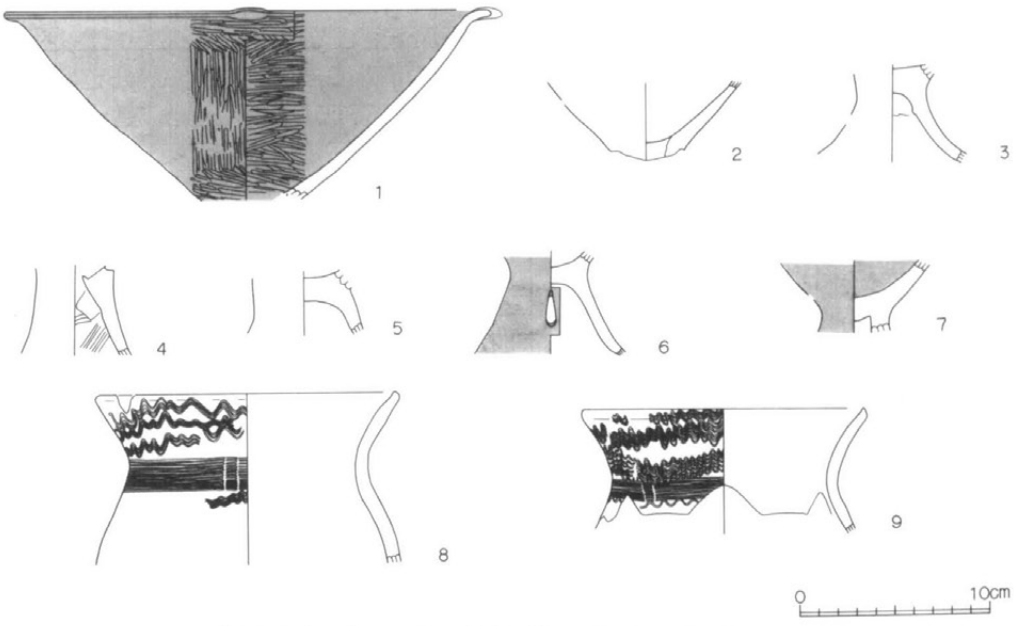
第２１１図　Ａ－１８号住居址出土遺物実測図



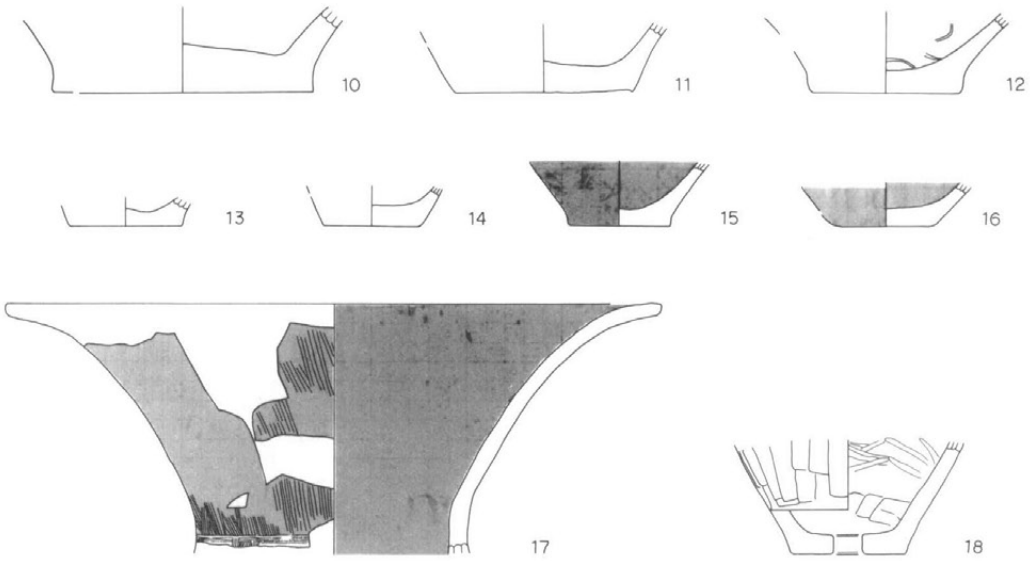
第２１２図　Ａ－１９号住居址出土遺物実測図



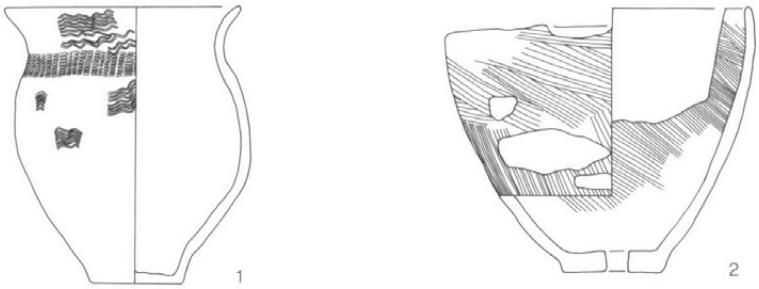
第２１３図　Ａ－２０号住居址出土遺物実測図



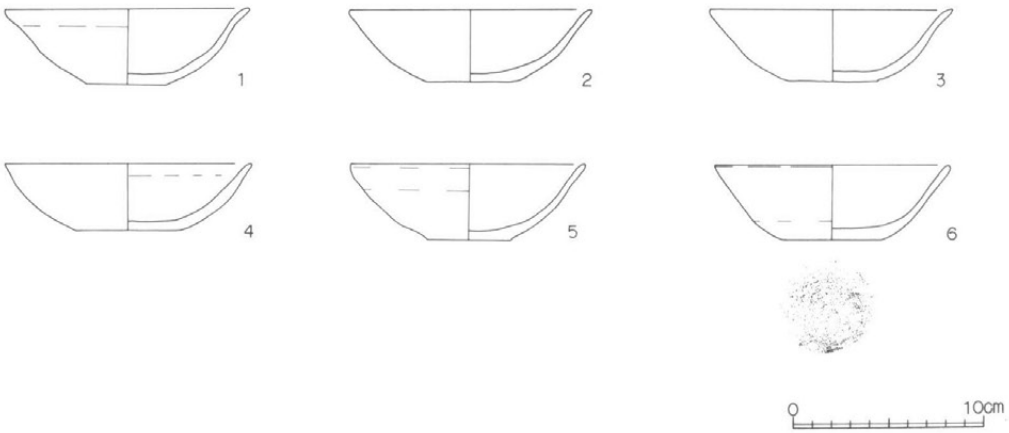
第２１４－１図　Ａ－２１号住居址出土遺物実測図



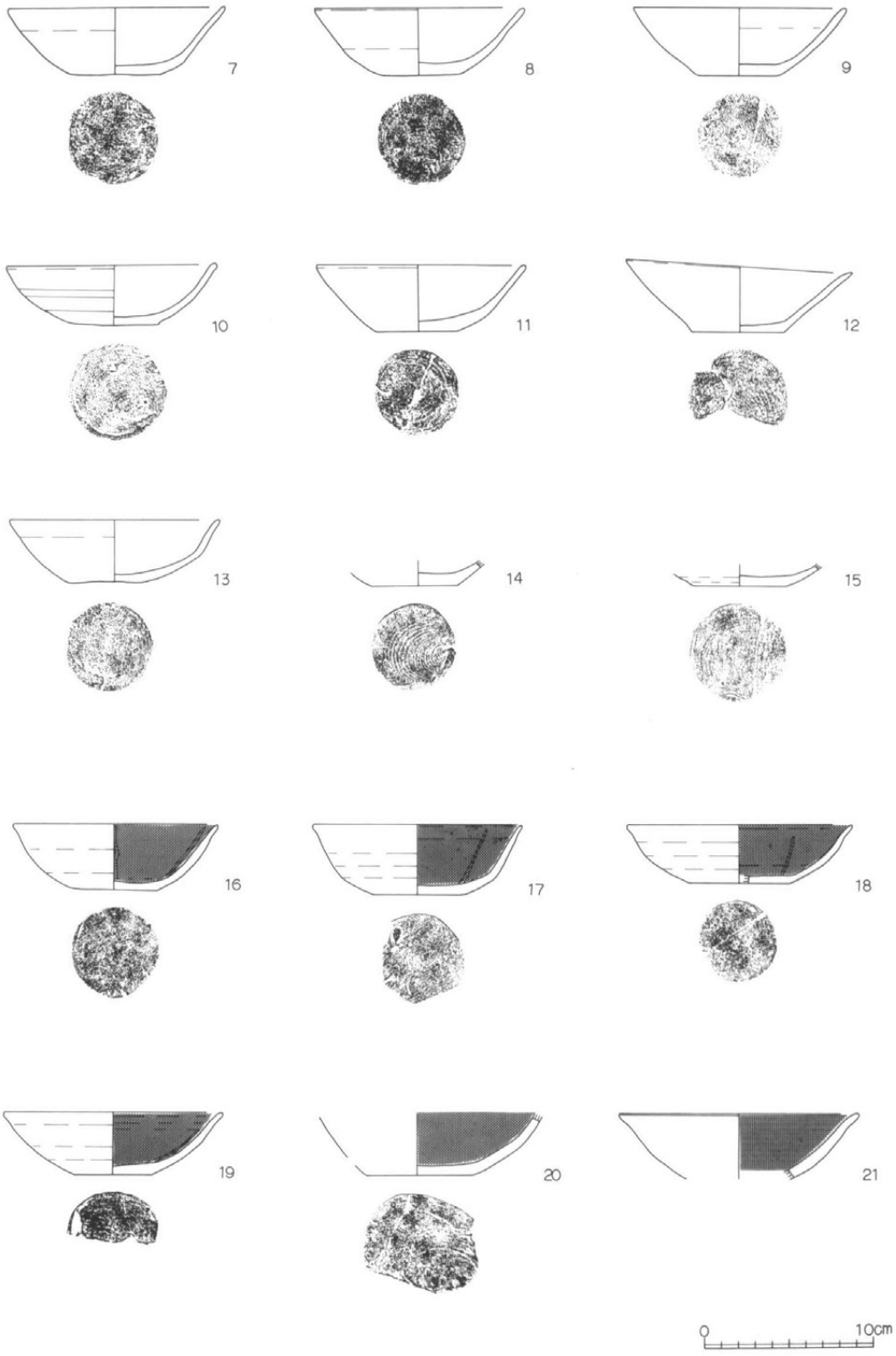
第２１４－２図　Ａ－２１号住居址出土遺物実測図



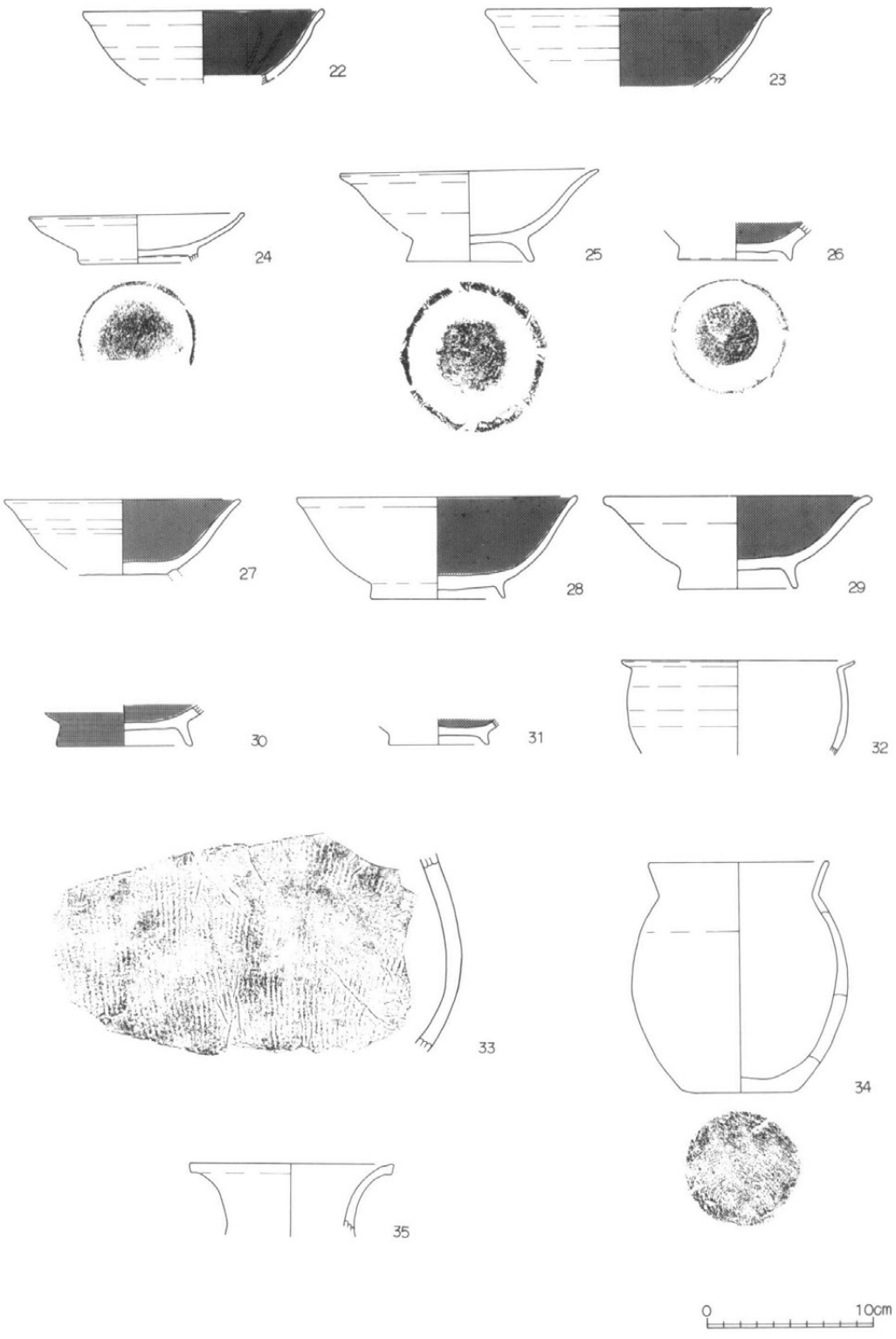
第２１５図　Ａ－２２号住居址出土遺物実測図



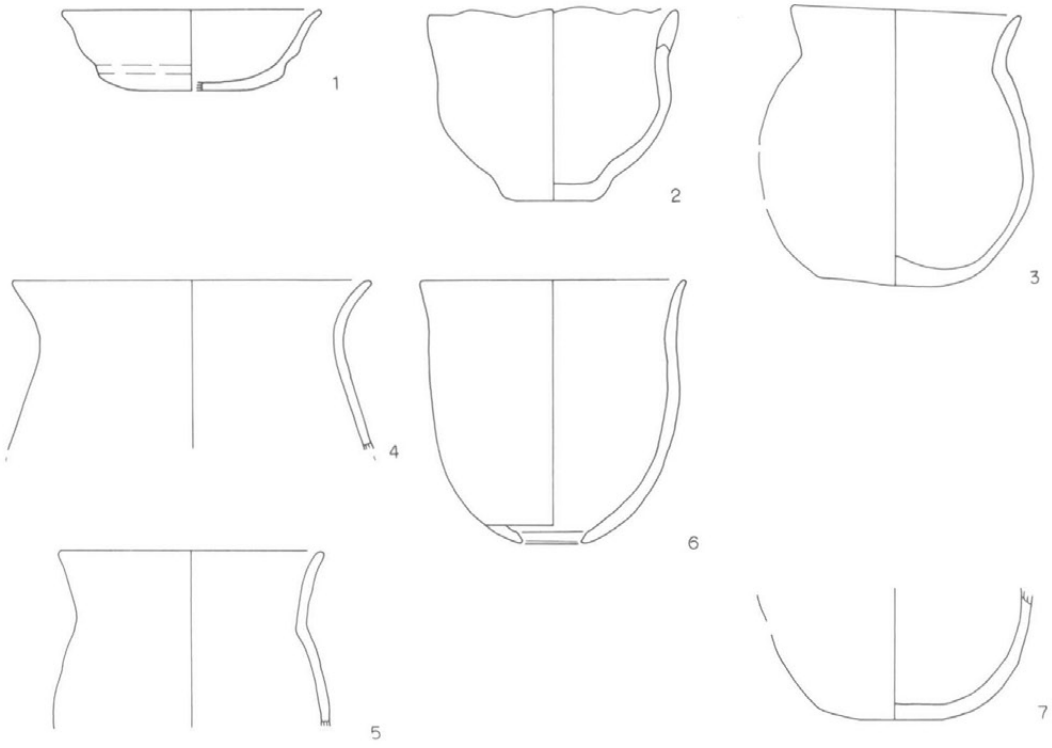
第２１６－１図　Ａ－２３号住居址出土遺物実測図



第２１６－２図　Ａ－２３号住居址出土遺物実測図

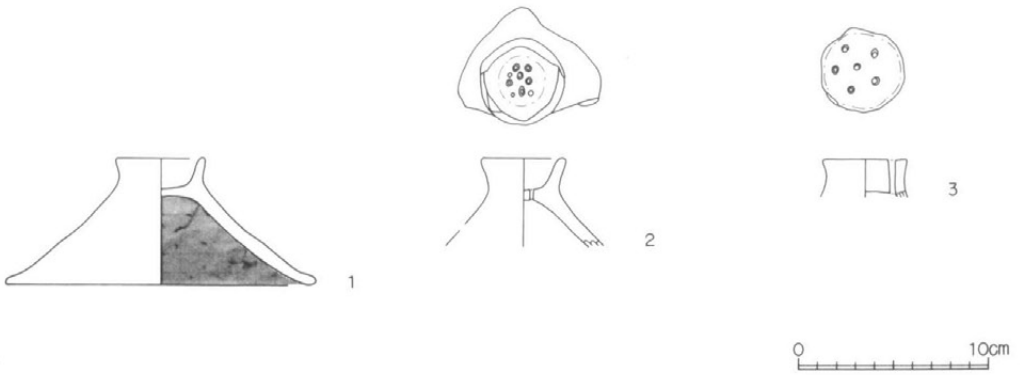


第２１６－３図　Ａ－２３号住居址出土遺物実測図

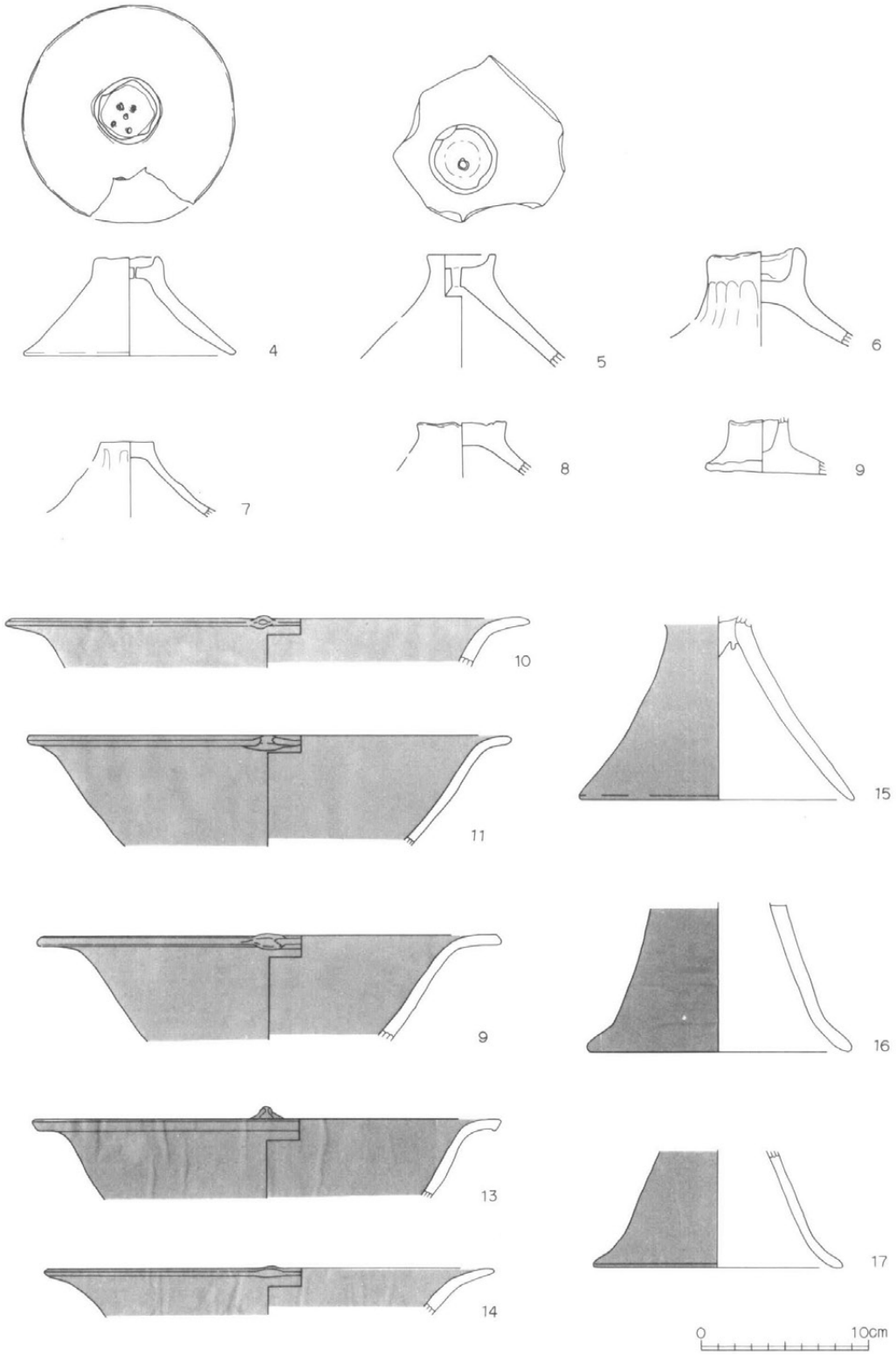


第２１７図　Ａ－２４号住居址出土遺物実測図

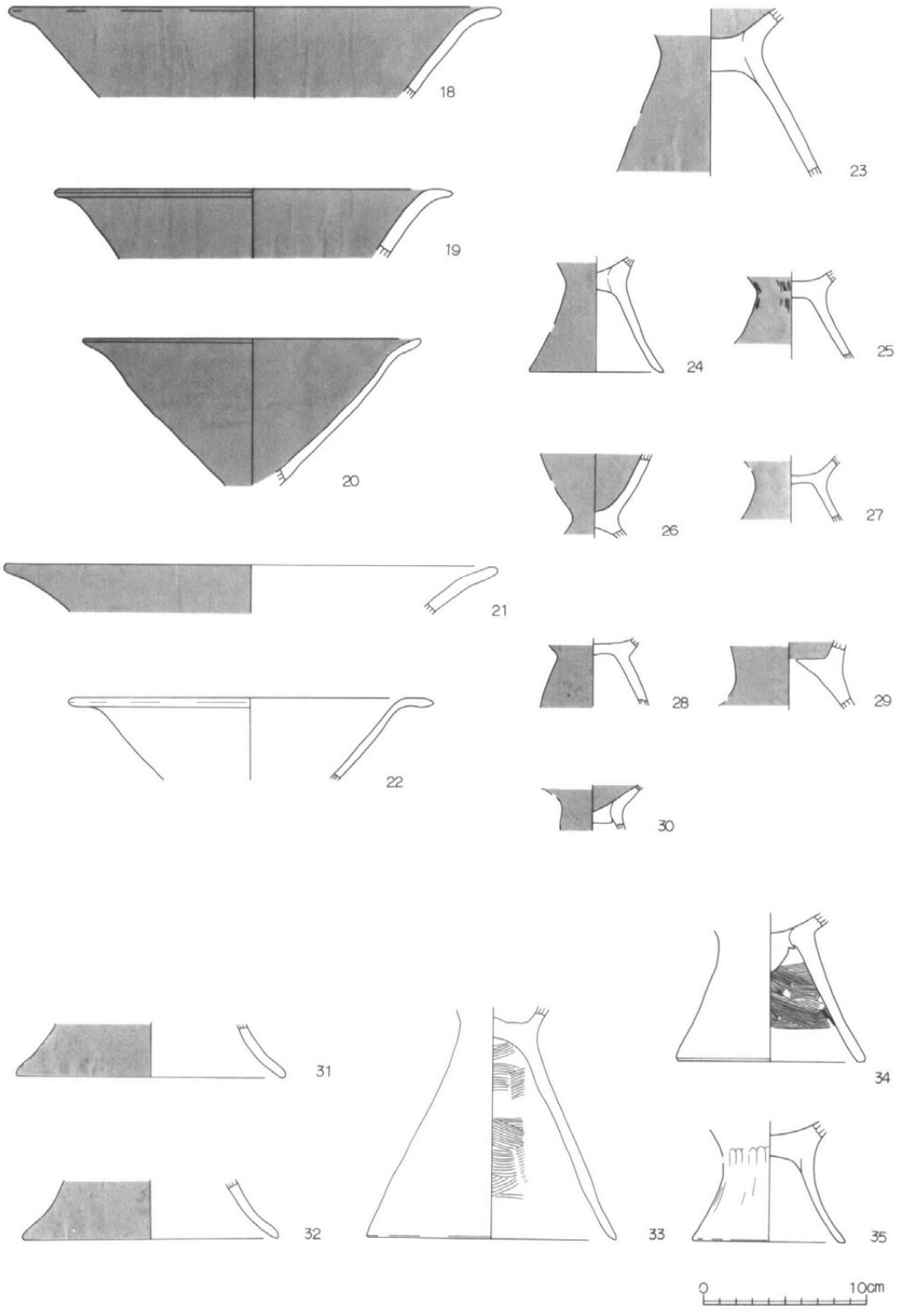
第２１８図　Ａ－２５号住居址出土遺物実測図



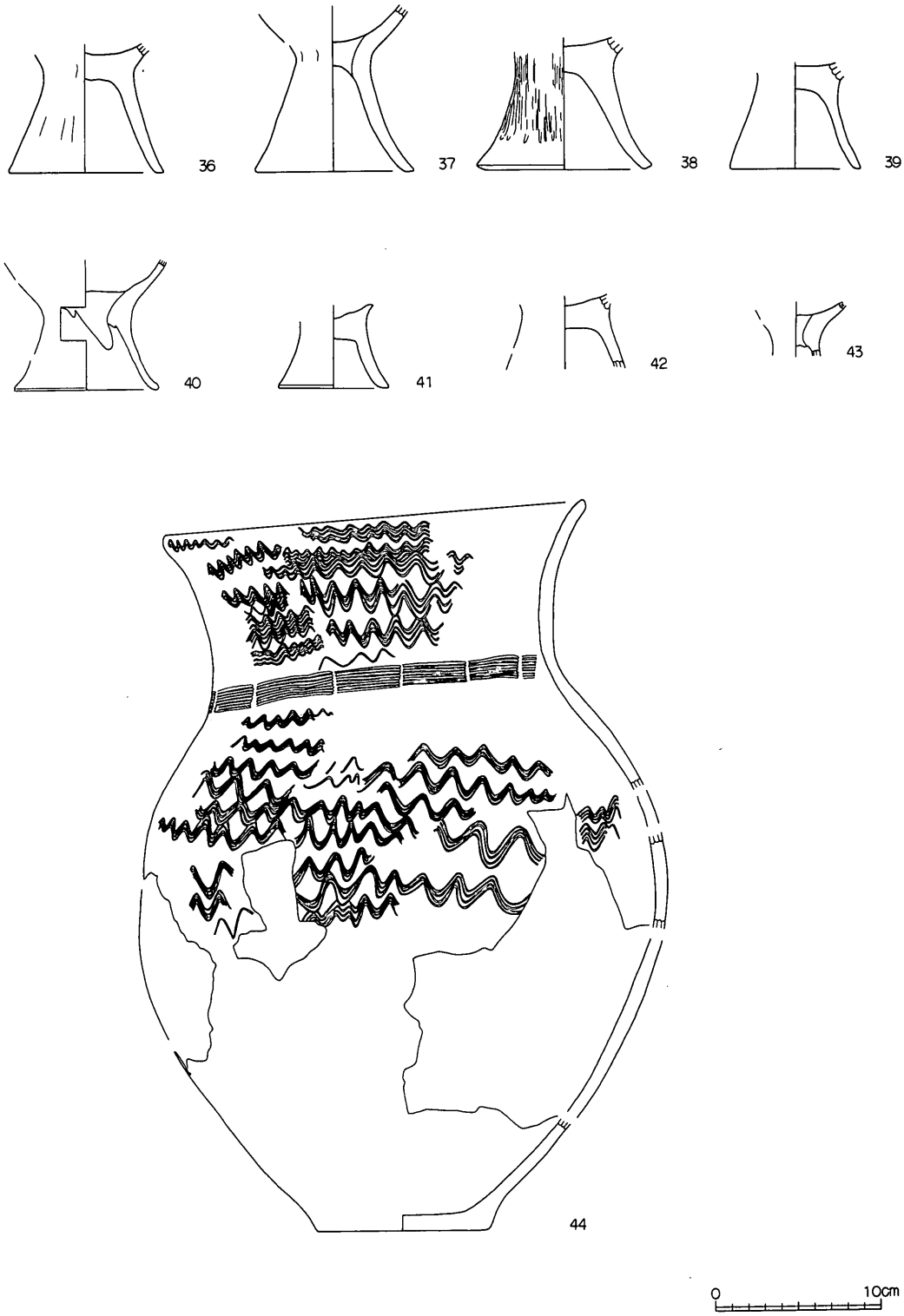
第２１９－１図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



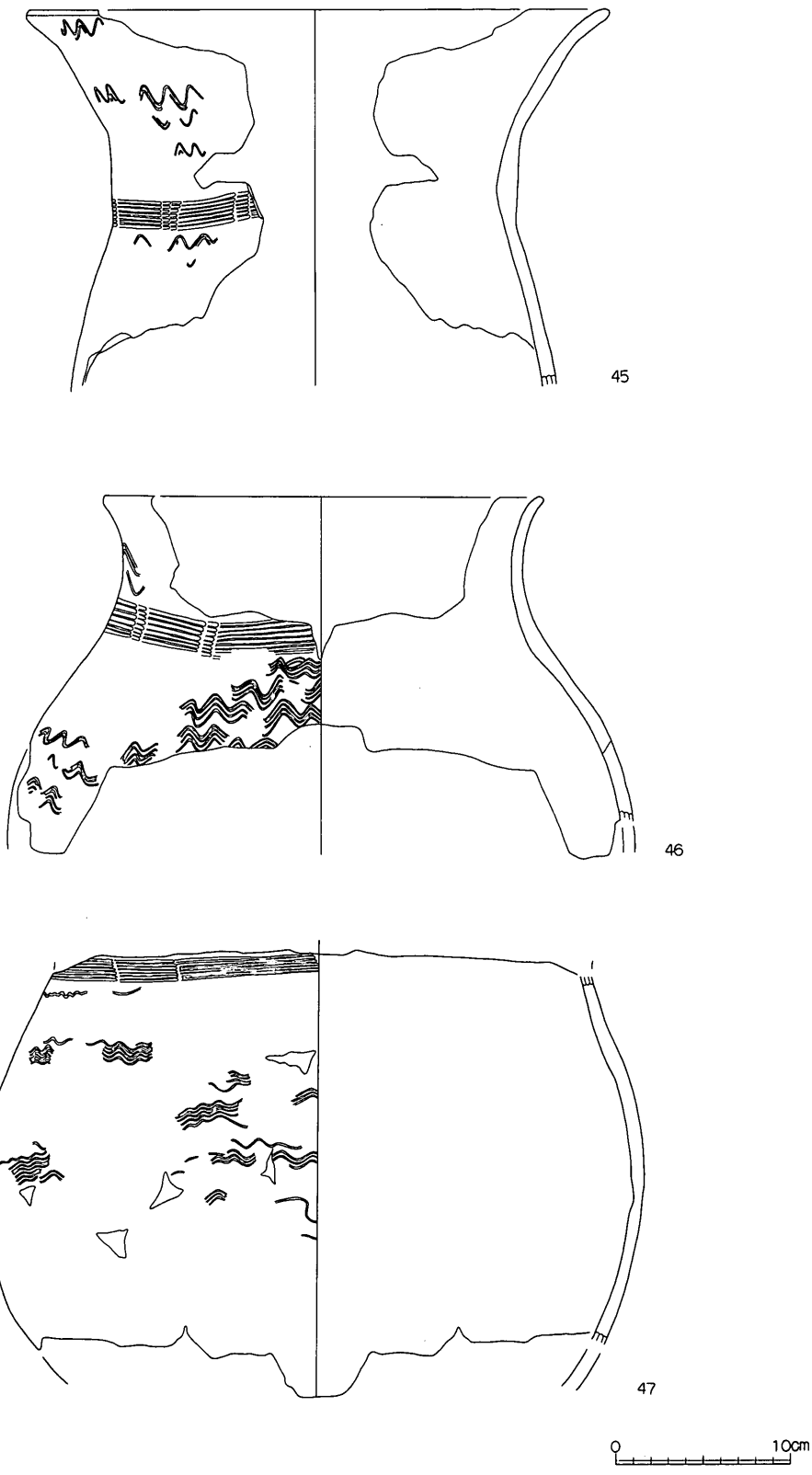
第２１９－２図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



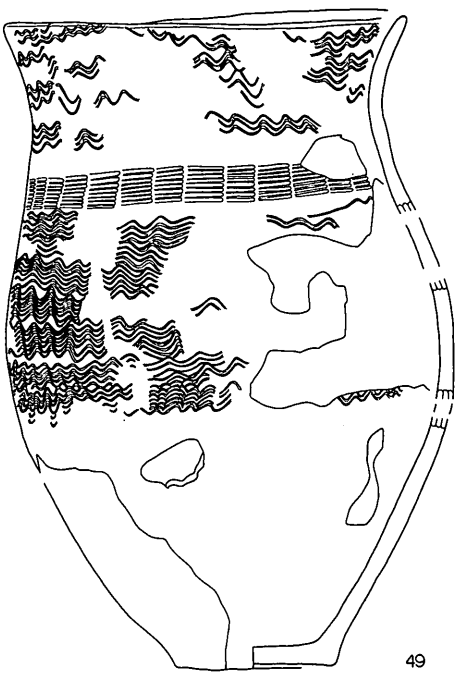
第２１９－３図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図

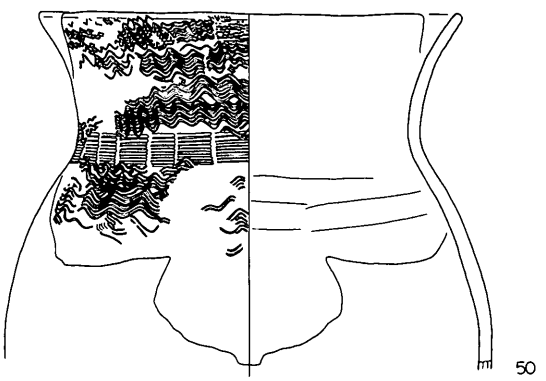


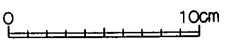
第２１９－４図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



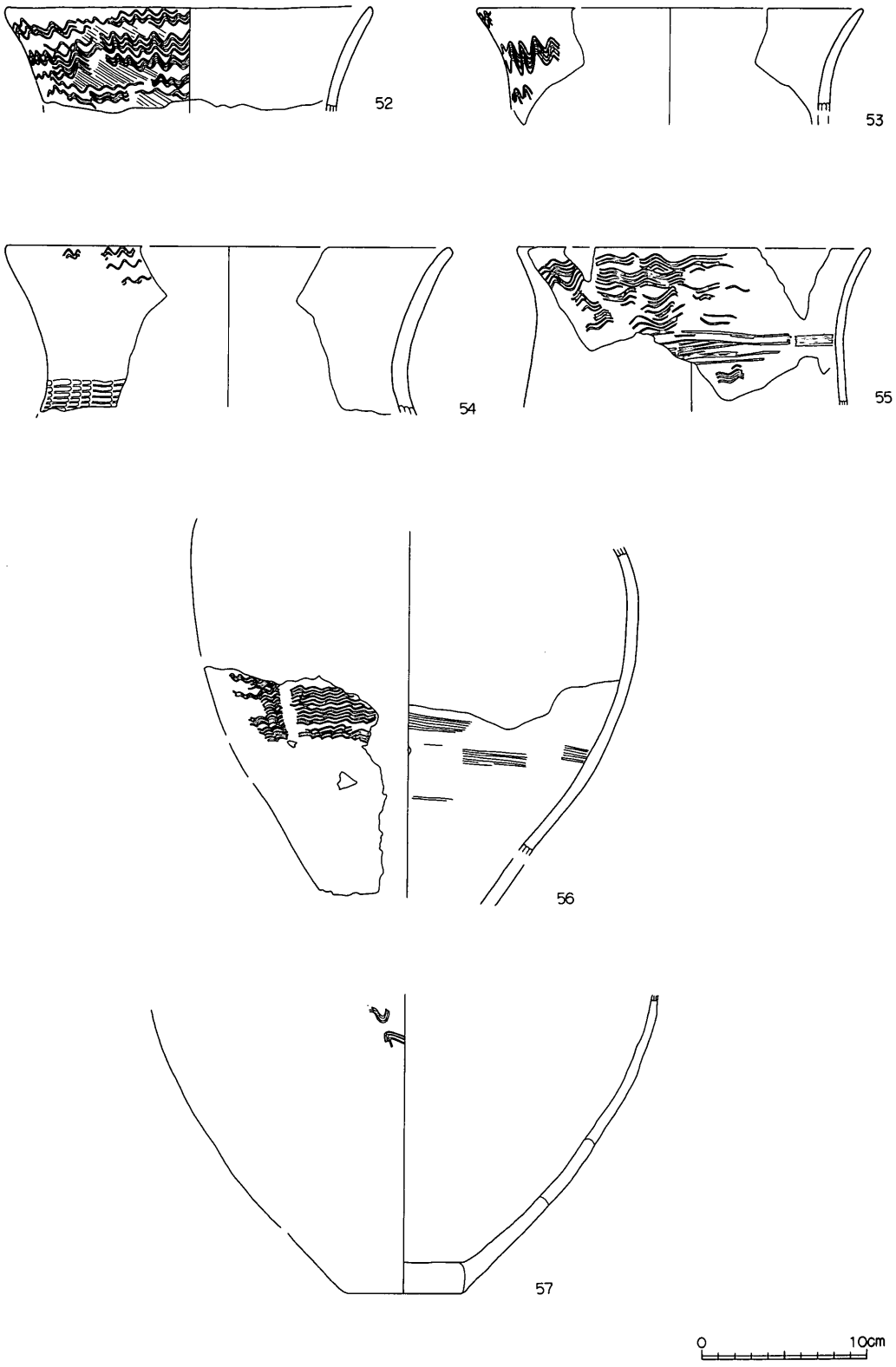
第２１９－５図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



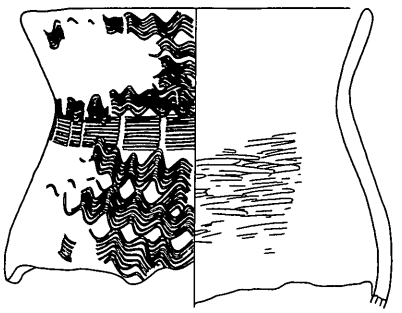


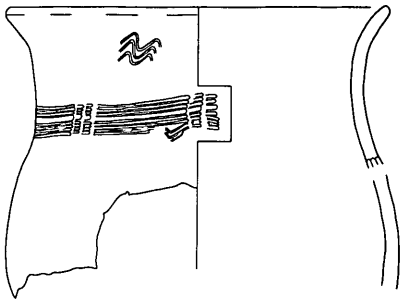


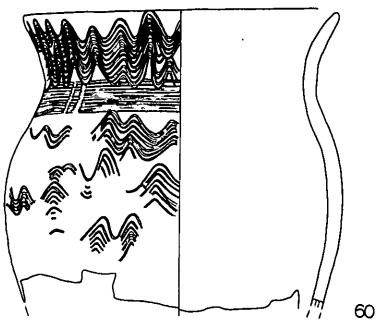
第２１９－６図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図

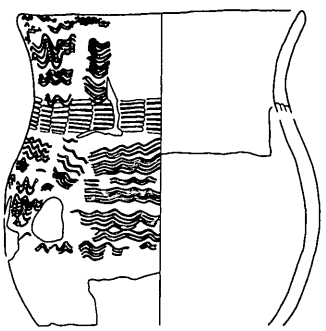


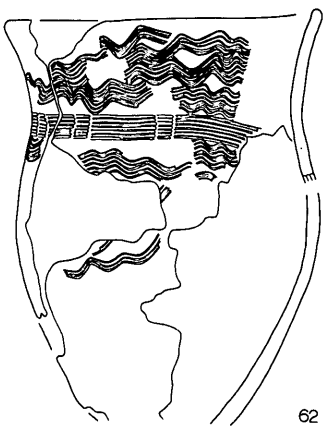
第２１９－７図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図

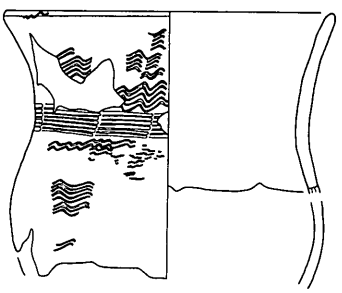


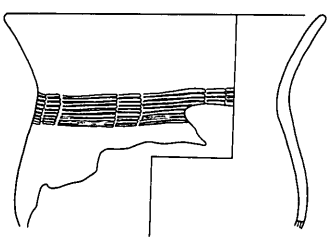


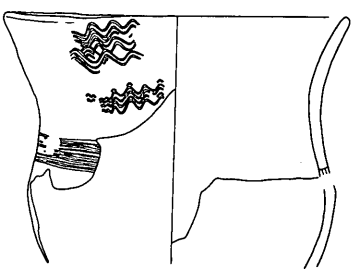


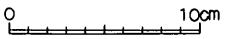




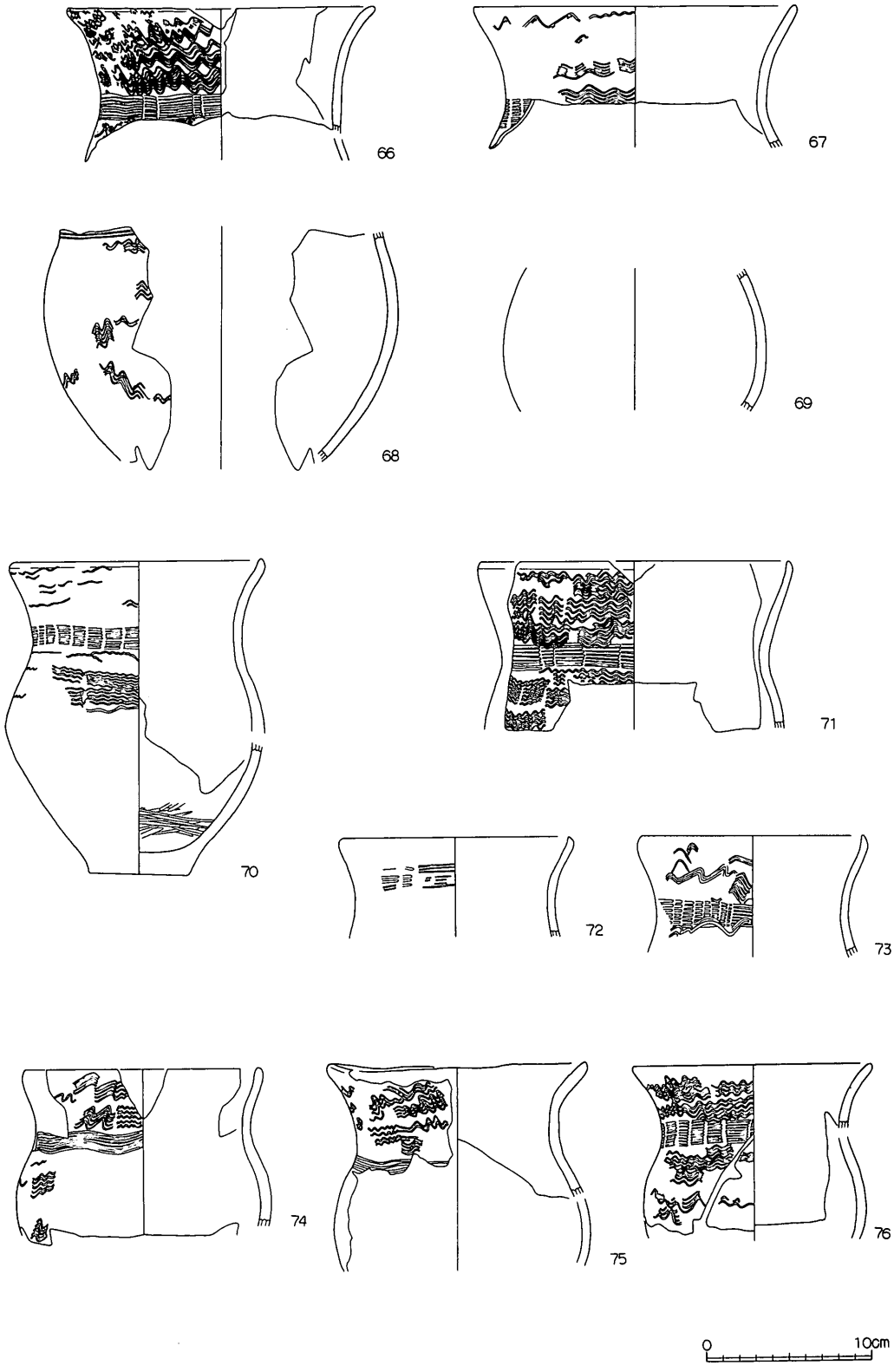




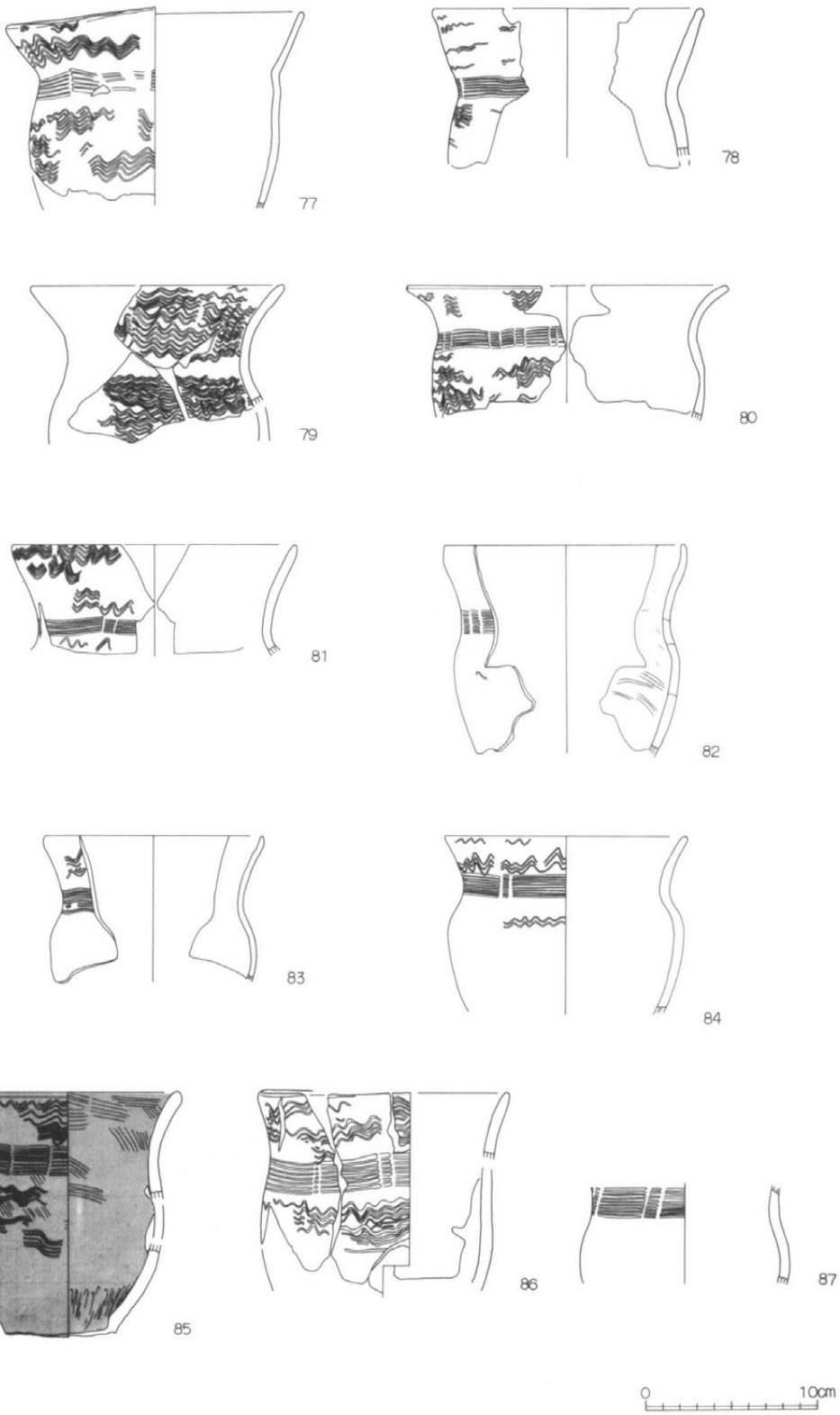




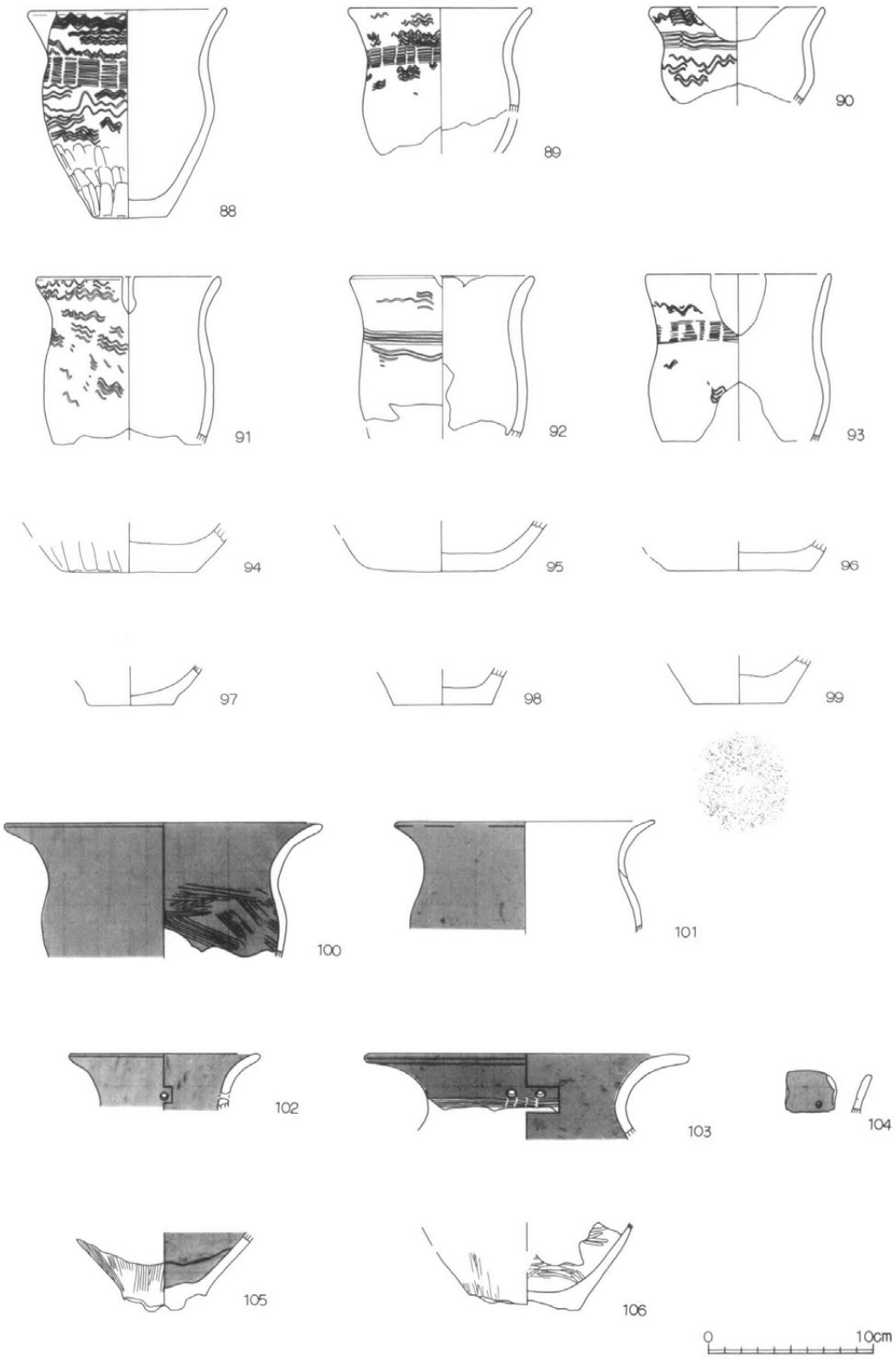
第２１９－８図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



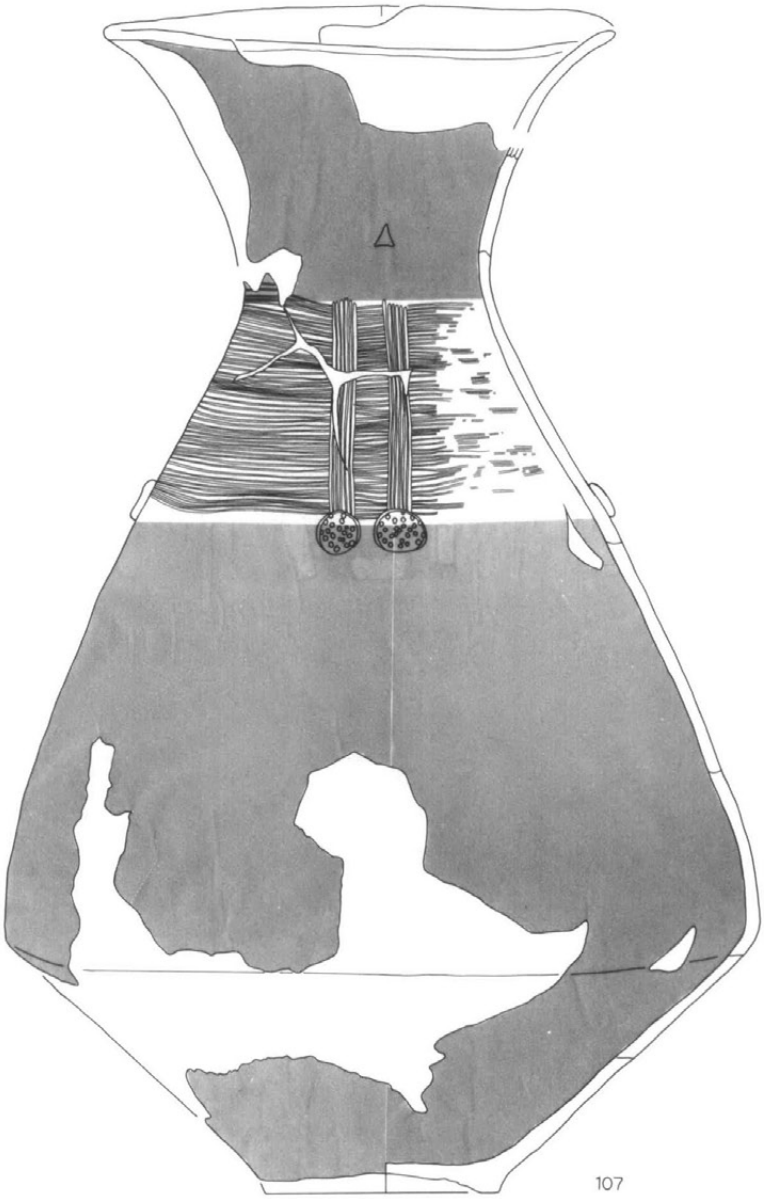
第２１９－９図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



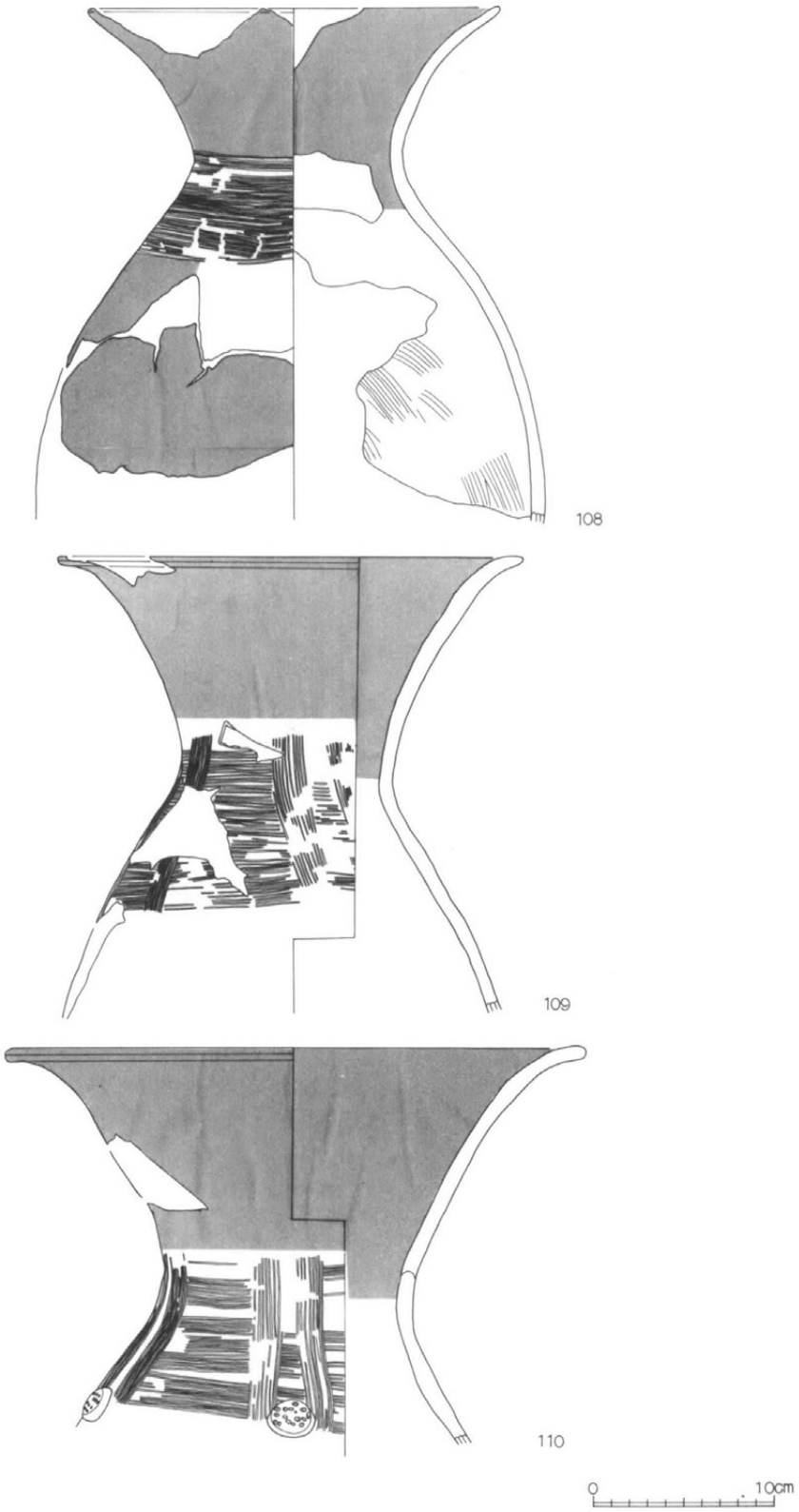
第２１９－１０図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



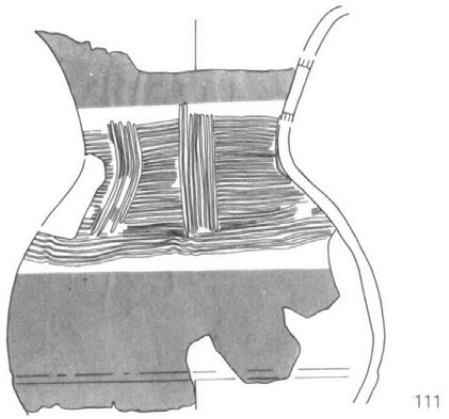
第２１９－１１図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図

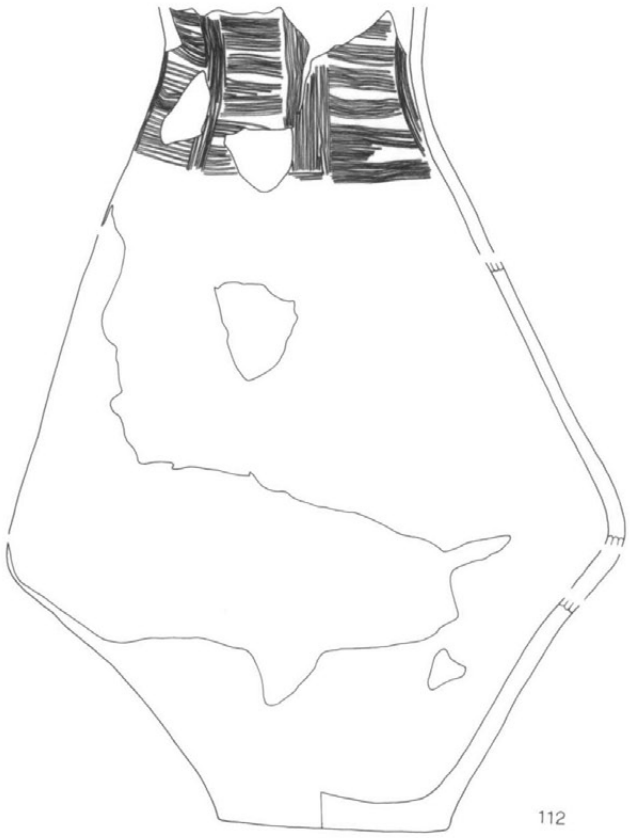


第２１９－１２図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図

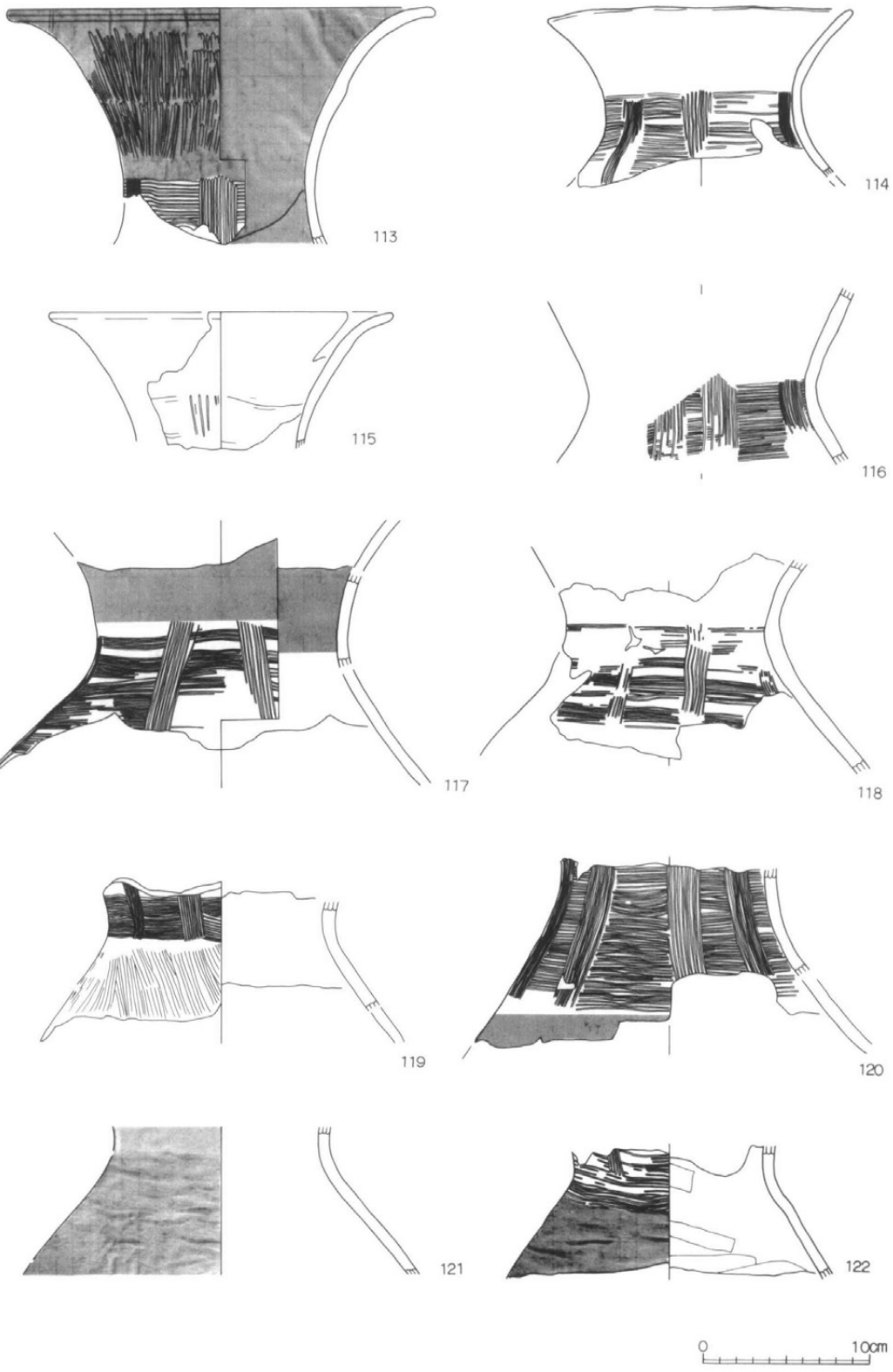


第２１９－１３図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図

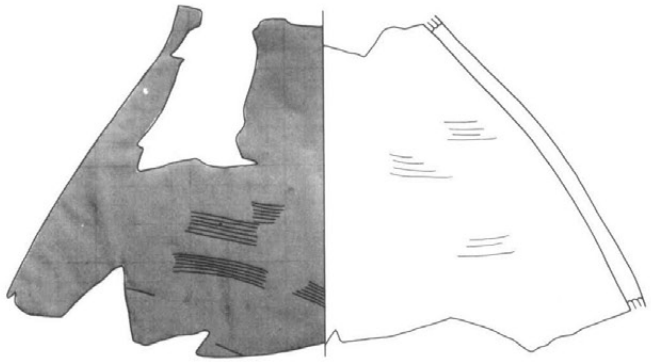


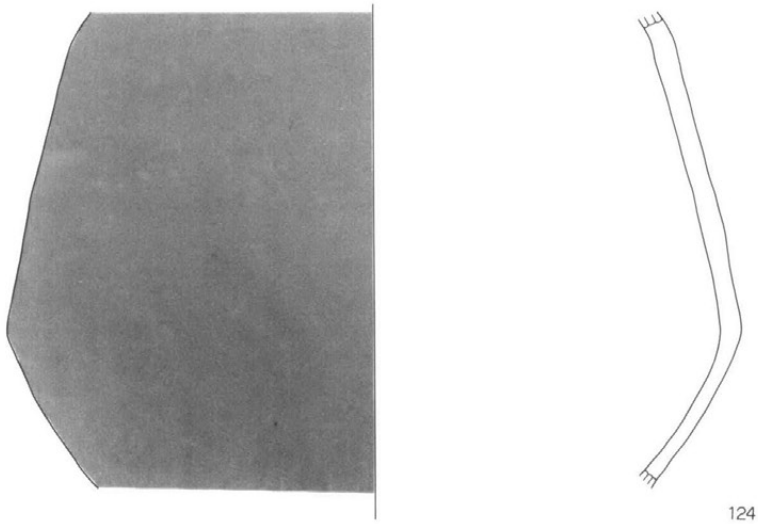


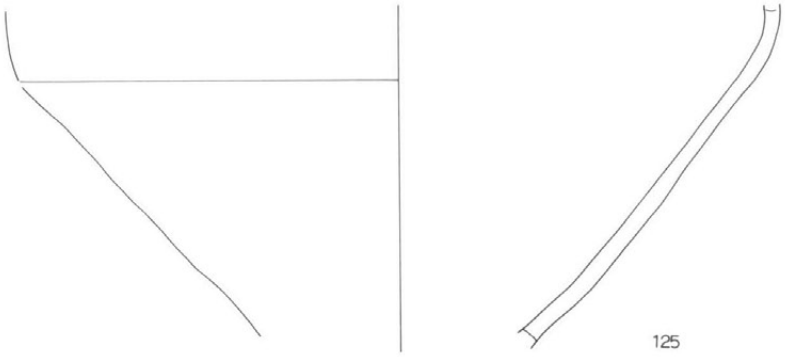
第２１９－１４図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



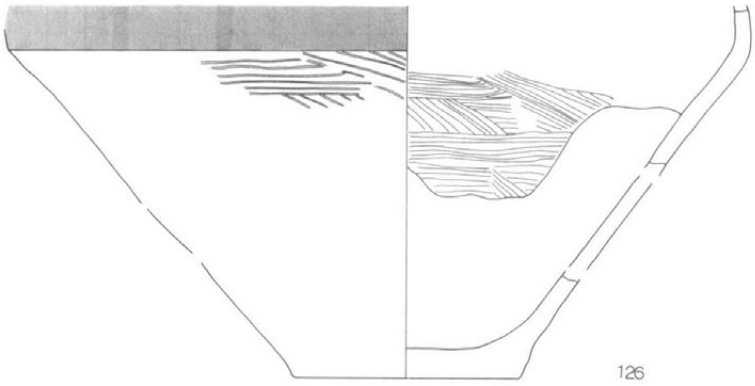
第２１９－１５図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図

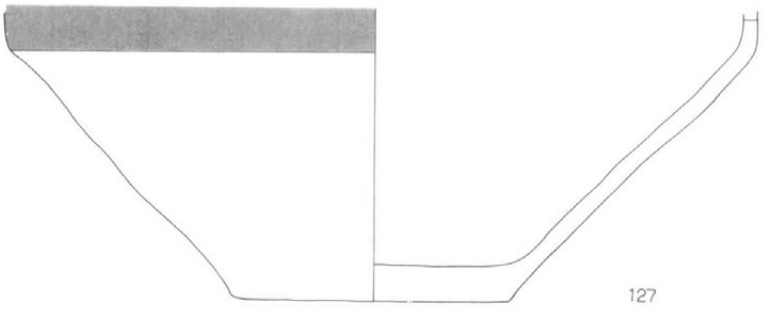


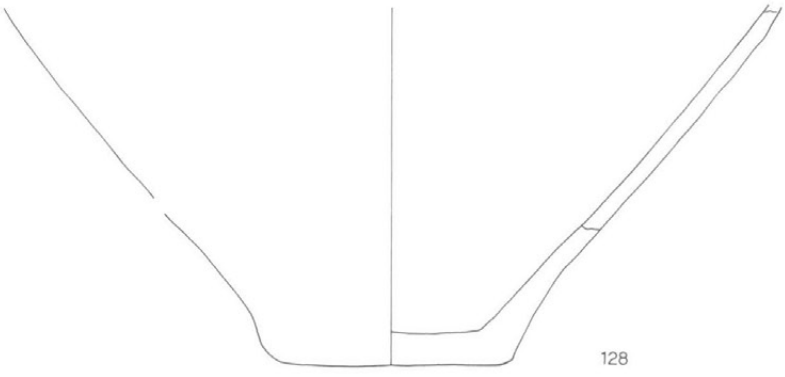




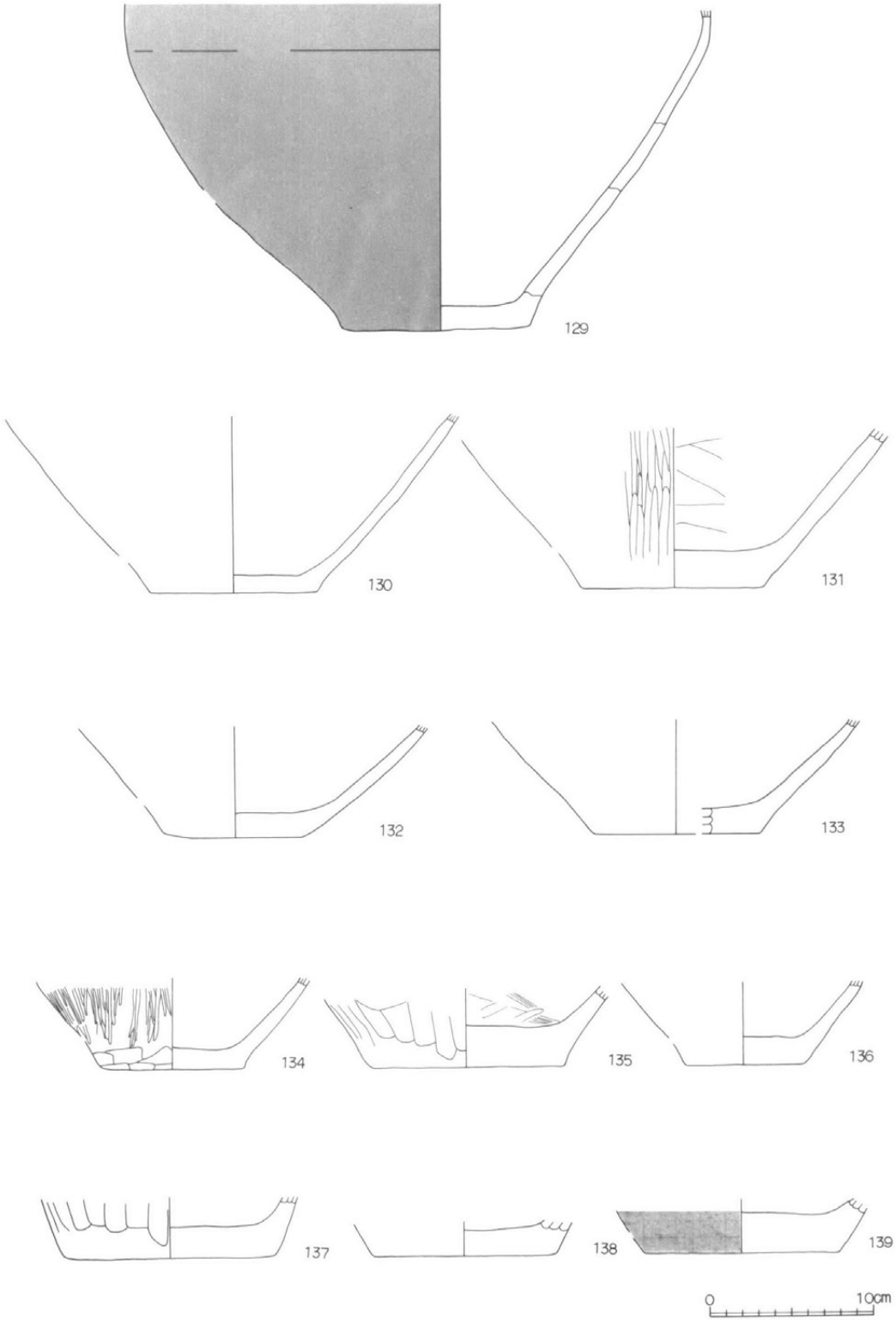
第２１９－１６図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



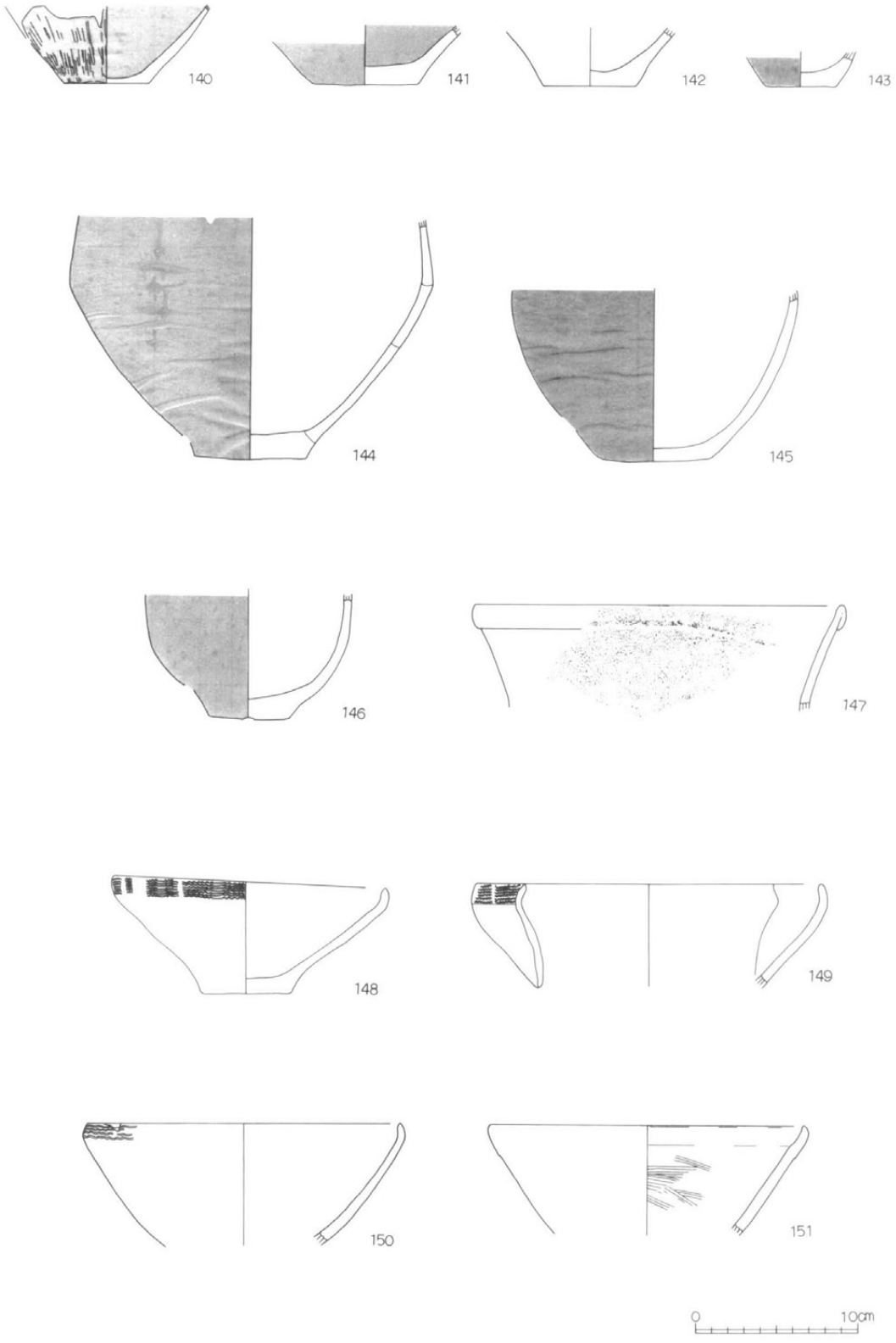




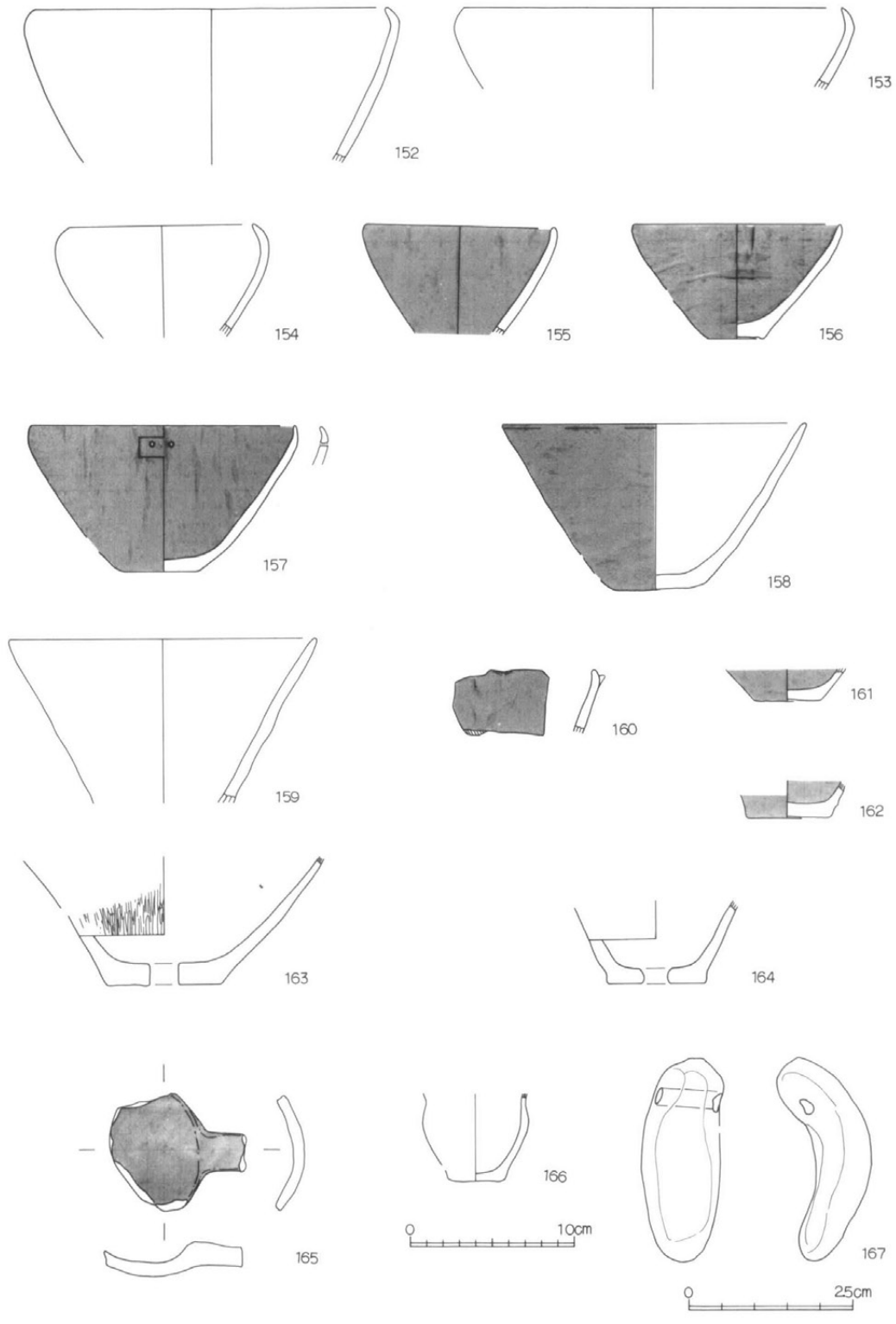
第２１９－１７図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



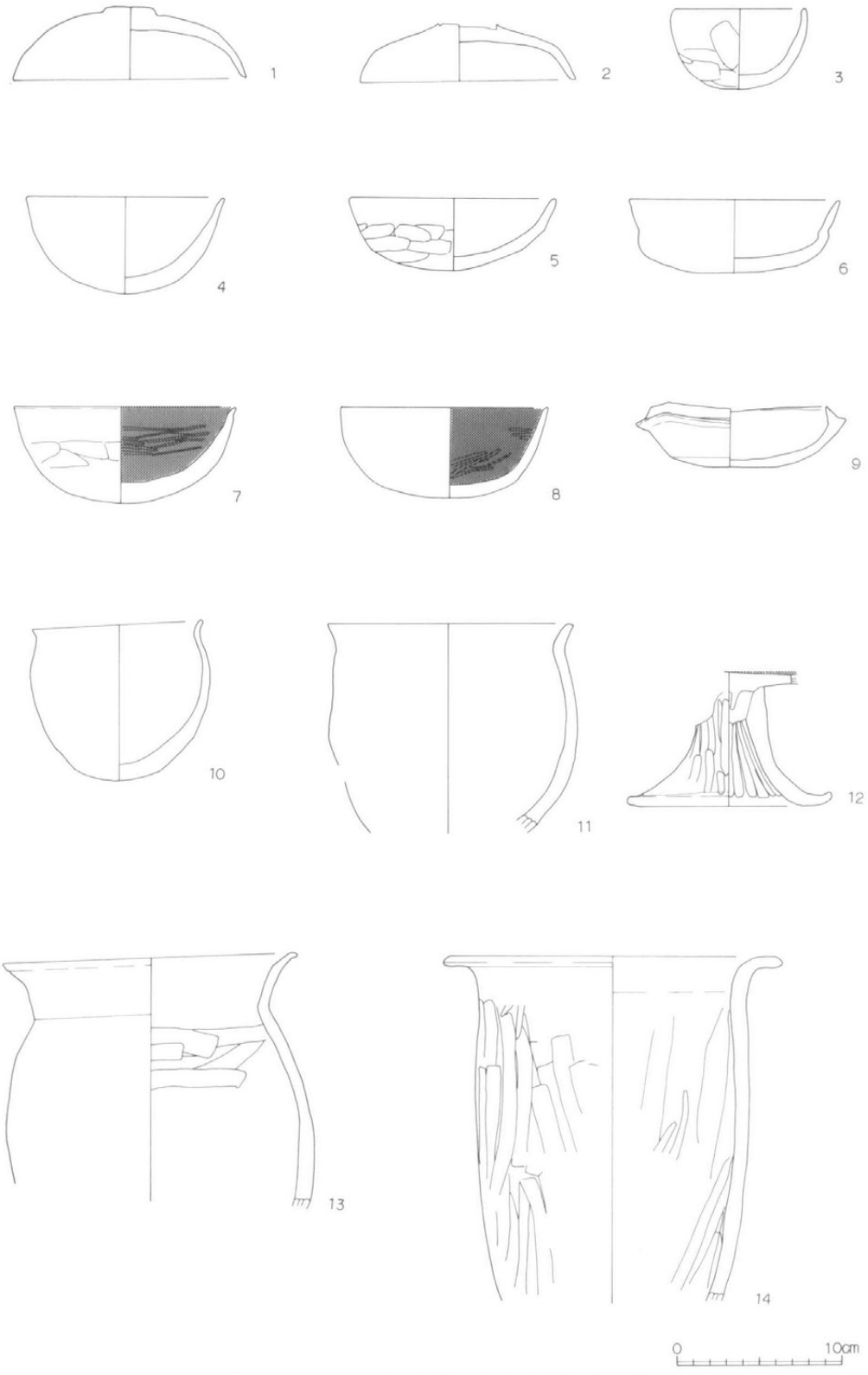
第２１９－１８図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



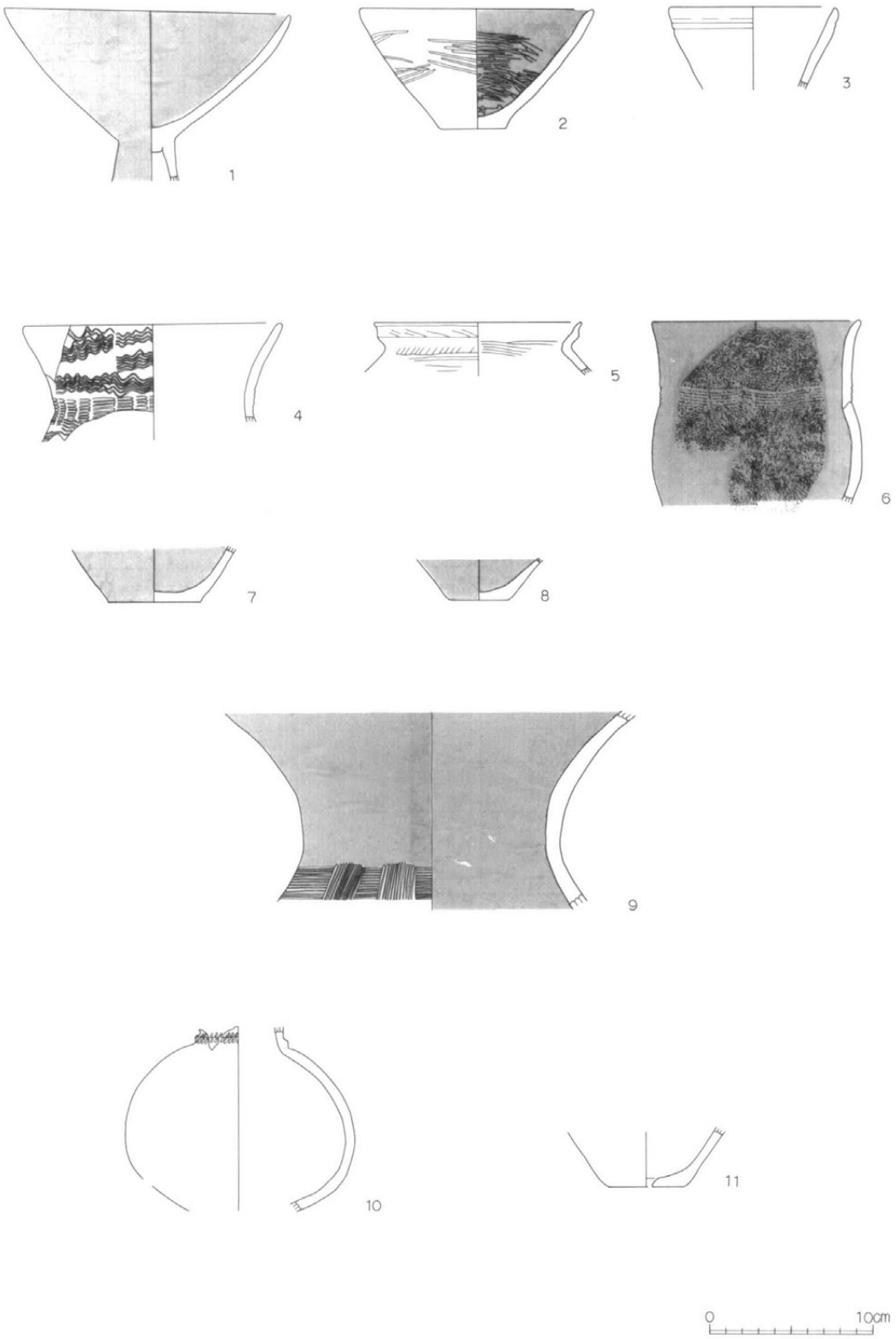
第２１９－１９図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



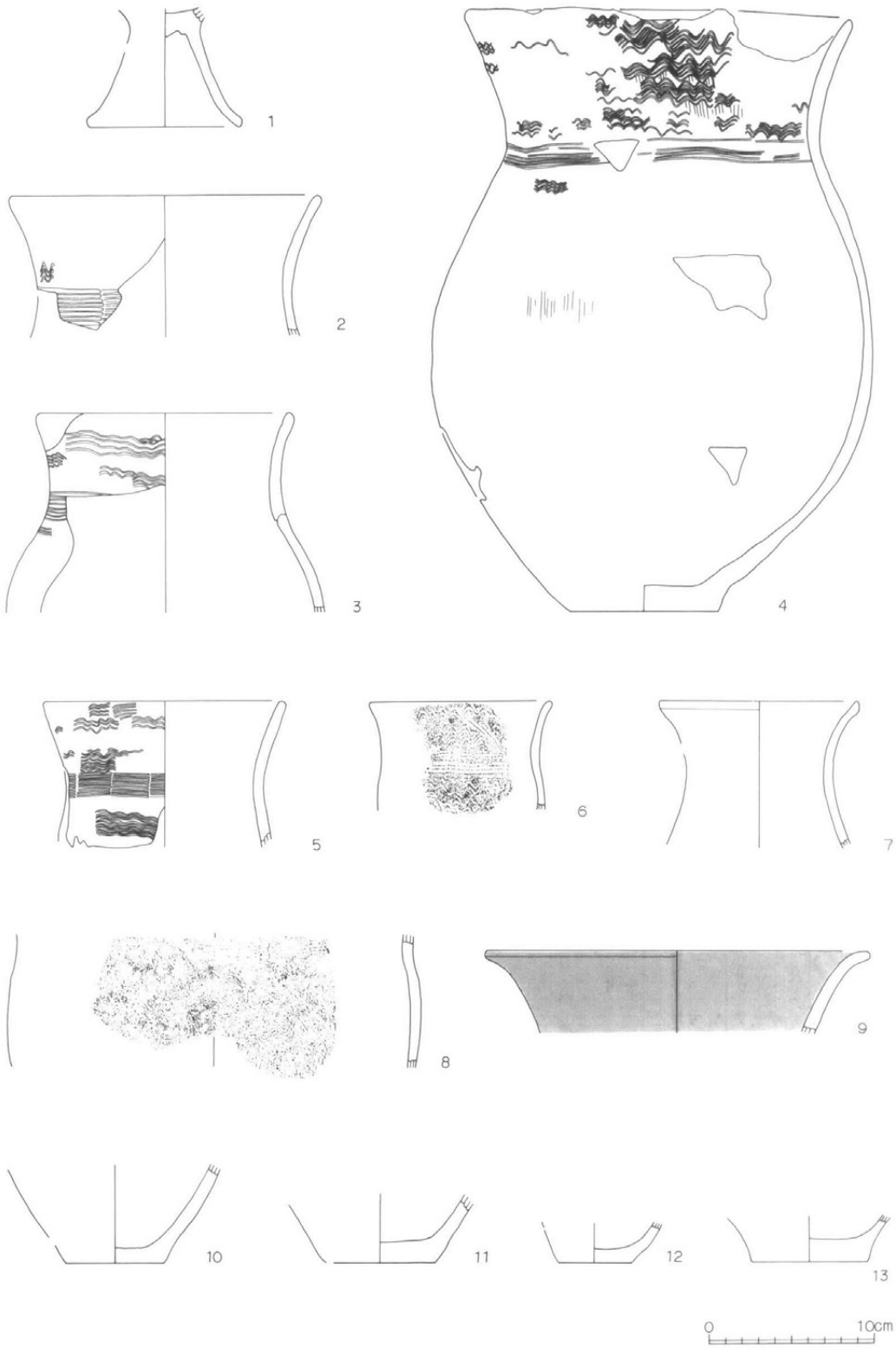
第２１９－２０図　Ａ－２６号住居址出土遺物実測図



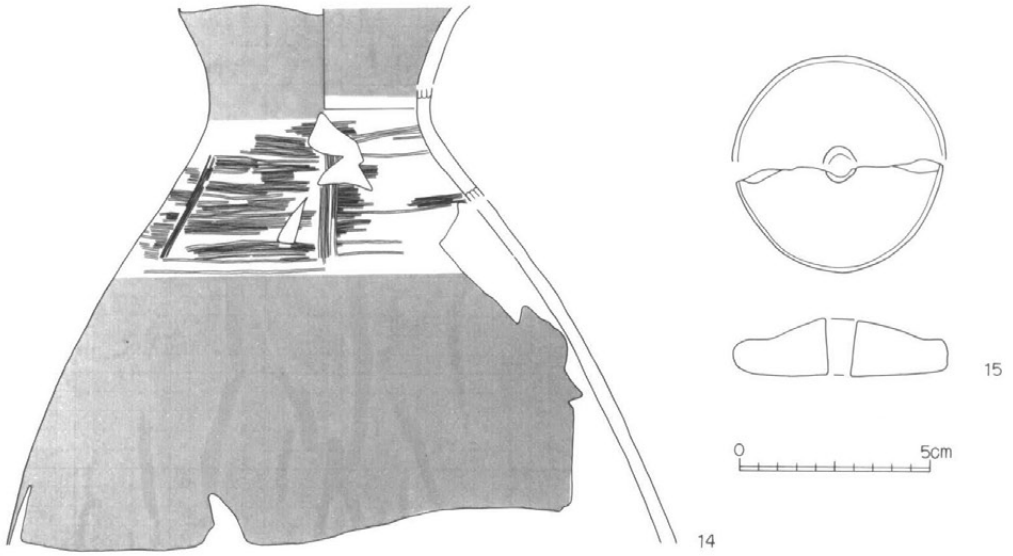
第２２０図　Ａ－２７号住居址出土遺物実測図



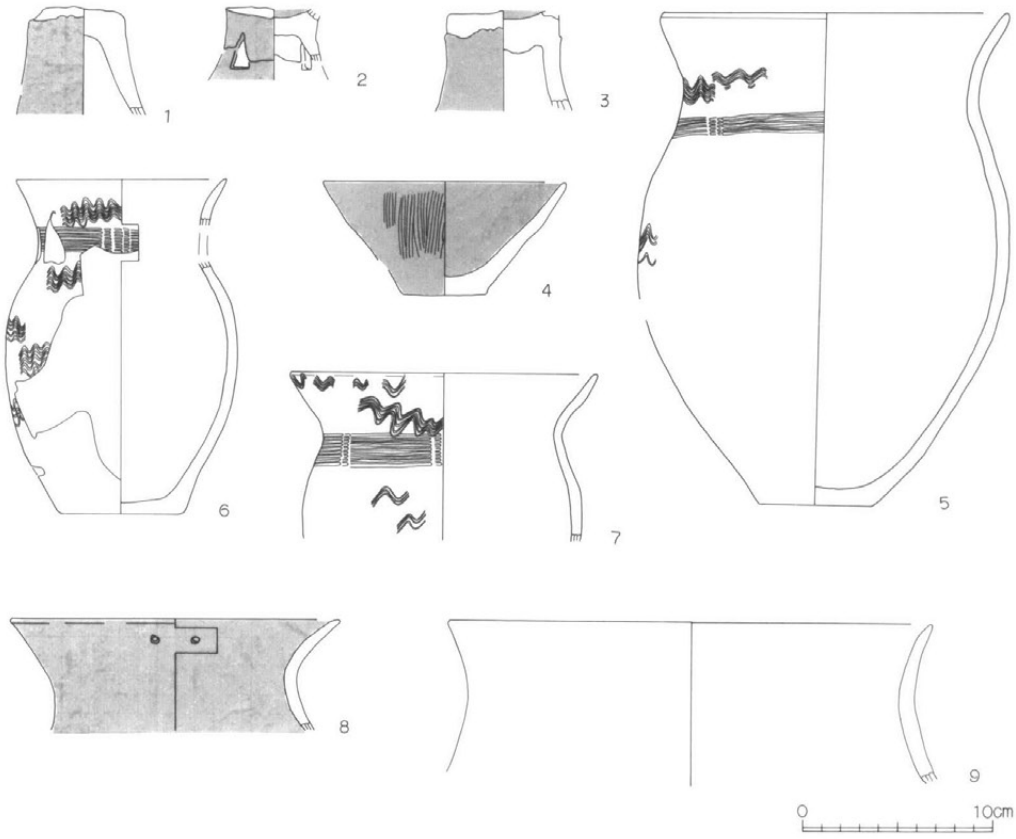
第２２１図　Ａ－２８号住居址出土遺物実測図



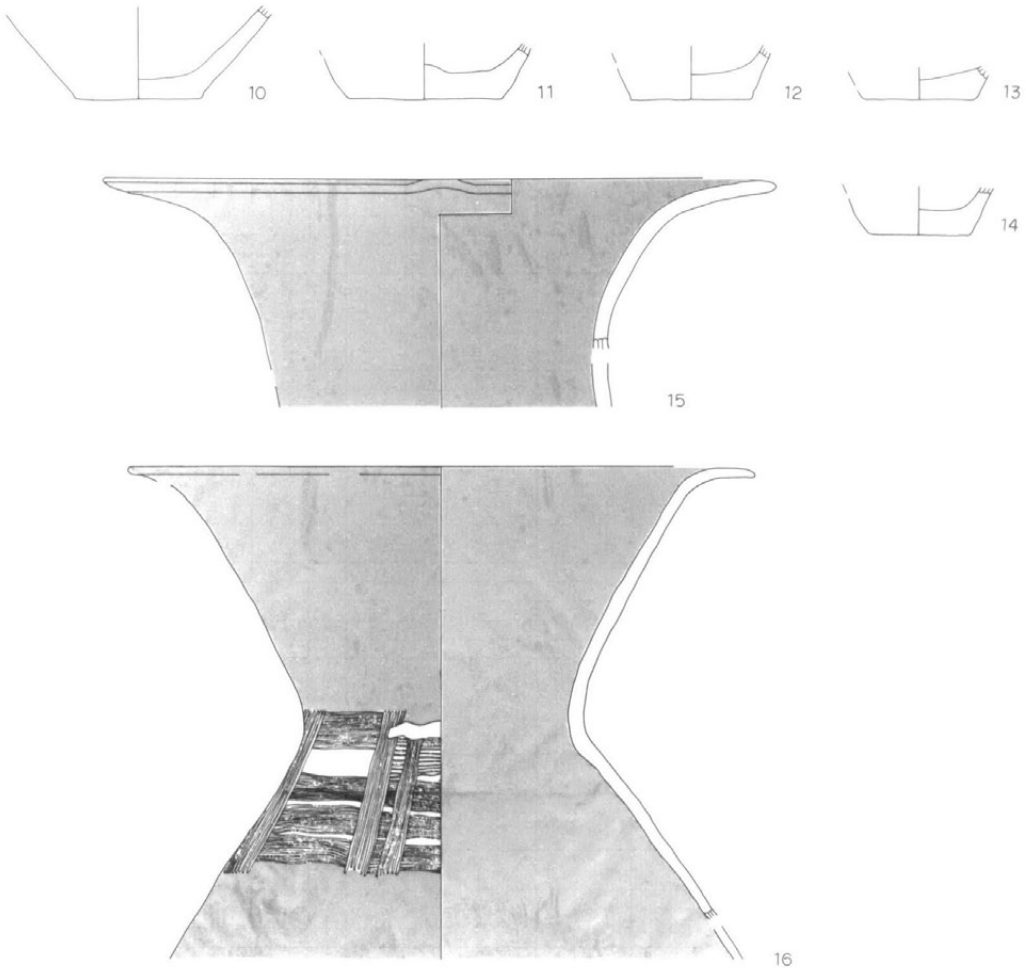
第２２２－１図　Ａ－３０号住居址出土遺物実測図



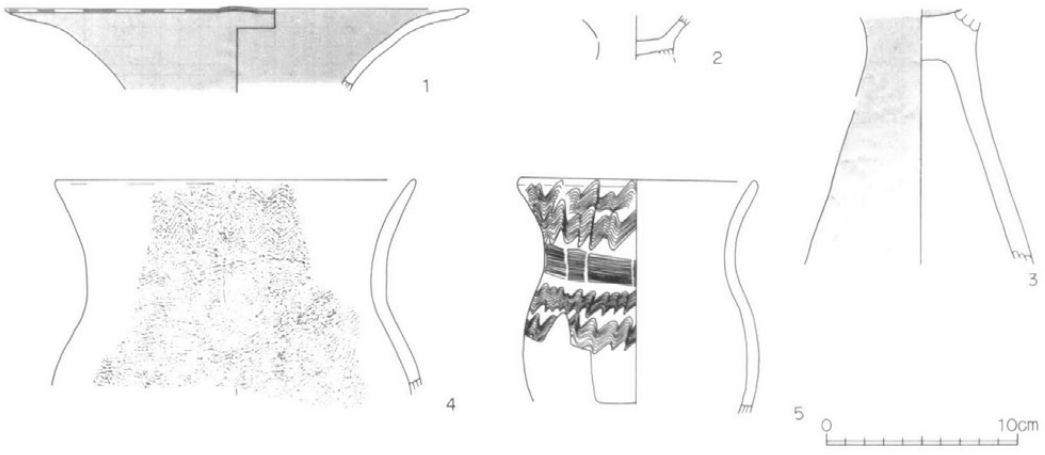
第２２２－２図　Ａ－３０号住居址出土遺物実測図



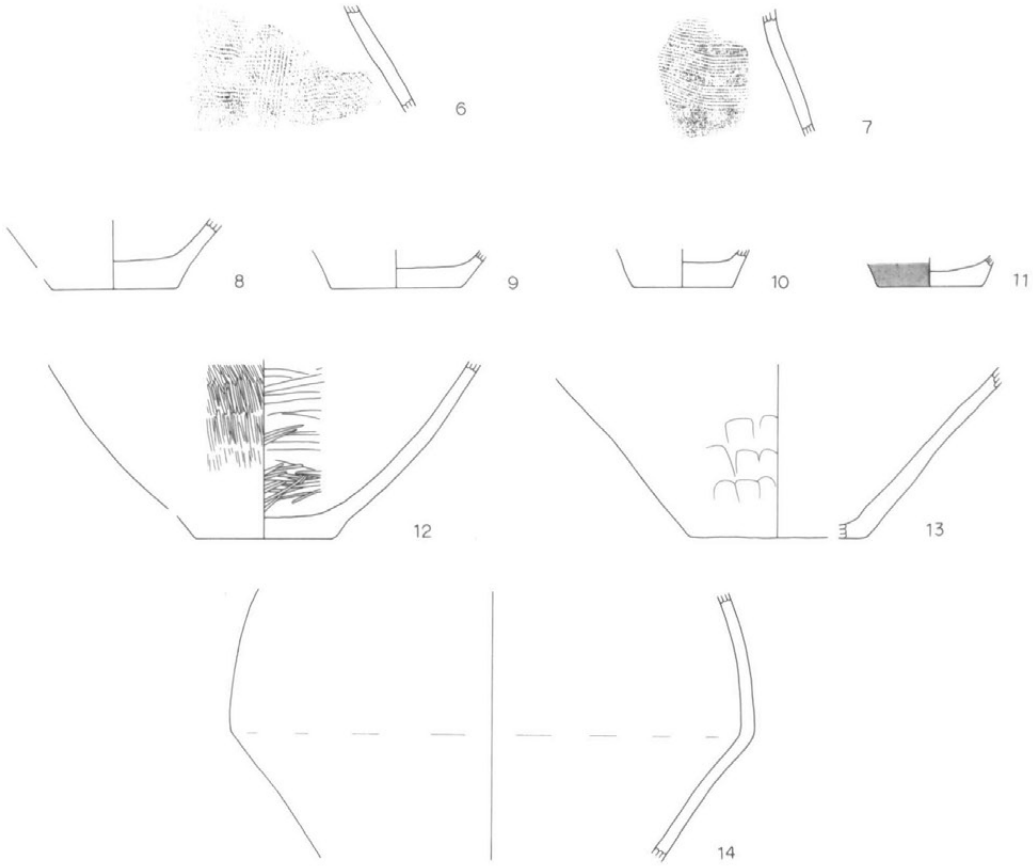
第２２３－１図　Ａ－３１号住居址出土遺物実測図



第２２３－２図　Ａ－３１号住居址出土遺物実測図

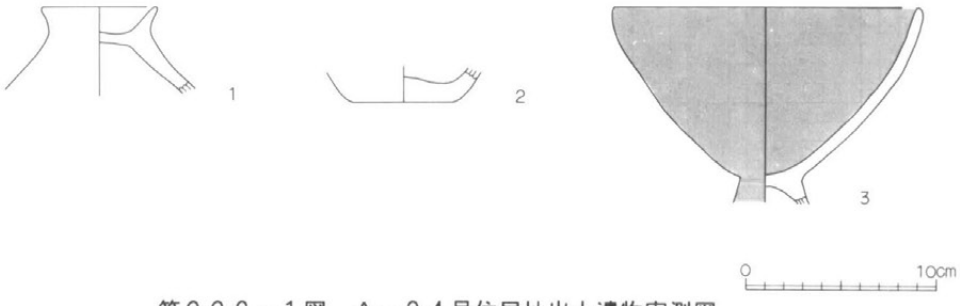


第２２４－１図　Ａ－３２号住居址出土遺物実測図

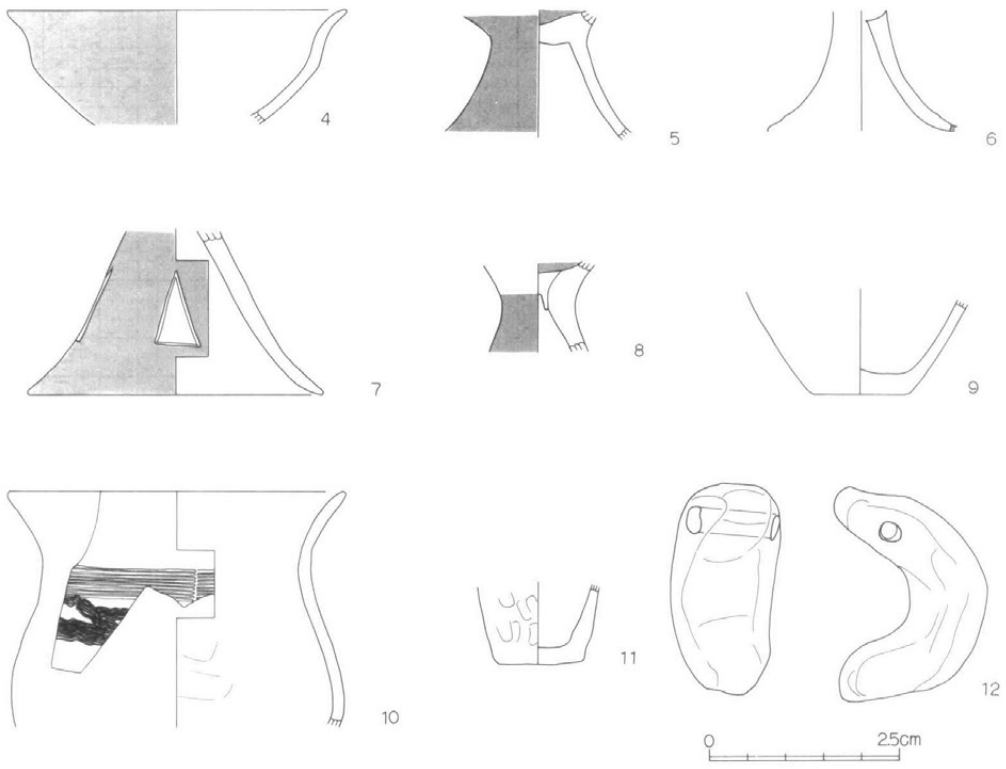


第２２４－２図　Ａ－３２号住居址出土遺物実測図

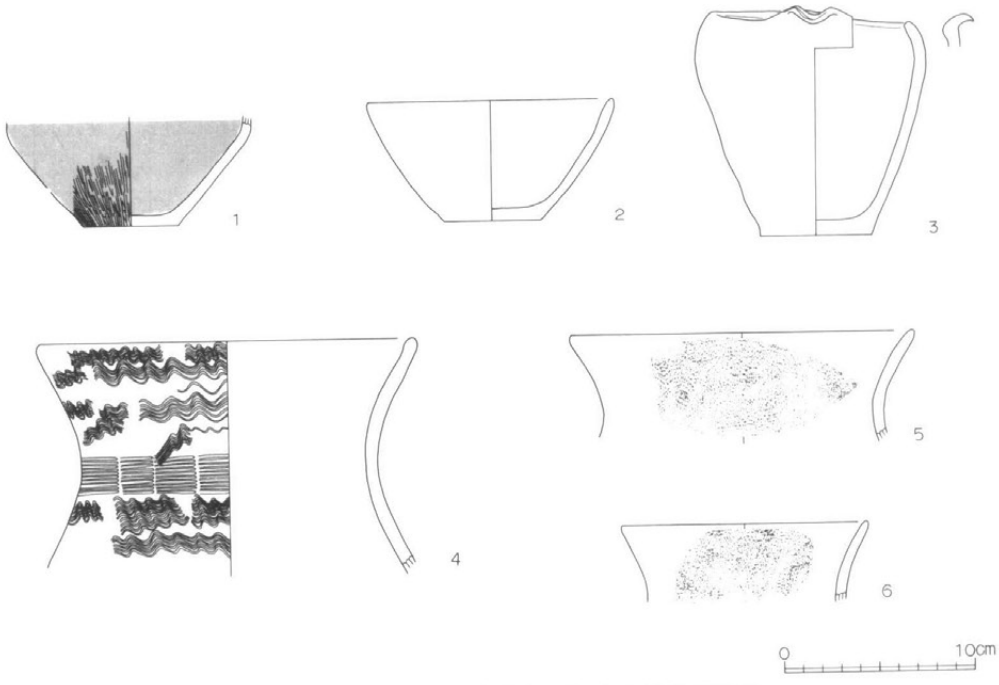
第２２５図　Ａ－３３号住居址出土遺物実測図



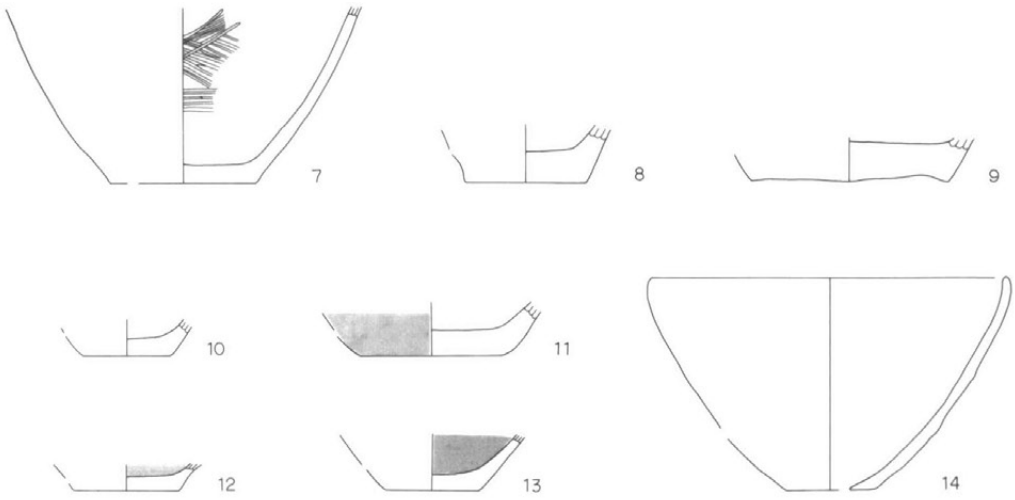
第２２６－１図　Ａ－３４号住居址出土遺物実測図



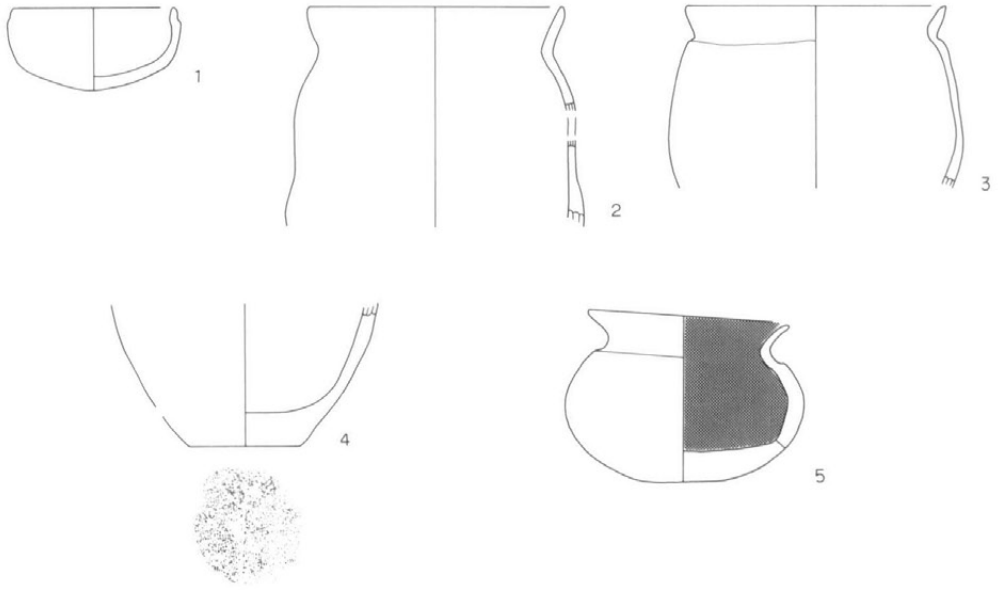
第２２６－２図　Ａ－３４号住居址出土遺物実測図



第２２７－１図　Ａ－３６号住居址出土遺物実測図

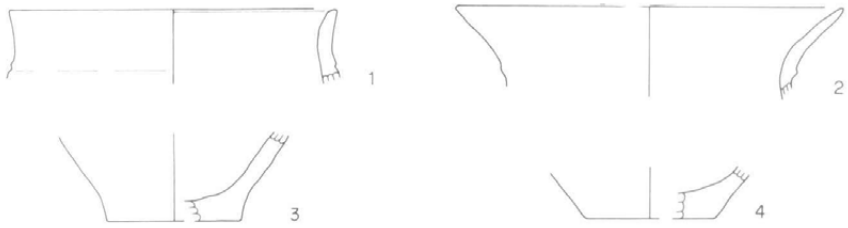


第２２７－２図　Ａ－３６号住居址出土遺物実測図

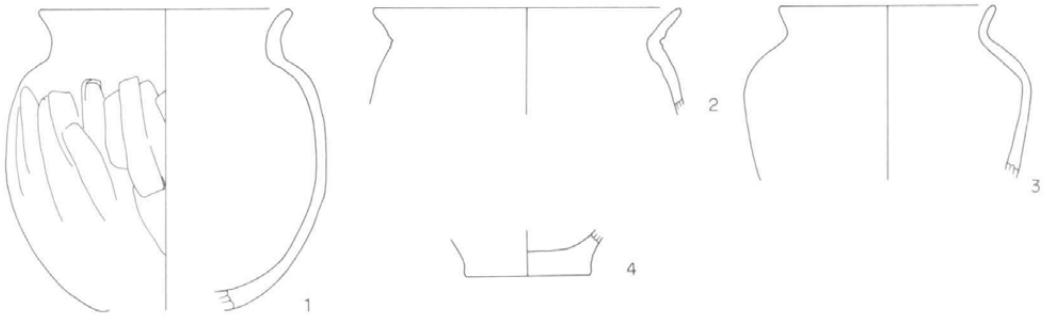


第２２８図　Ａ－３７号住居址出土遺物実測図

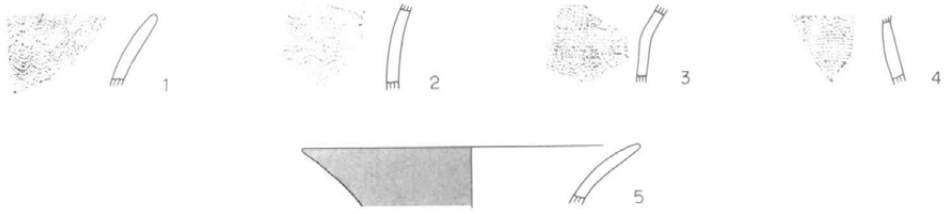
第２２９図　Ａ－３８号住居址出土遺物実測図



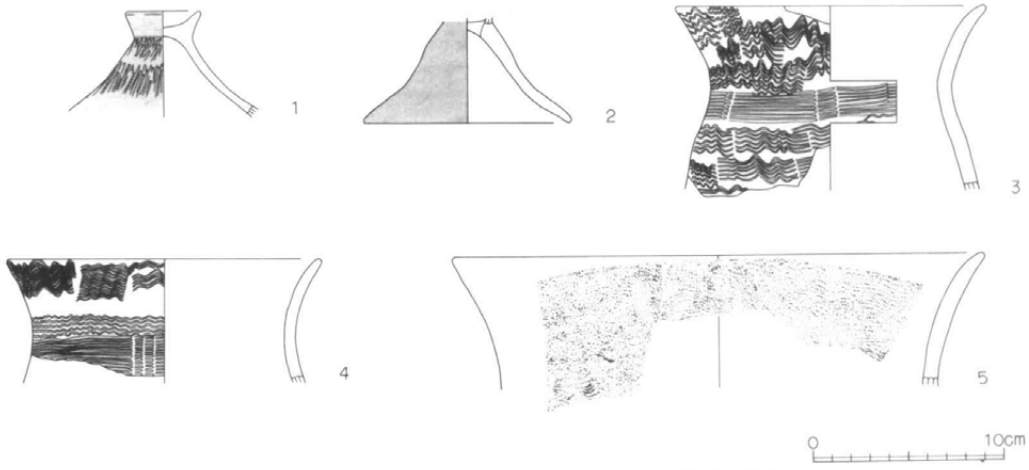
第２３０図　Ａ－３９号住居址出土遺物実測図



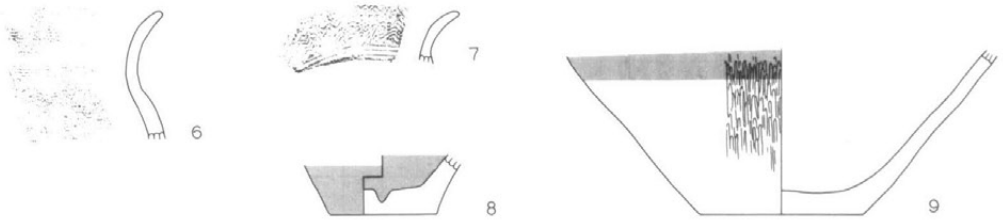
第２３１図　Ａ－４０号住居址出土遺物実測図



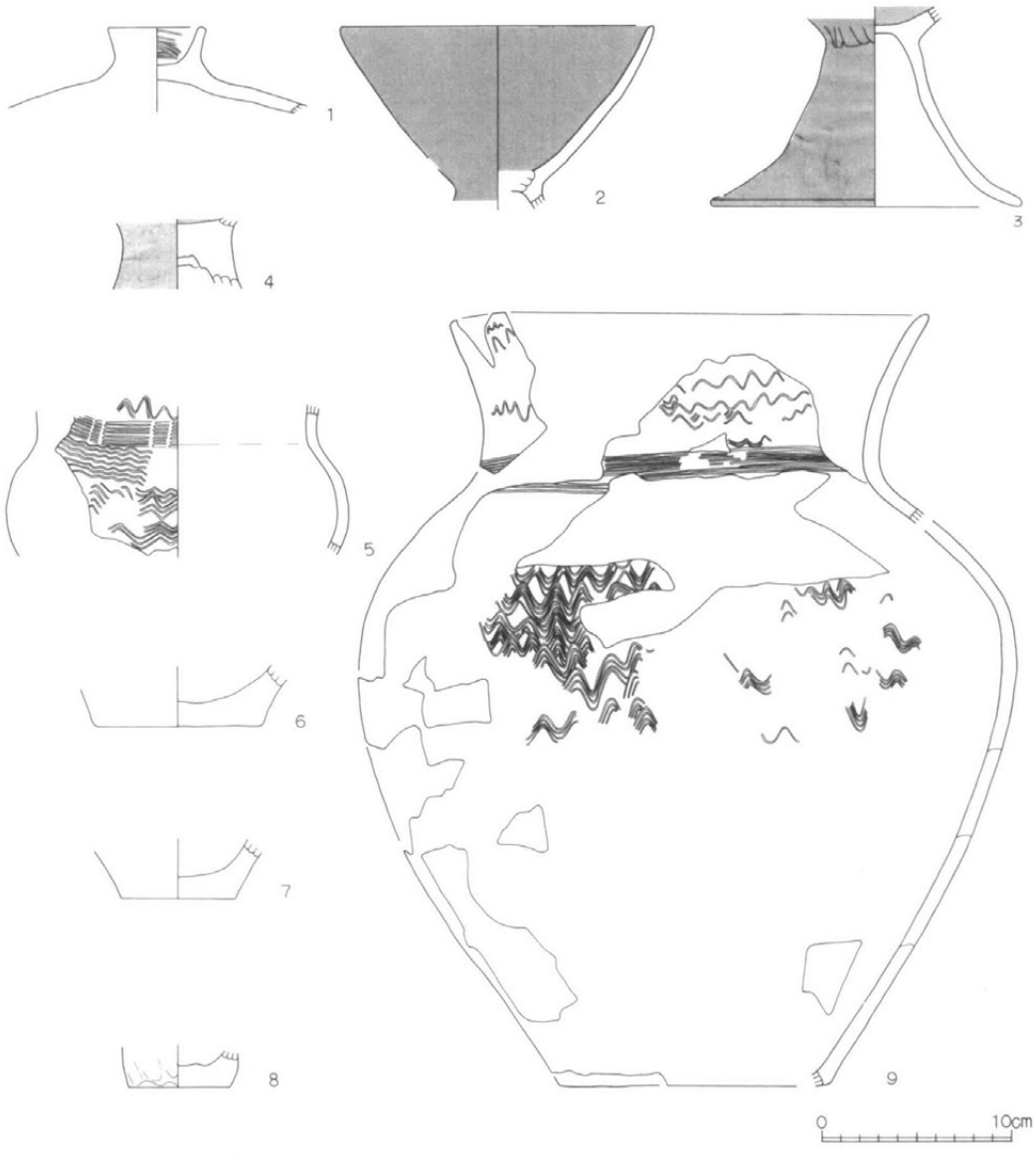
第２３２図　Ａ－４１号住居址出土遺物実測図



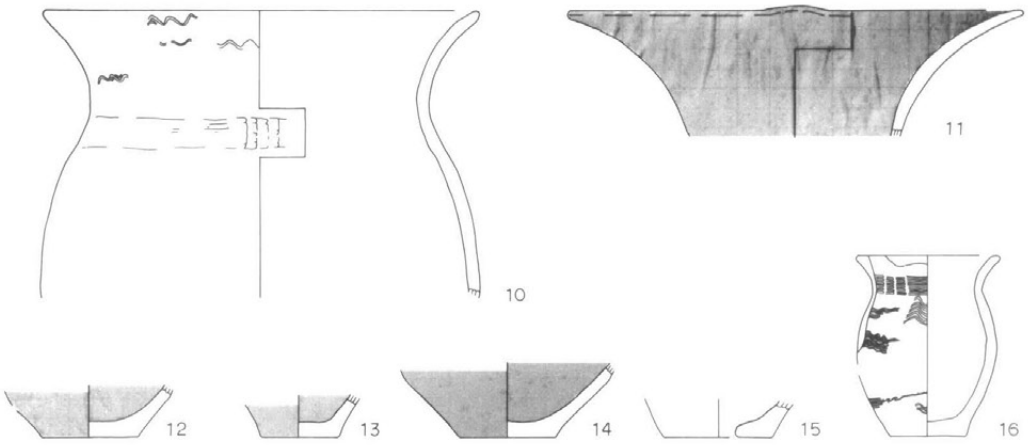
第２３３－１図　Ａ－４２号住居址出土遺物実測図



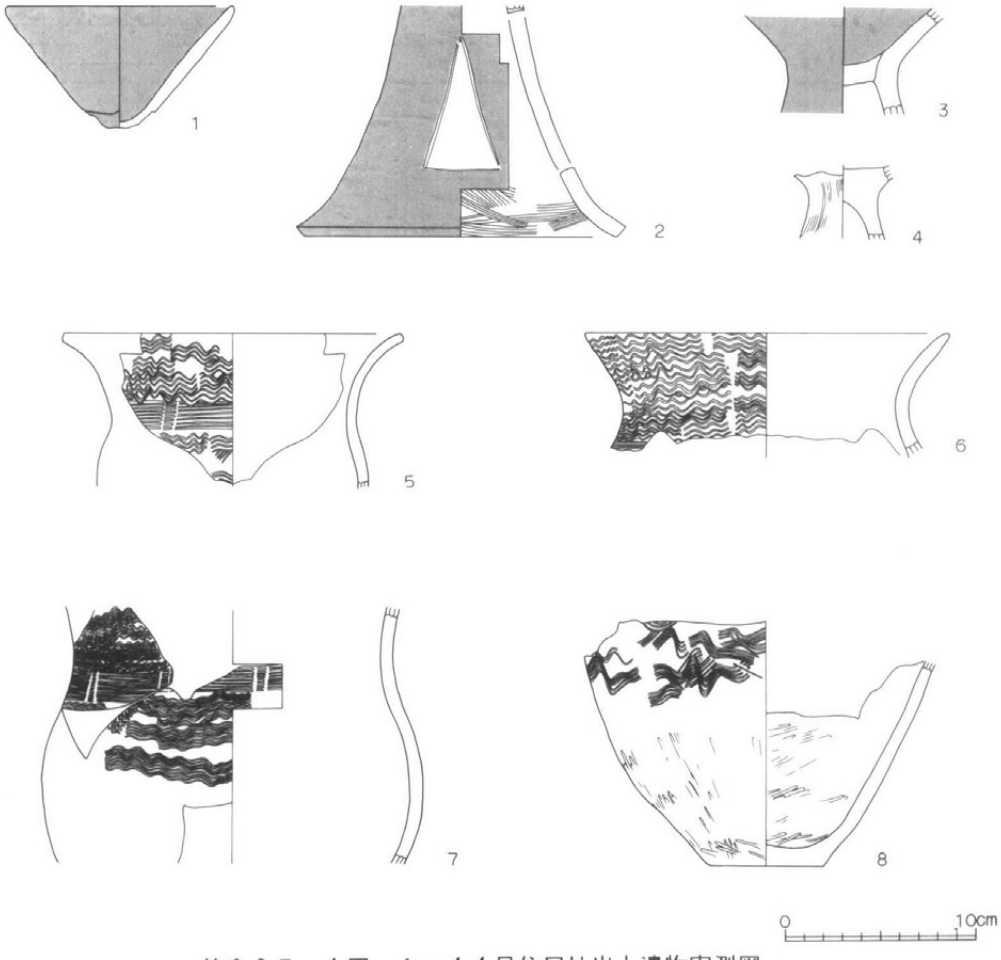
第２３３－２図　Ａ－４２号住居址出土遺物実測図



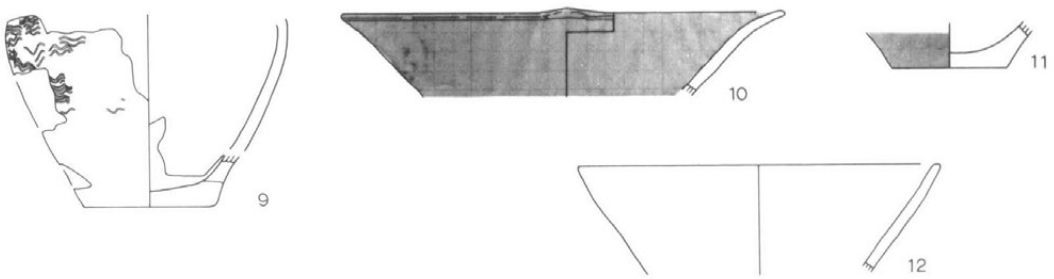
第２３４－１図　Ａ－４３号住居址出土遺物実測図



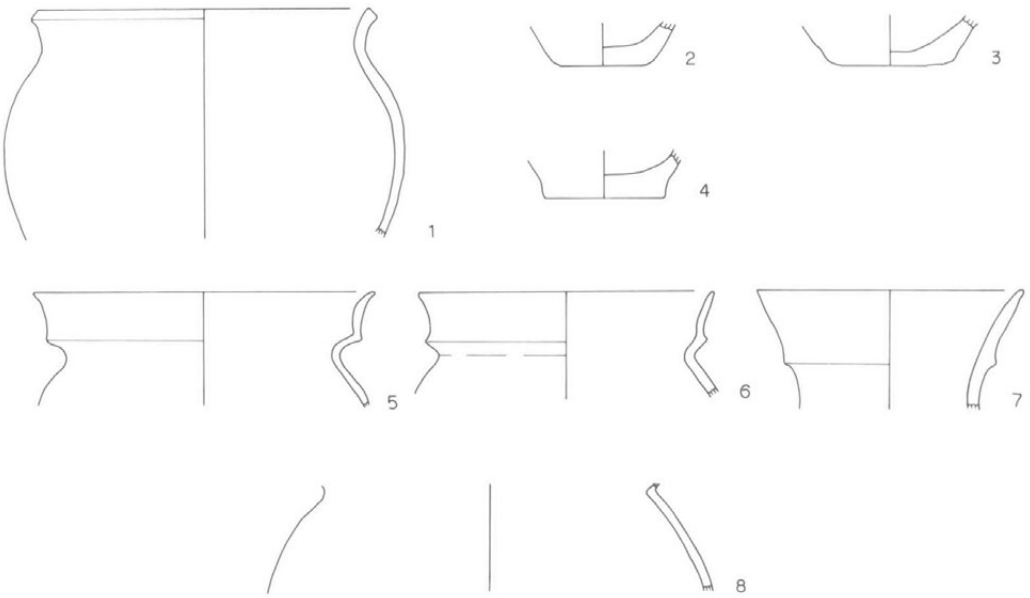
第２３４－２図　Ａ－４３号住居址出土遺物実測図



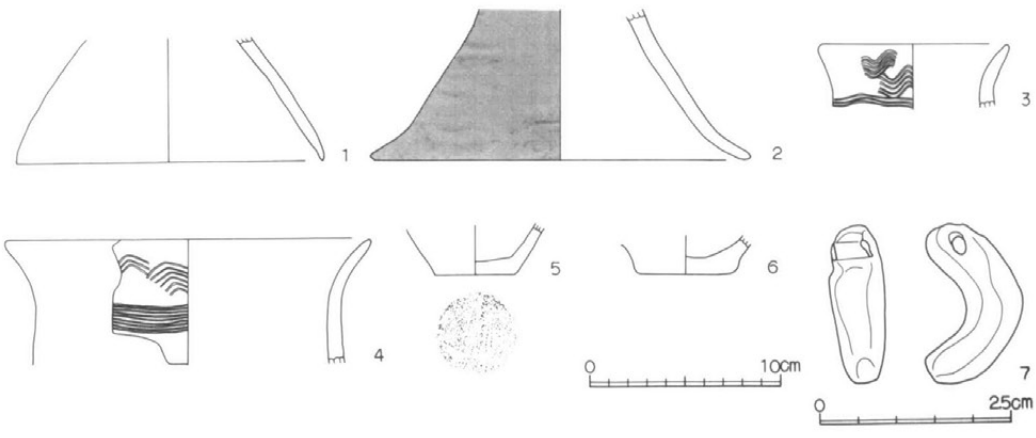
第２３５－１図　Ａ－４４号住居址出土遺物実測図



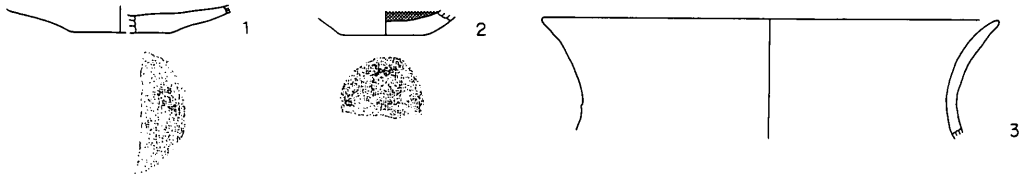
第２３５－２図　Ａ－４４号住居址出土遺物実測図



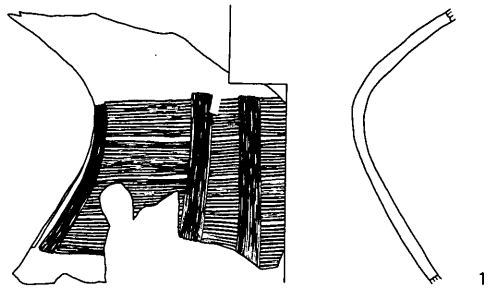
第２３６図　Ａ－４５号住居址出土遺物実測図



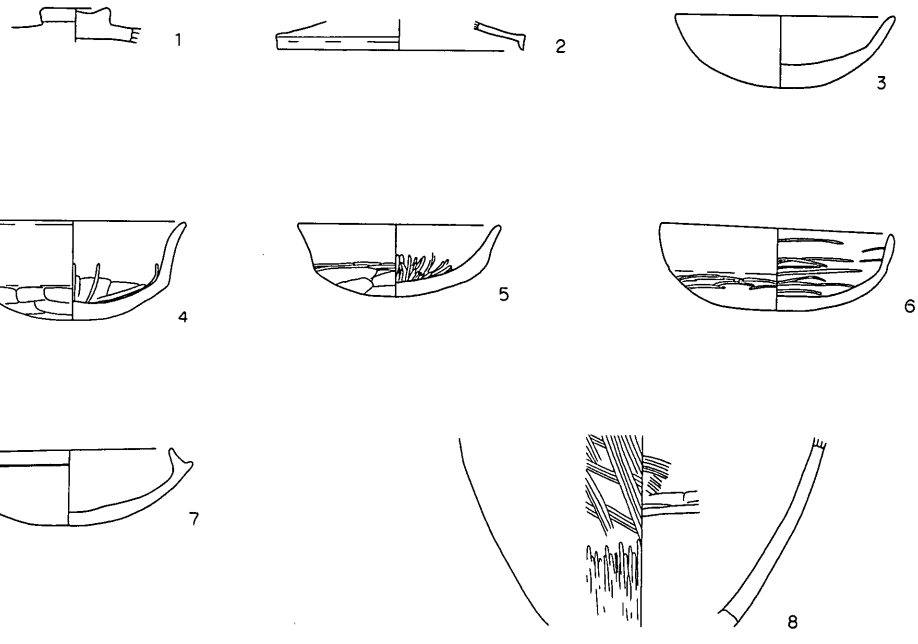
第２３７図　Ａ－４６号住居址出土遺物実測図



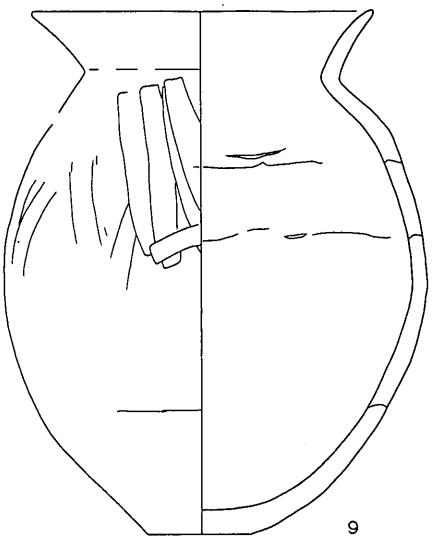
第２３８図　Ａ－４７号住居址出土遺物実測図

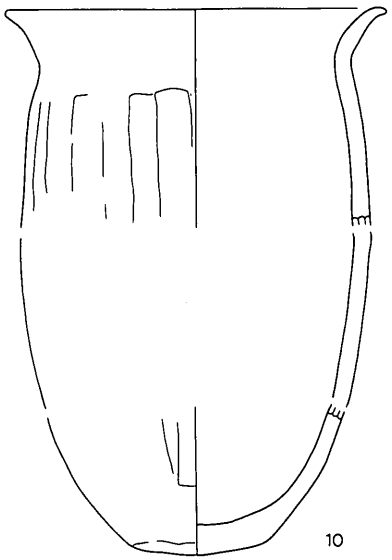


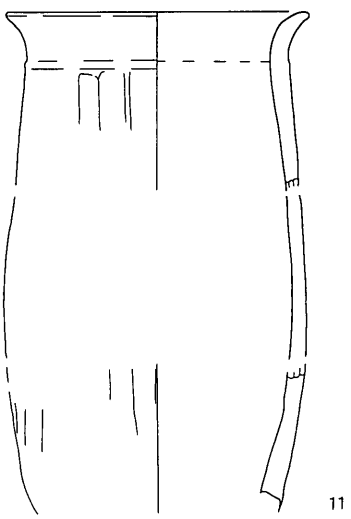
第２３９図　Ａ－４８号住居址出土遺物実測図

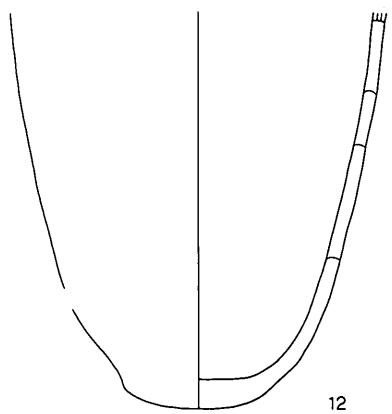


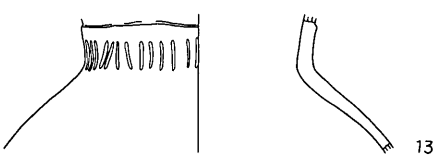
第２４０－１図　Ａ－４９号住居址出土遺物実測図

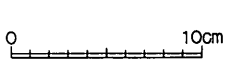




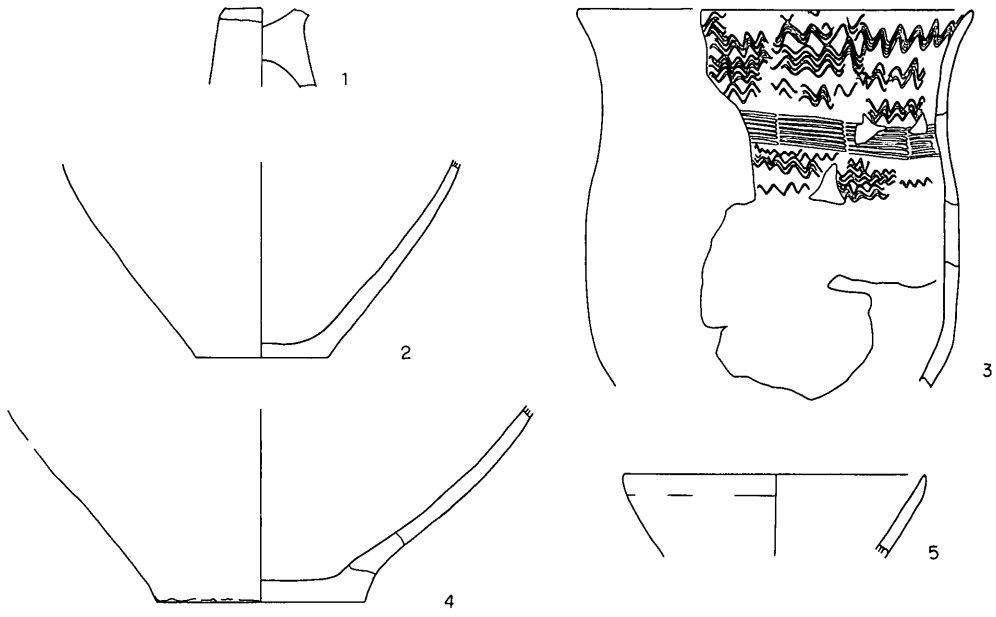




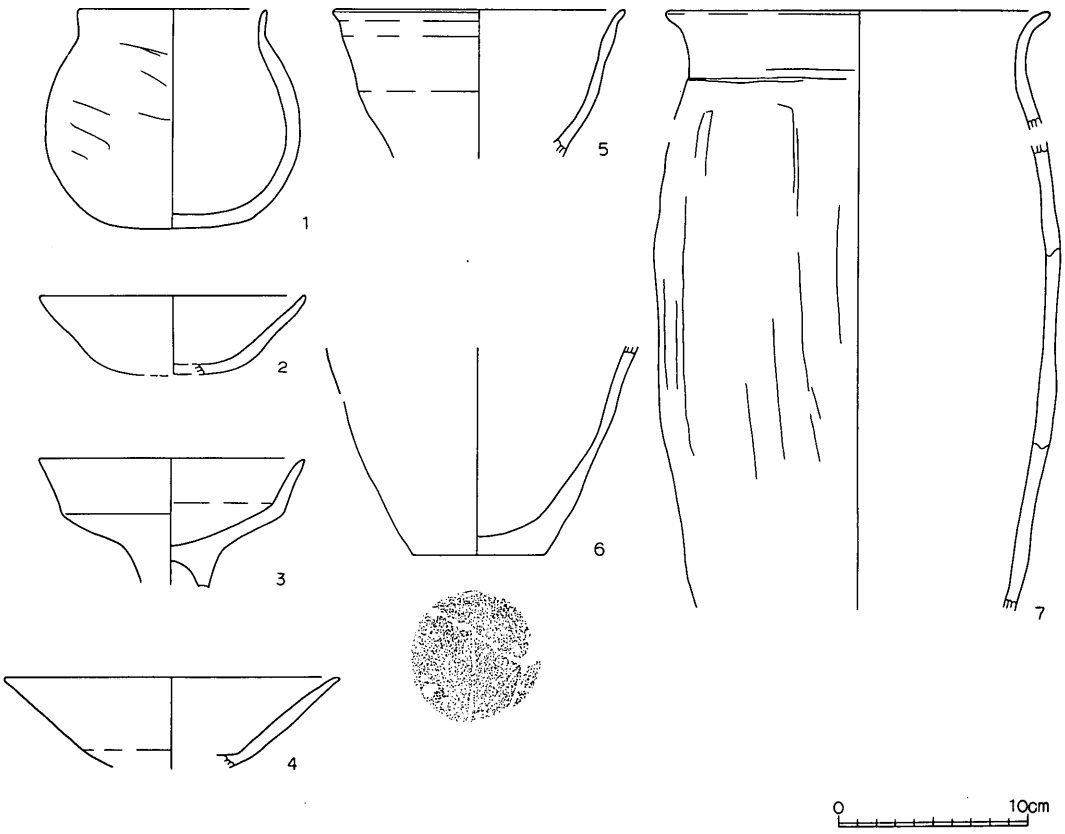




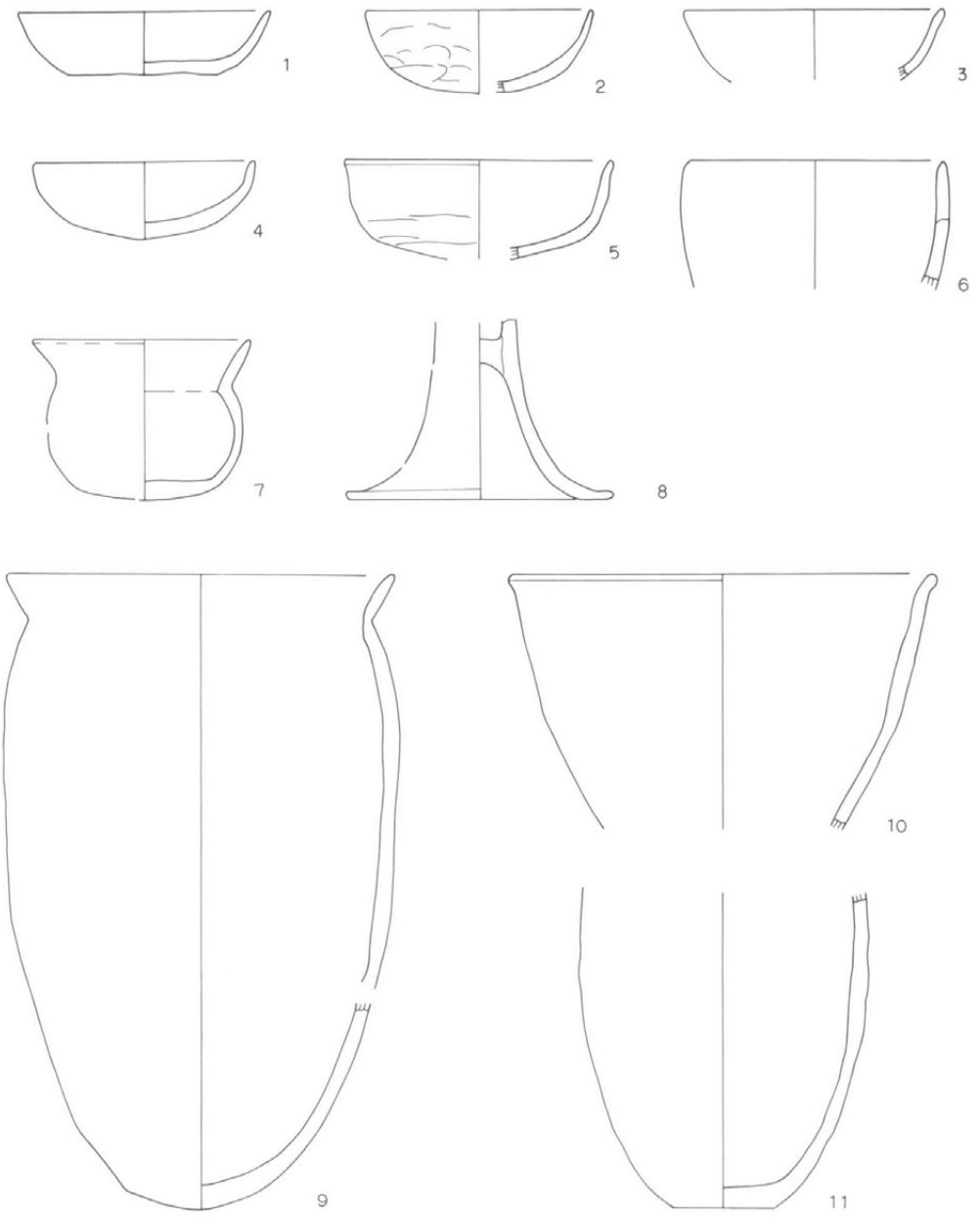
第２４０－２図　Ａ－４９号住居址出土遺物実測図



第２４１図　Ａ－５０号住居址出土遺物実測図

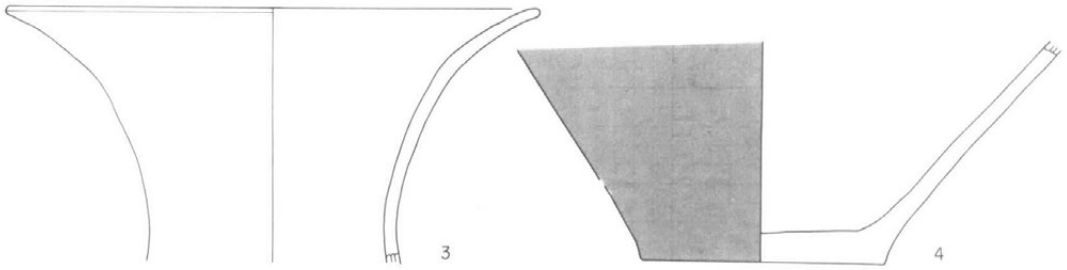


第２４２図　Ａ－５１号住居址出土遺物実測図



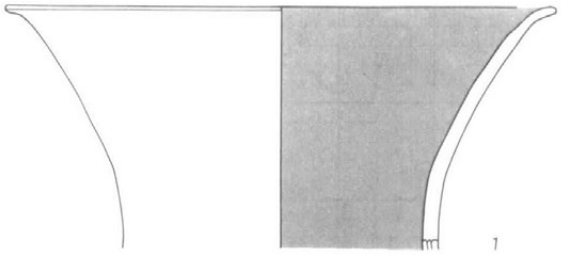
第２４３図　Ａ－５２号住居址出土遺物実測図

第２４４－１図　Ａ－５３号住居址出土遺物実測図

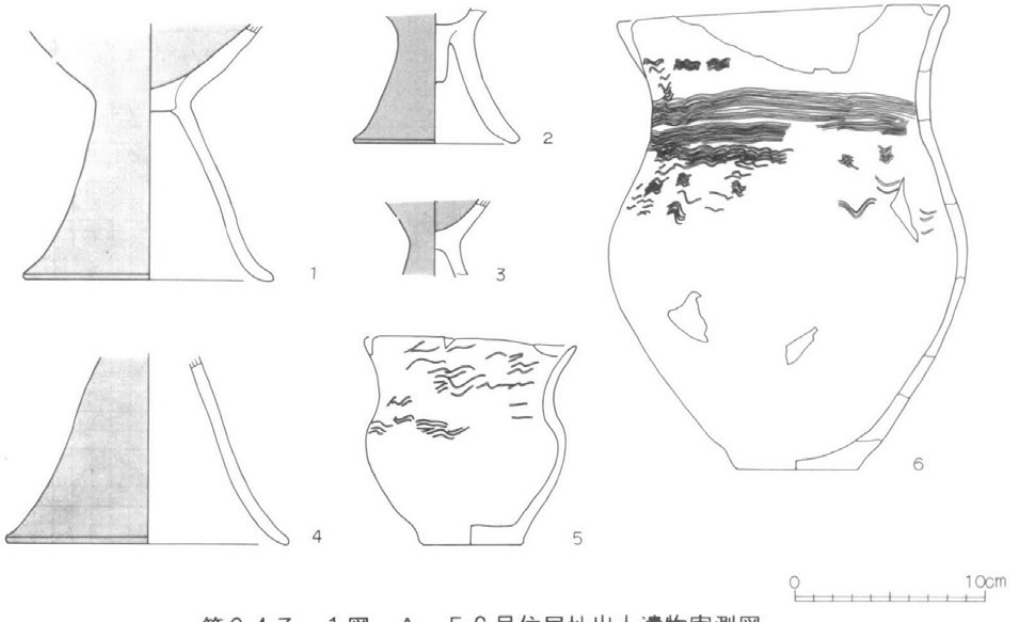


第２４４－２図　Ａ－５３号住居址出土遺物実測図

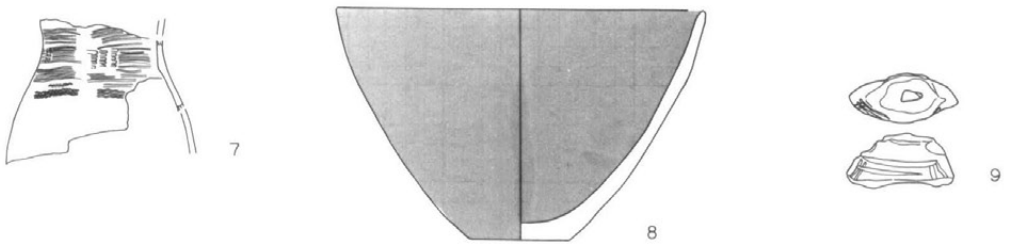
第２４５図　Ａ－５４号住居址出土遺物実測図



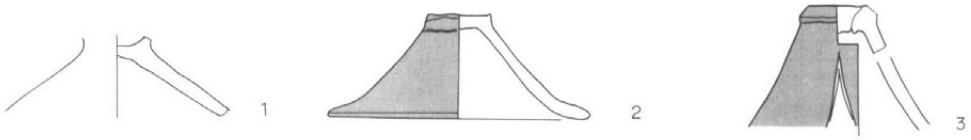
第２４６図　Ａ－５５号住居址出土遺物実測図



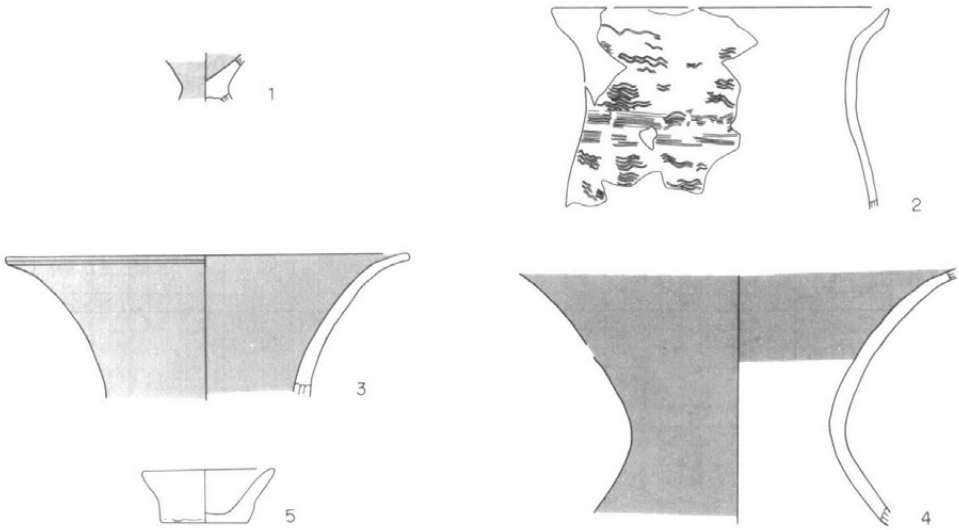
第２４７－１図　Ａ－５６号住居址出土遺物実測図



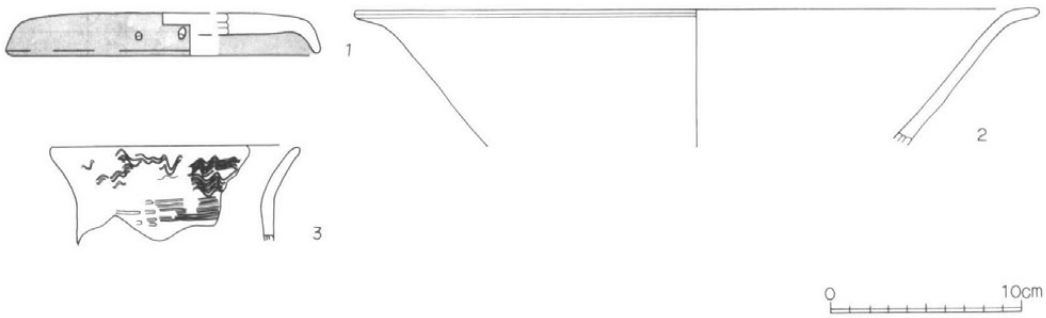
第２４７－２図　Ａ－５６号住居址出土遺物実測図



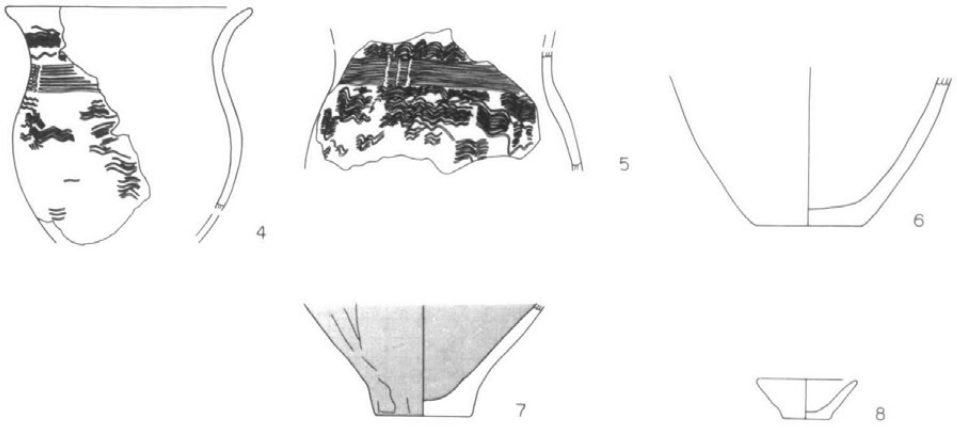
第２４８図　Ａ－５７号住居址出土遺物実測図



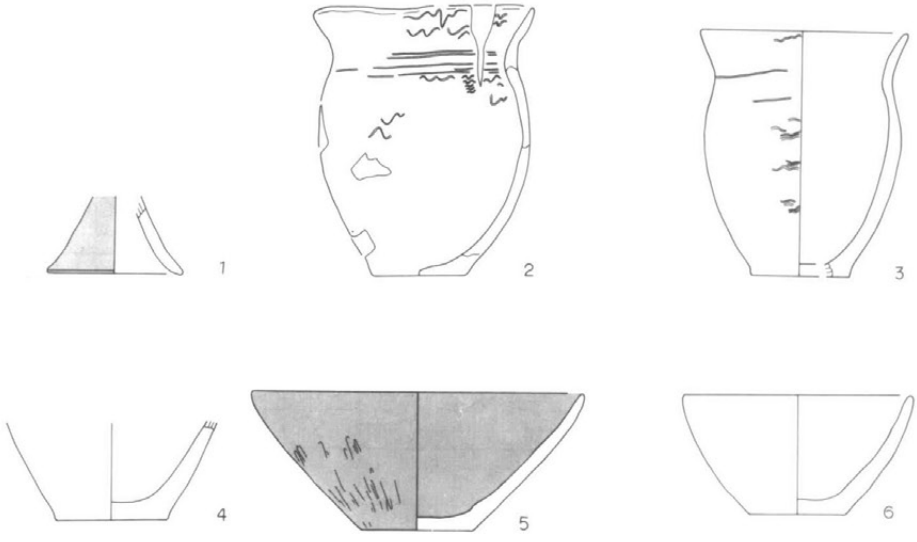
第２４９図　Ａ－５８号住居址出土遺物実測図



第２５０－１図　Ａ－５９号住居址出土遺物実測図

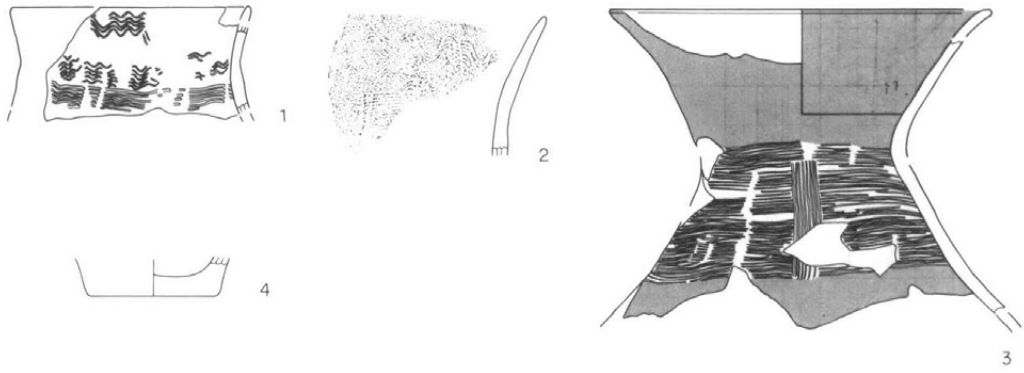


第２５０－２図　Ａ－５９号住居址出土遺物実測図

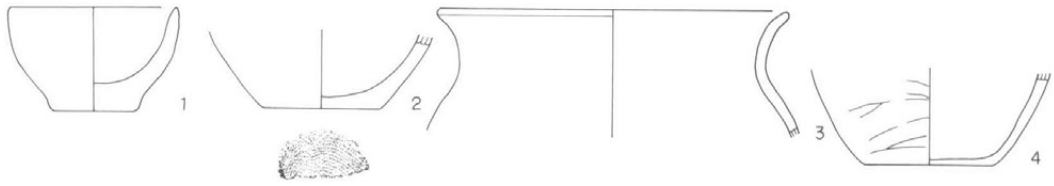


第２５１図　Ａ－６０号住居址出土遺物実測図

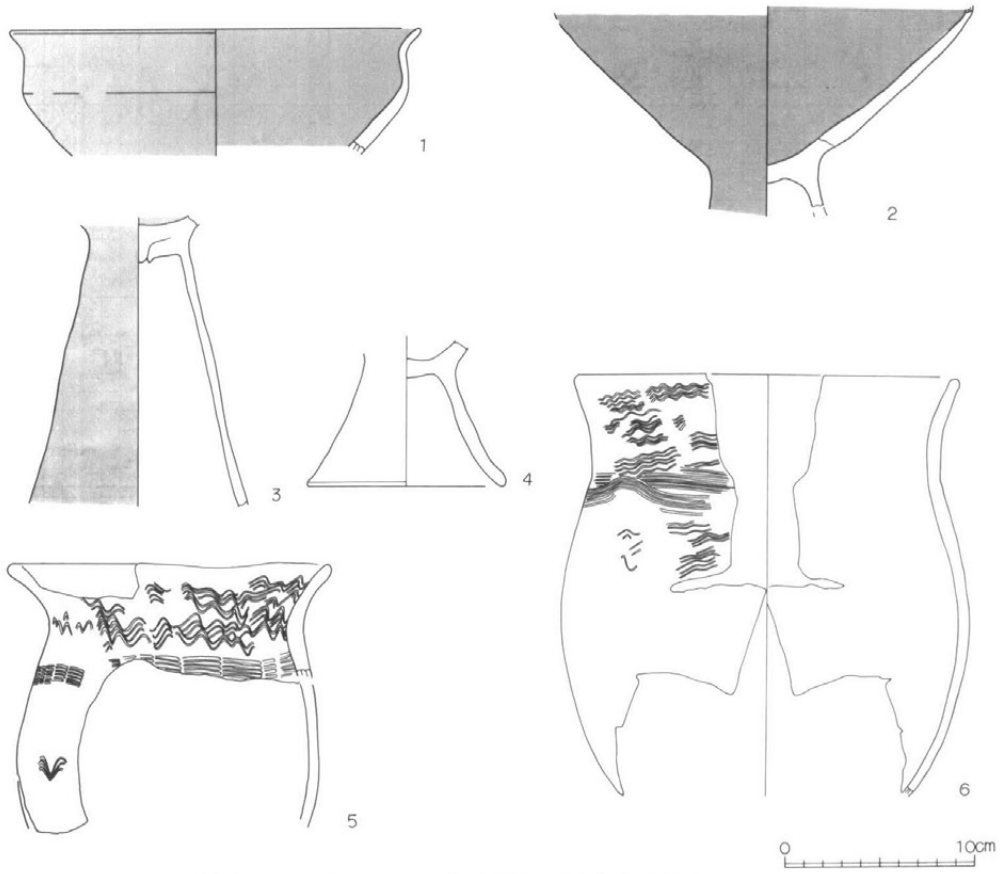
第２５２図　Ａ－６１号住居址出土遺物実測図



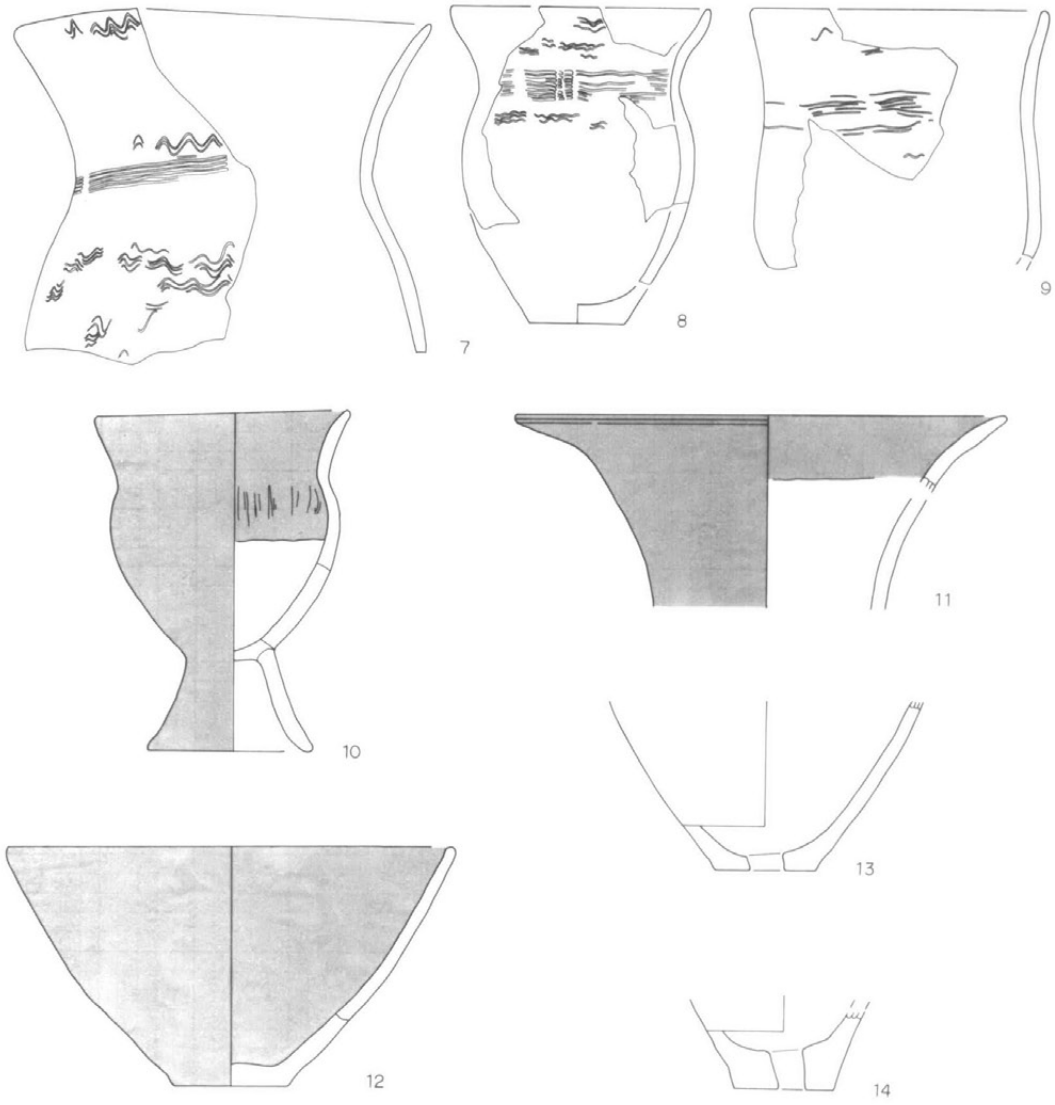
第２５３図　Ａ－６２号住居址出土遺物実測図



第２５４図　Ａ－６３号住居址出土遺物実測図

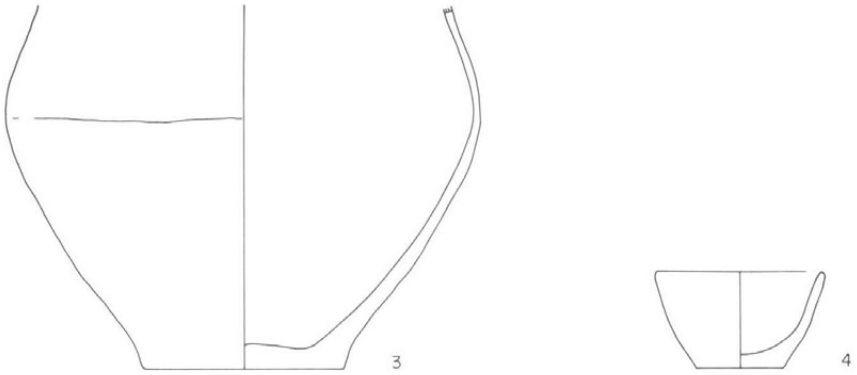


第２５５－１図　Ａ－６４号住居址出土遺物実測図

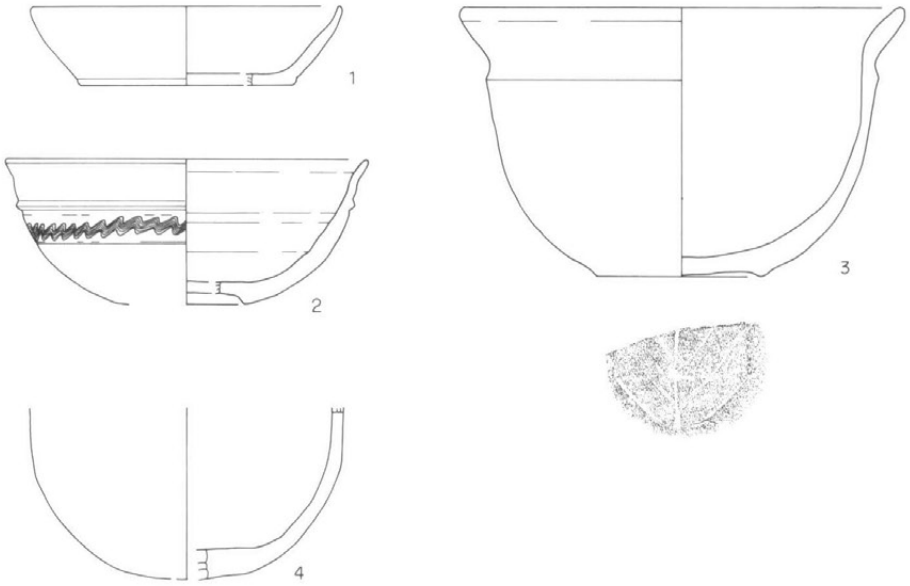


第２５５－２図　Ａ－６４号住居址出土遺物実測図

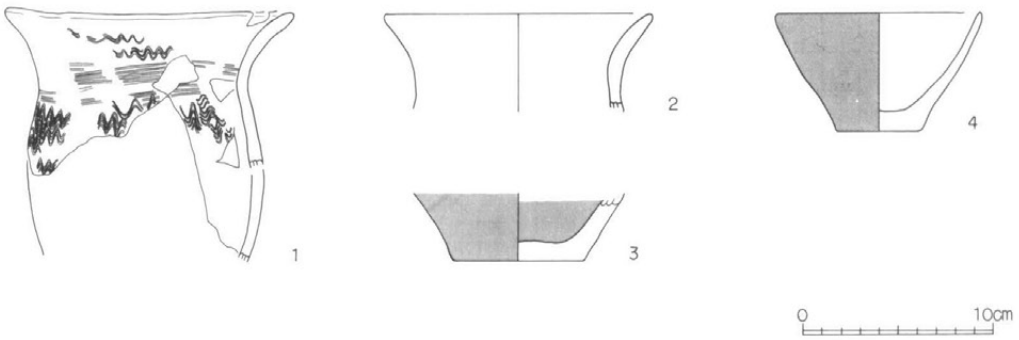
第２５６－１図　Ａ－６５号住居址出土遺物実測図



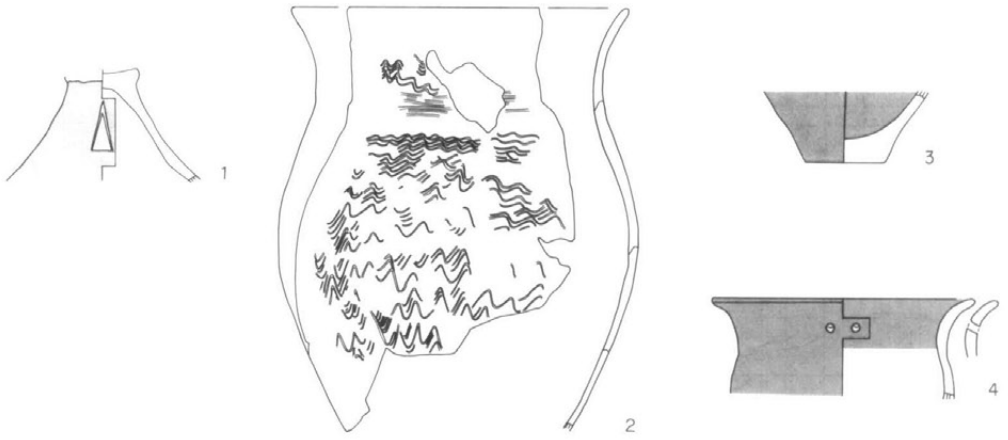
第２５６－２図　Ａ－６５号住居址出土遺物実測図



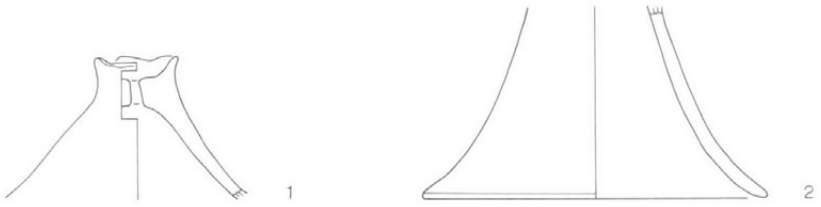
第２５７図　Ａ－６６号住居址出土遺物実測図



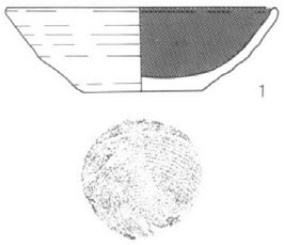
第２５８図　Ａ－６７号住居址出土遺物実測図



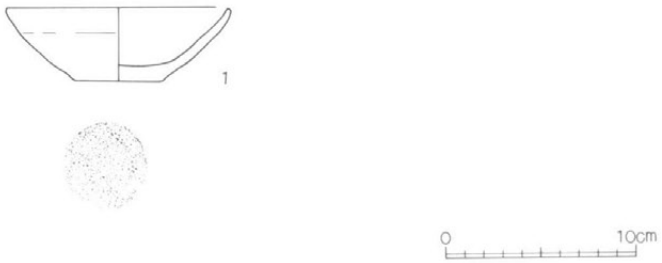
第２５９図　Ａ－６８号住居址出土遺物実測図



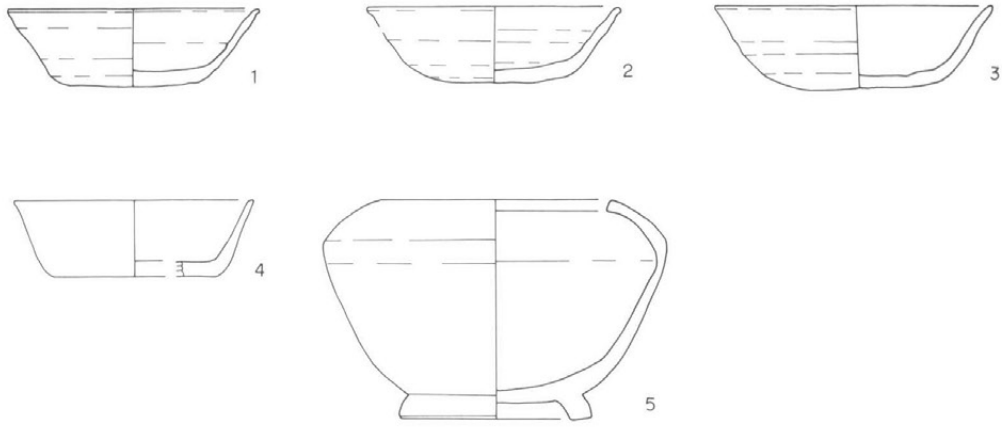
第２６０図　Ａ－６９号住居址出土遺物実測図



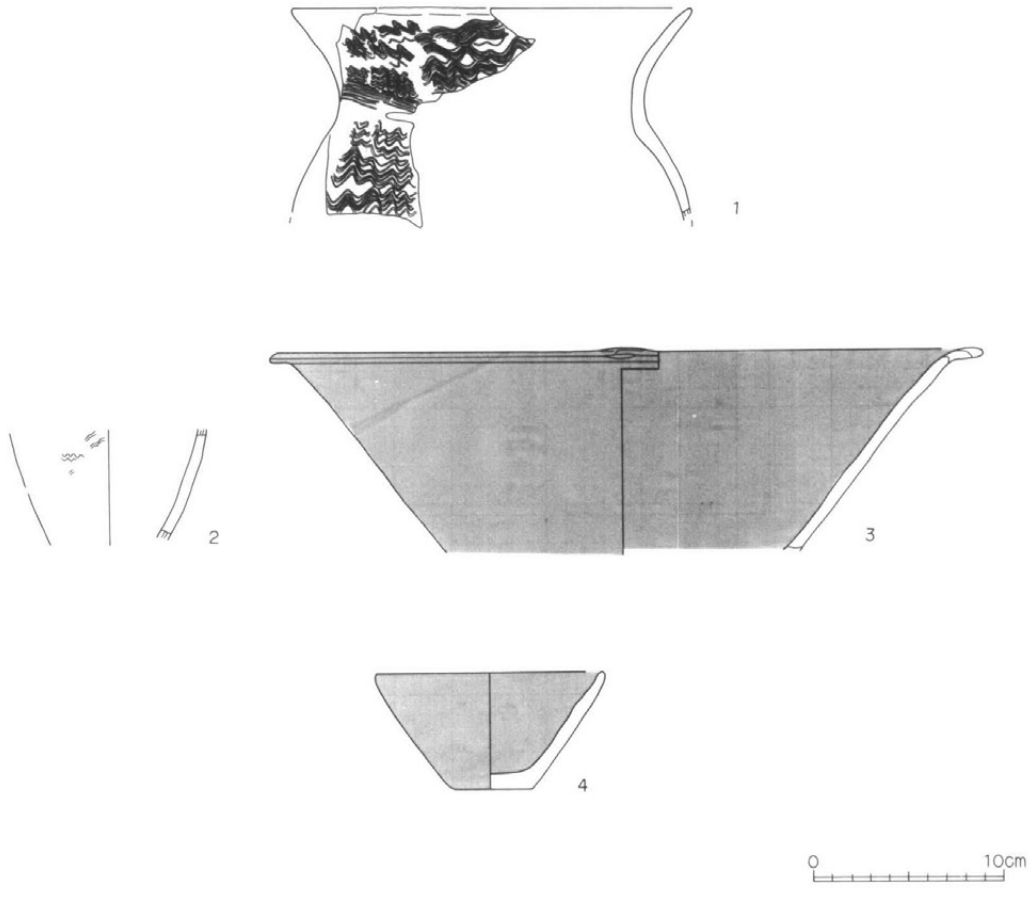
第２６１図　Ａ－７０号住居址出土遺物実測図



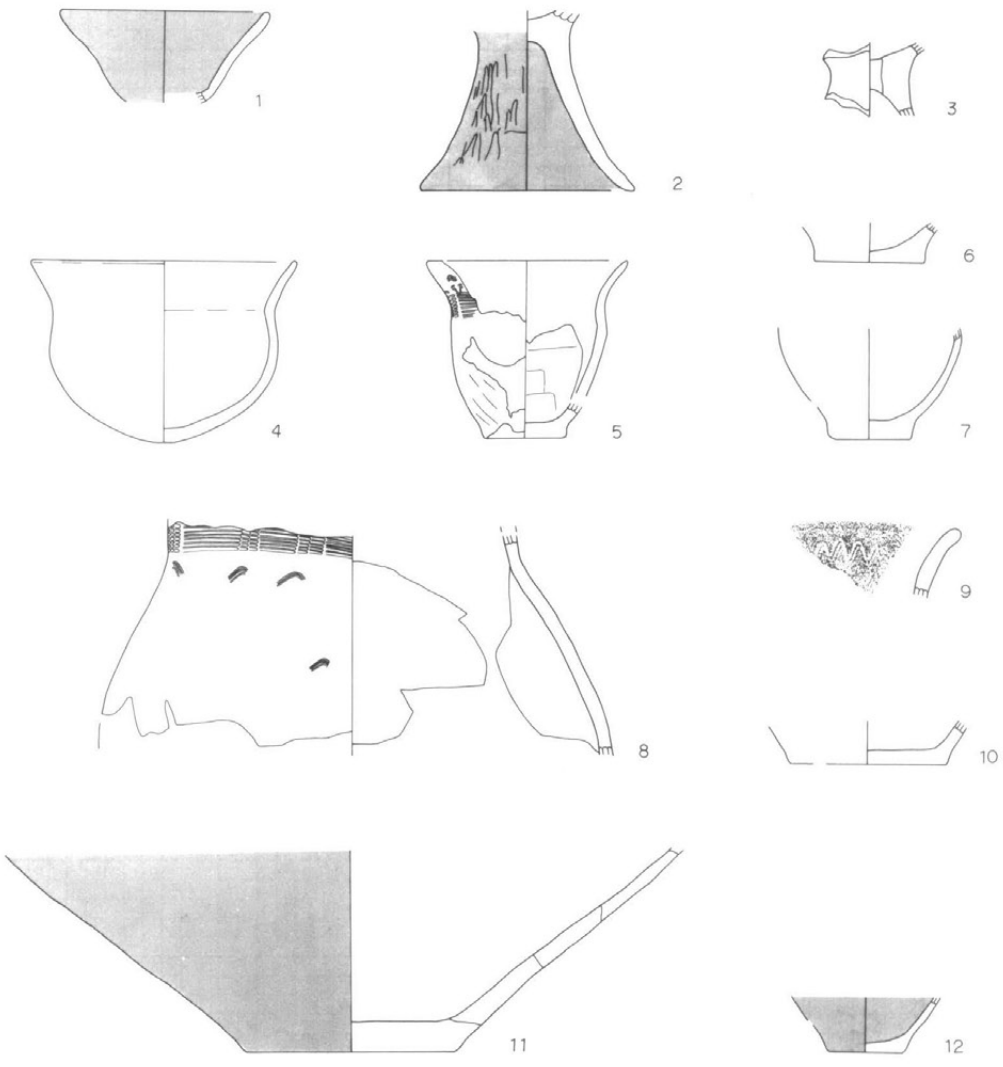
第２６２図　Ａ－７１号住居址出土遺物実測図



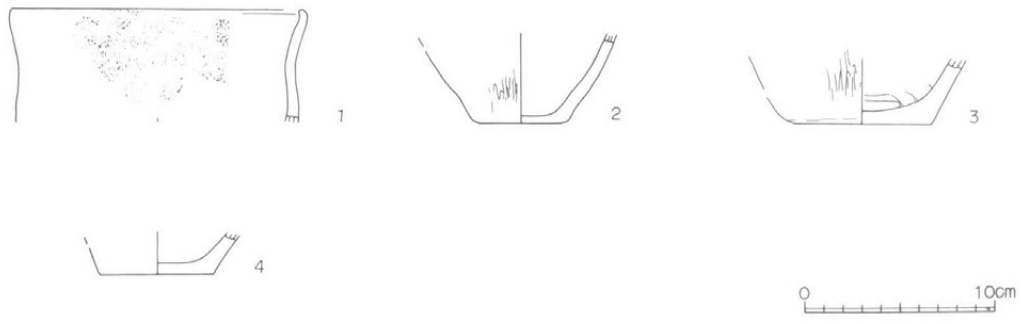
第２６３図　Ａ－７２号住居址出土遺物実測図



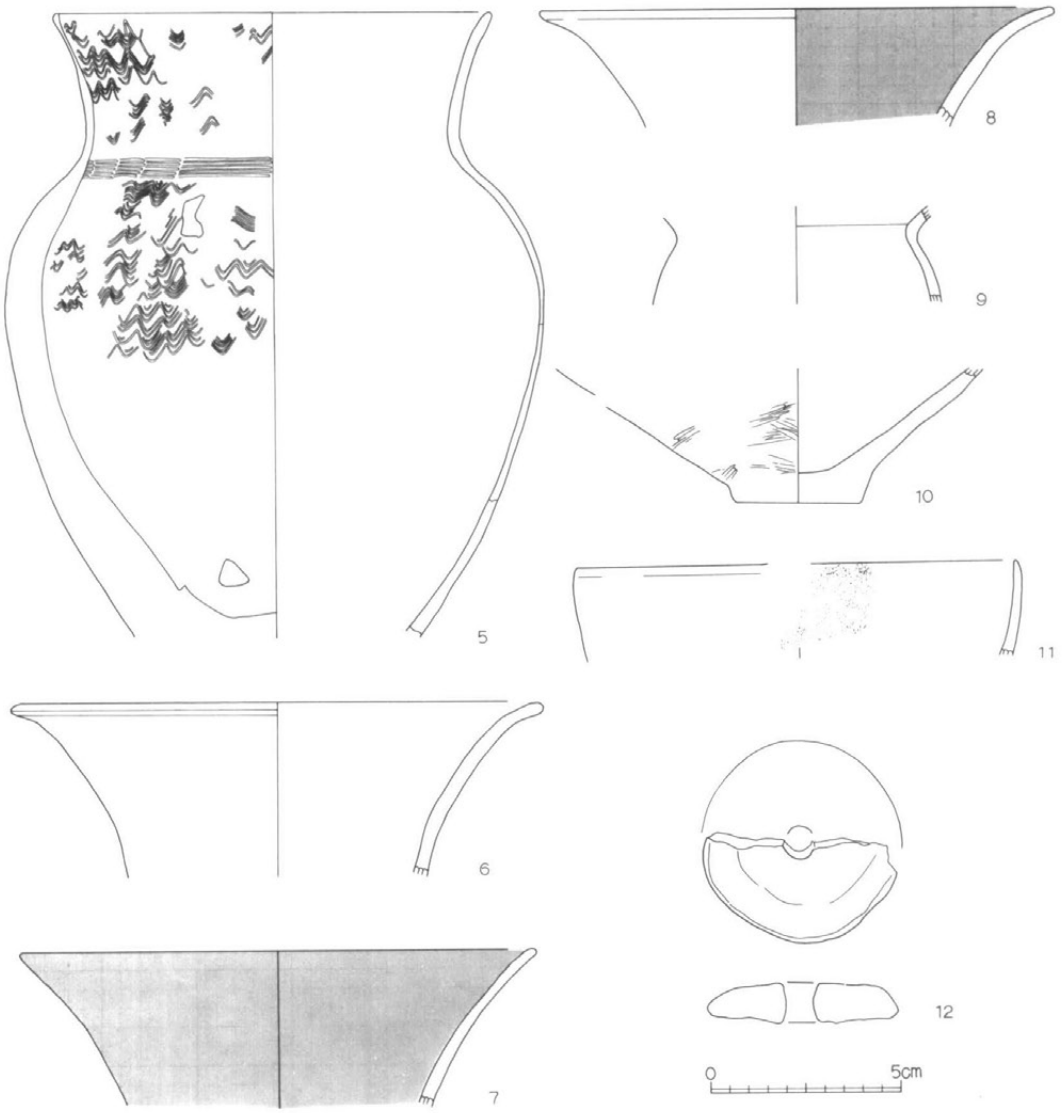
第２６４図　Ａ－７３号住居址出土遺物実測図



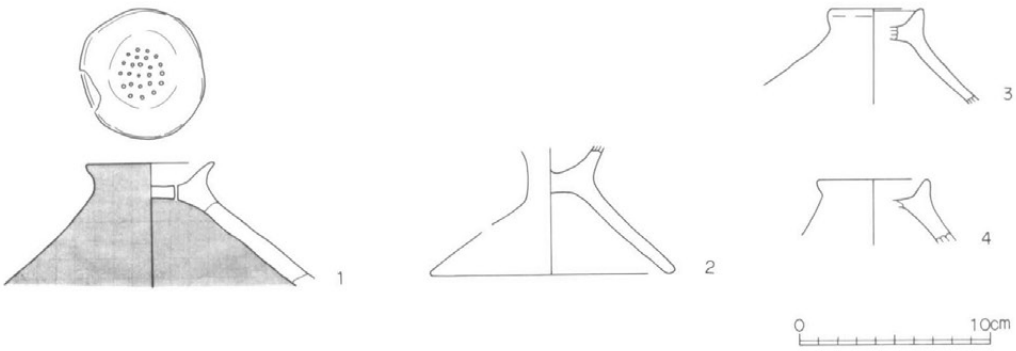
第２６５図　Ｂ－４０１号住居址出土遺物実測図



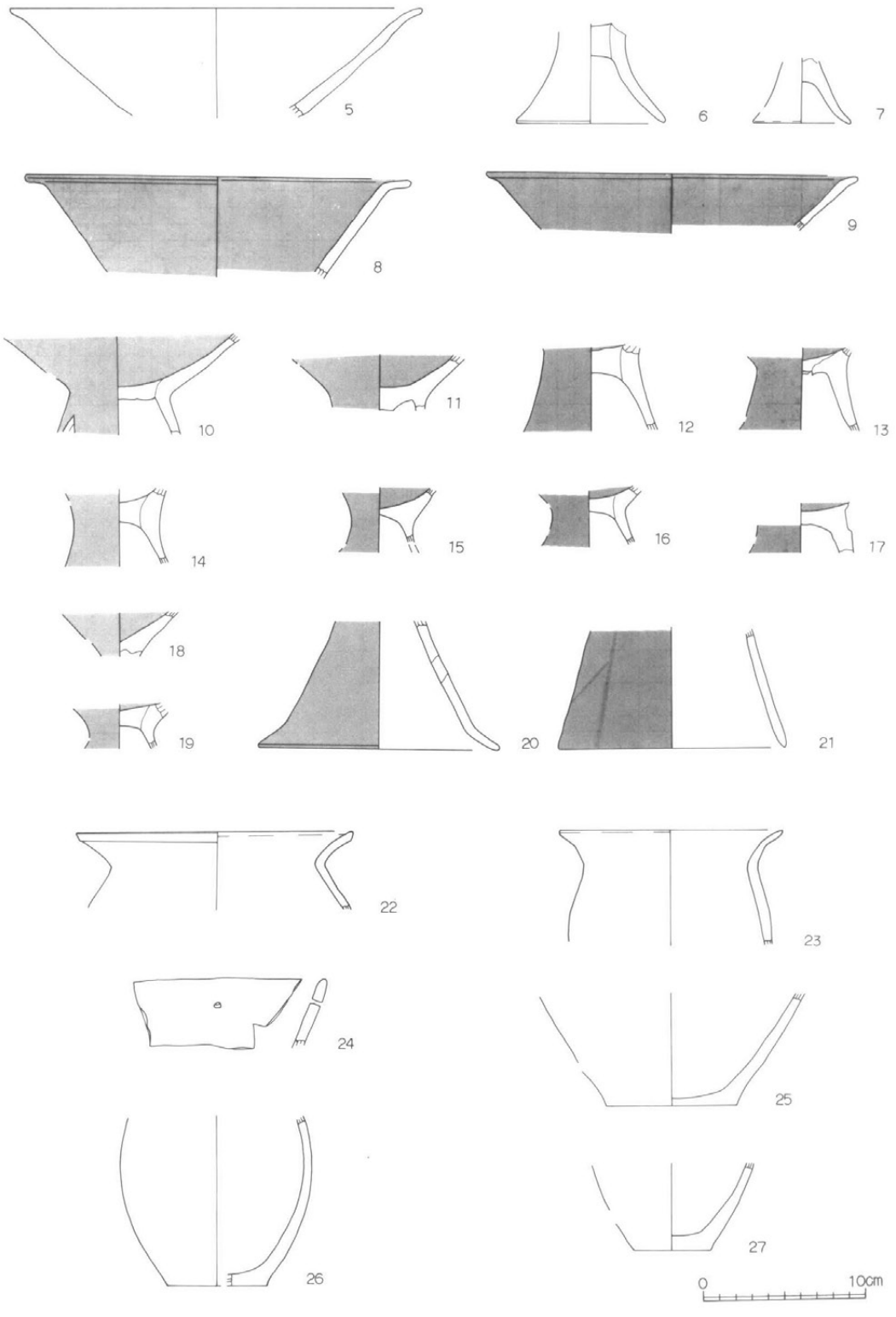
第２６６－１図　Ｂ－４０２号住居址出土遺物実測図



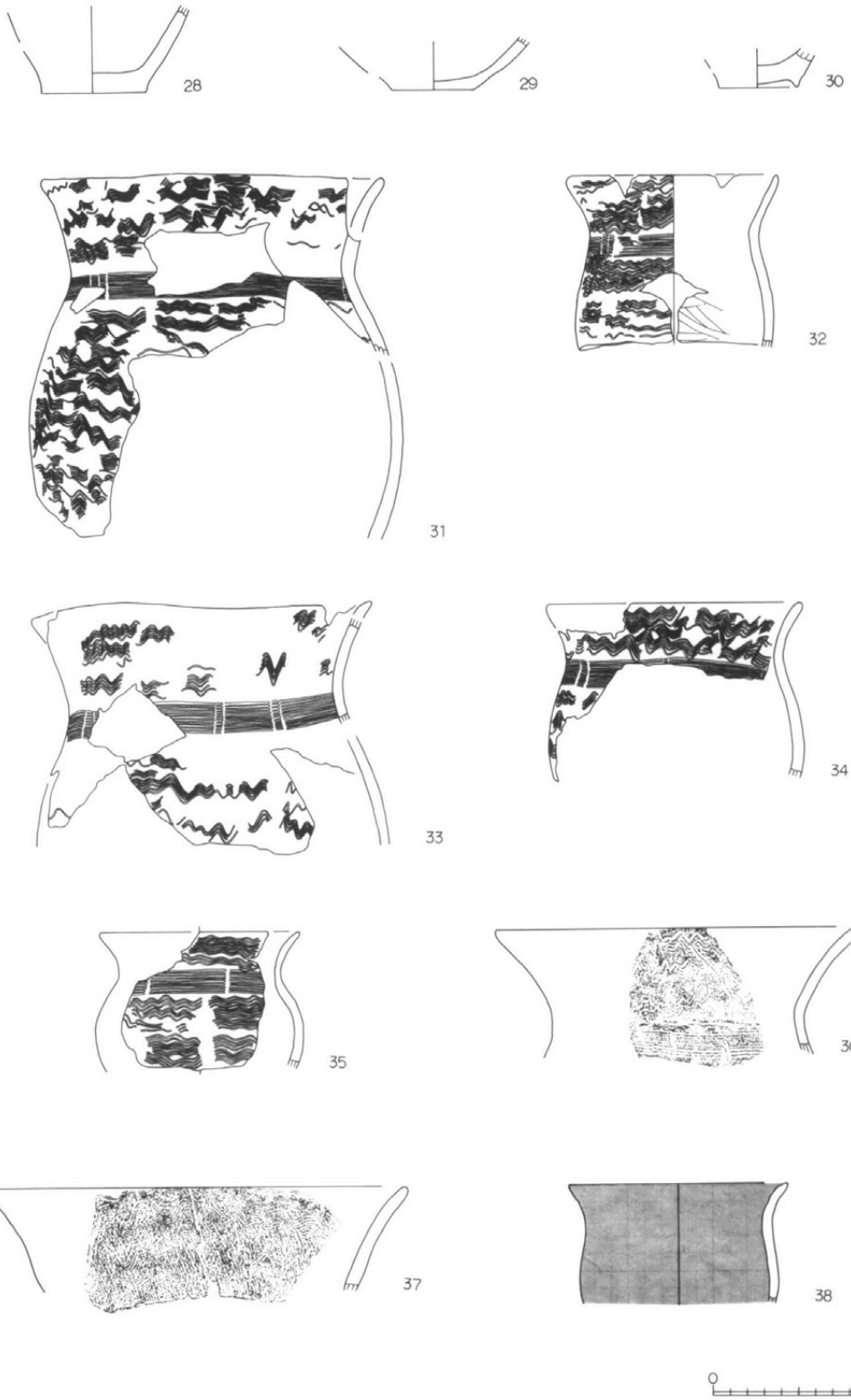
第２６６－２図　Ｂ－４０２号住居址出土遺物実測図



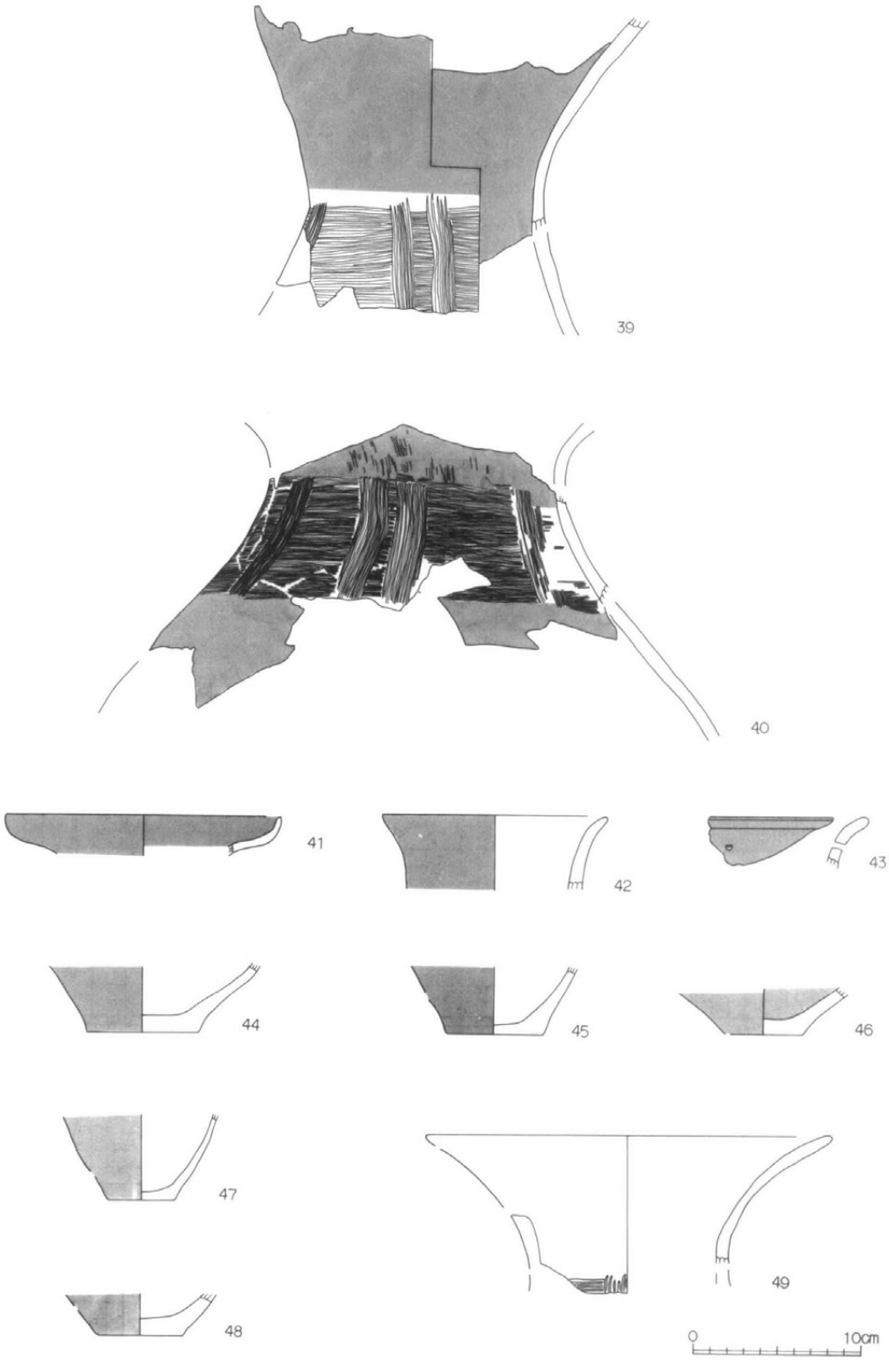
第２６７－１図　Ｂ－４０３号住居址出土遺物実測図



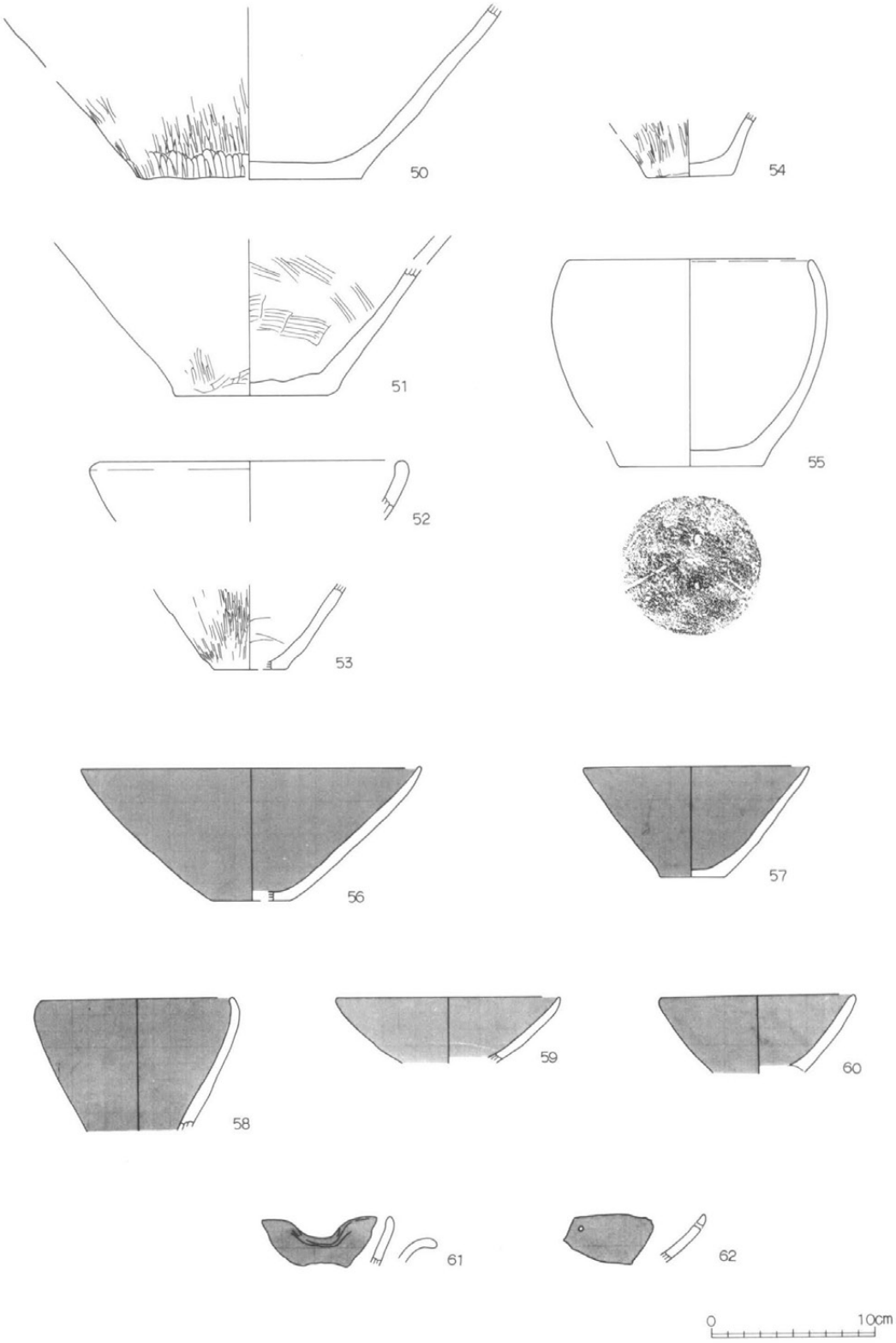
第２６７－２図　Ｂ－４０３号住居址出土遺物実測図



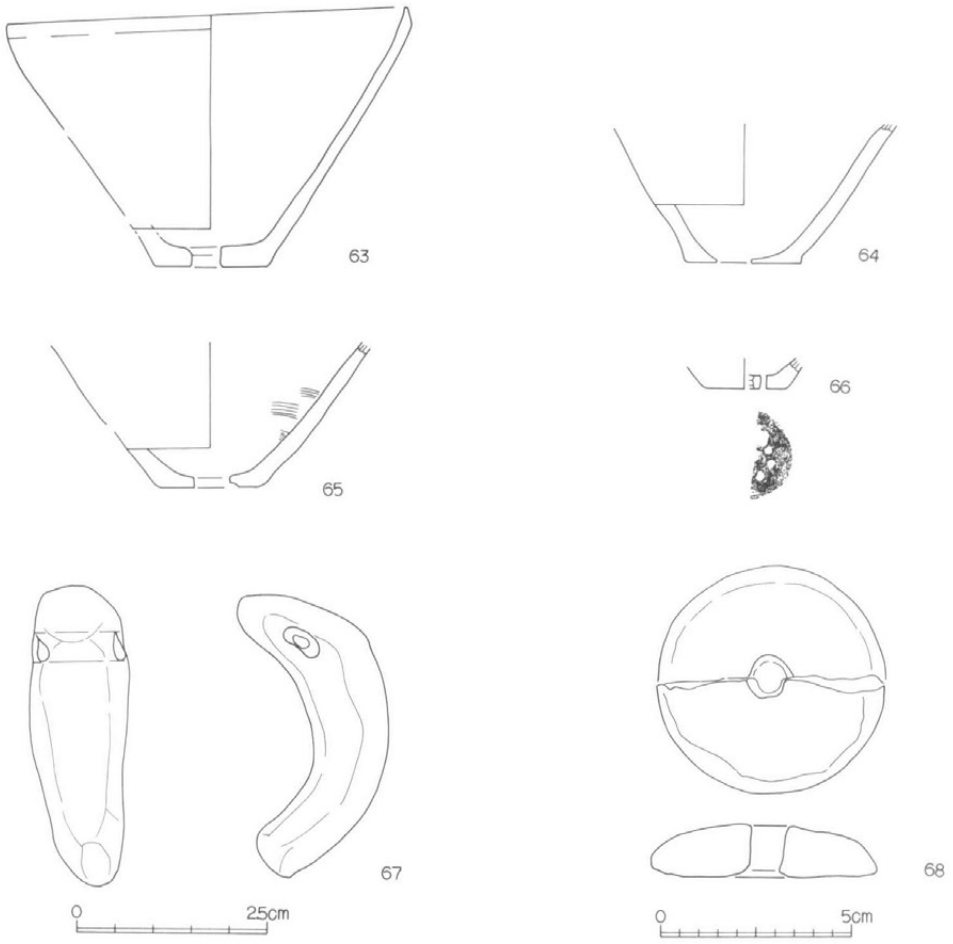
第２６７－３図　Ｂ－４０３号住居址出土遺物実測図



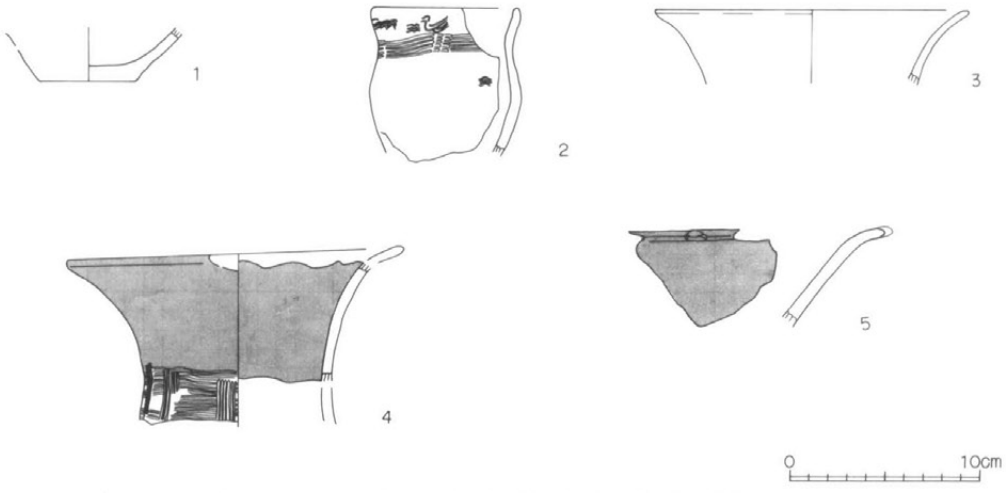
第２６７－４図　Ｂ－４０３号住居址出土遺物実測図



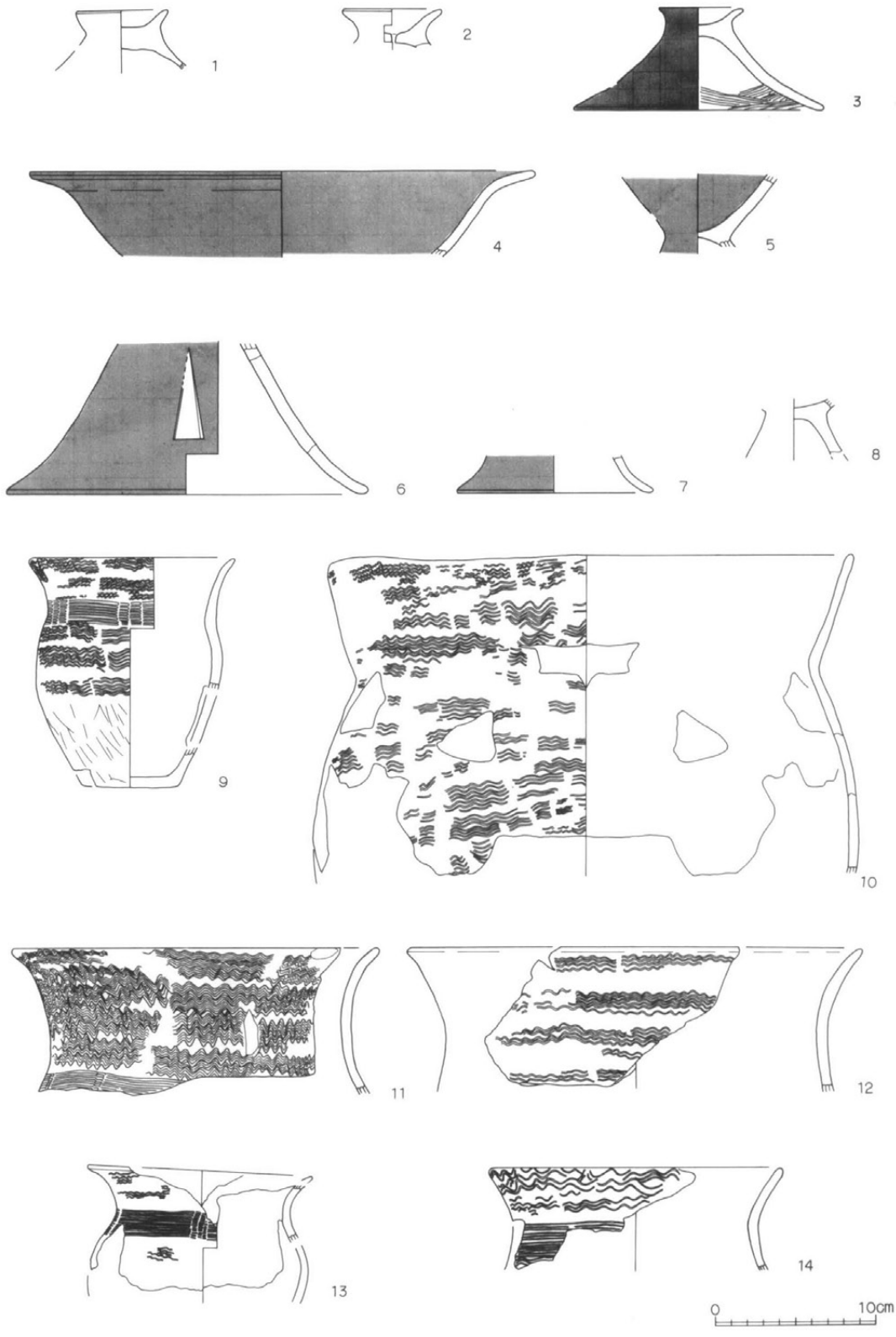
第２６７－５図　Ｂ－４０３号住居址出土遺物実測図



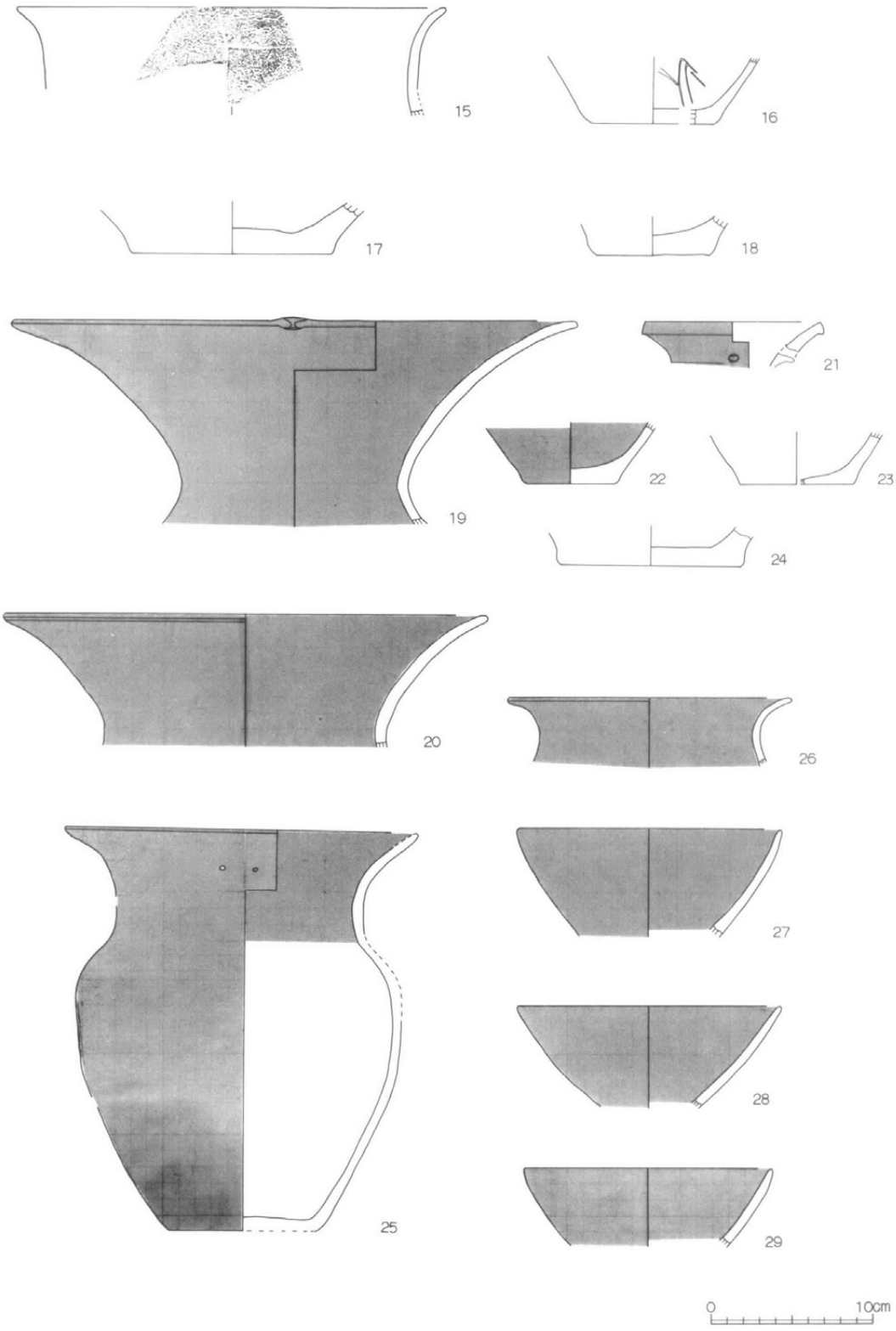
第２６７－６図　Ｂ－４０３号住居址出土遺物実測図



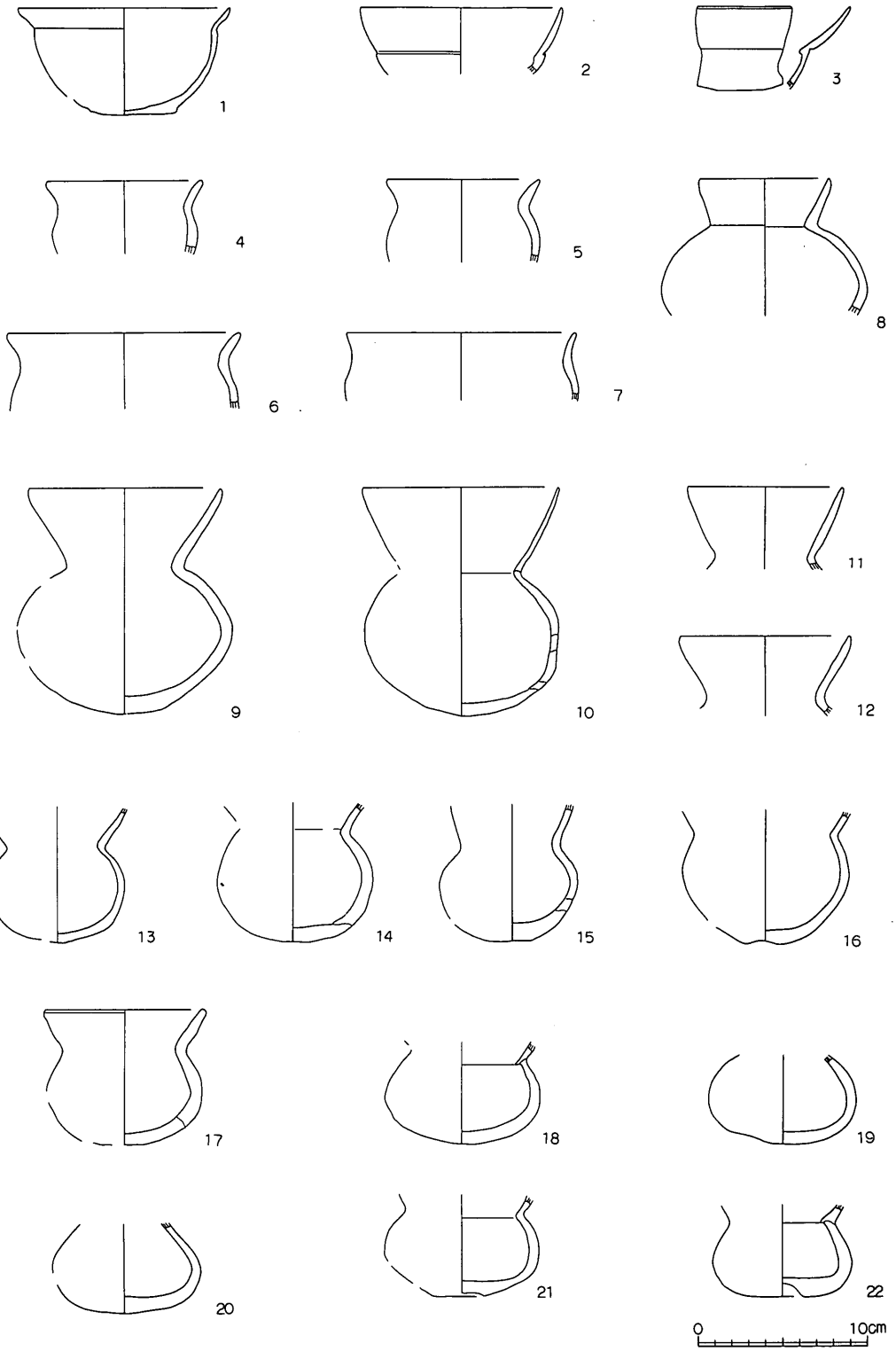
第２６８図　Ｂ－４０４号住居址出土遺物実測図



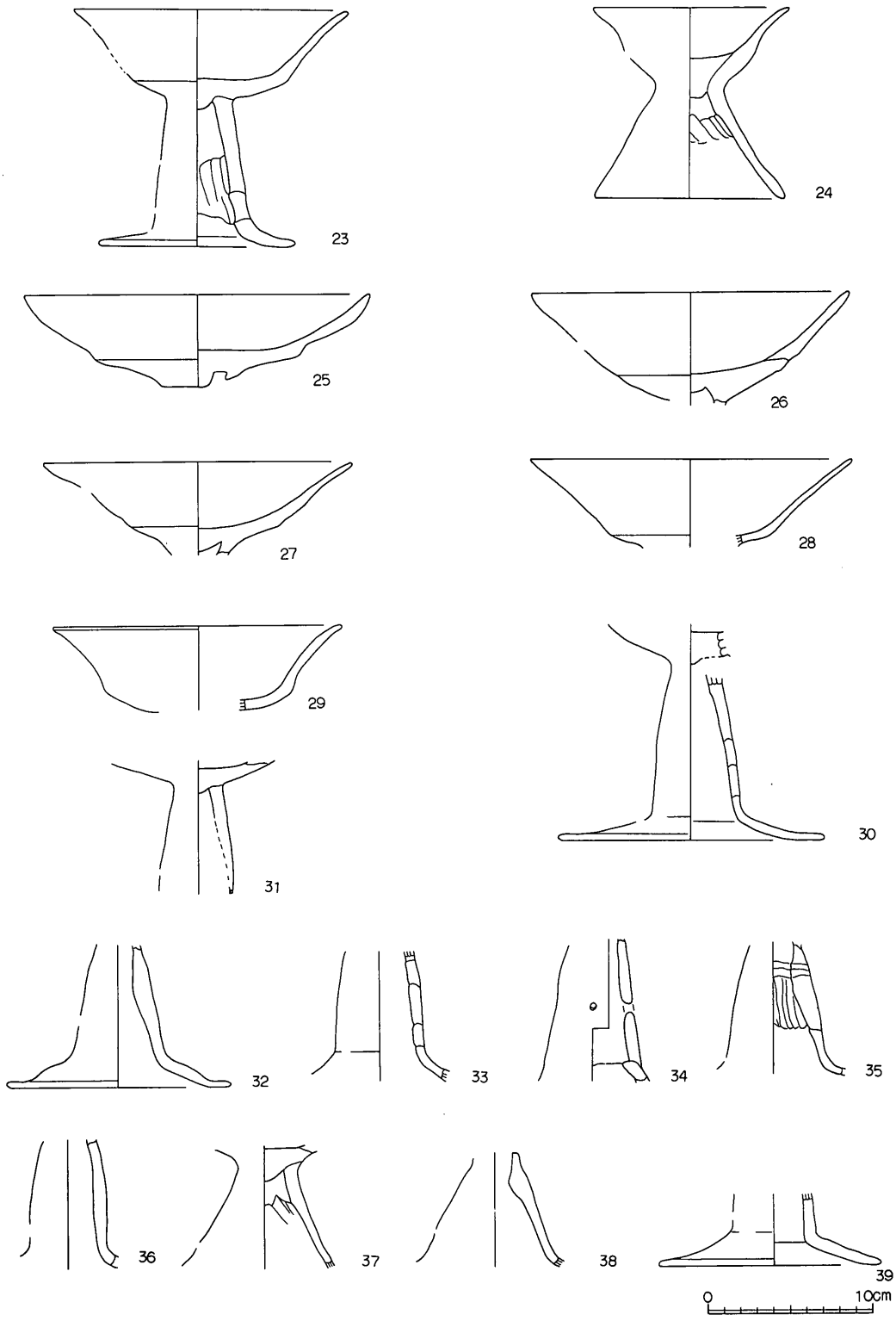
第２６９－１図　Ｂ－４０５号住居址出土遺物実測図



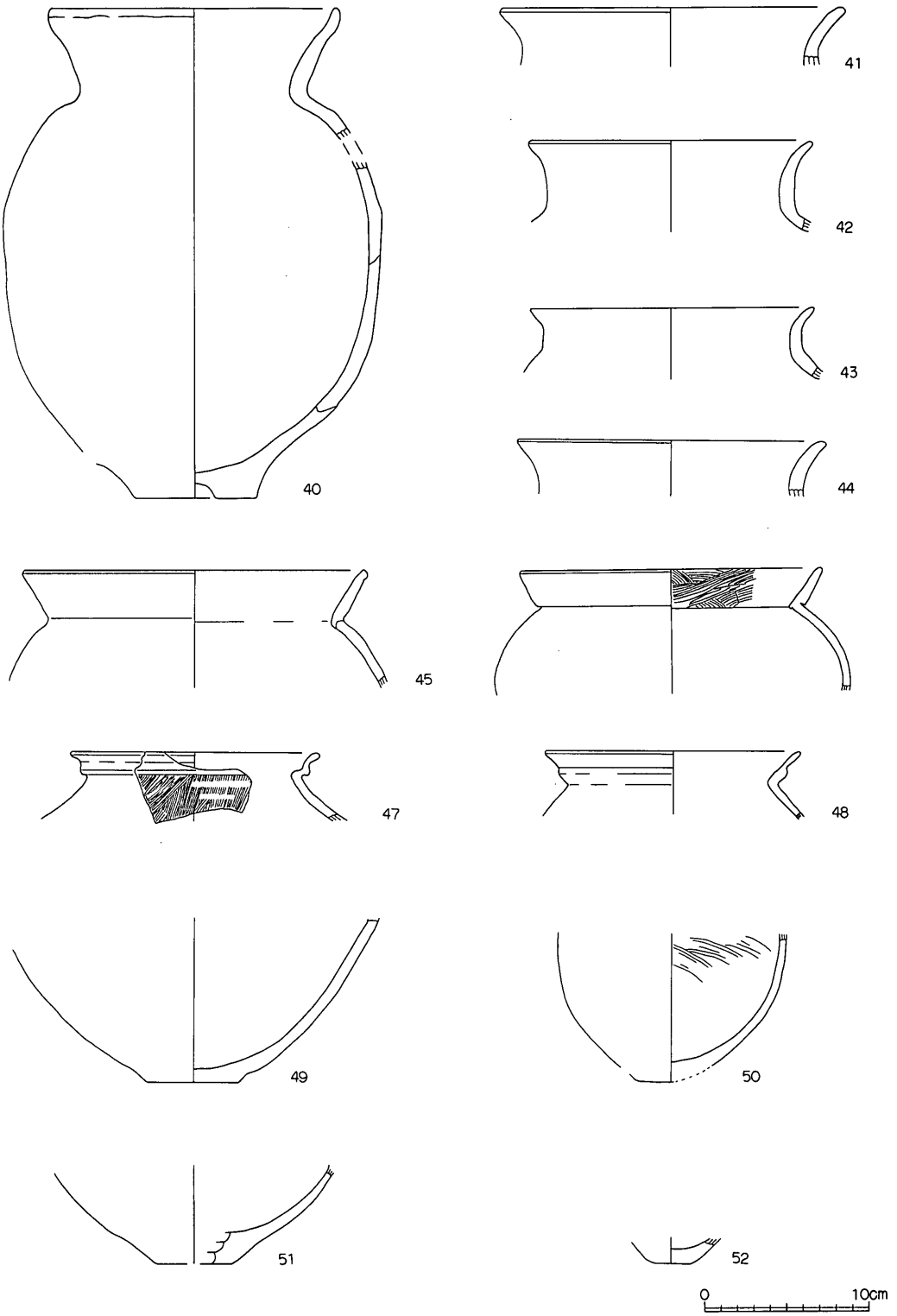
第２６９－２図　Ｂ－４０５号住居址出土遺物実測図



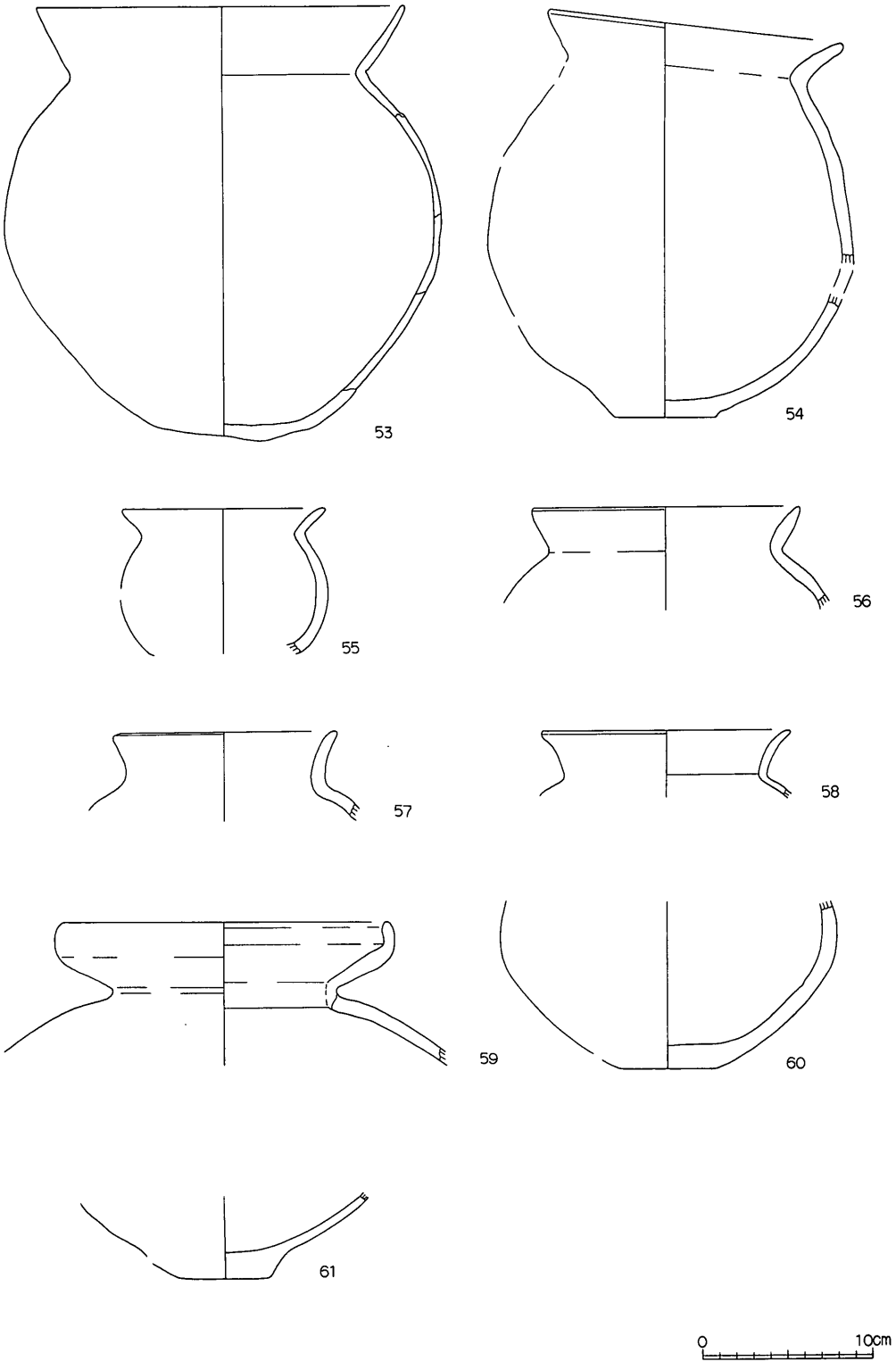
第２７０－１図　Ｂ－４０６号住居址出土遺物実測図



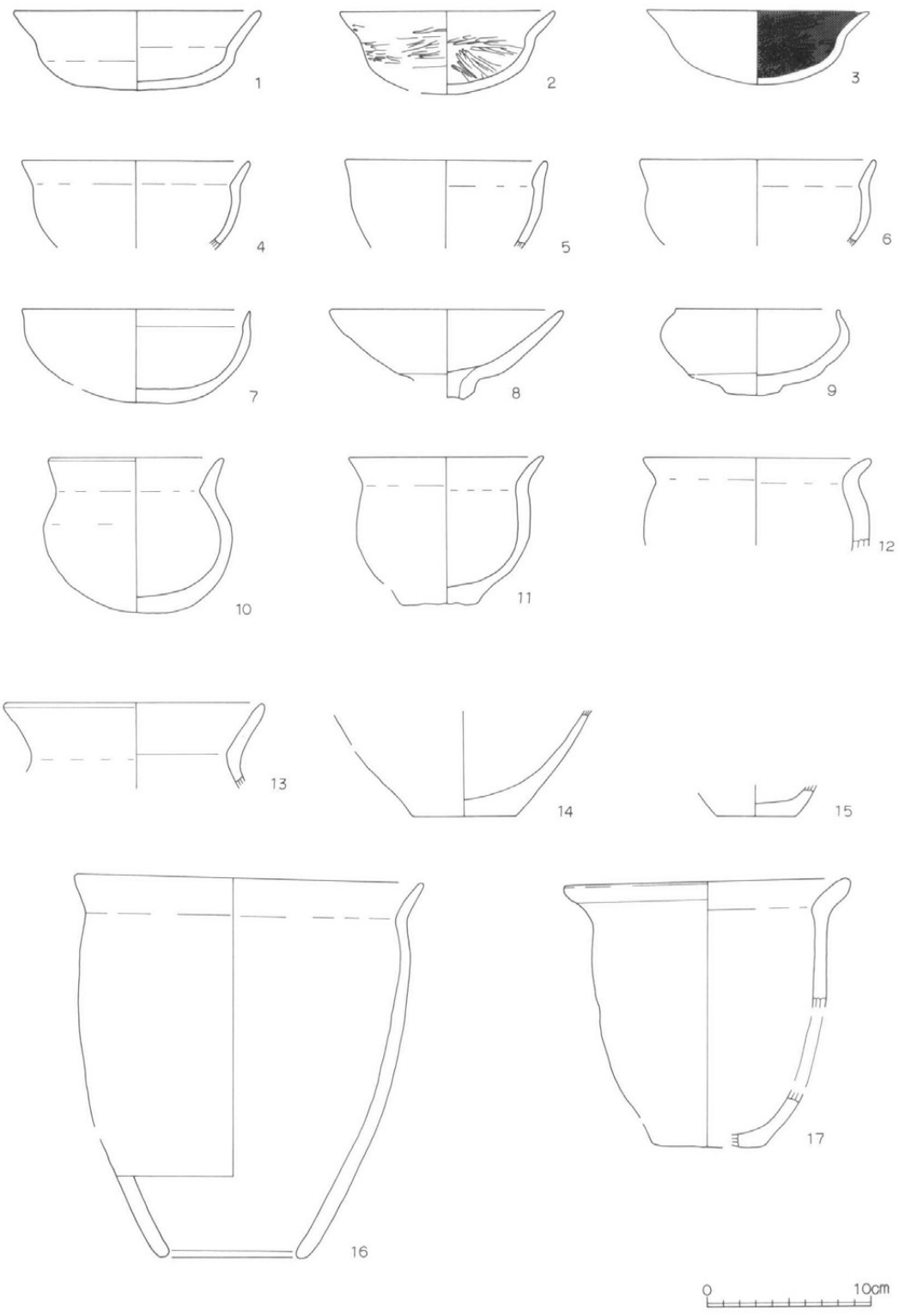
第２７０－２図　Ｂ－４０６号住居址出土遺物実測図



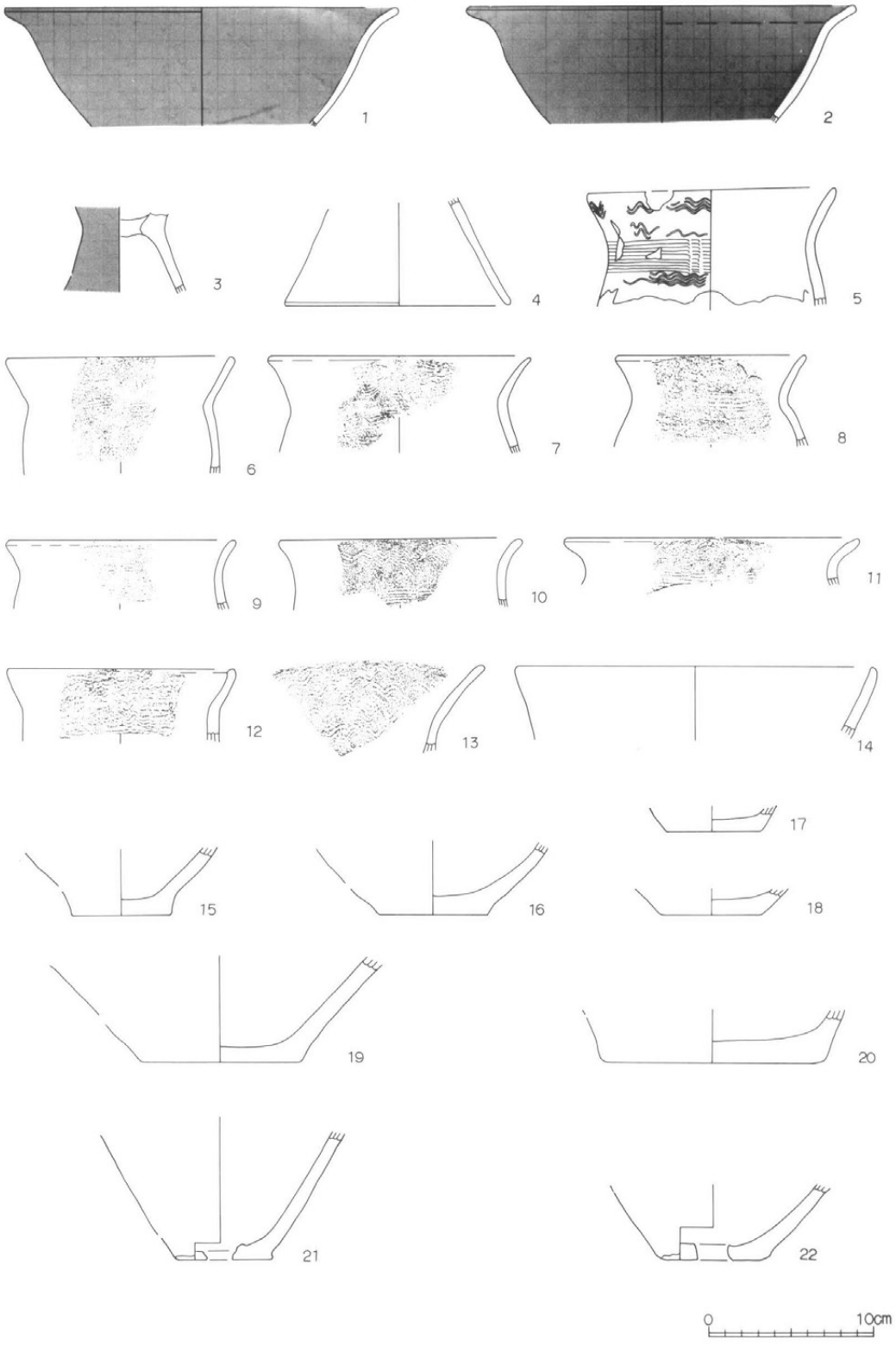
第２７０－３図　Ｂ－４０６号住居址出土遺物実測図



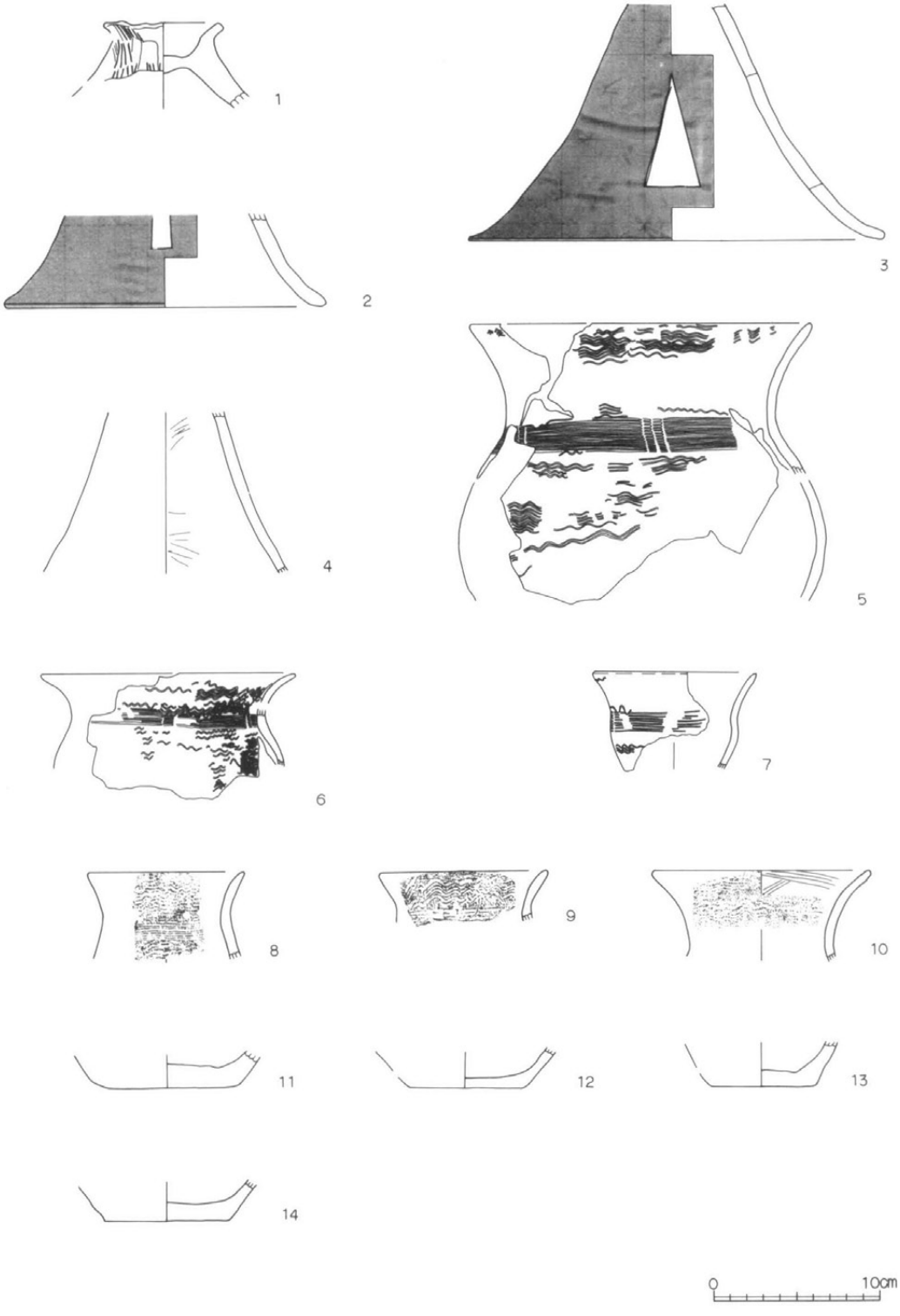
第２７０－４図　Ｂ－４０６号住居址出土遺物実測図



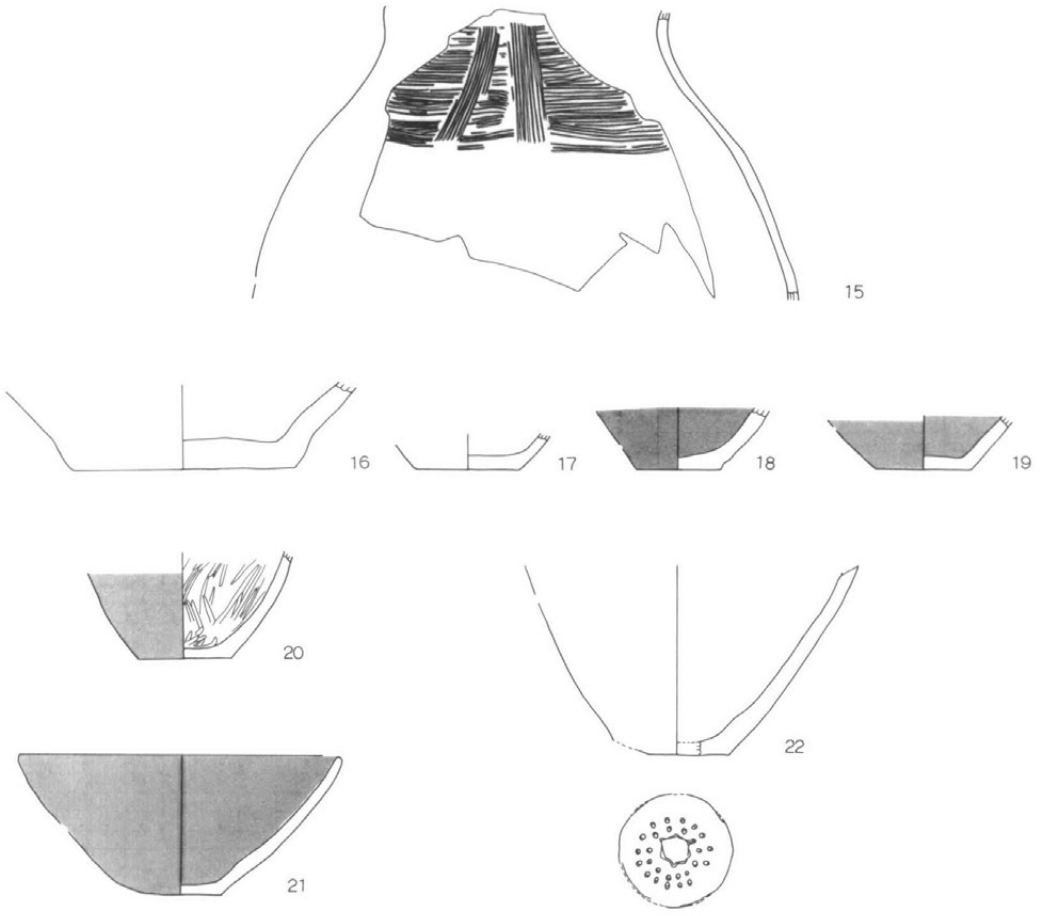
第２７１図　Ｂ－４０７号住居址出土遺物実測図



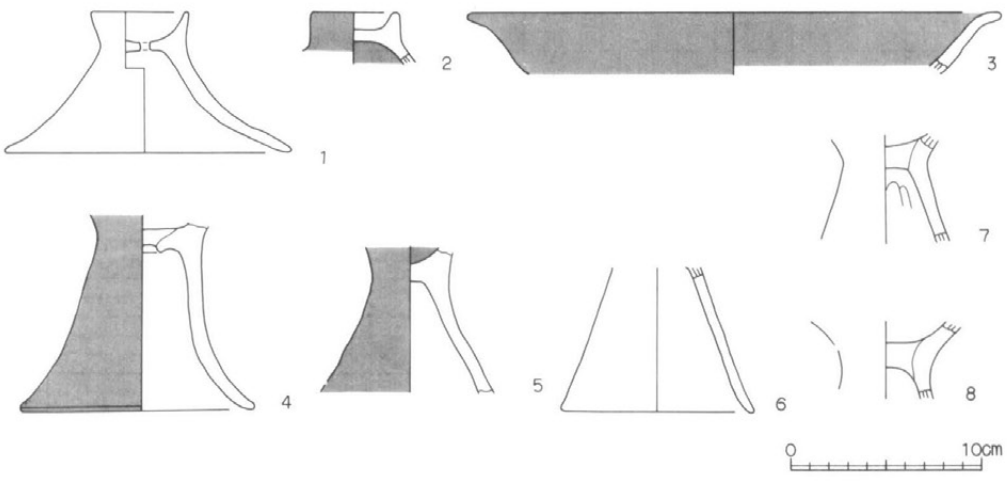
第２７２図　Ｂ－４０８号住居址出土遺物実測図



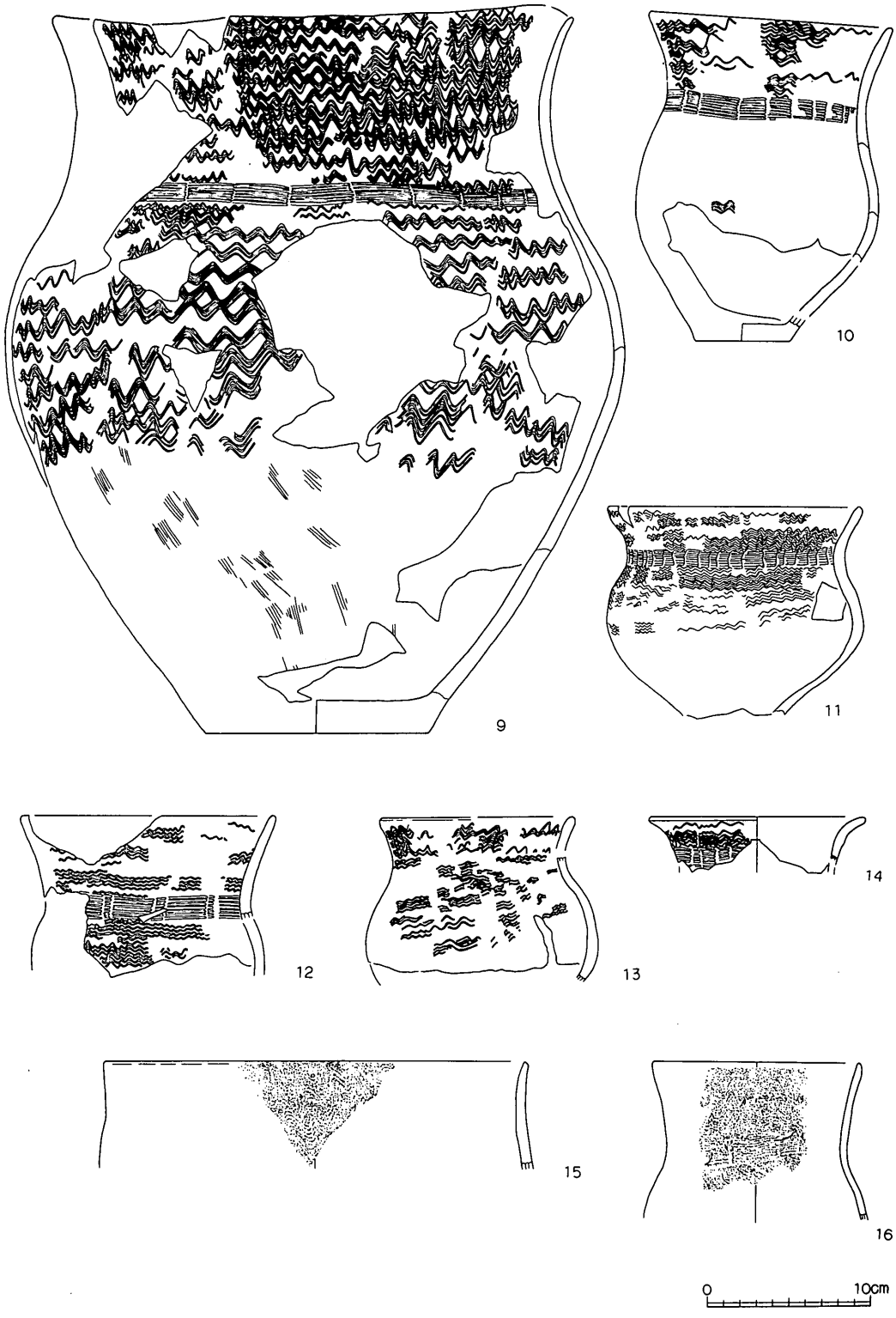
第２７３－１図　Ｂ－４０９号住居址出土遺物実測図



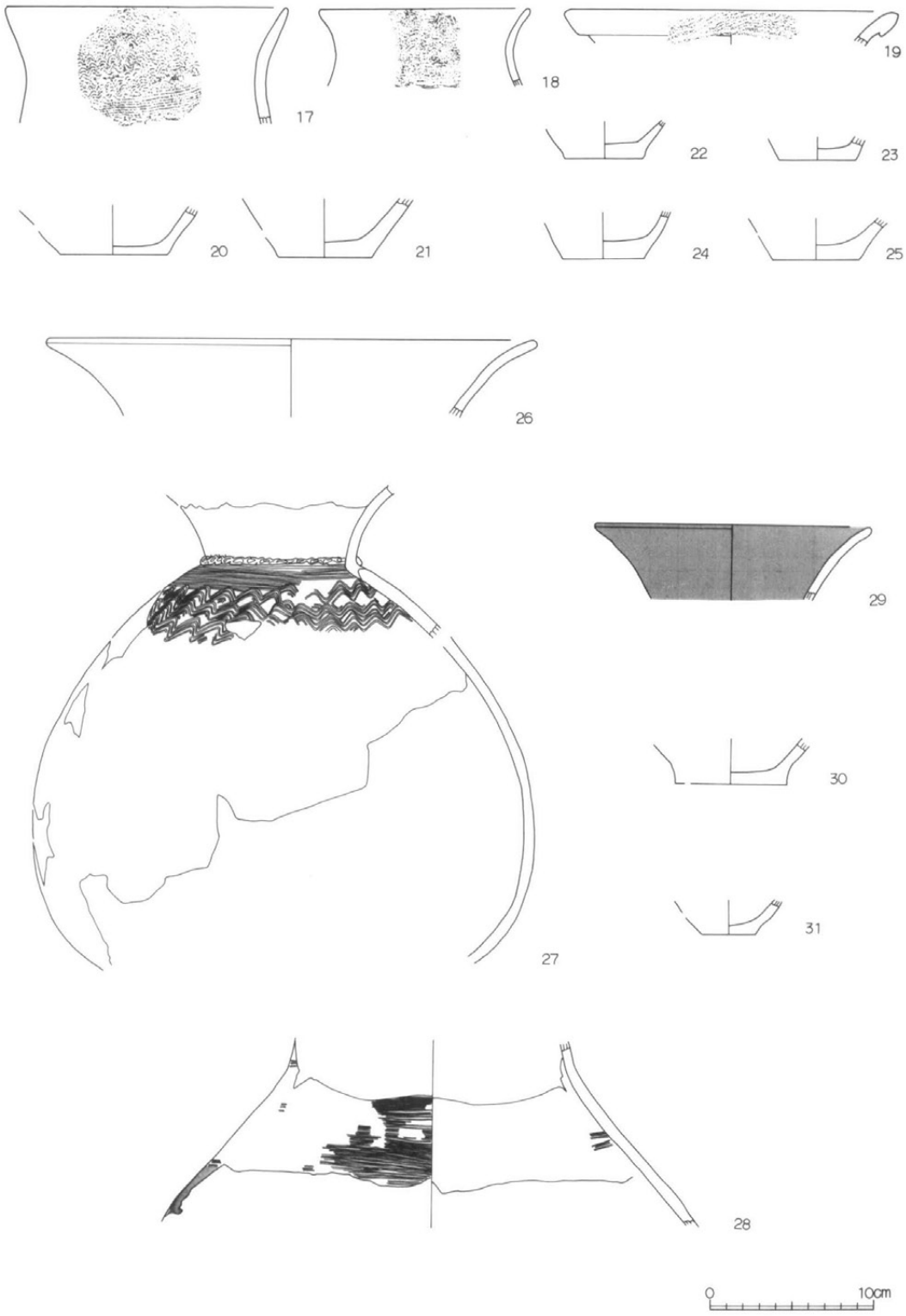
第２７３－２図　Ｂ－４０９号住居址出土遺物実測図



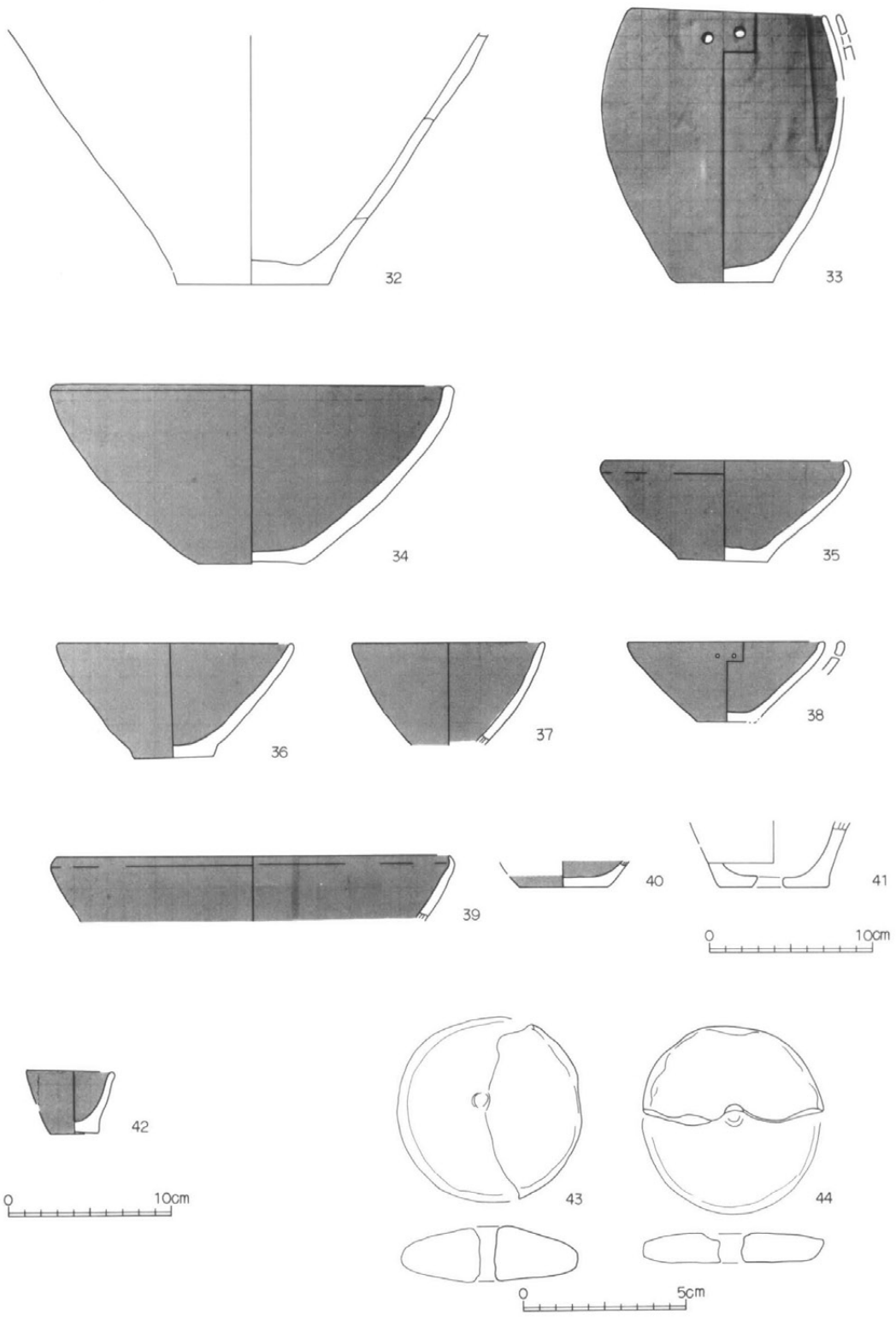
第２７４－１図　Ｂ－４１０号住居址出土遺物実測図



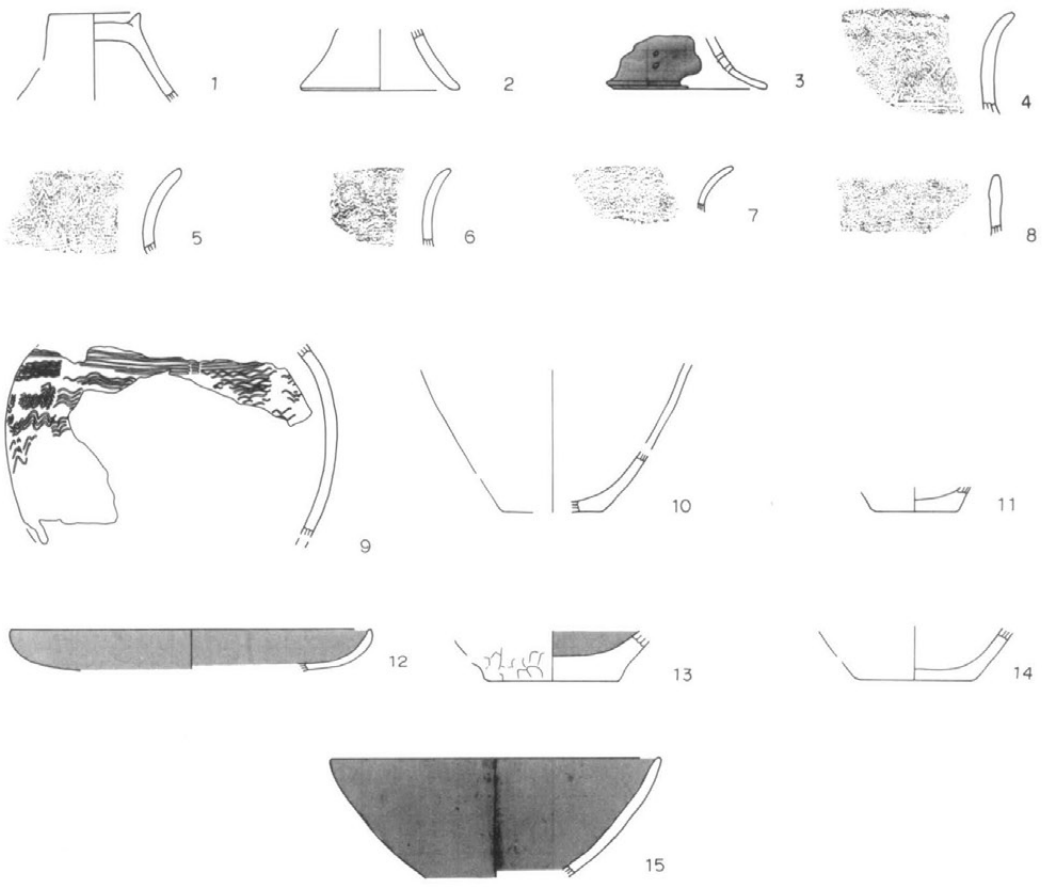
第２７４－２図　Ｂ－４１０号住居址出土遺物実測図



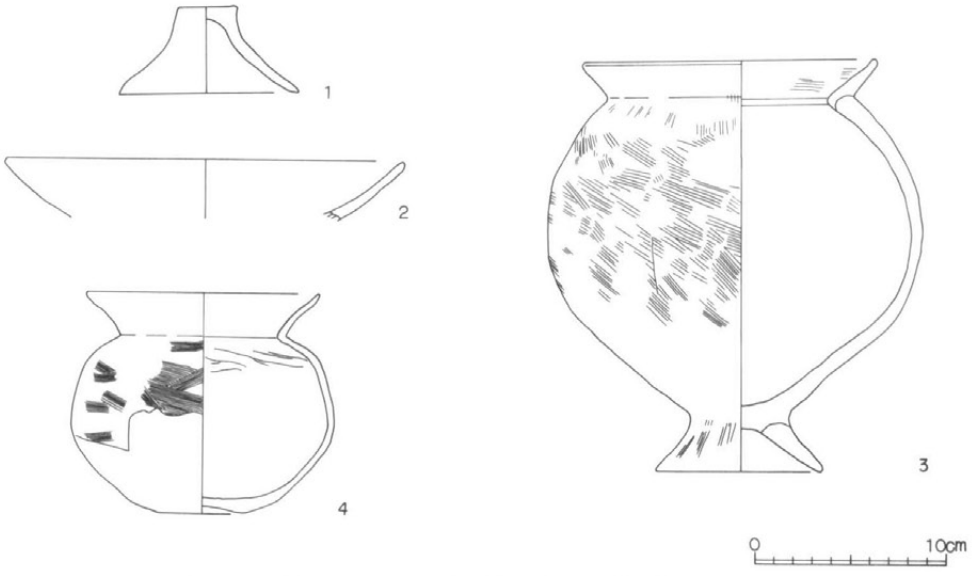
第２７４－３図　Ｂ－４１０号住居址出土遺物実測図



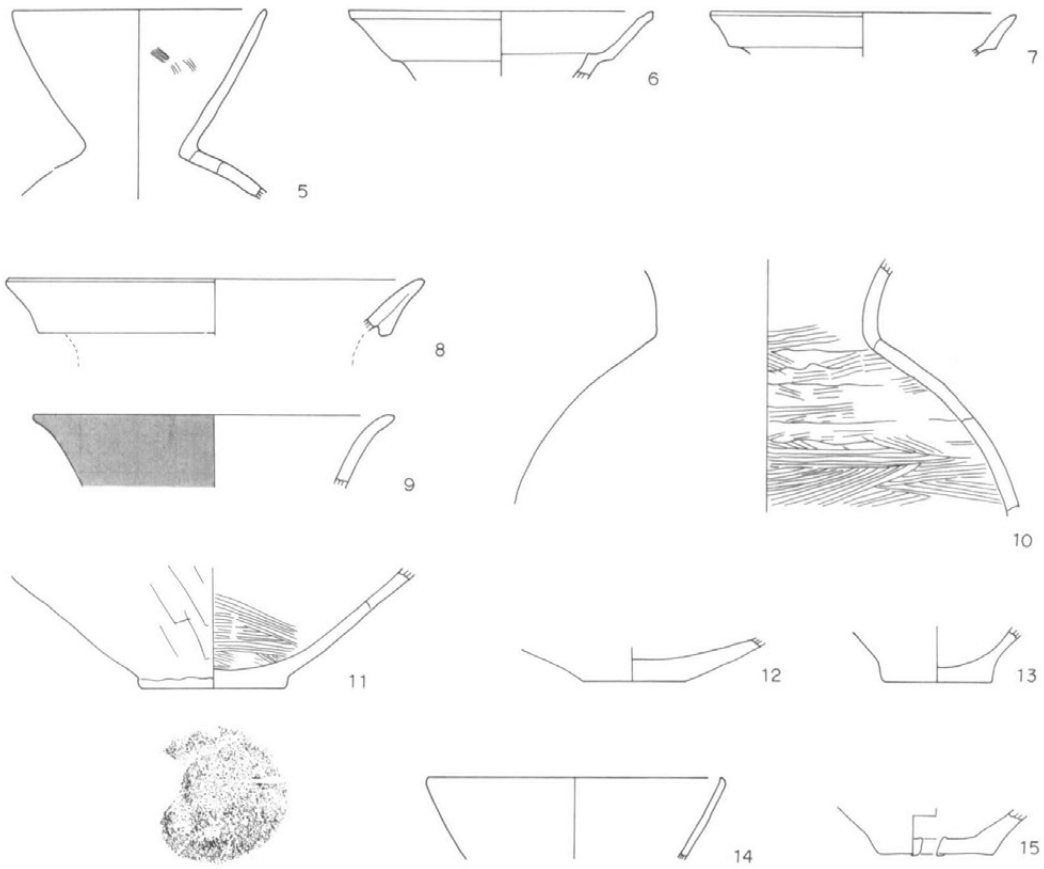
第２７４－４図　Ｂ－４１０号住居址出土遺物実測図



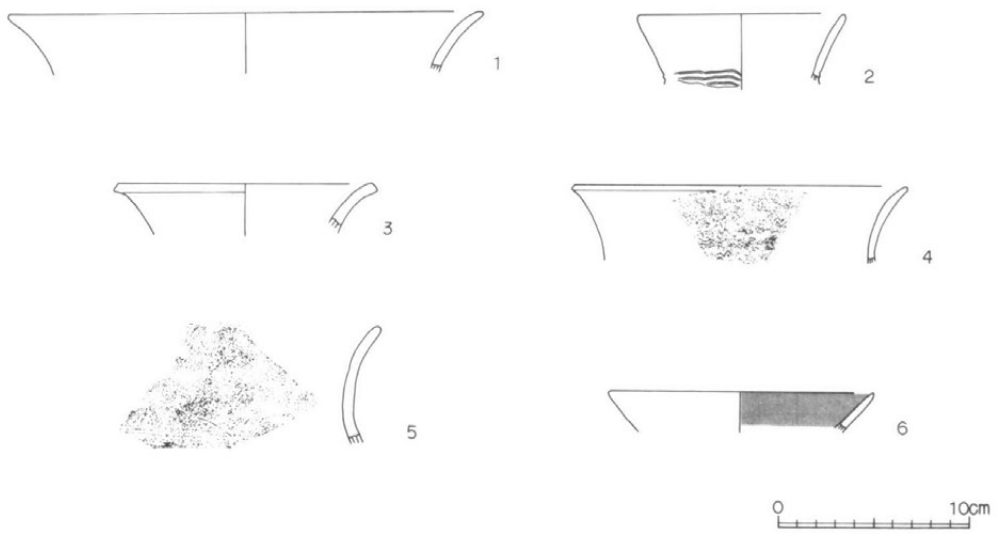
第２７５図　Ｂ－４１１号住居址出土遺物実測図



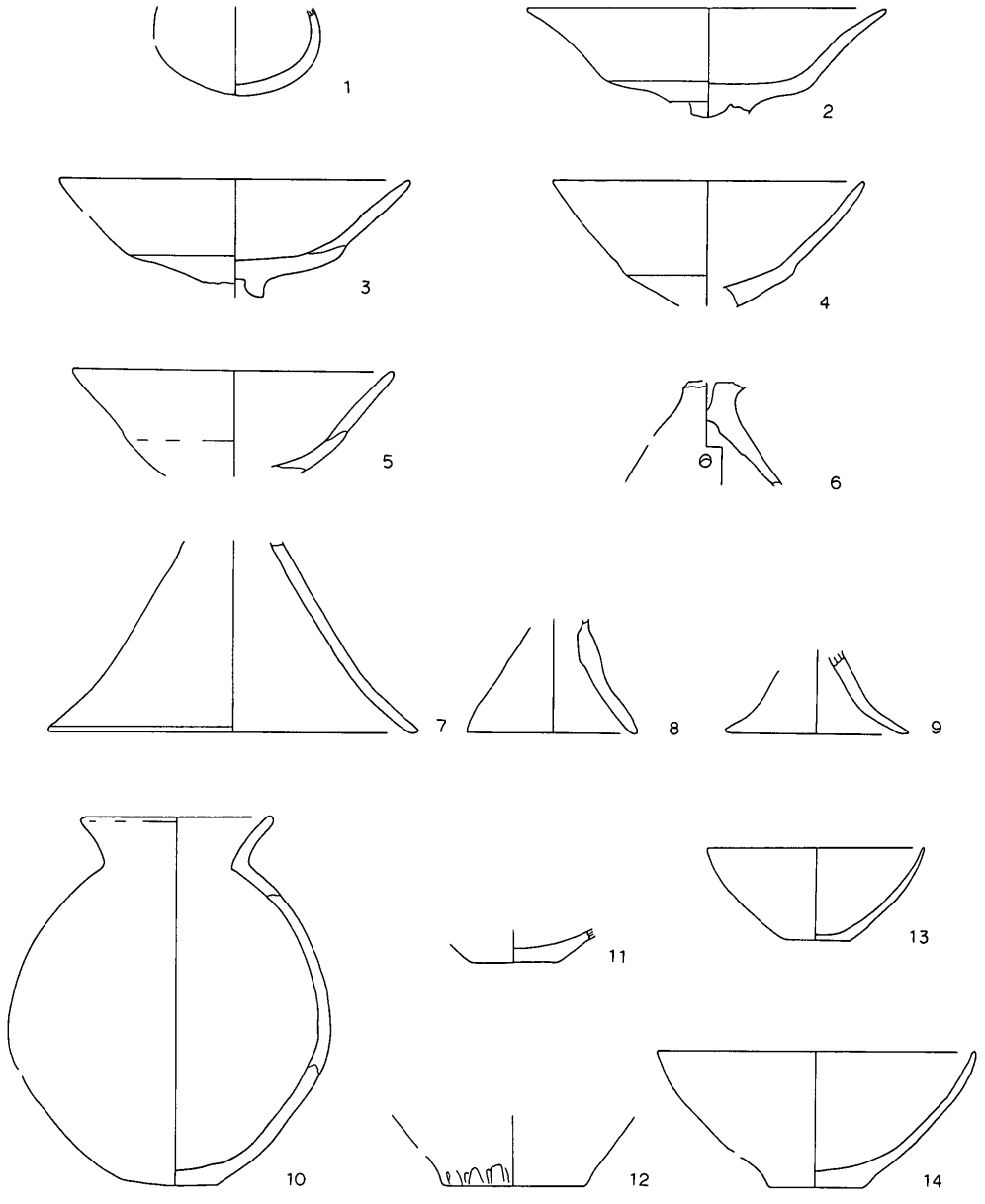
第２７６－１図　Ｂ－４１２号住居址出土遺物実測図



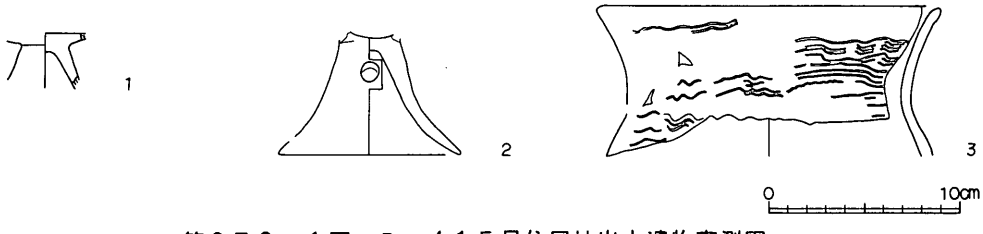
第２７６－２図　Ｂ－４１２号住居址出土遺物実測図



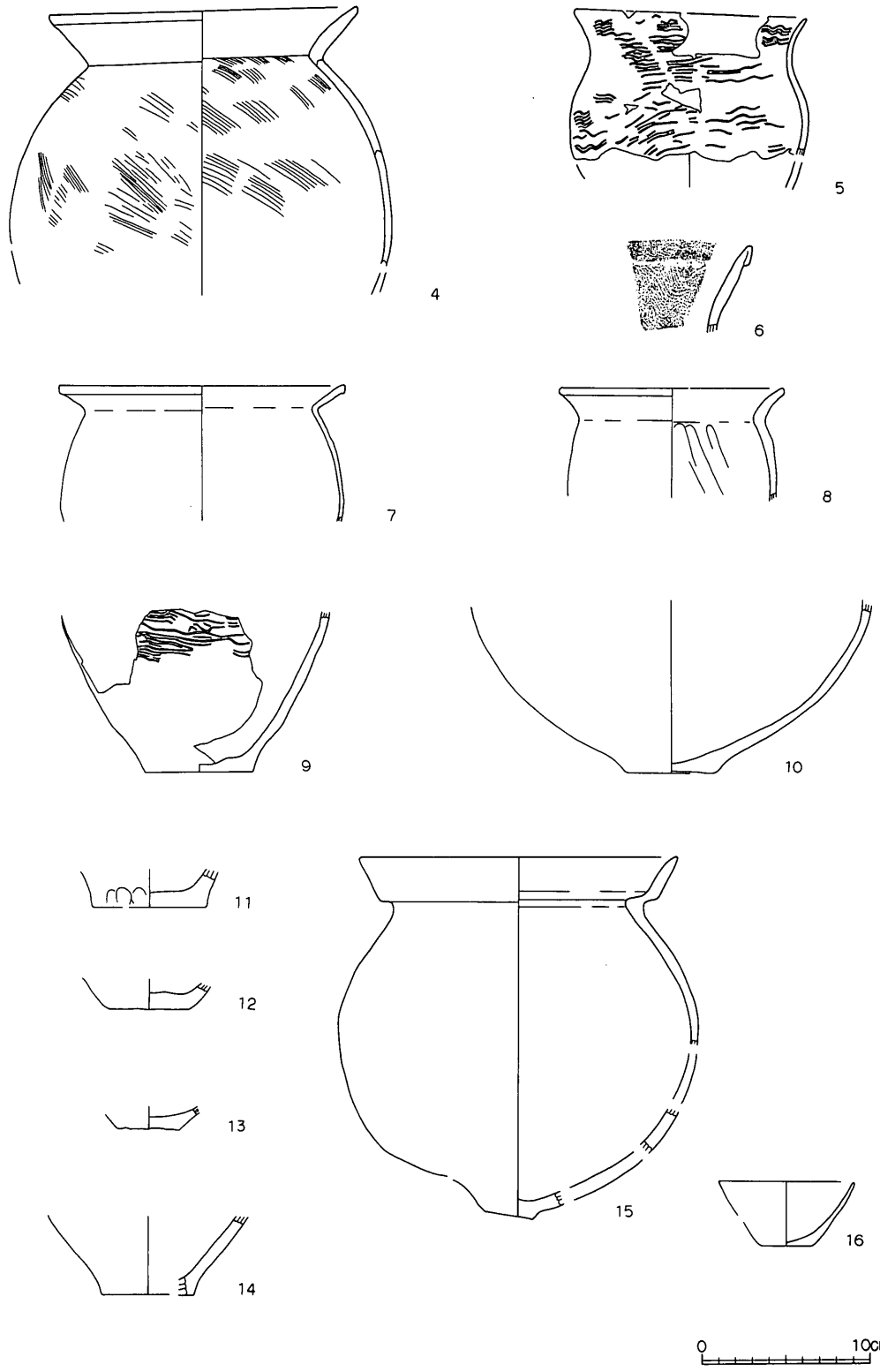
第２７７図　Ｂ－４１３号住居址出土遺物実測図



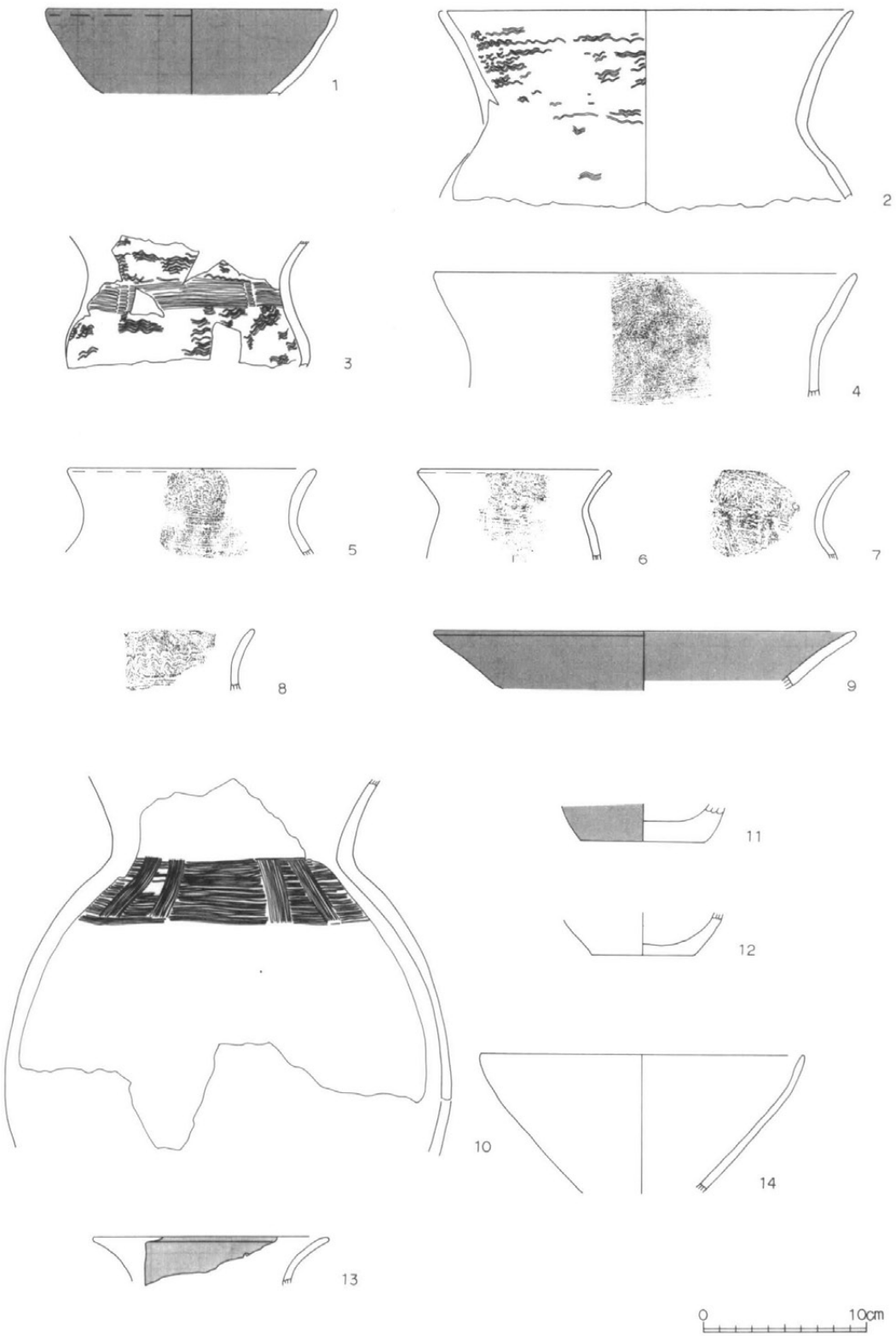
第２７８図　Ｂ－４１４号住居址出土遺物実測図



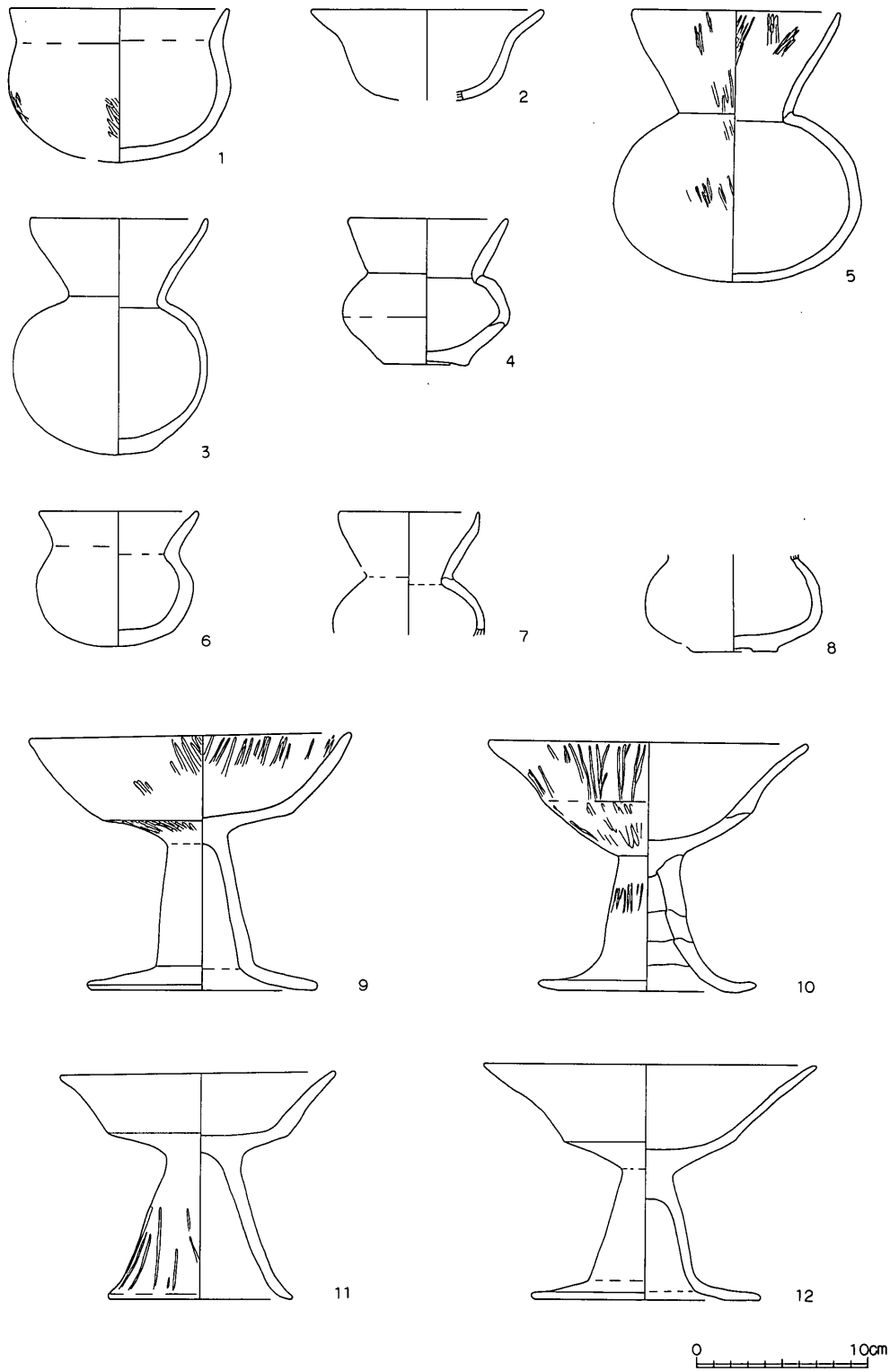
第２７９－１図　Ｂ－４１５号住居址出土遺物実測図



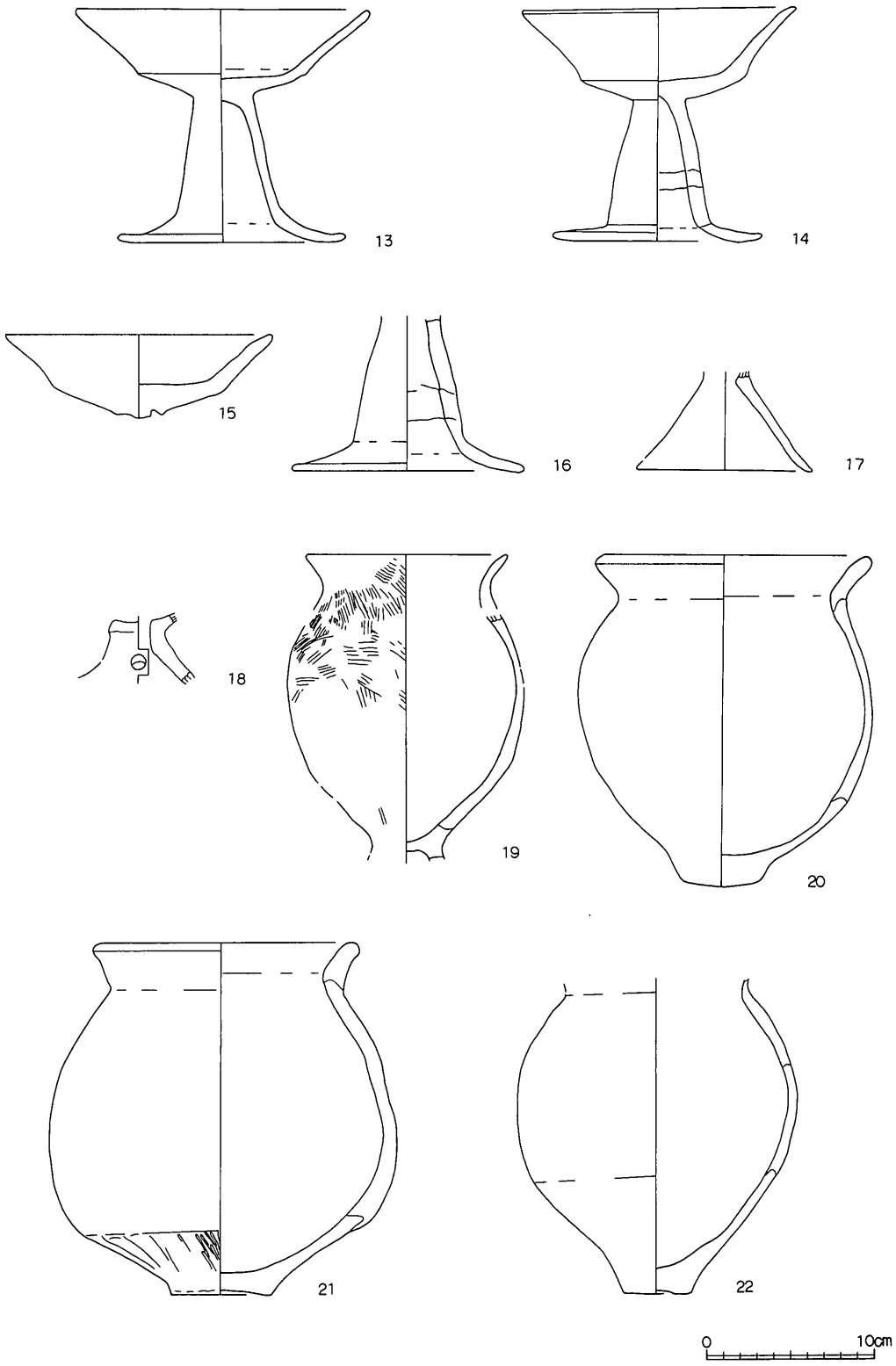
第２７９－２図　Ｂ－４１５号住居址出土遺物実測図



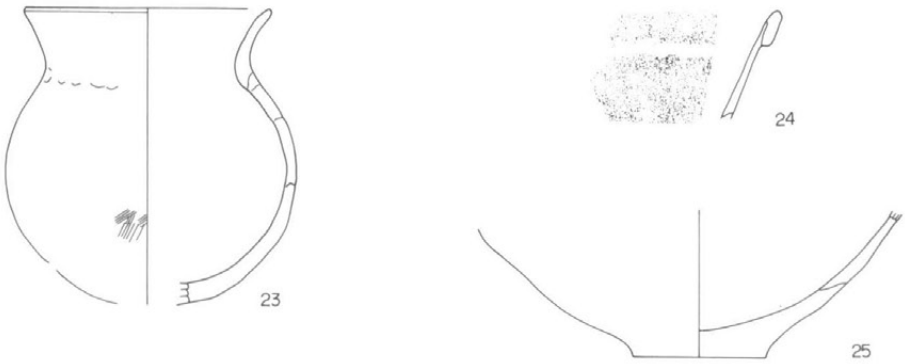
第２８０図　Ｂ－４１６号住居址出土遺物実測図



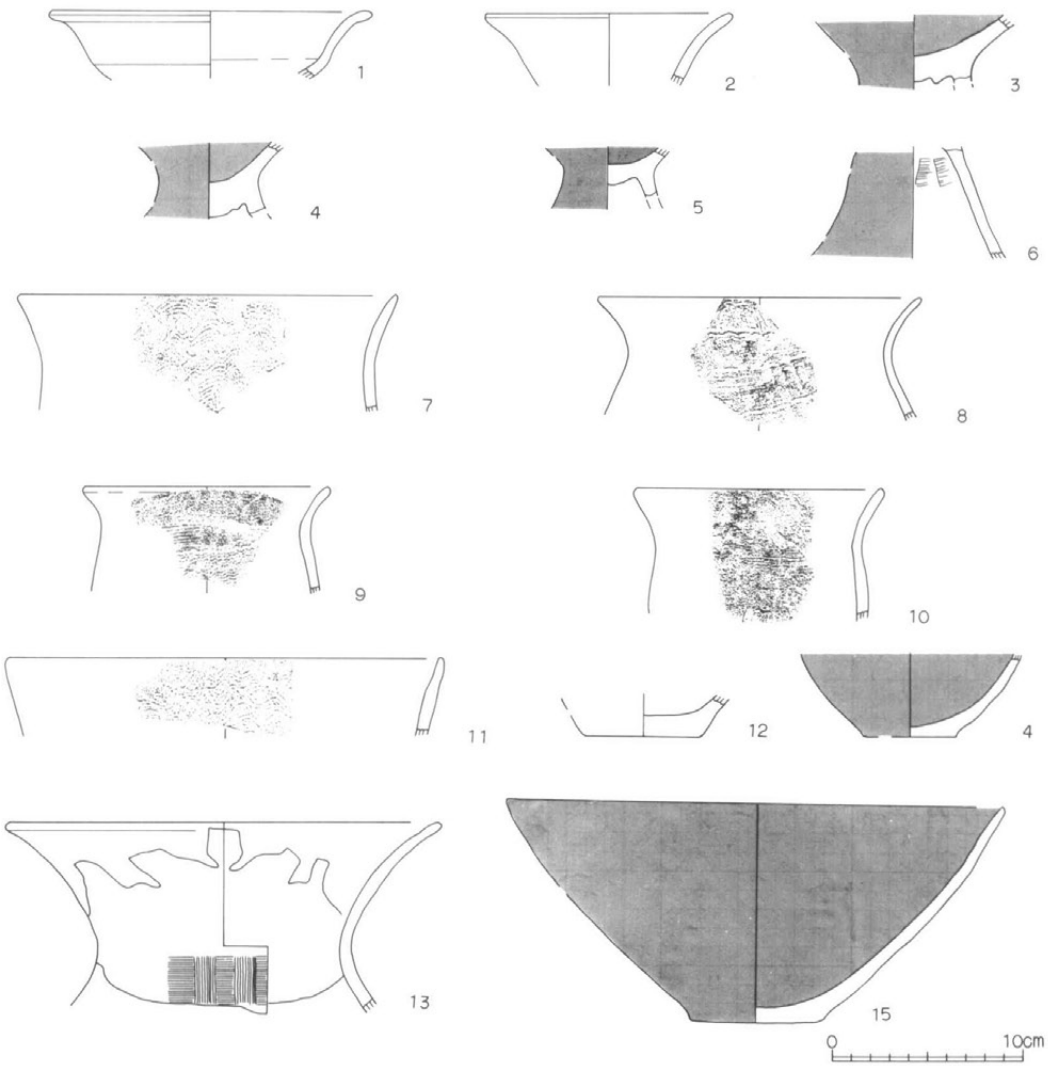
第２８１－１図　Ｂ－４１７号住居址出土遺物実測図



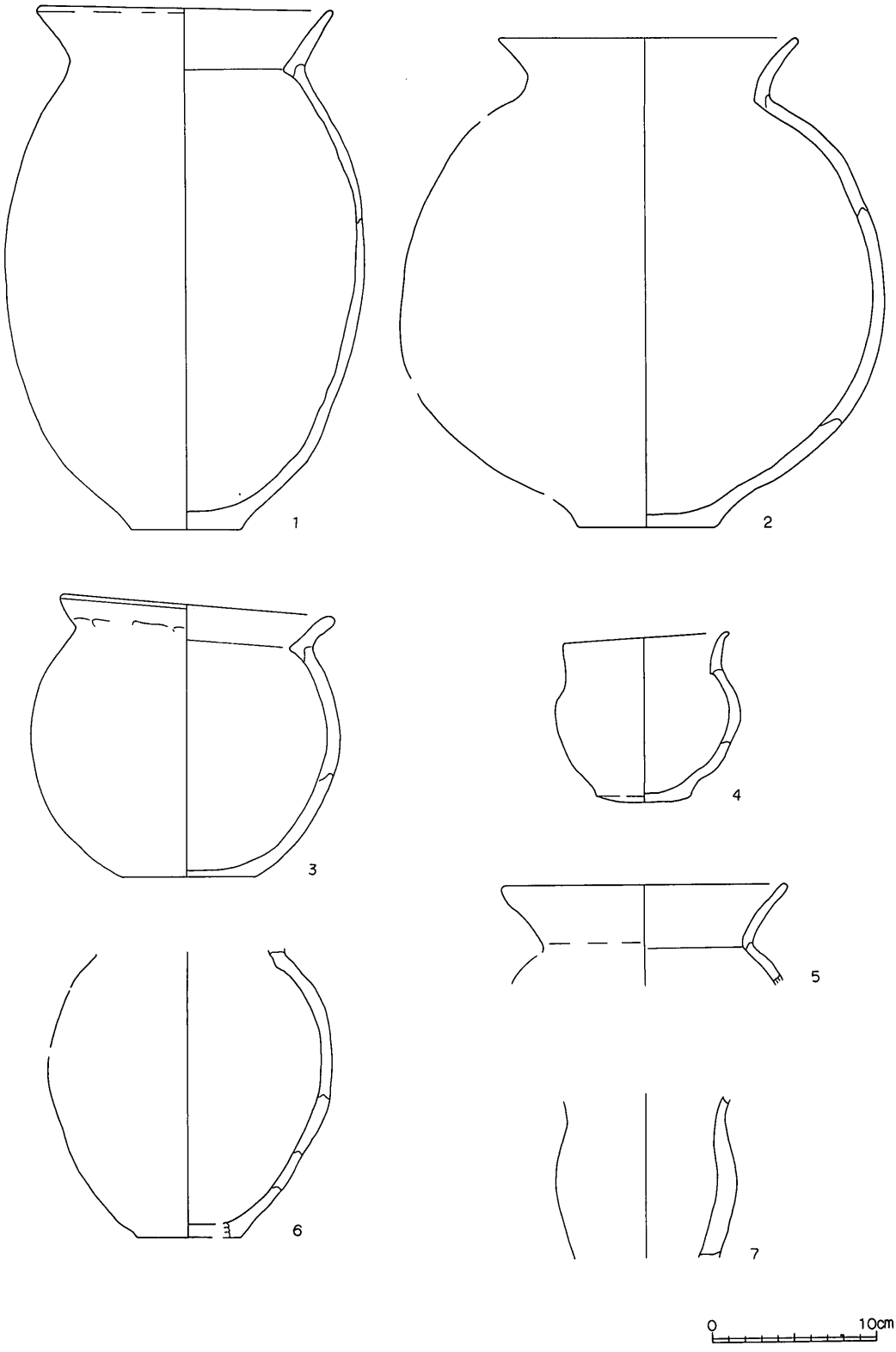
第２８１－２図　Ｂ－４１７号住居址出土遺物実測図



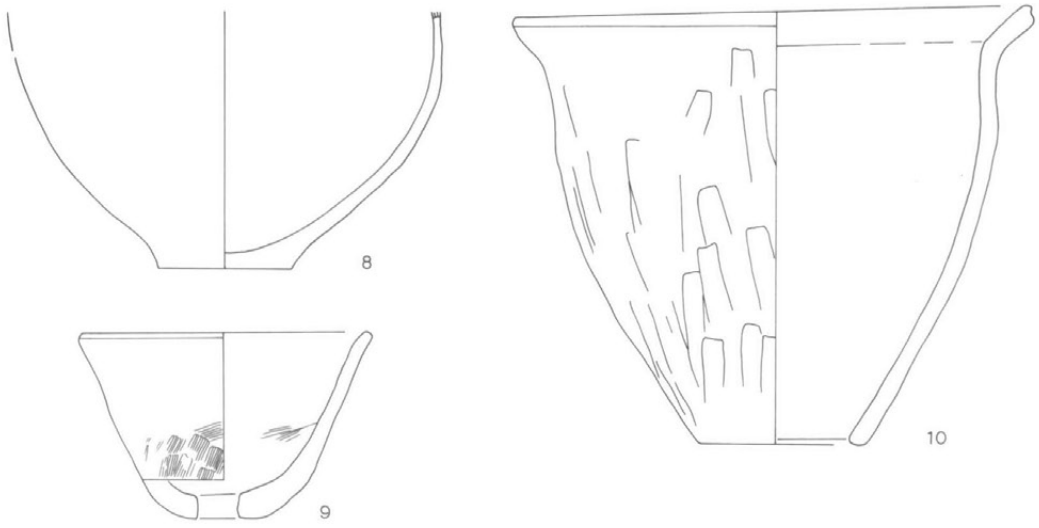
第２８１－３図　Ｂ－４１７号住居址出土遺物実測図



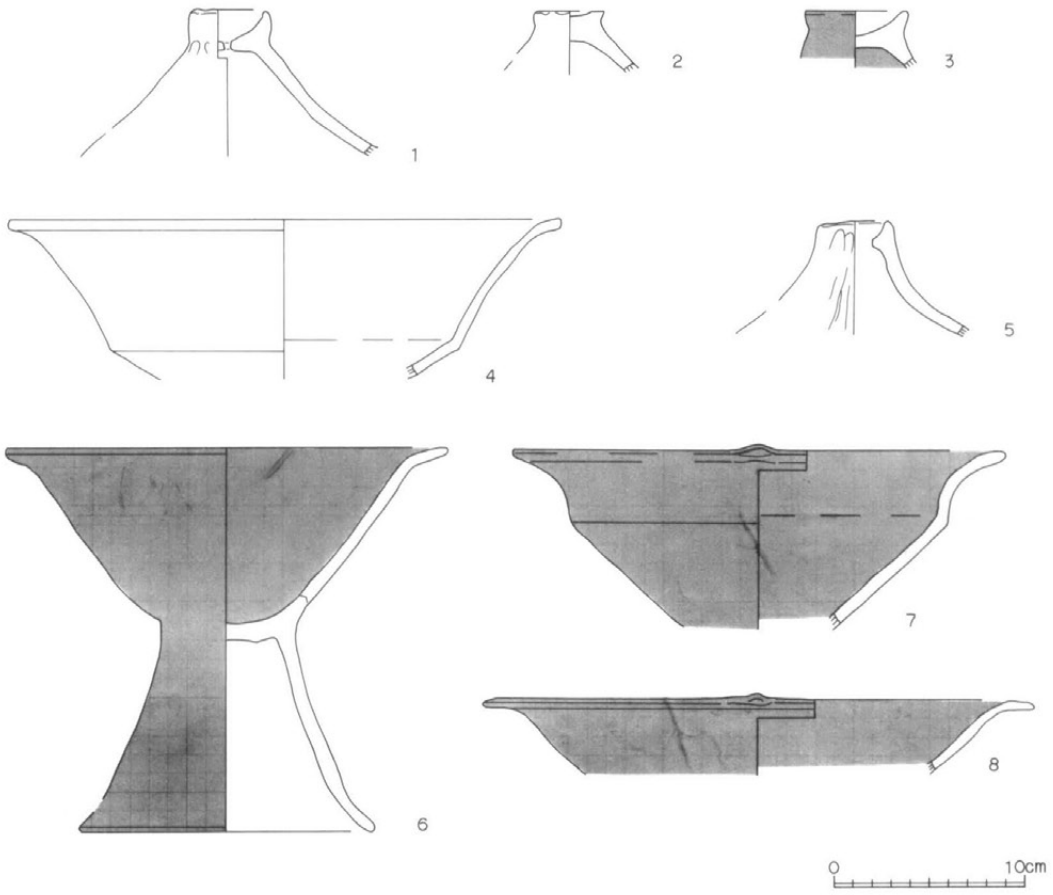
第２８２図　Ｂ－４１８号住居址出土遺物実測図



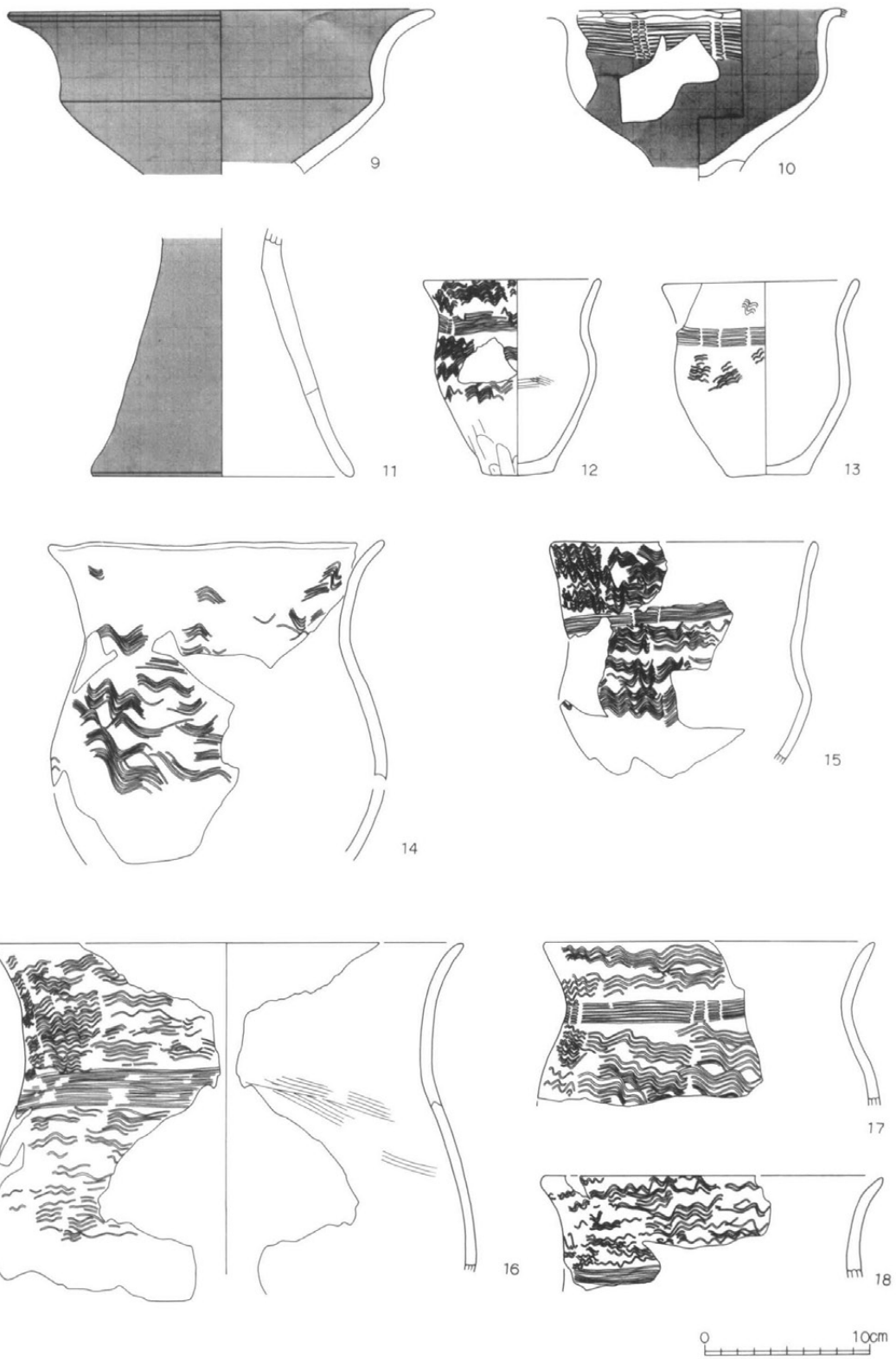
第２８３－１図　Ｂ－４１９号住居址出土遺物実測図



第２８３－２図　Ｂ－４１９号住居址出土遺物実測図

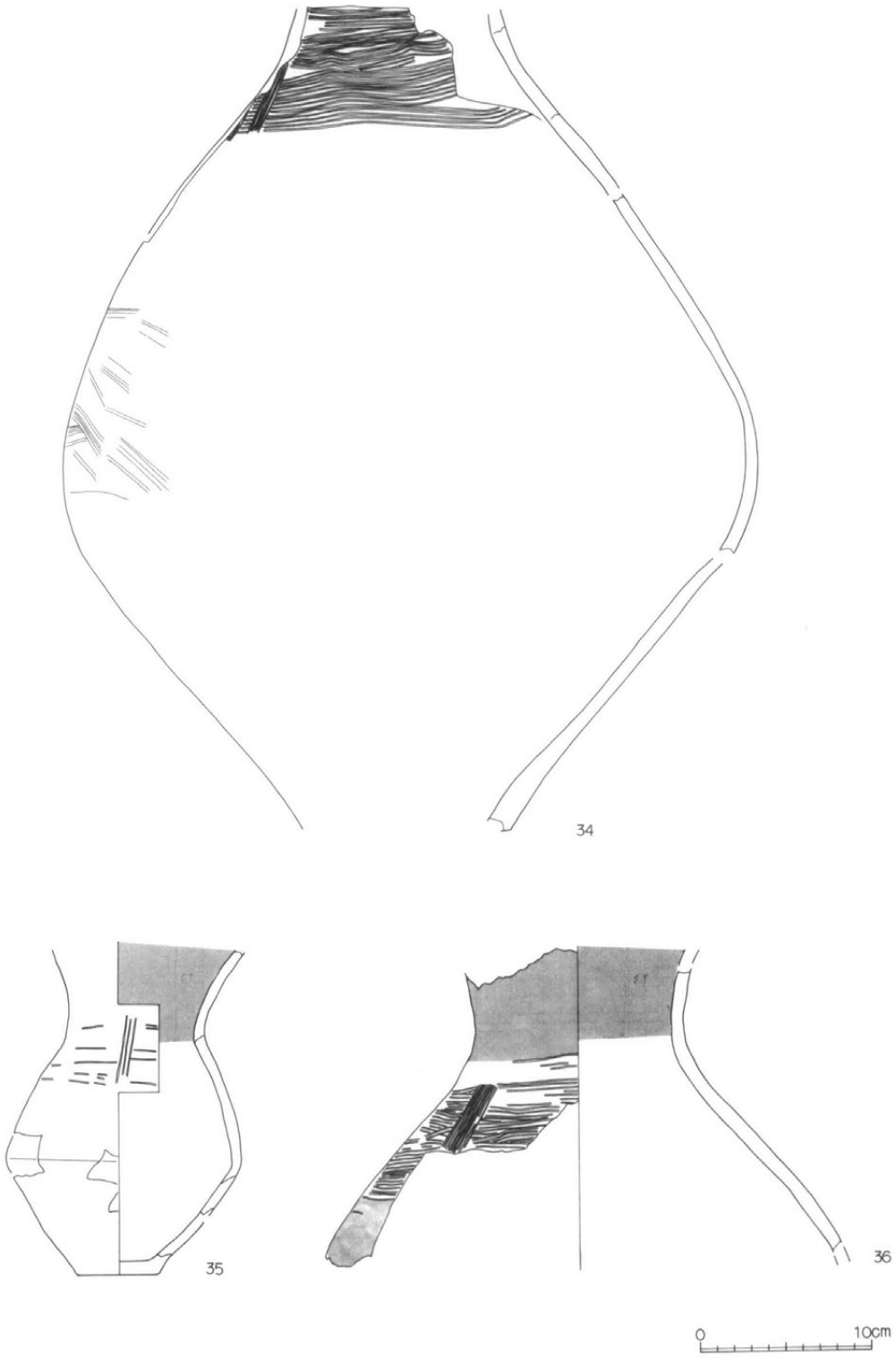


第２８４－１図　Ｂ－４２０号住居址出土遺物実測図

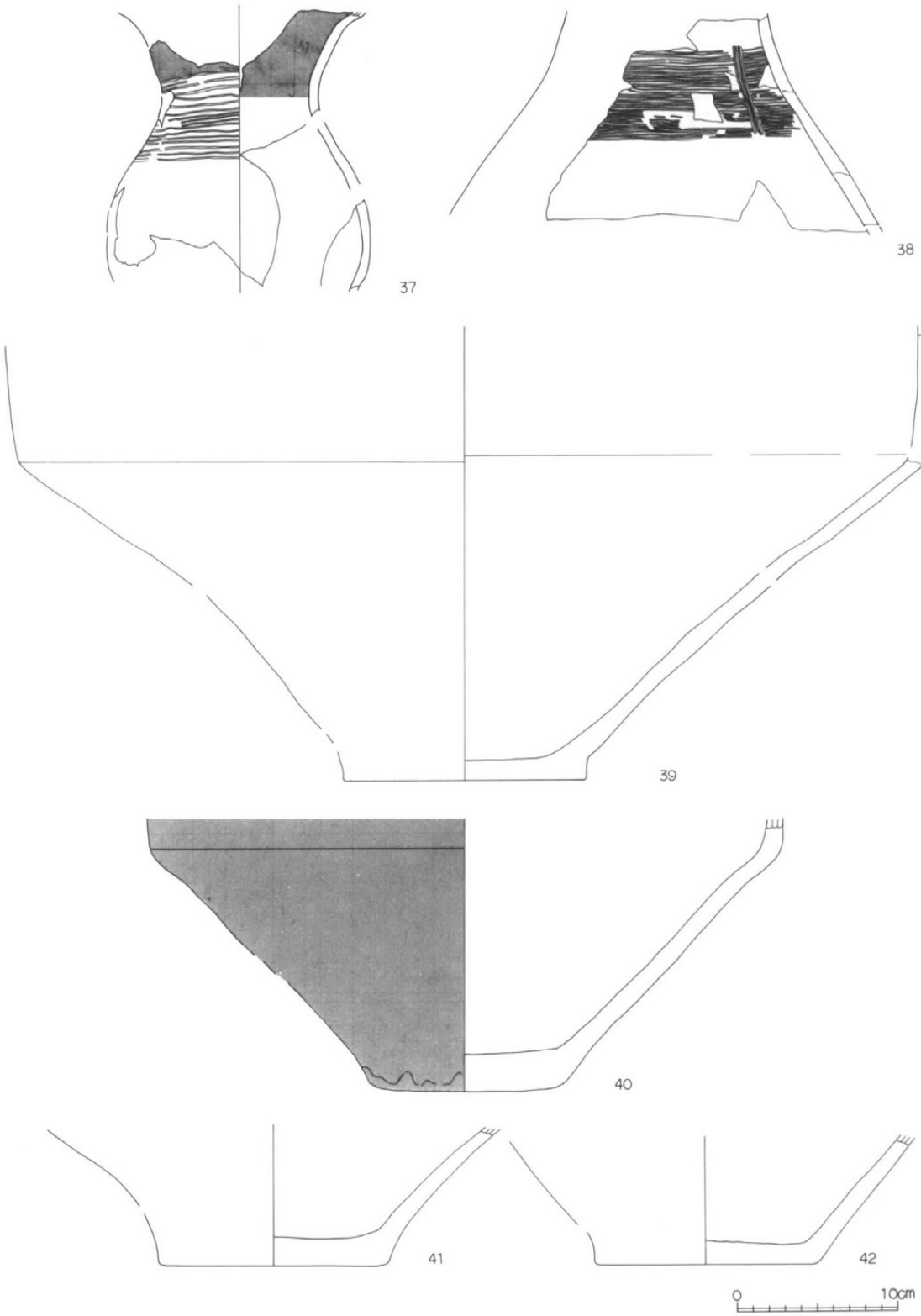


第２８４－２図　Ｂ－４２０号住居址出土遺物実測図

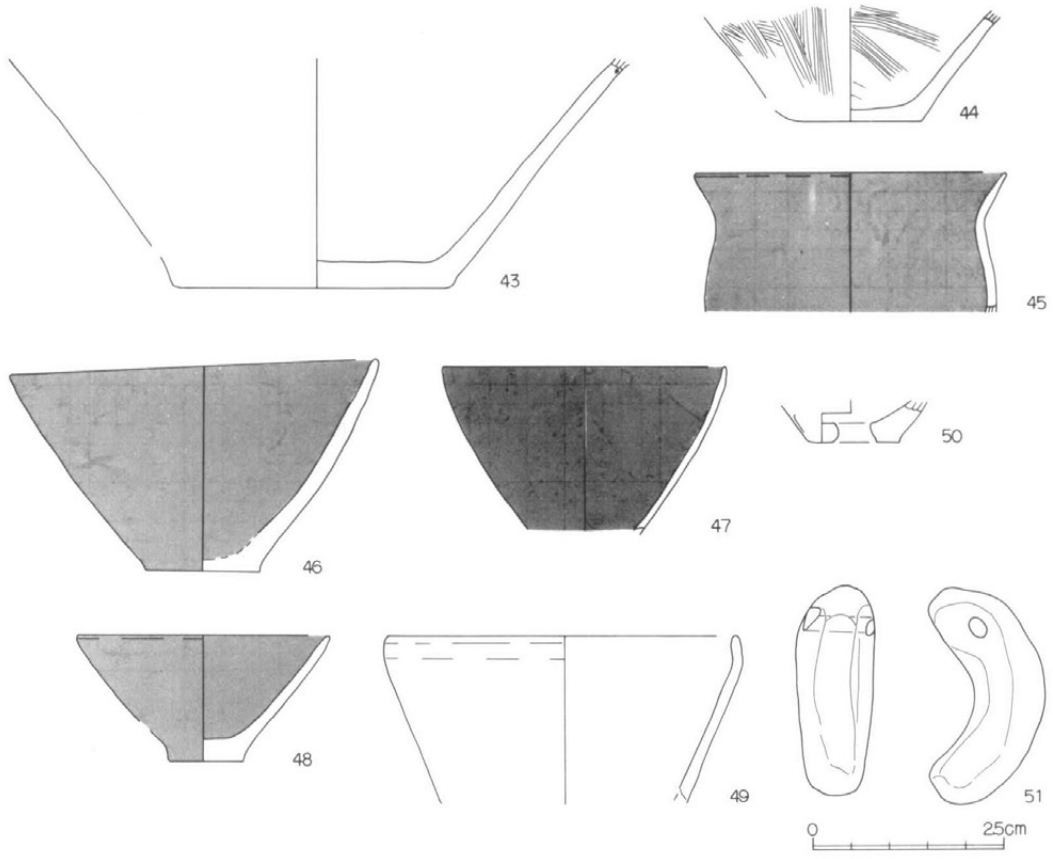
第２８４－３図　Ｂ－４２０号住居址出土遺物実測図



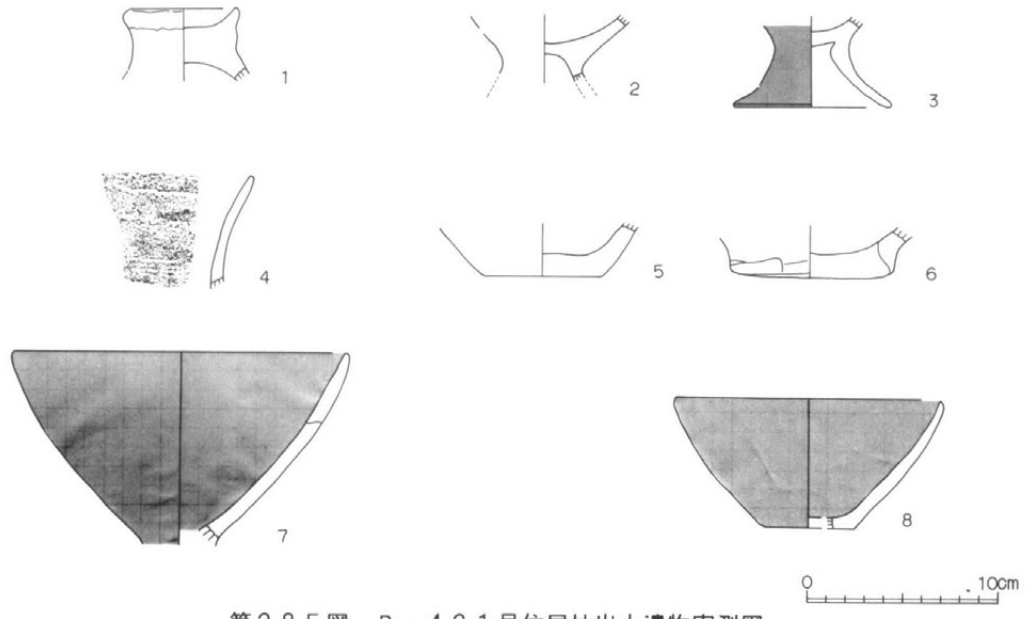
第２８４－４図　Ｂ－４２０号住居址出土遺物実測図



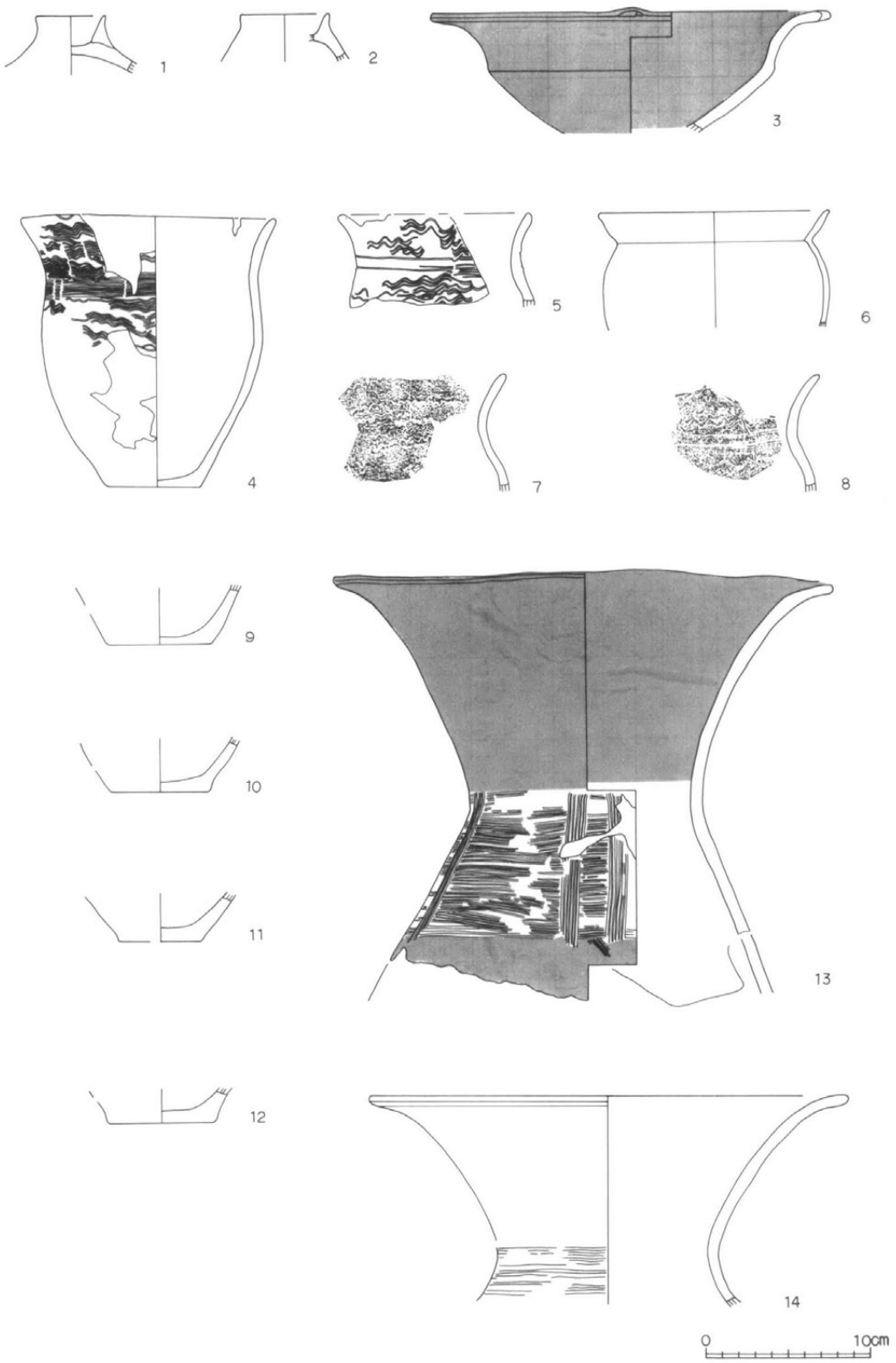
第２８４－５図　Ｂ－４２０号住居址出土遺物実測図



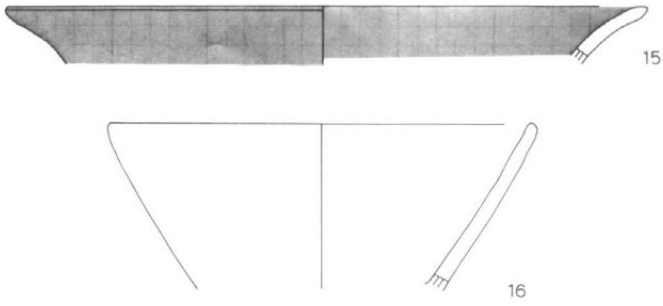
第２８４－６図　Ｂ－４２０号住居址出土遺物実測図



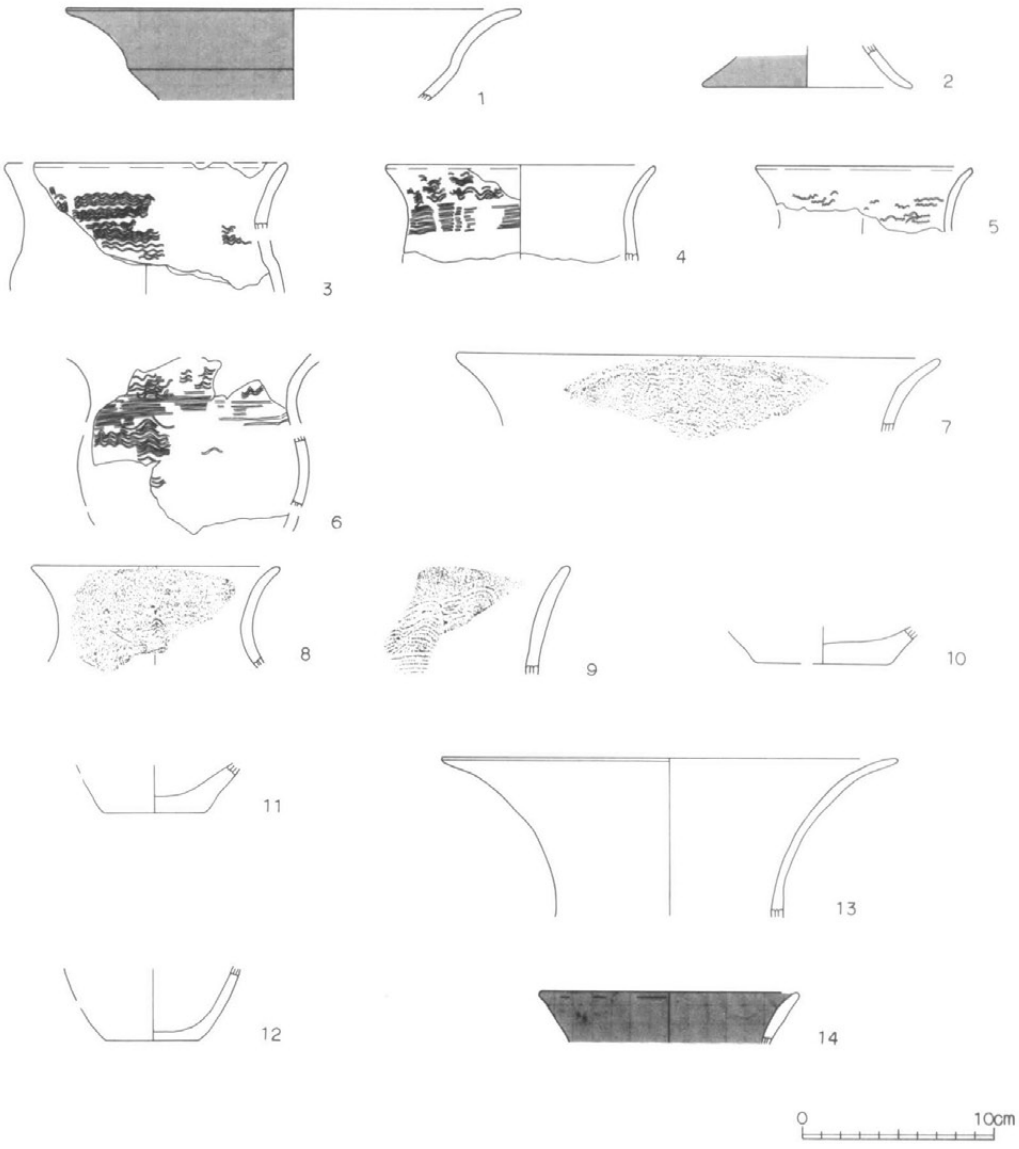
第２８５図　Ｂ－４２１号住居址出土遺物実測図



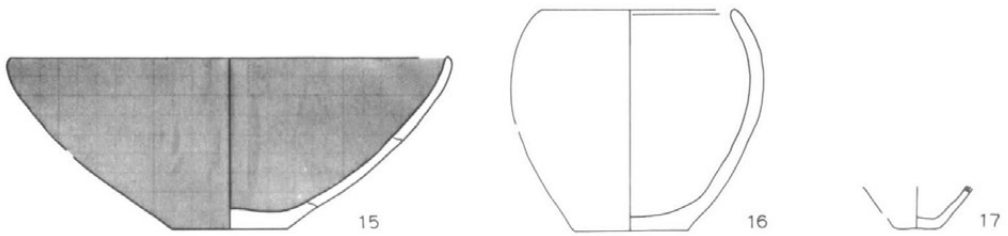
第２８６－１図　Ｂ－４２２号住居址出土遺物実測図



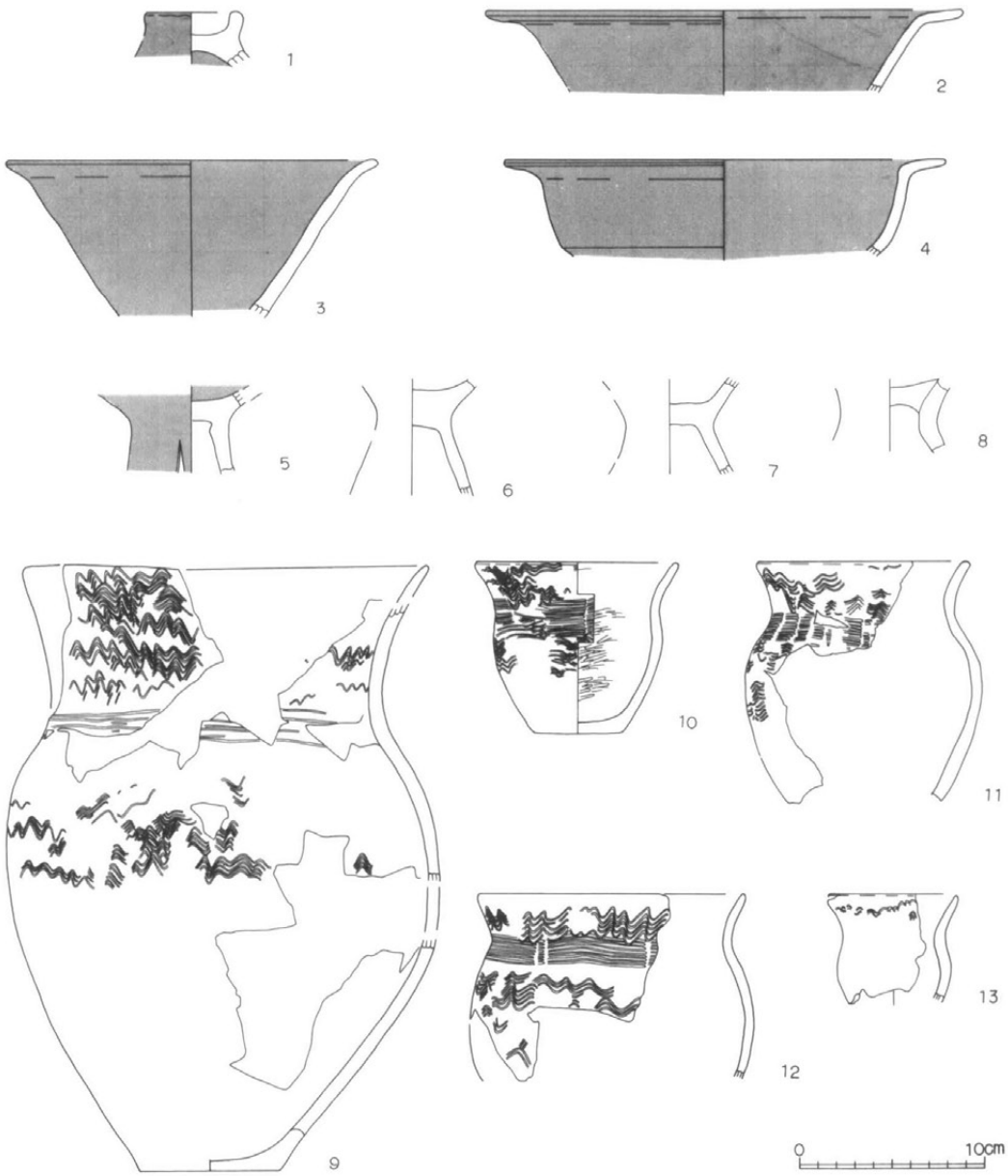
第２８６－２図　Ｂ－４２２号住居址出土遺物実測図



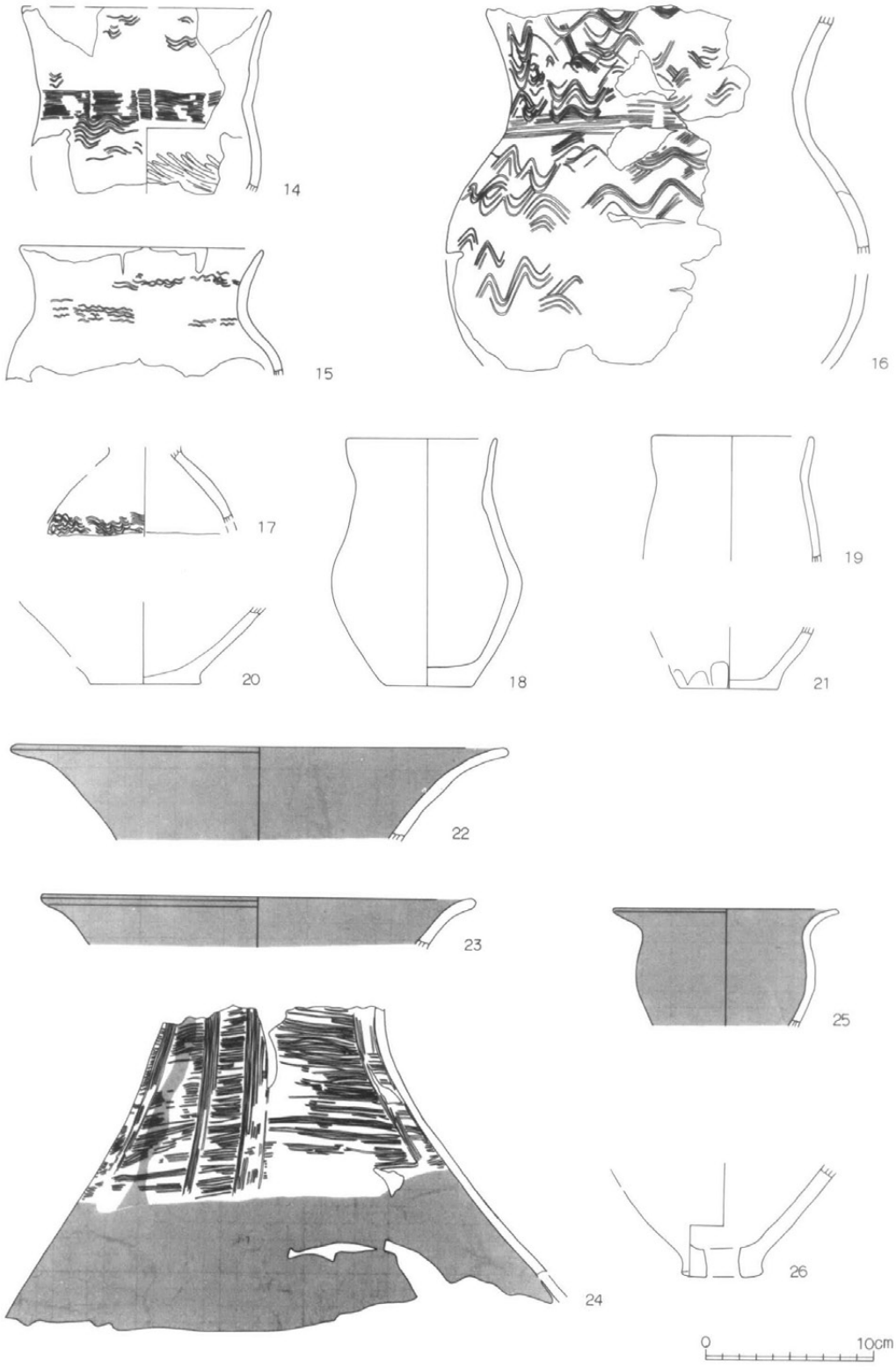
第２８７－１図　Ｂ－４２５号住居址出土遺物実測図



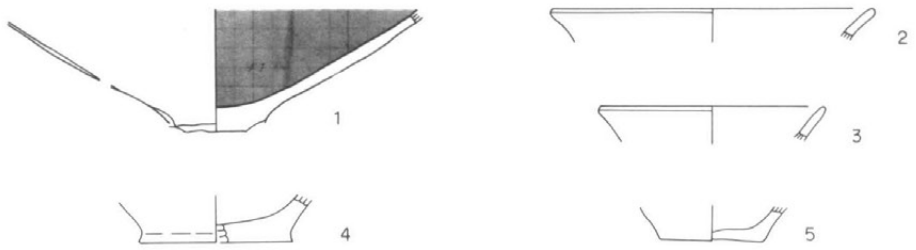
第２８７－２図　Ｂ－４２５号住居址出土遺物実測図



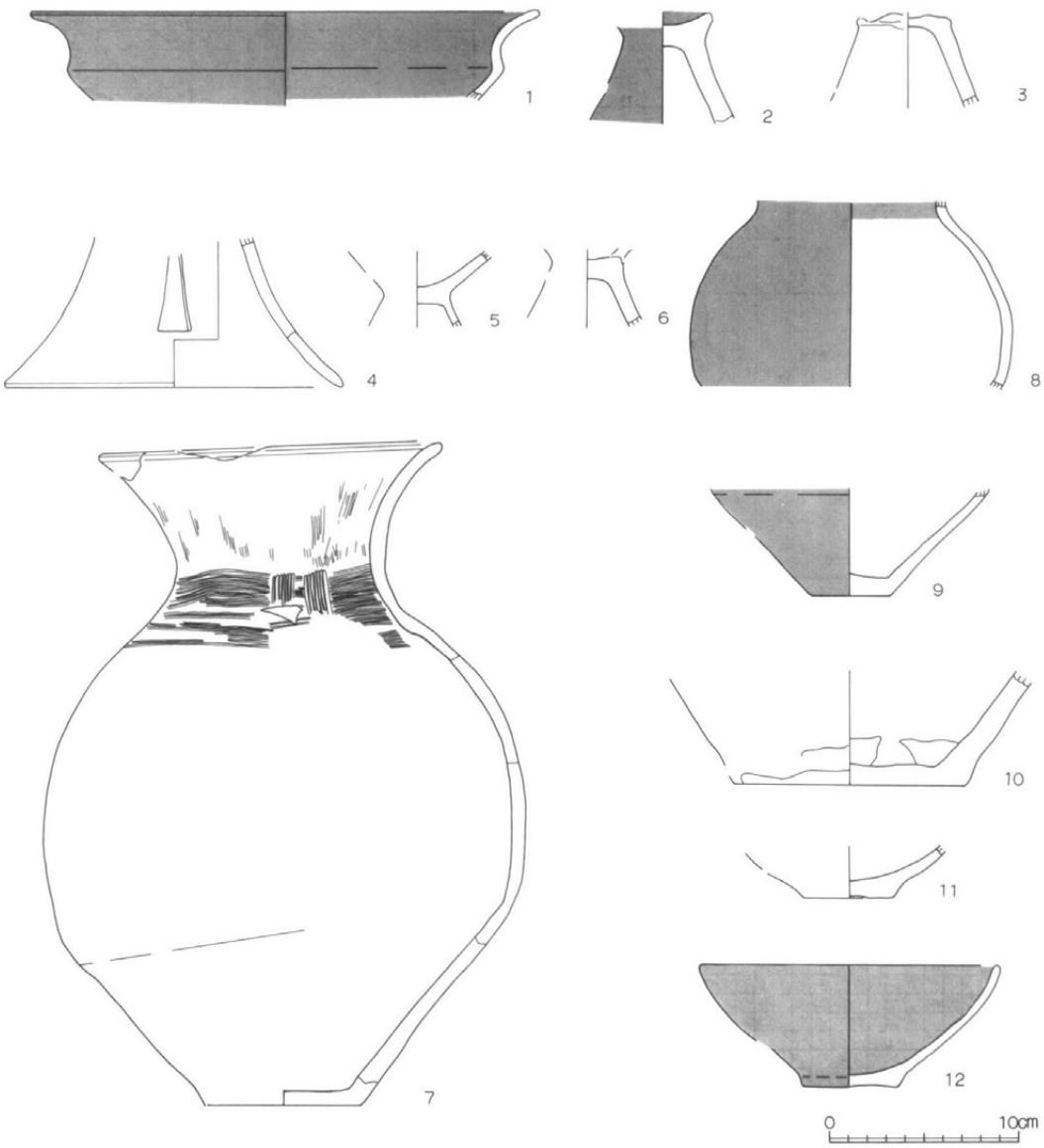
第２８８－１図　Ｂ－４２６号住居址出土遺物実測図



第２８８－２図　Ｂ－４２６号住居址出土遺物実測図

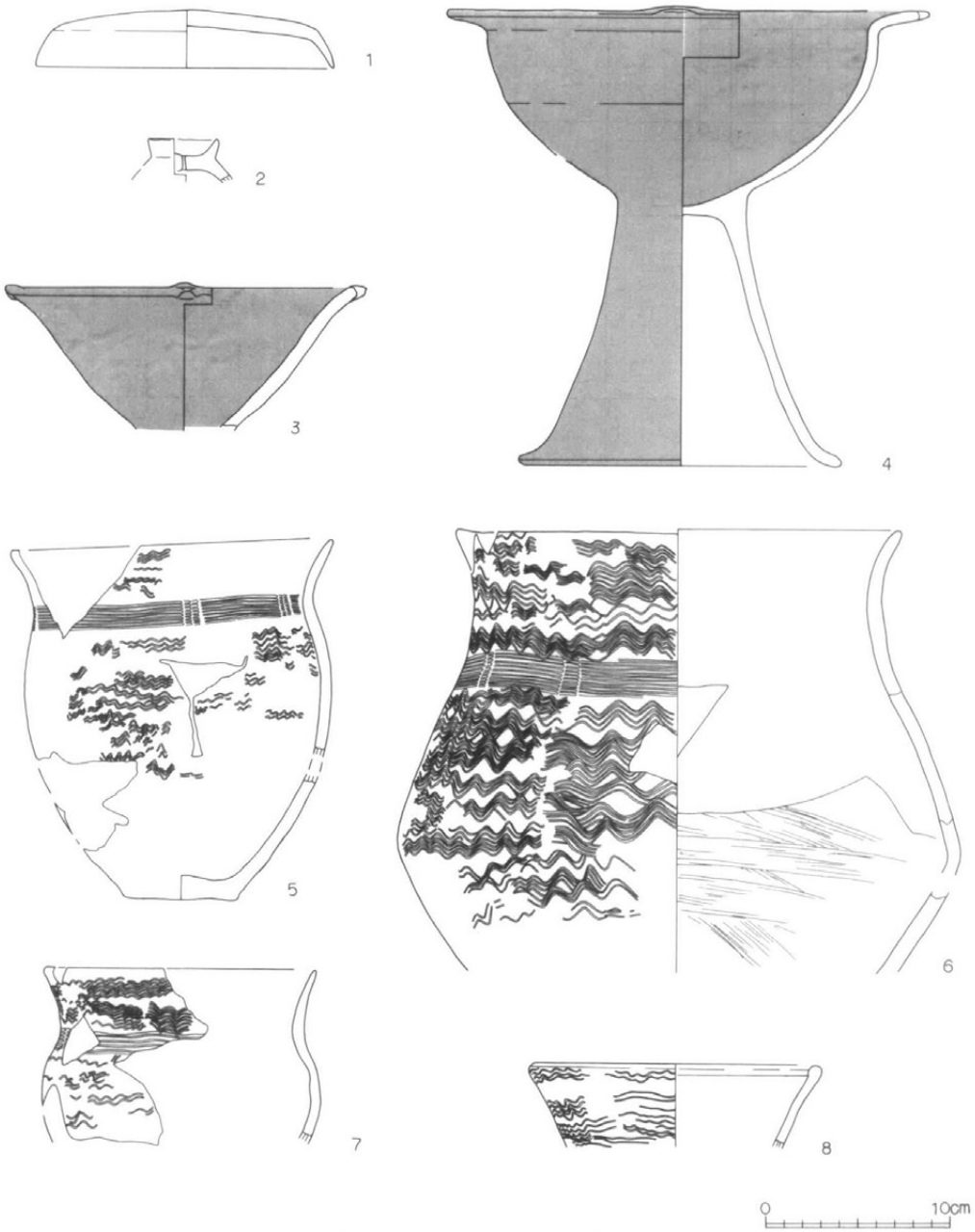


第２８９図　Ｂ－４２７号住居址出土遺物実測図

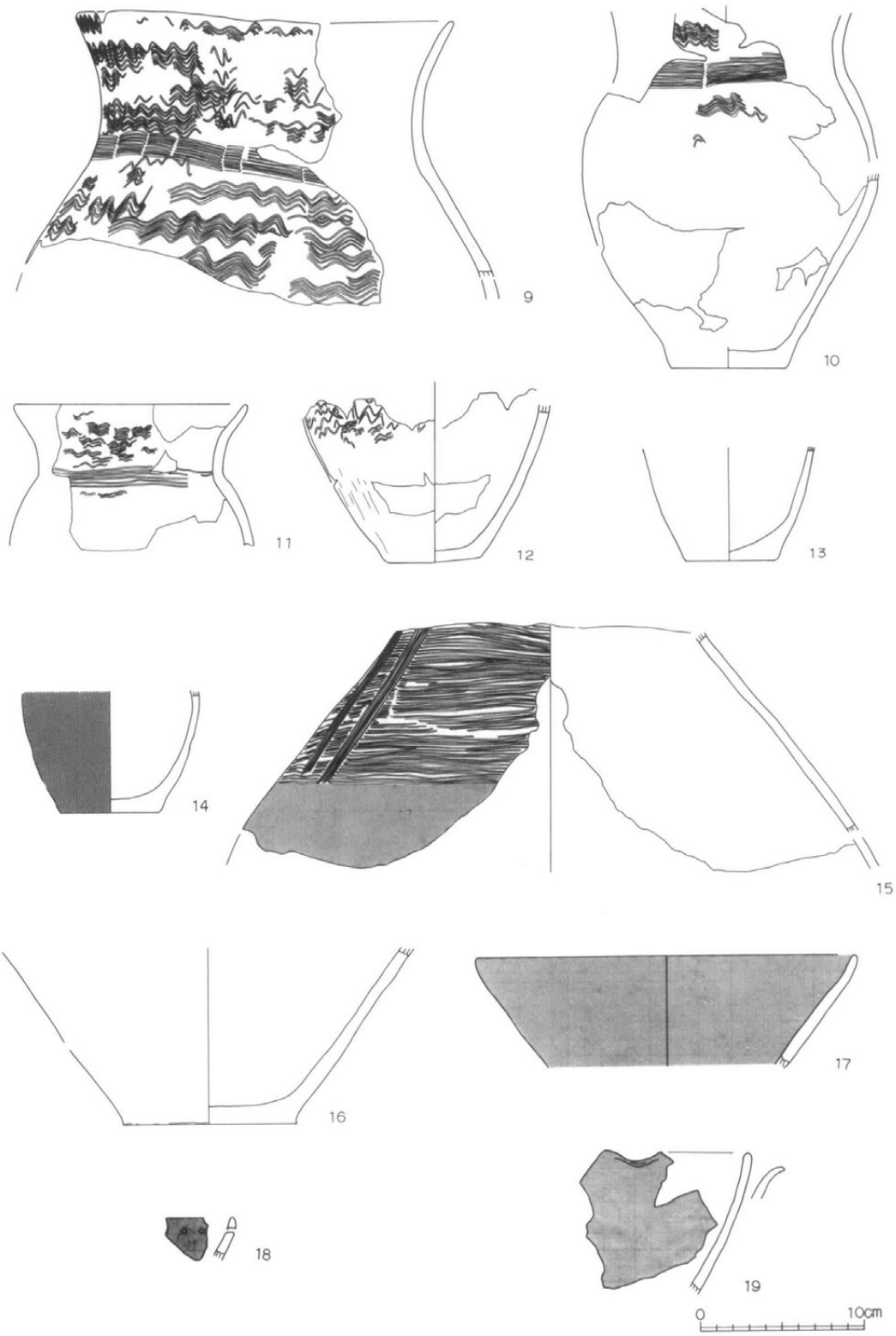


第２９０－１図　Ｂ－４２８号住居址出土遺物実測図

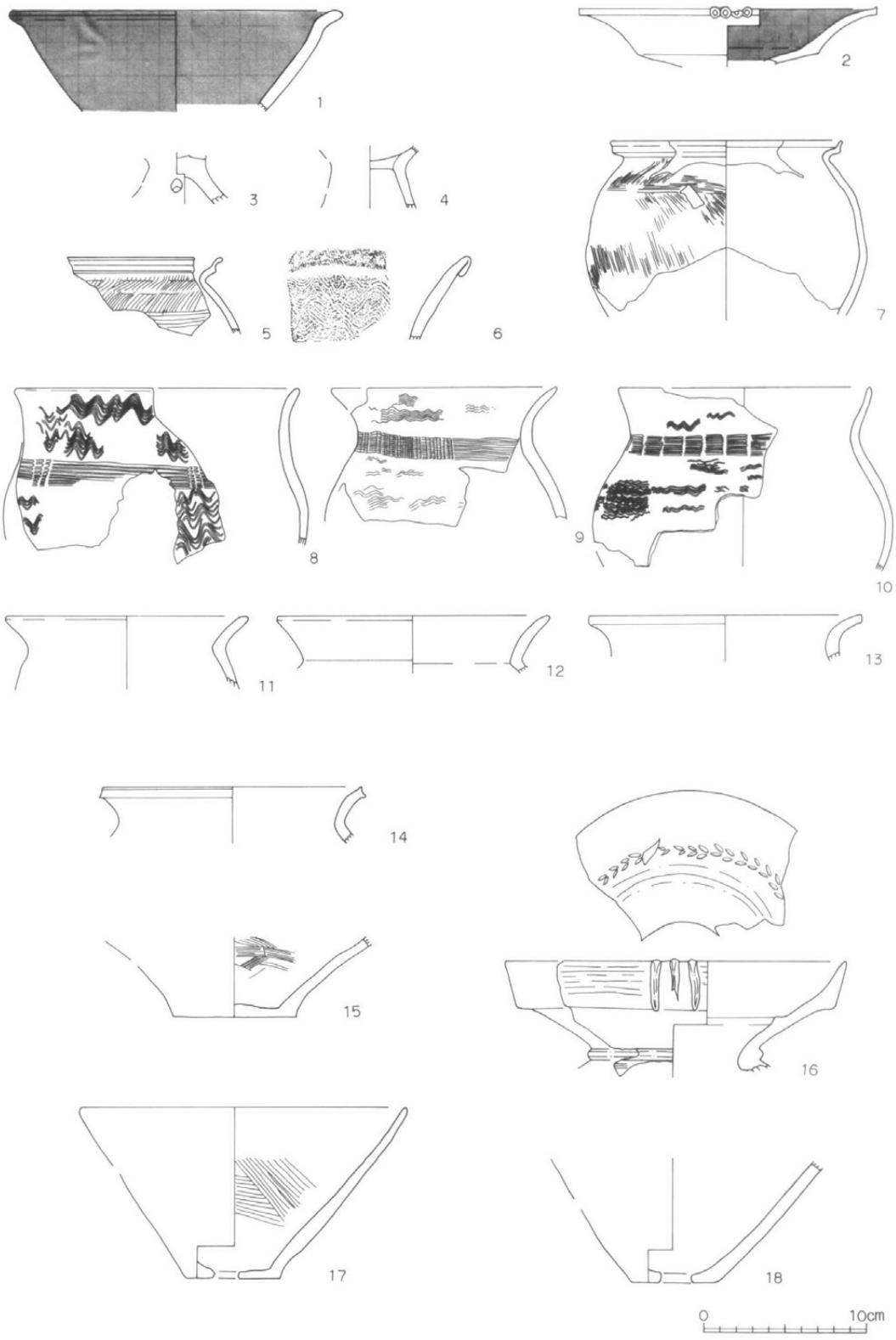
第２９０－２図　Ｂ－４２８号住居址出土遺物実測図



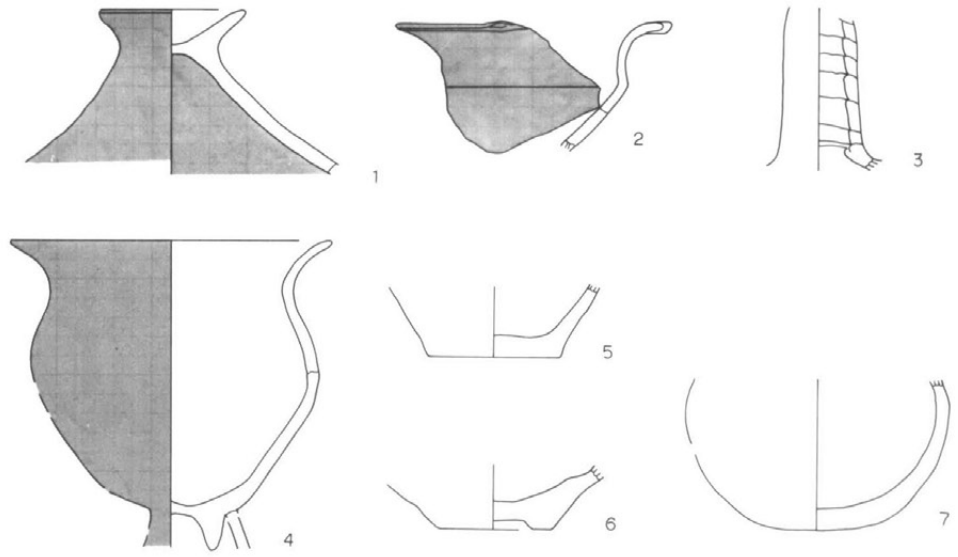
第２９１－１図　Ｂ－４２９号住居址出土遺物実測図



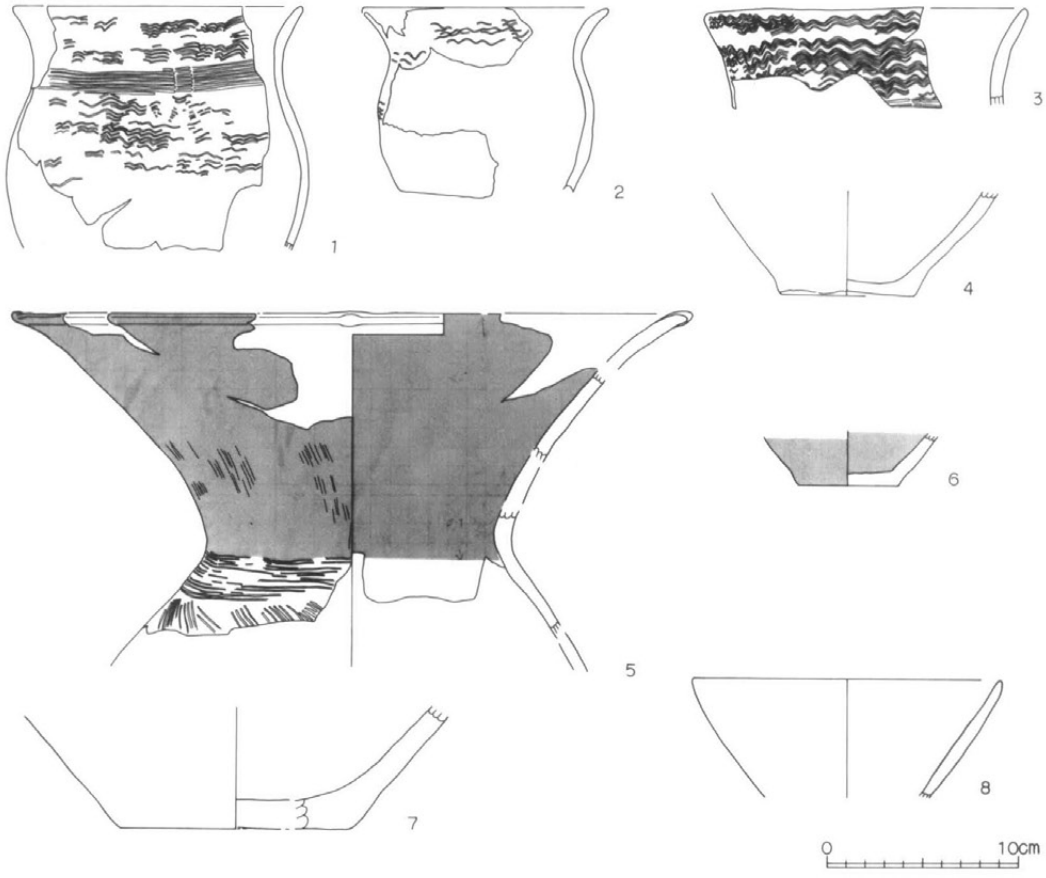
第２９１－２図　Ｂ－４２９号住居址出土遺物実測図



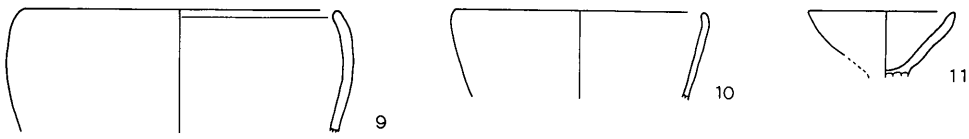
第２９２図　Ｂ－４３０号住居址出土遺物実測図



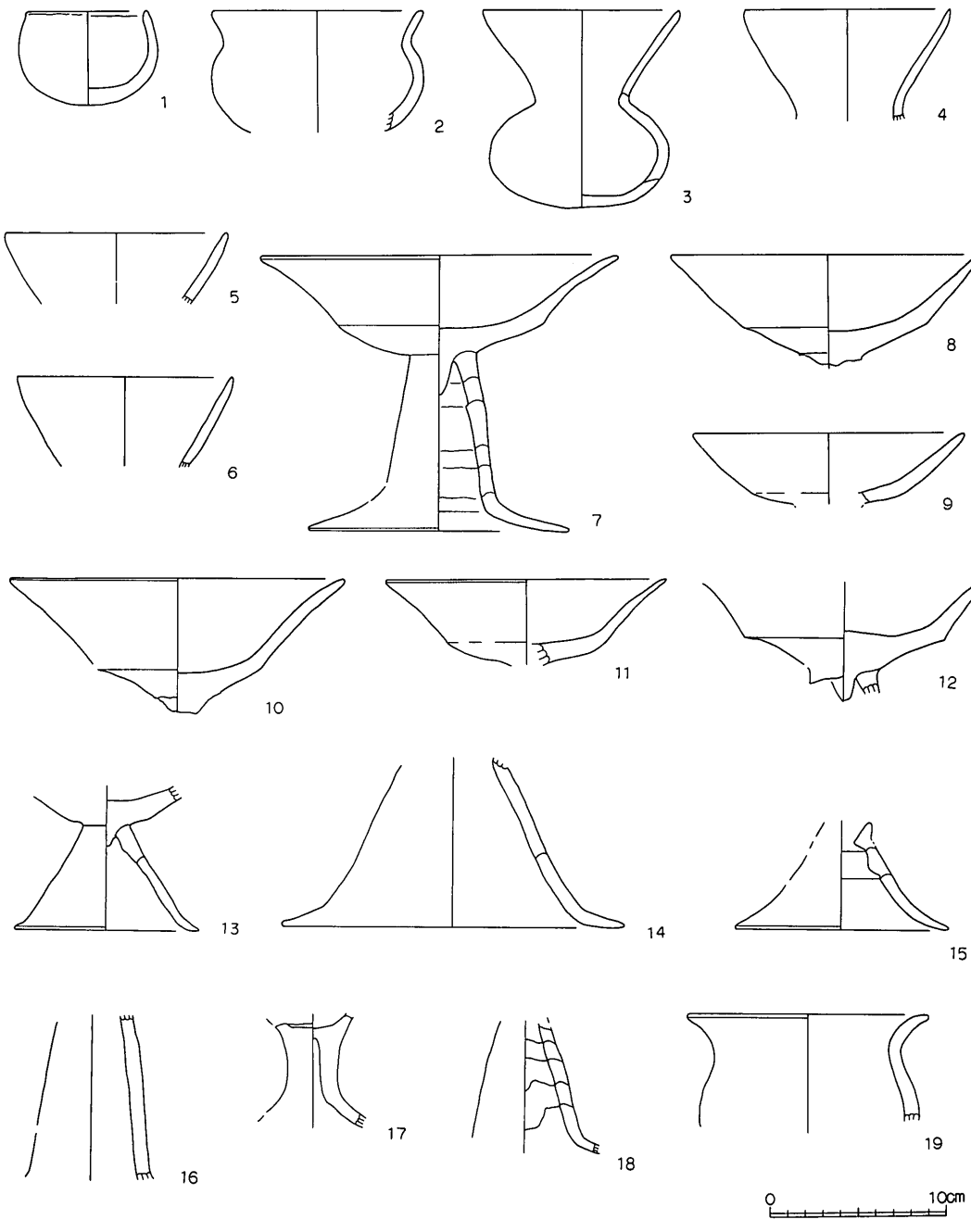
第２９３図　Ｂ－４３１号住居址出土遺物実測図



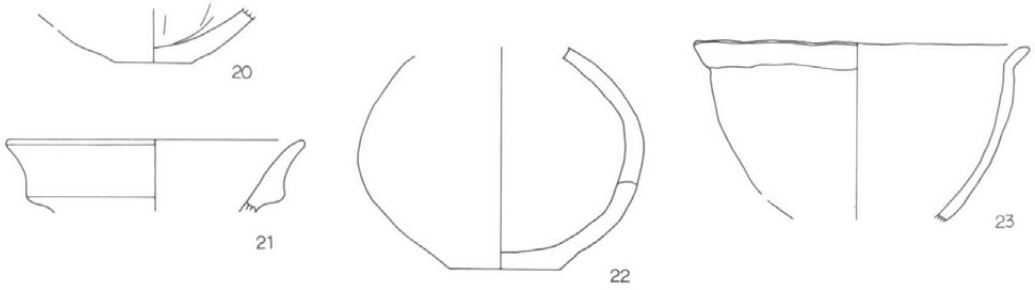
第２９４－１図　Ｂ－４３２号住居址出土遺物実測図



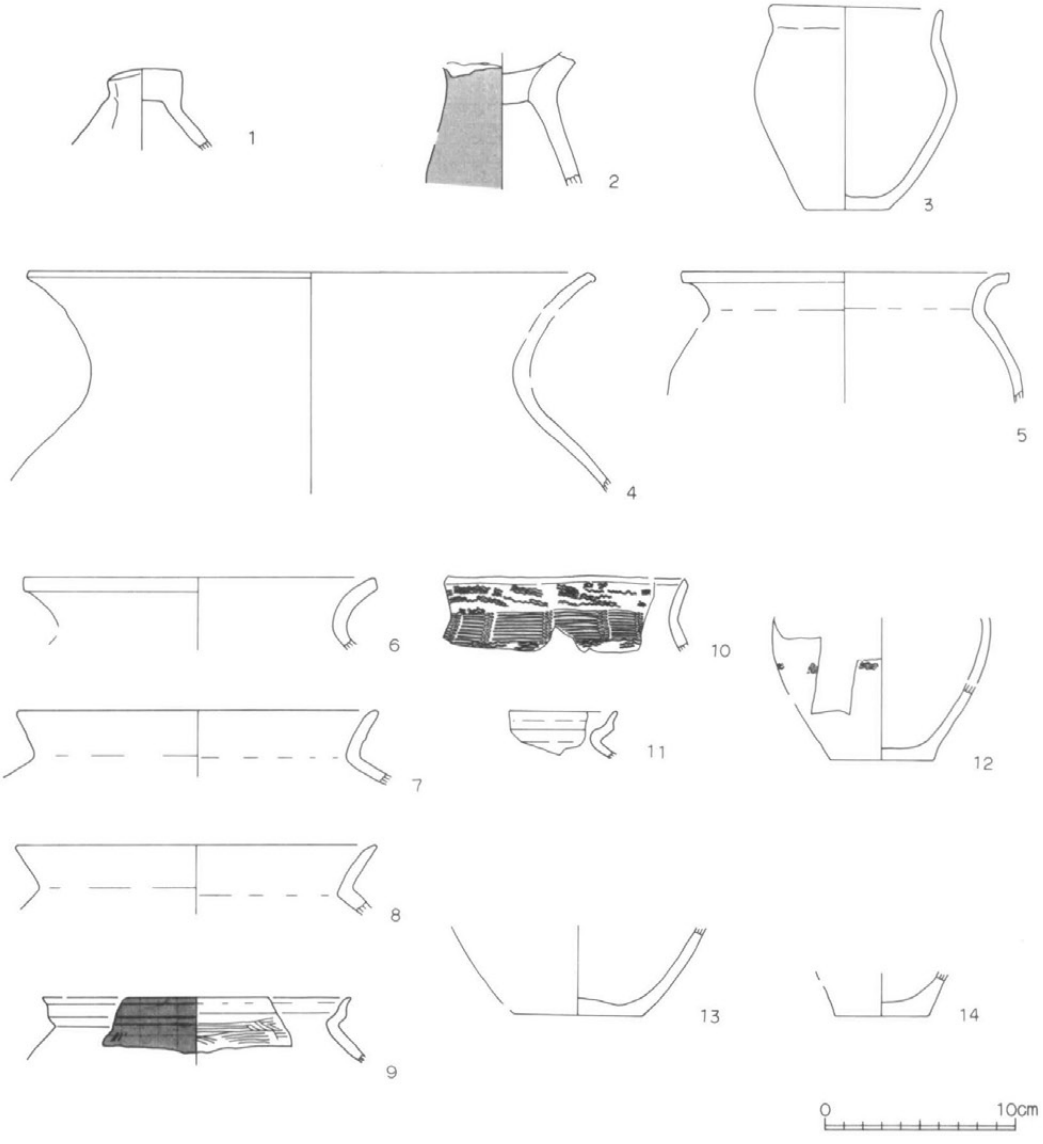
第２９４－２図　Ｂ－４３２号住居址出土遺物実測図



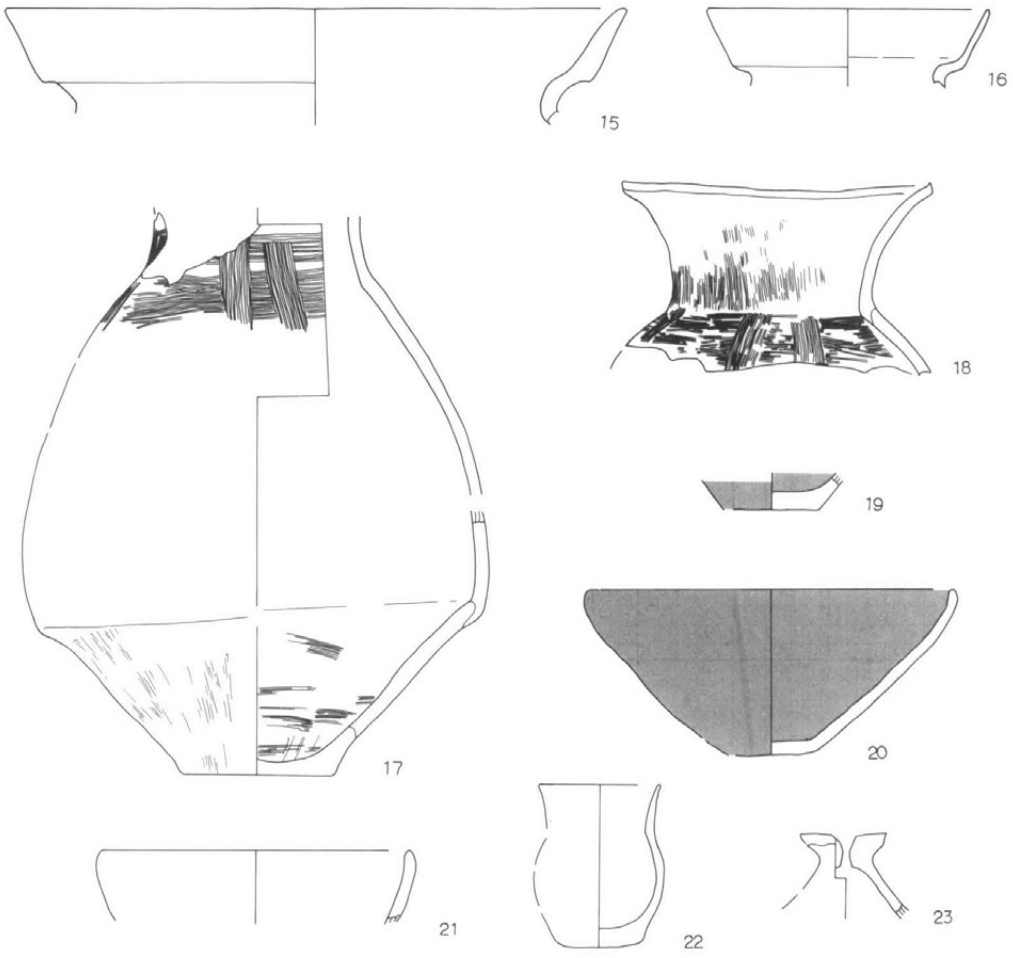
第２９５－１図　Ｂ－４３３号住居址出土遺物実測図



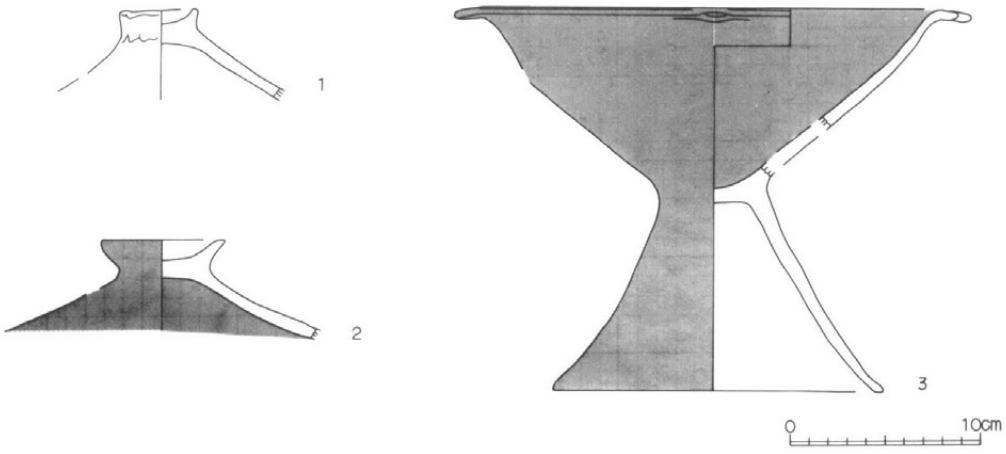
第２９５－２図　Ｂ－４３３号住居址出土遺物実測図



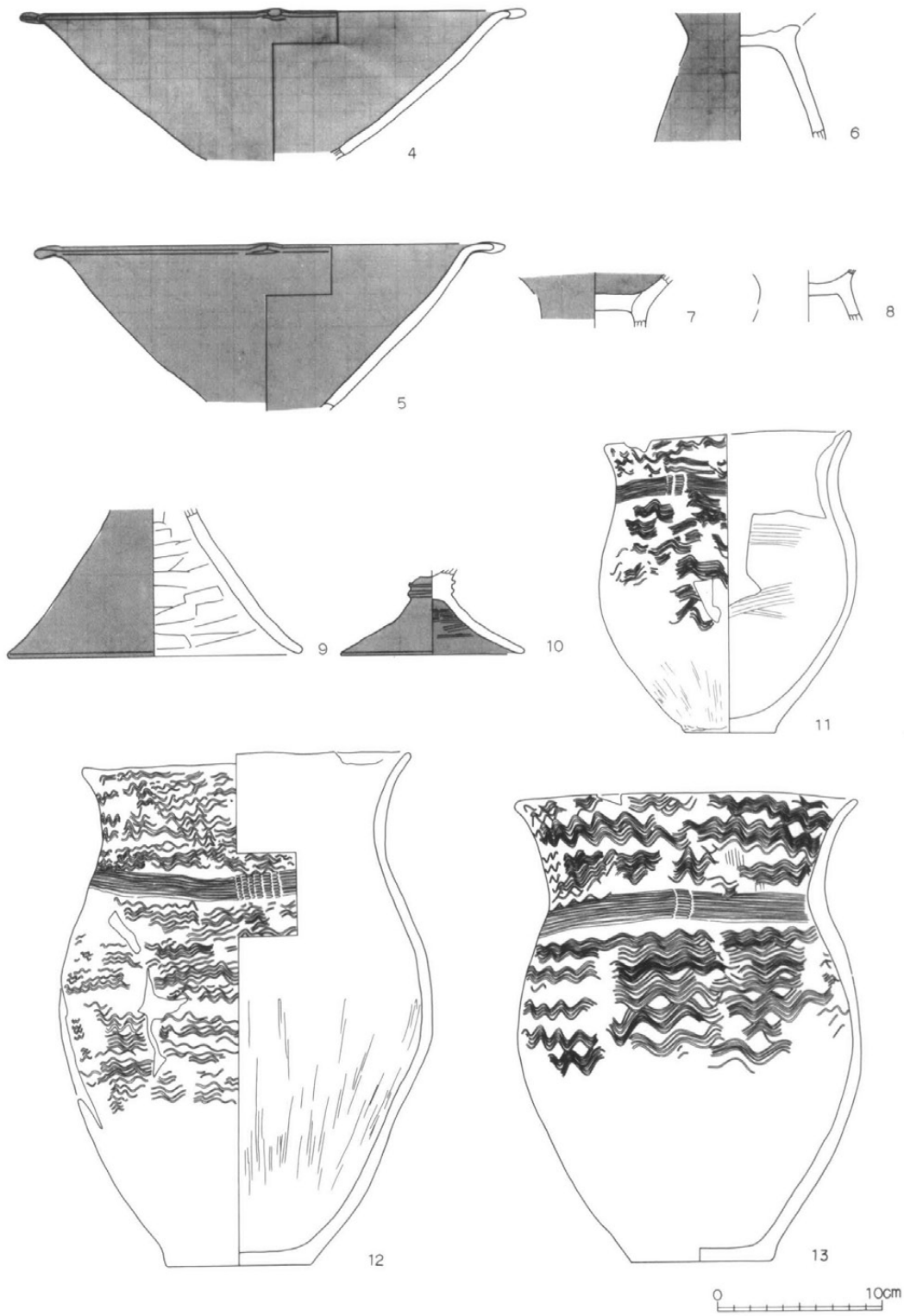
第２９６－１図　Ｂ－４３４号住居址出土遺物実測図



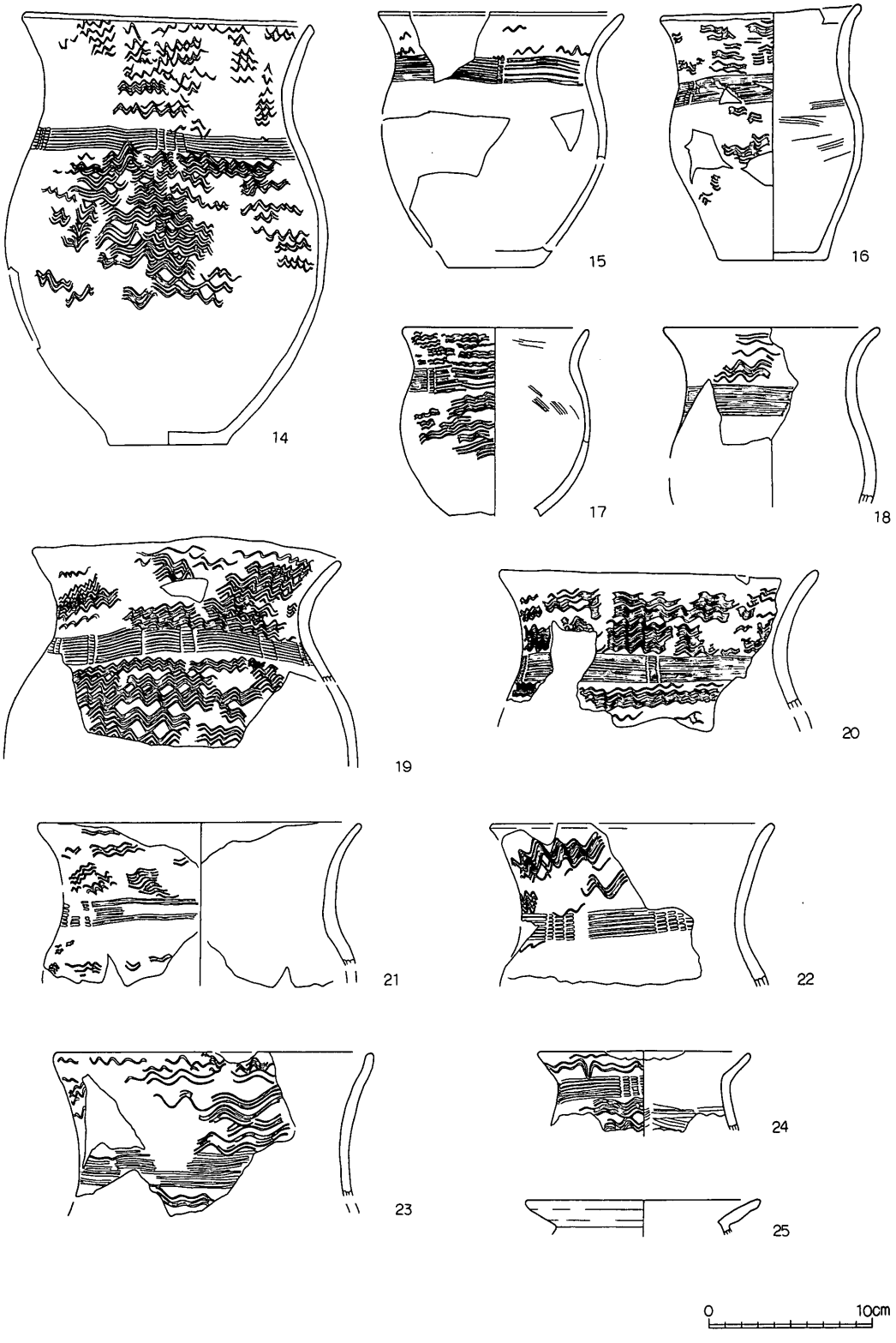
第２９６－２図　Ｂ－４３４号住居址出土遺物実測図



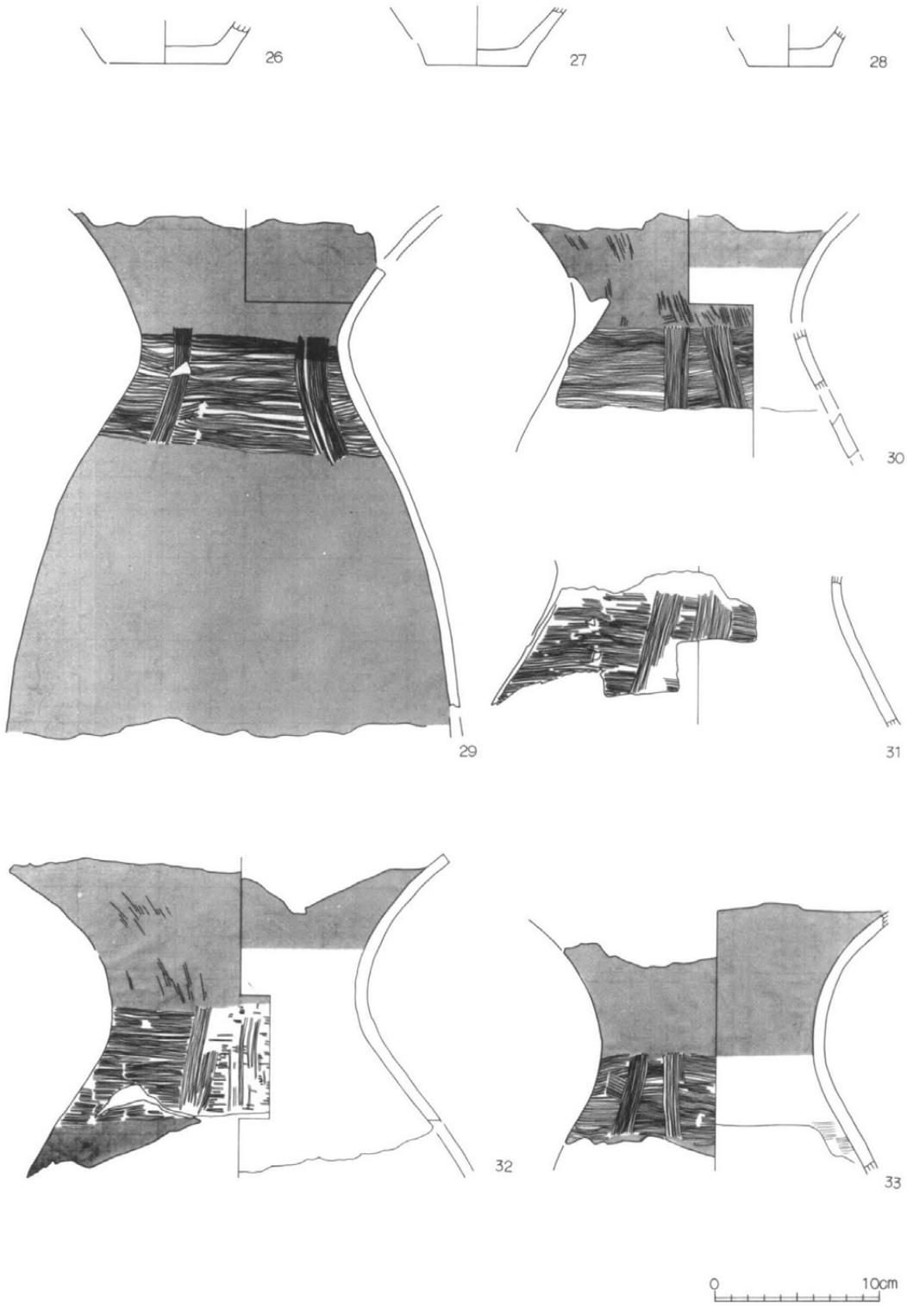
第２９７－１図　Ｂ－４３５号住居址出土遺物実測図



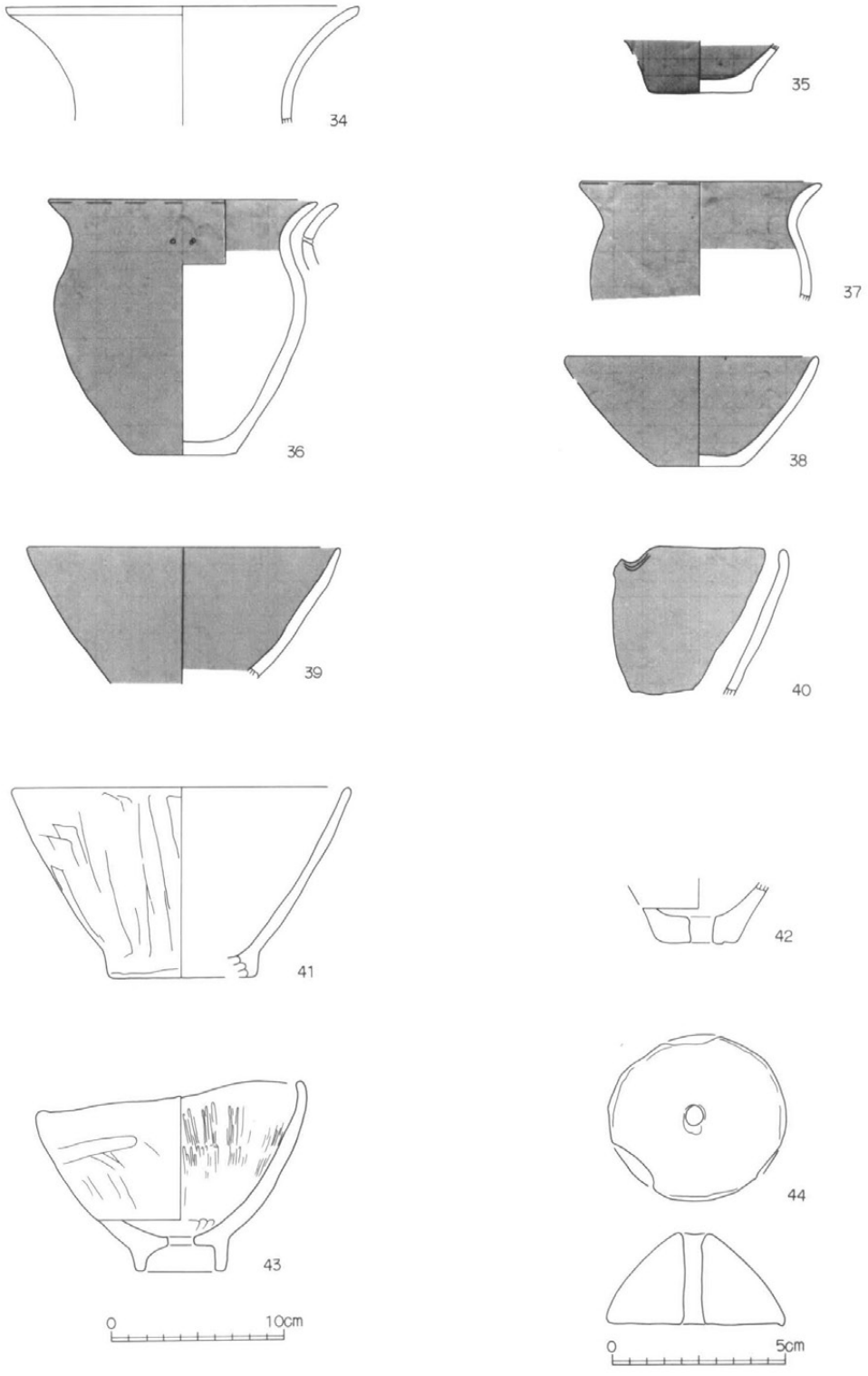
第２９７－２図　Ｂ－４３５号住居址出土遺物実測図



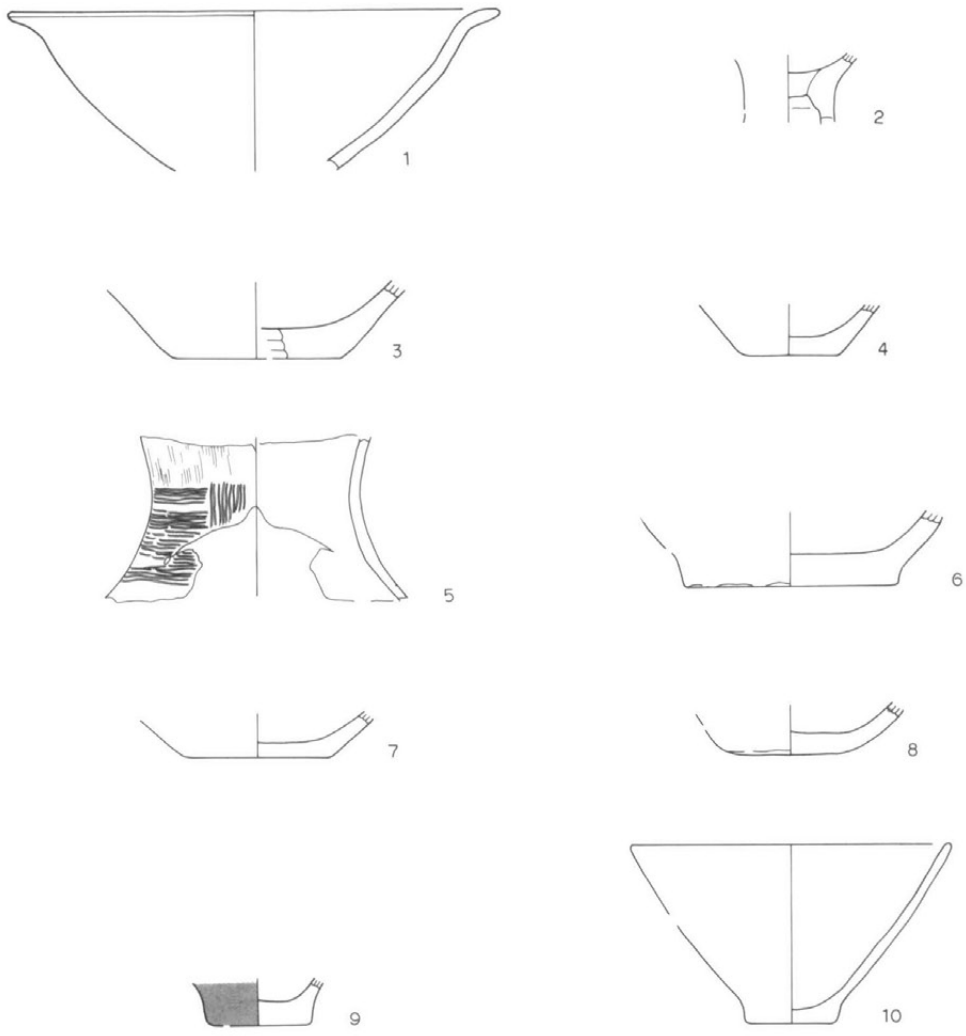
第２９７－３図　Ｂ－４３５号住居址出土遺物実測図



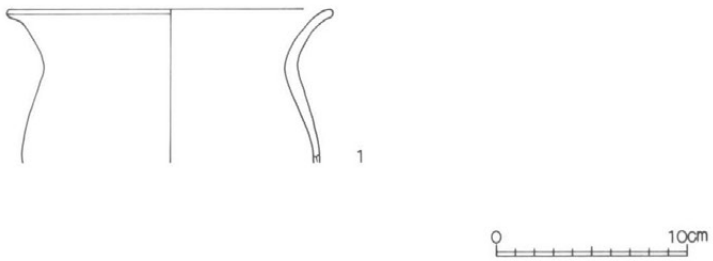
第２９７－４図　Ｂ－４３５号住居址出土遺物実測図



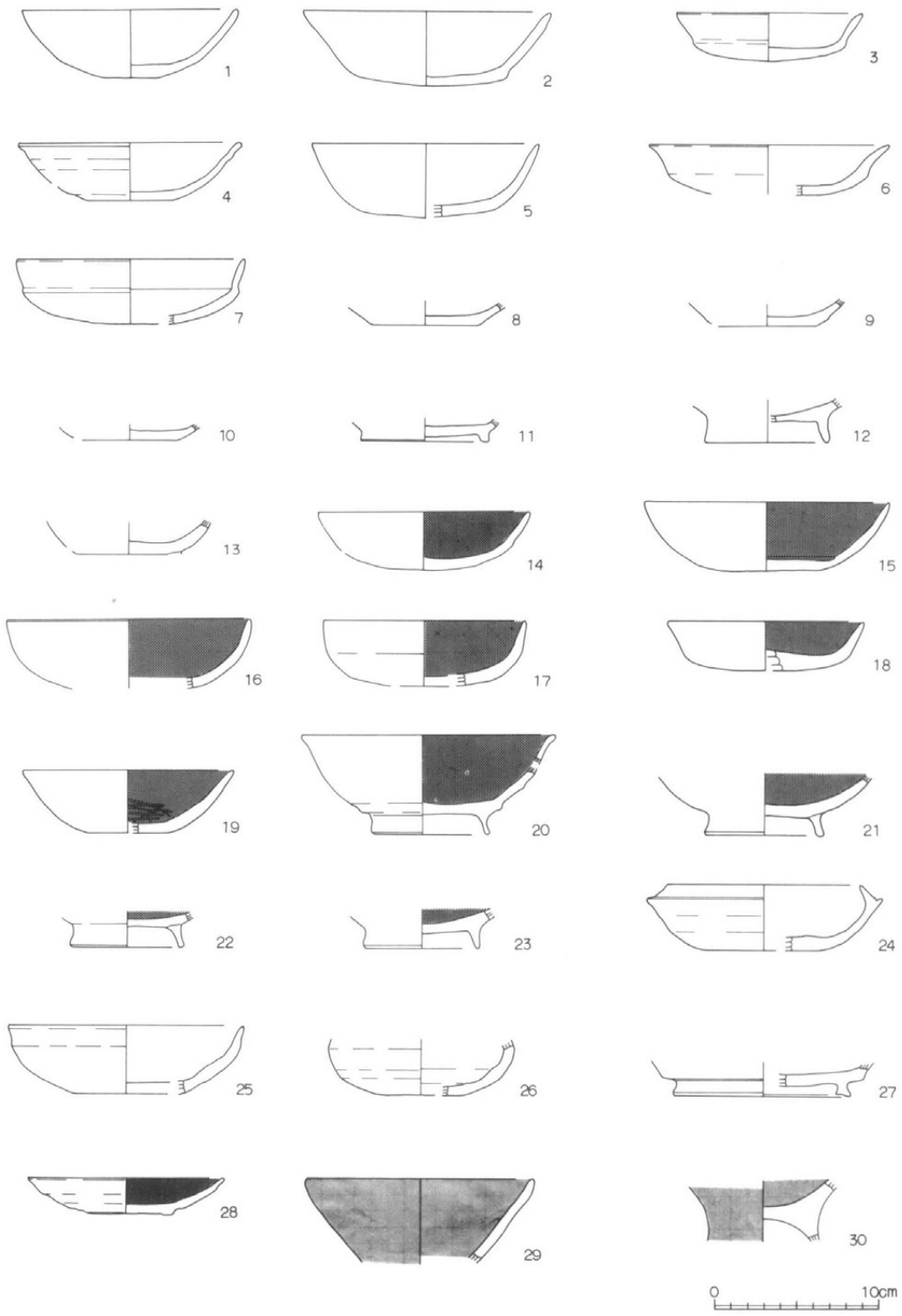
第２９７－５図　Ｂ－４３５号住居址出土遺物実測図



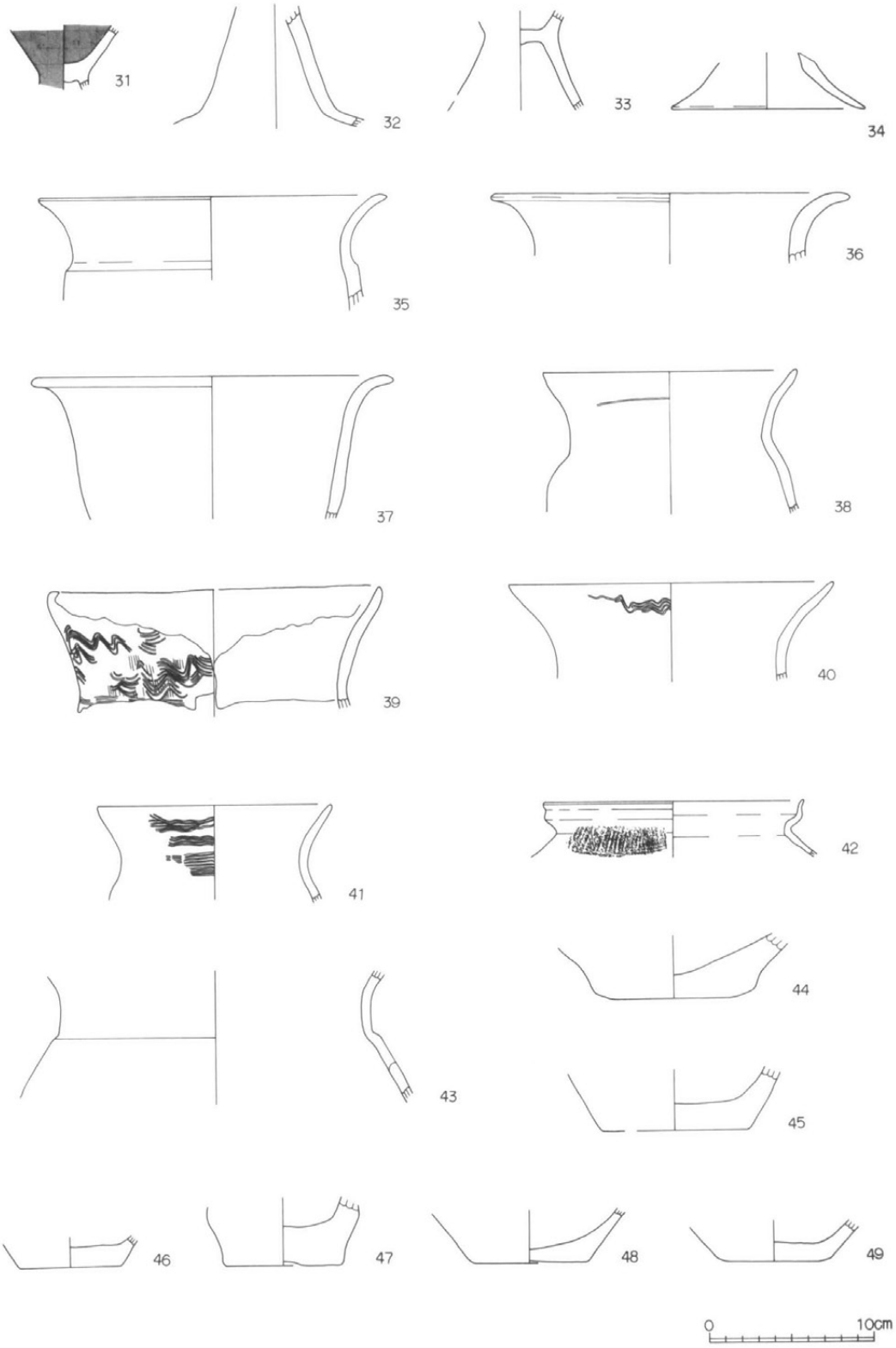
第２９８図　Ｂ－４３６号住居址出土遺物実測図



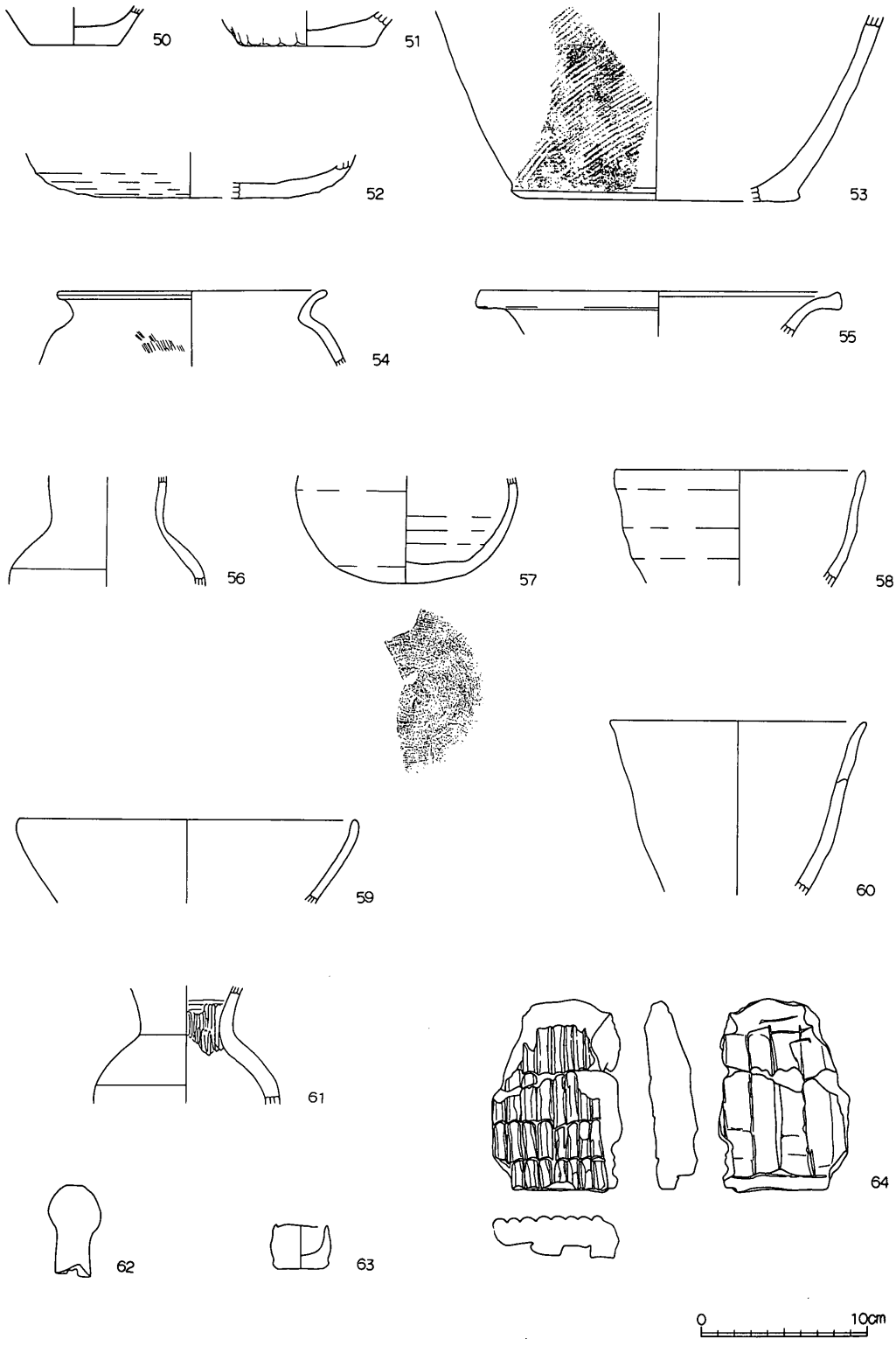
第２９９図　掘立柱建物址出土遺物実測図



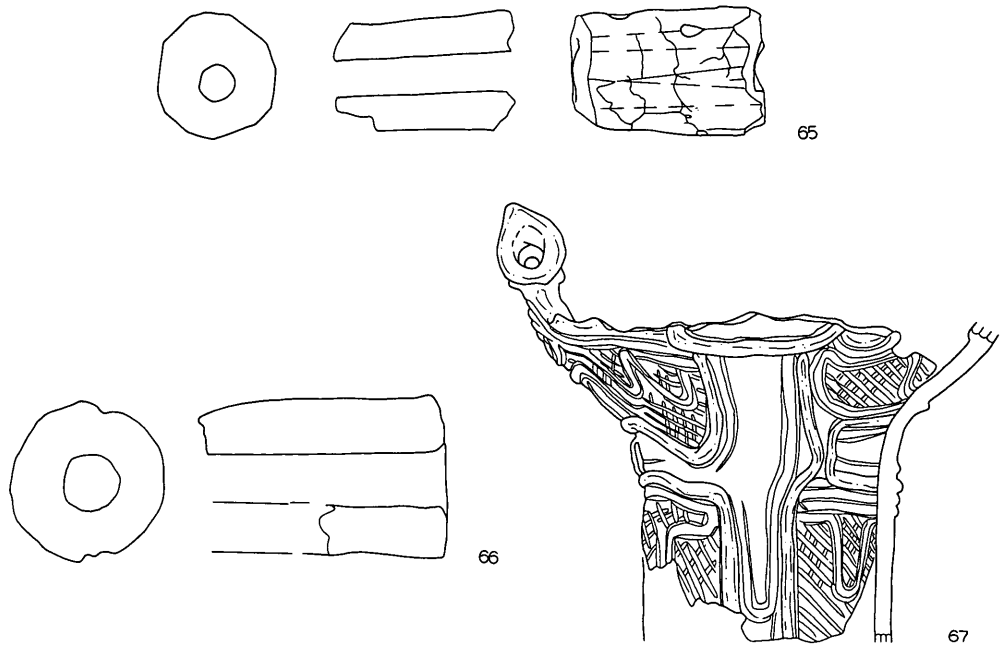
第３００－１図　Ａ－１号溝址出土遺物実測図



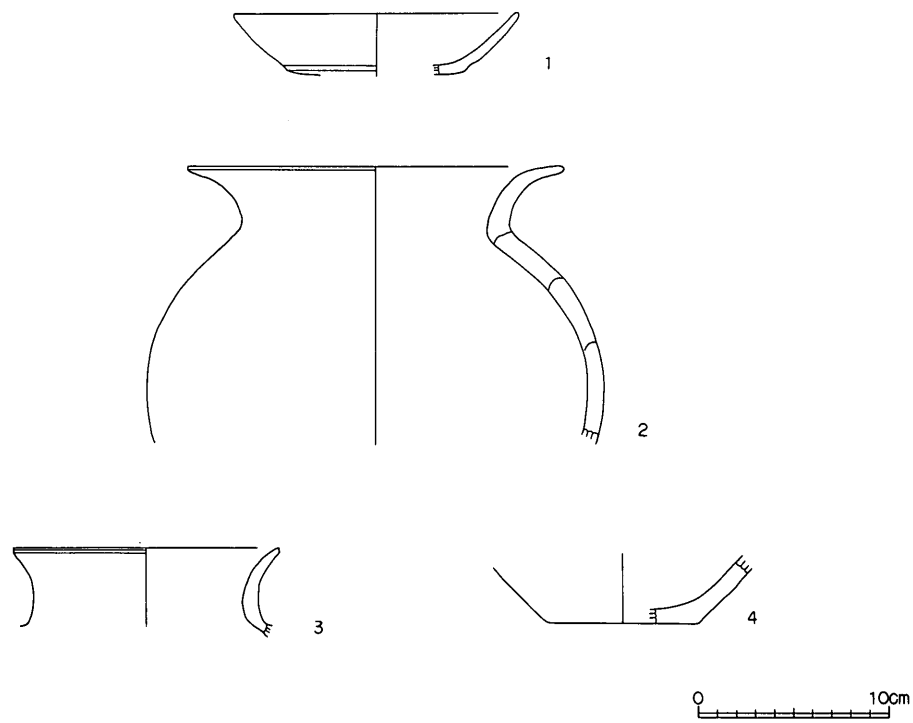
第３００－２図　Ａ－１号溝址出土遺物実測図



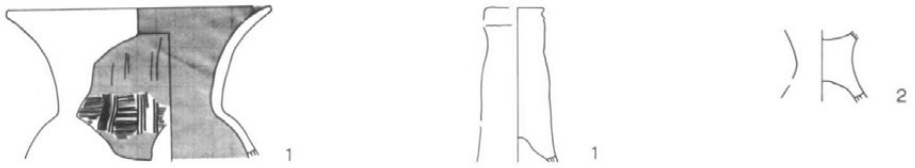
第３００－３図　Ａ－１号溝址出土遺物実測図



第３００－４図　Ａ－１号溝址出土遺物実測図

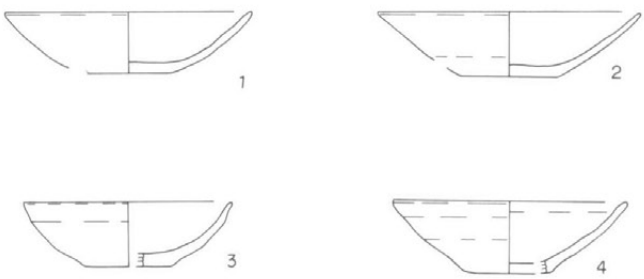


第３０１図　Ａ－２号溝址出土遺物実測図

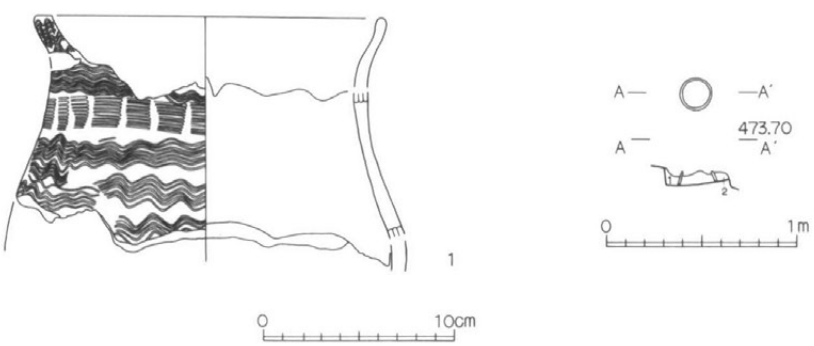


第３０２図　Ａ－３号溝址出土遺物実測図

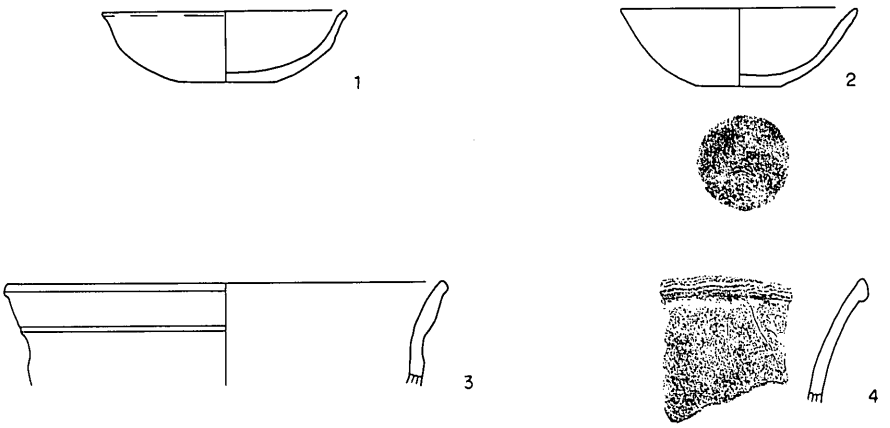
第３０３図　Ｂ－４０１号溝址出土遺物実測図



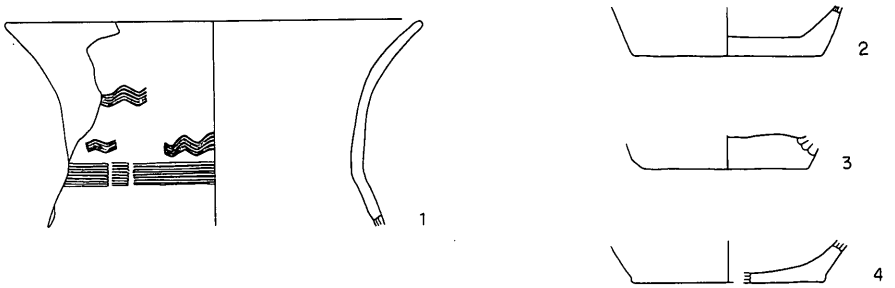
第３０４図　配石遺構遺物実測図



第３０５図　埋甕実測図



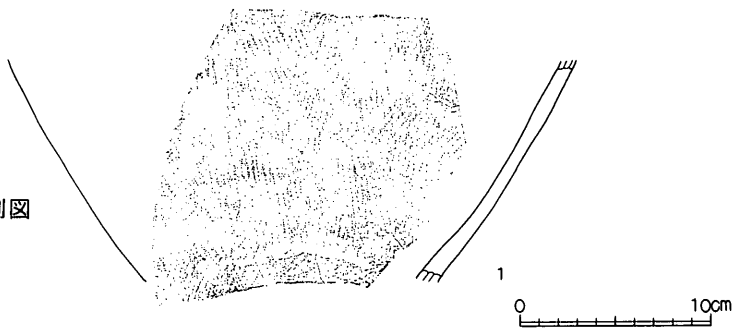
第３０６図　Ａ－３号土坑出土遺物実測図



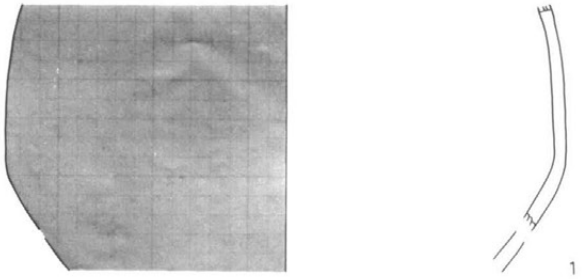
第３０７図　Ａ－５号土坑出土遺物実測図

第３０８図　Ａ－６号土坑出土遺物実測図

第３０９図
Ａ－１１号土坑出土遺物実測図



第３１０図　Ａ－１４号土坑出土遺物実測図

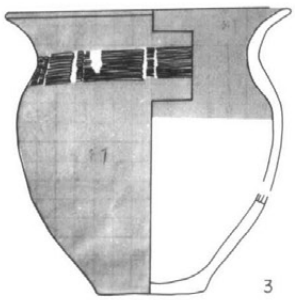


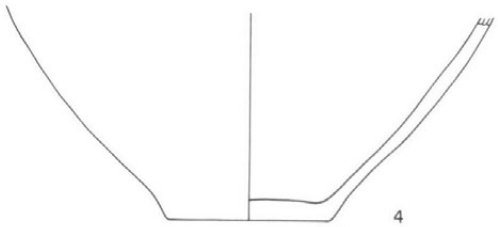
第３１１図　Ａ－１５号土坑出土遺物実測図

第３１２図　Ａ－１６号土坑出土遺物実測図

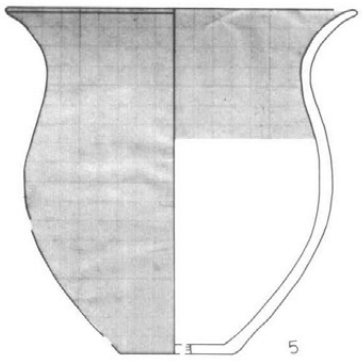
第３１３図　Ｂ－４０１号土坑
出土遺物実測図

第３１４図　Ｂ－４０２号土坑出土遺物実測図



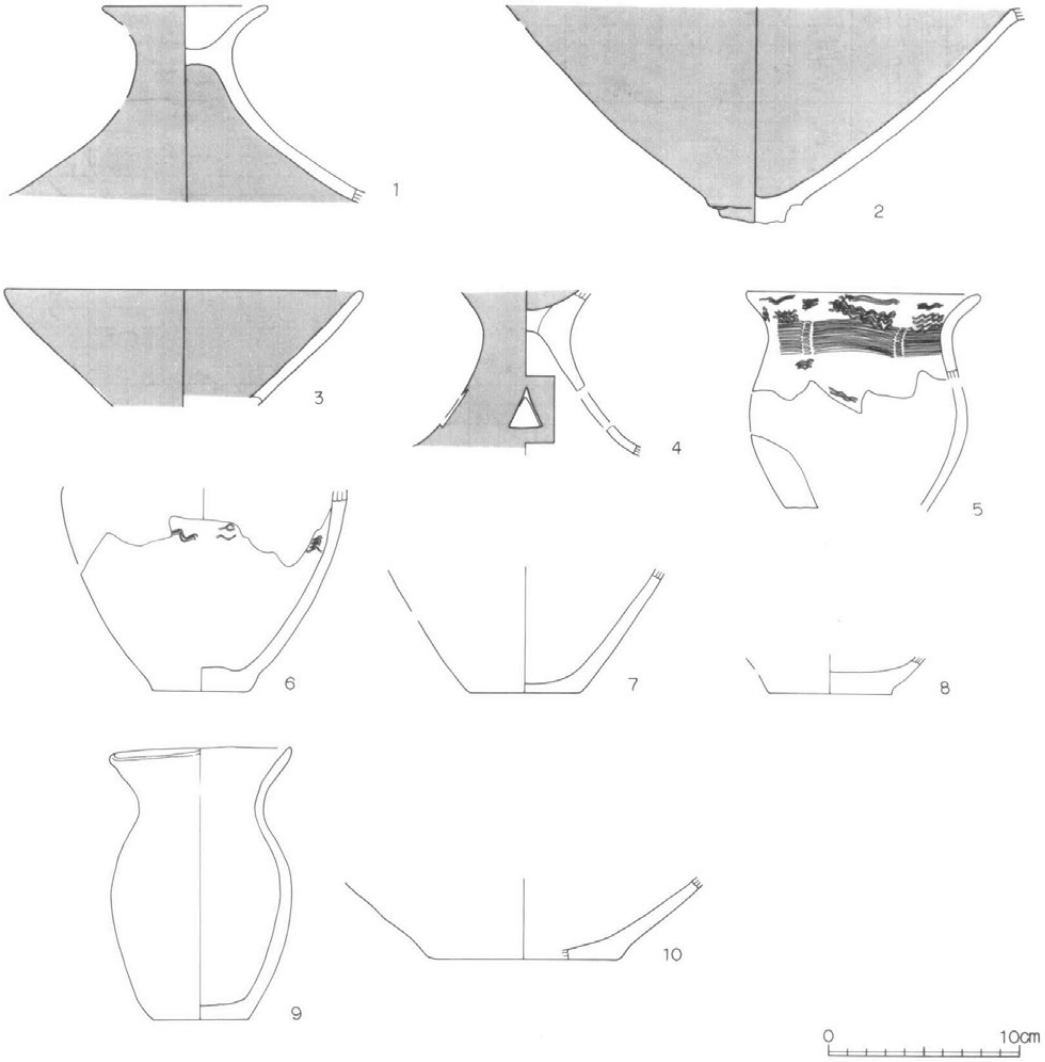


第３１５－１図　Ｂ－４０３号土坑出土遺物実測図

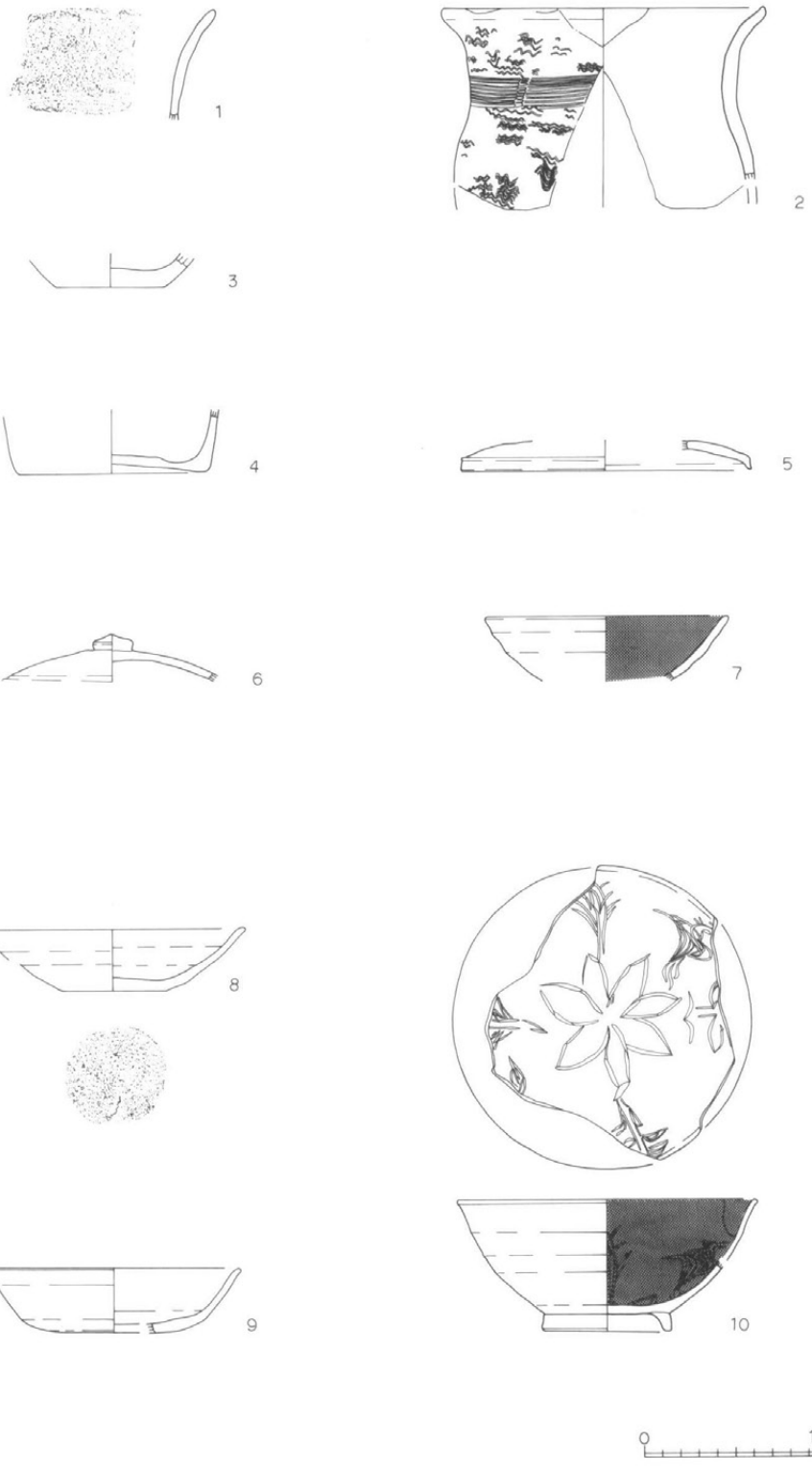


第３１６図　Ｂ－４０４号土坑
出土遺物実測図

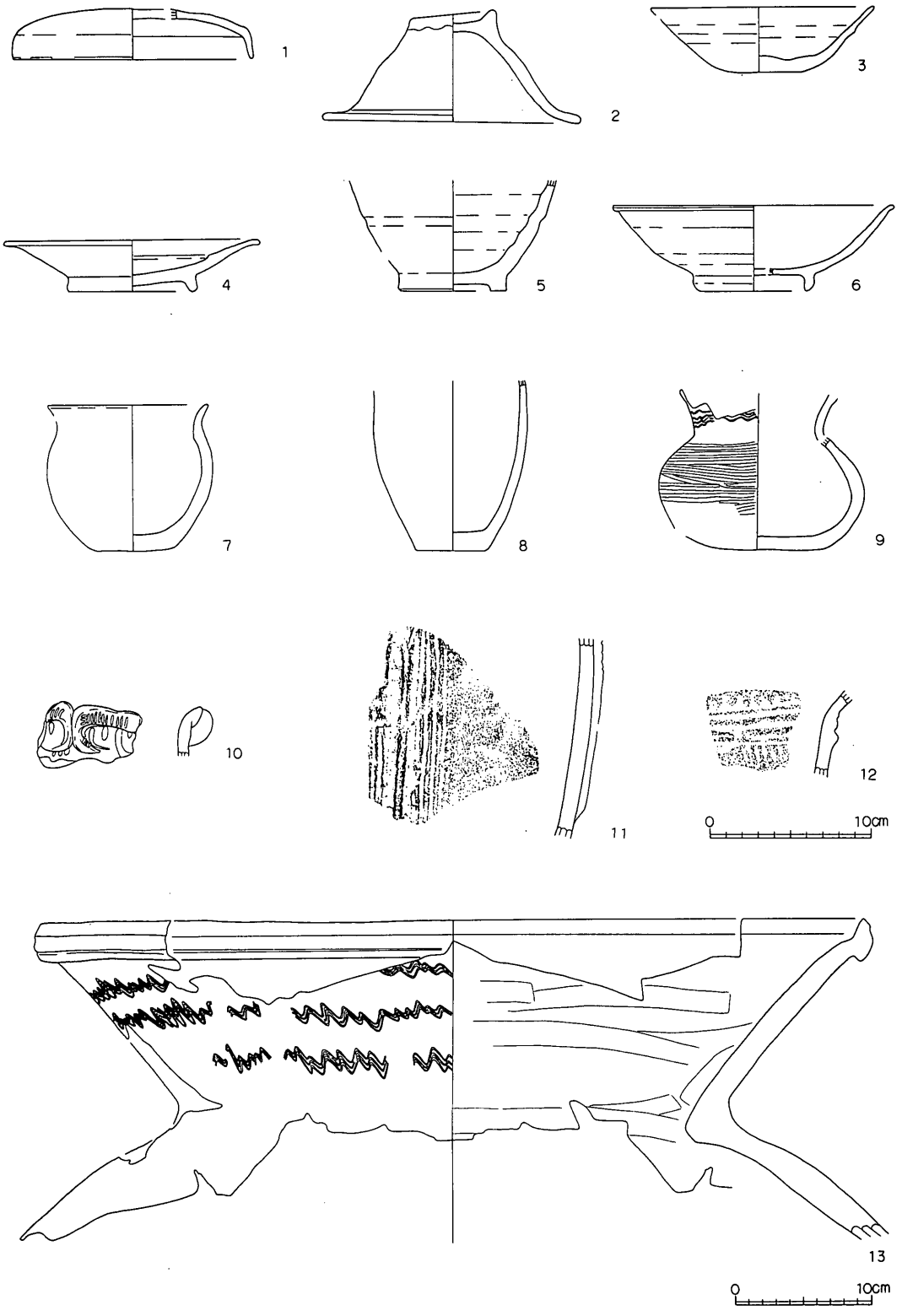
第３１５－２図　Ｂ－４０３号土坑出土遺物実測図



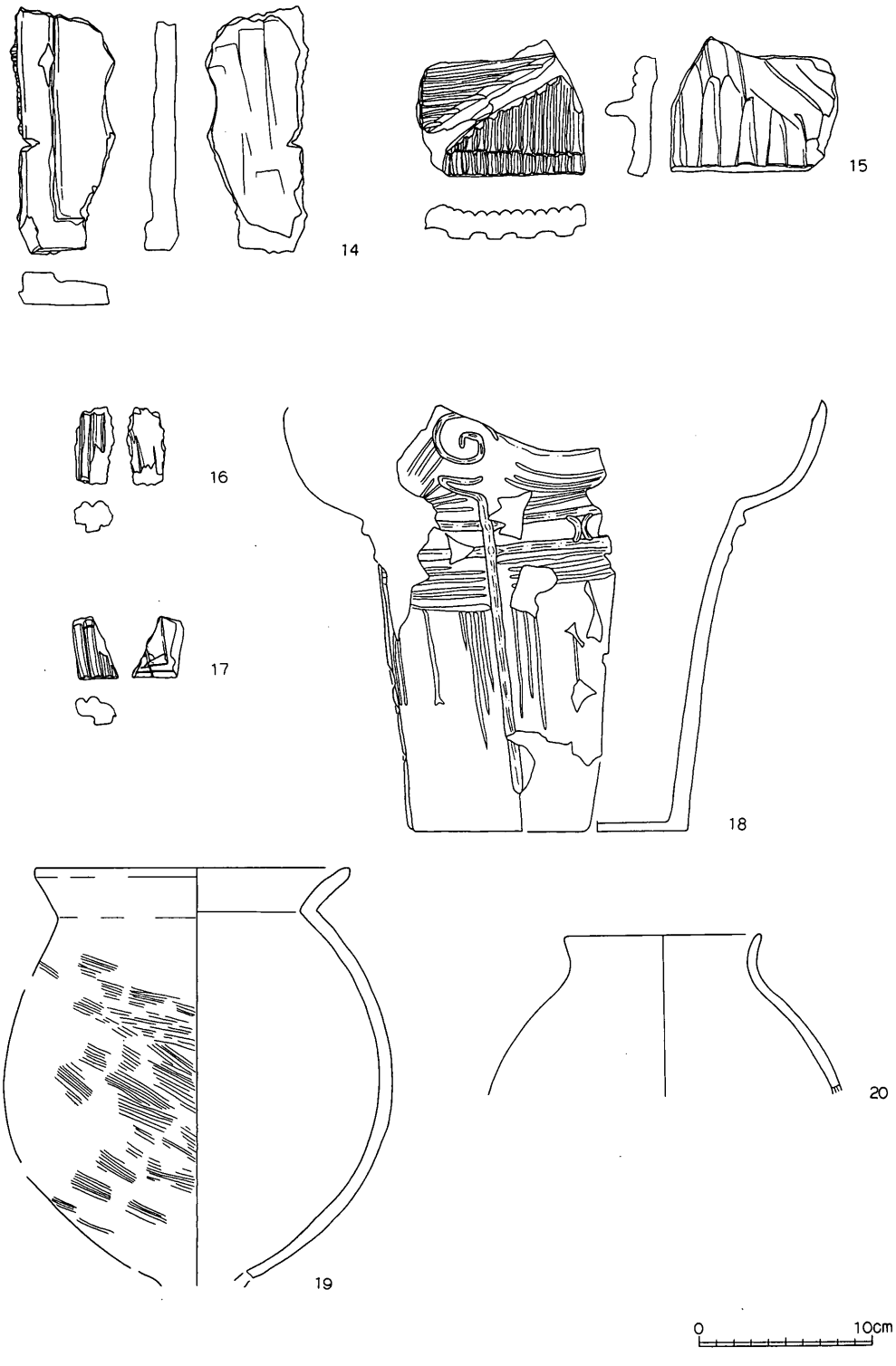
第３１７図　Ｂ－４０５号土坑出土遺物実測図



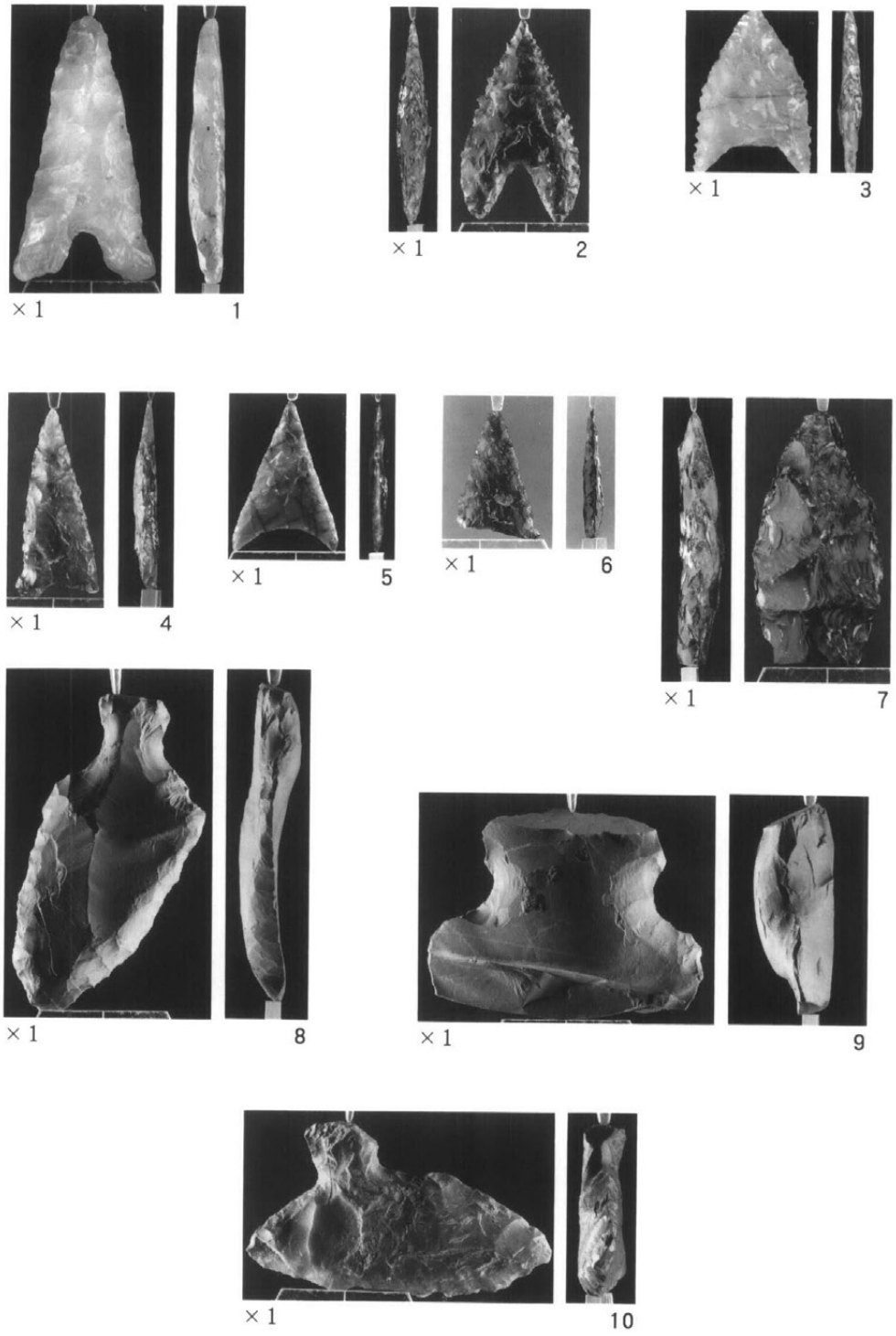
第３１８図　ピット出土遺物実測図



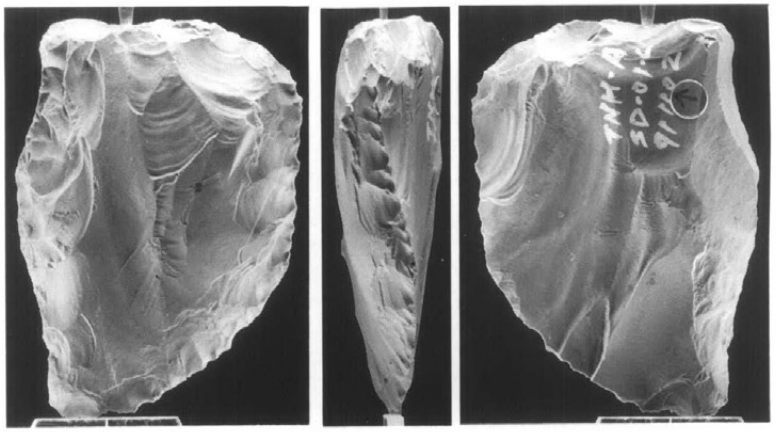
第３１９－１図　グリット出土遺物実測図



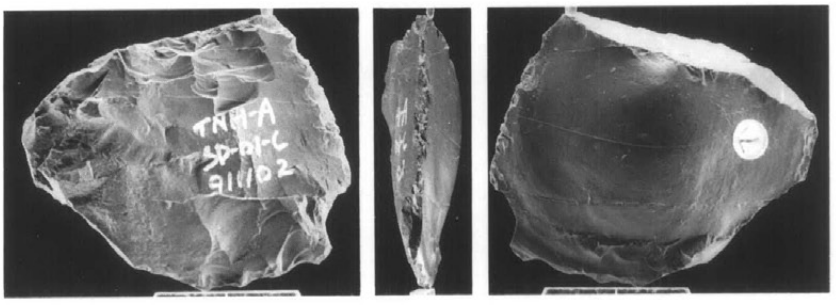
第３１９－２図　グリット出土遺物実測図



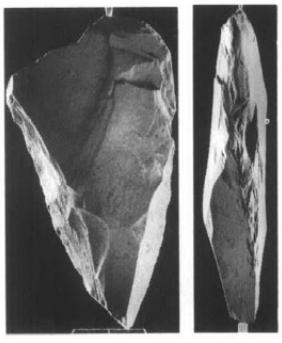
図版1　出土石器（石鏃・石匙等）



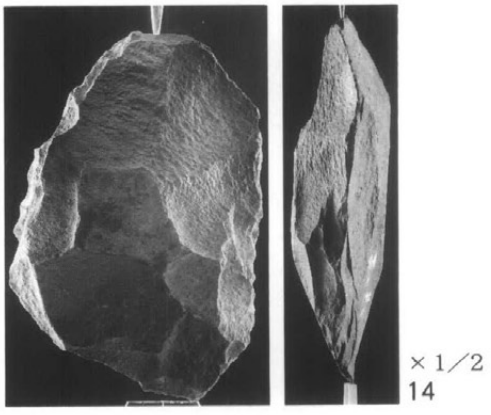
×1
11



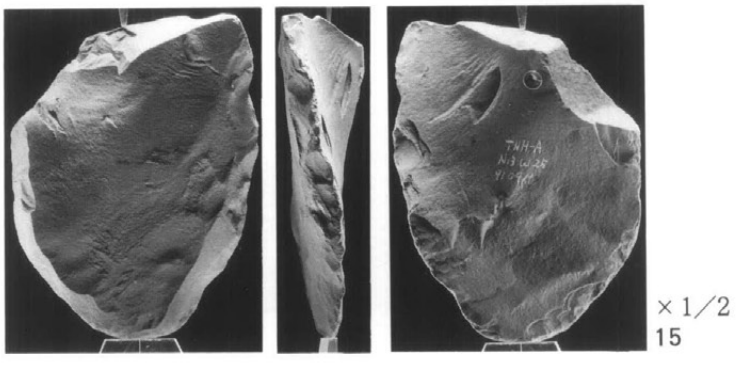
×1
12



×1／2
13

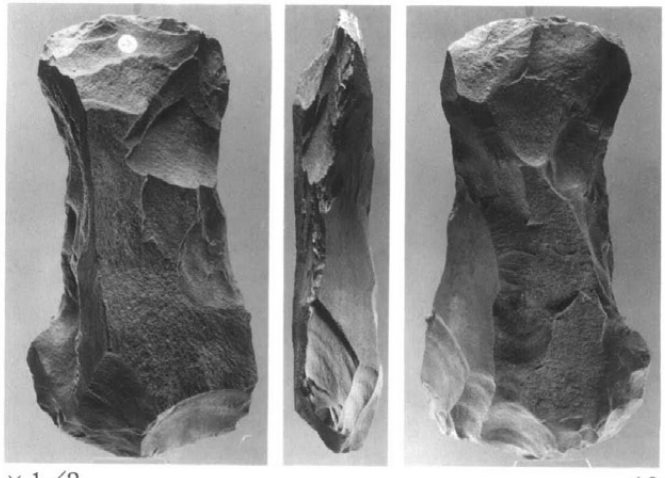


×1／2
14

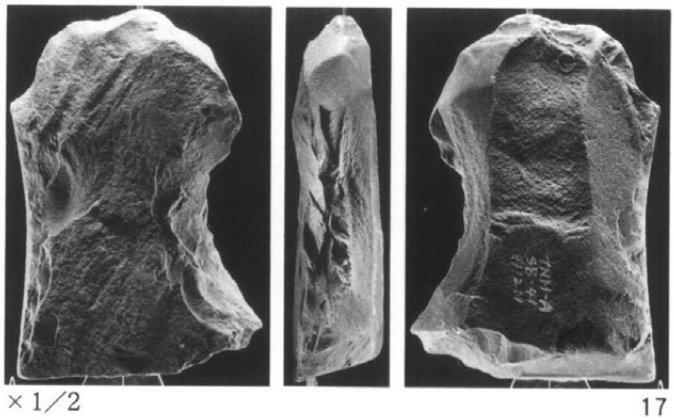


×1／2
15

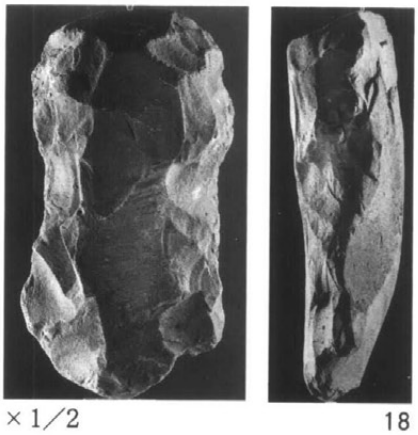
図版2　出土石器（スクレイパー・周刃石器）



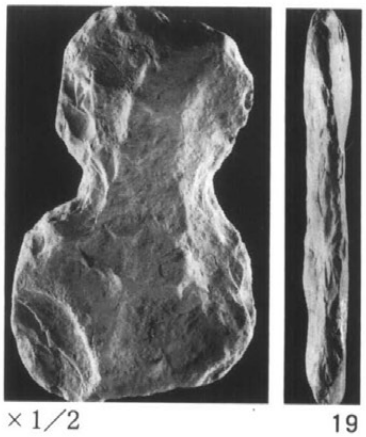
× 1／2　　16



× 1／2　　17

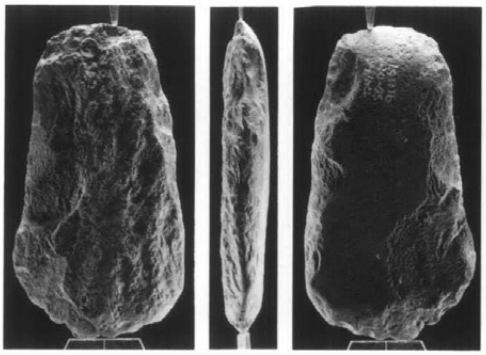


× 1／2　　18

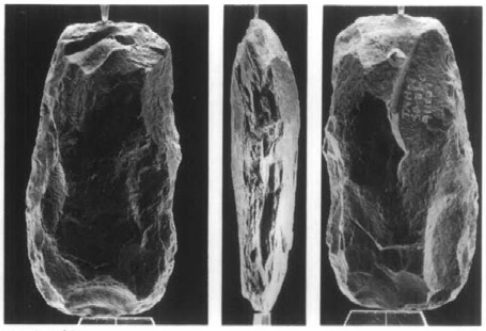


× 1／2　　19

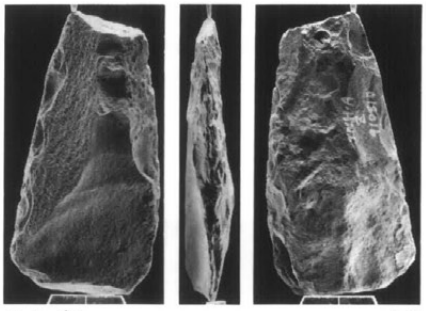
図版３　出土石器（打製石斧）



× 1／2　31

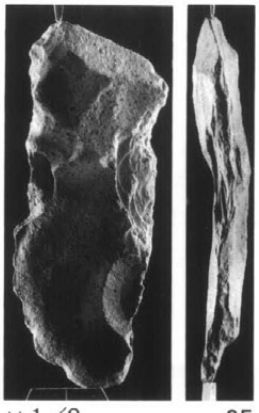


× 1／2　32

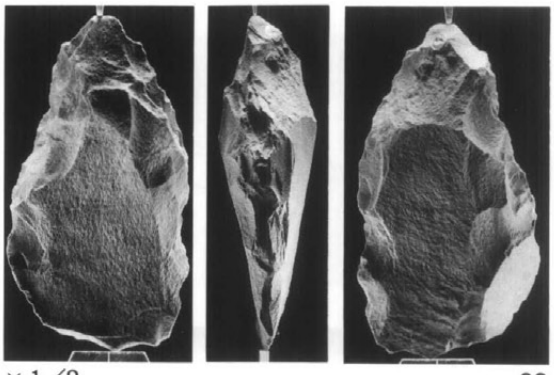


× 1／2　33

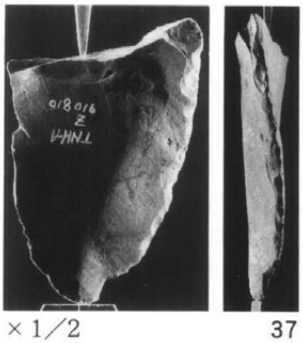
× 1／2　34



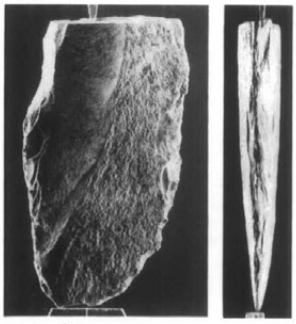
× 1／2　35



× 1／2　36

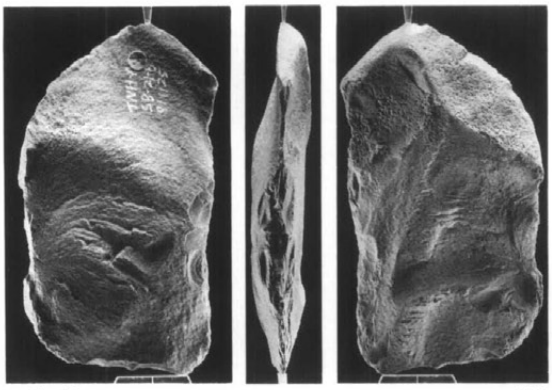


× 1／2　37

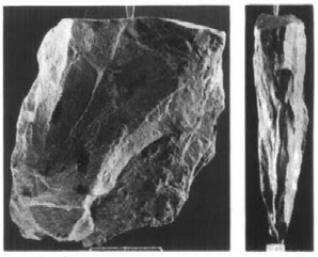


× 1／2　38

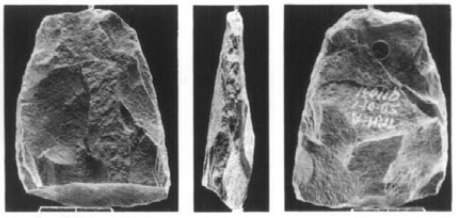
図版6　出土石器（打製石斧）



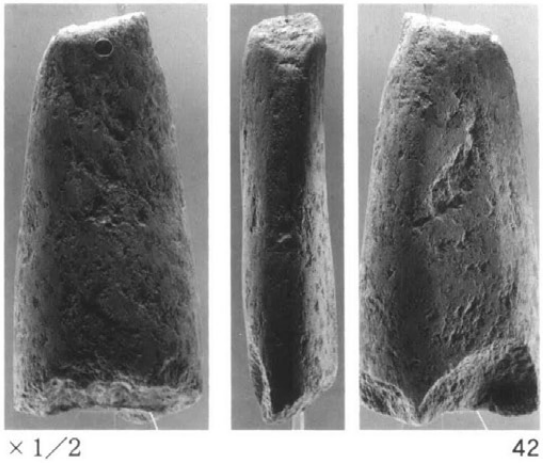
× 1／2　　39



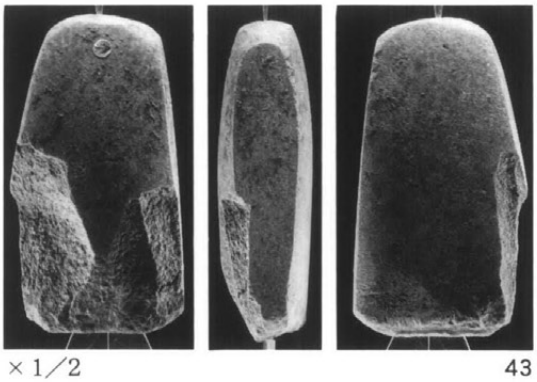
× 1／2　　40



× 1／2　　41

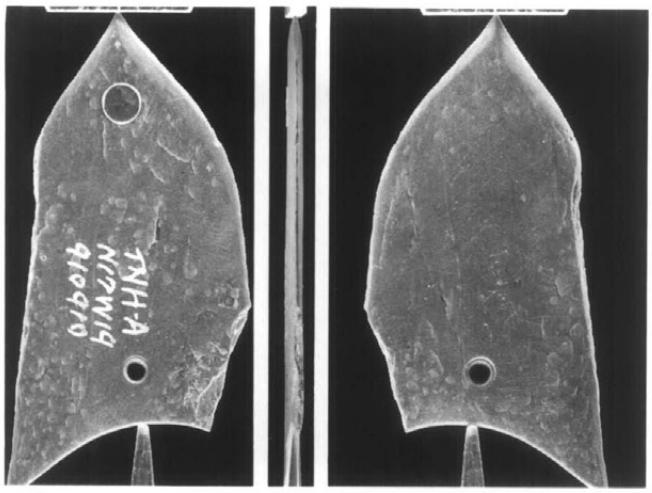


× 1／2　　42

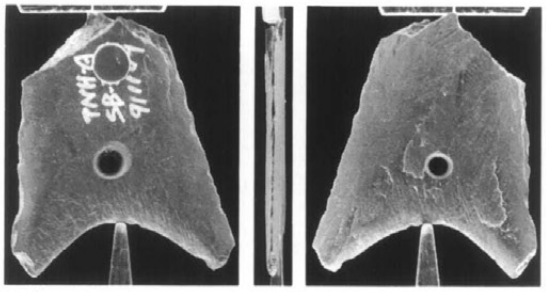


× 1／2　　43

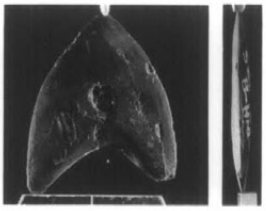
図版7　出土石器（打製石斧・磨製石斧）



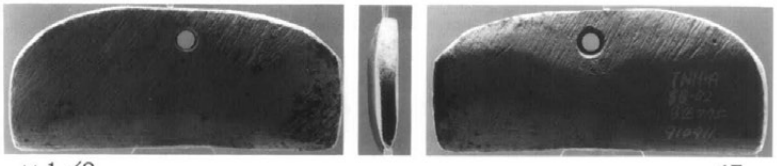
× 1　　44



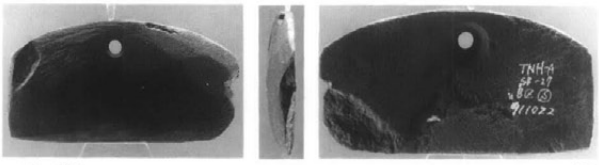
× 1　　45



× 1　　46

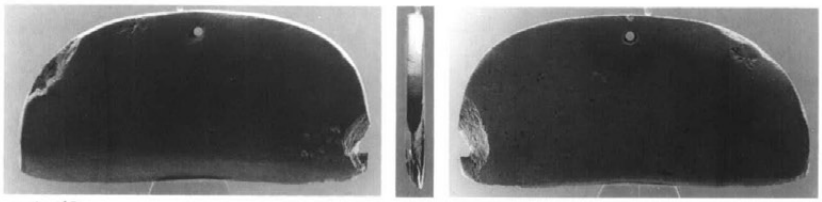


× 1／2　　47

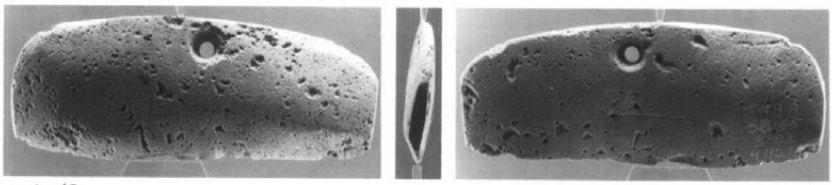


× 1／2　　48

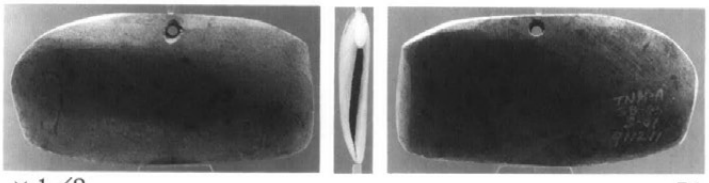
図版8　出土石器（石製石鏃・石製石庖丁）



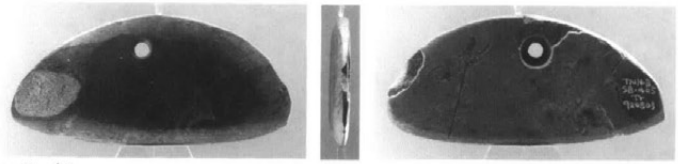
× 1／2　　49



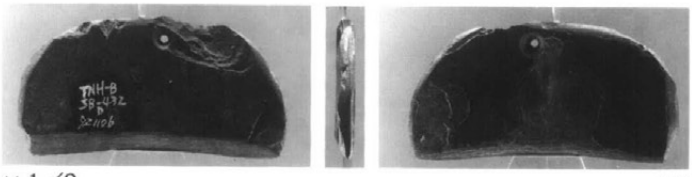
× 1／2　　50



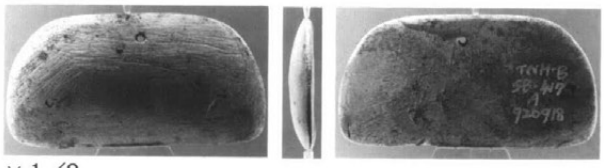
× 1／2　　51



× 1／2　　52

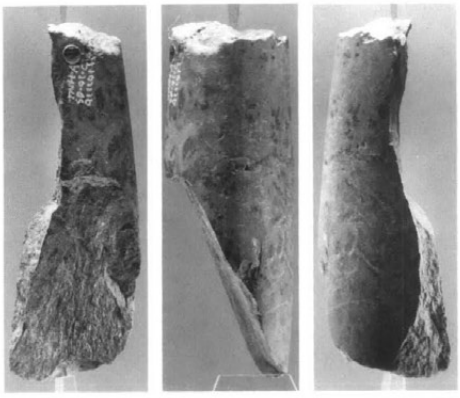


× 1／2　　53

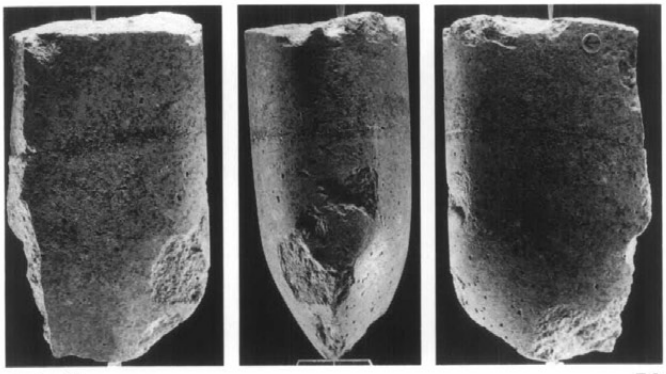


× 1／2　　54

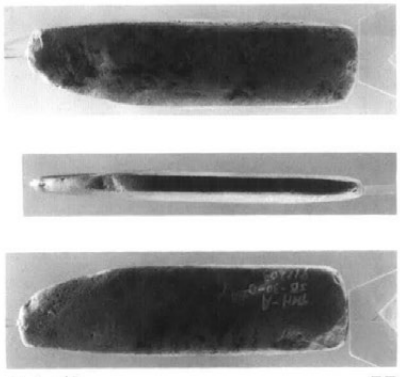
図版９　出土石器（磨製石庖丁）



× 1／2　　55

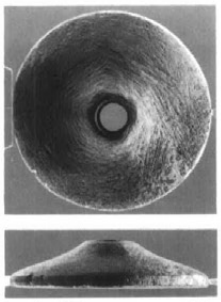


× 1／2　　56

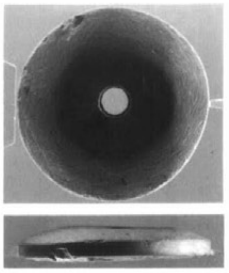


× 1／2　　57

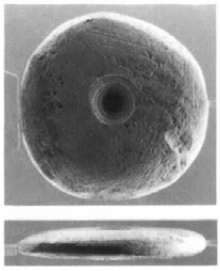
図版10　出土石器（磨製石斧・石ベラ状石器）



× 1／2　58



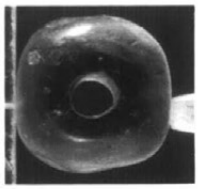
× 1／2　59

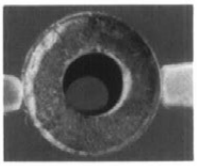


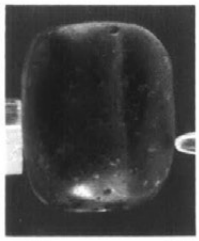
× 1／2　60

× 3　61

× 3　62







× 3　64

× 3　63

× 3　65

図版11　石製紡錘車・ガラス小玉・管玉

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－1号 住居址 第194図－1	高坏 土師	口径 残高 3.4 裾径 接合部のみ	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 2.5YR4/6赤褐		(外) (内) 坏部箆磨き 外内面赤色塗彩
A－1号 住居址 第194図－2	鉢 土師	口径 14.0 残高 5.3 底径 口縁部1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R4/4 赤 (内) 7.5R4/3 にぶい赤褐	口縁部は内弯する	(外) 横位の箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－1号 住居址 第194図－3	甕 弥生	口径 残高 8.1 底径 胴部7/8	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR4/5にぶい赤褐	胴部より外反する口縁部に至る 埋甕	(外) 2連止めの簾状文、波状文を施す 上から下へ施文する (内) 横位の箆磨き
A－1号 住居址 第194図－4	甕 弥生	口径 残高 8.7 底径 7.0 底部のみ	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	平底より大きく開いて立ち上がる	(外) 箆磨き (内) 撫で 外内面赤色塗彩
A－1号 住居址 第194図－5	壺 弥生	口径 29.0 残高 7.2 底径 口縁部1/12	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	口縁部は外反する	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－1号 住居址 第194図－6	壺 弥生	口径 残高 7.6 底径 8.6 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底より大きく開いて立ち上がる	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の刷毛調整の後撫で
A－1号 住居址 第194図－7	壺 土師	口径 残高 2.5 底径 12.0 底部1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	平底	(外) (内)
A－2号 住居址 第195図－1	高坏 弥生	口径 20.4 器高 5.1 裾径 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR6/3にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－2号 住居址 第195図－2	高坏 弥生	口径 11.3 残高 9.0 裾径 脚部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	脚部はラッパ状に開く	(外) 箆磨き (内) 撫で 外面赤色塗彩
A－2号 住居址 第195図－3	鉢 弥生	口径 11.3 器高 5.3 底径 4.6 1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より内弯ぎみの口縁に至る	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－2号 住居址 第195図－4	深鉢 弥生	口径 17.6 残高 11.5 底径 口縁から胴部一部	胎；雲母多く、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/3 赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	胴部は球形を呈し、口縁部は「コの字」状に外反する	(外) 横位の箆磨き (内) 箆削りの後横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－2号 住居址 第195図－5	甕 弥生	口径 11.2 残高 9.9 底径 胴部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	胴部はやや球形に張る	(外) 波状文を施す 上から下へ施文する (内) 横位の箆磨き
A－2号 住居址 第195図－6	甕 弥生	口径 15.6 器高 18.7 底径 8.8 胴一部から底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR5/6にぶい赤褐	平底より胴部はやや球形を呈して張る	(外) 簾状文、波状文を施す (内) 横位の箆削り
A－2号 住居址 第195図－7	甕 弥生	口径 残高 4.0 底径 6.6 胴一部から底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より内弯ぎみに立ち上がる	(外) (内) 撫で

第５３表　住居址出土遺物観察表（１）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－2号 住居址 第195図－8	甕 弥生	口径 残高 6.4 底径 5.4 胴-部から底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	底部より緩やかに立ち上がる 底部に孔部有り	(外) 横位の箆削りの後、縦位の箆磨き (内) 箆削り
A－3号 住居址 第196図－1	高坏 弥生	口径 残高 2.2 裾径 接合部1/2	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6暗赤 (内) 10R3/4暗赤		(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－3号 住居址 第196図－2	甕 弥生	口径 9.0 残高 8.7 底径 口縁部から胴1/2	胎；石英、雲母、細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	胴部で最大径を有し、口縁部で外反する	(外) 波状文を施す 上から下へ施文する (内) 横撫で
A－3号 住居址 第196図－3	甕 弥生	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙~3/1黒褐 (内) 7.5YR5/6明褐~3/3暗褐	口縁部で緩やかに外反する	(外) 波状文を施す (内)
A－3号 住居址 第196図－4	甕 弥生	口径 残高 3.7 底径 5.0 底部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR2/2黒褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より直線的に開く	(外) 縦位の磨き (内) 横位の箆削り
A－3号 住居址 第196図－5	甕 弥生	口径 残高 2.5 底径 12.0 底部 1/2	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/8赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底	(外) (内)
A－3号 住居址 第196図－6	甕 弥生	口径 残高 1.6 底径 5.0 底部 1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR3/3暗赤褐	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－4号 住居址 第197図－1	高坏 弥生	口径 32.0 残高 7.3 裾径 口縁部から体部1/4	胎；0.2の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4明赤褐 (内) 5YR6/6橙	体部は直立気味に開き、口縁部は大きく外反する	(外) 磨き (内) 撫で 外内面赤色塗彩
A－4号 住居址 第197図－2	鉢 弥生	口径 残高 6.0 底径 5.4 体部1/3から底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	粘土帯積み上げ 平底より直線的に開く	(外) (内)
A－4号 住居址 第197図－3	鉢 弥生	口径 9.0 器高 4.6 底径 4.0 完形	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底より開き、僅かに内弯する口縁に至る	(外) 箆削りの後横位の撫で (内) 箆削りの後横位の撫で 外内面赤色塗彩
A－4号 住居址 第197図－4	鉢 弥生	口径 7.8 器高 5.1 底径 3.2 口縁2/3から胴部	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より口縁部にかけ直線的に開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－4号 住居址 第197図－5	甕 弥生	口径 10.0 器高 13.3 底径 5.0 胴1/3 から底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底より直立気味に立ち上がり、僅かに内弯する口縁部に至る	(外) 簾状文と波状文を施す 胴部下位縦位の箆磨き (内) 横位の箆削り
A－4号 住居址 第197図－6	甕 弥生	口径 17.4 残高 9.8 底径 口縁部1/6	胎；礫、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR6/8橙	粘土帯積み上げ 頸部で僅かに外反し、口唇部で僅かに内弯する	(外) 波状文と頸部に簾状文を施す (内) 横位の箆磨き
A－4号 住居址 第197図－7	甕 弥生	口径 13.0 残高 9.7 底径 口縁部のみ	胎；0.2の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐	緩やかに外反する頸部より直立気味に小さく開き、やや内弯する口縁部に至る	(外) 波状文を施す 上から下へ施文する (内) 撫で

第５４表　住居址出土遺物観察表（２）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－4号 住居址 第197図－8	甕 弥生	口径 14.4 残高 5.7 底径 口縁部 1/4	胎；0.2の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	粘土帯積み上げ 緩く外反し口唇部で僅かに内弯する	(外) 頸部に簾状文を施す (内) 撫で
A－4号 住居址 第197図－9	甕 弥生	口径 残高 2.2 底径 7.4 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 7.5YR7/8黄橙	平底	(外) 箆削り (内) 撫で
A－4号 住居址 第197図－10	甕 弥生	口径 残高 2.0 底径 3.6 底部 2/3	胎；0.2の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－4号 住居址 第197図－11	甕 弥生	口径 残高 1.8 底径 5.4 底部のみ	胎；0.4の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 箆削り (内) 撫で
A－5号 住居址 第198図－1	甕 弥生	口径 残高 12.6 底径 胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐		(外) 波状文を施す (内) 横位の箆削り
A－5号 住居址 第198図－2	甕 土師	口径 残高 2.5 底径 8.0 底部 1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR6/6橙	粘土帯積み上げ 平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－5号 住居址 第198図－3	甕 土師	口径 残高 5.4 底径 5.6 底部 1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/8明褐	粘土帯積み上げ 平底	(外) 縦位の箆削り (内) 箆削りの後撫で
A－6号 住居址 第199図－1	高坏 弥生	口径 残高 7.0 裾径 接合部体部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6暗赤褐 (内) 2.5YR3/6暗赤褐	接合部より直線的に広がる	(外) 撫での後縦位の磨き (内) 撫での後磨き 外内面赤色塗彩
A－6号 住居址 第199図－2	壺 弥生	口径 28.6 残高 6.3 底径 口縁部1/6	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐 (内) 2.5YR4/8赤褐	口縁部は大きく外反する	(外) 口縁部横撫で (内) 横撫で 外内面赤色塗彩
A－6号 住居址 第199図－3	壺 弥生	口径 32.2 残高 5.6 底径 口縁部2/5	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/8明赤褐	口縁部は大きく外反する	(外) 箆磨き (内) 横撫で、横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－7号 住居址 第200図－1	坏 須恵	口径 9.6 器高 3.0 底径 6.5 完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/1 灰 (内) 10YR6/1 灰	平底ぎみの丸底より、強い稜を経て内傾する口縁に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
A－7号 住居址 第200図－2	高坏 土師	口径 残高 7.9 裾径 9.7 脚部のみ	胎；0.2の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR8/3 浅黄橙 (内) 10YR4/1 褐灰	脚部外反し裾部で大きく開く	(外) 撫で (内) 撫で
A－7号 住居址 第200図－3	甕 土師	口径 17.4 残高 6.1 底径 口縁部2/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	口縁部「くの字」状に外反する	(外) 口縁部横撫で、胴部横位の箆削り (内)
A－8号 住居址 第201図－1	坏 弥生	口径 13.8 残高 5.0 底径 口縁部1/6	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR6/8橙	内弯して開き口縁部でさらに内弯する	(外) 箆磨き (内) 横位の刷毛調整 外内面赤色塗彩

第55表　住居址出土遺物観察表（3）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－8号 住居址 第201図－2	高坏 弥生	口径 28.8 残高 6.1 裾径 口縁部1/6	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6暗赤褐 (内) 2.5YR3/6暗赤褐	口縁部は僅かに外反する	(外) 縦位の磨き (内) 横撫で 外内面赤色塗彩
A－8号 住居址 第201図－3	高坏 弥生	口径 23.7 残高 5.7 裾径 口縁一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐 (内) 2.5YR4/8赤褐	胴部上位で強い稜を持ち、口縁で「くの字」状に外反する	(外) 横撫で (内) 横撫で 外内面赤色塗彩
A－8号 住居址 第201図－4	甕 弥生	口径 12.2 器高 14.0 底径 4.5 口縁部1/2から底	胎；0.2 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/4暗赤褐～ 3/1黒褐 (内) 5YR5/6明赤褐	底部より直線的に広がり、胴部上位で内弯する 口縁部は外反し、口唇部で直立する	(外) 胴部下位縦の削り１連止めの簾状文の後波状文を施す 下から上へ施文する (内) 横位の箆削り
A－8号 住居址 第201図－5	甕 弥生	口径 32.3 残高 10.1 底径 口縁部1/4	胎；0.2 の礫、粗砂粒を多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐～ 2/1黒褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す 下から上へ施文する (内) 横撫での後横位の箆削り
A－8号 住居址 第201図－6	甕 弥生	口径 残高 3.1 底径 7.8 底部1/3	胎；0.2 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐～ 3/6暗赤褐 (内) 5YR4/6赤褐	平底	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆削りの後箆磨き
A－8号 住居址 第201図－7	甕 弥生	口径 残高 2.9 底径 5.6 底部のみ	胎；0.4 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底	(外) 箆削り、撫で (内) 箆削り、撫で
A－8号 住居址 第201図－8	甕 弥生	口径 残高 3.6 底径 4.4 底部のみ	胎；0.2 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/8 明黄褐 (内) 10YR2/2 黒褐	平底	(外) 箆削り、撫で (内) 箆削り、撫で
A－8号 住居址 第201図－9	甕 弥生	口径 残高 2.7 底径 3.2 底部1/2	胎；0.2 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－8号 住居址 第201図－10	壺 弥生	口径 27.4 残高 2.9 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒を多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) 横撫で (内) 横撫で 外面赤色塗彩
A－9号 住居址 第202図－1	坏 弥生	口径 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部に孔を有す	(外) (内)
A－9号 住居址 第202図－2	高坏 弥生	口径 残高 15.5 裾径 20.2 脚部から脚部1/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8赤 (内) 5YR6/4にぶい橙	脚部ラッパ状を呈し、裾部で大きく開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 刷毛調整の後撫で 外面赤色塗彩
A－9号 住居址 第202図－3	甕 弥生	口径 19.6 残高 20.5 底径 口縁1/3から胴部	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/8橙	張りのある胴部より、緩やかに反りながら窄まり外反する口縁に至る 口唇部は受口状を呈する	(外) 簾状文の後波状文を施す 下から上へ施文する (内)
A－9号 住居址 第202図－4	壺 弥生	口径 残高 3.0 底径 4.4 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－9号 住居址 第202図－5	壺 弥生	口径 残高 10.6 底径 頸部から胴部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/8橙	頸部弓状に外反する	(外) 頸部にT字文を施す (内) 箆削り

第５６表　住居址出土遺物観察表（４）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－9号 住居址 第202図－6	壺 弥生	口径 残高 16.4 底径 頸部から胴部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/8橙	胴部はイチジク形を呈する	(外) 刷毛調整の後、頸部にT字文を施す (内) 斜位の刷毛調整を施す 外面赤色塗彩
A－9号 住居址 第202図－7	壺 弥生	口径 残高 24.5 底径 胴部一部	胎；雲母、粗砂粒を多量に含む 焼；良好 色；(外) 10R5/8赤 (内) 5YR6/2灰褐	胴部はイチジク形を呈する ボタン状の突起がある 粘土帯積み上げ	(外) 頸部にT字文を施す (内) 撫で 外面赤色塗彩
A－10号 住居址 第203図－1	坏 須恵	口径 器高 4.2 底径 6.7 完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) N5/ 灰 (内) N5/ 灰	平底気味の丸底より、強い稜をへて内傾する口縁に至る 大きくゆがむ	(外) 轆轤による撫で、底部箆削り (内) 轆轤による撫で
A－10号 住居址 第203図－2	坏 土師	口径 8.0 残高 5.6 底径 口縁1/3から体部	胎；0.3 の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	丸底より立ち上がり緩く稜を持ち、口縁は外反する	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－10号 住居址 第203図－3	甑 土師	口径 残高 2.4 底径 4.8 孔部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい橙 (内) 7.5YR6/6橙	底に1孔を穿つ	(外) (内)
A－10号 住居址 第203図－4	甑 土師	口径 残高 15.2 底径 10.6 口縁一部から胴部一部	胎；0.4 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	粘土帯積み上げ	(外) 口縁部横撫で (内) 口縁部横撫で
A－11号 住居址 第204図－1	高坏 弥生	口径 29.0 残高 9.8 裾径 坏部1/2	胎；雲母、礫、粗砂粒を多量に含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/6 赤 (内) 10YR5/6 赤	坏部は丸みを持ち鋭い稜を経て、大きく外反する口縁に至る	(外) 横位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－11号 住居址 第204図－2	甕 弥生	口径 17.2 残高 21.8 口縁から体部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5R6/6 橙 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	粘土帯積み上げ 胴部は中央に最大径をもち口縁部は「くの字」状に外反する	(外) 刷毛調整の後2連止めの簾状文の後波状文を施す (内) 横位の刷毛調整
A－11号 住居址 第204図－3	壺 弥生	口径 24.6 残高 28.6 底径 口縁部1/4から頸部	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部大きく朝顔状に開く	(外) T字文を施す (内)
A－11号 住居址 第204図－4	甑 土師	口径 残高 7.1 底径 胴部一部から底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.6YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/6明褐	底部に1孔を穿つ	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－12号 住居址 第205図－1	坏 土師	口径 12.6 残高 4.5 底径 口縁部から体部1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/2 にぶい黄橙 (内) 10YR7/2 にぶい黄橙	丸底より立ち上がり稜を経て僅かに外反する口縁に至る	(外) 口縁部横撫で (内) 口縁部横撫で、箆削りの後箆磨き
A－12号 住居址 第205図－2	坏 土師	口径 10.8 器高 3.7 底径 口縁部から底部1/4	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 黒	丸底より内弯して立ち上がり口縁部は内弯する	(外) 撫で (内) 箆磨き　黒色処理
A－12号 住居址 第205図－3	甕 土師	口径 16.6 残高 6.5 底径 口縁部1/5	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/2灰白色 (内) 7.5YR8/2灰白色	口縁部は緩く外反する	(外) 口縁部横撫で、横位の箆削り (内) 口縁部横撫で
A－12号 住居址 第205図－4	甕 土師	口径 23.2 残高 5.0 底径 口縁部1/6	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	口縁部は緩く外反する	(外) 口縁部横撫で (内) 口縁部横撫で

第５７表　住居址出土遺物観察表（５）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－12号 住居址 第205図－5	甕 土師	口径 残高 2.8 底径 5.6 底部1/3	胎；礫、石英、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR4/3褐	僅かに上げ底の底部	(外) 底部に木の葉模様の痕有り (内)
A－12号 住居址 第205図－6	甕 土師	口径 残高 2.8 底径 12.7 底部3/4	胎；0.5の礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 7.5YR4/3褐	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－12号 住居址 第205図－7	碗 土師	口径 12.5 器高 6.3 底径 7.0 完形	胎；0.3の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より口縁部に向かって開く	(外) 撫で (内) 箆削りの後箆磨き
A－13号 住居址 第206図－1	鉢 弥生	口径 24.0 残高 9.1 底径 口縁部1/6	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/4淡赤橙 (内) 10R3/6暗赤	口縁部は内弯する	(外) (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－13号 住居址 第206図－2	高台 付甕 弥生	口径 残高 8.2 底径 高台一部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/4淡赤橙 (内) 2.5YR7/4淡赤橙	ラッパ状に広がる	(外) (内) 杯部内面脚部外面赤色塗彩
A－13号 住居址 第206図－3	甕 弥生	口径 19.8 残高 6.1 底径 口縁一部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR7/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す (内)
A－13号 住居址 第206図－4	甕 弥生	口径 15.0 残高 5.0 底径 口縁一部	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/8赤 (内) 2.5YR6/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す (内)
A－13号 住居址 第206図－5	深鉢 弥生	口径 13.9 残高 7.0 底径 口縁胴部-底	胎；雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/8赤 (内) 2.5YR6/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外面赤色塗彩
A－13号 住居址 第206図－6	壺 弥生	口径 21.7 器高 46.3 底径 10.0 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	平底より立ち上がり、胴部は下位に外稜を有し上位は張る 口縁部は外反して開く	(外) 頸部に櫛描長線文を施す (内)
A－14号 住居址 第207図－1	高坏 土師	口径 15.4 器高 10.3 裾径 8.7 ほぼ完形	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/1灰 (内) 5YR6/1灰	坏部は接合部より内面ににぶい稜を経て、外反する口縁部に至る　脚部は接合部より大きく開く	(外) (内)
A－14号 住居址 第207図－2	甕 土師	口径 残高 7.0 底径 6.8 胴-底から底部	胎；礫、雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 7.5YR4/2灰褐	粘土帯積み上げ 平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－14号 住居址 第207図－3	甕 土師	口径 22.3 器高 29.3 底径 8.0 ほぼ完形	胎；礫、雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	座りの悪い底部から球形を呈する胴部に至る、口縁部は外反する	(外) (内)
A－14号 住居址 第207図－4	壺 須恵	口径 残高 6.3 底径 胴から底部1/2	胎；礫、細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10BG6/1 青灰 (内) 10BG6/1 青灰	轆轤成形 丸底　胴部はやや肩の張った球形を呈する	(外) 轆轤による撫で、底部手持ち箆削り (内) 轆轤による撫で、底部箆削り
A－15号 住居址 第208図－1	坏 土師	口径 15.2 器高 4.8 底径 口縁3/4	胎；0.2 礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/5浅黄橙 (内) 7.5YR8/4浅黄橙	丸底より内弯して立ち上がり口縁部に至る	(外) 箆削り (内)

第58表　住居址出土遺物観察表（6）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－15号 住居址 第208図－2	甕 土師	口径 残高 4.8 底径 3.9 底部のみ	胎；0.2の礫、石英多量に含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/3 にぶい黄褐 (内) 10YR4/3 にぶい黄褐	平底	(外) (内)
A－15号 住居址 第208図－3	甕 土師	口径 残高 2.6 底径 5.1 底部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	平底	(外) 箆削りの後撫で (内) 箆削り
A－15号 住居址 第208図－4	壺 土師	口径 13.6 残高 5.0 底径 口縁部1/6	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 口縁部横撫で (内) 口縁部横撫で
A－16号 住居址 第209図－1	蓋 須恵	抓み径 残高 3.1 裾径 12.6 口縁一部	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) N6/ 灰 (内) N6/ 灰	轆轤成形	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
A－16号 住居址 第209図－2	坏 土師	口径 11.2 器高 3.1 底径 5.5 口縁部から体部1/2	胎；石英、0.4の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底ぎみの丸底より直立する口縁に至る	(外) 口縁部横撫で (内) 口縁部横撫で
A－16号 住居址 第209図－3	坏 土師	口径 残高 2.6 底径 7.6 体部一部から底部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) N3/1暗灰 (内) 7.5YR6/6橙	稜を有して外傾する口縁に至る	(外) 箆削りの後横位の箆磨き (内) 箆磨き
A－16号 住居址 第209図－4	坏 土師	口径 15.1 残高 3.0 底径 口縁部一部	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/4浅黄橙 (内) 黒		(外) 斜位の削り (内) 横位の箆磨き、黒色処理
A－16号 住居址 第209図－5	高坏 土師	口径 残高 6.3 裾径 体部一部から脚部	胎；0.5の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 黒		(外) (内) 脚部箆磨き、黒色処理
A－16号 住居址 第209図－6	高坏 土師	口径 残高 6.7 裾径 脚部一部	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 黒		(外) 脚部縦位の箆削り (内) 坏部箆磨き、脚部箆削り、黒色処理
A－16号 住居址 第209図－7	高坏 土師	口径 残高 5.5 裾径 接合部から脚部	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4 にぶい橙 (内) 7.5YR7/6橙		(外) (内)
A－16号 住居址 第209図－8	鉢 土師	口径 22.4 器高 11.5 底径 1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/8橙 (内) 黒	平底より内弯しながら立ち上がり、外反する口縁部に至る	(外) 横位の撫で (内) 横位の撫での後箆磨き黒色処理
A－16号 住居址 第209図－9	甕 土師	口径 17.2 残高 21.6 底径 口縁部3/8から胴部	胎；0.2の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐~2.5YR5/6明赤褐色 (内) 5YR5/6明赤褐	張りのない胴部より、外反して口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、胴部縦位の箆削り (内) 胴部横位の箆削り
A－16号 住居址 第209図－10	甕 土師	口径 残高 3.5 底径 8.8 底部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 縦位の箆削り、底部箆切り (内) 撫で
A－16号 住居址 第209図－11	甕 土師	口径 残高 5.0 底径 4.9 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6暗赤褐 (内) 2.5YR3/6暗赤褐	底部歪みがある	(外) (内) 箆削り

第59表　住居址出土遺物観察表（7）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－16号 住居址 第209図－12	甕 ？	口径 残高 5.0 底径 5.4 底部1/2	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	平底	(外) 底部に木葉痕がある (内)
A－16号 住居址 第209図－13	壺 須恵	口径 16.0 残高 9.8 底径 口縁から胴部上1/5	胎；0.4 の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) N5/ 灰 (内) N5/ 灰	轆轤成形 口縁部は直立して僅かに外傾する	(外) 横位の撫で (内) 横位の撫で
A－16号 住居址 第209図－14	甑 土師	口径 残高 4.1 底径 6.4 底部1/3	胎；0.4 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/4浅黄橙~5YR1.7/1黒 (内) 7.5YR8/2灰白~5YR1.7/1黒	底部に1孔を穿つ	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－17号 住居址 第210図－1	杯 土師	口径 12.6 器高 2.9 底径 口縁から体部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 黒	浅い丸底から鈍い作りの稜を経て、内弯気味に開く口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、体部箆削り (内) 箆磨き、黒色処理
A－17号 住居址 第210図－2	甕？ 土師	口径 残高 1.8 底径 7.4 底部1/2	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR7/6橙	平底	(外) (内)
A－17号 住居址 第210図－3	甕 土師	口径 残高 4.0 底径 底部のみ	胎；0.2 の礫多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/8橙 (内) 7.5YR6/6橙	丸底ぎみの平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－18号 住居址 第211図－1	杯 土師	口径 13.0 器高 5.0 底径 口縁体1/4底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 10YR8/4 浅黄橙	半球形の体部から口縁部は屈曲外反する	(外) 口縁部横撫で、体部箆削りの後箆磨き (内) 口縁部横撫で、体部箆削りの後箆磨き
A－18号 住居址 第211図－2	杯 土師	口径 14.6 器高 3.9 底径 口縁部1/4	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR7/6橙	浅い丸底から屈曲して稜をなし、長く外傾する口縁部に至る	(外) (内)
A－18号 住居址 第211図－3	甕 土師	口径 14.0 器高 底径 6.0 口縁~部底部	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底 口縁部は外反する	(外) (内) 底部箆削りの後箆磨き
A－18号 住居址 第211図－4	甕 土師	口径 残高 7.0 底径 6.0 胴部~部底部	胎；礫多量に含む、雲母 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/4明赤褐 (内) 2.5YR4/4にぶい赤褐	粘土帯積み上げ 平底	(外) 底部に木葉痕を付ける (内)
A－18号 住居址 第211図－5	甕 土師	口径 16.2 器高 22.0 底径 口縁胴~部底部	胎；礫多量に含む、雲母 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 丸底気味の底部より立ち上がり、張りの無い胴部より外反する口縁部に至る	(外) 箆削り (内)
A－18号 住居址 第211図－6	甑 土師	口径 残高 2.0 底径 5.0 底部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	平底に1孔を穿つ	(外) 箆削り (内)
A－19号 住居址 第212図－1	甕 土師	口径 16.1 残高 26.7 底径 口縁~部胴部1/2	胎；雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/6褐~6/6 橙 (内) 7.5YR5/8明褐	胴部は張りがなく口縁部は緩やかな「くの字」状に外反する	(外) 縦位の箆削り (内) 横位の撫で
A－19号 住居址 第212図－2	甕 土師	口径 残高 10.3 底径 4.2 胴下位1/2底部	胎；0.5 の礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/8明褐 (内) 7.5YR5/6明褐	底部より立ち上がり胴部は丸みを持つ	(外) 箆削り (内) 箆削り

第60表　住居址出土遺物観察表（8）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－20号 住居址 第213図－1	甕 土師	口径 23.2 残高 8.2 底径 口縁部1/2強	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	緩やかな胴部より外反する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、胴部横位の箆削り (内) 竈
A－20号 住居址 第213図－2	甕 土師	口径 残高 2.0 底径 5.1 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 7.5YR6/4にぶい褐	僅かに上げ底の底部	(外) 底部に箆切りによる紋有り (内) 底部箆削り
A－21号 住居址 第214図－1	高坏 弥生	口径 25.4 残高 9.9 裾径 坏部3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/8 赤 (内) 10YR4/8 赤	坏部は僅かに内弯しつつ直線的に開き、外反する口縁部に至る　口唇部に山形突起を有する	(外内)口縁部横位の箆磨き 体部縦位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－21号 住居址 第214図－2	高坏 弥生	口径 残高 4.0 裾径 坏部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/8明赤褐	坏部は接合部から丸みを持って立ち上がる	(外) 坏部縦位の箆磨き (内)
A－21号 住居址 第214図－3	高坏 弥生	口径 残高 5.1 裾径 接合部から胴部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R3/1明赤灰	脚部緩やかに外反しながら開く	(外) 脚部縦位の箆磨き (内) 横位の撫で、箆削り
A－21号 住居址 第214図－4	高坏 弥生	口径 残高 4.7 裾径 接合部から胴部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	脚部は直線的に開く	(外) 横位の撫で (内) 刷毛調整の後箆削り
A－21号 住居址 第214図－5	高坏 弥生	口径 残高 2.3 裾径 接合部から胴部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR6/6橙		(外) 撫で (内) 坏部箆磨き、脚部撫で
A－21号 住居址 第214図－6	高坏 弥生	口径 残高 5.4 裾径 8.0 接合部から胴部	胎；雲母、金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 5YR6/6橙	脚部は直線的に開き貫通孔を有する	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の撫で 外内面赤色塗彩
A－21号 住居址 第214図－7	高坏 弥生	口径 残高 3.8 裾径 坏部から接合部	胎；雲母、金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	坏部は接合部から丸みを持って立ち上がる	(外) 縦位の箆磨き 坏部外内面赤色塗彩 脚部外面赤色塗彩
A－21号 住居址 第214図－8	甕 弥生	口径 16.0 残高 9.0 底径 口縁1/4から胴一部	胎；金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部僅かに「くの字」状に外反する	(外) 2連止めの簾状文の後波状文を施す 下から上へ施文する (内) 横位の箆削り
A－21号 住居址 第214図－9	甕 弥生	口径 15.0 残高 6.5 底径 口縁部1/2	胎；金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	粘土帯積み上げ 口縁部は外反する	(外) 2連止めの簾状文の後波状文を施す 上から下へ施文する (内) 横位の箆削り
A－21号 住居址 第214図－10	甕 弥生	口径 残高 4.4 底径 13.8 底部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 2.5YR5/8明赤褐	平底より立ち上がる	(外) 横位の箆削り (内) 撫での後箆削り
A－21号 住居址 第214図－11	甕 土師	口径 残高 3.5 底径 9.4 底部2/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がる	(外) 箆削り (内) 撫で
A－21号 住居址 第214図－12	甕 土師	口径 残高 4.2 底径 7.6 底部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/8明赤褐	平底より立ち上がる	(外) 縦位の箆削り (内) 箆削り

第61表　住居址出土遺物観察表（9）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－21号 住居址 第214図－13	甕 土師	口径 残高 1.5 底径 6.0 底部のみ	胎；金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/8赤褐 (内) 7.5YR5/6明褐	平底	(外) 縦位の箆削り (内) 箆削り
A－21号 住居址 第214図－14	甕 土師	口径 残高 2.1 底径 5.2 底部のみ	胎；金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/8明褐	平底	(外) 縦位の箆削り (内) 箆削り
A－21号 住居址 第214図－15	甕 土師	口径 残高 1.2 底径 6.0 底部のみ	胎；金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－21号 住居址 第214図－16	甕 弥生	口径 残高 3.4 底径 5.4 底部2/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/6 赤 (内) 10YR4/6 赤	粘土帯積み上げ 平底	(外) 箆削りの後縦位の箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－21号 住居址 第214図－17	甕 弥生	口径 残高 2.3 底径 5.2 底部のみ	胎；金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底	(外) (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－21号 住居址 第214図－18	壺 弥生	口径 34.6 残高 12.0 底径 口縁1/8弱部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	口縁部は大きく朝顔状に開く	(外) 刷毛調整の後丁字文を施す (内) 横位の刷毛調整 外内面赤色塗彩
A－21号 住居址 第214図－19	甑 土師	口径 残高 5.9 底径 6.0 胴底部一部	胎；金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	底に1孔を穿つ	(外) 縦位の箆削り (内) 横位の箆削り
A－22号 住居址 第215図－1	甕 弥生	口径 12.5 器高 14.5 底径 4.8 2/3	胎；0.3の礫，石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 10YR4/1 褐灰	平底より内弯しながら立ち上がり口縁部僅かに「くの字」状に外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す 下から上へ施文する (内) 横位の箆削り
A－22号 住居址 第215図－2	甑 弥生	口径 16.4 器高 13.7 底径 5.4 胴部-部底部	胎；石英、雲母、粗砂含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	底部より内弯しながら開く 底部に1孔有り	(外) 刷毛調整 (内) 横位の刷毛調整の後箆磨き
A－23号 住居址 第216図－1	坏 土師	口径 12.7 器高 4.0 底径 4.2 口縁1/2/3欠	胎；0.3の礫、雲母，粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	平底より内弯して開き口縁で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住居址 第216図－2	坏 土師	口径 12.6 器高 3.7 底径 4.9 ほぼ完形	胎；0.3の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR8/4浅黄橙	平底より内弯して開き口縁で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
A－23号 住居址 第216図－3	坏 土師	口径 12.6 器高 3.7 底径 4.8 口縁1/4欠	胎；0.2の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/4浅黄橙 (内) 7.5YR8/4浅黄橙	平底より内弯して開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住居址 第216図－4	坏 土師	口径 12.8 器高 3.5 底径 5.8 口縁1/2欠	胎；0.3の礫、雲母，粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	平底より内弯して開き口縁で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住居址 第216図－5	坏 土師	口径 12.2 器高 5.1 底径 4.4 口縁1/2欠	胎；石英、0.3の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙~7.5YR5/1灰 (内) 10YR8/4 浅黄橙	平底より内弯して開き口縁で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で

第62表　住居址出土遺物観察表（10）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態ほか	整　形　ほか
A－23号 住　居　址 第216図－6	坏 土師	口径 12.4 器高 3.9 底径 5.2 口縁部1/5底部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	平底より内弯して開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸きり (内) 轆轤による撫で
A－23号 住　居　址 第216図－7	坏 土師	口径 12.8 器高 4.0 底径 5.2 口縁部1/4底部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底より内弯して開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住　居　址 第216図－8	坏 土師	口径 12.4 器高 3.9 底径 5.0 完形	胎；0.3 の礫，石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/4浅黄橙 (内) 7.5YR7/6橙	平底より内弯して開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住　居　址 第216図－9	坏 土師	口径 12.4 器高 4.0 底径 4.8 ほぼ完形	胎；金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底より内弯して開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住　居　址 第216図－10	坏 土師	口径 12.2 器高 3.6 底径 5.6 完形	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より内弯して立ち上がり 口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住　居　址 第216図－11	坏 土師	口径 12.3 器高 3.9 底径 5.2 ほぼ完形	胎；0.3 の礫，雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙	平底より内弯して立ち上がり 口縁部でやや外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住　居　址 第216図－12	坏 土師	口径 13.3 器高 4.2 底径 5.5 ほぼ完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より外傾しながら開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住　居　址 第216図－13	坏 土師	口径 12.4 器高 3.8 底径 4.8 完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底より内弯気味に開き口縁 部で緩やかに外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住　居　址 第216図－14	坏 土師	口径 残高 1.5 底径 5.2 底部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/4浅黄橙 (内) 7.5YR8/4浅黄橙	平底	(外) 底部回転糸切り (内)
A－23号 住　居　址 第216図－15	坏 土師	口径 残高 1.3 底径 5.6 底部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(外) 底部回転糸切り (内)
A－23号 住　居　址 第216図－16	坏 土師	口径 12.2 器高 3.9 底径 5.2 ほぼ完形	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 黒	平底より内弯して開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で、放射状の 5条の箆磨き　黒色処理
A－23号 住　居　址 第216図－17	坏 土師	口径 12.4 器高 4.1 底径 5.1 2/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.6YR7/6橙 (内) 黒	平底より内弯して開きごく僅 かに外反する口縁に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で、放射状の 5条の箆磨き　黒色処理
A－23号 住　居　址 第216図－18	坏 土師	口径 13.4 器高 3.5 底径 6.0 1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 黒	平底より内弯して開きごく僅 かに外反する口縁に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で、放射 状の箆磨き　黒色処理
A－23号 住　居　址 第216図－19	坏 土師	口径 12.8 器高 3.7 底径 4.6 口縁部1/4 底部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/3浅黄橙 (内) 黒	平底より内弯して開きごく僅 かに外反する口縁に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で、放射状の 4条の箆磨き　黒色処理

第６３表　住居址出土遺物観察表（１１）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態ほか	整形ほか
A－23号 住居址 第216図－20	坏 土師	口径 残高 3.7 底径 6.3 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 黒	平底	(外) 底部回転糸切り (内) 黒色処理
A－23号 住居址 第216図－21	坏 土師	口径 14.2 残高 3.9 底径 口縁から体1/3	胎；0.3の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 黒	内弯した体部から僅かに外反した口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で、黒色処理
A－23号 住居址 第216図－22	坏 土師	口径 14.4 残高 4.3 底径 口縁から体1/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 黒	内弯して開き口縁で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で、放射状の箆磨きと黒色処理
A－23号 住居址 第216図－23	坏 土師	口径 18.0 残高 4.6 底径 口縁部1/3	胎；金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 黒	緩やかに開いた体部より、僅かに外反する口縁に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で、黒色処理
A－23号 住居址 第216図－24	坏 灰釉陶器	口径 6.8 器高 2.9 底径 6.6 ほぼ1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5Y8/3 淡黄 (内) 2.5Y8/3 淡黄	付高台の底部から大きく広がり、僅かに内弯し屈曲外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
A－23号 住居址 第216図－25	坏 土師	口径 15.8 器高 5.5 底径 7.6 口体2/3 底	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	高台の底部より内弯して開きごく僅かに外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で、底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住居址 第216図－26	坏 土師	口径 残高 2.3 底径 6.8 底部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 黒	高台付の底部	(外) 轆轤による撫で、底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で、黒色処理
A－23号 住居址 第216図－27	坏 土師	口径 14.2 残高 4.6 底径 口縁から体3/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 黒	高台付の底部より内弯して開き、僅かに外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で、底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で、黒色処理
A－23号 住居址 第216図－28	坏 土師	口径 17.0 器高 6.2 底径 8.2 1/2 弱	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 黒	高台付の底部より内弯して開き、ごく僅かに外反する口縁に至る	(外) 轆轤による撫で、底部回糸切 (内) 轆轤による撫で、黒色処理
A－23号 住居址 第216図－29	坏 土師	口径 15.8 器高 5.7 底径 7.0 口体から体2/3	胎；石英、0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 黒	高台付の底部から内弯して開き、やや外反する口縁に至る	(外) 轆轤による撫で、底部回転糸切きり (内) 轆轤による撫で、黒色処理
A－23号 住居址 第216図－30	坏 土師	口径 残高 2.4 底径 8.2 底部2/3	胎；白色砂粒含む 焼；良好 色；(外) 黒 (内) 黒	高台付の底部	(外) 黒色処理 (内) 黒色処理
A－23号 住居址 第216図－31	坏 土師	口径 残高 1.5 底径 6.0 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 黒	高台付の底部	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で、黒色処理
A－23号 住居址 第216図－32	甕 土師	口径 14.0 残高 5.7 底径 口体から体上1/6	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁は「くの字」状に外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
A－23号 住居址 第216図－33	甕 須恵	口径 残高 11.9 底径 胴部一部	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5Y4/1 灰 (内) 5Y4/1 灰		(外) 平行文の叩き (内) 円文の叩き

第64表　住居址出土遺物観察表（12）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－23号 住居址 第216図－34	壺 土師	口径 10.4 器高 13.8 底径 7.0 口縁体部2/3底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR8/4浅黄橙	平底より内弯して立ち上がり脚部中央に最大径を持ち、「くの字」状に外反する口縁に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－23号 住居址 第216図－35	壺 灰釉陶器	口径 6.2 残高 4.3 底径 口縁部1/7	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5Y7/3 浅黄 (内) 5Y6/2 灰オリーブ		(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
A－24号 住居址 第217図－1	坏 土師	口径 13.4 器高 4.2 底径 口縁1/3底部1/2	胎；0.2 の礫多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	浅い丸底ぎみの底部から稜を経て口縁部で僅かに外反する	(外) 口縁部横撫で、体部箆削りの後箆磨き (内) 体部箆磨き
A－24号 住居址 第217図－2	甕 土師	口径 12.7 器高 9.8 底径 4.1 完形	胎；礫、石英、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/8赤褐～6/6 橙 (内) 7.5YR5/3にぶい褐～ 1.7/1 黒	底部より内弯して立ち上がり頸部で僅かに窄まり、僅かに開く口縁に至る	(外) 撫での後箆削り (内) 撫での後箆磨き
A－24号 住居址 第217図－3	甕 土師	口径 11.8 器高 24.3 底径 6.5 口～胴から底3/4	胎；0.2 ～0.5 の礫多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2灰褐～5/6 明褐 (内) 7.5YR5/6明褐～2/1 黒	平底より丸みを持って立ち上がり、球形を呈する胴部より外反する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、胴部箆削り (内) 箆削り
A－24号 住居址 第217図－4	甕 土師	口径 18.6 器高8.8下4.5 底径 6.6 口胴部1/4底部	胎；0.2 ～0.8 の礫多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙～2/1 黒 (内) 7.5YR6/6橙	底部より開く 口縁部で「くの字」状に外反する	(外) 脚部縦位の箆削り (内)
A－24号 住居址 第217図－5	甕 土師	口径 13.6 残高 9.2 底径 口縁部1/8	胎；0.2~0.5の礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR6/6橙	口縁部で大きく「くの字」状に外反する	(外) 口縁部横撫で、胴部縦位の箆削り (内)
A－24号 住居址 第217図－6	甑 土師	口径 13.8 器高 13.7 孔径 3.5 胴部口縁1/2底部	胎；0.2~0.4の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐～1.7 /1黒 (内) 5YR6/4にぶい橙～2/1 黒褐	孔部より緩やかに立ち上がり頸部で僅かに窄まり僅かに開く口縁部に至る	(外) 胴部縦位の箆削り (内) 胴部箆削り
A－24号 住居址 第217図－7	椀？ 土師	口径 残高 6.9 底径 4.5 体部～底部	胎；0.2~0.5の礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/8橙、6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/6橙	丸底より丸みを持って立ち上がる	(外) 箆削り
A－25号 住居址 第218図－1	甕 弥生	口径 11.7 残高 3.4 底径 口縁部一部	胎；0.2 の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/4にぶい赤褐	口縁部に「くの字」状に外反する	(外) 波状文 (内)
A－25号 住居址 第218図－2	甕 弥生	口径 残高 2.9 底径 9.4 底部1/4	胎；0.2 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/8橙	平底	(外) 胴部縦位の箆削り (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図－1	蓋 弥生	抓み径 4.6 器高 6.6 裾径 16.0 1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/8橙	抓み部から裾部にかけて外反して大きく開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－2	蓋 弥生	抓み径4.4 残高 4.6 裾径 抓み裾部～部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/3にぶい橙 (内) 5YR5/2灰褐	天井部に９孔を有する（上から下へ貫いている）	(外) (内)
A－26号 住居址 第219図－3	蓋 弥生	抓み径 4.4 残高 2.0 裾径 抓み部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	平坦な天井部、６孔貫く	(外) (内)

第６５表　住居址出土遺物観察表（１３）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図－4	蓋 弥生	抓み径 器高 5.9 裾径 12.5 抓み部裾部一部	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐	５ケの穴のあいた抓み部より外反気味に開く	(外) 撫で (内) 箆削りの後撫で
A－26号 住居址 第219図－5	蓋 弥生	抓み径 4.2 残高 6.75 裾径 抓み部裾部一部	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR4/2灰赤	抓み部から裾部にかけて外反して大きく開く　天井部に１孔を有する	(外) (内)
A－26号 住居址 第219図－6	蓋 弥生	抓み径 6.0 残高 5.6 裾径 抓み部のみ	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	抓み部より外反して大きく開く	(外) 指頭による撫で (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－7	蓋 弥生	抓み径 残高 4.5 裾径 抓み部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 10YR6/4 にぶい黄橙	上部の平らな抓み部	(外) 箆削り、撫で (内) 横撫で
A－26号 住居址 第219図－8	蓋 弥生	抓み径 残高 裾径 5.4 抓み部裾部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/8橙	抓み部	(外) 指頭による撫で (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－9	蓋 弥生	抓み径 残高 3.4 裾径 抓み部のみ	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/2 にぶい黄橙 (内) 10YR7/2 にぶい黄橙		(外) (内)
A－26号 住居址 第219図－10	高坏 弥生	口径 31.4 残高 3.0 裾径 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁端部で水平に外反する 口唇部に山形突起を有する	(外) 撫で (内) 撫で 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－11	高坏 弥生	口径 28.8 残高 6.6 裾径 坏部1/4	胎　雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/4暗赤 (内) 10R4/3赤褐	坏部直線的に開き端部で水平に外反する　口唇部に山形突起を有する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－12	高坏 弥生	口径 27.6 残高 6.3 裾径 坏部1/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R3/6 暗赤 (内) 7.5R3/6 暗赤	坏部直線的に開き端部で水平に外反する　口唇部に山形突起を有する	(外) 刷毛調整の後箆磨き (内) 箆削りの後箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－13	高坏 弥生	口径 残高 裾径 坏部1/6	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R3/4 暗赤 (内) 7.5R3/4 暗赤	口縁部に山形突器を有し大きく外反する　口唇部に面取りが施される	(外) 横位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－14	高坏 弥生	口径 27.2 残高 2.9 裾径 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は外反し口唇部に山形突起を有する	(外) 撫で (内) 撫で 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－15	高坏 弥生	口径 残高 11.0 裾径 16.7 脚部3/4	胎；金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	脚部僅かに外反して開く	(外) 横位の箆磨き (内) 横位の刷毛調整 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－16	高坏 弥生	口径 残高 8.9 裾径 15.6 脚部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/8橙 (内) 2.5YR3/1暗赤灰	脚部ラッパ状を呈し裾部で大きく開く	(外) 箆磨き (内) 箆削りの後撫で 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－17	高坏 弥生	口径 残高 7.0 裾径 14.2 脚部1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/3淡赤橙 (内) 2.5YR3/1暗赤灰	脚部ラッパ状を呈し裾部で大きく開く	(外) 箆磨き (内) 横位の刷毛調整 外面赤色塗彩

第６６表　住居址出土遺物観察表（１４）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図－18	高坏 弥生	口径 30.4 残高 5.6 裾径 口縁部1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐 (内) 2.5YR4/8赤褐	大きく開いて口縁部に至る	(外) 坏部縦位の箆磨き、口縁部横位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－19	高坏 弥生	口径 24.6 残高 裾径 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	口縁部端部で水平に外反する	(外) 撫で (内) 撫で 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－20	高坏 弥生	口径 21.0 残高 8.9 裾径 坏部1/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8赤 (内) 10R4/8赤	坏部は接合部より僅かに内弯して開き口縁部で緩く外反する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－21	高坏 弥生	口径 30.2 残高 2.9 裾径 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は外反する	(外) 撫で (内) 撫で 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－22	高坏 弥生	口径 22.4 残高 5.1 裾径 口縁部1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	丸みのある坏部より大きく開いて口縁部に至る	(外) (内)
A－26号 住居址 第219図－23	高坏 弥生	口径 残高 10.2 裾径 脚台部から脚部一部	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	脚部は接合部より直線的に開く	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 脚部外面、坏部外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－24	高坏 弥生	口径 残高 6.9 裾径 8.2 脚台部から脚部一部	胎；金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/1赤灰～7.5YR6/4にぶい橙	脚部外反気味に開く	(外) 箆磨き (内) 撫で 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－25	高坏 弥生	口径 残高 5.3 裾径 脚台部から脚部一部	胎；金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR5/8明赤褐	脚部外反気味に開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 箆削りの後撫で 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－26	高坏 弥生	口径 残高 5.2 裾径 脚部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R3/3 暗赤褐 (内) 7.5R3/6 暗赤	ラッパ状に広がる	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－27	高坏 弥生	口径 残高 4.1 裾径 脚部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8赤 (内) 10R5/6赤	ラッパ状に広がる	(外) (内) 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－28	高坏 弥生	口径 残高 4.0 裾径 脚台部から脚部一部	胎；粗砂粒を多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 2.5YR7/6橙	ラッパ状に開く	(外) (内) 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－29	高坏 弥生	口径 残高 4.2 裾径 接合部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐		(外) 撫で (内) 撫で 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－30	高坏 弥生	口径 残高 2.7 裾径 接合部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/6赤褐		(外) 箆削りの後縦位の箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－31	高坏 弥生	口径 残高 3.3 裾径 16.8 裾部1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	裾部は外反する	(外) 撫で 箆磨き (内) 撫で 外面赤色塗彩

第67表　住居址出土遺物観察表（15）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図－32	高坏 弥生	口径 残高 3.6 裾径 15.6 裾部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	裾部は外反する	(外) 撫で (内) 撫で 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－33	高坏 弥生	口径 器残高 裾径 15.4 脚部のみ	胎；石英、金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/1褐灰	接合部から裾部まで直線的に開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の刷毛調整 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－34	高坏 弥生	口径 残高 7.8 裾径 10.6 接部から裾部	胎；礫、石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/6にぶい明赤褐	脚部は外反して開く　裾部は面取りが施される	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆削り
A－26号 住居址 第219図－35	高坏 弥生	口径 残高 7.4 裾径 9.4 接部から脚部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	脚部は緩やかに外反する	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－36	高坏 弥生	口径 残高 7.6 裾径 9.5 接部から裾部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	粘土帯積み上げ 脚部は直線的に開く	(外) 縦位の箆削りの後箆磨き (内) 箆削り、撫で
A－26号 住居址 第219図－37	高坏 弥生	口径 残高 9.9 裾径 9.8 接部から裾部	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR4/3にぶい赤褐	粘土帯積み上げ 脚部は緩やかに外反する	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆削り
A－26号 住居址 第219図－38	高坏 弥生	口径 残高 9.0 裾径 11.6 接部から裾部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	脚部は直線的に開く	(外) 磨き (内) 横位の刷毛調整
A－26号 住居址 第219図－39	高坏 弥生	口径 残高 6.3 裾径 7.8 接部から裾部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐	脚部僅かに外反する	(外) 箆削り (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－40	高坏 弥生	口径 残高 7.8 裾径 8.6 坏脚部1/3	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/8橙 (内) 7.5YR7/6橙	脚部ラッパ状を呈し坏部内弯気味に開く	(外) (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－41	高坏 弥生	口径 残高 5.0 裾径 6.6 脚部のみ	胎；雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	脚部短く外反する	(外) 撫で (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－42	高坏 弥生	口径 残高 4.4 裾径 接合部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR6/8橙	ラッパ状に開く	(外) (内)
A－26号 住居址 第219図－43	高坏 弥生	口径 残高 3.7 裾径 接合部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) (内) 箆磨き
A－26号 住居址 第219図－44	甕 弥生	口径 25.2 器高 42.0 底径 10.4 胴部3/5	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 10YR6/4 にぶい橙	平底より立ち上がり胴部は肩の張った器形を呈し口縁部は緩く外反する	(外) 籠状文と波状文を施す (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－45	甕 弥生	口径 22.4 残高 19.3 底径 口縁から胴部	胎；礫、石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	口縁部は緩く外反する	(外) 口縁部から胴部は波状文を施し頸部に3連止めの籠状文を施す (内) 箆磨き

第68表　住居址出土遺物観察表（16）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図－46	甕 弥生	口径 28.5 残高 19.5 底径 口縁から胴部上位一部	胎；礫、雲母、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 横撫で
A－26号 住居址 第219図－47	甕 弥生	口径 残高 25.0 底径 胴部一部	胎；礫、石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	胴部は球状を呈する	(外) 刷毛調整の後簾状文と波状文を施す (内) 刷毛調整
A－26号 住居址 第219図－48	甕 弥生	口径 21.0 器高 35.0 底径 10.0 2/3	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 10YR3/1 黒褐	平底より立ち上がり、胴部はやや張り、口縁部は緩く外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す　下から上へ施文する (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図－49	甕 弥生	口径 21.2 器高 34.0 底径 8.4 2/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/3にぶい橙～2.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	上げ底気味の底部より立ち上がり、緩やかな丸みの胴部より外傾する口縁に至る	(外) 簾状文の後波状文を施す　上から下へ施文する (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－50	甕 弥生	口径 19.7 残高 18.9 底径 口縁部から胴部1/3	胎；0.2の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/1褐灰	口縁部は外反する	(外) 簾状文の後頸部に波状文を施す (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－51	甕 弥生	口径 21.0 器高 25.4 底径 8.4 4/5	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	平底の底部より立ち上がり、丸みのある胴部より僅かに外傾する口縁に至る	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図－52	甕 弥生	口径 22.1 残高 6.2 底径 口縁部1/3	胎；0.2の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3にぶい赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は緩やかに外反する	(外) 刷毛調整の後波状文を施す　下から上へ施文する (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－53	甕 弥生	口径 23.4 残高 6.1 底径 口縁部1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文を施す (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図－54	甕 弥生	口径 26.8 残高 9.6 底径 口縁部1/6	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/2灰褐 (内) 5YR6/6橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) 口縁部は波状文、頸部には3連止めの簾状文を施す (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図－55	甕 弥生	口径 21.6 残高 9.5 底径 口縁部1/2頸部	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) 簾状文と波状文を施す (内)
A－26号 住居址 第219図－56	甕 弥生	口径 残高 底径 胴部1/2	胎；0.2の礫、石英多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/2灰褐	胴部は内弯している	(外) 波状文を施す (内) 横位の箆削り 刷毛調整
A－26号 住居址 第219図－57	甕 弥生	口径 残高 18.0 底径 7.2 胴部一部底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR6 4にぶい橙	粘土帯積み上げ 平底の底部より内弯気味に立ち上がる	(外) 箆削りの後撫で、波状文を施す (内) 箆削り
A－26号 住居址 第219図－58	甕 弥生	口径 18.0 残高 15.5 底径 口縁胴部上部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/6橙 (内) 2.5YR7/6橙	口縁部は外反する	(外) 頸部に簾状文を施した後波状文を施す 上から下へ施文する (内) 胴部横位の箆磨き
A－26号 住居址 第219図－59	甕 弥生	口径 20.0 残高 15.2 底径 口縁から胴部上位	胎；0.2~0.4の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) 簾状文と波状文を施す (内)

第69表　住居址出土遺物観察表（17）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図－60	甕 弥生	口径 16.6 残高16.0 底径 口縁から胴部	胎；0.3の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	丸みのある胴部より外反する口縁に至る	(外) 2連止めの簾状文が頸部を6分割し波状文を施す (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－61	甕 弥生	口径 15.2 残高16.3 底径 口縁から胴部一部	胎；0.2の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	球形の胴部より外反する口縁部に至る	(外) 簾状文を施した後波状文を施す (内) へら磨き
A－26号 住居址 第219図－62	甕 弥生	口径 16.7 残高 21.2 底径 口縁から胴部一部	胎；0.3の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙～4/2 灰褐 (内) 5YR6/4にぶい橙 4/2 灰褐	ゆるく肩の張った胴部より緩やかに外反する口縁部に至る	(外) 頸部に2連止めの簾状文を施した後波状文を施す 下から上へ施文される (内) 胴部横位の箆削り、口縁部撫で
A－26号 住居址 第219図－63	甕 弥生	口径 17.4 残高 14.0 底径 口縁から胴部一部	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 口縁部は緩く外反し口唇部は面取りを施す	(外) 簾状文と波状文 (内) 箆磨き
A－26号 住居址 第219図－64	甕 弥生	口径 16.8 残高 11.3 底径 口縁部1/2	胎；0.3の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR7/4にぶい橙	口縁は緩やかに外反する	(外) 2連止めの簾状文を施すが表面が磨滅している (内)
A－26号 住居址 第219図－65	甕 弥生	口径 18.0 残高 13.0 底径 口縁部のみ	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R6/8赤橙 (内) 7.5YR8/2灰白	口縁部は緩やかに外反する	(外) 口縁部に波状文、頸部に簾状文を施す (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－66	甕 弥生	口径 18.6 残高 9.0 底径 口縁部1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/2灰褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	口縁部は外反する	(外) 頸部に2連止めの簾状文を施した後波状文を施す (内) 箆磨き
A－26号 住居址 第219図－67	甕 弥生	口径 19.6 残高 8.5 底径 口縁部1/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	口縁部は緩く外反する	(外) 口縁部に波状文、頸部には簾状文を施す (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図－68	甕 弥生	口径 残高 13.6 底径 胴部1/5	胎；礫、石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	胴部は丸みを持つ	(外) 簾状文と波状文 (内) 横位の箆削り、箆磨き
A－26号 住居址 第219図－69	甕 弥生	口径 残高 8.4 底径 胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR6/6橙	胴部は丸みを持つ	(外) (内)
A－26号 住居址 第219図－70	甕 弥生	口径 14.8 残高 18.9 底径 6.4 ほぼ完形	胎；0.2の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より立ち上がり胴部は肩が張り口縁部で緩く外反する	(外) 頸部簾状文、口縁部と胴部上位波状文 (内) 横位斜位の箆磨き
A－26号 住居址 第219図－71	甕 弥生	口径 18.6 残高 10.2 底径 口縁部1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	口縁部は緩く外反する 口唇部は面取りが施される	(外) 頸部に簾状文を施した後波状文を施す 上から下へ施文する (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－72	甕 弥生	口径 13.6 残高 6.0 底径 口縁部1/6	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は緩く外反する	(外) 頸部に簾状文を施す (内) 箆磨き
A－26号 住居址 第219図－73	甕 弥生	口径 13.4 残高 7.3 底径 口縁部1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は先で緩く内弯する	(外) 簾状文の後波状文を施す 上から下へ施文する (内) 横位の箆磨き

第70表 住居址出土遺物観察表（18）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図－74	甕 弥生	口径 14.0 残高 9.5 底径 口縁1/8 胴部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は緩く外反する	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 磨き
A－26号 住居址 第219図－75	甕 弥生	口径 15.0 残高 12.5 底径 口縁部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/8橙 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	丸みを帯びた胴部より緩やかに外反する口縁に至る	(外) 簾状文の後波状文を施す (内) 削りの後撫で
A－26号 住居址 第219図－76	甕 弥生	口径 14.6 残高 10.5 底径 口縁部胴部1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	丸みを帯びた胴部より緩やかに外反する口縁に至る	(外) 頸部に簾状文を施した後波状文を施す 下から上へ施文する (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－77	甕 弥生	口径 8.5 残高 11.6 底径 口縁部1/2胴部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/6浅黄橙~10YR4/1 灰褐 (内) 7.5YR8/6浅黄橙	口縁部は外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す (内) 口縁部箆磨き
A－26号 住居址 第219図－78	甕 弥生	口径 15.5 残高 8.6 底径 口縁部1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 口縁部から胴部は波状文を施し、頸部に簾状文を施す (内) 箆磨き
A－26号 住居址 第219図－79	甕 弥生	口径 14.8 残高 9.0 底径 口1/2肩上位1/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/4暗赤褐, 5/8 明赤褐 (内) 2.5YR5/6暗赤褐	口縁部は外反する	(外) 横撫での後調整 頸部に簾状文を施した後波状文を施す 上から下へ施文する (内) 横撫で
A－26号 住居址 第219図－80	甕 弥生	口径 18.7 残高 6.8 底径 口縁部1/5	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 10R6/6赤橙	口縁部は強く外反する 口唇部は面取りが施される	(外) 口縁部から胴部には波状文を施し、頸部には簾状文を施す (内) 横撫で
A－26号 住居址 第219図－81	甕 弥生	口径 16.5 残高 6.7 底径 口縁部1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	口縁部は緩く外反する	(外) 簾状文と波状文を施す (内)
A－26号 住居址 第219図－82	甕 弥生	口径 14.0 残高 12.3 底径 口縁から胴部一部	胎；石英、金雲母、雲母、粗砂粒含 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	胴部はやや内弯し、僅かに内弯気味の口縁に至る	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 刷毛調整の後箆磨き
A－26号 住居址 第219図－83	甕 弥生	口径 12.6 残高 8.0 底径 口縁から胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R2/1赤黒	丸みのある胴部より外反して口縁部に至る	(外) 波状文と簾状文を施す (内)
A－26号 住居址 第219図－84	甕 弥生	口径 14.0 残高 10.4 底径 口縁1/3 胴部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 2.5YR6/6橙	胴部は緩やかに立ち上がり、口縁部は外反する	(外) 頸部に2連止めの簾状文を施した後波状文を施す (内)
A－26号 住居址 第219図－85	甕 弥生	口径 13.4 残高 14.1 底径 ほぼ完形	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	胴部は中央で張り口縁部は外反する	(外) 刷毛調整の後簾状文と波状文を施す (内) 斜位の刷毛調整、胴部から底部箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図－86	甕 弥生	口径 14.8 残高 11.3 底径 口縁から胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	張りのない胴部より緩く外反する口縁部に至る	(外) 頸部に波状文を施した後2連止めの簾状文を施す (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図－87	甕 弥生	口径 残高 5.7 底径 頸部から胴部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R3/1暗赤灰	胴部は丸みを持つ	(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す (内) 箆磨き

第71表　住居址出土遺物観察表（19）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図－88	甕 弥生	口径 11.8 器高 12.5 底径 5.0 口縁部から頸部1/2	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR4/4にぶい赤褐	平底より内弯して立ち上がり肩部でやや張り口縁部で緩く「くの字」状に外反する	(外) 簾状文と波状文を施す 縦位の箆削り (内) 横位の箆磨き
A－26号 住居址 第219図－89	甕 弥生	口径 11.2 残高 8.8 底径 口縁部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	胴部より外反する口縁部に至る	(外) 胴部に簾状文を施した後波状文を施す (内)
A－26号 住居址 第219図－90	甕 弥生	口径 10.4 残高 5.6 底径 口縁部1/2胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR4/2灰赤	張りのある胴部より緩やかに外反して口縁に至る	(外) 簾状文と波状文 (内) 箆磨き
A－26号 住居址 第219図－91	甕 弥生	口径 11.6 残高 10.0 底径 口縁部1/4胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文を施す (内) 箆磨き
A－26号 住居址 第219図－92	甕 弥生	口径 11.2 残高 10.0 底径 口縁から胴部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/2灰褐	張りのない胴部より外反する口縁部に至る	(外) 口縁部から胴部に緩い波状文を、頸部に簾状文を施す (内) 横位の箆削り
A－26号 住居址 第219図－93	甕 弥生	口径 11.0 残高 10.1 底径 口縁から胴部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/4にぶい橙	緩やかに丸みを帯びた胴部より外反する口縁に至る	(外) 口縁部と胴部には波状文を、頸部には2連止めの簾状文を施す (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－94	甕 弥生	口径 残高 3.1 底径 8.2 底部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	平底	(外) 箆削り (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－95	甕 弥生	口径 残高 3.2 底径 7.0 底部のみ	胎；石英、雲母、白色砂粒、粗砂粒 焼；良好 色；(外) 5YR4/3にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底	(外) 縦位の箆削り (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図－96	甕 弥生	口径 残高 1.9 底径 8.8 底部のみ	胎；礫、石英、金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	平底	(外) 箆削り (内) 箆削りの後磨き
A－26号 住居址 第219図－97	甕 弥生	口径 残高 2.4 底径 5.1 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR2/1赤黒 (内) 2.5YR7/6橙	平底	(外) (内)
A－26号 住居址 第219図－98	甕 弥生	口径 残高 2.1 底径 6.0 底部2/3	胎；石英、雲母、白色砂粒、粗砂粒 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/3暗褐 (内) 7.5YR6/8橙	平底	(外) 横位の箆削り (内)
A－26号 住居址 第219図－99	甕 弥生	口径 残高 2.9 底径 5.6 底部のみ	胎；礫、石英、白色砂粒、粗砂粒含 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 底部に木葉痕を有す (内)
A－26号 住居址 第219図-100	深鉢 弥生	口径 19.0 残高 7.7 底径 口縁部1/2	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/6暗赤 (内) 7.5YR3/6暗赤	口縁部は大きく外反する	(外) 口縁部横位の撫で、頸部縦位の箆磨き (内) 口縁部磨き、胴部斜位の刷毛調整　外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-101	深鉢 弥生	口径 残高 6.7 底径 口縁部1/5	胎；石英、雲母、白色砂粒、粗砂粒 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は外反する	(外) (内) 外面赤色塗彩

第７２表　住居址出土遺物観察表（２０）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図-102	深鉢 弥生	口径 11.4 残高 3.4 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4赤褐 (内) 10R3/6暗赤	口縁部は外反する 頸部に孔を穿つ	(外) (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-103	深鉢 弥生	口径 19.8 残高 5.2 底径 口縁部1/2	胎；礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	口縁部長く弓状に外反する 頸部に2対の孔を有する	(外) 口縁部箆磨き 頸部に簾状文を施す (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-104	甕 弥生	口径 残高 2.4 底径 口縁部一部	胎；石英、雲母、白色砂粒 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部に孔を穿つ	(外) (内) 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-105	台付 甕 弥生	口径 残高 4.7 底径 接合部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/3 にぶい黄褐 (内) 10YR5/2 灰黄褐	台付の底部より外傾して開く	(外) 箆磨き (内) 刷毛調整 内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-106	台付 甕 弥生	口径 残高 5.3 底径 6.4 胴部下位	胎；0.4 の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	胴部下位は外傾する	(外) 箆削りの後縦位の箆磨き (内) 横位の箆磨き
A－26号 住居址 第219図-107	壺 弥生	口径 26.8 器高 59.6 底径 12.0 口縁2/3胴下1/3	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/6橙 (内) 2.5YR7/6橙	胴部下位に外稜を経て頸部は緩やかに外反して大きく開く 口縁に至る	(外) 2コ1組の板状貼付文とT字文(横位の櫛描直線文に縦の2本1線の直線文を施し頸部を4分割する) (内) 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-108	壺 弥生	口径 22.7 残高 28.0 底径 口縁2/3胴上3/4	胎；0.2 の礫、金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	頸部で弓状に外反し口縁部で朝顔状に開く	(外) 頸部に櫛描直線文を施す (内) 斜位の刷毛調整 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-109	壺 弥生	口径 25.0 残高 25.5 底径 頸から口2/3胴上	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は大きく朝顔状に開く	(外) T字文（横位の櫛描直線文に貝工具で縦位の2条の直線文を施し頸部を4分割する) (内) 刷毛調整の後横撫で 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-110	壺 弥生	口径 32.0 残高 21.5 底径 頸部から口縁部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	口縁部は大きく朝顔状に開く	(外) 頸部にT字文を施す（横位の櫛描直線文を貝工具による縦の2条の直線文で切る頸部を5分割する）刺突文のあるボタン状貼付文を施す (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-111	壺 弥生	口径 残高 30.0 底径 胴部上位1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	球状の胴部より強く外反する 口縁に至る 胴部下位に稜を有する	(外) T字文(頸部から胴部上位に横位の櫛描直線文を施し縦の2条の直線文が施され頸部を3分割する) (内) 撫で 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-112	壺 弥生	口径 残高 43.5 底径 12.0 胴部2/3遺存	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐~7.5YR4/1褐灰 (内) 5YR5/6明赤褐~7.5YR4/1褐灰	平底より外反して立ち上がり胴部下位に外稜を持つ	(外) 頸部にT字文 胴部縦位の箆磨き (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図-113	壺 弥生	口径 25.6 残高 13.0 底径 口縁部1/4	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/8赤 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は大きく朝顔状に開く	(外) 口縁部箆磨き 頸部にT字文を施す (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-114	壺 弥生	口径 18.6 残高 10.5 底径 口縁頸部一部	胎；0.2 の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	口縁部は朝顔状に開く	(外) T字文（縦の櫛描直線文が頸部を7分割する）
A－26号 住居址 第219図-115	壺 弥生	口径 20.7 残高 8.2 底径 口縁から頸上1/7	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/6橙	口縁部は朝顔状に開く	(外) (内)

第７３表　住居址出土遺物観察表（２１）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図-116	壺 弥生	口径 残高 10.9 底径 頸部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/4淡赤橙 (内) 2.5YR7/3淡赤橙	頸部は外反する	(外) 頸部にT字文を施す (内) 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-117	壺 弥生	口径 残高 15.4 底径 頸部1/2	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	粘土帯積み上げ	(外) T字文(頸部に横位の[illegible]の直線文を[illegible]位の2条の同工具による直線文が切る) (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-118	壺 弥生	口径 残高 13.2 底径 頸胴部上位1/2	胎；0.3の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	粘土帯積み上げ	(外) 頸部にT字文が施される (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図-119	壺 弥生	口径 残高 8.8 底径 頸部一部	胎；0.3の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/6橙 (内) 2.5YR7/6橙	頸部は外反する	(外) 頸部にT字文を施す 胴部に斜位の刷毛調整を施す (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図-120	壺 弥生	口径 残高 11.7 底径 頸部3/4	胎；0.2の礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐~5YR7/3にぶい橙 (内) 2.5YR7/2明褐灰		(外) T字文(横位の[illegible]直線文に[illegible]位の[illegible]直線文を[illegible]し頸部を8分割する) (内) 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-121	壺 弥生	口径 残高 9.0 底径 頸胴部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/8赤 (内) 2.5YR6/6橙	頸部で緩やかに窄まる	(外) 頸部縦位、胴部横位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-122	壺 弥生	口径 残高 8.0 底径 頸胴部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	胴部はイチジク型を呈する	(外) 刷毛調整の後頸部にT字文を施す (内) 斜位の刷毛調整の後箆削りを施す　外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-123	壺 弥生	口径 残高 18.0 底径 胴上位のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	粘土帯積み上げ 胴部はイチジク型を呈する	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-124	壺 弥生	口径 残高 21.3 底径 胴部一部	胎；0.2の礫、石英、金雲母含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	体部下位に最大径の稜を持つ	(外) (内) 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-125	壺 弥生	口径 残高 18.1 底径 14.0 胴部下位9/10	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	粘土帯積み上げ 胴部下位に外稜を持つ	(外) 縦位の箆削り (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図-126	壺 弥生	口径 残高 19.4 底径 12.0 胴下位1/2底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐~3/4暗赤褐	粘土帯積み上げ 平底より立ち上がり胴部下位に外稜を持つ	(外) 箆削り　横位の刷毛調整　撫で (内) 撫で　横位の刷毛調整の後縦位の箆磨き　外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-127	壺 弥生	口径 残高 15.4 底径 14.4 胴下位底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	粘土帯積み上げ 平底より立ち上がり胴部下位に外稜を持つ	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 撫で 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-128	壺 弥生	口径 残高 18.7 底径 12.0 胴下位2/3底部	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/1 褐灰 (内) 10YR7/4 にぶい黄橙	粘土帯積み上げ 平底より立ち上がり、外反して開く胴部に移行する	(外) 箆削り (内) 箆削り 内面剥落あり
A－26号 住居址 第219図-129	壺 弥生	口径 残高 19.3 底径 11.8 胴下位3/4底部	胎；0.3の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 平底より立ち上がり、胴部下位に緩い外稜を持つ	(外) 箆削り 刷毛調整の後箆磨き (内) 箆削り　剥落 外面赤色塗彩

第74表　住居址出土遺物観察表（22）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図-130	壺 弥生	口径 残高 10.8 底径 胴部-底部	胎；礫、白色砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	粘土帯積み上げ 平底より直線的に開く	(外) 箆削りの後撫で (内) 箆削りの後撫で
A－26号 住居址 第219図-131	壺 弥生	口径 残高 9.6 底径 11.2 体部1/3底部	胎；礫、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6にぶい橙	平底より外傾して開く	(外) 箆削りの後縦位の箆磨き (内) 刷毛調整の後横位の箆磨き
A－26号 住居址 第219図-132	壺 弥生	口径 残高 6.8 底径 8.2 胴部-底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	平底より直線的に開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆磨き
A－26号 住居址 第219図-133	壺 弥生	口径 残高 7.0 底径 10.2 胴部-底部1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底より直線的に開く	(外) 箆削りの後撫で、縦位の箆磨き (内) 箆磨き
A－26号 住居址 第219図-134	壺 弥生	口径 残高 5.5 底径 8.8 胴部下位1/3底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底	(外) 縦位の箆磨き (内) 箆削り
A－26号 住居址 第219図-135	壺 弥生	口径 残高 4.8 底径 11.9 底部のみ	胎；礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐~3/1黒褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	平底より外反して立ち上がる	(外) 箆削りの後縦位の箆磨き (内) 工具（刷毛、箆）による磨き？
A－26号 住居址 第219図-136	壺 弥生	口径 残高 5.0 底径 7.2 胴部-底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底	(外) (内)
A－26号 住居址 第219図-137	壺 弥生	口径 残高 3.7 底径 13.2 底部のみ	胎；礫、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色 (外) 2.5YR5/6明赤褐~4/2灰赤 (内) 2.5YR4/2灰赤	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－26号 住居址 第219図-138	壺 弥生	口径 残高 2.1 底径 21.4 底部のみ	胎；礫、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙~4/1黒灰 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底	(外) (内)
A－26号 住居址 第219図-139	壺 弥生	口径 残高 3.3 底径 12.0 底部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆削り 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-140	壺 弥生	口径 残高 4.7 底径 5.4 胴部から底部-部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/3にぶい赤褐	平底より立ち上がる	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆削りの後磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-141	壺 弥生	口径 残高 3.6 底径 6.6 底部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底	(外) 箆削りの後撫で (内) 撫で 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-142	壺 弥生	口径 残高 3.6 底径 5.8 底部のみ	胎；礫、石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/4暗赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より外反して立ち上がる	(外) 縦位の箆磨き (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図-143	壺 弥生	口径 残高 2.2 底径 4.2 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/6暗赤 (内) 10R5/4赤褐	平底	(外) (内) 外面赤色塗彩

第７５表　住居址出土遺物観察表（２３）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図-144	壺 弥生	口径 残高 14.8 底径 6.9 体部1/3底部	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より立ち上がり、外反気味に開いて胴部で緩い稜を有してつぼまる	(外) 横位の箆磨き (内) 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-145	壺 弥生	口径 残高 10.6 底径 6.9 体部下位1/4底部	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より内弯して立ち上がる	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-146	壺 土師	口径 残高 7.6 底径 4.9 体部1/2底部	胎；礫、石英、雲母多量、粗砂粒含 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/6赤褐	平底より立ち上がり丸みのある胴部へ至る	(外) 箆削り (内) 箆磨き 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-147	壺 弥生	口径 22.6 残高 6.5 底径 口縁部1/6	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部外側へ折り返す	(外) (内)
A－26号 住居址 第219図-148	鉢 弥生	口径 17.3 器高 7.0 底径 5.6 ほぼ完形	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/2灰褐	平底より内弯して開き口縁部で屈曲して直立する	(外) 箆削りの後縦位の箆磨き、口縁部に波状文を施す (内) 横位の箆磨き
A－26号 住居址 第219図-149	鉢 弥生	口径 21.0 残高 6.4 底径 口縁部1/6	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR8/4淡橙	内弯気味に開き口縁部で緩い稜を経てさらに内弯する	(外) 口縁部に波状文を施す (内)
A－26号 住居址 第219図-150	鉢 弥生	口径 18.8 残高 7.5 底径 口縁部1/5	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR7/6橙	内弯して開き口縁部で短く内傾する	(外) 口唇部に波状文を施す (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図-151	鉢 弥生	口径 19.8 残高 6.8 底径 口縁部1/4	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は直線的に開き短く内傾する口唇部に至る	(外) (内) 横位の刷毛調整
A－26号 住居址 第219図-152	鉢 弥生	口径 21.4 残高 9.3 底径 口縁部1/8	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	内弯して開き口唇部でさらに内弯する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き
A－26号 住居址 第219図-153	鉢 弥生	口径 23.0 残高 5.0 底径 口縁部1/6	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	内弯気味に開き口縁部で屈曲してさらに内弯する	(外) (内)
A－26号 住居址 第219図-154	鉢 弥生	口径 11.0 残高 6.7 底径 口縁部1/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	内弯して開き口縁部でさらに内弯する	(外) 箆磨き (内) 横位の箆磨き
A－26号 住居址 第219図-155	鉢 弥生	口径 11.4 残高 6.5 底径 口縁体部1/6	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/8赤 (内) 7.5YR4/8赤	内弯して開き口縁部でさらに内弯する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-156	鉢 弥生	口径 12.4 器高 6.9 底径 3.5 1/3	胎；白色砂粒、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 5YR5/8明赤褐	平底より内弯して開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 縦位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-157	鉢 弥生	口径 16.0 器高 8.9 底径 4.4 口縁部1/2 底部	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底より立ち上がり内弯する口縁部に至る 口縁部に一対の小孔を有する	(外) 撫で (内) 横位の撫で 内面赤色塗彩

第７６表　住居址出土遺物観察表（２４）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－26号 住居址 第219図-158	鉢 弥生	口径 18.5 器高 10.0 底部 5.4 3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙~5YR5/褐灰 (内) 5YR6/6橙~5YR7/3 にぶい橙	平底より口縁部にかけて直線的に開く	(外) 箆削りの後撫で (内) 外面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-159	鉢？ 弥生	口径 18.6 残高 10.0 底径 口縁部1/6	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/4淡赤橙 (内) 2.5YR6/3にぶい橙	口縁部にかけて直線的に開く	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－26号 住居址 第219図-160	鉢 弥生	口径 残高 4.7 底径 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐色 (内) 5YR5/6明赤褐色	口縁部に片口を有する	(外) (内) 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-161	鉢 弥生	口径 残高 2.0 底径 4.0 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R3/6 暗赤 (内) 7.5R3/6 暗赤	平底	(外) (内) 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-162	鉢 弥生	口径 残高 2.3 底径 4.9 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/4赤褐	平底	(外) (内) 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-163	甕 弥生	口径 残高 7.7 底径 7.0 胴一部底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 黒	平底より緩やかに立ち上がる 底部に1孔を穿つ	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 横位の撫で
A－26号 住居址 第219図-164	甕 弥生	口径 残高 4.9 底径 6/0 胴一部底部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より立ち上がる 底部に1孔を有する	(外) 箆削りの後横位の箆磨き (内) 箆削りの後撫で
A－26号 住居址 第219図-165	匙 弥生	縦 8.2 横 7.2 厚さ 1.5 ほぼ完形	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐		(外) (内) 外内面赤色塗彩
A－26号 住居址 第219図-166	手捏 ね 弥生	口径 器高 5.3 底径 3.3 体部1/2 底部	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR6/6橙~4/3褐	平底より肩の張った胴部に移行し頸部でくびれる	(外) 撫で (内) 撫で
A－26号 住居址 第219図-167	土製 勾玉 	3.1 ×1.2 重さ 5g	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色； 7.5YR7/4 にぶい橙		(外) (内)
A－27号 住居址 第220図－1	蓋 土師	抓み径 残高 4.5 裾径 14.0 天井部裾部	胎；0.3 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5Y8/1 灰白 (内) 5Y8/1 灰白	抓み部から裾部にかけて内弯して開く	(外) 横撫で (内) 横撫で
A－27号 住居址 第220図－2	蓋 土師	抓み径 残高 3.5 裾径 13.0 天井部裾部	胎；雲母多量、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	裾部は内弯する	(外) 横撫で (内) 横撫で
A－27号 住居址 第220図－3	坏 土師	口径 8.0 器高 5.0 底径 ほぼ完形	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	丸底気味の底部より内弯する口縁に至る	(外) 口縁部横撫で、体部箆削り (内) 横位箆削り
A－27号 住居址 第220図－4	坏 土師	口径 11.8 器高 5.8 底径 口縁から体部	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 10YR7/3 にぶい黄橙	深い丸底より僅かに内弯する口縁に至る	(外) 口縁部横撫で、体部箆削り (内) 箆磨き

第７７表　住居址出土遺物観察表（２５）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－27号 住居址 第220図－5	坏 土師	口径 12.6 器高 4.3 底径 ほぼ完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/3 にぶい黄橙から7/4にぶい黄橙 (内) 7.5YR4/3褐	丸底より体部上位に緩い稜を持ち外傾する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、体部箆削り (内) 箆磨き
A－27号 住居址 第220図－6	坏 土師	口径 12.6 器高 4.4 底径 ほぼ完形	胎；石英多量、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	丸底より稜を経て外傾する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、体部箆削り (内) 箆磨き
A－27号 住居址 第220図－7	坏 土師	口径 13.5 器高 5.8 底径 ほぼ完形	胎；0.4 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/2 灰黄褐 (内) 黒	丸底より外反する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、体部箆削り (内) 横位の箆磨き 黒色処理
A－27号 住居址 第220図－8	坏 土師	口径 11.6 器高 5.8 底径 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 黒	丸底より外反する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、体部箆削り (内) 箆削の後箆磨き 黒色処理
A－27号 住居址 第220図－9	坏 須恵	口径 10.7 器高 3.9 底径 ほぼ完形	胎；微砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5Y5/1 灰 (内) 5Y5/1 灰	平底気味の底部より鋭い稜をへて短く内傾する口縁部に至る	(外) 櫛状による撫で、底部箆きり (内) 櫛状による撫で 自然釉
A－27号 住居址 第220図－10	甕 土師	口径 11.0 器高 9.6 底径 ほぼ完形	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/2 灰黄褐 (内) 10YR6/2 灰黄褐	丸底より立ち上がり球形の胴部より口縁部で短く外反する	(外) 口縁部横撫で、胴部箆削り (内) 箆削り
A－27号 住居址 第220図－11	甕 土師	口径 15.0 残高 12.8 底径 口縁から胴上位	胎；礫、雲母、石英、粗砂粒多量含 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	胴部は丸みを持ち外反する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、胴部縦位の箆削り (内)
A－27号 住居址 第220図－12	高坏 土師	口径 残高 8.6 裾径 12.4 坏部から脚部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR8/2 灰白色 (内) 黒	裾部ラッパ状を呈し裾部は外反する	(外)(内) 裾部横撫での後脚部縦位の箆削り 坏部内面黒色処理
A－27号 住居址 第220図－13	甕 土師	口径 18.0 残高 15.6 底径 口縁から胴上位	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	丸みのある胴部より「くの字」状に外反する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、胴部箆削り (内) 胴部横位の箆削り
A－27号 住居址 第220図－14	甑 土師	口径 24.0 残高 21.0 底径 口縁から胴部	胎；0.5 の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 10YR5/2 灰黄褐	粘土帯積み上げ 直立した胴部より外反する口縁部に至る	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－28号 住居址 第221図－1	高坏 土師	口径 17.4 器高 10.3 裾径 3.9 ほぼ完形	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	細い脚部から坏部は大きく広がり、口縁部で僅かに内弯する	(外) 口縁部横撫で、箆磨き (内) 斜位の撫で 外内面赤色塗彩
A－28号 住居址 第221図－2	鉢 弥生	口径 14.3 器高 7.3 底径 3.9 完形	胎；0.2 の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 1.7/1 黒 (内) 5YR6/3にぶい橙	底部より直線的に広がり口縁部で僅かに内弯する	(外) 箆による調整 (内) 箆による調整 内面赤色塗彩
A－28号 住居址 第221図－3	鉢 弥生	口径 残高 5.0 底径 20.3 口縁部から体部1/2	胎；0.2 の礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は内弯する	(外) (内) 横撫で
A－28号 住居址 第221図－4	甕 弥生	口径 15.8 残高 6.0 底径 口縁部から頸部1/7	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部で大きく外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す 上から下へ施文する (内) 横撫で

第78表　住居址出土遺物観察表（26）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－28号 住居址 第221図－5	甕 弥生	口径 12.3 残高 3.2 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は段を有して外反する	(外) 刷毛調整 (内) 横撫で、刷毛調整
A－28号 住居址 第221図－6	甕 弥生	口径 12.5 残高 11.1 底径 口縁部から胴部1/7	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR5/8にぶい橙	胴部で僅かな丸みを持ち口縁部で僅かに外反する	(外) 2連止めの簾状文の後波状文を施す 上から下へ施文する (内) 胴部工具による横磨き 外内面赤色塗彩
A－28号 住居址 第221図－7	甕 弥生	口径 残高 3.2 底径 5.6 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	底部より直線的に広がる	(外) 縦位の磨き (内) 斜位の撫で 外内面赤色塗彩
A－28号 住居址 第221図－8	甕 弥生	口径 残高 2.4 底径 2.9 底部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/8明褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	底部より直線的に開く	(外) (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－28号 住居址 第221図－9	壺 弥生	口径 残高 11.8 底径 口縁部のみ	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6暗赤褐 (内) 2.5YR4/8赤褐	口縁部で大きく外反する	(外) 頸部にT字文を施す縦位の箆磨き (内) 横位の箆磨き、横撫で 外内面赤色塗彩
A－28号 住居址 第221図－10	壺 弥生	口径 残高 11.2 底径 胴部2/3	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/2灰褐	丸底（？）より球形に近い胴部に移行し中位に最大径を持つ 頸部に2段の刻目を施した突帯が巡っている	(外) 刷毛調整の後箆状工具による横位の磨き (内) 横位の撫で
A－28号 住居址 第221図－11	甑 弥生	口径 残高 3.4 底径 4.1 底部1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	底部より直線的に広がる 底部に1孔を穿つ	(外) 工具による縦位の磨き (内) 箆削り
A－30号 住居址 第222図－1	高坏 弥生	口径 残高 7.1 裾径 9.1 脚部1/2	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 10R5/8赤 (内) 10R5/8赤	脚部は「ハの字」状に開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 箆削り
A－30号 住居址 第222図－2	甕 弥生	口径 18.5 残高 8.4 底径 口縁部3/4	胎；礫多量、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部緩やかに外反する	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 横位の箆磨き
A－30号 住居址 第222図－3	甕 弥生	口径 15.0 残高 11.9 底径 口縁部から胴部一部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR7/6橙	粘土帯積み上げ	(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す (内) 横位の撫で
A－30号 住居址 第222図－4	甕 弥生	口径 23.6 器高 35.3 底径 9.0 ほぼ完形	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	平底より立ち上がり張りのある胴部より屈曲して緩く外反する口縁部に至る	(外) 簾状文と波状文を施す 箆削りを施す (内) 箆削り
A－30号 住居址 第222図－5	甕 弥生	口径 14.4 残高 8.8 底径 口縁部のみ	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	口縁部緩やかに外反する	(外) 簾状文と波状文を施す (内)
A－30号 住居址 第222図－6	甕 弥生	口径 10.8 残高 6.5 底径 口縁部1/5	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR3/2明赤褐	口縁部は緩く外反する	(外) 3連止めの簾状文と波状文を施す (内) 横位の箆磨き
A－30号 住居址 第222図－7	甕 弥生	口径 11.8 残高 8.8 底径 口縁部のみ	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい淡橙 (内) 5YR5/4にぶい赤橙	口縁部緩やかに外反する	(外) 簾状文と波状文を施す (内)

第79表　住居址出土遺物観察表（27）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－30号 住居址 第222図－8	甕 弥生	口径 残高 8.1 底径 胴部一部	胎；礫、雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	粘土帯積み上げ	(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す 下から上へ施文する (内)
A－30号 住居址 第222図－9	甕 弥生	口径 22.9 残高 5.1 底径 口縁部1/6	胎；礫、雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/8明赤褐		(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の撫で 外内面赤色塗彩
A－30号 住居址 第222図－10	甕 弥生	口径 残高 5.9 底径 5.8 胴部-部底部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 平底	(外) (内)
A－30号 住居址 第222図－11	甕 弥生	口径 残高 4.1 底径 6.2 胴部-部底部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 平底	(外) (内)
A－30号 住居址 第222図－12	甕 弥生	口径 残高 2.4 底径 4.4 胴部-部底部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底	(外) (内)
A－30号 住居址 第222図－13	甕 弥生	口径 残高 2.8 底径 10.0 胴部-部底部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底	(外) (内)
A－30号 住居址 第222図－14	壺 弥生	口径 残高 27.9 底径 頸部から胴部	胎；礫僅かに含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	やや張りのある胴部より頸部に向かって緩やかに窄まる	(外) T字文を施す 箆磨き (内) 箆磨き剥落
A－30号 住居址 第222図－15	紡錘車 弥生	上面径 5.6 厚さ 1.5 重さ 21ｇ 1／2	胎；礫、雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR3/1黒褐	上面径（5.6） 厚み（1.5）	(外) (内) 21G
A－31号 住居址 第223図－1	高坏 弥生	口径 残高 5.5 裾径 脚上位のみ	胎；雲母多量、白色砂粒、粗砂粒含 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	脚部短く外反する	(外) 箆磨き (内) 箆削り 外面赤色塗彩
A－31号 住居址 第223図－2	高坏 弥生	口径 残高 2.7 裾径 脚上位のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	脚部に4か所三角形の透かし窓がある	(外) 箆磨き (内) 箆削り 外面赤色塗彩、坏部内面赤色塗彩
A－31号 住居址 第223図－3	高坏 弥生	口径 残高 5.2 裾径 脚上位のみ	胎；石英、雲母、白色砂粒、粗砂粒 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	脚部短く外反する	(外) 箆磨き (内) 箆削り 外面赤色塗彩、坏部内面赤色塗彩
A－31号 住居址 第223図－4	鉢 弥生	口径 12.8 残高 5.9 裾径 6.4 口縁部1/3底部	胎；石英、雲母、白色砂粒、粗砂粒 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	底部から口縁部にかけて直線的に開く	(外) 縦位の刷毛調整、口縁部横撫で (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－31号 住居址 第223図－5	甕 弥生	口径 18.0 器高 26.0 底径 6.0 ほぼ完形	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR6/3にぶい橙	粘土帯積み上げ 平底より緩やかに立ち上がり胴部中位最大径を持ち、口縁部は緩やかに外反する	(外) 3連止めの簾状文の後波状文を施す (内)
A－31号 住居址 第223図－6	甕 弥生	口径 11.0 器高 17.6 底径 6.8 口から胴1/3底部	胎；石英多量、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	平底より緩やかに立ち上がり胴部上位で最大径を有し口縁部は外反する	(外) 4連止めの簾状文と波状文、縦位の箆削り上から下へ施文する (内) 撫で

第80表　住居址出土遺物観察表（28）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－31号 住居址 第223図－7	甕 弥生	口径 16.4 残高 8.8 底径 口から胴部上位2/3	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 2連止めの簾状文の後波状文を施す (内)
A－31号 住居址 第223図－8	深鉢 弥生	口径 17.2 残高 5.8 底径 口縁胴一部	胎；石英、雲母、白色砂粒、粗砂粒 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は大きく外反し2か所に一対の小孔を有する	(外) 口縁部横位の箆磨き 胴部縦位の箆磨き (内) 外内面赤色塗彩
A－31号 住居址 第223図－9	甕 弥生	口径 25.8 残高 8.5 底径 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 10YR7/4 にぶい黄橙	口縁部は外傾する	(外) (内)
A－31号 住居址 第223図－10	甕 弥生	口径 残高 4.8 底径 9.9 胴一部底部	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底より外傾ぎみに立ち上がる	(外) 縦位の箆削り (内)
A－31号 住居址 第223図－11	甕 弥生	口径 残高 2.9 底径 8.2 胴一部底部	胎；石英、金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底	(外) 縦位の箆削り (内)
A－31号 住居址 第223図－12	甕 弥生	口径 残高 2.5 底径 5.2 胴一部底部	胎；石英、雲母、白色砂粒、粗砂粒 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底	(外) 箆削り (内) 撫で
A－31号 住居址 第223図－13	甕 弥生	口径 残高 1.7 底径 5.8 胴一部底部	胎；石英、雲母、白色砂粒、粗砂粒 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4褐 (内) 5YR4/6赤褐	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－31号 住居址 第223図－14	甕 弥生	口径 残高 2.8 底径 6.4 胴部一部底部	胎；石英、雲母、白色砂粒、粗砂粒 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－31号 住居址 第223図－15	壺 弥生	口径 35.0 残高 12.0 底径 口縁から頸部	胎；石英、雲母、白色砂粒、粗砂粒 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	口縁部大きく朝顔状に開く 口唇部に山形突起を有する（4か所）	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－31号 住居址 第223図－16	壺 弥生	口径 33.0 残高 25.7 底径 口1/3頸から胴上位	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/6橙	粘土帯積み上げ 頸部「くの字」状に外反し 口縁部大きく朝顔状に開く	(外) 頸部にT字文を施す (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩、内面に剥落あり
A－32号 住居址 第224図－1	高坏 弥生	口径 24.4 残高 4.3 裾径 口縁部1/6	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	口唇部に山形突起を有する	(外) (内) 縦位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－32号 住居址 第224図－2	高坏 弥生	口径 残高 2.3 裾径 接合部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/8橙		(外) (内)
A－32号 住居址 第224図－3	高坏 弥生	口径 残高 13.0 裾径 接合部から 脚一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 5YR6/6橙	脚部は接合部より張りを持って緩やかに開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 箆削り 坏部内面、脚部外面赤色塗彩
A－32号 住居址 第224図－4	甕 弥生	口径 19.0 残高 11.2 底径 口縁1/7 胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR6/6橙	口縁部は緩く外反する	(外) 2連止めの簾状文を施した後波状文を施す 下から上へ施文する (内) 刷毛調整、横位の箆削り

第81表　住居址出土遺物観察表（29）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－32号 住居址 第224図－5	甕 弥生	口径 12.4 残高 12.2 底径 口縁から胴部一部	胎；金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR4/4にぶい赤褐	口縁部は外反し口唇部は面取がを施される 胴部は丸みを持って張る	(外) 簾状文の後波状文を施す 上から下へ施文される (内) 箆磨き
A－32号 住居址 第224図－6	甕 弥生	口径 残高 5.5 底径 一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 5YR6/6橙		(外) 頸部にT字文を施す (内) 外面赤色塗彩
A－32号 住居址 第224図－7	甕 弥生	口径 残高 6.5 底径 一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/4暗赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐		(外) 頸部にT字文を施す (内)
A－32号 住居址 第224図－8	甕 弥生	口径 残高 3.6 底径 6.6 底部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 縦位の箆削り (内)
A－32号 住居址 第224図－9	甕 弥生	口径 残高 2.0 底径 6.8 底部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6橙	平底	(外) (内)
A－32号 住居址 第224図－10	甕 土師	口径 残高 2.0 底径 5.4 底部1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内)
A－32号 住居址 第224図－11	甕 弥生	口径 残高 1.3 底径 5.4 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/4 赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内) 外面赤色塗彩
A－32号 住居址 第224図－12	甕 土師	口径 残高 9.3 底径 7.4 胴から底一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/1褐灰	平底より丸みを持って立ち上がる	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆削りの後箆磨き
A－32号 住居址 第224図－13	甕 弥生	口径 残高 9.0 底径 9.6 胴一部底部1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR4/8明赤褐		(外) 縦位の箆削りの後箆磨き (内) 箆磨き、指で
A－32号 住居址 第224図－14	壺 弥生	口径 残高 14.7 底径 胴部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 胴部下位に外稜を持つ	(外) 箆削りの後縦位の箆磨き (内)
A－33号 住居址 第225図－1	高坏 弥生	口径 9.6 残高 8.0 裾径 口縁から脚台部2/3	胎；0.2 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/8 赤 (内) 10YR4/8 赤	接合部から裾部にかけ緩やかに開く	(外) 坏部縦位の磨き、裾部横位の磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－33号 住居址 第225図－2	甕 弥生	口径 残高 3.9 底径 口縁部一部	胎；0.2 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR4/6赤褐		(外) (内) 横位の指で
A－34号 住居址 第226図－1	蓋 弥生	抓み径 残高 4.6 裾径 6.0 抓み部のみ	胎；礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR4/3褐	抓み部より広がる	(外) 箆削りの後指で (内) 箆削りの後指で
A－34号 住居址 第226図－2	坏 弥生	口径 残高 1.8 底径 5.4 底部のみ	胎；礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/8明褐	平底	(外) (内) 箆削り

第８２表　住居址出土遺物観察表（３０）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－34号 住居址 第226図－3	高坏 弥生	口径 16.1 残高 10.2 裾径 坏部のみ	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/4暗赤 (内) 10R4/6赤	細い接合部より大きく広がり口縁部で内弯する	(外) 横位の磨き (内) 横位の磨き 外内面赤色塗彩
A－34号 住居址 第226図－4	高坏 弥生	口径 17.7 残高 5.9 裾径 坏部1/4	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	稜を持ち外反する口縁部に至る	(外) 横撫で (内) 外面赤色塗彩
A－34号 住居址 第226図－5	高坏 弥生	口径 残高 6.2 裾径 9.8 脚部1/2	胎；0.2~0.4の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5Y7/1 灰白 (内) 7.5Y7/1 灰白	裾部で大きく広がる	(外) 横撫で (内)
A－34号 住居址 第226図－6	高坏 弥生	口径 残高 6.6 裾径 脚部1/2	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	脚部は緩やかに広がる	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆削り 坏部外内面脚部外面赤色塗彩
A－34号 住居址 第226図－7	高坏 弥生	口径 残高 8.7 裾径 脚部3/4	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	脚部ラッパ状を呈し裾部で大きく開く 四面に三角形の窓を有する	(外) 箆磨き (内) 横位の撫で 外面赤色塗彩
A－34号 住居址 第226図－8	高坏 弥生	口径 残高 4.5 裾径 接合部のみ	胎；0.2の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) 縦位の箆磨き (内) 坏部内面脚部外面赤色塗彩
A－34号 住居址 第226図－9	鉢 ？	口径 残高 5.3 底径 5.1 胴部下位1/4底部	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底の底部より広がる	(外) (内)
A－34号 住居址 第226図－10	甕 弥生	口径 17.6 残高 12.2 底径 口縁部から胴部1/4	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	胴部は丸みを持ち頸部で緩やかに窄まり口縁部で外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す (内) 口縁部横撫で、胴部箆削り
A－34号 住居址 第226図－11	甕 弥生	口径 残高 4.3 底径 4.6 胴部下位3/4底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/2暗赤褐 (内) 2.5YR3/1暗赤灰	平底より直線的に立ち上がる	(外) 指頭による圧痕 (内) 指頭による圧痕
A－34号 住居址 第226図－12	土製 勾玉	2.7×1.3 重さ 7g 完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2灰褐		(外) (内)
A－36号 住居址 第227図－1	坏 弥生	口径 13.0 器高 6.4 底径 5.0 1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より体部は内弯しながら開き口縁部でさらに内弯する	(外) 縦位の箆磨き (内)
A－36号 住居址 第227図－2	坏 弥生	口径 残高 5.8 底径 5.0 胴部から底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R5/4赤褐	平底より体部は内弯しながら開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－36号 住居址 第227図－3	片口 鉢 弥生	口径 10.6 器高 12.2 底径 5.9 完形	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底より直線的に広がりながら立ち上がり口縁部は内弯して注ぎ口がある	(外) (内) 撫で
A－36号 住居址 第227図－4	甕 弥生	口径 20.0 残高 12.3 底径 口縁1/3胴部一部	胎；雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙~7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は緩く外反する	(外) 1連止の簾状文の後波状文を施す 上から下へ施文する (内) 横位の刷毛調整

第83表 住居址出土遺物観察表（31）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－36号 住居址 第227図－5	甕 弥生	口径 18.2 残高 5.9 底径 口縁部一部	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	口縁部は外反する	(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す 下から上へ施文する (内)
A－36号 住居址 第227図－6	甕 弥生	口径 13.0 残高 4.0 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙~7.5YR3/1黒褐 (内) 7.5YR6/6橙~7.5YR3/1黒褐	口縁部は外反する	(外) 波状文を施す (内)
A－36号 住居址 第227図－7	甕 弥生	口径 残高 9.1 底径 7.6 胴部底1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR3/2黒褐	平底より立ち上がり胴部は内弯する	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆磨き
A－36号 住居址 第227図－8	甕 土師	口径 残高 3.0 底径 6.4 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/8赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底より立ち上がる	(外) (内) 縦位の箆磨き
A－36号 住居址 第227図－9	甕 弥生	口径 残高 2.3 底径 10.4 底部のみ	胎；礫、雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR7/6橙	平底	(外) (内)
A－36号 住居址 第227図－10	甕 土師	口径 残高 1.9 底径 4.6 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より立ち上がる	(外) (内)
A－36号 住居址 第227図－11	甕 弥生	口径 残高 2.8 底径 7.4 底部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/4暗赤 (内) 5YR6/6橙	平底より立ち上がる	(外) (内) 外面赤色塗彩
A－36号 住居址 第227図－12	甕 弥生	口径 残高 1.3 底径 5.6 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/2灰褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	平底より立ち上がる	(外) (内) 箆磨き 内面赤色塗彩
A－36号 住居址 第227図－13	甕 弥生	口径 残高 2.9 底径 5.0 底部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 10R4/6赤	平底より立ち上がる	(外) (内) 内面赤色塗彩
A－36号 住居址 第227図－14	甑 弥生	口径 20.5 器高 11.0 底径 4.5 口縁1/5胴部一部	胎；礫、石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	粘土帯積み上げ 底部に1孔を有し、体部は僅かに内弯気味に開き口縁部でさらに内弯する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き
A－37号 住居址 第228図－1	坏 土師	口径 8.4 器高 4.3 底径 ほぼ完形	胎；礫多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	丸底より内弯して口縁部は直立する	(外) (内)
A－37号 住居址 第228図－2	甕 土師	口径 13.4 残高 11.4 底径 口縁1/6胴部一部	胎；礫多量、雲母含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	粘土帯積み上げ 口縁部は短く外反する	(外) 箆削り (内) 箆削り、苔付着
A－37号 住居址 第228図－3	甕 土師	口径 13.6 残高 9.5 底径 口縁1/5胴部一部	胎；礫、金雲母含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR7/2明褐灰	粘土帯積み上げ 口縁部は短く外反する	(外) 横位の箆削り (内) 横位の箆削り
A－37号 住居址 第228図－4	甕 土師	口径 残高 7.5 底径 6.0 胴底部一部	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	粘土帯積み上げ 平底	(外) 箆削り 底部に木葉痕有り (内) 箆削り

第84表 住居址出土遺物観察表（32）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－37号 住居址 第228図－5	壺 土師	口径 10.5 器高 9.0 底径 口縁-部胴底部	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR3/1黒褐	口縁部は短く外反する 体部は偏平の球状を呈する	(外) (内) 箆磨き 黒色処理
A－38号 住居址 第229図－1	蓋 須恵	抓み径 残高 1.2 裾径 17.6 裾部一部	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外) 10Y3/1オリーブ黒 (内) 10Y3/1オリーブ黒	轆轤成形	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
A－39号 住居址 第230図－1	甕 土師	口径 17.2 残高 3.8 底径 口縁1/8	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	口縁部は短く僅かに外反する	(外) (内)
A－39号 住居址 第230図－2	甕 土師	口径 20.4 残高 6.7 底径 口縁1/6	胎；礫、金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/6 にぶい橙 (内) 10YR4/6 にぶい橙	口縁部は緩く外反する	(外) (内)
A－39号 住居址 第230図－3	甕 土師	口径 残高 4.6 底径 7.0 底部1/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/3にぶい橙	平底より外反して立ち上がる	(外) (内)
A－39号 住居址 第230図－4	甕 土師	口径 残高 2.7 底径 7.0 底部1/4	胎；雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より外反して立ち上がる	(外) (内)
A－40号 住居址 第231図－1	甕 土師	口径 13.1 残高 15.6 底径 口縁1/3胴部1/2	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 球状の胴部より外反して口縁部に至る	(外) 縦位の箆削り (内) 撫で
A－40号 住居址 第231図－2	甕 土師	口径 16.2 残高 5.5 底径 口縁1/3	胎；礫、石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 口縁部は短く「くの字」状に外反する	(外) 横位の箆削り (内)
A－40号 住居址 第231図－3	甕 須恵	口径 11.4 残高 9.0 底径 口縁部1/4胴部-部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5PB5/1青灰 (内) 5B4/1 暗青灰	胴部上位が強く張り口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で　釉 (内) 轆轤による撫で
A－40号 住居址 第231図－4	甕 土師	口径 残高 2.4 底径 6.6 底部のみ	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(外) (内)
A－41号 住居址 第232図－1	甕 弥生	口径 残高 3.7 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR6 3にぶい褐		(外) 波状文を施す (内)
A－41号 住居址 第232図－2	甕 弥生	口径 残高 4.4 底径 頸部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐		(外) 波状文の後簾状文を施す (内)
A－41号 住居址 第232図－3	甕 弥生	口径 残高 4.0 底径 頸部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/3にぶい橙		(外) 波状文の後簾状文を施す (内)
A－41号 住居址 第232図－4	甕 弥生	口径 残高 3.6 底径 頸部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR6/3にぶい橙		(外) 波状文の後簾状文を施す (内)

第85表　住居址出土遺物観察表（33）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－41号 住居址 第232図－5	壺 弥生	口径 17.6 残高 3.1 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 5YR6/6橙		(外) (内) 口縁部横撫で 外面赤色塗彩
A－42号 住居址 第233図－1	蓋 弥生	抓み径 3.7 残高 4.7 裾径 抓み部天井部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	抓み部より外反気味に広がる	(外) 箆磨き (内) 箆削り 外面赤色塗彩
A－42号 住居址 第233図－2	高坏 弥生	口径 残高 5.3 裾径 10.8 脚裾部1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐 (内) 2.5YR4/4にぶい赤褐	裾部で大きく開く	(外) 箆磨き (内) 裾部撫で、脚部箆削り 外面赤色塗彩
A－42号 住居址 第233図－3	甕 弥生	口径 16.2 残高 9.8 底径 口縁胴部1/2	胎；粗砂粒僅かに含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/4暗赤褐~3/1暗赤褐 (内) 2.5YR4/4暗赤褐	口縁部で大きく外反する	(外) 2連止めの簾状文の後波状文を施す 下から上へ施文する (内) 横位の箆磨き
A－42号 住居址 第233図－4	甕 弥生	口径 16.4 残高 6.5 底径 口縁1/2	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4 にぶい黄橙~3/1黒褐 (内) 10YR7/4 にぶい黄橙~3/1黒褐	口縁部で外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す 上から下へ施文する (内) 横撫で、箆磨き
A－42号 住居址 第233図－5	甕 弥生	口径 17.8 残高 7.0 底径 口縁1/3	胎；0.2~0.4の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部で緩やかに外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す 上から下へ施文する (内) 撫で
A－42号 住居址 第233図－6	甕 弥生	口径 残高 6.6 底径 口縁部一部	胎；礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部で「くの字」状に外反する	(外) 2連止めの簾状文の後波状文を施す 下から上へ施文する (内) 撫で
A－42号 住居址 第233図－7	甕 弥生	口径 残高 2.7 底径 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/4暗赤褐 (内) 5YR3/4暗赤褐	口縁部で外反する	(外) 波状文と2連止めの簾状文を施す 上から下へ施文する (内) 撫で
A－42号 住居址 第233図－8	甕 弥生	口径 残高 3.1 底径 5.7 底部1/2	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	平底 底部内側に穴状に削られている	(外) 撫で (内) 箆削り 外内面赤色塗彩
A－42号 住居址 第233図－9	壺 弥生	口径 残高 8.6 底径 8.2 胴部下位底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐~3/1暗赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙~5/2灰褐	平底より立ち上がり直線的に開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の撫での後箆削り 外面赤色塗彩
A－43号 住居址 第234図－1	蓋 弥生	抓み径 5.2 残高 5.4 裾径 抓み部天井部	胎；礫、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/4にぶい赤褐	猪口状の抓を呈す	(外) 刷毛調整の後撫で (内) 抓み部刷毛による撫で
A－43号 住居址 第234図－2	蓋 弥生	抓み径 残高 9.7 裾径 16.4 天井部1/3裾部	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/6 赤 (内) 10YR4/6 赤	粘土帯積み上げ 抓み部から裾部にかけて内弯気味に開く	(外) 横位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－43号 住居址 第234図－3	高坏 弥生	口径 残高 10.4 裾径 16.4 杯部から 脚部	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐~4/2灰赤	脚部ラッパ状を呈し裾部で大きく開く	(外) 脚部縦位の磨き、接合部指頭による撫で付け (内) 撫で 坏部内面脚部外面赤色塗彩
A－43号 住居址 第234図－4	高坏 弥生	口径 残高 3.7 裾径 接合部2/3	胎；0.2の礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 5YR6/6橙		(外) 箆磨き (内) 箆磨き 坏部内面脚部外面赤色塗彩

第86表 住居址出土遺物観察表（34）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－43号 住居址 第234図－5	甕 弥生	口径 残高 8.0 底径 胴から胴部上位2/3	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/2灰赤4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	球形に張った胴部より外反して口縁部に至る	(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す (内) 撫で
A－43号 住居址 第234図－6	甕 弥生	口径 残高 3.1 底径 8.7 底部のみ	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 撫で (内) 箆磨き
A－43号 住居址 第234図－7	甕 弥生	口径 残高 3.2 底径 6.0 底部4/5	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR6/6橙	平底	(外) 箆削り (内)
A－43号 住居址 第234図－8	甕 弥生	口径 残高 2.2 底径 5.3 底部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底	(外) 指頭による圧痕 (内)
A－43号 住居址 第234図－9	甕 弥生	口径 21.2 器高 40.4 底径 口縁から胴部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	上部が張った胴部より外反する口縁に至る	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 撫で
A－43号 住居址 第234図－10	壺 弥生	口径 22.6 残高 14.8 底径 口縁から肩上位1/2	胎；0.4の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6褐~4/1灰褐 (内) 7.5YR5/6褐	口縁部で大きく外反する	(外) 4連止めの簾状文と波状文を施す (内)
A－43号 住居址 第234図－11	壺 弥生	口径 23.7 残高 7.7 底径 口縁1/4	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR5/8明赤褐	口縁部で大きく開いて外反する	(外) (内) 横撫で、箆磨き 外内面赤色塗彩
A－43号 住居址 第234図－12	壺 弥生	口径 残高 2.7 底径 5.0 底部のみ	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	平底	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－43号 住居址 第234図－13	壺 弥生	口径 残高 2.2 底径 4.1 底部のみ	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙~7.5YR3/1黒褐	平底	(外) (内) 外内面赤色塗彩
A－43号 住居址 第234図－14	壺 弥生	口径 残高 3.9 底径 5.1 胴部下位一部から底部	胎；0.3の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－43号 住居址 第234図－15	甑 弥生	口径 残高 2.0 底径 10.7 底部のみ	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	底部に1孔を有する	(外) (内)
A－43号 住居址 第234図－16	ミニチュア甕 弥生	口径 7.4 器高 9.3 底径 4.0 口縁から肩1/2底部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐~3/1黒褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐~3/1黒褐	平底より緩やかに立ち上がり胴部上位で内弯し口縁で外反する	(外) 3連止めの簾状文と波状文を施す (内) 箆削り
A－44号 住居址 第235図－1	高坏 弥生	口径 11.8 残高 6.0 裾径 口縁坏部3/4	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	接合部より口縁部まで直線的に開く	(外) 箆磨き (内) 外内面赤色塗彩
A－44号 住居址 第235図－2	高坏 弥生	口径 残高 11.4 裾径 16.4 脚部裾部2/3	胎；粗砂粒僅かに含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	脚部に三角形の窓を4ケ所持つ	(外) 箆磨き (内) 刷毛による磨き 外面赤色塗彩

第87表　住居址出土遺物観察表（35）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－44号 住居址 第235図－3	高坏 弥生	口径 残高 5.6 裾径 接合部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐 (内) 5YR7/6橙		(外) 縦位の箆磨き (内) 坏部箆磨き 外内面赤色塗彩
A－44号 住居址 第235図－4	高坏 弥生	口径 残高 3.8 裾径 接合部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)5YR4/8 赤褐 (内) 5YR4/8赤褐	接合部	(外) 刷毛調整、箆磨き (内)
A－44号 住居址 第235図－5	甕 弥生	口径 17.7 残高 8.0 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/1暗赤灰 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は大きく外反する	(外) 2連止めの簾状文の後波状文を施す 下から上へ施す (内) 横位の箆磨き
A－44号 住居址 第235図－6	甕 弥生	口径 18.8 残高 6.5 底径 口縁部1/3	胎；粗砂粒を多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙～2/1 黒褐 (内) 5YR6/4にぶい橙～2/1 黒褐	口縁部は外反する	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 横撫で
A－44号 住居址 第235図－7	甕 弥生	口径 残高 13.2 底径 胴部一部	胎；0.2 の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙、5/6 明赤褐 (内) 7.5YR6/6橙	丸みを帯びた胴部より頸部で緩やかに窄み外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す (内)
A－44号 住居址 第235図－8	甕 弥生	口径 残高 12.3 底径 6.0 胴部～底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/8橙	平底より丸みを持って緩やかに立ち上がる	(外) 波状文、胴部箆磨き (内) 胴部箆磨き
A－44号 住居址 第235図－9	甕 弥生	口径 残高 9.0 底径 6.8 胴部～底部	胎；0.2 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/6赤褐	平底より立ち上がり胴部上位で張る	(外) 波状文 (内) 削りの後撫で
A－44号 住居址 第235図－10	甕 弥生	口径 残高 2.3 底径 6.0 底部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/8明赤褐	平底	(外) 胴部縦位の箆磨き (内) 撫で 外面赤色塗彩
A－44号 住居址 第235図－11	壺 弥生	口径 23.2 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/8橙	口縁部は大きく開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－44号 住居址 第235図－12	鉢 弥生	口径 18.9 残高 5.7 底径 口縁部1/4	胎；0.2 の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙～6/3 にぶい褐	直線的に開いて口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 箆磨き
A－45号 住居址 第236図－1	蓋 土師	抓み径 残高 2.3 裾径 5.2 抓み部のみ	胎；石英、白色砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR2/1黒褐		(外) 箆削り (内) 箆磨き
A－45号 住居址 第236図－2	甕 土師	口径 17.5 残高 12.0 底径 口縁部1/2～胴部一部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/6浅黄橙～3/1 黒褐 (内) 7.5YR8/6浅黄橙～3/1 黒褐	球形の胴部より短く外反して口縁部に至る 口唇部は面取りが施される	(外) 口縁部横撫で (内)
A－45号 住居址 第236図－3	甕 土師	口径 残高 2.1 底径 4.6 底部のみ	胎；石英、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－45号 住居址 第236図－4	甕 土師	口径 残高 2.5 底径 6.4 底部のみ	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/1褐灰 (内) 5YR4/4にぶい赤褐	平底	(外) (内)

第88表　住居址出土遺物観察表（36）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－45号 住居址 第236図－5	甕 土師	口径 残高 2.6 底径 5.2 底部のみ	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内)
A－45号 住居址 第236図－6	壺 土師	口径 17.7 残高 5.7 底径 口縁部3/4	胎；0.2～0.4の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/4浅黄橙 7/3にぶい橙 (内) 7.5YR8/4浅黄橙 7/3にぶい橙	口縁部は段を有して外反する	(外) 口縁部横撫で (内) 口縁部横撫で
A－45号 住居址 第236図－7	壺 土師	口径 15.4 残高 5.4 底径 口縁部1/4	胎；0.2～0.4の礫、石英を含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/6浅黄橙 7/3にぶい橙 (内) 7.5YR8/6浅黄橙 7/3にぶい橙	口縁部は段を有して外反する	(外) 口縁部横撫で (内) 口縁部横撫で
A－45号 住居址 第236図－8	壺 土師	口径 13.9 残高 6.1 底径 口縁部1/4	胎；0.2～0.5の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR8/3 浅黄橙 (内) 10YR8/3 浅黄橙	口縁部は段を有して外反する	(外) 口縁部刷毛による横撫で (内) 口縁部横撫で
A－45号 住居址 第236図－9	壺 土師	口径 残高 5.7 底径 胴部一部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 10YR8/3 浅黄橙 6/2灰黄褐 (内) 10YR8/3 浅黄橙 6/2灰黄褐	胴部は球形を呈する	
A－45号 住居址 第236図－10	鉢 土師	口径 残高 3.1 底径 2.6 底部のみ	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R4/6赤	平底	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩面
A－46号 住居址 第237図－1	高坏 弥生	口径 16.1 残高 6.5 裾径 口縁部から体部1/4	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	内弯しながら開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 撫で
A－46号 住居址 第237図－2	高坏 弥生	口径 残高 7.8 裾径 19.6 脚部一部	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	脚部より裾部は緩やかに広がる	(外) 縦位の箆磨き (内) 撫で 外面赤色塗彩面
A－46号 住居址 第237図－3	甕 弥生	口径 9.8 残高 3.3 底径 口縁部1/4	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3にぶい赤褐 6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す 下から上へ施文する (内)
A－46号 住居址 第237図－4	甕 弥生	口径 19.1 残高 6.5 底径 口縁部一部	胎；0.2の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 3/4暗赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐 3/4暗赤褐	口縁部は外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内)
A－46号 住居址 第237図－5	甕 弥生	口径 残高 2.6 底径 4.2 底部のみ	胎；0.2～0.3の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3にぶい赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底	(外) 底部箆削り (内)
A－46号 住居址 第237図－6	甕 弥生	口径 残高 2.0 底径 4.8 底部のみ	胎；0.2の礫、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内)
A－46号 住居址 第237図－7	土製 勾玉 弥生	縦 2.0 幅 0.8 重さ 2g 完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) (内)
A－47号 住居址 第238図－1	坏 須恵	口径 残高 1.4 底径 5.1 底部1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10Y5/1灰 (内) 10Y5/1灰	平底	(外) 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で

第89表　住居址出土遺物観察表（37）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－47号 住居址 第238図－2	甕 土師	口径 残高 1.2 底径 4.4 底部1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 7.5YR4/1褐灰	平底	(外) 底部回転糸切り (内) 黒色処理
A－47号 住居址 第238図－3	甕 土師	口径 23.8 残高 5.8 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR5/8明赤褐	口縁部は外反する	(外) 口縁部横撫で、胴部箆削り (内) 口縁部横撫で、胴部箆削り
A－48号 住居址 第239図－1	壺 弥生	口径 残高 14.3 底径 頸部1/3	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 4/1赤灰 (内) 2.5YR5/8明赤褐 4/1赤灰	頸部で窄まり外反する口縁部に至る	(外) 頸部にT字文を施す (内) 剥落
A－49号 住居址 第240図－1	蓋 須恵	抓み径 3.6 残高 1.7 裾径 抓み天井部一部	胎；0.2の礫、粗砂粒僅かに含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/1灰 (内) 7.5YR4/1灰	抓み部はボタン状を呈する	(外) 天井部轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
A－49号 住居址 第240図－2	蓋 須恵	抓み径 残高 1.4 裾径 17.8 裾部一部	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/2オリーブ黒 (内) 7.5YR3/2オリーブ黒	裾部は短く屈曲して内傾する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
A－49号 住居址 第240図－3	坏 土師	口径 11.4 器高 3.8 底径 体部1/2口唇1/3	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	丸底より緩い稜を経て僅かに外反する口縁部に至る	(外) 口縁部撫で、底部から体部箆状工具による削り (内) 撫での後箆削りの後箆磨き
A－49号 住居址 第240図－4	坏 土師	口径 11.7 器高 5.2 底径 口唇部から底部1/2	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/3暗褐 (内) 7.5YR3/1黒褐	丸底より稜を有し僅かに外反口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、体部箆状工具による削り (内) 轆轤による撫で
A－49号 住居址 第240図－5	坏 土師	口径 20.6 器高 3.8 底径 ほぼ完形	胎；0.2の礫、粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	丸底より丸みを持って立ち上がり緩い稜を経て口縁部で僅かに外反する	(外) 口縁部横撫で、体部箆状工具による削りの後磨き (内) 撫での後箆状工具による放射状の磨き
A－49号 住居址 第240図－6	坏 土師	口径 8.0 器高 4.3 底径 ほぼ完形	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/1褐灰	丸底より緩い稜を経て外傾する口縁部に至る	(外) 口縁部撫で、体部から底部箆状工具による磨き (内) 横撫での後箆磨き
A－49号 住居址 第240図－7	坏 須恵	口径 10.8 器高 3.9 底径 完形	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/1 褐灰 (内) 10YR5/1 褐灰	丸底より広がりながら立ち上がり、稜に最大径を持ち口縁部は内傾する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
A－49号 住居址 第240図－8	甕 土師	口径 残高 10.0 底径 胴下位1/2	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3にぶい赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	胴部は緩やかに立ち上がる	(外) 刷毛による斜位の撫で胴部下位磨き (内) 刷毛の後箆削り
A－49号 住居址 第240図－9	甕 土師	口径 18.2 器高 27.1 底径 5.4 口唇一部胴部から底部	胎；礫、雲母、金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/6橙	粘土帯積み上げ 丸みのある胴部より「くの字」状に外反して口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で 胴部縦位の箆削り (内) 横位の箆削り
A－49号 住居址 第240図－10	甕 土師	口径 29.6 残高上部11.3 下部 7.3 口唇上4/5胴下底部	胎；0.2~0.4の礫，石英、粗砂粒含 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3褐 5/4 にぶい褐 (内) 7.5YR4/3褐 5/4 にぶい褐	張りのない胴部より外反する口縁部に至る	(外) 撫での後縦位の削り (内) 撫で
A－49号 住居址 第240図－11	甕 土師	口径 15.8 残高上部 9.3 下部 7.7 口から胴上位下2/3	胎；石英を多量、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/8明赤褐	粘土帯積み上げ 口縁部は外反する	(外) 縦位の箆削り (内)

第90表　住居址出土遺物観察表（38）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－49号 住居址 第240図－12	甕 土師	口径 残高 20.6 底径 胴部-都底部	胎；0.2~0.3 の礫、石英、粗砂粒多 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/3暗褐～2/2 黒褐 (内) 7.5YR3/4暗褐	粘土帯積み上げ 丸底気味の底部より緩やかに開きながら立ち上がる	(外) 縦位の箆削り (内) 縦位の箆削り
A－49号 住居址 第240図－13	壺 土師	口径鰯11.1 残高 7.1 底径 頸部2/3	胎；礫、粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	頸部で「コの字」状を呈す	(外) 頸部横撫での後箆状工具による縦位の文様状の磨き (内) 頸部横撫で
A－50号 住居址 第241図－1	高坏 弥生	口径 残高 3.9 裾径 接合部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙		(外) 箆磨き (内)
A－50号 住居址 第241図－2	甕 土師	口径 残高 10.1 底径 6.8 1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR4/2灰褐	平底より立ち上がる	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－50号 住居址 第241図－3	甕 弥生	口径 20.8 残高 20.0 底径 口から胴鰯1/3	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/2灰褐	張りのない胴部より緩く外反する口縁部に至る	(外) 1連止めの簾状文と波状文を施す (内) 横位の箆削り、撫で
A－50号 住居址 第241図－4	甕 弥生	口径 残高 10.0 底径 5.4 底部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR4/3褐	平底より立ち上がる	(外) 撫で (内) 撫で
A－50号 住居址 第241図－5	鉢 弥生	口径 15.4 残高 4.3 底径 口縁部のみ	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6灰赤 (内) 5YR6/3にぶい橙		(外) 箆磨き (内) 箆磨き
A－51号 住居址 第242図－1	坏 土師	口径 10.0 器高 11.4 底径 口1/4鰯1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	丸底より球形に張った体部を経て僅かに外傾する口縁部に至る	(外) 箆削り (内) 撫で
A－51号 住居址 第242図－2	坏 土師	口径 14.0 器高 4.2 底径 口縁部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/1明褐灰	丸底より緩やかに立ち上がり口縁部に至る	(外) 箆削り、撫で (内) 箆削り、撫で
A－51号 住居址 第242図－3	高坏 土師	口径 14.0 残高 6.8 裾径 坏部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	稜を経て外反する口縁部に至る	(外) 箆削り、撫で、箆磨き (内) 箆削り、撫で、箆磨き
A－51号 住居址 第242図－4	高坏 土師	口径 17.8 残高 4.7 裾径 口縁部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR3/1黒褐	緩い稜を経て大きく開く口縁に至る	(外) 横位の箆削り (内) 箆磨き
A－51号 住居址 第242図－5	甕 土師	口径 15.4 残高 7.6 底径 口縁から胴部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/6暗赤褐 (内) 5YR3/3暗赤褐	緩やかな胴部より外反する口縁に至る	(外) 撫での後箆磨き (内) 撫での後箆磨き
A－51号 住居址 第242図－6	甕 土師	口径 残高 10.9 底径 6.9 胴から底部	胎；礫を多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/3暗赤褐 (内) 5YR4/6赤褐	平底より立ち上がり直線的に開く胴部に移行する	(外) 箆削り、底部に木葉痕有り (内) 箆削り
A－51号 住居址 第242図－7	甕 土師	口径 20.2 残高 30.8 底径 口縁から胴部	胎；礫を多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/6赤褐	張りのない胴部より外反する口縁部に至る	(外) 縦位の箆削り、口縁部横撫で (内) 横位の箆削り

第91表　住居址出土遺物観察表（39）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－52号 住居址 第243図－1	坏 土師	口径 13.6 器高 3.4 底径 1/5	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/2明褐灰 (内) 5YR5/2灰褐	丸底より緩やかに立ち上がり内弯気味に開いてそのまま口縁部に至る	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆削りの後箆磨き
A－52号 住居址 第243図－2	坏 土師	口径 12.4 残高 4.3 底径 1/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR6/2灰褐	丸底より内弯して開き、そのまま口縁部に至る	(外) 箆削り (内) 箆磨き
A－52号 住居址 第243図－3	坏 土師	口径 14.0 残高 3.8 底径 口縁部1/3	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/1明褐灰	内弯して開き僅かに外反する口縁部に至る	(外) 横位の箆削りの後磨き (内) 横位の箆削りの後磨き
A－52号 住居址 第243図－4	坏 土師	口径 12.0 器高 4.1 底径 1/4	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/3 にぶい黄橙 (内) 10YR4/1 褐灰	丸底より緩い稜を経て外傾する口縁部に至る	(外) 箆削り (内) 箆磨き
A－52号 住居址 第243図－5	坏 土師	口径 14.4 残高 5.2 底径 1/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	丸底より緩やかに立ち上がり僅かに外反する口縁部に至る	(外) 横位の箆削り、横撫での後箆磨き (内) 横位の箆削り、横撫での後箆磨き
A－52号 住居址 第243図－6	坏 土師	口径 14.7 残高 6.8 底径 口縁部1/2	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	丸みを持って僅かに開く胴部よりそのまま口縁部に至る	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆削りの後箆磨き
A－52号 住居址 第243図－7	坏 土師	口径 11.8 器高 18.4 底径 1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	丸底より緩やかに立ち上がり偏平に張った体部より屈曲して外傾する口縁部に至る	(外) 箆削りの後撫で (内) 箆削りの後撫で
A－52号 住居址 第243図－8	高坏 土師	口径 残高 9.6 裾径 14.3 脚部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR5/1褐灰	脚部は外反して開く	(外) 撫で (内) 撫で
A－52号 住居址 第243図－9	甕 土師	口径 21.0 器高 34.0 底径 1/3	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR4/4にぶい赤褐	丸底より緩やかに立ち上がり長く張りのない胴部より屈曲して外傾する口縁に至る	(外) 箆削り (内) 箆削り ㊟
A－52号 住居址 第243図－10	甕 土師	口径 23.0 残高 13.7 底径 口縁から胴部	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/2灰褐 (内) 7.5YR7/2明褐灰	丸みを持って開き、僅かに外反する口縁部に至る	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－52号 住居址 第243図－11	甕 土師	口径 残高 16.8 底径 5.5 胴部1/2	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR6/3にぶい橙	平底より立ち上がり長く張りのない胴部に移行する	(外) 箆削り (内) 箆削り
A－53号 住居址 第244図－1	高坏 弥生	口径 16.8 残高 6.1 底径 坏部のみ	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	接合部より稜を経て直立気味に立ち上がり、外反する口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩面
A－53号 住居址 第244図－2	壺 弥生	口径 残高 4.5 底径 5.1 底部のみ	胎；石英、礫を多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR7/3にぶい橙	平底より立ち上がり丸みのある胴部に移行する	(外) (内)
A－53号 住居址 第244図－3	壺 弥生	口径 残高 13.1 底径 28.0 口縁部のみ	胎；礫、粗砂粒を多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	外反して大きく開く口縁部に至る	(外) 縦位の刷毛調整 (内)

第92表　住居址出土遺物観察表（40）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－53号 住居址 第244図－4	壺 弥生	口径 残高 11.5 底径 12.6 底部のみ	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	平底より立ち上がり外反して開く胴部に移行する	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆削り、撫で 外面赤色塗彩
A－54号 住居址 第245図－1	甕 弥生	口径 残高 3.2 底径 6.5 底部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR6/6橙	平底	(外) (内)
A－54号 住居址 第245図－2	鉢 弥生	口径 残高 2.5 底径 7.0 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR7/3にぶい橙	平底	(外) 箆磨き (内) 撫で 外面赤色塗彩
A－55号 住居址 第246図－1	壺 弥生	口径 残高 底径 口縁部のみ	胎；礫を多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	外反して大きく開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 内面赤色塗彩
A－56号 住居址 第247図－1	高坏 弥生	口径 残高 13.3 裾径 13.1 坏部から脚部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	坏部は接合部より丸みを持って開く 脚部は接合部より緩やかに外反して開く裾部に至る	(外) 坏部から脚部は箆磨き (内) 坏部箆磨き、脚部は横箆削り 外面と坏部内面赤色塗彩
A－56号 住居址 第247図－2	高坏 弥生	口径 残高 7.2 裾径 8.8 脚部のみ	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	脚部は「ハの字」状に開く	(外) 箆磨き (内) 撫で 外面赤色塗彩
A－56号 住居址 第247図－3	高坏 弥生	口径 残高 4.4 裾径 坏部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR6/4にぶい橙		(外) 箆磨き (内) 坏部箆磨き、脚部箆削り 外面・坏部内面赤色塗彩
A－56号 住居址 第247図－4	高坏 弥生	口径 残高 9.8 裾径 14.8 脚部のみ	胎；粗砂粒を多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/8赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	緩やかに外反する脚部	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆削り 外面赤色塗彩
A－56号 住居址 第247図－5	甕 弥生	口径 11.2 器高 10.9 底径 5.6 ほぼ完形	胎；礫を多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/2明褐灰 (内) 7.5YR7/2明褐灰	平底より立ち上がり胴部上位が強く張り、外反する口縁部に至る	(外) 崩れた波状文を施す (内) 撫で
A－56号 住居址 第247図－6	甕 弥生	口径 17.5 器高 25.0 底径 6.4 口縁から底部	胎；粗砂粒を多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より立ち上がり緩やかに丸みを持つ胴部より外反する口縁部に至る	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 箆削り、撫で
A－56号 住居址 第247図－7	甕 弥生	口径 残高 7.3 底径 頸部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/8橙	小型の甕	(外) 櫛描直線文と波状文を施す (内) 横位の箆削り
A－56号 住居址 第247図－8	鉢 弥生	口径 19.4 器高 11.9 底径 5.2 1/4	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底より立ち上がり丸みを持ちながら口縁部に向かって開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆削りの後横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－56号 住居址 第247図－9	不明 弥生	口径 残高 2.9 底径	胎；石英、雲母を多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR4/4にぶい赤褐	内部が空洞になっている	(外) 沈線による文様構成 (内)
A－57号 住居址 第248図－1	蓋 弥生	抓み径 残高 4.3 裾径 抓み部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 2.5YR4/6赤褐	抓み部より直線的に裾部に向かって開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き

第９３表　住居址出土遺物観察表（４１）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－57号 住居址 第248図－2	高坏 弥生	口径 残高 5.4 裾径 13.8 脚部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR6/6橙	脚部は「ハの字」状に開く	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 横位の箆削り 外面赤色塗彩
A－57号 住居址 第248図－3	高坏 弥生	口径 残高 6.2 裾径 脚部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR6/8橙	4単位の三角形の透かしを持つ	(外) (内) 外面赤色塗彩
A－58号 住居址 第249図－1	高坏 弥生	口径 残高 2.4 裾径 接合部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R6/6赤橙		(外) 箆磨き (内) 坏部箆磨き 外面坏部内面赤色塗彩
A－58号 住居址 第249図－2	甕 弥生	口径 17.5 残高 10.5 底径 口縁部1/6	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/2明褐灰	口縁部は緩く外反し先端でやや内側で折れる	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 板状工具による撫で
A－58号 住居址 第249図－3	壺 弥生	口径 残高 7.5 底径 口縁部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	口縁部は外反して開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－58号 住居址 第249図－4	壺 弥生	口径 残高 13.0 底径 頸部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙		(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－58号 住居址 第249図－5	鉢 弥生	口径 7.0 器高 2.8 底径 4.7 口縁から底部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	平底より立ち上がり外反する口縁部に至る	(外) 底部箆削り、撫で (内) 撫で
A－59号 住居址 第250図－1	蓋 弥生	抓み径 器高 2.3 裾径 16.6 1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 10R5/6赤	裾部は短く折れる 裾部に2ケ1組の孔を穿つ	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－59号 住居址 第250図－2	高坏 弥生	口径 36.0 残高 7.2 裾径 口縁部1/6	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4赤褐 (内) 10R5/6赤	直線的に開いて外反する口縁部に至る	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆削りの後箆磨き
A－59号 住居址 第250図－3	甕 弥生	口径 13.1 残高 6.9 底径 口縁から胴部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は外反する	(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す (内) 横位の箆削り
A－59号 住居址 第250図－4	甕 弥生	口径 13.0 残高 12.1 底径 口縁から胴部一部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6明赤褐 (内) 5YR4/8赤褐	丸みのある胴部より外反する口縁部に至る	(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す (内) 箆削り
A－59号 住居址 第250図－5	甕 弥生	口径 残高 7.6 底径 頸部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/3にぶい赤褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐		(外) 波状文を施した後2連止めの簾状文を施す (内) 撫で
A－59号 住居址 第250図－6	甕 弥生	口径 残高 7.7 底径 3.0 胴から底部	胎；微砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	平底より立ち上がり丸みを持って胴部に移行する	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆磨き
A－59号 住居址 第250図－7	壺 弥生	口径 残高 6.9 底径 5.0 胴から底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4にぶい赤褐 (内) 10R4/8赤	平底より立ち上がり外反して開く胴部に移行する	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆削りの後箆磨き 外内面赤色塗彩

第94表　住居址出土遺物観察表（42）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－59号 住居址 第250図－8	ミニチュア 弥生	口径 5.4 器高 2.1 底径 2.3 口縁から底部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	手捏ね	(外) 指頭による撫で (内) 指頭による撫で
A－60号 住居址 第251図－1	高坏 弥生	口径 残高 4.0 裾径 7.0 脚部1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6暗赤 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	「ハの字」状に開く脚部	(外) 箆磨き (内) 外面赤色塗彩
A－60号 住居址 第251図－2	甕 弥生	口径 11.6 器高 14.2 底径 5.0 ほぼ完形	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/3にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底より立ち上がり張りのない胴部より外反する口縁に至る	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 箆削り、箆磨き
A－60号 住居址 第251図－3	甕 弥生	口径 11.0 器高 12.7 底径 5.1 1/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より立ち上がり緩やかな曲線を描く胴部より外反する口縁部に至る	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 撫で
A－60号 住居址 第251図－4	甕 弥生	口径 残高 5.2 底径 6.0 胴部から底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR6/8橙	平底より立ち上がり丸みを持って胴部に移行する	(外) 縦位の箆削り (内) 撫で
A－60号 住居址 第251図－5	鉢 弥生	口径 17.5 器高 7.3 底径 5.9 1/3	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR6/3にぶい橙	平底より立ち上がり丸みを持って開いてそのまま口縁部に至る	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－60号 住居址 第251図－6	鉢 弥生	口径 12.1 器高 6.4 底径 4.9 2/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR6/6橙	平底より立ち上がり丸みを持って開いてそのまま口縁部に至る	(外) 縦位の箆削り (内) 箆削り
A－61号 住居址 第252図－1	甕 弥生	口径 残高 2.8 底径 11.0 底部のみ	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内)
A－61号 住居址 第252図－2	甕 弥生	口径 残高 3.5 底径 13.2 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	平底	(外) (内)
A－62号 住居址 第253図－1	甕 弥生	口径 12.8 残高 5.9 底径 口縁部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は緩く外反する	(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す (内)
A－62号 住居址 第253図－2	甕 弥生	口径 残高 7.2 底径 口縁部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す (内) 箆磨き
A－62号 住居址 第253図－3	壺 弥生	口径 19.9 残高 16.5 底径 口縁から頸部	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) T字文を施す、箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－62号 住居址 第253図－4	壺 弥生	口径 残高 2.0 底径 6.6 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内)
A－63号 住居址 第254図－1	坏 土師	口径 8.9 器高 5.3 底径 4.3 2/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がり丸みのある体部よりそのまま口縁部に至る	(外) 箆削り (内) 箆削り

第95表　住居址出土遺物観察表（43）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－63号 住居址 第254図－2	坏 土師	口径 残高 4.0 底径 6.0 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底	(外) 底部回転糸切り (内) 撫で
A－63号 住居址 第254図－3	甕 土師	口径 18.6 残高 6.5 底径 口縁部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は外反する	(外) 横位の箆削り (内) 撫で
A－63号 住居址 第254図－4	甕 土師	口径 残高 5.0 底径 6.6 胴部から底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がる	(外) 横位の箆削り (内) 撫で
A－64号 住居址 第255図－1	高坏 弥生	口径 11.8 残高 6.6 裾径 口縁部のみ	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	接合部より開き稜を経て外反する口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－64号 住居址 第255図－2	高坏 弥生	口径 残高 11.2 裾径 坏部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/8橙 (内) 5YR6/6橙	接合部より僅かに丸みを持って開き口縁部で屈曲する 脚部に円形の透かしを穿つ	(外) (内) 坏部外内面赤色塗彩 埋甕炉
A－64号 住居址 第255図－3	高坏 弥生	口径 残高 10.2 裾径 脚部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/8橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	接合部より直線的に開く	(外) (内) 坏部外内面赤色塗彩
A－64号 住居址 第255図－4	高坏 弥生	口径 残高 7.6 裾径 10.4 脚部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/4暗赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	脚部は「ハの字」状に開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 撫で
A－64号 住居址 第255図－5	甕 弥生	口径 17.0 残高 13.9 底径 口縁から胴部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR5/6明赤褐	丸みのある胴部より外反する口縁部に至る	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 箆削り
A－64号 住居址 第255図－6	甕 弥生	口径 20.2 残高 22.1 底径 口縁から胴部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	丸みのある胴部より緩く外反する口縁部に至る	(外) 簾状文と波状文を施す 箆削り (内) 箆磨き
A－64号 住居址 第255図－7	甕 弥生	口径 22.0 残高 17.4 底径 口縁1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR7/6橙	丸みのある胴部より屈曲して外反する口縁部に至る	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 箆磨き
A－64号 住居址 第255図－8	甕 弥生	口径 13.6 器高 16.3 底径 口縁から底部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底より立ち上がり緩やかな屈曲を描く胴部より外反する口縁部に至る	(外) 3連止めの簾状文と波状文を施す (内) 箆削り
A－64号 住居址 第255図－9	甕 弥生	口径 15.6 残高 13.4 底径 口縁から胴部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/6橙	張りのない胴部より緩く外反する口縁に至る	(外) 簾状文と波状文を施す (内)
A－64号 住居址 第255図－10	台付 甕 弥生	口径 13.5 器高 17.7 底径 8.4 3/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	接合部より丸みを持って立ち上がり張りのある胴部より外反する口縁部に至る　脚部は「ハの字」状に開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 縦位の箆磨き 外内面赤色塗彩
A－64号 住居址 第255図－11	壺 弥生	口径 25.7 残高 10.1 底径 口縁部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は外反して開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩

第96表　住居址出土遺物観察表（44）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－64号 住居址 第255図－12	鉢 弥生	口径 23.6 器高 12.4 底径 6.2 2/3	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底より立ち上がり僅かに丸みを持って開いてそのまま口縁部に至る	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆削りの後箆磨き 外内面赤色塗彩
A－64号 住居址 第255図－13	甕 弥生	口径 残高 8.8 底径 5.3 胴部から底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底に1孔を穿つ	(外) 縦位の箆削り (内) 撫で
A－64号 住居址 第255図－14	甕 弥生	口径 残高 4.6 底径 5.2 底部のみ	胎；礫を多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR6/6橙	平底に1孔を穿つ	(外) 箆削り (内) 撫で
A－65号 住居址 第256図－1	甕 弥生	口径 18.8 残高 13.8 底径 口縁から胴部	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	張りのある胴部より外反する口縁部に至る	(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す (内) 箆削り
A－65号 住居址 第256図－2	甕 弥生	口径 残高 15.3 底径 頸部から胴部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	張りのある胴部より外反する口縁に移行する	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 箆削り
A－65号 住居址 第256図－3	壺 弥生	口径 残高 19.0 底径 10.6 胴部から底部	胎；礫粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/6浅黄橙 (内) 7.5YR8/6浅黄橙	平底より立ち上がりゆるい稜を持って強く張る胴部に移行する	(外) (内)
A－65号 住居址 第256図－4	鉢 弥生	口径 9.0 器高 5.0 底径 4.2 1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底より立ち上がり僅かに丸みを持って開きそのまま口縁部に至る	(外) 撫で (内) 撫で
A－66号 住居址 第257図－1	坏 土師	口径 16.2 器高 4.0 底径 11.2 口縁部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がり僅かに丸みを持って開いてそのまま口縁部に至る	(外) 撫で、箆削り (内) 撫で
A－66号 住居址 第257図－2	高坏 須恵	口径 18.1 残高 7.5 底径 坏部1/3	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) N5/0灰 (内) 7.5Y5/1 灰	接合部より丸みを持って開き強い稜を経て僅かに外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で、削り波状文を施す (内) 轆轤による撫で
A－66号 住居址 第257図－3	甕 土師	口径 23.3 器高 14.2 裾径 9.0 1/2	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/6橙	上げ底気味の底部より立ち上がり丸みを持って開き稜を経て外反する口縁部に至る	(外) 底部に木葉痕が施される胴部は箆削り、指頭による撫で、口縁部横撫で (内) 箆磨き
A－66号 住居址 第257図－4	甕 土師	口径 残高 9.1 底径 底部のみ	胎；礫を多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 5Y4/1 灰	丸底気味の底部	(外) 箆削り (内) 横位の箆削り
A－67号 住居址 第258図－1	甕 弥生	口径 15.0 残高 12.8 底径 口縁から胴部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/6赤褐	張りのない胴部より外反する口縁部に至る	(外) 簾状文と波状文を施す 箆磨き (内) 箆磨き
A－67号 住居址 第258図－2	甕 弥生	口径 14.0 残高 5.0 底径 口縁部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は外反する	(外) (内)
A－67号 住居址 第258図－3	壺 弥生	口径 残高 4.5 底径 7.0 底部のみ	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	平底	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 撫での後箆磨き 外内面赤色塗彩

第97表　住居址出土遺物観察表（45）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－67号 住居址 第258図－4	鉢 弥生	口径 10.8 器高 6.1 底径 2.4 2/3	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がり丸みを持って開いて口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 外面赤色塗彩
A－68号 住居址 第259図－1	高坏 弥生	口径 残高 5.8 裾径 脚部のみ	胎；粗砂多量に含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	接合部より外反して開く脚部 三角形の透かしを3ケ所持つ	(外) 箆磨き (内) 撫で 外面赤色塗彩
A－68号 住居址 第259図－2	甕 弥生	口径 17.8 残高 23.0 底径 胴部から脚1/6	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	緩やかな曲線を描く胴部より外反する口縁部に至る	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 撫で
A－68号 住居址 第259図－3	壺 弥生	口径 残高 3.8 底径 4.4 底部のみ	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R4/8赤	平底より立ち上がり外反気味に開く胴部に移行する	(外) 縦位の箆磨き (内) 箆削りの後箆磨き 外内面赤色塗彩
A－68号 住居址 第259図－4	深鉢 弥生	口径 13.8 残高 5.1 底径 口縁部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐 (内) 5YR6/6橙	口縁部は外反する 2ケ1組の孔を口縁部に穿つ	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
A－69号 住居址 第260図－1	蓋 弥生	抓み径 残高 7.4 裾径 裾部一部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	抓み部より外反して開く 天井部に1孔を穿つ	(外) 箆磨き (内) 箆磨き
A－69号 住居址 第260図－2	高坏 弥生	口径 残高 9.9 裾径 17.6 脚部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8赤 (内) 5YR5/8明赤褐	脚部は外反して開いて裾部に至る	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の撫で
A－70号 住居址 第261図－1	坏 土師	口径 14.4 器高 4.6 底部 6.5 2/3	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 10YR3/1 黒褐	平底より立ち上がり内弯して開き、そのまま口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 箆磨き 黒色処理
A－71号 住居址 第262図－1	坏 土師	口径 11.8 器高 3.8 底径 4.5 1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より立ち上がり丸みを持って開いてそのまま口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
A－72号 住居址 第263図－1	坏 土師	口径 13.3 器高 4.1 底径 6.7 2/3	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 10R4/3赤褐 (内) 10R4/3赤褐	丸底気味の平底より緩やかに立ち上がり僅かに内弯して開き、そのまま口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部箆切り (内) 轆轤による撫で
A－72号 住居址 第263図－2	坏 須恵	口径 13.3 器高 3.9 底径 6.7 2/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/3赤褐 (内) 10R4/3赤褐	丸底気味の平底より緩やかに立ち上がり僅かに内弯して開き、そのまま口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部箆切り (内) 轆轤による撫で
A－72号 住居址 第263図－3	坏 須恵	口径 14.5 器高 4.6 底径 6.1 3/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5Y7/1 灰白 (内) 5Y8/1 灰白	平底より緩やかに立ち上がり僅かに外傾する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部箆切り (内) 轆轤による撫で
A－72号 住居址 第263図－4	坏 須恵	口径 12.6 器高 4.9 底径 8.6 1/3	胎；礫を含む 焼；良好 色；(外) 2.5GY5/1明オリーブ灰 (内) 2.5GY5/1明オリーブ灰	平底より立ち上がり直線的に開き、そのまま口縁部に至る 口唇部面取りを施す	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
A－72号 住居址 第263図－5	壺 須恵	口径 12.2 器高 11.3 底径 10.1 3/4	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5PB5/1青灰 (内) 5PB5/1青灰	高台付の底部より緩やかに立ち上がり、稜を持って内側に屈曲して口縁部に至る 口唇部は面取りを施す	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で

第98表　住居址出土遺物観察表（46）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
A－73号 住居址 第264図－1	甕 弥生	口径 21.0 残高 11.4 底径 口縁から胴部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR6/6橙	張りのある胴部より外反する口縁に至る	(外) 簾状文と波状文を施す (内) 箆削り、箆磨き
A－73号 住居址 第264図－2	甕 弥生	口径 残高 5.5 底径 胴部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙		(外) 波状文を施す (内) 撫で
A－73号 住居址 第264図－3	高坏 弥生	口径 36.8 残高 10.5 裾径 坏部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐 (内) 5YR6/6橙	直線的に大きく開き屈曲して外反する口縁部に至る 山形突起を持つ	(外) 口縁部横位の箆磨き 坏部縦位の箆磨き (内) 横位の刷毛調整の後箆磨き 外内面赤色塗彩
A－73号 住居址 第264図－4	鉢 弥生	口径 12.2 器高 6.1 底径 4.4 1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8赤 (内) 10R5/8赤	平底より立ち上がり直線的に開いてそのまま口縁部に至る	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－401号 住居址 第265図－1	高坏 弥生	口径 11.0 残高 4.7 裾径 口縁から胴1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 10R5/6赤	口縁部は直線的に開く	(外) 箆削り (内) 横撫で 外内面赤色塗彩
B－401号 住居址 第265図－2	高坏 土師	口径 残高 9.3 裾径 11.2 脚部のみ	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	脚部は接合部より大きく開く	(外) 箆削り、箆磨き (内) 外内面赤色塗彩
B－401号 住居址 第265図－3	高坏 土師	口径 残高 3.2 裾径 接合部のみ	胎；礫、石英、雲母含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) 箆削り (内)
B－401号 住居址 第265図－4	甕 土師	口径 14.0 器高 9.3 底径 口縁から胴部	胎；礫多量、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR4/4にぶい赤褐	丸底より立ち上がり球状の胴部より外反する口縁に至る	(外) 口縁部横撫で、胴部箆削り (内) 箆削り
B－401号 住居址 第265図－5	甕 弥生	口径 10.4 器高 9.1 底径 4.2 口縁～胴2/3底部	胎；雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より立ち上がり肩が緩く張った胴部より外反する口縁部に至る	(外) 簾状文の後波状文を施す 箆削り (内) 箆削りの後撫で
B－401号 住居址 第265図－6	甕 弥生	口径 残高 2.1 底径 5.8 底部1/2	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R6/8赤橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－401号 住居址 第265図－7	甕 土師	口径 残高 5.7 底径 4.2 底から胴部一部	胎；金雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 10YR6/4 にぶい黄橙	平底より立ち上がり丸みのある胴部に移行する	(外) 箆削り、箆磨き (内) 箆削り、箆磨き
B－401号 住居址 第265図－8	甕 弥生	口径 残高 12.3 底径 頸部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 3連止めの簾状文を施す 胴部に波状文を施す (内)
B－401号 住居址 第265図－9	甕 弥生	口径 24.0 残高 3.7 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 7.5YR4/2灰褐	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文を施す (内)
B－401号 住居址 第265図－10	甕 土師	口径 2.2 残高 8.4 底径 底部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(外) 箆削り (内) 撫で

第９９表　住居址出土遺物観察表（４７）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態ほか	整形ほか
B－401号 住居址 第 265図－11	壺 弥生	口径 残高 10.5 底径 11.0 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 7.5YR5/1褐灰	平底より外反気味に大きく開く	(外) 横位の箆磨き (内) 剥落している 外面赤色塗彩
B－401号 住居址 第 265図－12	壺 弥生	口径 残高 2.9 底径 3.9 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 5Y6/6 橙	平底より立ち上がる	(外) 箆削り (内) 箆削り 外内面赤色塗彩
B－402号 住居址 第 266図－1	甕 弥生	口径 15.4 残高 6.0 底径 口縁1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/3にぶい褐		(外) 波状文と簾状文を施す (内) 箆磨き
B－402号 住居址 第 266図－2	甕 弥生	口径 残高 4.7 底径 5.1 底部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 箆磨き (内) 箆磨き
B－402号 住居址 第 266図－3	甕 弥生	口径 残高 3.5 底径 7.1 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 縦位の箆磨き (内) 箆削り
B－402号 住居址 第 266図－4	甕 弥生	口径 残高 2.2 底径 5.9 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/2灰赤	平底	(外) 箆磨き、箆削り (内) 箆磨き、箆削り
B－402号 住居址 第 266図－5	甕 弥生	口径 23.2 残高 32.4 底径 1/2	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	緩やかに肩の張った胴部より外反する口縁に至る	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 箆削り、撫で
B－402号 住居址 第 266図－6	壺 弥生	口径 26.7 残高 9.2 底径 口縁1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は朝顔状に外反する	(外) (内)
B－402号 住居址 第 266図－7	壺 弥生	口径 26.8 残高 8.2 底径 口縁1/4	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は朝顔状に外反する	(外) 箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－402号 住居址 第 266図－8	壺 弥生	口径 27.0 残高 6.2 底径 口縁部一部	胎；礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR6/6橙	口縁部は朝顔状に外反する	(外) 大きく外反する (内) 箆磨き 内面赤色塗彩
B－402号 住居址 第 266図－9	壺 弥生	口径 残高 5.0 底径 頸部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR5/3にぶい赤褐	丸みのある胴部より強く屈曲して外反する	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－402号 住居址 第 266図－10	壺 弥生	口径 残高 7.0 底径 7.6 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底から大きく開いて立ち上がる	(外) 箆削りの後箆磨き (内)
B－402号 住居址 第 266図－11	鉢 弥生	口径 23.5 残高 5.1 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙		(外) 口縁に波状文を施す (内)
B－402号 住居址 第 266図－12	紡錘車	直径 5.4 厚さ 1.0 重さ 15g 1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) (内)

第１００表　住居址出土遺物観察表（４８）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－403号 住居址 第 267図－1	蓋 弥生	口径 残高 6.5 裾径 抓み体上2/3	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR4/4にぶい赤褐	天井部に24ケ所の小孔がある	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－2	蓋 弥生	抓み径 残高 6.6 裾径 13.0 1/4	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	抓み部から裾部にかけて直線的に開く	(外) 箆磨き (内) 箆削り
B－403号 住居址 第 267図－3	蓋 弥生	抓み径 残高 5.0 裾径 抓みから体上	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/4にぶい赤褐	抓み部より外反気味に開く	(外) (内) 横位の箆削り
B－403号 住居址 第 267図－4	蓋 弥生	口径 残高 3.5 裾径 抓みから体1/2	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/6明褐	天井部に孔を有する	(外) 箆磨き (内)
B－403号 住居址 第 267図－5	高坏 弥生	口径 残高 6.6 裾径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口唇部に山形突起を有し僅かに外反する口縁部に至る	(外) (内) 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－6	高坏 弥生	口径 残高 5.8 裾径 脚部一部	胎；金雲母、白色砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	脚部「ハの字」状に開く	(外) 縦位の箆削り (内) 箆削り
B－403号 住居址 第 267図－7	高坏 弥生	口径 残高 4.0 裾径 脚部2/3	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) 脚部縦位の箆削り (内)
B－403号 住居址 第 267図－8	高坏 弥生	口径 13.6 残高 6.0 裾径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は内側に稜を有して短く外傾する	(外) 箆削りの後斜位の箆磨き (内) 箆削りの後斜位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－9	高坏 弥生	口径 22.8 残高 3.5 裾径 口縁部一部	胎；雲母、白色砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は内側に稜を有して短く外傾する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－10	高坏 弥生	口径 残高 6.0 裾径 坏下から脚上	胎；雲母多量、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/6赤 (内) 10R4/3赤褐	脚部に4ケ所三角形の透かし窓がある	(外) 箆磨き (内) 坏部箆磨き、脚部箆削り 坏部外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－11	高坏 弥生	口径 残高 3.4 裾径 坏部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) 縦位の箆磨き (内) 坏部箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－12	高坏 弥生	口径 残高 5.1 裾径 脚部一部	胎；白色砂粒母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5R6/6 橙		(外) 箆磨き (内) 脚部箆削り 坏部外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－13	高坏 弥生	口径 残高 5.0 裾径 脚部一部	胎；雲母、白色砂粒多量、粗砂粒含 焼；良好 色；(外) 10R4/4赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐		(外) 縦位の箆磨き (内) 脚部箆削り 坏部内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－14	高坏 弥生	口径 残高 4.7 裾径 接合部のみ	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 縦位の箆磨き (内) 外面赤色塗彩

第１０１表　住居址出土遺物観察表（４９）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態ほか	整形ほか
B－403号 住居址 第267図－15	高坏 弥生	口径 残高　3.9 裾径 接合部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) 箆磨き (内) 箆磨き 坏部外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－16	高坏 弥生	口径 残高　3.6 裾径 接合部のみ	胎；雲母、白色砂粒多量、粗砂粒含 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 縦位の箆磨き (内) 坏部外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－17	高坏 弥生	口径 残高　3.0 裾径 接合部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/4赤褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙		(外) 箆磨き (内) 坏部箆磨き 坏部外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－18	高坏 弥生	口径 残高　2.6 裾径 坏部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/4赤褐 (内) 10R5/4赤褐		(外) 箆磨き (内) 箆磨き 坏部外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－19	高坏 弥生	口径 残高　2.7 裾径 接合部のみ	胎；石英、雲母、白色、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4赤褐 (内) 2.5YR4/2灰赤		(外) 箆磨き (内) 坏部箆磨き脚部箆削り 坏部外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－20	高坏 弥生	口径 残高　7.8 裾径 脚部1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	ラッパ状に広がる	(外) 箆磨き (内) 横位の箆削り 外面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－21	高坏 弥生	口径 残高　7.3 裾径　14.0 脚部1/6	胎；雲母、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	直線的に開く	(外) (内) 外面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－22	壺 弥生	口径　16.8 残高　4.8 底径 口縁部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4橙 (内) 7.5YR7/4橙	口縁部は、「くの字」状に強く外反する　口唇部に面取りが施される	(外) (内)
B－403号 住居址 第267図－23	甕 弥生	口径　7.8 残高　6.9 底径 口から胴部1/2	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	口縁部は「くの字」状に外反する	(外) (内)
B－403号 住居址 第267図－24	鉢 弥生	口径 残高　2.2 底径 口縁一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部に1孔を穿つ	(外) (内)
B－403号 住居址 第267図－25	甕 弥生	口径 残高　6.9 底径　8.0 底部のみ	胎；石英、雲母、白色、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より立ち上がる	(外) 胴部箆削りの後箆磨き (内) 箆削りの後箆磨き
B－403号 住居址 第267図－26	甕 弥生	口径 残高　10.4 底径　6.2 胴1/5 から底	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	平底より直立気味に立ち上がり丸みのある胴部に移行する	(外) (内)
B－403号 住居址 第267図－27	甕 弥生	口径 残高　5.3 底径　4.8 胴部から底部	胎；石英、雲母、白色、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底より丸みをもって立ち上がる	(外) 箆磨き (内) 撫で
B－403号 住居址 第267図－28	甕 弥生	口径 残高　4.8 底径　6.1 底部のみ	胎；石英、白色砂粒、礫含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/8明褐 (内) 7.5YR5/6明褐	平底より立ち上がる	(外) 箆削り (内) 箆削り

第102表　住居址出土遺物観察表（50）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－403号 住居址 第267図－29	甕 弥生	口径 残高 2.8 底径 5.0 胴部から底部	胎；石英、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 5YR6/6橙	平底より丸みをもって立ち上がる	(外) (内)
B－403号 住居址 第267図－30	甕 弥生	口径 残高 2.0 底径 4.6 底部のみ	胎；石英、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 5YR6/6橙	上げ底の底部	(外) (内)
B－403号 住居址 第267図－31	甕 弥生	口径 19.8 残高 20.0 底径 口縁1/2 から胴部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR8/4淡橙 (内) 5YR7/6橙	口縁部は緩く外反し胴部は肩でやや張る	(外) 3連止めの簾状文を施す (内) 横位の箆磨き
B－403号 住居址 第267図－32	甕 弥生	口径 12.4 残高 10.1 底径 口縁部1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 2/5YR5/6明赤褐	口縁部は緩く外反する	(外) 簾状文の後胴部上位と口縁部に波状文を施す 上から下へ施文する (内) 削りの後箆磨き
B－403号 住居址 第267図－33	甕 弥生	口径 20.0 残高 14.4 底径 口縁1/2 から胴部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4赤褐 (内) 2.5YR6/6橙	口縁部は緩く外反する	(外) 簾状文と波状文を施す (内)
B－403号 住居址 第267図－34	甕 弥生	口径 15.0 残高 10.4 底径 口縁1/3 から胴部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 5YR5/1褐灰	口縁部は緩く外反し胴部は肩でやや張る	(外) 簾状文と波状文を施す 上から下へ施文する (内) 撫で
B－403号 住居址 第267図－35	甕 弥生	口径 11.8 残高 8.3 底径 口縁部一部	胎；石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	球形を呈した胴部より外反する口縁部に至る	(外) 簾状文と波状文を施す 上から下へ施文する (内) 横位の箆削りの後箆磨き
B－403号 住居址 第267図－36	甕 弥生	口径 21.4 残高 7.4 底径 口縁部一部	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	口縁部は外反する	(外) 簾状文と波状文を施す (内)
B－403号 住居址 第267図－37	甕 弥生	口径 14.2 残高 6.0 底径 口縁部1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 斜位の刷毛調整の後波状文を施す (内) 斜位の刷毛調整
B－403号 住居址 第267図－38	深鉢 弥生	口径 6.8 残高 6.9 底径 口縁から胴部1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	張りのない胴部より緩やかに外反する口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－39	壺 弥生	口径 残高 17.0 底径 頸部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) T字文を施す（横位の簾描直線文に縦2本1組の直線文が頸部を4分割す） (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩、埋甕炉
B－403号 住居址 第267図－40	壺 弥生	口径 残高 17.0 底径 頸部3/4	胎；石英、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐	頸部は緩く内傾する	(外) T字文を施す 縦位の箆磨き (内) 外面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－41	壺 弥生	口径 12.4 残高 2.3 底径 口縁部一部	胎；雲母、白色砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は受け口状を呈する	(外) 横位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－42	壺 弥生	口径 11.2 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎；雲母、白色砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7YR7/8黄橙	口縁部は外反する	(外) (内) 外面赤色塗彩

第１０３表　住居址出土遺物観察表（５１）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態ほか	整形ほか
B－403号 住居址 第267図－43	壺 弥生	口径 17.0 残高 3.0 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は外反する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－44	壺 弥生	口径 残高 4.0 底径 6.6 胴下部から底部	胎；石英、雲母、白色砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より立ち上がり外反する胴部に移行する	(外) 箆磨き (内) 刷毛調整、箆削り 外面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－45	壺 弥生	口径 残高 4.1 底径 5.8 底部のみ	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 縦位の箆磨き (内) 外面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－46	壺 弥生	口径 残高 3.0 底径 2.6 底部2/3	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－47	壺 弥生	口径 残高 5.1 底径 4.0 底部のみ	胎；石英、雲母含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底	(外) 箆磨き (内) 外面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－48	壺 弥生	口径 残高 2.5 底径 5.0 底部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR4/6にぶい橙	平底	(外) (内) 箆磨き 外面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－49	壺 弥生	口径 24.3 残高 7.9 底径 頸から頸部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙～7.5YR3/1黒褐	口縁部は大きく朝顔状に開く	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 内面は剥落している 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第267図－50	壺 弥生	口径 残高 10.5 底径 13.8 胴下位から底部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	平底より立ち上がる	(外) 縦位の箆削り (内)
B－403号 住居址 第267図－51	壺 弥生	口径 残高 9.7 底径 9.4 胴下位から底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7/5YR7/4にぶい橙	平底より開いて立ち上がる	(外) 胴部下位より箆削り磨きあり (内) 刷毛調整
B－403号 住居址 第267図－52	鉢 弥生	口径 18.6 残高 3.6 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	口唇部内側に肥厚する	(外) 磨き (内)
B－403号 住居址 第267図－53	鉢 弥生	口径 残高 5.2 底径 4.4 体下位から脚一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より外傾しながら立ち上がる	(外) 箆削りの後縦位の箆磨き (内) 箆削り
B－403号 住居址 第267図－54	壺 弥生	口径 残高 3.7 底径 5.4 底部のみ	胎；石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	平底より外反して立ち上がる	(外) 体部下位箆磨き　底部箆切り (内) 撫で
B－403号 住居址 第267図－55	鉢 弥生	口径 14.8 器高 12.5 底径 9.0 底部のみ	胎；礫、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より立ち上がり丸みのある胴部からそのまま内弯する口縁部に至る	(外) 底部に木葉痕あり (内) 刷毛調整、撫で
B－403号 住居址 第267図－56	鉢 弥生	口径 20.8 器高 8.1 底径 4.6 頸一部体部1/3	胎；雲母、白色砂粒多量、粗砂粒含 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	体部は直線的に開き口縁部はやや内弯する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩

第１０４表　住居址出土遺物観察表（５２）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態ほか	整形ほか
B－403号 住居址 第 267図－57	鉢 弥生	口径 12.4 器高 6.8 底径 3.9 ほぼ完形	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底よりやや丸みをもって直線的に開いてそのまま口縁部に至る	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆削りの後箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－58	鉢 弥生	口径 11.8 器高 8.0 底径 6.4 口縁から体部1/4	胎；石英、雲母、白色砂粒多量含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	やや丸みをもって直線的に開く体部より内弯する口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－59	鉢 弥生	口径 13.6 器高 4.0 底径 5.8 口縁から体部1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は内弯する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－60	鉢 弥生	口径 11.8 残高 4.8 底径 口縁から体部上位一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は内弯して開く	(外) (内) 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－61	鉢 弥生	口径 残高 2.6 底径 口縁部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁に注ぎ口有り	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－62	鉢 弥生	口径 残高 3.0 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R4/6赤	口縁部に孔を穿つ	(外) (内) 外内面赤色塗彩
B－403号 住居址 第 267図－63	甕 弥生	口径 23.0 器高 13.0 底径 6.0 1/2	胎；石英、礫、白色砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 5YR5/2灰褐	底部より立ち上がり直線的に開く口縁部はやや内弯する 底部に1孔を有す	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆磨き
B－403号 住居址 第 267図－64	甕 弥生	口径 残高 7.2 底径 胴部下位	胎；石英、雲母、白色、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6 橙	平底より外傾しながら立ち上がる 底部に1孔を有す	(外) 箆磨き (内) 箆削り
B－403号 住居址 第 267図－65	甕 弥生	口径 残高 7.4 底径 底部1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐	底部に1孔を有す	(外) 箆削り (内) 横位の刷毛調整
B－403号 住居址 第 267図－66	甕 弥生	口径 残高 1.6 底径 底部1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	底部に多数孔を有す	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－403号 住居址 第 267図－67	土製 勾玉 弥生	幅 1.3 長さ 3.9 重さ 11g 完形	胎；石英、細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙		(外) (内)
B－403号 住居址 第 267図－68	紡錘車 弥生	直径 6.0 厚さ 1.4 重さ 27g 1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙		(外) (内)
B－404号 住居址 第 268図－ 1	甕 弥生	口径 残高 2.8 底径 5.0 底部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/8明赤褐	平底	(外) (内) 撫で
B－404号 住居址 第 268図－ 2	甕 弥生	口径 8.0 残高 8.0 底径 口縁部1/3	胎；雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は外傾する	(外) 頸部に簾状文、口縁部と胴部に波状文を施す (内) 撫で

第１０５表　住居址出土遺物観察表（５３）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態ほか	整　形　ほ　か
B－404号 住　居　址 第 268図－3	壺 弥生	口径 16.4 残高 4.0 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/8橙	口縁部は外反する	(外) (内)
B－404号 住　居　址 第 268図－4	壺 弥生	口径 18.0 残高 9.0 底径 口縁部1/3	胎；石英、雲母多量、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR6/6橙	口縁部は外反する	(外) 頸部にT字文を施す 箆磨き (内) 内面に剥落有り箆磨き 外内面赤色塗彩
B－404号 住　居　址 第 268図－5	壺 弥生	口径 20.4 残高 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6暗赤 (内) 10R4/6赤	口縁部は外反する　口唇部に山形突起を有する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外面赤色塗彩
B－405号 住　居　址 第 269図－1	蓋 弥生	抓み径 残高 2.7 裾径 5.8 抓み部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/8橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙		(外) 撫で (内) 撫で
B－405号 住　居　址 第 269図－2	蓋 弥生	抓み径 残高 2.3 裾径 6.2 抓み部のみ	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/1褐灰 (内) 7.5YR4/1褐灰	天井部に1孔を穿つ	(外) 撫で (内) 撫で
B－405号 住　居　址 第 269図－3	蓋 弥生	抓み径 5.3 器高 6.3 裾径 15.5 ほぼ完形	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	抓み部より外反して裾部で大きく広がる	(外) 縦位の箆磨き (内) 横撫で、刷毛調整 外面赤色塗彩
B－405号 住　居　址 第 269図－4	高坏 弥生	口径 31.6 残高 5.2 裾径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	坏部は丸みをもって開き口縁部で更に外反して開く	(外) 箆磨き (内) 横撫で 外内面赤色塗彩
B－405号 住　居　址 第 269図－5	高坏 弥生	口径 残高 5.0 裾径 脚部から体部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/6 赤 (内) 10YR4/6 赤	坏部内弯して立ち上がる	(外) 縦位の箆磨き (内) 箆磨き 坏部外内面赤色塗彩
B－405号 住　居　址 第 269図－6	高坏 弥生	口径 残高 9.3 裾径 32.6 脚部1/2から脚部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙　6/5 橙	脚部に三角形の透かしが施される	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の刷毛調整 外面赤色塗彩
B－405号 住　居　址 第 269図－7	高坏 弥生	口径 残高 2.3 裾径 12.2 裾部1/3	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/8赤 (内) 2.5YR6/6橙	裾部で広がりを持つ	(外) 箆磨き (内) 外面赤色塗彩
B－405号 住　居　址 第 269図－8	高坏 弥生	口径 残高 3.6 裾径 脚部から脚部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/8橙 (内) 2.5YR6/8橙	接合部より裾部に向かって広がりを持つ	(外) (内) 横撫で
B－405号 住　居　址 第 269図－9	甕 弥生	口径 13.8 器高 14.4 底径 ほぼ完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	平底より立ち上がり緩く肩の張った胴部より外反する口縁部に至る	(外) 波状文、簾状文を施す 箆削り (内) 撫で
B－405号 住　居　址 第 269図－10	甕 弥生	口径 32.4 残高 19.7 底径 口縁部1/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	張りのある胴部より外反する口縁部に至る	(外) 波状文を施す (内) 撫で
B－405号 住　居　址 第 269図－11	甕 弥生	口径 20.4 残高 9.0 底径 口縁部1/2	胎；雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	口縁部は外反する	(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す　下から上へ施文する (内) 横位の箆磨き

第１０６表　住居址出土遺物観察表（５４）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－405号 住居址 第269図－12	甕 弥生	口径 28.8 残高 9.0 底径 口縁部1/7	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は緩く外反する	(外) 波状文を施す (内) 撫で
B－405号 住居址 第269図－13	甕 弥生	口径 14.0 残高 8.3 底径 口縁部1/6	胎；雲母、白色砂粒、粗砂粒多量含 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	球形の胴部より口縁部は大きく外反する	(外) 頸部に3連止めの簾状文、胴部と口縁部に波状文を施す (内) 横撫で
B－405号 住居址 第269図－14	甕 弥生	口径 18.4 残高 6.4 底径 口縁部1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は外反する	(外) 波状文、簾状文を施する (内) 撫で
B－405号 住居址 第269図－15	甕 弥生	口径 26.4 残高 6.6 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR2/1黒褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 波状文を施す 上から下へ施文する (内) 撫で
B－405号 住居址 第269図－16	甕 弥生	口径 残高 4.1 底径 7.6 底部1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	底部より立ち上がる	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－405号 住居址 第269図－17	甕 弥生	口径 残高 3.1 底径 12.2 底部1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 箆削り (内) 撫で
B－405号 住居址 第269図－18	甕 弥生	口径 残高 2.3 底径 7.0 底部1/2	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/6暗赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐		(外) (内)
B－405号 住居址 第269図－19	壺 弥生	口径 35.2 残高 12.3 底径 口縁部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙、4/2 灰褐 (内) 7.5YR6/6橙	頸部より大きく外反する口縁部に至る 口唇部に山形突起が有り口縁部を4分割する	(外) 縦位の箆磨き、頸部にT字文を施す (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩、床着
B－405号 住居址 第269図－20	壺 弥生	口径 30.0 残高 8.0 底径 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	口縁部は外反する	(外) 横位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－405号 住居址 第269図－21	壺 弥生	口径 10.8 残高 2.7 底径 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	口縁部は段を有して外反し1孔を穿つ 口唇部は面取りが施される	(外) 箆磨き (内) 外面赤色塗彩
B－405号 住居址 第269図－22	壺 弥生	口径 残高 3.8 底径 5.4 体部下位から底部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	底部より立ち上がる	(外) (内) 横撫で 内面赤色塗彩
B－405号 住居址 第269図－23	壺 弥生	口径 残高 3.1 底径 7.1 底部1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 10YR7/1 灰白	底部より立ち上がる	(外) (内)
B－405号 住居址 第269図－24	壺 弥生	口径 残高 2.5 底径 10.9 底部のみ	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/8橙	平底	(外) (内)
B－405号 住居址 第269図－25	深鉢 弥生	口径 21.8 器高 24.5 底径 9.4 ほぼ完形	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙、4/3 にぶい赤褐 (内) 5YR7/4にぶい橙、2/1 黒褐	肩に張りを持つ胴部より外反する口縁部に至る 口縁部に2ケ1組の孔が2ケ所穿たれる	(外) 磨き、部分的に表面が剥落している (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩

第107表　住居址出土遺物観察表（55）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－405号 住居址 第 269図－26	深鉢 弥生	口径 17.5 残高 4.2 底径 口縁部1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4赤褐 (内) 10R4/4赤褐	口縁部は「くの字」状に外反する	(外) 縦位の磨き (内) 横撫で 外内面赤色塗彩
B－405号 住居址 第 269図－27	鉢 弥生	口径 16.4 残高 6.6 底径 口縁から体－部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	体部は口縁部に向かって内弯気味に開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－405号 住居址 第 269図－28	鉢 弥生	口径 16.4 残高 6.2 底径 口縁から体－部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/3にぶい橙 (内) 5YR6/3にぶい橙	体部は口縁部に向かって開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－405号 住居址 第 269図－29	鉢 弥生	口径 15.4 残高 4.8 底径 口縁から体－部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	体部は口縁部に向かって内弯気味に開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－406号 住居址 第 270図－1	坏 土師	口径 12.6 器高 6.2 底径 5.1 1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より立上がり丸みのある体部より外反する口縁部に至る	(外) (内)
B－406号 住居址 第 270図－2	坏 土師	口径 12.0 残高 3.9 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) 横撫で (内) 箆削り
B－406号 住居址 第 270図－3	坩 土師	口径 15.8 残高 5.3 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 10YR6/2 灰黄褐	丸みのある体部より強い稜を経て屈曲し内弯気味に開く口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－406号 住居址 第 270図－4	坏 土師	口径 9.2 残高 4.2 底径 口縁から体－部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	体部は丸みを持ち、口縁部は外反する	(外) 撫で (内) 撫で
B－406号 住居址 第 270図－5	坏 土師	口径 9.1 残高 4.9 底径 口縁から体－部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	体部は丸みを持ち口縁部は外反する	(外) (内)
B－406号 住居址 第 270図－6	坏 土師	口径 13.8 残高 4.4 底径 口縁から体－部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR7/6橙	体部は丸みを持ち口縁部は外反する	(外) (内)
B－406号 住居址 第 270図－7	坏 土師	口径 13.9 残高 4.0 底径 口縁から体－部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/8橙 (内) 7.5YR1.7/1黒	口縁部は外反する	(外) 撫で (内) 箆削り
B－406号 住居址 第 270図－8	坩 土師	口径 7.6 残高 8.0 底径 口縁1/3胴部3/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/1褐灰	偏平で強く張った体部より屈曲して外傾する口縁部に至る	(外) 撫で (内) 箆削り、撫で
B－406号 住居址 第 270図－9	坩 土師	口径 11.4 器高 13.5 底径 口縁1/2 体部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	丸底より大きく張り出し偏平な体部より、屈曲して長く外傾する口縁部に至る	(外) (内)
B－406号 住居址 第 270図－10	坩 土師	口径 11.6 器高 13.6 底径 口縁1/2 体部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	粘土紐巻き上げ 丸底より大きく張り出した偏平な体部より屈曲して長く外傾する口縁部に至る	(外) 撫で付け (内) 撫で付け

第１０８表　住居址出土遺物観察表（５６）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－406号 住居址 第270図－11	坩 土師	口径 9.2 残高 5.0 底径 口縁部1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/8橙 (内) 5YR7/8橙	口縁部は大きく外傾する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－12	坩 土師	口径 10.0 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR7/4橙	口縁部は大きく外傾する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－13	坩 土師	口径 残高 8.0 底径 □縁部-胴体部1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/4橙	丸底で偏平の体部より屈曲して内弯気味に開く口縁部に至る	(外) (内) 箆削り
B－406号 住居址 第270図－14	坩 土師	口径 残高 8.3 底径 頸体部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/6にぶい橙	粘土帯積み上げ 丸底より張り出す球形の体部より屈曲して外反する口縁部に至る	(外) 撫で付け (内) 撫で付け
B－406号 住居址 第270図－15	坩 土師	口径 残高 8.1 底径 □縁部-胴体部1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4 にぶい橙 (内) 5YR8/4淡橙	丸底より大きく張り出し偏平な胴部より、外反する口縁部に至る	(外) (内) 箆削り
B－406号 住居址 第270図－16	坩 土師	口径 残高 7.8 底径 □縁部-胴体部1/2	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/8橙	平底より大きく張り出し偏平な体部より屈曲して口縁部に移行する	(外) (内) 撫で
B－406号 住居址 第270図－17	坩 土師	口径 9.4 器高 8.0 底径 ほぼ完形	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 丸底より大きく張り出し偏平な体部より屈曲して外傾する口縁部に至る	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－406号 住居址 第270図－18	坩 土師	口径 残高 6.0 底径 頸体部のみ	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/4にぶい橙	丸底より大きく張り出し偏平な体部より屈曲して口縁部に移行する	(外) 箆削り (内) 撫で付け
B－406号 住居址 第270図－19	坩 土師	口径 残高 5.2 底径 体部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/4にぶい橙	丸底で偏平な体部	(外) 撫で (内)
B－406号 住居址 第270図－20	坩 土師	口径 残高 5.3 底径 体部2/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 10YR4/1 褐灰	丸底より大きく張り出し偏平な胴部に移行する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－21	坩 土師	口径 残高 5.8 底径 体部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	丸底より大きく張り出した体部より屈曲して口縁部に移行する	(外) 箆削り (内)
B－406号 住居址 第270図－22	坩 土師	口径 残高 4.6 底径 体部1/2	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR8/3 浅黄橙 (内) 10YR7/3 にぶい黄橙	丸底より大きく張り出し偏平な体部に至り、外反する口縁部に至る	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－23	高坏 土師	口径 18.6 器高 14.1 裾径 11.8 坏2/5 脚部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/8橙 (内) 2.5YR6/8橙	粘土帯積み上げ 坏部は接合部より稜を有し、外反する口縁部に至り、裾部で屈曲して開く	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－24	高坏 土師	口径 12.0 器高 11.3 裾径 11.5 2/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/3にぶい橙	口縁部は外反する 脚部はラッパ状に広がる	(外) (内)

第１０９表　住居址出土遺物観察表（５７）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－406号 住居址 第270図－25	高坏 土師	口径 21.0 残高 5.5 裾径 坏部1/4	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/8橙 (内) 2.5YR7/8橙	坏部は接合部より稜を経て内弯気味に大きく開く	(外) 箆削り、箆磨き (内)
B－406号 住居址 第270図－26	高坏 土師	口径 9.2 残高 6.8 裾径 坏部3/5	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/8橙 (内) 2.5YR6/6橙	接合部より開いて稜を経て緩く外反する口縁部に至る	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－27	高坏 土師	口径 8.7 残高 5.6 裾径 坏部3/5	胎；細砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/8橙 (内) 5YR7/8橙	接合部より稜を経て外反する口縁部に至る	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－28	高坏 土師	口径 19.4 残高 5.3 裾径 口縁部1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/1 褐灰 (内) 10YR6/1 褐灰	接合部より稜を経て緩く外反する口縁部に至る	(外) (内)
B－406址 住居址 第270図－29	高坏 土師	口径 17.5 残高 5.1 裾径 坏部1/2	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/8橙 (内) 2.5YR7/8橙	坏部は僅かに内弯して開き口縁部は外反する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－30	高坏 土師	口径 残高 13.0 裾径 16.0 裾部1/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/8橙	粘土帯積み上げ 裾部で屈曲して開く	(外) 箆削り (内)
B－406号 住居址 第270図－31	高坏 土師	口径 残高 8.0 裾径 坏下脚1/2	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	脚部は柱状を呈する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－32	高坏 土師	口径 残高 8.8 裾径 13.4 脚部3/4	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R6/8赤褐 (内) 10R6/8赤褐	裾部は屈曲して大きく開く	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－33	高坏 土師	口径 残高 8.0 裾径 脚部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	粘土帯積み上げ 脚部は柱状を呈し裾部で大きく開く	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－34	高坏 土師	口径 残高 8.7 裾径 脚部のみ	胎；砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	1孔を穿つ	(外) (内)
B－406址 住居址 第270図－35	高坏 土師	口径 残高 8.2 裾径 脚部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/8橙	粘土帯積み上げ 脚部は緩やかに開く	(外) (内) 箆削り
B－406号 住居址 第270図－36	高坏 土師	口径 残高 7.7 裾径 脚部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/4浅黄橙 (内) 7.5YR8/6浅黄橙	脚部は柱状を呈する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－37	高坏 土師	口径 残高 7.4 裾径 脚部3/5	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 2.5YR6/8橙	脚部はラッパ状に広がる	(外) (内) 箆削り
B－406址 住居址 第270図－38	高坏 土師	口径 残高 6.8 裾径 脚部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR8/3 浅黄橙 (内) 10YR8/3 浅黄橙	脚部はラッパ状に広がる	(外) (内) 箆削り

第１１０表　住居址出土遺物観察表（５８）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－406号 住居址 第270図－39	高坏 土師	口径 残高 4.3 裾径 13.4 裾部2/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/6浅黄橙 (内) 7.5YR8/6浅黄橙	裾部は屈曲して大きく開く	(外) 撫で (内) 撫で
B－406号 住居址 第270図－40	甕 土師	口径 17.4 器高 9.2 底径 7.5 1/2	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がり球形の胴部より屈曲して外反する口縁部に至る 口縁部は先端で内弯する	(外) 箆削り、撫で (内) 箆削り、撫で
B－406号 住居址 第270図－41	甕 土師	口径 18.6 残高 3.3 底径 口縁部1/6	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/1暗赤灰 (内) 2.5YR4/6赤褐	口縁部は外反する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－42	甕 土師	口径 17.0 残高 5.5 底径 口縁部1/6	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/8橙 (内) 2.5YR5/8明赤褐	口縁部は外反する	(外) 横撫で (内)
B－406号 住居址 第270図－43	甕 土師	口径 17.0 残高 4.4 底径 口縁部1/7	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/8橙 (内) 10YR8/3 浅黄橙	口縁部は外反する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－44	甕 土師	口径 20.6 残高 3.5 底径 口縁部1/6	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR6/8橙	口縁部は外反する	(外) 横撫で (内)
B－406号 住居址 第270図－45	甕 土師	口径 20.8 残高 7.1 底径 口縁胴部-部	胎；雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は「くの字」状に外反する	(外) 撫で (内) 撫で
B－406号 住居址 第270図－46	甕 土師	口径 8.2 残高 7.5 底径 口縁胴部-部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/4淡赤橙 (内) 2.5YR6/3にぶい橙	偏平な胴部より「くの字」状に屈曲して外傾する口縁部に至る	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整、撫で
B－406号 住居址 第270図－47	甕 土師	口径 13.8 残高 3.8 底径 口縁胴部-部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/3 にぶい黄橙 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙	口縁部はS字状を呈する	(外) 刷毛調整 (内)
B－406号 住居址 第270図－48	甕 土師	口径 15.4 残高 3.3 底径 口縁部1/4	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	頸部は強く屈曲し、口縁部は段を有して外傾する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－49	甕 土師	口径 残高 10.0 底径 5.8 胴部～底部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR2/3極暗赤褐 (内) 7.5YR2/1黒	平底より立ち上がる	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－406号 住居址 第270図－50	甕 土師	口径 残高 9.0 底径 胴部～底部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底より立ち上がり丸みのある胴部に移行する	(外) 箆削り (内) 刷毛調整
B－406号 住居址 第270図－51	甕 土師	口径 残高 5.9 底径 4.6 胴～底1/2	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/1黒褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	平底より内弯して立ち上がる	(外) 箆削り (内)
B－406号 住居址 第270図－52	甕 土師	口径 残高 1.6 底径 5.0 底部のみ	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底	(外) (内)

第１１１表　住居址出土遺物観察表（５９）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態ほか	整形ほか
B－406号 住居址 第270図－53	甕 土師	口径 21.6 器高 14.7 底径 5.6 ほぼ完形	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR8/2灰白 (内) 5YR7/3にぶい橙	平底より立ち上がり球形の胴部より「くの字」状に屈曲して外傾する口縁部に至る	(外) 箆削り、撫で (内) 箆削り、撫で
B－406号 住居址 第270図－54	壺 土師	口径 17.2 器高 22.7 底径 5.7 2/3	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/6暗赤褐 (内) 5YR4/6赤褐	平底より立ち上がり球形の胴部より屈曲して「くの字」状に外反する口縁部に至る	(外) 箆削り、撫で (内) 箆削り、撫で
B－406号 住居址 第270図－55	壺 土師	口径 11.7 残高 8.5 底径 1/2	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) (内) 5YR5/4にぶい赤褐	球形の胴部より屈曲して外傾する口縁部に至る	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－406号 住居址 第270図－56	壺 土師	口径 15.6 残高 6.0 底径 1/8 口縁部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 10R5/4赤褐 (内) 10R5/6赤	口縁部は「くの字」状に外反する	(外) 撫で (内) 撫で
B－406号 住居址 第270図－57	壺 土師	口径 12.6 残高 4.7 底径 口縁部1/4	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部「くの字」状に外反する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－58	壺 土師	口径 14.4 残高 3.9 底径 口縁部1/4	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/6橙 (内) 10R5/6赤	口縁部は「くの字」状に外反する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－59	壺 土師	口径 19.1 残高 8.6 底径 口縁部1/3胴部一部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 5YR6/2灰褐	強く張った胴部より頸部で強く屈曲して口縁部に至る 口縁部の先端は内弯して受け口状を呈する	(外) 撫で (内) 撫で
B－406号 住居址 第270図－60	壺 土師	口径 残高 10.0 底径 5.5 胴部底部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR8/4浅黄橙	平底より立ち上がり、張りの有る胴部に移行する	(外) (内)
B－406号 住居址 第270図－61	壺 土師	口径 残高 4.8 底径 5.4 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がる	(外) 撫で (内)
B－407号 住居址 第271図－1	坏 土師	口径 15.2 器高 4.8 底径 完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/8橙 (内) 7.5YR7/6橙	丸底より緩い稜を経て外反する口縁部に至る	(外) 体部箆削り、横位の撫で (内) 箆磨き
B－407号 住居址 第271図－2	坏 土師	口径 13.2 器高 5.0 底径 1/2	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	丸底より屈曲して開く口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、箆削り (内) 口縁部横撫で、箆削り
B－407号 住居址 第271図－3	坏 土師	口径 13.6 器高 4.4 底径 ほぼ完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/1赤灰 (内) 2.5YR4/1赤灰	浅い丸底より屈折して、外反する口縁部に至る	(外) 口縁部部横撫で (内) 箆磨き　黒色処理
B－407号 住居址 第271図－4	坏 土師	口径 14.0 残高 5.3 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/2灰褐 (内) 7.5YR6/2灰褐	体部は内弯し、口縁部で屈曲外反する	(外) 口縁部横撫で、箆削り (内) 箆磨き、箆削り
B－407号 住居址 第271図－5	坏 土師	口径 12.4 残高 5.3 底径 口縁部1/3	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/1赤灰	口縁部は緩く外反する	(外) 口縁部横撫で、箆削り (内) 箆削り

第１１２表　住居址出土遺物観察表（６０）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－407号 住居址 第271図－6	坏 土師	口径 14.4 残高 5.2 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	体部は内弯し口縁部で屈曲外反する	(外) 横撫で (内) 箆削り
B－407号 住居址 第271図－7	坏 土師	口径 14.0 器高 5.6 底径 1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR3/1黒褐	丸底から体部は内弯して立ち上がり、口縁部は短く外反する	(外) 横撫で、箆削り (内) 箆磨き
B－407号 住居址 第271図－8	高坏 土師	口径 14.4 残高 5.6 裾径 口縁部1/4	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR6/8橙	坏部は接合部より稜を経て、外傾する口縁部に至る	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－407号 住居址 第271図－9	高坏 土師	口径 10.0 残高 5.2 裾径 坏部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR5/2灰褐	接合部より稜を経て大きく内弯し、内傾する口縁部に至る	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－407号 住居址 第271図－10	甕 土師	口径 10.8 器高 9.5 底径 完形	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 2.5YR5/6明赤褐	丸底より球形の胴部に至る 口縁部は外反する	(外) 口縁部横撫で、箆削り (内)
B－407号 住居址 第271図－11	甕 土師	口径 12.0 器高 9.0 底径 ほぼ完形	胎；石英、雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR4/1赤灰	平底より立ち上がり丸みのある胴部より外反する口縁部に至る	(外) 箆削り (内) 横撫で
B－407号 住居址 第271図－12	甕 土師	口径 14.0 残高 5.4 底径 口縁部1/4	胎；石英、雲母多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/1褐灰	口縁部は外反する	(外) 横撫で、箆削り (内) 横撫で
B－407号 住居址 第271図－13	甕 土師	口径 16.0 残高 5.2 底径 口縁部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は外反する	(外) 横撫で (内) 横撫で 電
B－407号 住居址 第271図－14	甕 土師	口径 残高 6.4 底径 6.2 胴から底部	胎；石英、雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底より立ち上がる	(外) 箆削り (内) 電
B－407号 住居址 第271図－15	甕 土師	口径 残高 1.9 底径 4.8 底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR4/2灰赤	平底	(外) (内)
B－407号 住居址 第271図－16	甑 土師	口径 21.4 器高 22.3 底径 9.0 口縁部1/3から胴部	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 孔部より張りのない胴部に移行し、外反する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、箆削り (内) 箆削り
B－407号 住居址 第271図－17	甑 土師	口径 17.6 器高 16.3 底径 6.8 口縁部1/2から胴部	胎；石英、雲母多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	粘土帯積み上げ 張りのない胴部より外反する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、箆削り (内) 箆削り
B－408号 住居址 第272図－1	高坏 弥生	口径 23.7 残高 7.2 裾径 口縁部1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	坏部大きく開き口縁部で外反する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－408号 住居址 第272図－2	高坏 弥生	口径 23.2 残高 7.0 裾径 口縁部1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	坏部丸みを持って大きく開き口縁部で外反する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩

第１１３表　住居址出土遺物観察表（６１）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B-408号 住居址 第272図-3	高坏 弥生	口径 残高 5.2 裾径 接合部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐		(外) (内) 撫で 外面赤色塗彩
B-408号 住居址 第272図-4	高坏 弥生	口径 残高 6.5 裾径 13.5 脚部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	脚部接合部より直線的に開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の刷毛調整 外内面赤色塗彩
B-408号 住居址 第272図-5	甕 弥生	口径 15.1 残高 7.2 底径 口縁部1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/8明赤褐	口縁部は外反する	(外) 2連止めの簾状文の後波状文を施す (内)
B-408号 住居址 第272図-6	甕 弥生	口径 13.8 残高 7.0 底径 口縁から頸部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 5YR6/4にぶい褐	口縁部は「くの字」状に外反する	(外) 波状文と頸部に2連止めの簾状文を施す (内)
B-408号 住居址 第272図-7	甕 弥生	口径 15.8 残高 5.8 底径 □縁部1/4から頸部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は「くの字」状に外反する	(外) 波状文と頸部に簾状文を施す (内)
B-408号 住居址 第272図-8	甕 弥生	口径 11.4 残高 5.5 底径 □縁部1/4から頸部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/4にぶい橙	口縁部は「くの字」状に外反する	(外) 波状文と頸部に簾状文を施す (内)
B-408号 住居址 第272図-9	甕 弥生	口径 13.6 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は外反する	(外) 口縁部に波状文を施す (内)
B-408号 住居址 第272図-10	甕 弥生	口径 14.6 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は外反する	(外) 波状文と頸部に簾状文を施す (内)
B-408号 住居址 第272図-11	甕 弥生	口径 17.6 残高 3.2 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は外反する	(外) 波状文と頸部に簾状文を施す (内)
B-408号 住居址 第272図-12	甕 弥生	口径 13.8 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/3にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐		(外) 波状文と頸部に簾状文を施す (内)
B-408号 住居址 第272図-13	甕 弥生	口径 27.5 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR7/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 口縁部に波状文を施す (内)
B-408号 住居址 第272図-14	甕 弥生	口径 21.6 残高 4.5 底径 口縁部1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR6/4にぶい橙	口縁部は内弯する	(外) (内)
B-408号 住居址 第272図-15	甕 弥生	口径 残高 4.0 底径 6.1 底部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/3にぶい赤褐	平底	(外) (内)
B-408号 住居址 第272図-16	甕 弥生	口径 残高 4.3 底径 6.6 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	平底	(外) 箆削り (内) 撫で、磨き

第114表　住居址出土遺物観察表（62）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－408号 住居址 第 272図－17	甕 弥生	口径 残高 1.4 底径 5.7 底部4/5	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/3にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	平底	(外) (内)
B－408号 住居址 第 272図－18	甕 弥生	口径 残高 1.6 底径 6.0 底部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	平底	(外) (内)
B－408号 住居址 第 272図－19	壺 弥生	口径 残高 6.3 底径 9.8 底部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内) 撫で
B－408号 住居址 第 272図－20	壺 弥生	口径 残高 3.2 底径 13.5 底部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内)
B－408号 住居址 第 272図－21	甑 弥生	口径 残高 7.6 底径 5.6 胴－部底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) 箆削り (内) 撫で
B－408号 住居址 第 272図－22	甑 弥生	口径 残高 4.5 底径 5.7 底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	底部に孔を穿つ	(外) 縦位の箆削り (内) 撫で
B－409号 住居址 第 273図－1	蓋 弥生	抓み径 7.3 残高 5.0 裾径 抓み部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4褐 (内) 7.5YR4/4褐		(外) 刷毛調整、箆削り (内) 撫で、刷毛調整
B－409号 住居址 第 273図－2	高坏 弥生	口径 残高 5.5 裾径 9.4 脚部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	三角形の透かし有り.	(外) 縦位の磨き、刷毛調整 (内) 外面赤色塗彩
B－409号 住居址 第 273図－3	高坏 弥生	口径 残高 14.0 裾径 25.1 脚部1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	脚部４ケ所に三角形の透かしを持つ　裾部で大きく広がる	(外) (内) 外面赤色塗彩
B－409号 住居址 第 273図－4	高坏 弥生	口径 残高 9.6 裾径 脚部1/3	胎；白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐		(外) (内) 横撫で、刷毛調整
B－409号 住居址 第 273図－5	甕 弥生	口径 20.7 残高 16.7 底径 1/4	胎；粗砂粒僅かに含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	張りのある胴部より外反する口縁に至る	(外) 波状文と２連止めの簾状文を施す (内) 横位の撫で
B－409号 住居址 第 273図－6	甕 弥生	口径 15.4 残高 5.6 底径 口縁部1/4	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は外反する	(外) ２連止めの簾状文の後波状文を施す (内) 箆磨き
B－409号 住居址 第 273図－7	甕 弥生	口径 10.0 残高 6.0 底径 口縁部1/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は緩やかに外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す (内) 撫で
B－409号 住居址 第 273図－8	甕 弥生	口径 9.6 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3褐 (内) 7.5YR4/2灰褐	口縁部は外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内)

第１１５表　住居址出土遺物観察表（６３）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態ほか	整形ほか
B－409号 住居址 第 273図－9	甕 弥生	口径 10.2 残高 3.0 底径 口縁部1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR6/6橙	口縁部は外反する	(外) 3連止めの簾状文に波状文を施す (内)
B－409号 住居址 第 273図－10	甕 弥生	口径 13.2 残高 5.2 底径 口縁部1/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/8明赤褐	口縁部は外反する	(外) 波状文 (内) 刷毛調整
B－409号 住居址 第 273図－11	甕 弥生	口径 残高 2.1 底径 7.1 底部のみ	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 10R5/4赤褐		(外) (内)
B－409号 住居址 第 273図－12	甕 弥生	口径 残高 2.2 底径 7.0 底部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/8橙	平底	(外) (内)
B－409号 住居址 第 273図－13	甕 弥生	口径 残高 2.7 底径 6.3 底部のみ	胎；石英、細砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3褐 (内) 5YR6/8橙	平底	(外) (内)
B－409号 住居址 第 273図－14	甕 弥生	口径 残高 2.4 底径 7.6 底部のみ	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底	(外) 縦位の箆削り (内) 撫で
B－409号 住居址 第 273図－15	壺 弥生	口径 残高 15.4 底径 胴部一部	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	張りのある胴部より口縁部に向かって外反する	(外) T字文を施す (内) 箆削りの後磨き
B－409号 住居址 第 273図－16	壺 弥生	口径 残高 4.4 底径 11.6 底部1/2	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内) 撫で
B－409号 住居址 第 273図－17	壺 弥生	口径 残高 1.9 底径 5.5 底部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/8明赤褐4/2 灰褐 (内) 7.5YR5/8明赤褐2/1 黒褐	平底	(外) (内)
B－409号 住居址 第 273図－18	壺 弥生	口径 残高 3.2 底径 4.4 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4赤褐から7.5YR6/6橙 (内) 10R4/4赤褐	平底より内弯しながら立ち上がる	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－409号 住居址 第 273図－19	壺 弥生	口径 残高 2.8 底径 5.0 底部のみ	胎；0.2 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	底部より直線的に立ち上がる	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－409号 住居址 第 273図 20	壺 弥生	口径 残高 5.6 底径 4.9 胴下位底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底より立ち上がり内弯気味に開いて胴部に移行する	(外) 横位の箆磨き (内) 斜位の箆磨き 外面赤色塗彩
B－409号 住居址 第 273図－21	鉢 弥生	口径 7.6 器高 7.3 底径 3.9 口縁部1/3から底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR6/4にぶい橙	平底より立ち上がり内弯ぎみに開き内弯する口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 横撫で、横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－409号 住居址 第 273図－22	甑 弥生	口径 残高 10.0 底径 6.0 胴から底部3/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	底部より直線的に広がり口縁部で僅かに内弯する	(外) 縦位の箆磨き (内) 口縁部横撫で

第１１６表　住居址出土遺物観察表（６４）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－410号 住居址 第274図－1	蓋 弥生	抓み径 4.5 器高 7.4 裾径 15.0 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	抓み部より外反して裾部に至る　天井部に1孔を穿つ	(外) 撫で (内) 撫で
B－410号 住居址 第274図－2	蓋 弥生	抓み径 4.6 残高 2.7 裾径 抓み部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 10R3/1暗赤灰		(外) (内) 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第274図－3	高坏 弥生	口径 27.6 残高 4.2 裾径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5R7/4 にぶい橙	口縁部外反する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第274図－4	高坏 弥生	口径 残高 10.0 裾径 接合部から脚部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/4淡赤橙 (内) 2.5YR7/4淡赤橙	接合部より外反して裾部に至る	(外) (内) 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第274図－5	高坏 弥生	口径 残高 7.7 裾径 接合部から脚部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/4にぶい橙		(外) 箆磨き (内) 脚部箆削り 外面、坏部内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第274図－6	高坏 弥生	口径 残高 7.5 裾径 10.1 脚部1/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR6/3にぶい橙		(外) 縦位の撫で、箆磨き (内) 横位の撫で 外面赤色塗彩
B－410号 住居址 第274図－7	高坏 弥生	口径 残高 5.7 裾径 接合部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙		(外) (内) 坏部箆削り　脚部箆削り、撫で
B－410号 住居址 第274図－8	高坏 弥生	口径 残高 4.0 裾径 接合部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙		(外) (内)
B－410号 住居址 第274図－9	甕 弥生	口径 31.7 器高 44.2 底径 7.1 2/3	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙から5YR4/2灰褐 (内) 5YR6/6	平底より立ち上がり肩の張った胴部より緩やかに外反する口縁部に至る	(外) 簾状文を施した後波状文を施す　下から上へ施文する (内) 箆削り、撫で
B－410号 住居址 第274図－10	甕 弥生	口径 14.9 器高 19.5 底径 5.8 ほぼ完形	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底より立ち上がり丸みのある胴部より緩く外反する口縁部に至る	(外) 1連止めの簾状文を施した後波状文を施す　下から上へ施文する (内) 撫で
B－410号 住居址 第274図－11	甕 弥生	口径 15.6 残高 13.0 底径 口縁から胴部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	強く張った胴部より外反する口縁に至る	(外) 1連止めの簾状文を施した後波状文を施す (内) 箆削り
B－410号 住居址 第274図－12	甕 弥生	口径 15.2 残高 9.1 底径 口縁部1/2	胎；金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は僅かに外反する	(外) 波状文と2連止めの簾状文を施す　上から下へ施文する (内) 撫で
B－410号 住居址 第274図－13	甕 弥生	口径 11.8 残高 10.1 底径 口縁部から胴部上位	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR4/8赤褐　4/4 にぶい赤褐	張りのある胴部より外反する口縁部に至る	(外) 波状文を施す (内) 横位の箆削りの後箆磨き
B－410号 住居址 第274図－14	甕 弥生	口径 13.2 残高 3.3 底径 口縁部一部	胎；0.2 の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	外反する口縁部	(外) 簾状文を施した後波状文を施す (内) 撫で

第117表　住居址出土遺物観察表（65）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－410号 住居址 第274図－15	甕 弥生	口径 25.6 残高 6.5 底径 口縁部一部	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙		(外) (内)
B－410号 住居址 第274図－16	甕 弥生	口径 12.6 残高 9.4 底径 口縁部から体部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR3/4暗赤褐		(外) 波状文と頸部に2連止めの簾状文を施す (内) 磨き
B－410号 住居址 第274図－17	甕 弥生	口径 17.1 残高 7.0 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 6/4にぶい橙 (内) 5YR5/2灰褐	口縁部は外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 撫で
B－410号 住居址 第274図－18	甕 弥生	口径 12.7 残高 4.6 底径 口縁部1/5	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内)
B－410号 住居址 第274図－19	甕 弥生	口径 19.5 残高 2.0 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は外側に折り返す	(外) 口縁部に波状文を施す (内)
B－410号 住居址 第274図－20	甕 弥生	口径 残高 2.8 底径 6.5 底部のみ	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 4/3にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	平底	(外) (内)
B－410号 住居址 第274図－21	甕 弥生	口径 残高 3.6 底径 5.7 底部のみ	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底	(外) 縦位の箆削り (内)
B－410号 住居址 第274図－22	甕 弥生	口径 残高 2.2 底径 4.7 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内)
B－410号 住居址 第274図－23	甕 弥生	口径 残高 1.5 底径 4.6 底部4/5	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/3暗赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底	(外) (内)
B－410号 住居址 第274図－24	甕 弥生	口径 残高 2.8 底径 5.1 底部のみ	胎；雲母、白色砂粒多量、粗砂粒含 焼；良好 色；(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底	(外) (内)
B－410号 住居址 第274図－25	甕 弥生	口径 残高 2.5 底径 5.3 底部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/1黒褐から4/6 赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底	(外) 縦位の刷毛調整 (内)
B－410号 住居址 第274図－26	壺 弥生	口径 29.6 残高 4.7 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4から6/4 にぶい橙 (内) 2.5YR6/6橙	口縁部は朝顔状に開く	(外) 箆磨き (内) 刷毛調整、箆磨き 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第274図－27	壺 弥生	口径 残高 28.7 底径 頸一部欠損1/2	胎；金雲母、白色砂粒、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/6赤褐	下脹れの張りのある胴部より外反する口縁部に移行する頸部には刻み目のある突帯が施される	(外) 横位の櫛描直線文を施し後波状文を施す 箆磨き 上から下へ施文する (内) 剥落
B－410号 住居址 第274図－28	壺 弥生	口径 残高 11.6 底径 胴上位一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙		(外) 横位の櫛描直線文を施す (内) 内面は剥落している 刷毛調整 外面赤色塗彩

第118表　住居址出土遺物観察表（66）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－410号 住居址 第 274図－29	壺 弥生	口径 16.6 残高 4.7 底径 口縁部1/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	口縁部は朝顔状に開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第 274図－30	壺 弥生	口径 残高 2.8 底径 6.8 底部2/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR6/6橙	平底	(外) (内)
B－410号 住居址 第 274図－31	壺 弥生	口径 残高 2.0 底径 3.4 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底	(外) (内)
B－410号 住居址 第 274図－32	壺 弥生	口径 残高 15.3 底径 9.3 胴一部底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	平底の底部より立ち上がり直線状に開く	(外) (内)
B－410号 住居址 第 274図－33	鉢 弥生	口径 11.8 器高 16.5 底径 6.0 口縁部3/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	平底より卵形状に丸みをもつ胴部に移行し、2対1組の孔を2ケ所に穿つ内弯する口縁部に至る	(外) 底部から胴部へ箆削り 胴部縦位の箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第 274図－34	鉢 弥生	口径 24.1 器高 10.8 底径 6.6 ほぼ完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R6/6赤橙 (内) 2.5YR6/6橙	上げ底気味の底部より内弯気味に開き口縁部で僅かに内側に屈折する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第 274図－35	鉢 弥生	口径 15.0 器高 6.1 底径 5.5 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	平底より立ち上がり外反気味に開く体部より屈折して内傾する口縁に至る	(外) 縦位の箆磨き (内) 口縁部横撫で、箆磨き 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第 274図－36	鉢 弥生	口径 14.1 器高 7.1 底径 4.5 ほぼ完形	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	平底より立ち上がり内弯気味に開く体部より僅かに内弯する口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 口縁部撫で、箆磨き 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第 274図－37	鉢 弥生	口径 11.7 残高 6.2 底径 口縁胴一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/4赤褐	内弯気味に開く体部よりそのまま口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 口縁部横撫で、箆磨き 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第 274図－38	鉢 弥生	口径 11.0 器高 5.0 底径 3.8 ほぼ完形	胎；雲母、細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	平底より立ち上がり直線的に開く体部より口縁部で僅かに内弯する　口縁部に小さな2穴を穿つ	(外) 箆磨き (内) 口縁部横撫で、箆磨き 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第 274図－39	鉢 弥生	口径 24.2 残高 4.0 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR6/6橙	口縁部は短く屈折して内傾する	(外) 箆磨き (内) 口縁部横撫で、箆磨き 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第 274図－40	鉢 弥生	口径 残高 1.6 底径 5.5 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR6/4にぶい橙	平底	(外) (内) 外内面赤色塗彩
B－410号 住居址 第 274図－41	甕 弥生	口径 残高 4.0 底径 6.8 胴一部底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底に1孔を穿つ	(外) (内)
B－410号 住居址 第 274図－42	ミニチュア 弥生	口径 5.3 器高 3.9 底径 3.0 口縁部1/3欠	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	平底の底部より内弯気味に僅かに開いて立ち上がる	(外) (内) 口縁部横撫で 外内面赤色塗彩

第１１９表　住居址出土遺物観察表（６７）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－410号 住居址 第274図－43	紡錘車 弥生	厚さ 0.9 半径 2.8 重さ 20g	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/8にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙		(外) (内)
B－410号 住居址 第274図－44	紡錘車 弥生	長さ 1.7 半径 2.8 重さ 26g	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙		(外) (内) 赤色塗彩
B－411号 住居址 第275図－1	蓋 土師	抓み径 残高 5.6 裾径 抓み部	胎；礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR5/3にぶい褐		(外) 縦位の箆削り (内) 木口状工具による撫で及び削り
B－411号 住居址 第275図－2	高坏 弥生	口径 残高 3.2 裾径 8.4 脚部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/8橙	脚部は外反する	(外) (内) 撫で
B－411号 住居址 第275図－3	高坏 弥生	口径 残高 2.7 裾径 8.4 脚部一部	胎；雲母、白色砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	脚部に2個の孔を有し外反する裾部に至る	(外) 裾部横撫で、箆磨き (内) 箆削り 外面赤色塗彩
B－411号 住居址 第275図－4	甕 弥生	口径 19.0 残高 5.2 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR5/6明褐	口縁部は外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 撫で
B－411号 住居址 第275図－5	甕 弥生	口径 14.0 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/8橙	口縁部は外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 撫で
B－411号 住居址 第275図－6	甕 弥生	口径 12.8 残高 4.0 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	口縁部は外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 撫で
B－411号 住居址 第275図－7	甕 弥生	口径 11.8 残高 2.4 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/1褐灰 (内) 7.5YR6/1褐灰	口縁部は外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 撫で
B－411号 住居址 第275図－8	甕 弥生	口径 13.2 残高 3.1 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	口縁部は直立する	(外) 波状文を施す (内) 撫で
B－411号 住居址 第275図－9	甕 弥生	口径 残高 9.0 底径 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	胴部は球形を呈する	(外) 波状文と2連止めの簾状文を施す 上から下へ施文する (内) 横位の撫で
B－411号 住居址 第275図－10	甕 土師	口径 残高 7.5 底径 胴部一部から脚	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より内弯気味に立ち上がる	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 撫で
B－411号 住居址 第275図－11	甕 土師	口径 残高 1.3 底径 4.4 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	平底	(外) (内)
B－411号 住居址 第275図－12	壺 弥生	口径 19.0 残高 2.3 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/8橙	口縁部は内弯する受け口状を呈する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩

第120表　住居址出土遺物観察表（68）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－411号 住居址 第 275図－13	壺 弥生	口径 残高 2.7 底径 7.2 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 10R5/6赤	平底	(外) 箆削り (内) 内面赤色塗彩
B－411号 住居址 第 275図－14	壺 土師	口径 残高 3.0 底径 6.2 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 箆削り、箆磨き (内) 横撫で、箆磨き
B－411号 住居址 第 275図－15	鉢 弥生	口径 17.4 残高 6.3 底径 口縁部1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	口縁部は僅かに内弯する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－412号 住居址 第 276図－1	蓋 土師	抓み径 3.2 器高 4.6 裾径 9.6 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/2明褐灰 4/1褐灰 (内) 7.5YR7/4にぶい橙 3/1黒褐	抓み部より外反して大きく広がり裾部に至る	(外) 撫で (内) 横撫で
B－412号 住居址 第 276図－2	高坏 土師	口径 21.0 残高 3.1 裾径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	体部は大きく広がる	(外) 横撫で (内) 横撫で
B－412号 住居址 第 276図－3	台付 甕 土師	口径 15.5 器高 21.1 裾径 6.6 ほぼ完形	胎；礫僅かに含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	球形に張った胴部より「くの字」状に外傾する口縁部に至る 脚部は接合部より外反して裾部に至る	(外) 斜位の刷毛調整 (内) 口縁部横位の刷毛調整 胴部横位の箆削り
B－412号 住居址 第 276図－4	壺 土師	口径 12.2 器高 11.5 底径 4.4 口縁から胴部1/2	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R3/4 暗赤 4/3 にぶい赤褐 (内) 10R4/6赤 3/1 暗赤灰	上げ底の底部より球形の胴部に立ち上がり「くの字」状に外反する口縁部に至る	(外) 刷毛調整 (内) 箆削り
B－412号 住居址 第 276図－5	壺 土師	口径 13.4 残高 9.9 底径 口縁3/4 から胴部	胎；石英、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	頸部は屈曲し長く外傾する口縁に至る	(外) 刷毛調整の後箆磨き (内) 縦位の撫で
B－412号 住居址 第 276図－6	壺 土師	口径 16.0 残高 3.4 底径 口縁部一部	胎；石英、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/4 褐 (内) 10YR4/4 褐	口縁部は段を有して外反する 口唇部は面取りが施される	(外) (内)
B－412号 住居址 第 276図－7	壺 土師	口径 16.0 残高 2.2 底径 口縁部一部	胎；石英、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR2/1赤黒	口縁部は段を有して外反する	(外) (内)
B－412号 住居址 第 276図－8	壺 土師	口径 22.0 残高 3.0 底径 口縁部3/4	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/2 灰黄褐 (内) 10YR3/1 黒褐	口縁部は段を有して外反する	(外) 撫で (内) 横撫で
B－412号 住居址 第 276図－9	壺 土師	口径 19.0 残高 3.8 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙		(外) (内) 外面赤色塗彩
B－412号 住居址 第 276図－10	壺 土師	口径 残高 12.2 底径 口縁1/2 から胴部	胎；雲母、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 2/1 黒褐 (内) 5YR6/6橙	粘土帯積み上げ 球形の胴部より外反する口縁部に至る	(外) 刷毛調整、胴部箆削り (内) 刷毛調整
B－412号 住居址 第 276図－11	壺 土師	口径 残高 6.4 底径 7.6 底部のみ	胎；雲母、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 2/1 黒褐 (内) 5YR6/6橙	平底より立ち上がる	(外) (内) 刷毛調整

第１２１表　住居址出土遺物観察表（６９）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－412号 住居址 第 276図－12	壺 土師	口径 残高 1.8 底径 5.3 底部のみ	胎；石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/2暗赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	底部より大きく広がる	(外) 箆削り (内)
B－412号 住居址 第 276図－13	壺 土師	口径 残高 3.1 底径 5.4 底部4/5	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR2/1黒 (内) 7.5YR6/8橙 7/4 にぶい橙	平底	(外) 箆削り (内) 箆磨き
B－412号 住居址 第 276図－14	鉢 土師	口径 15.1 残高 4.2 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/6橙	口縁部は僅かに内傾する	(外) (内)
B－412号 住居址 第 276図－15	甕 土師	口径 残高 2.3 底径 6.0 底部1/2	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	底部に1孔を穿つ	(外) (内)
B－413号 住居址 第 277図－1	甕 弥生	口径 25.0 残高 3.2 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/1褐灰 (内) 7.5YR4/4褐		(外) (内)
B－413号 住居址 第 277図－2	甕 弥生	口径 11.0 残高 3.8 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4 にぶい黄橙 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙	口縁部は外反する	(外) 簾状文を施す (内)
B－413号 住居址 第 277図－3	甕 弥生	口径 13.8 残高 2.7 底径 口縁部一部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	口唇部は面取りが施される	(外) (内)
B－413号 住居址 第 277図－4	甕 弥生	口径 17.6 残高 3.9 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口唇部は面取りが施される	(外) (内) 横撫で
B－413号 住居址 第 277図－5	甕 弥生	口径 22.3 残高 6.4 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒多量含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/2 灰黄褐 (内) 10YR4/2 灰黄褐	口縁部は緩く外反する	(外) 波状文及び簾状文を施す (内) 横撫で
B－413号 住居址 第 277図－6	鉢 弥生	口径 14.0 残高 2.1 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) (内) 横撫で 内面赤色塗彩
B－414号 住居址 第 278図－1	坩 土師	口径 残高 4.6 底径 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/6橙	丸底	(外) 撫で (内) 撫で
B－414号 住居址 第 278図－2	高坏 土師	口径 18.8 残高 5.7 裾径 坏部1/3	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	坏部は接合部より稜を経て外反する口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 撫で
B－414号 住居址 第 278図－3	高坏 土師	口径 18.6 残高 6.2 裾径 坏から接合部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 10YR5/2 灰黄褐	坏部は接合部より稜を経て大きく開く口縁部に至る	(外) 口縁部坏部横位の撫で箆磨き (内) 撫で
B－414号 住居址 第 278図－4	高坏 土師	口径 16.6 残高 6.6 裾径 坏部1/2	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	坏部は接合部より稜を経て長く外傾する口縁部に至る	(外) 横位の撫で、箆磨き (内) 撫で

第１２２表　住居址出土遺物観察表（７０）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－414号 住居址 第 278図－5	高坏 土師	口径 17.0 残高 5.5 裾径 坏部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	坏部に稜を経て外傾する口縁部に至る	(外) 箆磨き (内)
B－414号 住居址 第 278図－6	高坏 土師	口径 残高 5.3 裾径 接合部から脚部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	脚部はラッパ状を呈し3方向に円形の透かしを有す	(外) 箆磨き (内)
B－414号 住居址 第 278図－7	高坏 土師	口径 残高 10.1 裾径 19.8 脚部1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/4浅黄橙 (内) 7.5YR8/4浅黄橙	脚部はラッパ状に開く	(外) 裾部は横位の撫で (内) 箆削り
B－414号 住居址 第 278図－8	高坏 土師	口径 残高 6.1 裾径 9.1 脚部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	脚部は「ハの字」状に開く	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－414号 住居址 第 278図－9	高坏 土師	口径 残高 4.4 裾径 9.9 脚部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/1赤灰 (内) 2.5YR4/1赤灰	裾部は外反して開く	(外) 裾部は横撫で (内) 箆削り
B－414号 住居址 第 278図－10	甕 土師	口径 10.2 器高 19.5 底径 5.0 口縁から底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底より張りのある胴部を経て「くの字」状に外反する口縁部に至る	(外) 刷毛調整 (内)
B－414号 住居址 第 278図－11	甕 土師	口径 器高 1.7 底径 4.8 底部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－414号 住居址 第 278図－12	甕 土師	口径 器高 3.7 底径 7.7 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－414号 住居址 第 278図－13	鉢 土師	口径 11.5 器高 4.9 底径 ほぼ完形	胎；礫、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底より開いて立ち上がる	(外) 口縁部は横撫で (内) 口縁部は横撫で
B－414号 住居址 第 278図－14	鉢 土師	口径 16.8 器高 7.4 底径 5.1 口縁1/2 から底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がり丸みを持って開きそのまま内弯する口縁部に至る	(外) 撫で (内) 撫で
B－415号 住居址 第 279図－1	高坏 土師	口径 残高 2.9 裾径 接合部から脚部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	小型の高坏	(外) (内)
B－415号 住居址 第 279図－2	高坏 土師	口径 残高 6.5 裾径 9.6 接合部から脚部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/8橙	脚部はラッパ状を呈す 1孔ずつ3方向に計3孔の透かしを有する	(外) 裾部横撫で (内) 裾部横撫で、箆削り
B－415号 住居址 第 279図－3	甕 弥生	口径 18.0 残高 7.9 底径 口縁部1/2	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	口縁部は緩く外反する	(外) 波状文を施す (内)
B－415号 住居址 第 279図－4	甕 土師	口径 18.5 残高 16.5 口縁から胴部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR4/1褐灰	球形に張った胴部より屈曲して外傾する口縁部に至る 口唇部は面取りが施される	(外) 斜位の刷毛調整 (内) 斜位の刷毛調整

第１２３表　住居址出土遺物観察表（７１）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－415号 住居址 第 279図－5	甕 弥生	口径 13.6 残高 10.2 底径 口縁から胴上位	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	球形の胴部より外反する口縁部に至る	(外) 口縁部頸部に緩い波状を施す (内) 撫で
B－415号 住居址 第 279図－6	甕 弥生	口径 18.0 残高 5.2 底径 口縁から胴一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	口縁部は外側へ折り返される	(外) 波状文を施す (内)
B－415号 住居址 第 279図－7	甕 土師	口径 17.0 残高 8.0 底径 口縁から胴1/4	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	張りのある胴部より屈折して外傾する口縁部に至る 口唇部は面取りを施す	(外) 口縁部横位の撫で (内)
B－415号 住居址 第 279図－8	甕 土師	口径 13.4 残高 6.4 底径 口縁から胴一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	口縁部は「くの字」状に外反し 口唇部に面取りを施す	(外) 撫で (内) 箆削り
B－415号 住居址 第 279図－9	甕 弥生	口径 残高 9.6 底径 6.4 胴下位から底部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/6赤褐 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	平底より外傾して立ち上がる胴部	(外) 粗い波状文を施す (内)
B－415号 住居址 第 279図－10	壺 土師	口径 残高 10.3 底径 5.4 胴1/3 から底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 5YR5/8明赤褐	上げ底ぎみの平底より立ち上がり球形を呈する胴部に移行する	(外) (内) 箆削り
B－415号 住居址 第 279図－11	甕 土師	口径 残高 2.2 底径 6.8 底部1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－415号 住居址 第 279図－12	甕 土師	口径 残高 1.8 底径 5.0 底部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－415号 住居址 第 279図－13	甕 土師	口径 残高 1.4 底径 3.7 底部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙	上げ底ぎみの平底	(外) 箆削り (内) 箆削り
B－415号 住居址 第 279図－14	甕 土師	口径 残高 4.6 底径 5.6 胴一部から底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/2 灰黄褐 (内) 10YR4/2 灰黄褐	平底より外反して立ち上がる	(外) 箆磨き (内) 箆磨き
B－415号 住居址 第 279図－15	壺 土師	口径 19.0 器高 21.5 底径 2.8 口縁1/2から胴部	胎；雲母、礫多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR4/8赤褐	小さい平底より立ち上がり球形に張る胴部より屈曲して口縁部に至る 口縁部は段を有する	(外) 横位の刷毛調整 (内) 箆削り
B－415号 住居址 第 279図－16	鉢 土師	口径 8.0 器高 3.8 底径 3.0 口縁1/3 から底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底より立ち上がり僅かに丸みを持って開きそのまま口縁部に至る	(外) (内) 箆削り、箆磨き
B－416号 住居址 第 280図－1	高坏 弥生	口径 37.8 残高 5.2 裾径 口縁部一部	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部で短く僅かに内弯する	(外) 箆磨き (内) 横撫で、箆磨き 外内面赤色塗彩
B－416号 住居址 第 280図－2	甕 弥生	口径 25.6 残高 12.3 底径 口縁部1/3	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/8橙	張りのある胴部より外反する口縁に至る	(外) 波状文を施す (内) 横位の刷毛調整

第１２４表 住居址出土遺物観察表（７２）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－416号 住居址 第280図－3	甕 弥生	口径 残高 7.5 底径 胴部1/3	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/4にぶい赤褐	丸みのある胴部より外反する口縁部に移行する	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 箆削りの後箆磨き
B－416号 住居址 第280図－4	甕 弥生	口径 25.8 残高 7.3 底径 口縁部1/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 7/4 にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内)
B－416号 住居址 第280図－5	甕 弥生	口径 14.8 残高 5.4 底径 口縁部一部	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	口縁部は外反する	(外) 波状文と3連止めの簾状文を施す (内)
B－416号 住居址 第280図－6	甕 弥生	口径 11.6 残高 5.6 底径 口縁部一部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 3/2 明赤褐 (内) 2.5YR3/2明赤褐	口縁部は外反し 口唇部は面取りを施す	(外) (内)
B－416号 住居址 第280図－7	甕 弥生	口径 15.8 残高 5.8 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は外反する	(外) 波状文と2連止めの簾状文を施す (内)
B－416号 住居址 第280図－8	甕 弥生	口径 11.6 残高 3.8 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐 3/4 暗赤褐	口縁部は外反する	(外) 簾状文の後波状文を施す (内)
B－416号 住居址 第280図－9	壺 弥生	口径 25.7 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/4にぶい橙		(外) (内) 外内面赤色塗彩
B－416号 住居址 第280図－10	壺 弥生	口径 残高 23.0 底径 頸一部から胴部上位	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/3 にぶい黄橙 褐灰 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	張りのある胴部より外反する口縁部に至る	(外) T字文を施す (内) 箆削り、刷毛調整
B－416号 住居址 第280図－11	壺 弥生	口径 残高 2.3 底径 7.6 底部1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底	(外) (内) 外面赤色塗彩
B－416号 住居址 第280図－12	壺 弥生	口径 残高 2.6 底径 6.2 底部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底	(外) 撫で (内)
B－416号 住居址 第280図－13	深鉢 弥生	口径 14.5 残高 3.0 底径 口縁部一部	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR3/6暗赤褐	口縁部は外反する 口縁部に孔を有する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－416号 住居址 第280図－14	鉢 弥生	口径 19.8 残高 8.5 底径 口縁から胴部一部	胎；雲母、細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	直線的に開く体部より内弯する口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 横位の刷毛調整、箆磨き
B－417号 住居址 第281図－1	坏 土師	口径 12.8 残高 8.8 底径 口縁一部から底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4褐 (内) 7.5YR5/6明褐	丸底から体部は球形を呈し外反する口縁部に至る	(外) 箆削り、箆磨き (内)
B－417号 住居址 第281図－2	坏 土師	口径 13.6 残高 5.2 底径 口縁から体部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	丸底より外反する口縁部に至る	(外) 箆削りの後箆磨き (内) 箆削りの後箆磨き

第125表 住居址出土遺物観察表（73）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－417号 住居址 第281図－3	坩 土師	口径 10.4 器高 13.6 底径 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 10YR6/4 にぶい橙	口縁部は僅かに内弯して開く 丸底で体部は球形を呈する	(外) 口縁部横撫で、箆磨き (内) 口縁部横撫で、箆削り
B－417号 住居址 第281図－4	坩 土師	口径 9.2 器高 8.5 底径 5.0 完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	上げ底ぎみの平底より立ち上がり稜を有して強く張る 偏平な体部に移行し、屈曲して外傾する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、箆削りの後箆磨き (内) 口縁部横撫で、箆削り
B－417号 住居址 第281図－5	坩 土師	口径 12.2 器高 15.6 底径 完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	丸底より体部は偏平な球形を呈し、口縁部は僅かに内弯する	(外) 口縁部横撫での後縦位の箆磨き (内) 箆磨き
B－417号 住居址 第281図－6	坩 土師	口径 9.3 器高 8.0 底径 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/6橙	丸底から体部は球形を呈し、外反する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、箆磨き (内) 口縁部横撫で
B－417号 住居址 第281図－7	坩 土師	口径 8.2 残高 7.3 底径 口縁から胴部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/4淡赤橙 (内) 2.5YR6/6橙	口縁部は僅かに内弯して開く	(外) (内) 横撫で
B－417号 住居址 第281図－8	坩 土師	口径 残高 5.8 底径 5.0 胴一部から底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	上げ底の底部 体部下位は強く張る 体部は半球形を呈する	(外) 箆削り、箆磨き (内) 箆削り、箆磨き
B－417号 住居址 第281図－9	高坏 土師	口径 18.9 器高 14.9 裾径 13.5 完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	坏部は接合部より稜を経てやや内弯して開く口縁部に至る 脚部は柱状の脚から裾が屈曲して大きく広がる	(外) 坏部縦位の箆磨き (内) 坏部縦位の箆磨き
B－417号 住居址 第281図－10	高坏 土師	口径 18.7 器高 14.4 裾径 12.6 ほぼ完形	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR6/6橙	粘土帯積み上げ 坏部は接合部 より稜を経て大きく外傾する口縁部に至る 脚部は接合部から緩やかな膨みを持って下がり裾部で大きく開く	(外) 坏部箆磨き、脚部箆削り (内) 横撫で
B－417号 住居址 第281図－11	高坏 土師	口径 16.1 器高 13.2 裾径 10.8 完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	坏部は接合部より稜を経て長く外反する口縁部に至る 脚部は接合部より大きく開く	(外) 口縁部横撫で、脚部縦位の箆磨き (内) 裾部横撫で
B－417号 住居址 第281図－12	高坏 土師	口径 19.4 器高 14.6 裾径 13.4 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	坏部は接合部より稜を経て大きく外傾する口縁部に至る 脚部は柱状の脚から裾部が屈曲して大きく広がる	(外) 撫で、箆磨き (内) 撫で、箆磨き
B－417号 住居址 第281図－13	高坏 土師	口径 17.5 器高 13.6 裾底径13.6 ほぼ完形	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	坏部は接合部より稜を経て直線的に開く口縁部に至る 脚部は接合部から緩やかな膨らみを持って裾部で大きく開く	(外) 箆削り、箆磨き (内) 坏部横撫で
B－417号 住居址 第281図－14	高坏 土師	口径 16.4 器高 13.7 裾径 12.6 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	坏部は接合部より稜を経て大きく外反する口縁部に至る 脚部は柱状の脚から屈曲して大きく広がり裾部に至る	(外) 箆磨き (内) 箆磨き
B－417号 住居址 第281図－15	高坏 土師	口径 15.9 残高 4.9 裾径 坏部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR6/8橙	坏部は接合部より稜を経て大きく外反する口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、箆磨き (内) 箆磨き
B－417号 住居址 第281図－16	高坏 土師	口径 残高 9.1 裾径 13.9 脚部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR6/6橙	粘土帯積み上げ 接合部から緩やかな膨らみを持って裾部で大きく開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き

第１２６表　住居址出土遺物観察表（７４）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－417号 住居址 第 281図－17	高坏 土師	口径 残高 5.8 裾径 10.4 脚部のみ	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	脚部は開く	(外) 箆削り、刷毛調整 (内) 箆削り、刷毛調整
B－417号 住居址 第 281図－18	高坏 土師	口径 残高 4.2 裾径 脚部から脚部一部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	脚部に円形の透かしを有する	(外) (内)
B－417号 住居址 第 281図－19	台付 甕 土師	口径 12.1 残高 18.0 裾径 1/2	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	丸みのある胴部より外反する口縁部に至る	(外) 刷毛調整 (内) 箆削り、刷毛調整
B－417号 住居址 第 281図－20	甕 土師	口径 16.5 器高 19.8 底径 ほぼ完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	粘土帯積み上げ 平底より立ち上がり張りの有る胴部より外反する口縁部に至る	(外) 口縁部は横位の撫で (内) 口縁部は横位の撫で
B－417号 住居址 第 281図－21	甕 土師	口径 15.9 器高 21.0 底径 6.0 ほぼ完形	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 上げ底気味の底部より立ち上がり胴部下位に最大径を有し外反する口縁部に至る	(外) 口縁部は横位の撫で 箆削り (内) 口縁部は横位の撫で 箆削り
B－417号 住居址 第 281図－22	甕 土師	口径 残高 18.8 底径 4.0 胴から底部	胎；雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 5YR6/4にぶい橙	上げ底気味の平底より立ち上がり、張りの有る胴部に移行する	(外) 箆削り、箆磨き (内) 箆削り、箆磨き
B－417号 住居址 第 281図－23	壺 土師	口径 13.0 残高 15.3 底径 ほぼ完形	胎；雲母、粗砂多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 胴部は球形を呈し、口縁部は外反する	(外) 口縁部は横位の撫で 指頭の撫で付け、箆削り 刷毛調整の後箆磨き (内) 箆削り
B－417号 住居址 第 281図－24	壺 土師	口径 残高 5.6 底径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/8黄橙 (内) 7.5YR7/6橙	口縁部は外側に折り返される	(外) 縦位の箆磨き (内)
B－417号 住居址 第 281図－25	壺 土師	口径 残高 7.6 底径 7.0 胴から底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 平底より立ち上がり球形の胴部に移行する	(外) 箆削り、刷毛調整の後箆磨き (内) 箆削り、撫で
B－418号 住居址 第 282図－1	高坏 弥生	口径 16.6 残高 3.5 裾径 口縁部一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R4/6赤	坏部接合部より稜を持ち大きく外反して口縁部に至る	(外) 口縁部横撫で、横位の箆磨き (内) 口縁部横撫で、横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－418号 住居址 第 282図－2	高坏 弥生	口径 12.8 残高 3.8 裾径 口縁部一部	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐		(外) (内) 箆削り
B－418号 住居址 第 282図－3	高坏 弥生	口径 残高 3.1 裾径 接合部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙		(外) 箆磨き (内) 箆磨き 坏部内面・脚部外面赤色塗彩
B－418号 住居址 第 282図－4	高坏 弥生	口径 残高 4.0 裾径 接合部のみ	胎；粗砂粒、細砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR6/4にぶい橙		(外) 箆磨き (内) 坏部箆磨き 坏部内面・脚部外面赤色塗彩
B－418号 住居址 第 282図－5	高坏 弥生	口径 残高 3.3 裾径 接合部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/8橙 (内) 2.5YR7/4淡赤橙		(外) 脚部箆磨き (内) 坏部箆磨き、脚部箆削り 坏部内面・脚部外面赤色塗彩

第１２７表　住居址出土遺物観察表（７５）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－418号 住居址 第282図－6	高坏 弥生	口径 残高 5.7 裾径 脚部一部	胎；石英、細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4にぶい赤褐 (内) 5YR7/4にぶい橙	脚部ラッパ状に開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 脚部刷毛調整 外面赤色塗彩
B－418号 住居址 第282図－7	甕 弥生	口径 19.7 残高 6.0 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 口縁部に波状文を施す 上から下へ施文する (内)
B－418号 住居址 第282図－8	甕 弥生	口径 16.8 残高 6.3 底径 口縁部一部	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	口縁部は「くの字」状に外反する	(外) 口縁部胴部に波状文、頸部に3連止めの簾状文を施す (内)
B－418号 住居址 第282図－9	甕 弥生	口径 12.8 残高 5.6 底径 口縁部1/5胴部一部	胎；細砂粒含む 焼；良好 色 (外) 5YR6/4にぶい橙 2/1 黒褐 (内) 5YR6/4にぶい 橙 5/4にぶい赤褐	口縁部は外反する	(外) 口縁部、胴部に波状文 頸部に簾状文を施す
B－418号 住居址 第282図－10	甕 弥生	口径 12.8 残高 7.8 底径 口縁胴一部	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR6/4にぶい橙	口縁部は緩く外反する	(外) 口縁部、胴部に波状文 頸部に簾状文を施す (内)
B－418号 住居址 第282図－11	甕 弥生	口径 22.7 残高 4.1 底径 口縁部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/3にぶい橙	口縁部は外傾する	(外) 口縁部に波状文を施す (内)
B－418号 住居址 第282図－12	甕 弥生	口径 残高 2.1 底径 6.0 底部3/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底	(外) 箆削り (内) 箆磨き
B－418号 住居址 第282図－13	壺 弥生	口径 22.4 残高 10.0 底径 頸部1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい 橙 6/2 灰褐 (内) 5YR6/4にぶい 橙 6/2 灰褐	口縁部は朝顔状に開く	(外) 口縁部縦位の箆磨き (内)
B－418号 住居址 第282図－14	鉢 弥生	口径 残高 4.3 底径 4.8 胴部底部3/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	平底より立ち上がり内弯して開く	(外) 箆磨き (内) 箆削りの後箆磨き 外内面赤色塗彩
B－418号 住居址 第282図－15	鉢 弥生	口径 25.6 器高 11.5 底径 6.8 口縁胴1/4底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底より立ち上がり内弯して開いてそのまま口縁部に至る	(外) 縦位の箆磨き (内) 撫で 外内面赤色塗彩
B－419号 住居址 第283図－1	甕 土師	口径 17.6 器高 31.3 底径 6.7 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より立ち上がり卵型に張った胴部を経て「くの字」状に外反した口縁部に至る	(外) 頸部撫で付け (内)
B－419号 住居址 第283図－2	壺 土師	口径 18.0 器高 29.3 底径 8.1 口縁1/3胴底部	胎；粗砂粒含む にぶい赤褐 焼；良好 色；(外) 5YR5/1灰褐 5/3にぶい赤褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	平底より立ち上がり、球形を呈して胴部下位で最大径をとる 口縁部は外反する	(外) 横撫で (内)
B－419号 住居址 第283図－3	甕 土師	口径 16.2 器高 17.1 底径 7.9 ほぼ完形	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 4/3にぶい赤褐 (内) 2.5YR6/4にぶい橙	平底より立ち上がり球形に張った胴部を経て「くの字」状に外反する口縁部に至る	(外) 頸部横位の撫で付け 刷毛調整 (内)
B－419号 住居址 第283図－4	甕 土師	口径 10.0 器高 10.2 底径 5.3 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR6/4にぶい赤褐	平底より立ち上がり丸みのある胴部を経て緩く外反する口縁部に至る	(外) (内)

第１２８表　住居址出土遺物観察表（７６）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－419号 住居址 第283図－5	甕 土師	口径 17.0 残高 6.5 底径 口縁部のみ	胎；雲母、細砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐 3/2暗赤褐	口縁部「くの字」状に外反する	(外) 箆磨き (内)
B－419号 住居址 第283図－6	甕 土師	口径 残高 17.6 底径 6.4 胴部底一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 5YR7/4にぶい橙 4/1 灰褐	平底、卵形の胴部	(外) (内)
B－419号 住居址 第283図－7	甕 土師	口径 残高 9.8 底径 胴部1/5	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明褐 3/1 暗赤灰 (内) 2.5YR3/3暗赤褐		(外) (内)
B－419号 住居址 第283図－8	甕 土師	口径 残高 13.3 底径 7.0 胴一部底部	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 3/3 暗赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐 4/6 赤褐	平底より立ち上がり、丸みのある胴部に移行する	(外) (内) 箆削り
B－419号 住居址 第283図－9	甑 土師	口径 14.9 器高 9.7 底径 ほぼ完形	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 5YR6/4にぶい橙 (内) 10R5/6赤	丸底	(外) 横位の刷毛調整 (内) 刷毛調整
B－419号 住居址 第283図－10	甑 土師	口径 26.7 器高 22.7 底径 8.7 ほぼ完形	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	孔部より張りのない胴部に移行し、口縁部大きく外反する 口唇部に面取りを施す	(外) 口縁部横位の箆削り 胴部縦位の箆削り (内)
B－420号 住居址 第284図－1	蓋 弥生	抓み径 3.9 器高 7.6 裾径 抓み天井部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 2.5YR5/8明赤褐	抓み部から裾部にかけ外反して開く 天井部に1孔を穿つ	(外) 縦位の箆削り (内) 撫で 外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第284図－2	蓋 弥生	抓み径 2.5 残高 3.3 裾径 抓み部のみ	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/8橙		(外) 箆削り (内) 箆磨き
B－420号 住居址 第274図－3	蓋 弥生	抓み径 5.7 残高 3.0 裾径 抓み部のみ	胎；0.2 の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 10R5/6赤		(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第284図－4	高坏 弥生	口径 28.8 残高 8.3 裾径 口縁部1/6	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙	体部に稜を経て屈曲して大きく外反する口縁部に至る 口唇部は面取りを施す	(外) 横位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外面赤色塗彩
B－420号 住居址 第284図－5	高坏 弥生	口径 残高 6.0 裾径 接合脚部上位	胎；0.2 の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 10YR7/2 にぶい黄橙	接合部から裾部にかけて外反して開く	(外) 箆削り (内)
B－420号 住居址 第284図－6	高坏 弥生	口径 23.0 器高 21.0 裾径 15.1 口縁2/3裾1/4	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	坏部は直線的に開き口縁部で大きく外反する 脚部は接合部より緩やかに開き裾部で緩く外反する	(外) 坏部から脚部は縦位の箆磨き (内) 坏部横位の箆磨き、脚部撫で 外面・坏部内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第284図－7	高坏 弥生	口径 15.6 残高 9.2 裾径 坏部1/3	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	接合部より開き稜を経て屈曲外反し山形突起が有る口縁部に至る	(外) 箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第284図－8	高坏 弥生	口径 27.4 残高 4.0 裾径 口縁部1/5	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	突起ある口縁部は外反する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩

第１２９表　住居址出土遺物観察表（７７）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－４２０号 住居址 第 284図－９	高坏 弥生	口径 25.2 残高 9.8 裾径 坏部3/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	接合部より稜を経て屈曲し大きく外反する口縁部に至る	(外) 口縁部横位の箆磨き (内) 横位の磨き 外内面赤色塗彩
B－４２０号 住居址 第 284図－10	高坏 弥生	口径 残高 9.6 裾径 口下位から体部1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	接合部より体部で強く張り口縁部で屈曲する	(外) 頸部に３連止めの簾状文、箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－４２０号 住居址 第 284図－11	高坏 弥生	口径 残高 14.9 裾径 15.6 脚部1/2	胎；0.2 の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 5YR6/6橙	脚部は外反気味に開く	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆削り、木口状工具による撫で 外内面赤色塗彩
B－４２０号 住居址 第 284図－12	甕 弥生	口径 10.6 器高 10.7 底径 4.4 ほぼ完形	胎；0.2 の礫、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/3　8/4 浅黄橙 (内) 7.5YR8/4浅黄橙	口縁部は外反し、胴部はやや肩で張る	(外) ２連止めの簾状文を施した後上から下へ波状文を施す、胴部下位箆削り (内) 横撫で、刷毛調整
B－４２０号 住居址 第 284図－13	甕 弥生	口径 11.8 器高 11.5 底径 4.4 口から胴部1/2	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR5/3にぶい赤褐	口縁部は外反し、胴部は肩でやや張る	(外) 簾状文と波状文を施す (内)
B－４２０号 住居址 第 284図－14	甕 弥生	口径 20.5 残高 19.5 底径 1/2	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	丸みのある胴部より外反する口縁部に至る	(外) 波状文を施す 上から下へ施文する (内) 横位の箆削り
B－４２０号 住居址 第 284図－15	甕 弥生	口径 16.0 残高 13.5 底径 1/3	胎；石英，粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/2 にぶい黄橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は緩く外反する	(外) ２連止めの簾状文と波状文を施す (内) 横撫で
B－４２０号 住居址 第 284図－16	甕 弥生	口径 23.5 残高 21.5 底径 口縁から胴部	胎；礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙　5/2 灰褐 (内) 7.5YR6/6橙　5/2 灰褐	丸みのある胴部より緩く外反する口縁部に至る	(外) 簾状文の後波状文を施す (内) 斜位の刷毛調整の後箆磨き
B－４２０号 住居址 第 284図－17	甕 弥生	口径 20.0 残高 9.8 底径 口縁部1/4	胎；礫、石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/3にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 頸部に３連止めの簾状文を施した後波状文を施す (内)
B－４２０号 住居址 第 284図－18	甕 弥生	口径 20.0 残高 7.0 底径 口縁部2/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 横撫で
B－４２０号 住居址 第 284図－19	甕 弥生	口径 14.4 残高 10.3 底径 口から胴部下位1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5Y8/1 灰白 (内) 5Y8/2 灰白	やや球形を呈する胴部を経て口縁部は外反する	(外) ３連止めの簾状文を施す (内) 横撫で
B－４２０号 住居址 第 284図－20	甕 弥生	口径 15.4 残高 9.4 底径 口縁から胴部3/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 2.5YR6/6橙	丸みのある胴部より緩く外反する口縁部に至る	(外) 波状文と簾状文を施す (内) 横撫で
B－４２０号 住居址 第 284図－21	甕 弥生	口径 17.0 残高 8.0 底径 口縁部1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/8橙	口縁部は外反する	(外) ４連止めの簾状文を施した後波状文を施す (内) 横撫で
B－４２０号 住居址 第 284図－22	甕 弥生	口径 14.8 残高 7.3 底径 口1/2胴上位1/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/1暗赤灰 (内) 2.5YR6/1暗赤灰	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文と２連止めの簾状文を施す (内) 横撫で

第１３０表　住居址出土遺物観察表（７８）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－420号 住居址 第284図－23	甕 弥生	口径 14.8 残高 7.3 底径 口1/2胴上位1/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/1暗赤灰 (内) 2.5YR3/1暗赤灰	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文と2連止めの簾状文を施す (内) 横撫で
B－420号 住居址 第284図－24	甕 弥生	口径 13.4 残高 7.1 底径 口縁部のみ	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は外反する	(外) 3連止めの簾状文と波状文を施す (内) 撫で
B－420号 住居址 第284図－25	甕 弥生	口径 16.4 残高 8.2 底径 口縁部1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	丸みのある胴部より外反する口縁部に至る	(外) 2連止めの簾状文と波状文を施す (内) 撫で
B－420号 住居址 第284図－26	甕 弥生	口径 残高 14.7 底径 胴部1/3	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 5YR5/6明赤褐	胴部は球形状に張る	(外) 2連止めの簾状文と波を施す (内) 横位の刷毛調整
B－420号 住居址 第284図－27	甕 弥生	口径 残高 14.0 底径 8.2 胴下位底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/6橙	平底より立ち上がり、丸みのある胴部に移行する	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
B－420号 住居址 第284図－28	甕 弥生	口径 残高 9.4 底径 6.4 胴下底1/2	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	平底より内弯気味に立ち上がる	(外) 箆磨き (内) 木口状工具による撫で箆磨き
B－420号 住居址 第284図－29	甕 弥生	口径 残高 8.6 底径 7.0 胴下位底部3/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より立ち上がり、僅かに内弯気味の胴部に移行する	(外) (内)
B－420号 住居址 第284図－30	甕 弥生	口径 残高 5.0 底径 4.6 胴下位-部底部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がり内弯する胴部に移行する	(外) 撫で (内) 撫で
B－420号 住居址 第284図－31	壺 弥生	口径 19.8 残高 7.9 底径 口縁部1/3	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は直立して外反する	(外) 頸部にT字文、箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第284図－32	壺 弥生	口径 20.4 残高 6.4 底径 口縁部1/4	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は朝顔状に開く 口唇部面取りを施す	(外) 縦位の箆磨き (内) 横撫で 外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第284図－33	壺 弥生	口径 29.6 残高 12.6 底径 口縁部のみ	胎；礫僅か、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR6/6橙 7.5YR2/1黒	口縁部は外反して開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第284図－34	壺 弥生	口径 残高 48.0 底径 胴部一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	胴部下位が強く張る	(外) 頸部にT字文、刷毛調整、箆磨き (内) 横位の刷毛調整
B－420号 住居址 第284図－35	壺 弥生	口径 残高 19.1 底径 4.8 頸部から底部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 7.5YR5/1灰褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より立ち上がり胴部は下位で稜を有する 口縁部は緩やかに外反する	(外) T字文を施す（横位の櫛描直線文に縦位の直線文で頸部を4分割する 内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第284図－36	壺 弥生	口径 残高 18.0 底径 頸部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙		(外) 頸部にT字文を施す (内) 外内面赤色塗彩

第131表　住居址出土遺物観察表（79）

遺構NO 図版NO	器種 種類	法量	器質	成形・形態ほか	整形ほか
B－420号 住居址 第 284図－37	壺 弥生	口径 残高 17.0 底径 口下位から胴下3/4	胎；石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	胴部は丸みを持ち頸部に向かって緩やかに窄まり、口縁部は大きく外反する	(外) 頸部に横位の櫛描直線文を施す (内) 口縁部箆磨き、胴部剥落　外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第 284図－38	壺 弥生	口径 残高 11.9 底径 頸部1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/2 灰黄褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐		(外) 頸部にT字文を施す (内)
B－420号 住居址 第 284図－39	壺 弥生	口径 残高 28.2 底径 15.0 胴下位一部	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より立ち上がり胴部下位に外稜を持つ	(外) 箆削りの後縦位の箆磨き (内) 箆削りの後撫で 外面赤色塗彩
B－420号 住居址 第 284図－40	壺 弥生	口径 残高 16.9 底径 10.0 胴下位2/3欠	胎；礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底より立ち上がり胴部に外稜を持つ	(外) 箆削りの後縦位の箆磨き　(内) 横位の箆削りの後箆磨き、刷毛調整 外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第 284図－41	壺 弥生	口径 残高 8.6 底径 14.3 胴下位1/5欠	胎；礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 10YR7/3 にぶい黄橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 縦位の箆磨き (内) 剥落
B－420号 住居址 第 284図－42	壺 弥生	口径 残高 8.0 底径 13.8 底部のみ	胎；礫、雲母、粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底	(外) 縦位の箆削り (内) 剥落
B－420号 住居址 第 284図－43	壺 弥生	口径 残高 11.9 底径 14.0 底部のみ	胎；0.2 の礫、石英、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/1 灰白 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 箆削り、縦位の箆磨き (内) 剥落
B－420号 住居址 第 284図－44	壺 弥生	口径 残高 5.7 底径 5.0 胴下位1/3欠	胎；0.2 の礫、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 胴部箆削りと刷毛目　底部箆切り (内) 刷毛調整
B－420号 住居址 第 284図－45	深鉢 弥生	口径 16.4 残高 7.3 底径 口縁部1/3	胎；石英、雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は外反する	(外) 箆削り撫での後箆磨き (内) 箆削り撫での後箆磨き 外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第 284図－46	鉢 弥生	口径 19.1 器高 11.1 底径 6.0 2/3	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR6/6橙	平底より内弯気味に開く	(外) 箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第 284図－47	鉢 弥生	口径 14.8 残高 8.0 底径 口から体部最大径1/2	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	体部は外傾して開き口縁部は僅かに内弯する	(外) 縦位の箆磨き (内) 横位の箆磨き 外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第 284図－48	鉢 弥生	口径 13.2 器高 6.6 底径 3.9 体1/2 底部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底より外傾して開く	(外) 体部箆磨き　底部箆切り (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩
B－420号 住居址 第 284図－49	鉢 弥生	口径 9.2 残高 8.9 底径 口縁から体部上位一部	胎；雲母、粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	緩やかな稜を経て口縁部は内弯する	(外) (内) 箆磨き
B－420号 住居址 第 284図－50	甕 弥生	口径 残高 2.1 底径 4.9 底部のみ	胎；石英、雲母含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR6/6橙		(外) 箆削り (内)

第１３２表　住居址出土遺物観察表（８０）